

# 難治性のがん疼痛および症状に関する 専門医対象全国質問紙調査

松本禎久

上原優子 小杉寿文 曾根美雪 中村直樹 水嶋章郎

加藤雅志 宮下光令 山口拓洋 森田達也

Ver0.9.1 (2020年7月13日)

# 【目次】

スライド番号

- 1. 研究概要・方法 3~13
- 2. 結果（対象者数・回答率など） 14~15
- 3. 結果 各専門医 16~274
  - 3-1. 緩和医療専門医・認定医 17~102
  - 3-2. ペインクリニック専門医 103~165
  - 3-3. IVR専門医 166~199
  - 3-4. 在宅医療専門医 200~242
  - 3-5. がん治療認定医 243~274
- 4. 結果 専門医間共通項目まとめ 275~358
  - 4-1. がんの痛みが十分に緩和されない時にどのような対応をとるか 276~291
  - 4-2. がんの痛みの治療の現状と改善策に関する考え 292~304
  - 4-3. がんの痛みの治療の現状と改善策に関する考え～各専門医に望むこと～ 305~310
  - 4-4. 難治性のがん疼痛と心理社会的な要因やスピリチュアルな要因についての考え 311~319
  - 4-5. 難治性疼痛患者の経験数 320~321
  - 4-6. これまでの専門的な鎮痛法の経験 322~324
  - 4-7. 専門的な鎮痛法に関する現状と考え【腹腔神経叢ブロック】 325~335
  - 4-8. 専門的な鎮痛法に関する現状と考え【メサドン】 336~358
- 5. 付録（未完成）

# 研究概要・方法

## 【背景と根拠】

がん患者は、多くの苦痛を体験する。本邦における最近の報告<sup>1)</sup>では、がん患者の4割程度が亡くなる1か月前に苦痛が緩和されていないと感じている（痛み36%、苦痛41%）。がん疼痛をはじめとした様々な苦痛を緩和することが必要である。

わが国における調査<sup>2)</sup>で、がん疼痛鎮痛治療が不十分であるがん患者の割合は38%とも言われており、されに施設間で有意差があるとされている。

がん疼痛に対する標準的な薬物療法だけでは十分にがん疼痛が軽減しない患者が存在する。また、標準的な薬物療法に、難治性がん疼痛に対する治療を併用することで、より質の高い疼痛コントロールが得られ、患者のQOLが向上する可能性がある。

しかし、難治性がん疼痛に対する治療については、適応基準が不明瞭であるケースや、適応があっても実施できていないケースが少なくないと考えられる。

わが国での難治性がん疼痛に対する医療者の認識や治療の実態はほとんどわかっていない。わが国における難治性がん疼痛に対する医療者の認識や治療の実態を明らかにすることで、難治性がん疼痛を有する患者が適切な治療を受けられるように必要な対策を講じることができるようになり、がん患者の痛みが軽減されQOLが向上することが期待される。

そこで、今回我々は、がん疼痛を診療する機会がある各領域の認定医・専門医を対象として、難治性がん疼痛に対する認定医・専門医の認識や治療の実態を明らかにすることを目的とした全国施設調査を実施することとした。

## **【目的】**

本研究の目的は、難治性がん疼痛に対する認定医・専門医の認識や治療の実態を明らかにすることである。

## **【研究デザイン】**

自記式質問紙（郵送）による横断調査

## 【研究対象】

緩和医療専門医・緩和医療認定医（日本緩和医療学会認定）、ペインクリニック専門医（日本ペインクリニック学会認定）、IVR専門医（日本インタベンションラジオロジー学会認定）、がん治療認定医（日本がん治療認定医機構認定）、在宅医療専門医（日本在宅医療連合会認定）の5つの専門領域の認定医・専門医※を対象とする。

※以後、本文で「認定医・専門医」とのみ記載する場合には、上記5つの専門領域の認定医・専門医を示すこととする。

## 【対象者のリストの作成】

各学会がホームページ等で認定医・専門医の名簿を公表している場合には、公表されているリストを用いて対象者リストを作成する。ホームページ等で公開されていない場合には、認定している各団体に認定医・専門医のリスト提出を依頼する。各団体が各団体の方針に従った結果、認定医・専門医のリストを提出できない場合には、どのような方法であれば調査が可能かを各団体と協議し、対応する（各団体から対象者に質問紙を郵送する、送付する宛先を印字したラベルを提供していただく等）。

## 【適格規準と除外規準】

### 適格規準

- 1) 各団体がホームページ上で公表している認定医・専門医の名簿に名前がある認定医・専門医、または各団体が提供する認定医・専門医のリストや宛名ラベルが用意できる認定医・専門医

### 除外規準

- 1) 日本に在住していない者
- 2) 所属先が不明、または所属先が存在しない者
- 3) 臨床を行わないと考えられる研究機関等が主な所属先である者
- 4) 介護施設が主な所属先である者
- 5) 逝去されている者
- 6) 歯科医師
- 7) ペインクリニック専門医およびがん治療認定医のうち医院・診療所・クリニックが主な所属先である者
- 8) その他、研究者が不適と判断した者

#### 【設定根拠】

1) および2) は郵送による質問紙調査であり調査が不能であるため、3) および4) は現在の臨床に関する質問に適切に回答できない可能性があり対象として適切ではないため、5) は本人による回答が不能であるため、6) は難治性のがん疼痛治療に対する医師の認識や治療の実態を調査するため、7) は医院・診療所・クリニックに所属するペインクリニック専門医は難治性のがん疼痛に対してペインクリニック特有の処置を実施していないと考えられ、医院・診療所・クリニックに所属するがん治療認定医はがん疼痛を有する患者を診療することが少ないと考えられるため、除外規準として設定した。



### 【各専門医において想定される対象者数】

緩和医療専門医・認定医	762名
ペインクリニック専門医	1525名
IVR専門医	1087名
がん治療認定医	16,717名
在宅医療専門医	308名

### 【想定される対象者の根拠】

緩和医療医・認定医は、2019年4月1日時点の名簿がホームページで公開されており（2020年1月5日確認）<sup>3)</sup>、緩和医療専門医は244名、緩和医療認定医は518名であり、計762名となる。

ペインクリニック専門医は、名簿がホームページで公開されており、2020年1月5日に確認を行った段階で1525名が公開されており<sup>4)</sup>、1525名全員が対象となる。

IVR専門医は、ホームページ上では2019年3月22日時点の名簿がホームページで公開されている（2020年1月5日確認）<sup>5)</sup>が、2020年1月29日に日本IVR学会より提供された宛名ラベルを確認したところ、1087名が実際の専門医数であることが確認され、1087名全員が対象となる。

がん治療認定医は、名簿がホームページで公開されており、2020年1月17日確認時点では、16,717名が公開されており、16,717名全員が対象となる<sup>6)</sup>。

在宅医療専門医は、ホームページで名簿は公開されていないが2019年4月時点の専門医数は276名と公表されている（2020年1月5日確認）<sup>7)</sup>が、2020年2月7日に日本在宅医療連合学会より提供された宛名ラベルを確認したところ、308名が実際の専門医数であることが確認され、308名全員が対象となる。

### 【質問紙送付対象】

「適格規準」、「除外規準」により、質問紙送付対象者を決定する。緩和医療専門医・認定医、ペインクリニック専門医、IVR専門医、在宅医療専門医は決定された全対象者に質問紙を送付する。がん治療認定医に関しては、抽出された対象者のうち、さらに乱数表を用いてランダムに800名を抽出し、抽出された800名の対象者のみに質問紙を送付する。

### 【質問紙送付対象者の根拠】

本研究は、基本的に専門医・認定医全員を対象とした調査であり、緩和医療専門医・認定医、ペインクリニック専門医、IVR専門医、在宅医療専門医は決定された全対象者に質問紙を送付する

がん治療医は他の専門医・認定医に比べて総数が多く、代表サンプルによる調査を行うこととし、比較検討を行う緩和医療専門医・認定医の総数と同等のサンプル数として800名と設定した。

## 【研究の方法】

<質問紙の作成方法および調査項目>

設問項目は、研究組織内でのエキスパートによる討議により決定した。専門医すべて共通する設問と、一部の専門医・認定医にのみ尋ねる設問を作成した。

調査項目は、大きな項目として、「回答者の背景情報」「がんの痛みが十分に緩和されない時の対応（共通項目）」「がんの痛みの治療の現状と改善策に関する考え」「難治性のがん疼痛と心理社会的な要因やスピリチュアルな要因についての考え」「抗がん治療終了後の患者における免疫チェックポイント阻害薬や免疫関連有害事象に関しての考え」「症状評価における「方言」の役割」「各種治療の経験」「各種の専門的治療（メサドン内服、）の実施状況や治療に対する認識」を尋ね、それぞれ小項目においては設問に応じて、リッカートスケールや選択肢の選択、自由記載などを指定した。

<郵送法および督促>

質問紙送付対象者に対して、趣旨説明書、質問紙および返信用封筒を同封し封書によって郵送する。質問紙到着後1か月以内に返信をするように趣旨説明書に記載し依頼しているが、質問紙発送後2週間以内に葉書の郵送による督促を未返送者に対して1回行う。

質問紙において、本調査における「難治性のがん疼痛」とは、あなたががんの痛みに対する薬物療法をしっかりと行っても、「①患者自身が『もっと痛みを和らげてほしい』と希望する、または、②家族や看護師等が『もっと痛みを和らげることはできないか』とあなたに求める」が対応する手段がない痛みを指しますと定義をした。

「調査には協力しません」とチェックして返送された場合には、「回答拒否」として扱った。

## 【質問内容（専門医に対する調査）】

	緩和医療専門 医・認定医	ペインクリニック 専門医	IVR専門医	在宅医療専門医	がん治療認定医
背景	○	○	○	○	○
専門的な鎮痛法に対する現状と 考え	メサドン	CPN サドルブロック 硬膜外ブロック くも膜下鎮痛	CPN 椎体形成術 塞栓術	メサドン	—
がんの痛みが十分に緩和されない 時にどのような対応をとるか	○	○	—	○	○
がんの痛みの治療の現状と改善策 に関する考え	○	○	—	○ (専門家に求め ることも含む)	○ (専門家に求め ることも含む)
難治性のがん疼痛と心理社会的な 要因やスピリチュアルな要因につ いての考え	○	○	—	—	—
難治性疼痛患者の経験数	—	—	—	○	○
これまでの専門的な鎮痛法の経験	—	—	—	○	○
症状評価における方言・irAE	○	—	—	—	—

## 【調査期間および研究期間】

調査期間：令和2年2月5日～令和2年4月

研究期間：令和2年2月5日～令和5年3月31日まで（解析期間を含む）

研究方法の詳細は下記の研究計画書を参照のこと

難治性のがん疼痛および症状に関する専門医対象全国  
質問紙調査 研究計画書 第1.2版（2020年3月6日）

結果

(対象者数・回答率など)

## 【結果】 対象者数・回答率など\_\_専門医に対する調査

	緩和医療専門 医・認定医	ペインクリニック 専門医	IVR専門医	在宅医療専門医	がん治療認定医
質問紙発送日	2020年2月17日	2020年3月9日	2020年3月12日	2020年2月27日	2020年2月21日
督促状発送日 (発送件数)	2020年3月13日 (382件)	2020年3月27日 (766件)	2020年3月30日 (821件)	2020年3月19日 (202件)	2020年3月16日 (410件)
質問紙回収×切日	2020年5月14日	2020年5月14日	2020年5月14日	2020年5月14日	2020年5月14日
対象者数	762名	1525名	1087名	308名	800名 (全16,717名から乱数 表を用いて抽出)
除外	3名 逝去1 国外在住1 連絡先不明1	413名 国外在住2 連絡先不明5 非該当施設406※	0名	0名	0名
送付者数	759名	1112名	1087名	308名	800名
返信数 (率)	495名 (65.2%)	587名 (52.8%)	572名 (52.6%)	146名 (47.4%)	425名 (53.1%)
回答拒否数	3名 (0.4%)	42名 (3.8%)	18名 (1.7%)	2名 (0.6%)	13名 (1.6%)
有効回答数 (率)	492名 (64.8%) 内訳：専170認321不明1	545名 (49.0%)	554名 (51.0%)	144名 (46.7%)	412名 (51.5%)

※非該当施設勤務（教育・研究機関のみ5、老人介護施設3、産科のみ病院2、クリニック・診療所・医院396）

質問紙発送はクロネコメール便、督促はがきは郵便で行った（クロネコメール便は転送されず、督促はがきが転送されて気づくケースが多数あった）

結果

各専門医



# 結果

緩和医療専門医・認定医

# 【対象者フロー 緩和医療科専門医・認定医】

調査対象

緩和医療学会専門医 244名  
緩和医療学会認定医 518名  
総数762名

専門医  
逝去 1名  
国外在住 1名  
認定医  
所属先不明 1名

緩和医療学会専門医 242名  
緩和医療学会認定医 517名

郵送

専門医・認定医  
不達・未返送 264名

緩和医療学会専門医・認定医 495名

専門医・認定医  
調査協力拒否 3名

解析対象

緩和医療学会専門医 170名  
緩和医療学会認定医 321名  
専門不明 1名  
総数492名

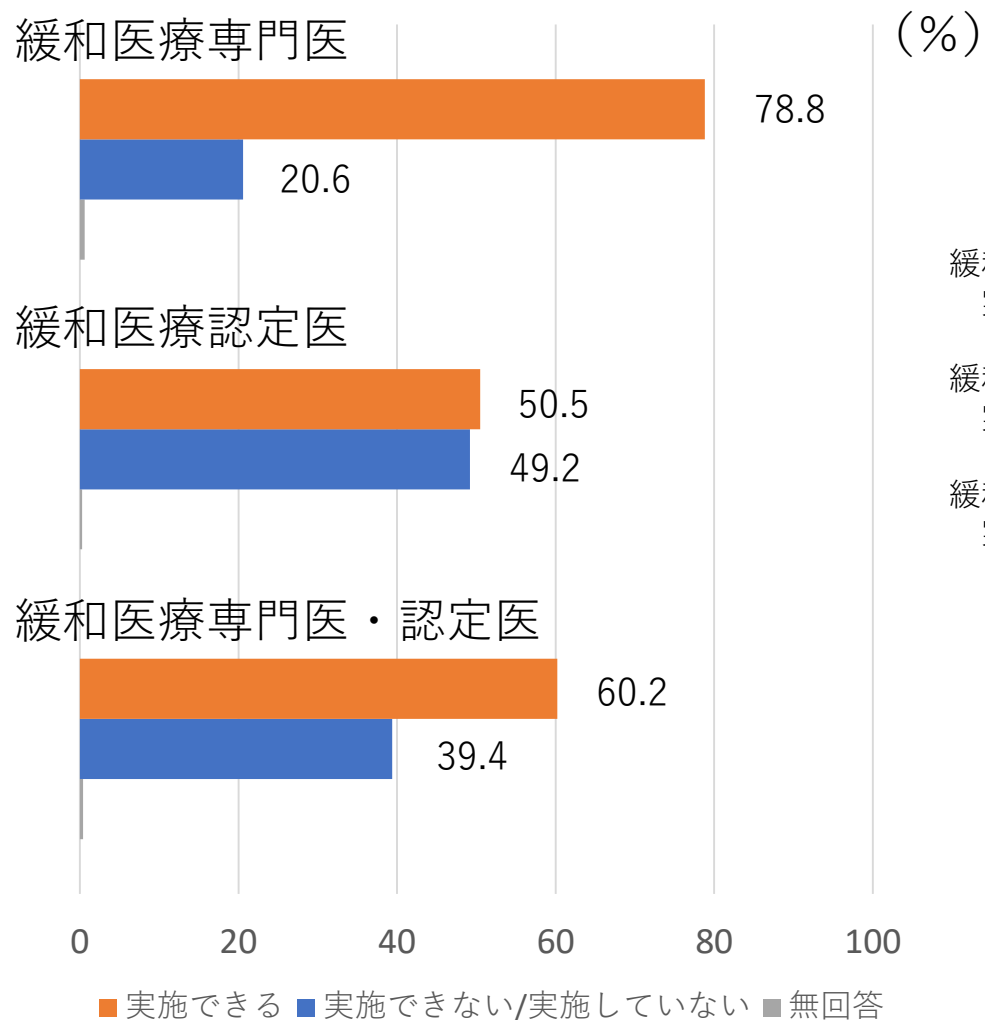
本調査にご協力いただけない場合には、下記にチェックをして返信用封筒でご返送ください。

調査には協力しません	3名 (0.6%)
無回答 (以後に回答)	492名 (99.4%)
うち 緩和医療専門医	170名
緩和医療認定医	321名
専門医・認定医不明	1名

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

a. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、現在実施できますか。



緩和医療専門医：  
実施できる134名（78.8%） 実施できない/実施していない35名（20.6%） 無回答1名（0.6%）

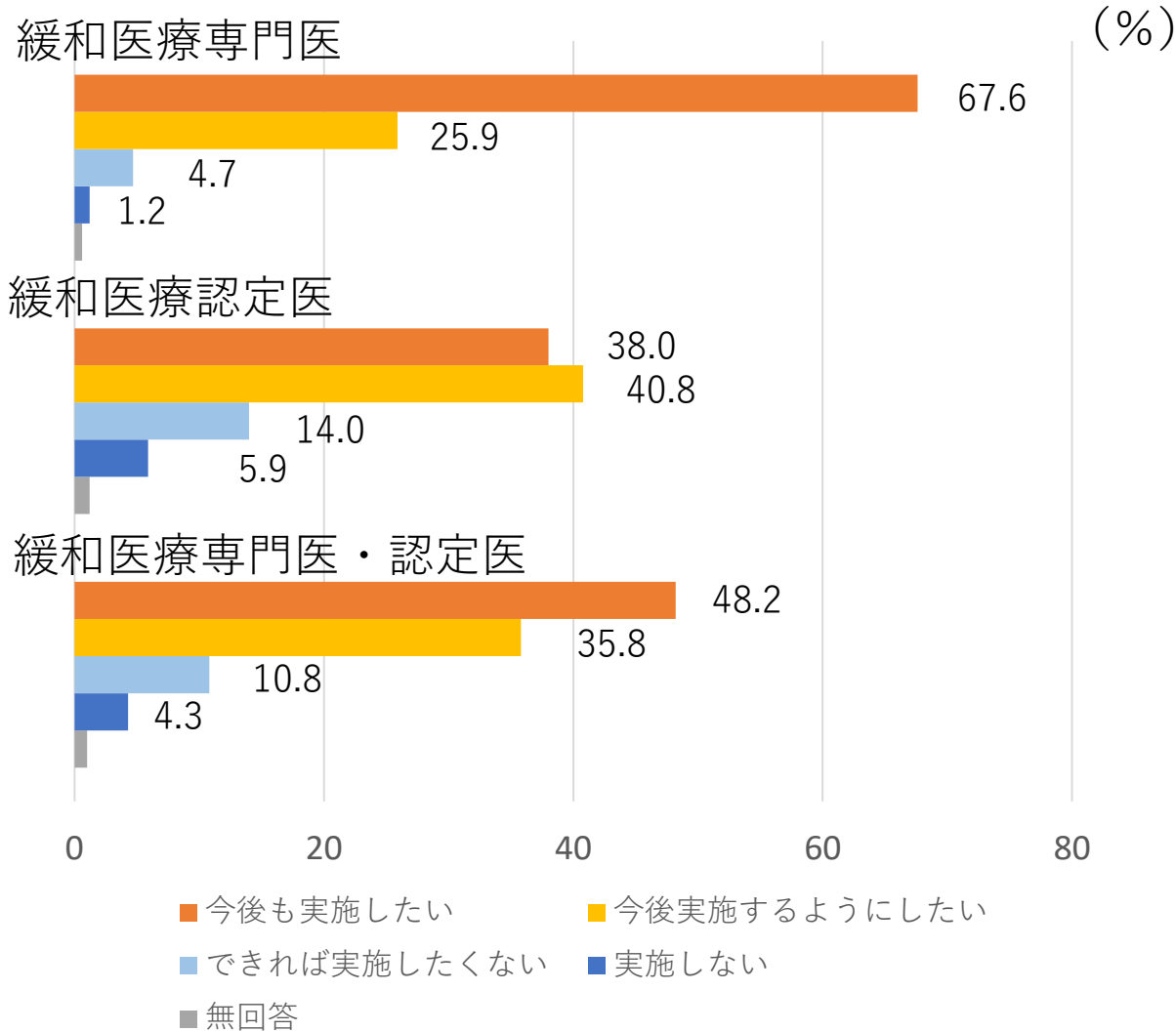
緩和医療認定医：  
実施できる162名（50.5%） 実施できない/実施していない158名（49.2%） 無回答1名（0.3%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
実施できる296名（60.2%） 実施できない/実施していない194名（39.4%） 無回答2名（0.4%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

b. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、今後、実施するつもりですか。



緩和医療専門医：  
今後も実施したい115名（67.6%）  
今後実施するようになりたい44名（25.9%）  
できれば実施したくない8名（4.7%）  
実施しない2名（1.2%）  
無回答1名（0.6%）

緩和医療認定医：  
今後も実施したい122名（38.0%）  
今後実施するようになりたい131名（40.8%）  
できれば実施したくない45名（14.0%）  
実施しない19名（5.9%）  
無回答4名（1.2%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
今後も実施したい237名（48.2%）  
今後実施するようになりたい176名（35.8%）  
できれば実施したくない53名（10.8%）  
実施しない21名（4.3%）  
無回答5名（1.0%）

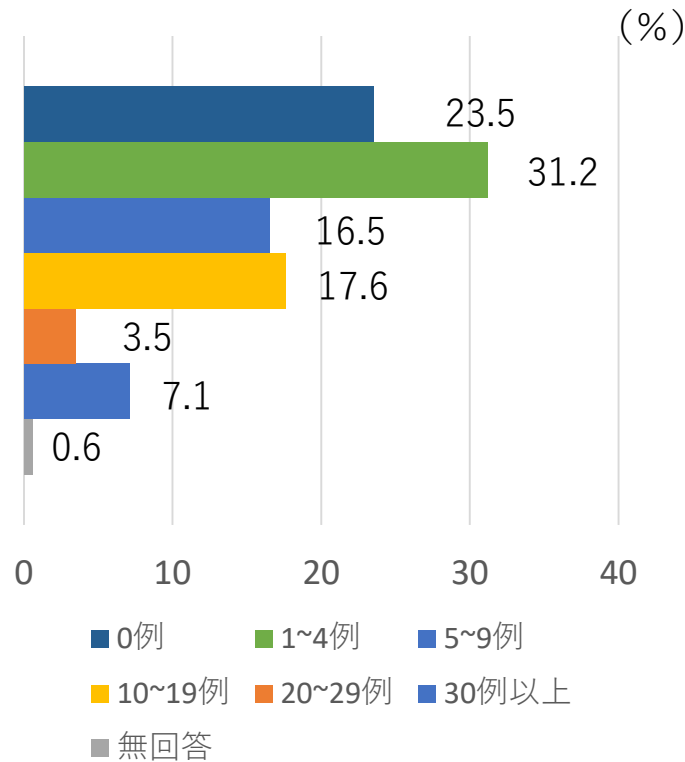
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

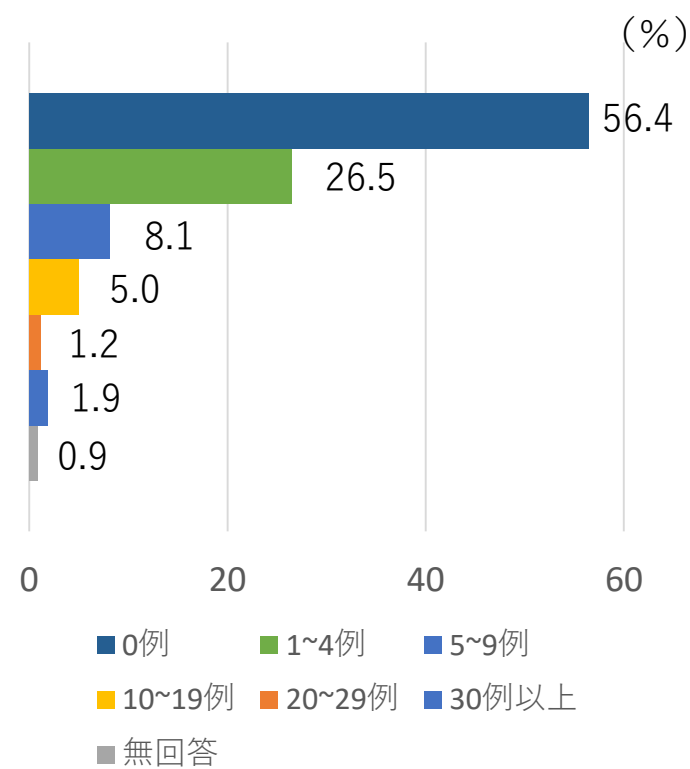
### 緩和医療専門医

平均+標準偏差：7.75 ± 13.7  
中央値（4分範囲）：3（1-10）



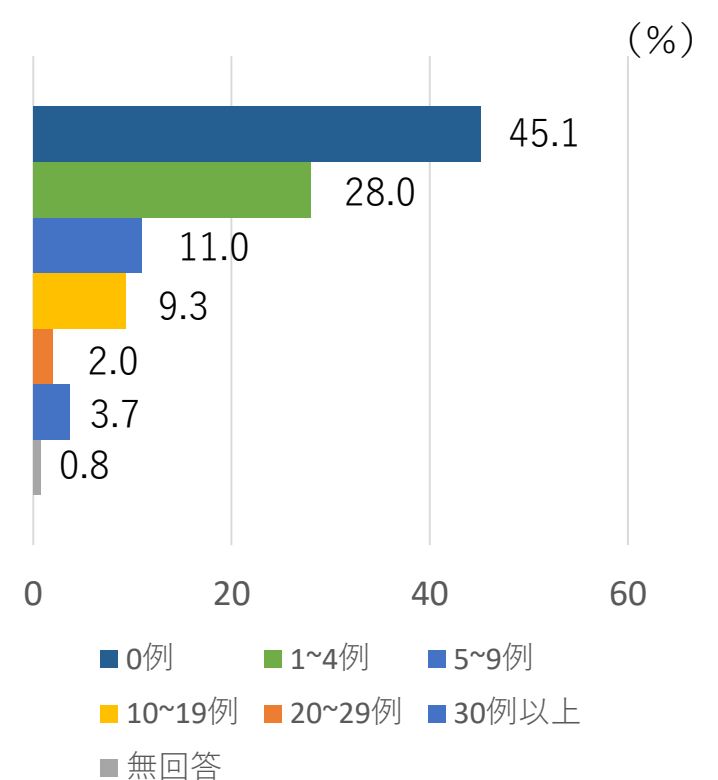
### 緩和医療認定医

平均+標準偏差：2.56 ± 6.88  
中央値（4分範囲）：0（0-2）



### 緩和医療専門医・認定医（総数）

平均+標準偏差：4.35 ± 10.11  
中央値（4分範囲）：1（0-5）

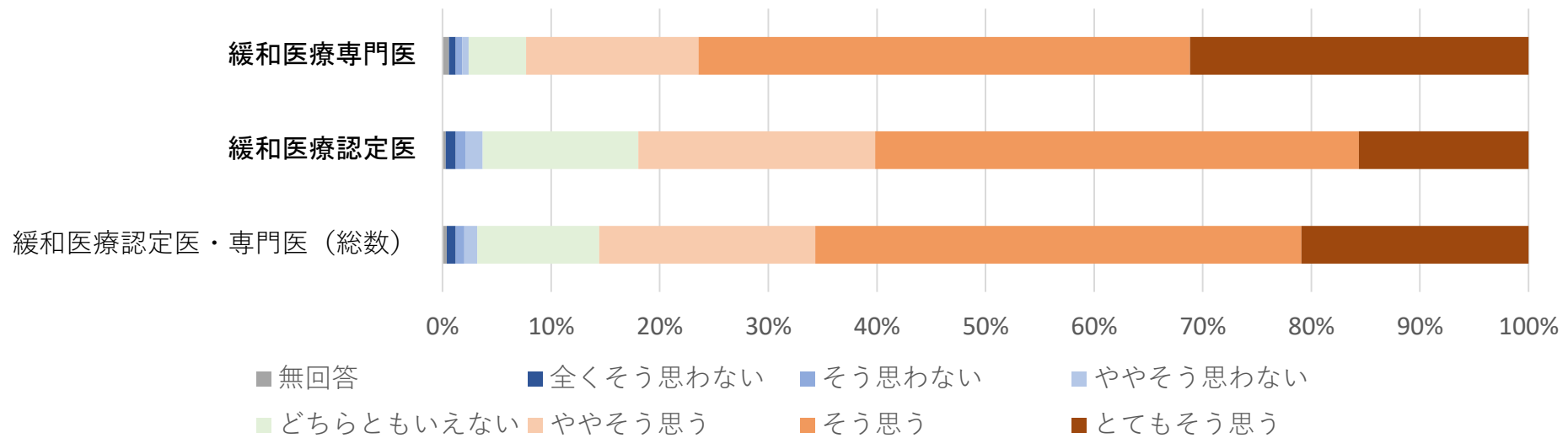


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない1名（0.6%） ややそう思わない1名（0.6%） どちらともいえない9名（5.3%）  
ややそう思う27名（15.9%） そう思う77名（45.3%） とてもそう思う53名（31.2%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない3名（0.9%） そう思わない3名（0.9%） ややそう思わない5名（1.6%） どちらともいえない46名（14.3%）  
ややそう思う70名（21.8%） そう思う143名（44.5%） とてもそう思う50名（15.6%） 無回答1名（0.3%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

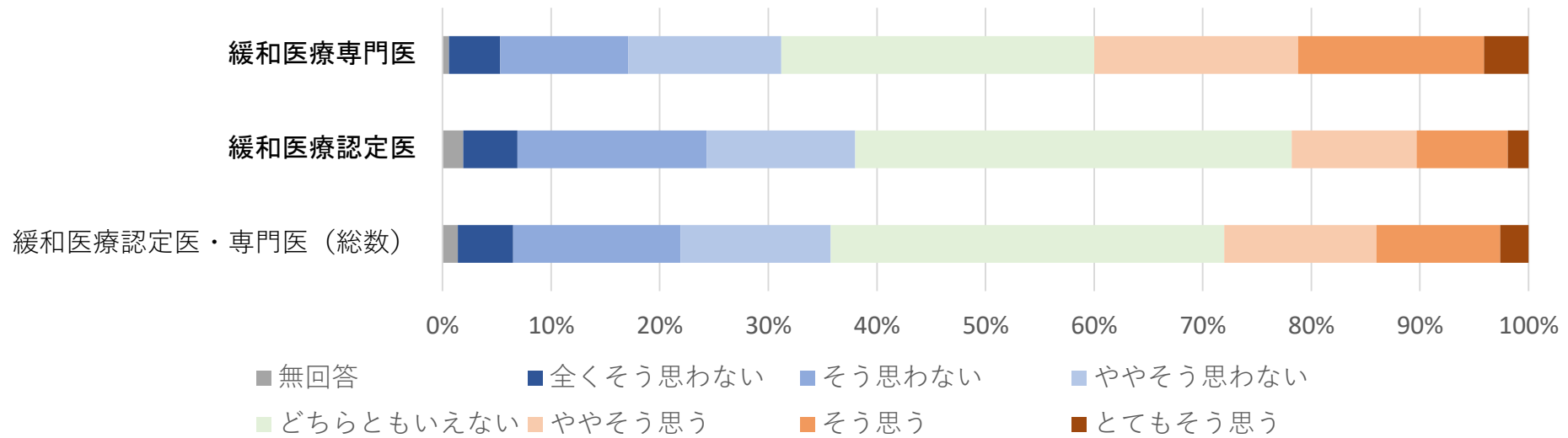
全くそう思わない4名（0.8%） そう思わない4名（0.8%） ややそう思わない6名（1.2%） どちらともいえない55名（11.2%）  
ややそう思う98名（19.9%） そう思う220名（44.7%） とてもそう思う103名（20.9%） 無回答2名（0.4%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない8名（4.7%） そう思わない20名（11.8%） ややそう思わない24名（14.1%） どちらともいえない49名（28.8%）  
 ややそう思う32名（18.8%） そう思う29名（17.1%） とてもそう思う7名（4.1%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない16名（5.0%） そう思わない56名（17.4%） ややそう思わない44名（13.7%） どちらともいえない129名（40.2%）  
 ややそう思う37名（11.5%） そう思う27名（8.4%） とてもそう思う6名（1.9%） 無回答6名（1.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない25名（5.1%） そう思わない76名（15.4%） ややそう思わない68名（13.8%） どちらともいえない178名（36.2%）  
 ややそう思う69名（14.0%） そう思う56名（11.4%） とてもそう思う13名（2.6%） 無回答7名（1.4%）

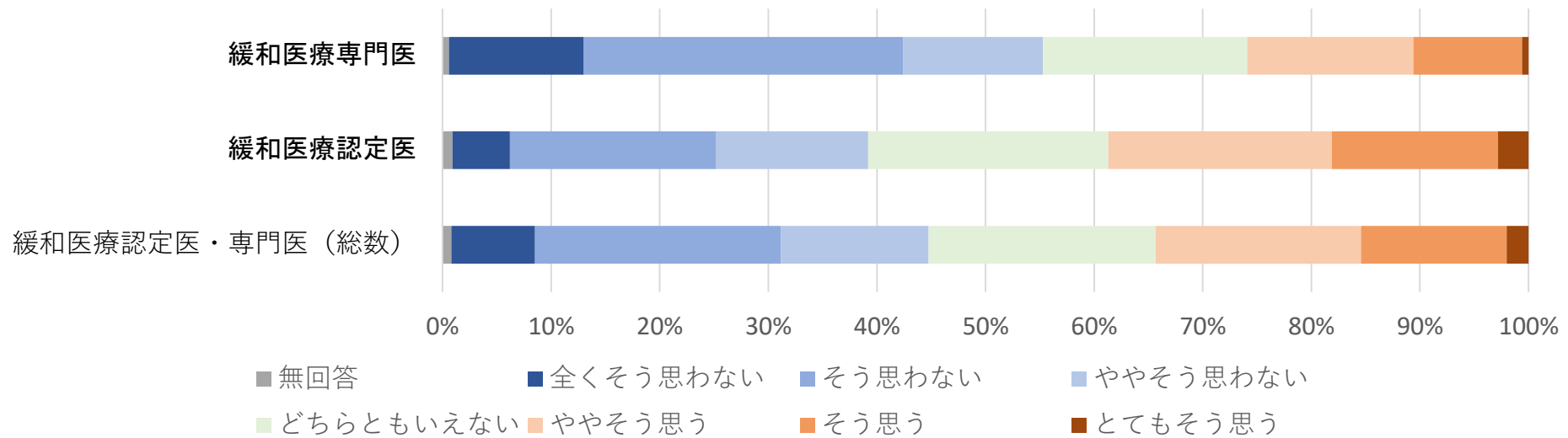


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため処方する必要がない



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない21名（12.4%） そう思わない50名（29.4%） ややそう思わない22名（12.9%） どちらともいえない32名（18.8%）  
 ややそう思う26名（15.3%） そう思う17名（10.0%） とてもそう思う1名（0.6%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない17名（5.3%） そう思わない61名（19.0%） ややそう思わない45名（14.0%） どちらともいえない71名（22.1%）  
 ややそう思う66名（20.6%） そう思う49名（15.3%） とてもそう思う9名（2.8%） 無回答3名（0.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

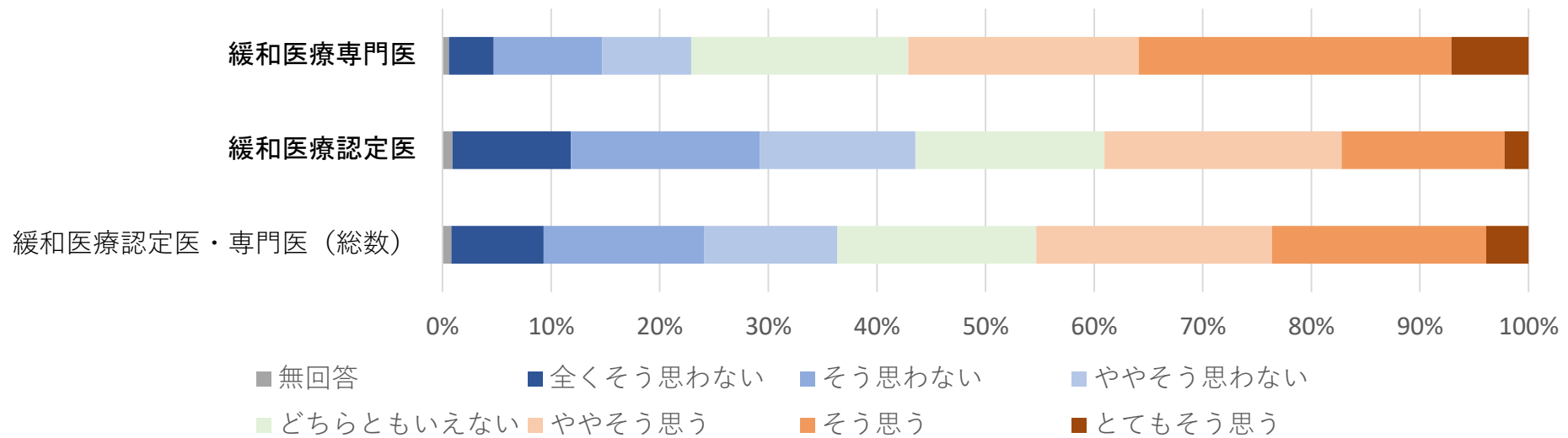
全くそう思わない38名（7.7%） そう思わない111名（22.6%） ややそう思わない67名（13.6%） どちらともいえない103名（20.9%）  
 ややそう思う93名（18.9%） そう思う66名（13.4%） とてもそう思う10名（2.0%） 無回答4名（0.8%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 4) 処方するために十分なトレーニングを受けている



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない7名（4.1%） そう思わない17名（10.0%） ややそう思わない14名（8.2%） どちらともいえない34名（20.0%）  
ややそう思う36名（21.2%） そう思う49名（28.8%） とてもそう思う12名（7.1%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない35名（10.9%） そう思わない56名（17.4%） ややそう思わない46名（14.3%） どちらともいえない56名（17.4%）  
ややそう思う70名（21.8%） そう思う48名（15.0%） とてもそう思う7名（2.2%） 無回答3名（0.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

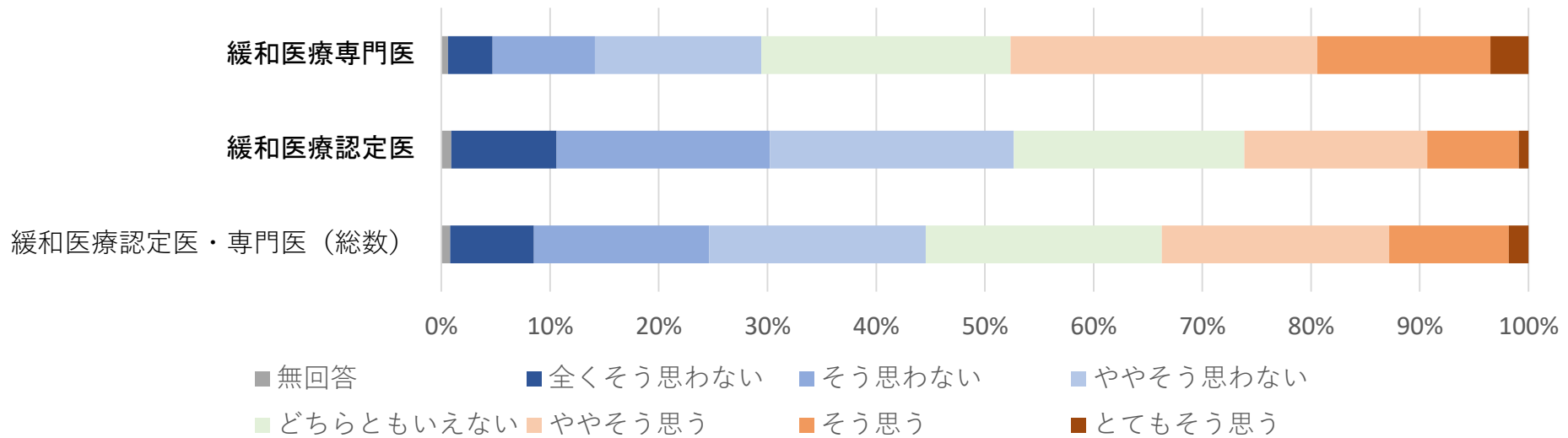
全くそう思わない42名（8.5%） そう思わない73名（14.8%） ややそう思わない60名（12.2%） どちらともいえない90名（18.3%）  
ややそう思う107名（21.7%） そう思う97名（19.7%） とてもそう思う19名（3.9%） 無回答4名（0.8%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない7名（4.1%） そう思わない16名（9.4%） ややそう思わない26名（15.3%） どちらともいえない39名（22.9%）  
 ややそう思う48名（28.2%） そう思う27名（15.9%） とてもそう思う6名（3.5%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない31名（9.7%） そう思わない63名（19.6%） ややそう思わない72名（22.4%） どちらともいえない68名（21.2%）  
 ややそう思う54名（16.8%） そう思う27名（8.4%） とてもそう思う3名（0.9%） 無回答3名（0.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

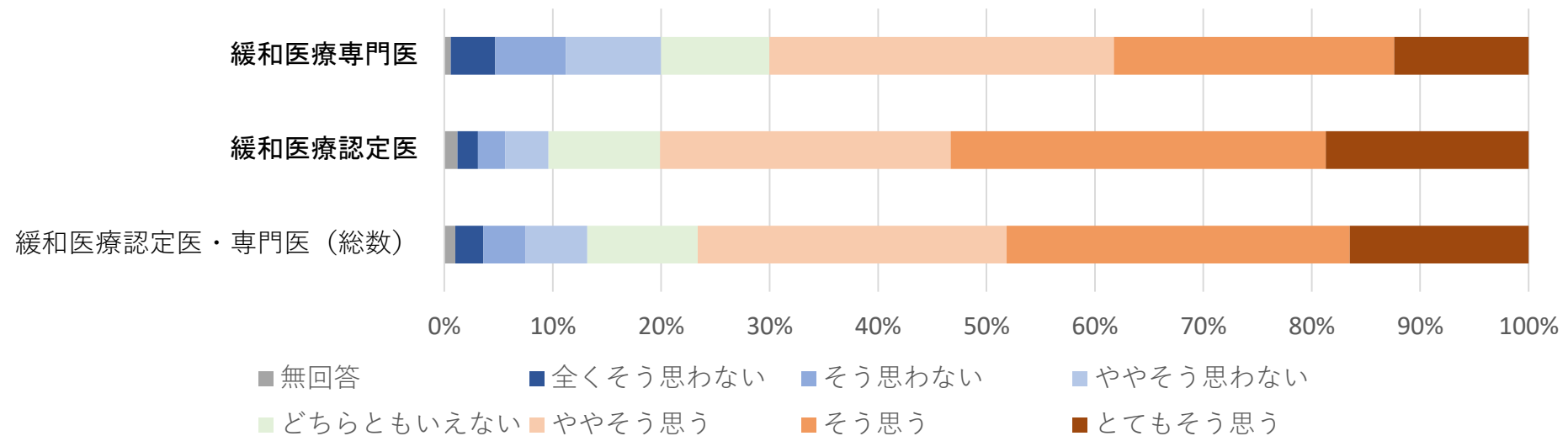
全くそう思わない38名（7.7%） そう思わない79名（16.1%） ややそう思わない98名（19.9%） どちらともいえない107名（21.7%）  
 ややそう思う103名（20.9%） そう思う54名（11.0%） とてもそう思う9名（1.8%） 無回答4名（0.8%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



緩和医療専門医：  
 全くそう思わない7名 (4.1%)    そう思わない11名 (6.5%)    ややそう思わない15名 (8.8%)    どちらともいえない17名 (10.0%)  
 ややそう思う54名 (31.8%)    そう思う44名 (25.9%)    とてもそう思う21名 (12.4%)    無回答1名 (0.6%)

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない6名 (1.9%)    そう思わない8名 (2.5%)    ややそう思わない13名 (4.0%)    どちらともいえない33名 (10.3%)  
 ややそう思う86名 (26.8%)    そう思う111名 (34.6%)    とてもそう思う60名 (18.7%)    無回答4名 (1.2%)

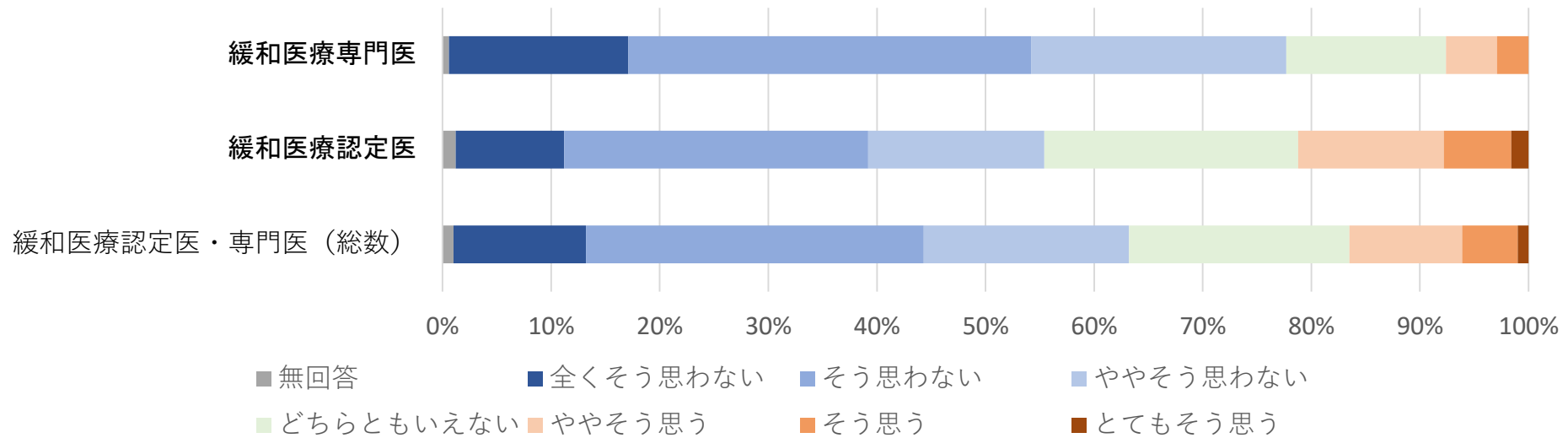
緩和医療専門医・認定医 (総数)：  
 全くそう思わない13名 (2.6%)    そう思わない19名 (3.9%)    ややそう思わない28名 (5.7%)    どちらともいえない50名 (10.2%)  
 ややそう思う140名 (28.5%)    そう思う156名 (31.7%)    とてもそう思う81名 (16.5%)    無回答5名 (1.0%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため処方が必要な患者を診療することが難しい



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない28名（16.5%） そう思わない63名（37.1%） ややそう思わない40名（23.5%） どちらともいえない25名（14.7%）  
 ややそう思う8名（4.7%） そう思う5名（2.9%） とてもそう思う0名（0%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない32名（10.0%） そう思わない90名（28.0%） ややそう思わない52名（16.2%） どちらともいえない75名（23.4%）  
 ややそう思う43名（13.4%） そう思う20名（6.2%） とてもそう思う5名（1.6%） 無回答4名（1.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

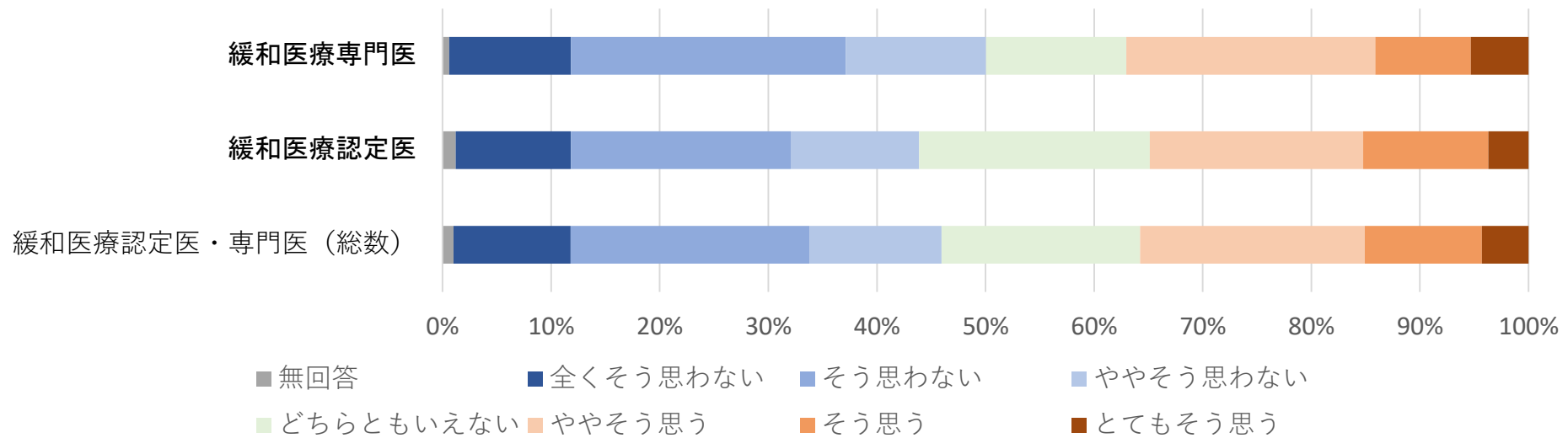
全くそう思わない60名（12.2%） そう思わない153名（31.1%） ややそう思わない93名（18.9%） どちらともいえない100名（20.3%）  
 ややそう思う51名（10.4%） そう思う25名（5.1%） とてもそう思う5名（1.0%） 無回答5名（1.0%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 8) 処方にあたって他科とのやりとりが難しい



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない19名（11.2%） そう思わない43名（25.3%） ややそう思わない22名（12.9%） どちらともいえない22名（12.9%）  
ややそう思う39名（22.9%） そう思う15名（8.8%） とてもそう思う9名（5.3%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない34名（10.6%） そう思わない65名（20.2%） ややそう思わない38名（11.8%） どちらともいえない68名（21.2%）  
ややそう思う63名（19.6%） そう思う37名（11.5%） とてもそう思う12名（3.7%） 無回答4名（1.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

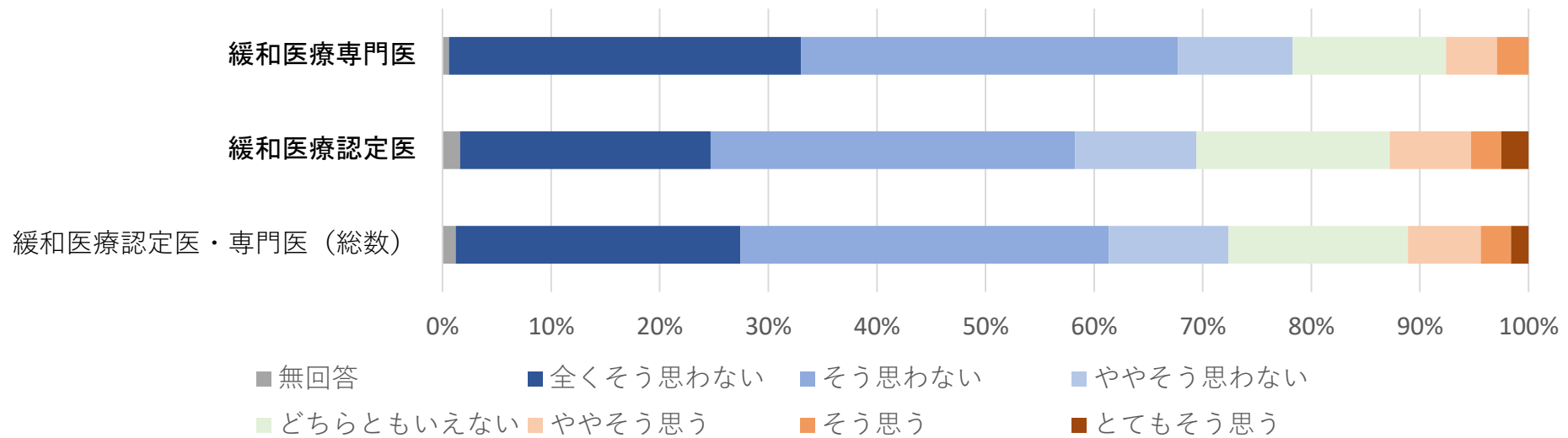
全くそう思わない53名（10.8%） そう思わない108名（22.0%） ややそう思わない60名（12.2%） どちらともいえない90名（18.3%）  
ややそう思う102名（20.7%） そう思う53名（10.8%） とてもそう思う21名（4.3%） 無回答5名（1.0%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で処方への合意が得られない



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない55名 (32.4%) 　 そう思わない59名 (34.7%) 　 ややそう思わない18名 (10.6%) 　 どちらともいえない24名 (14.1%)  
 ややそう思う8名 (4.7%) 　 そう思う5名 (2.9%) 　 とてもそう思う0名 (0%) 　 無回答1名 (0.6%)

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない74名 (23.1%) 　 そう思わない108名 (33.6%) 　 ややそう思わない36名 (11.2%) 　 どちらともいえない57名 (17.8%)  
 ややそう思う24名 (7.5%) 　 そう思う9名 (2.8%) 　 とてもそう思う8名 (2.5%) 　 無回答5名 (1.6%)

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

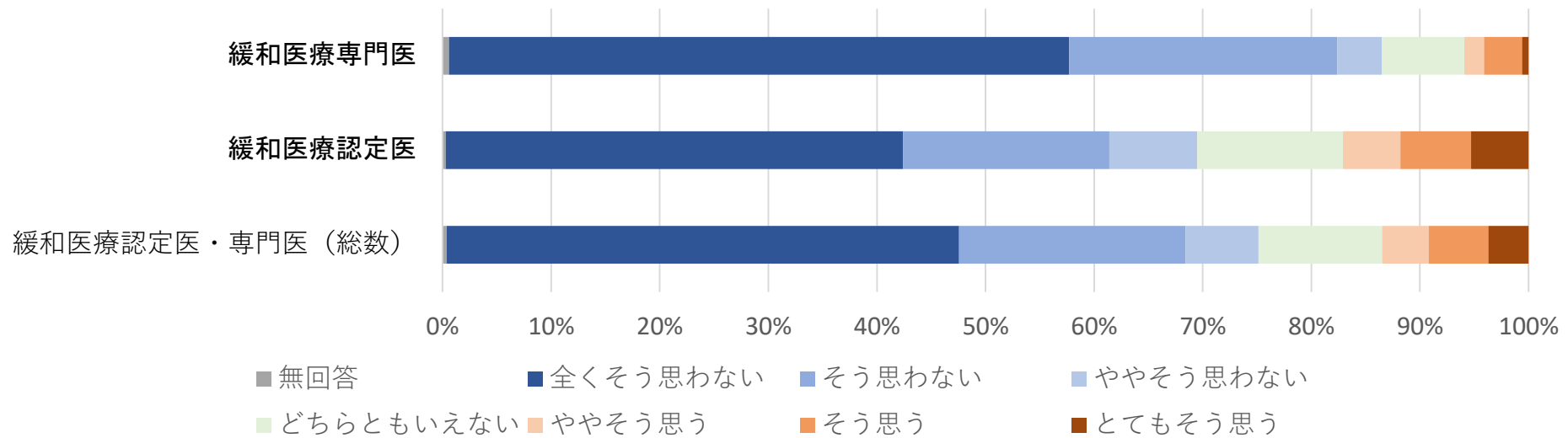
全くそう思わない129名 (26.2%) 　 そう思わない167名 (33.9%) 　 ややそう思わない54名 (11.0%) 　 どちらともいえない81名 (16.5%)  
 ややそう思う33名 (6.7%) 　 そう思う14名 (2.8%) 　 とてもそう思う8名 (1.6%) 　 無回答6名 (1.2%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 10) 自施設での導入が容認されない



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない97名（57.1%） そう思わない42名（24.7%） ややそう思わない7名（4.1%） どちらともいえない13名（7.6%）  
ややそう思う3名（1.8%） そう思う6名（3.5%） とてもそう思う1名（0.6%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない135名（42.1%） そう思わない61名（19.0%） ややそう思わない26名（8.1%） どちらともいえない43名（13.4%）  
ややそう思う17名（5.3%） そう思う21名（6.5%） とてもそう思う17名（5.3%） 無回答1名（0.3%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない232名（47.2%） そう思わない103名（20.9%） ややそう思わない33名（6.7%） どちらともいえない56名（11.4%）  
ややそう思う21名（4.3%） そう思う27名（5.5%） とてもそう思う18名（3.7%） 無回答2名（0.4%）

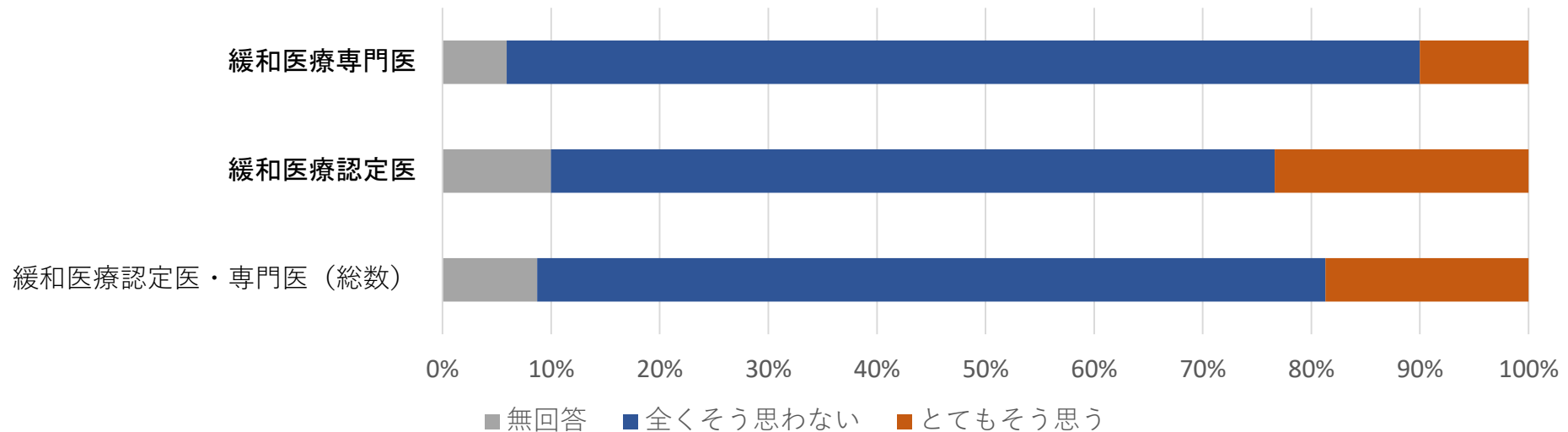


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



緩和医療専門医：  
全くそう思わない143名（84.1％） とてもそう思う17名（10.0％） 無回答10名（5.9％）

緩和医療認定医：  
全くそう思わない214名（66.7％） とてもそう思う75名（23.4％） 無回答32名（10.0％）

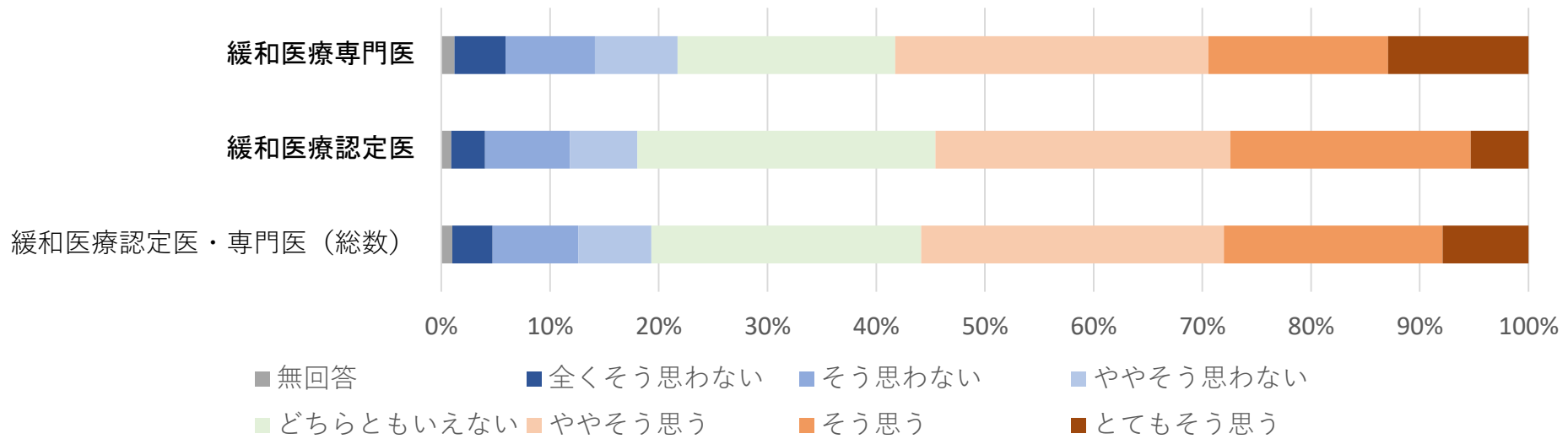
緩和医療専門医・認定医（総数）：  
全くそう思わない357名（72.6％） とてもそう思う92名（18.7％） 無回答43名（8.7％）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である



緩和医療専門医：  
 全くそう思わない8名（4.7%） そう思わない14名（8.2%） ややそう思わない13名（7.6%） どちらともいえない34名（20.0%）  
 ややそう思う49名（28.8%） そう思う28名（16.5%） とてもそう思う22名（12.9%） 無回答2名（1.2%）

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない10名（3.1%） そう思わない25名（7.8%） ややそう思わない20名（6.2%） どちらともいえない88名（27.4%）  
 ややそう思う87名（27.1%） そう思う71名（22.1%） とてもそう思う17名（5.3%） 無回答3名（0.9%）

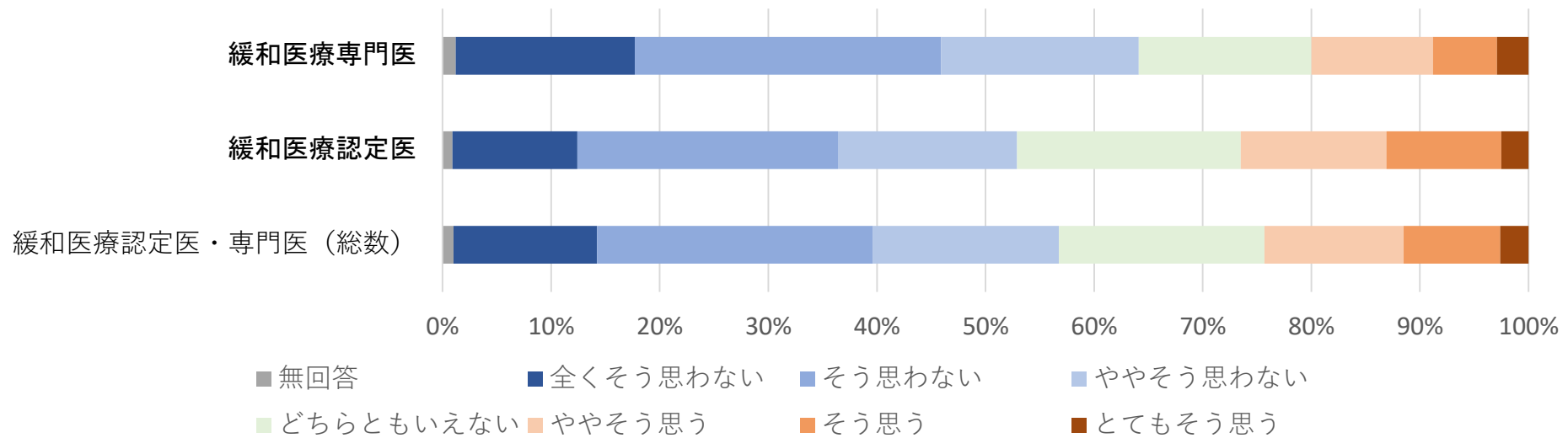
緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない18名（3.7%） そう思わない39名（7.9%） ややそう思わない33名（6.7%） どちらともいえない122名（24.8%）  
 ややそう思う137名（27.8%） そう思う99名（20.1%） とてもそう思う39名（7.9%） 無回答5名（1.0%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 処方する施設の集約化を地域ですすめるべきである



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない28名 (16.5%) 　 そう思わない48名 (28.2%) 　 ややそう思わない31名 (18.2%) 　 どちらともいえない27名 (15.9%)  
 ややそう思う19名 (11.2%) 　 そう思う10名 (5.9%) 　 とてもそう思う5名 (2.9%) 　 無回答2名 (1.2%)

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない37名 (11.5%) 　 そう思わない77名 (24.0%) 　 ややそう思わない53名 (16.5%) 　 どちらともいえない66名 (20.6%)  
 ややそう思う43名 (13.4%) 　 そう思う34名 (10.6%) 　 とてもそう思う8名 (2.5%) 　 無回答3名 (0.9%)

#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

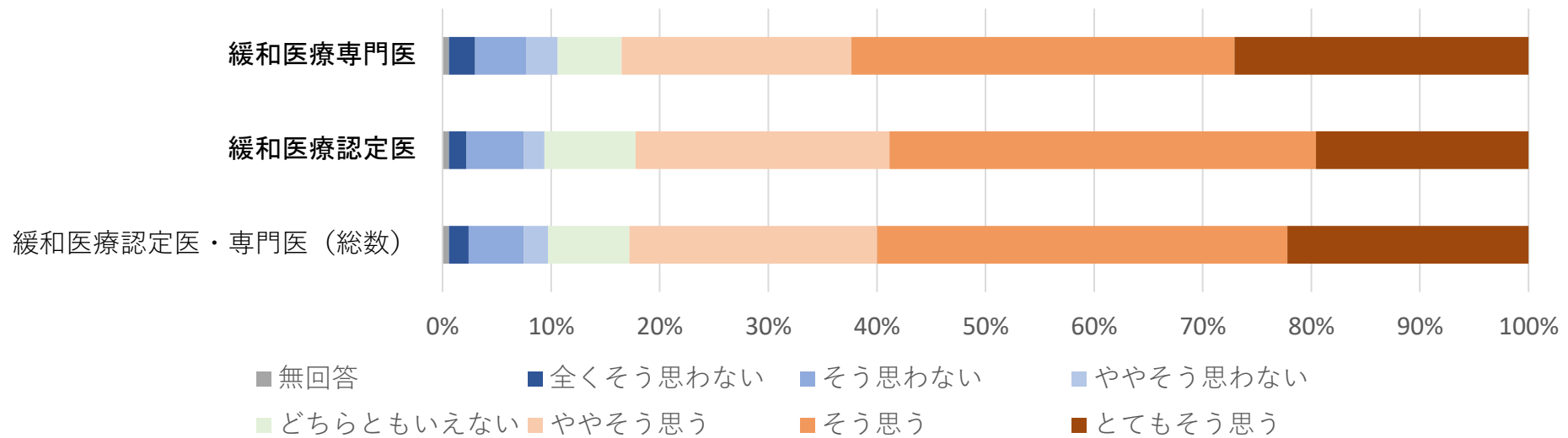
全くそう思わない65名 (13.2%) 　 そう思わない125名 (25.4%) 　 ややそう思わない84名 (17.1%) 　 どちらともいえない93名 (18.9%)  
 ややそう思う63名 (12.8%) 　 そう思う44名 (8.9%) 　 とてもそう思う13名 (2.6%) 　 無回答5名 (1.0%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 4) 処方した場合、患者を紹介する施設が限られる



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない4名（2.4%） そう思わない8名（4.7%） ややそう思わない5名（2.9%） どちらともいえない10名（5.9%）  
 ややそう思う36名（21.2%） そう思う60名（35.3%） とてもそう思う46名（27.1%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない5名（1.6%） そう思わない17名（5.3%） ややそう思わない6名（1.9%） どちらともいえない27名（8.4%）  
 ややそう思う75名（23.4%） そう思う126名（39.3%） とてもそう思う63名（19.6%） 無回答2名（0.6%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

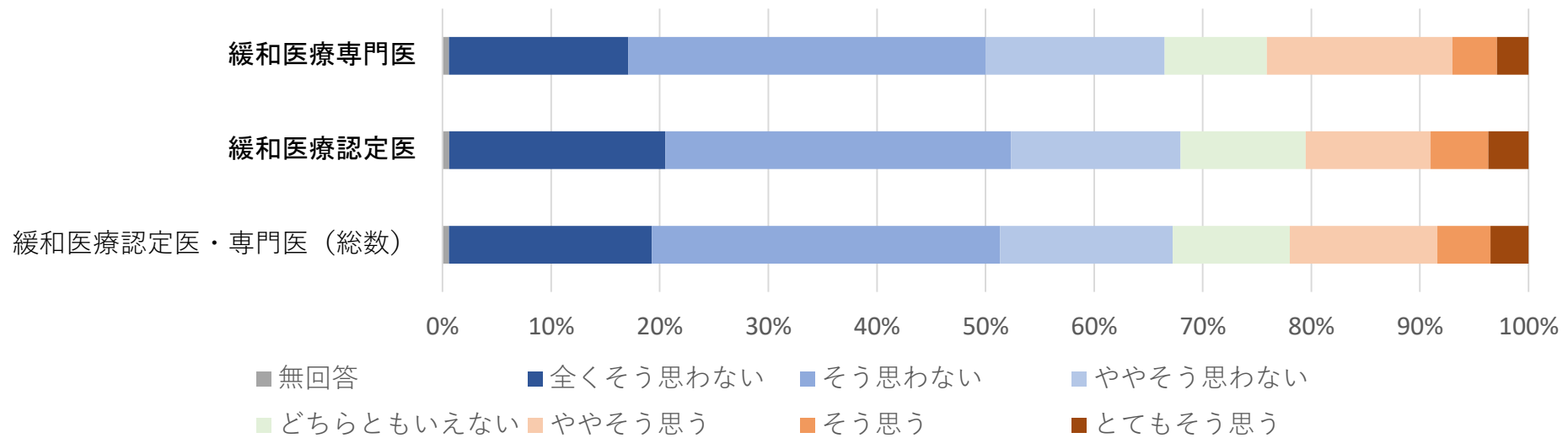
全くそう思わない9名（1.8%） そう思わない25名（5.1%） ややそう思わない11名（2.2%） どちらともいえない37名（7.5%）  
 ややそう思う112名（22.8%） そう思う186名（37.8%） とてもそう思う109名（22.2%） 無回答3名（0.6%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 5) Q T 延長を確認するために定期的に心電図検査を行うことが難しい



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない28名（16.5%） そう思わない56名（32.9%） ややそう思わない28名（16.5%） どちらともいえない16名（9.4%）  
ややそう思う29名（17.1%） そう思う7名（4.1%） とてもそう思う5名（2.9%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない64名（19.9%） そう思わない102名（31.8%） ややそう思わない50名（15.6%） どちらともいえない37名（11.5%）  
ややそう思う37名（11.5%） そう思う17名（5.3%） とてもそう思う12名（3.7%） 無回答2名（0.6%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

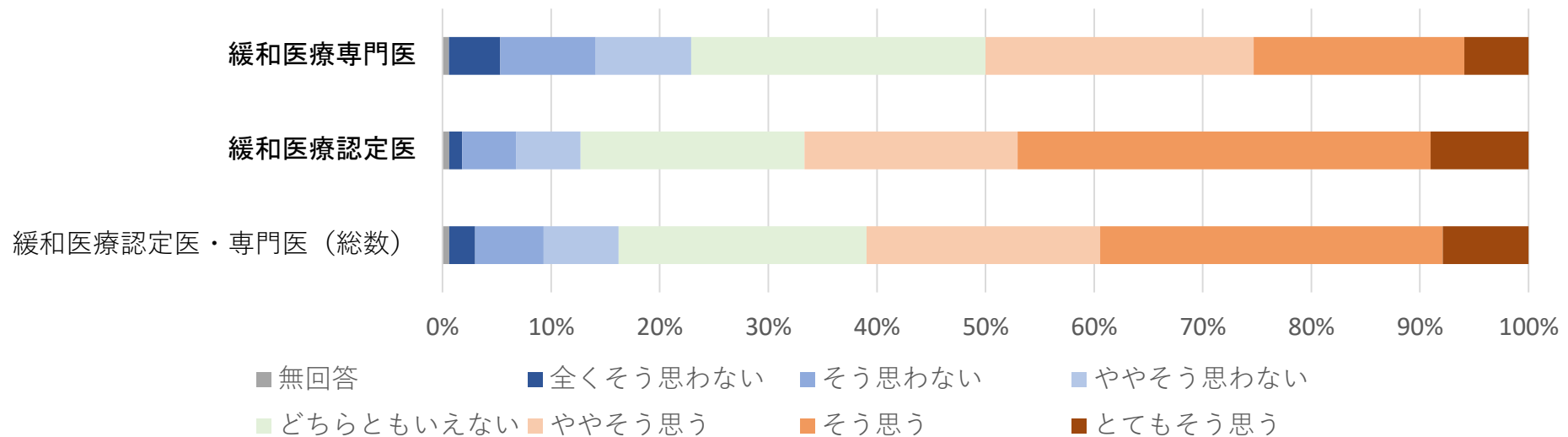
全くそう思わない92名（18.7%） そう思わない158名（32.1%） ややそう思わない78名（15.9%） どちらともいえない53名（10.8%）  
ややそう思う67名（13.6%） そう思う24名（4.9%） とてもそう思う17名（3.5%） 無回答3名（0.6%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 6) 処方を行う前には鎮痛補助薬を積極的に処方すべきである



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない8名（4.7%） そう思わない15名（8.8%） ややそう思わない15名（8.8%） どちらともいえない46名（27.1%）  
ややそう思う42名（24.7%） そう思う33名（19.4%） とてもそう思う10名（5.9%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない4名（1.2%） そう思わない16名（5.0%） ややそう思わない19名（5.9%） どちらともいえない66名（20.6%）  
ややそう思う63名（19.6%） そう思う122名（38.0%） とてもそう思う29名（9.0%） 無回答2名（0.6%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

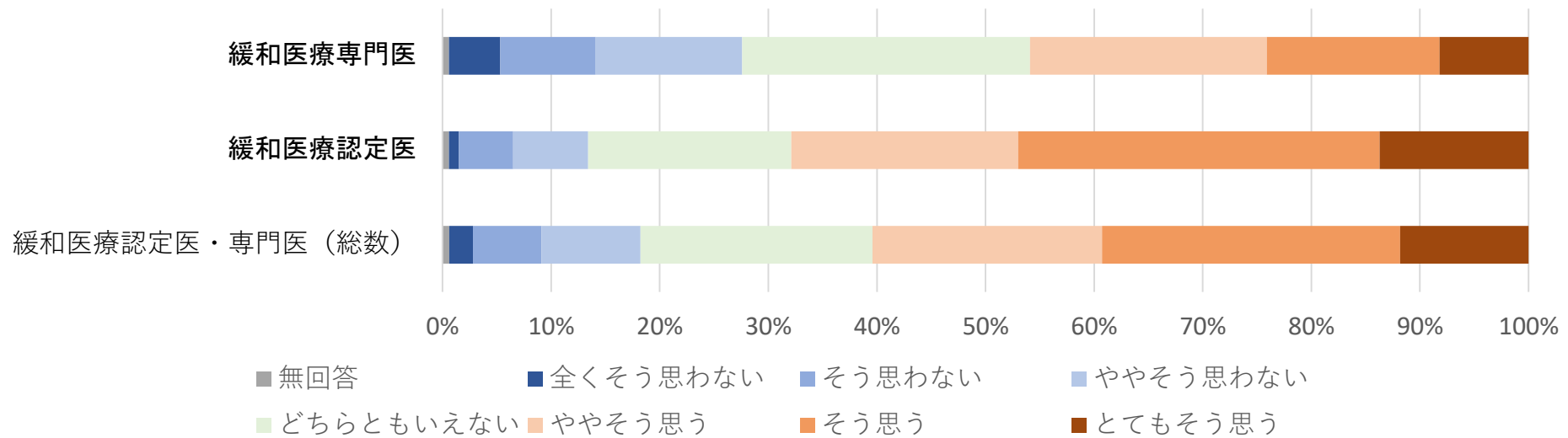
全くそう思わない12名（2.4%） そう思わない31名（6.3%） ややそう思わない34名（6.9%） どちらともいえない112名（22.8%）  
ややそう思う106名（21.5%） そう思う155名（31.5%） とてもそう思う39名（7.9%） 無回答3名（0.6%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 7) 処方を行う前にはメサドン以外でオピオイドスイッチングを行うべきである



緩和医療専門医：  
 全くそう思わない8名（4.7%） そう思わない15名（8.8%） ややそう思わない23名（13.5%） どちらともいえない45名（26.5%）  
 ややそう思う37名（21.8%） そう思う27名（15.9%） とてもそう思う14名（8.2%） 無回答1名（0.6%）

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない3名（0.9%） そう思わない16名（5.0%） ややそう思わない22名（6.9%） どちらともいえない60名（18.7%）  
 ややそう思う67名（20.9%） そう思う107名（33.3%） とてもそう思う44名（13.7%） 無回答2名（0.6%）

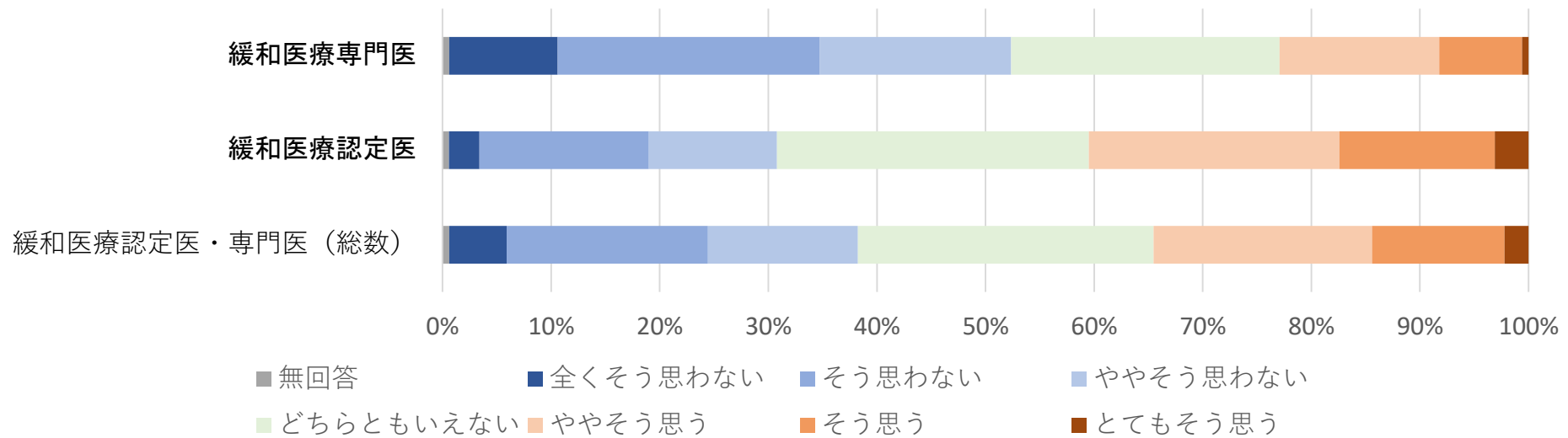
緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない11名（2.2%） そう思わない31名（6.3%） ややそう思わない45名（9.1%） どちらともいえない105名（21.3%）  
 ややそう思う104名（21.1%） そう思う135名（27.4%） とてもそう思う58名（11.8%） 無回答3名（0.6%）

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 8) 個体差の大きい薬物動態を持つ薬物は避けるべきである



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない17名 (10.0%) そう思わない41名 (24.1%) ややそう思わない30名 (17.6%) どちらともいえない42名 (24.7%)  
 ややそう思う25名 (14.7%) そう思う13名 (7.6%) とてもそう思う1名 (0.6%) 無回答1名 (0.6%)

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない9名 (2.8%) そう思わない50名 (15.6%) ややそう思わない38名 (11.8%) どちらともいえない92名 (28.7%)  
 ややそう思う74名 (23.1%) そう思う46名 (14.3%) とてもそう思う10名 (3.1%) 無回答2名 (0.6%)

#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

全くそう思わない26名 (5.3%) そう思わない91名 (18.5%) ややそう思わない68名 (13.8%) どちらともいえない134名 (27.2%)  
 ややそう思う99名 (20.1%) そう思う60名 (12.2%) とてもそう思う11名 (2.2%) 無回答3名 (0.6%)

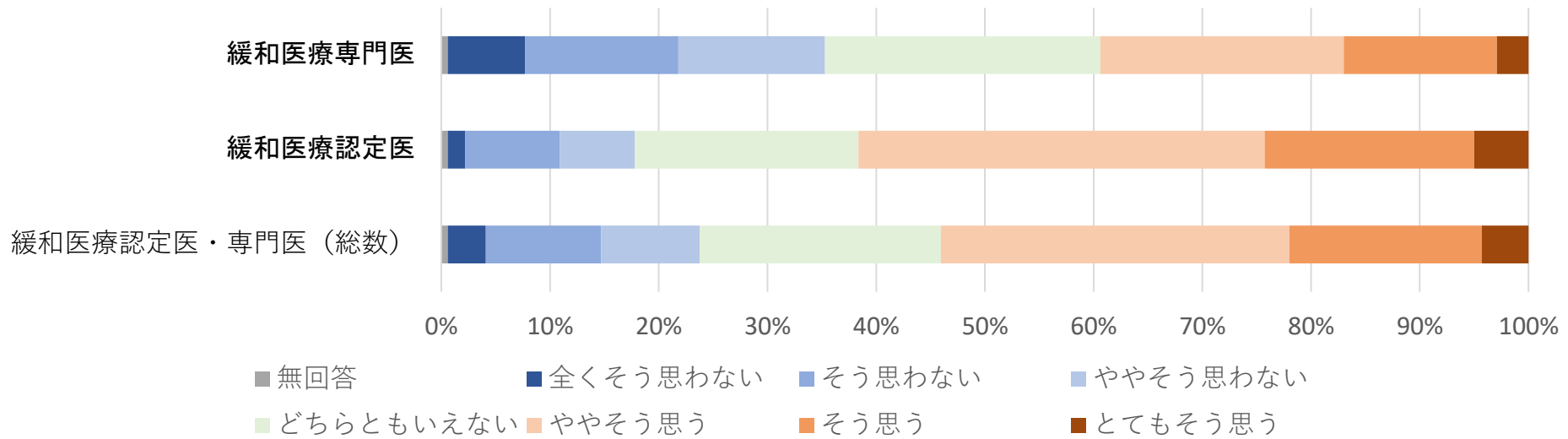


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 19) 他の薬物との相互作用が多い薬物は避けるべきである



緩和医療専門医：  
 全くそう思わない12名（7.1%） そう思わない24名（14.1%） ややそう思わない23名（13.5%） どちらともいえない43名（25.3%）  
 ややそう思う38名（22.4%） そう思う24名（14.1%） とてもそう思う5名（2.9%） 無回答1名（0.6%）

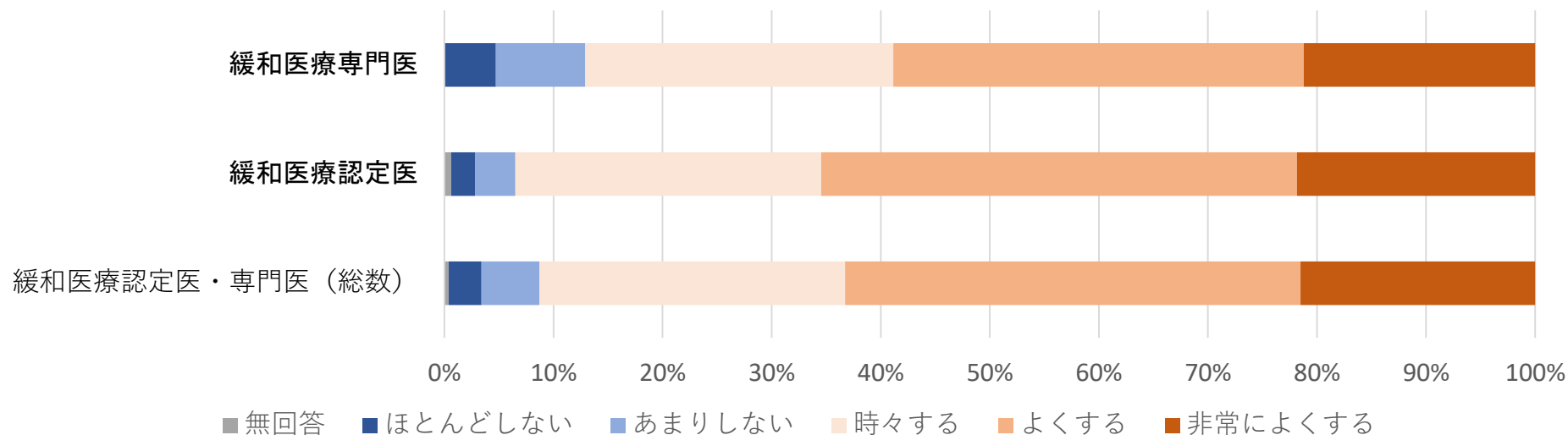
緩和医療認定医：  
 全くそう思わない5名（1.6%） そう思わない28名（8.7%） ややそう思わない22名（6.9%） どちらともいえない66名（20.6%）  
 ややそう思う120名（37.4%） そう思う62名（19.3%） とてもそう思う16名（5.0%） 無回答2名（0.6%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない17名（3.5%） そう思わない52名（10.6%） ややそう思わない45名（9.1%） どちらともいえない109名（22.2%）  
 ややそう思う158名（32.1%） そう思う87名（17.7%） とてもそう思う21名（4.3%） 無回答3名（0.6%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 自分で本やインターネットの情報を調べる



緩和医療専門医：

ほとんどしない8名（4.7%） あまりしない14名（8.2%）  
時々する48名（28.2%） よくする64名（37.6%） 非常によくする36名（21.2%） 無回答0名（0%）

緩和医療認定医：

ほとんどしない7名（2.2%） あまりしない12名（3.7%）  
時々する90名（28.0%） よくする140名（43.6%） 非常によくする70名（21.8%） 無回答2名（0.6%）

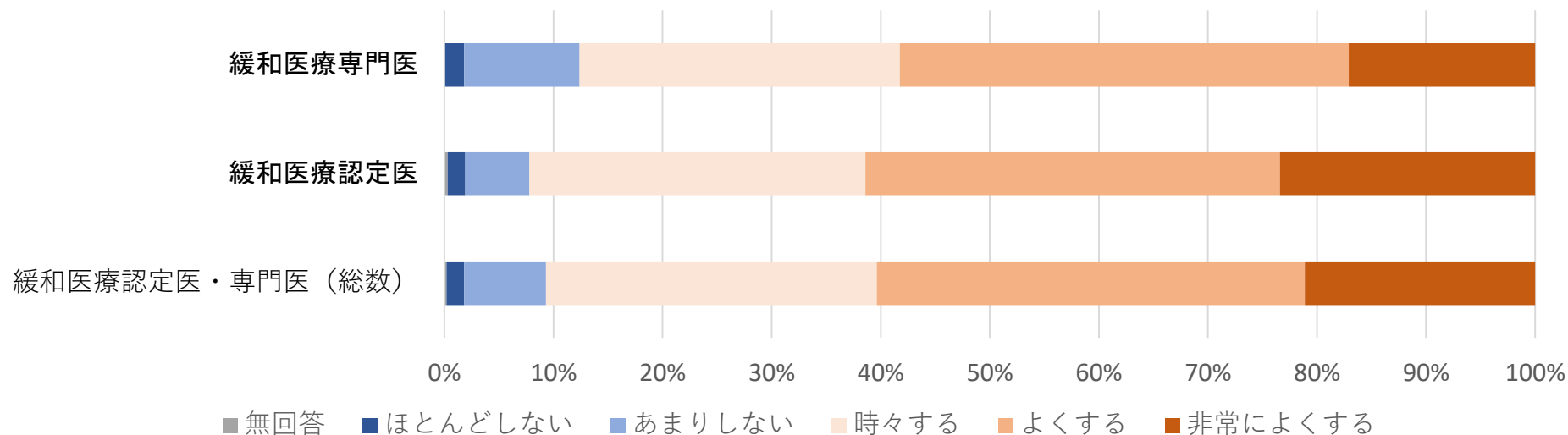
緩和医療専門医・認定医（総数）：

ほとんどしない15名（3.0%） あまりしない26名（5.3%）  
時々する138名（28.0%） よくする205名（41.7%） 非常によくする106名（21.5%） 無回答2名（0.4%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

2) 自分でがんの痛みの治療に関するガイドラインを確認する



緩和医療専門医：

ほとんどしない3名（1.8％） あまりしない18名（10.6％）  
時々する50名（29.4％） よくする70名（41.2％） 非常によくする29名（17.1％） 無回答0名（0％）

緩和医療認定医：

ほとんどしない5名（1.6％） あまりしない19名（5.9％）  
時々する99名（30.8％） よくする122名（38.0％） 非常によくする75名（23.4％） 無回答1名（0.3％）

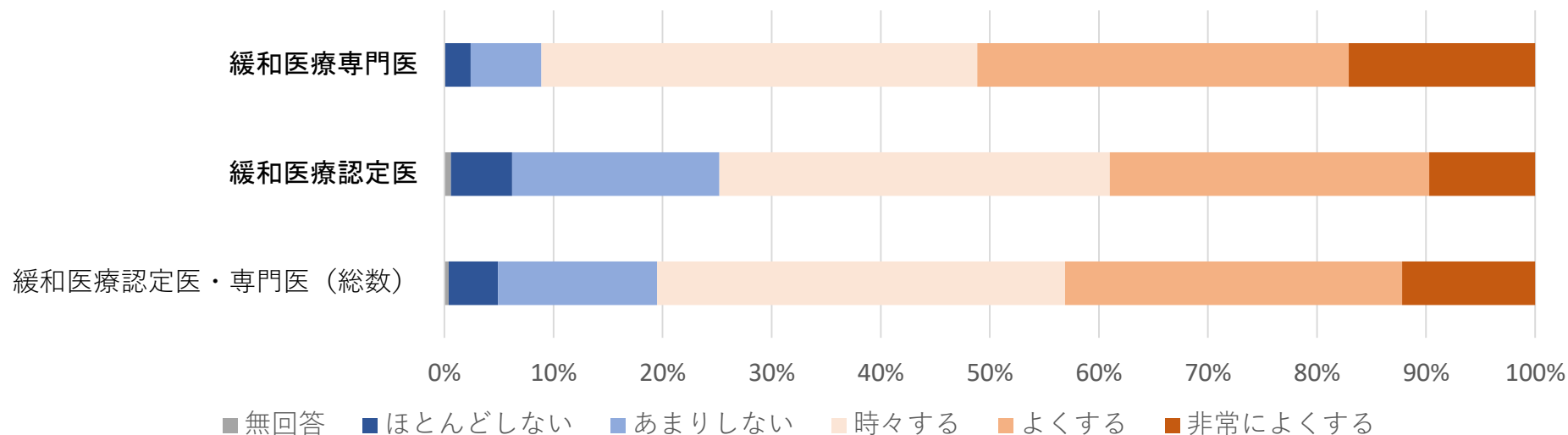
緩和医療専門医・認定医（総数）：

ほとんどしない8名（1.6％） あまりしない37名（7.5％）  
時々する149名（30.3％） よくする193名（39.2％） 非常によくする104名（21.1％） 無回答1名（0.2％）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) 自分で国内外の論文を調べる



緩和医療専門医：  
ほとんどしない4名（2.4％） あまりしない11名（6.5％）  
時々する68名（40.0％） よくする58名（34.1％） 非常によくする29名（17.1％） 無回答0名（0％）

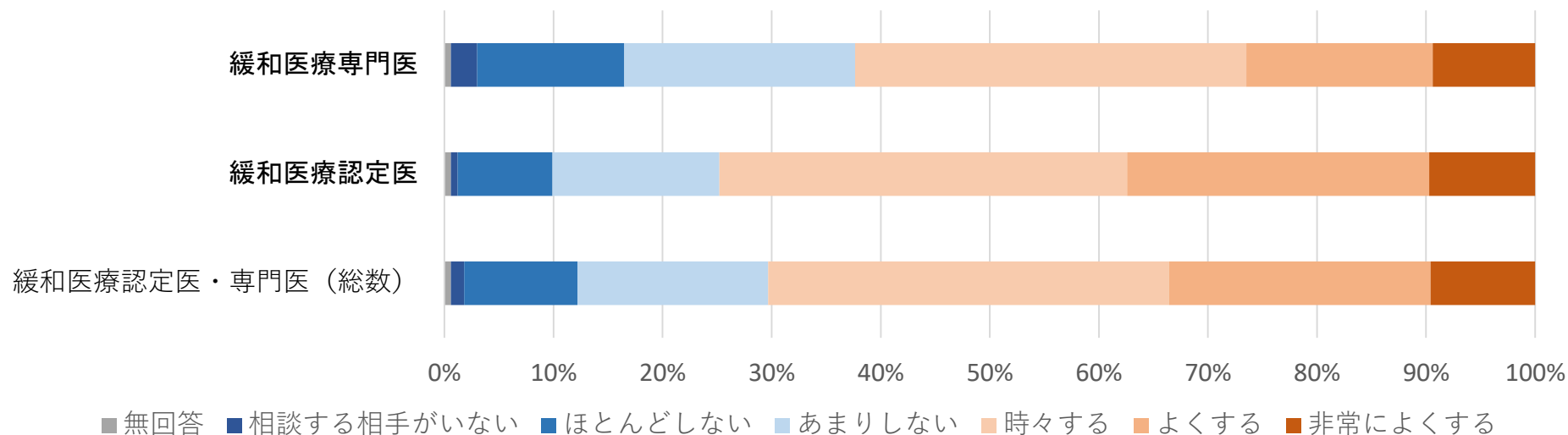
緩和医療認定医：  
ほとんどしない18名（5.6％） あまりしない61名（19.0％）  
時々する115名（35.8％） よくする94名（29.3％） 非常によくする31名（9.7％） 無回答2名（0.6％）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
ほとんどしない22名（4.5％） あまりしない72名（14.6％）  
時々する184名（37.4％） よくする152名（30.9％） 非常によくする60名（12.2％） 無回答2名（0.4％）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 4) 看護師や薬剤師に他の方法をきく



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない4名（2.4%） ほとんどしない23名（13.5%） あまりしない36名（21.2%）  
時々する61名（35.9%） よくする29名（17.1%） 非常によくする16名（9.4%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない2名（0.6%） ほとんどしない28名（8.7%） あまりしない49名（15.3%）  
時々する120名（37.4%） よくする89名（27.7%） 非常によくする31名（9.7%） 無回答2名（0.6%）

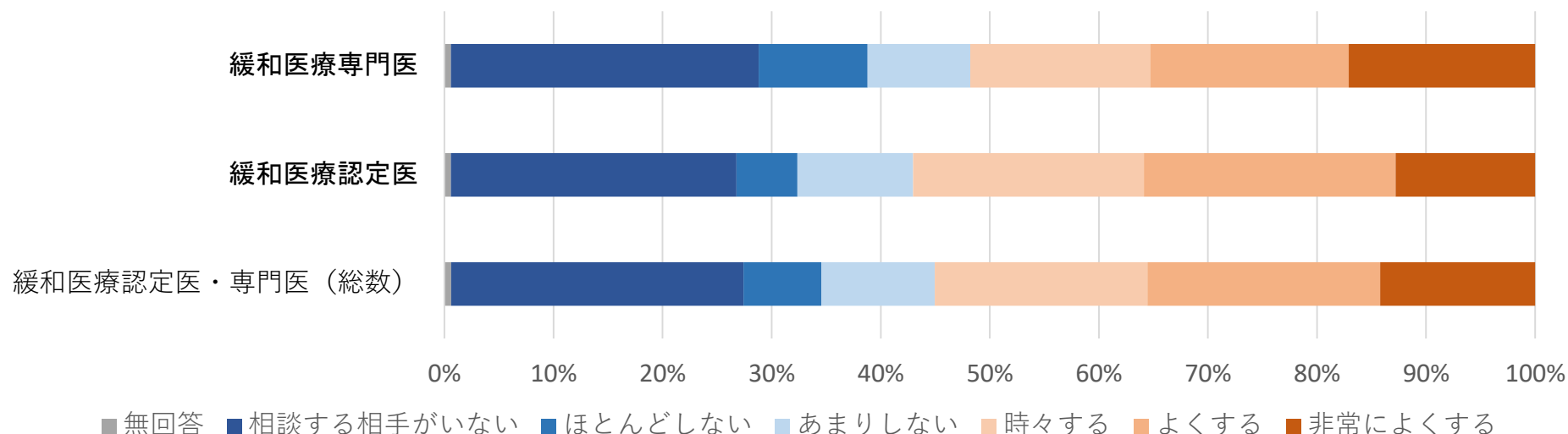
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

相談する相手がない6名（1.2%） ほとんどしない51名（10.4%） あまりしない86名（17.5%）  
時々する181名（36.8%） よくする118名（24.0%） 非常によくする47名（9.6%） 無回答3名（0.6%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 院内の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない48名（28.2%） ほとんどしない17名（10.0%） あまりしない16名（9.4%）  
時々する28名（16.5%） よくする31名（18.2%） 非常によくする29名（17.1%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない84名（26.2%） ほとんどしない18名（5.6%） あまりしない34名（10.6%）  
時々する68名（21.2%） よくする74名（23.1%） 非常によくする41名（12.8%） 無回答2名（0.6%）

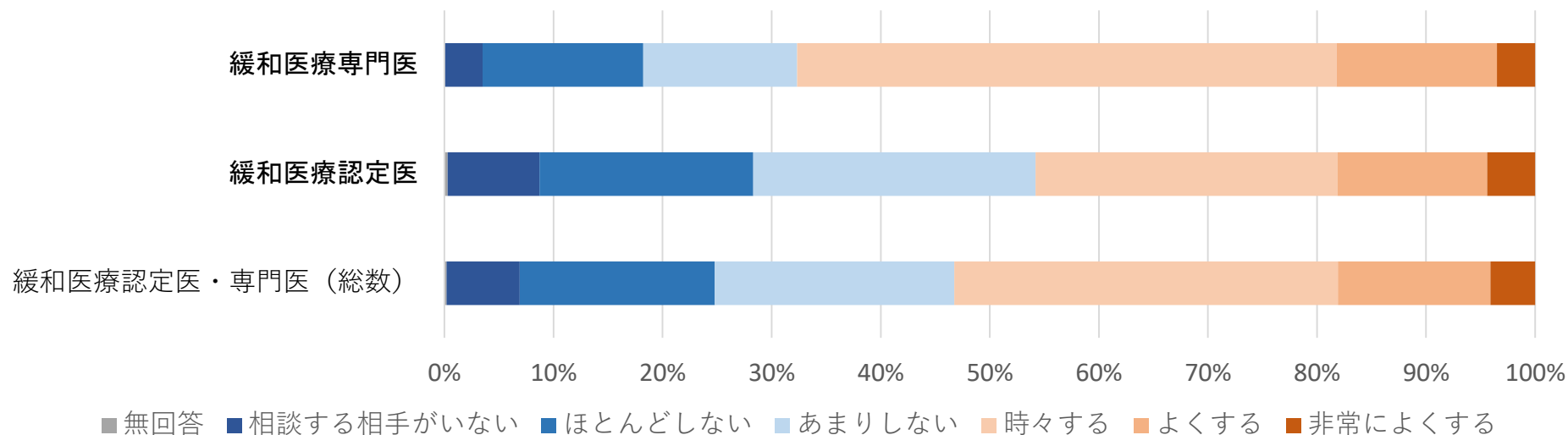
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

相談する相手がない132名（26.8%） ほとんどしない35名（7.1%） あまりしない51名（10.4%）  
時々する96名（19.5%） よくする105名（21.3%） 非常によくする70名（14.2%） 無回答3名（0.6%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 6) 院外の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない6名 (3.5%) ほとんどしない25名 (14.7%) あまりしない24名 (14.1%)  
時々する84名 (49.4%) よくする25名 (14.7%) 非常によくする6名 (3.5%) 無回答0名 (0%)

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない27名 (8.4%) ほとんどしない63名 (19.6%) あまりしない83名 (25.9%)  
時々する89名 (27.7%) よくする44名 (13.7%) 非常によくする14名 (4.4%) 無回答1名 (0.3%)

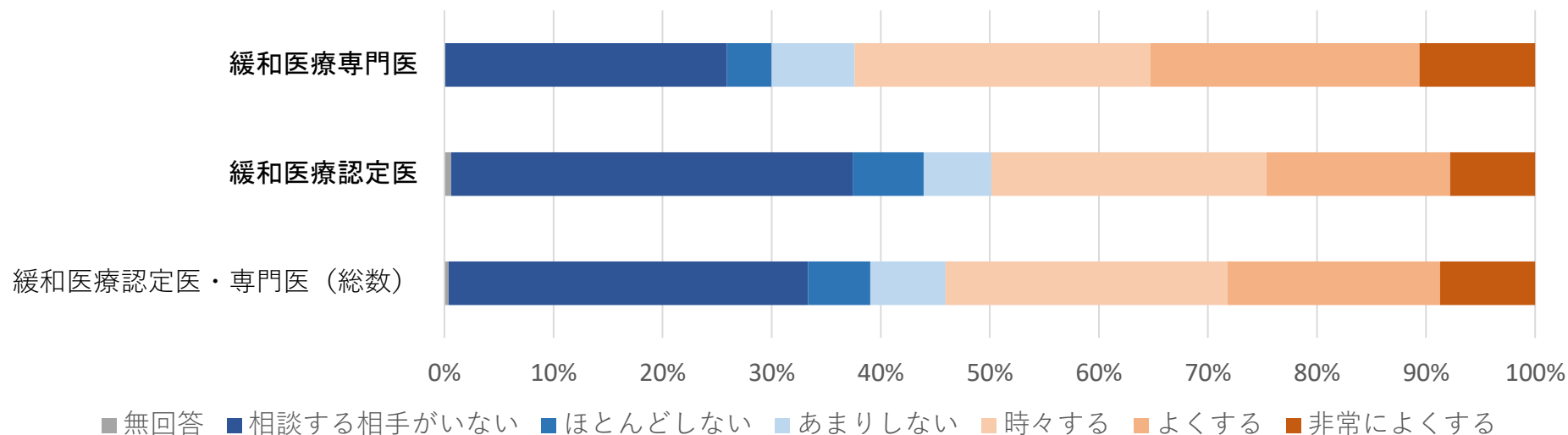
#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

相談する相手がない33名 (6.7%) ほとんどしない88名 (17.9%) あまりしない108名 (22.0%)  
時々する173名 (35.2%) よくする69名 (14.0%) 非常によくする20名 (4.1%) 無回答1名 (0.2%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 院内の放射線治療医に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない44名（25.9％） ほとんどしない7名（4.1％） あまりしない13名（7.6％）  
時々する46名（27.1％） よくする42名（24.7％） 非常によくする18名（10.6％） 無回答0名（0％）

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない118名（36.8％） ほとんどしない21名（6.5％） あまりしない20名（6.2％）  
時々する81名（25.2％） よくする54名（16.8％） 非常によくする25名（7.8％） 無回答2名（0.6％）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

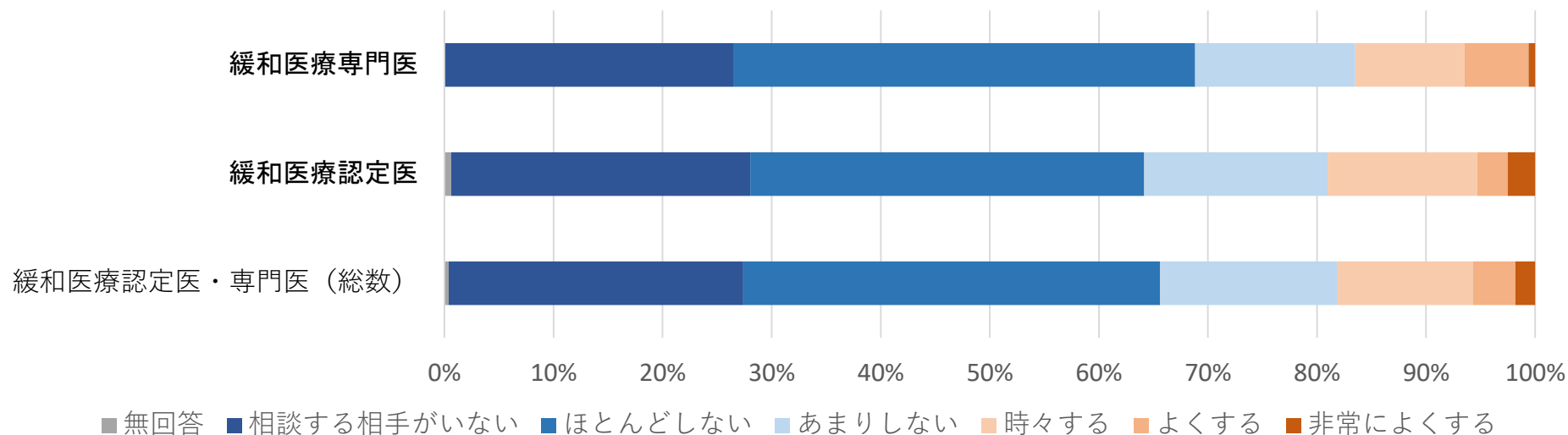
相談する相手がない162名（32.9％） ほとんどしない28名（5.7％） あまりしない34名（6.9％）  
時々する127名（25.8％） よくする96名（19.5％） 非常によくする43名（8.7％） 無回答2名（0.4％）



## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 8) 院外の放射線治療医に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない45名 (26.5%) ほとんどしない72名 (42.4%) あまりしない25名 (14.7%)  
時々する17名 (10.0%) よくする10名 (5.9%) 非常によくする1名 (0.6%) 無回答0名 (0%)

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない88名 (27.4%) ほとんどしない116名 (36.1%) あまりしない54名 (16.8%)  
時々する44名 (13.7%) よくする9名 (2.8%) 非常によくする8名 (2.5%) 無回答2名 (0.6%)

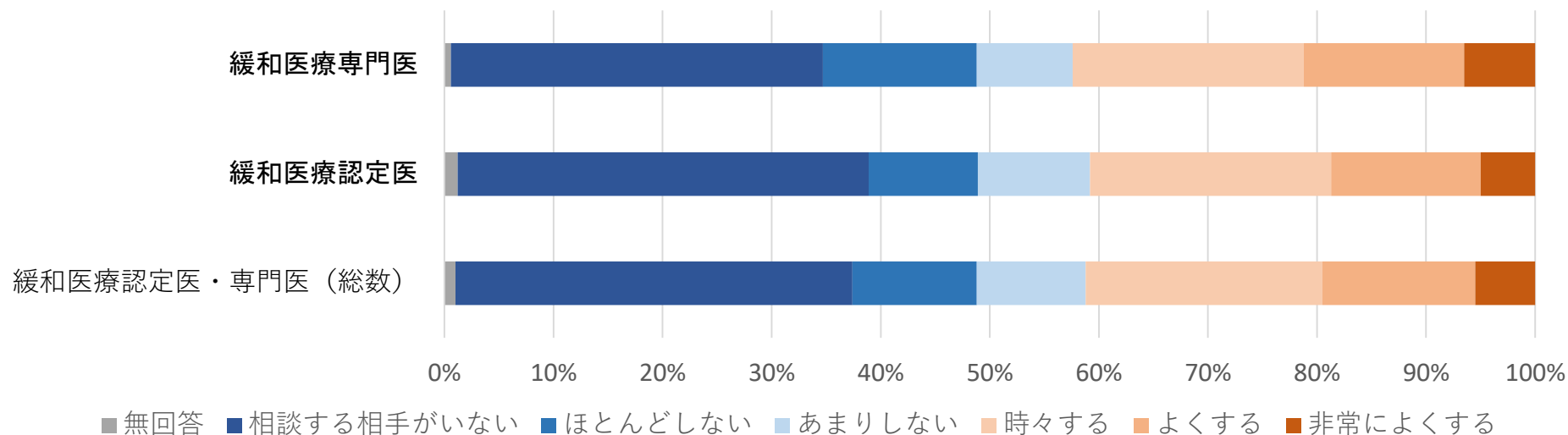
#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

相談する相手がない133名 (27.0%) ほとんどしない188名 (38.2%) あまりしない80名 (16.3%)  
時々する61名 (12.4%) よくする19名 (3.9%) 非常によくする9名 (1.8%) 無回答2名 (0.4%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 院内のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない58名（34.1%） ほとんどしない24名（14.1%） あまりしない15名（8.8%）  
時々する36名（21.2%） よくする25名（14.7%） 非常によくする11名（6.5%） 無回答1名（0.6%）

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない121名（37.7%） ほとんどしない32名（10.0%） あまりしない33名（10.3%）  
時々する71名（22.1%） よくする44名（13.7%） 非常によくする16名（5.0%） 無回答4名（1.2%）

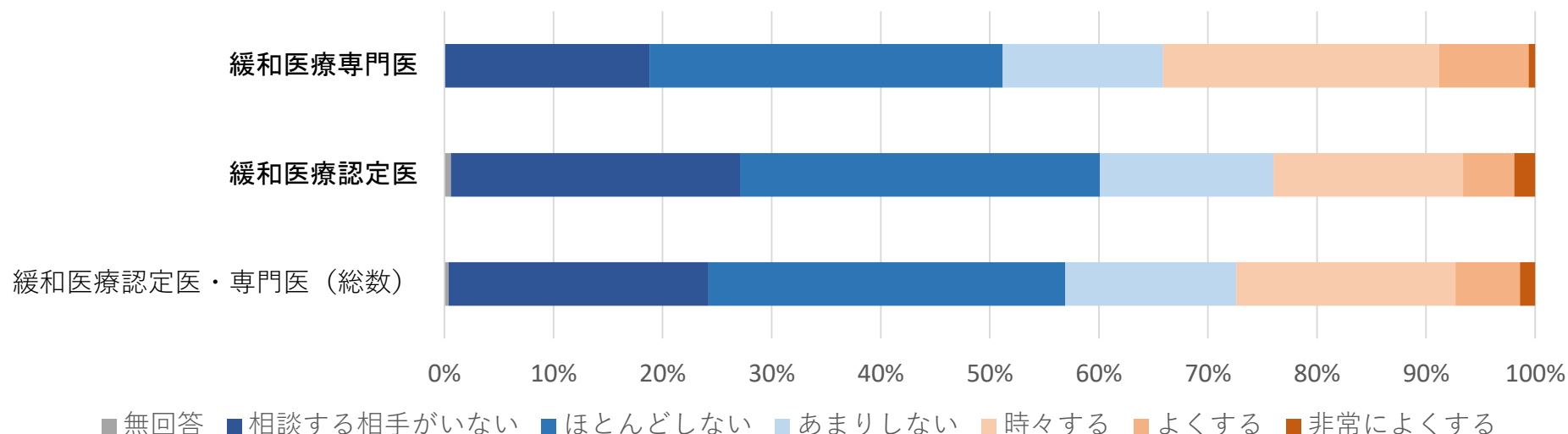
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

相談する相手がない179名（36.4%） ほとんどしない56名（11.4%） あまりしない49名（10.0%）  
時々する107名（21.7%） よくする69名（14.0%） 非常によくする27名（5.5%） 無回答5名（1.0%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 10) 院外のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない32名（18.8%） ほとんどしない55名（32.4%） あまりしない25名（14.7%）  
時々する43名（25.3%） よくする14名（8.2%） 非常によくする1名（0.6%） 無回答0名（0%）

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない85名（26.5%） ほとんどしない106名（33.0%） あまりしない51名（15.9%）  
時々する56名（17.4%） よくする15名（4.7%） 非常によくする6名（1.9%） 無回答2名（0.6%）

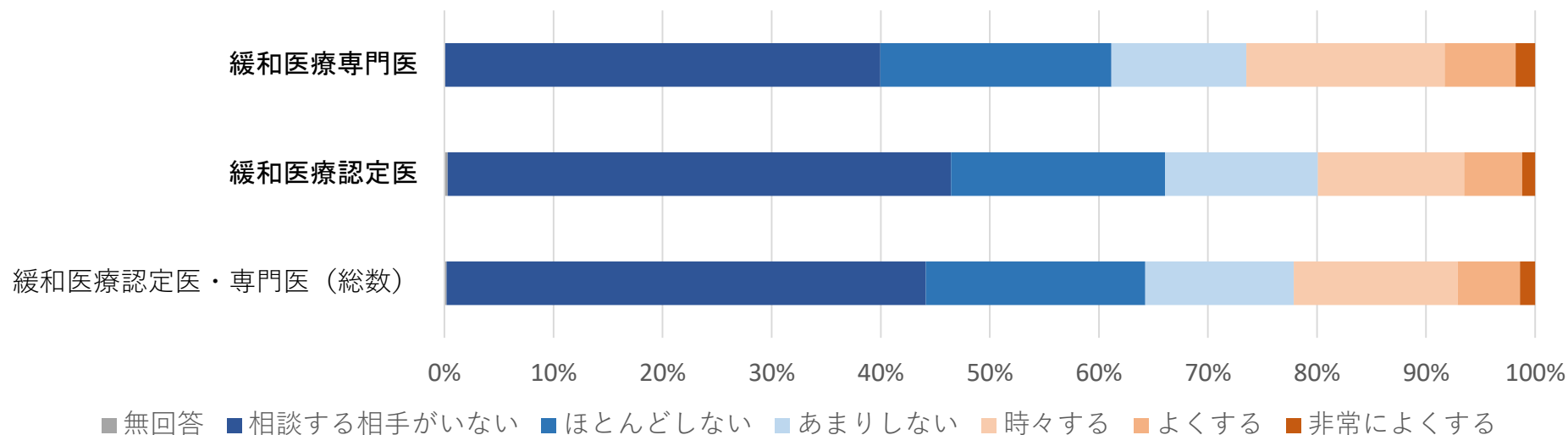
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

相談する相手がない117名（23.8%） ほとんどしない161名（32.7%） あまりしない77名（15.7%）  
時々する99名（20.1%） よくする29名（5.9%） 非常によくする7名（1.4%） 無回答2名（0.4%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 院内の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



#### 緩和医療専門医：

相談する相手がない68名 (40.0%) ほとんどしない36名 (21.2%) あまりしない21名 (12.4%)  
時々する31名 (18.2%) よくする11名 (6.5%) 非常によくする3名 (1.8%) 無回答0名 (0%)

#### 緩和医療認定医：

相談する相手がない148名 (46.1%) ほとんどしない63名 (19.6%) あまりしない45名 (14.0%)  
時々する43名 (13.4%) よくする17名 (5.3%) 非常によくする4名 (1.2%) 無回答1名 (0.3%)

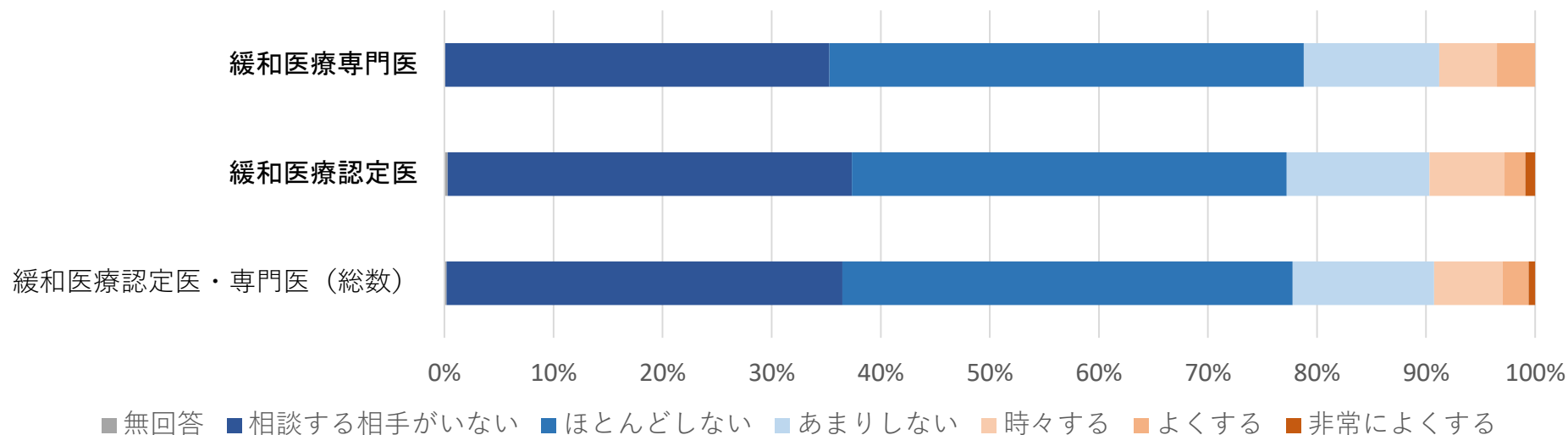
#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

相談する相手がない216名 (43.9%) ほとんどしない99名 (20.1%) あまりしない67名 (13.6%)  
時々する74名 (15.0%) よくする28名 (5.7%) 非常によくする7名 (1.4%) 無回答1名 (0.2%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 2) 院外の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



緩和医療専門医：

相談する相手がない60名 (35.3%) ほとんどしない74名 (43.5%) あまりしない21名 (12.4%)  
時々する9名 (5.3%) よくする6名 (3.5%) 非常によくする0名 (0%) 無回答0名 (0%)

緩和医療認定医：

相談する相手がない119名 (37.1%) ほとんどしない128名 (39.9%) あまりしない42名 (13.1%)  
時々する22名 (6.9%) よくする6名 (1.9%) 非常によくする3名 (1.9%) 無回答1名 (0.3%)

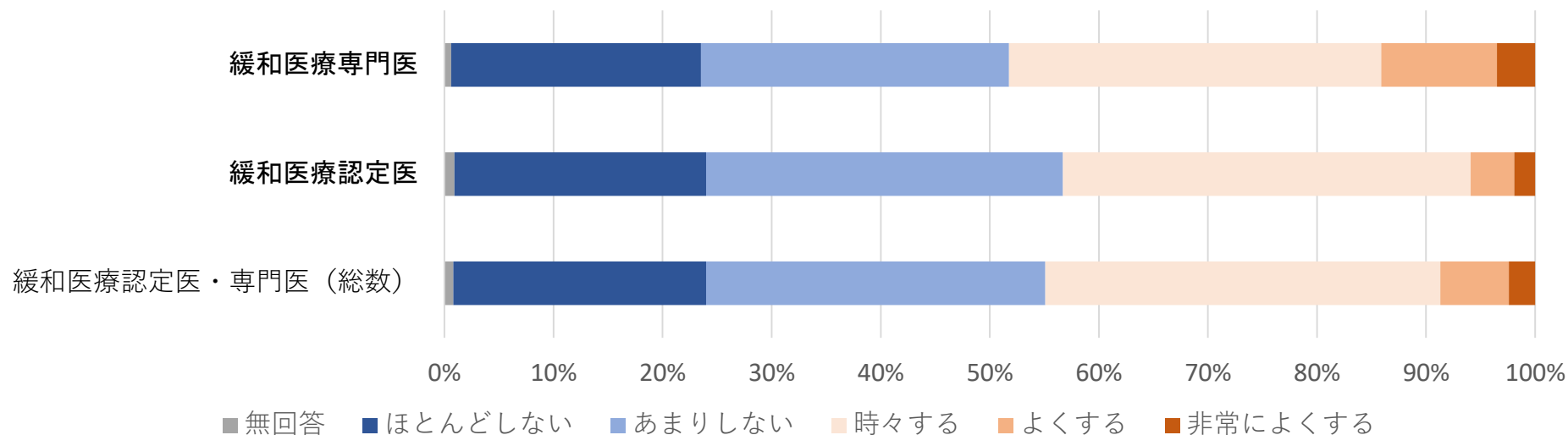
緩和医療専門医・認定医 (総数)：

相談する相手がない179名 (36.4%) ほとんどしない202名 (41.1%) あまりしない64名 (13.0%)  
時々する31名 (6.3%) よくする12名 (2.4%) 非常によくする3名 (0.6%) 無回答1名 (0.2%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 痛みをこれ以上和らげることが難しいことを患者に説明する



緩和医療専門医：

ほとんどしない39名（22.9%） あまりしない48名（28.2%）  
時々する58名（34.1%） よくする18名（10.6%） 非常によくする6名（3.5%） 無回答1名（0.6%）

緩和医療認定医：

ほとんどしない74名（23.1%） あまりしない105名（32.7%）  
時々する120名（37.4%） よくする13名（4.0%） 非常によくする6名（1.9%） 無回答3名（0.9%）

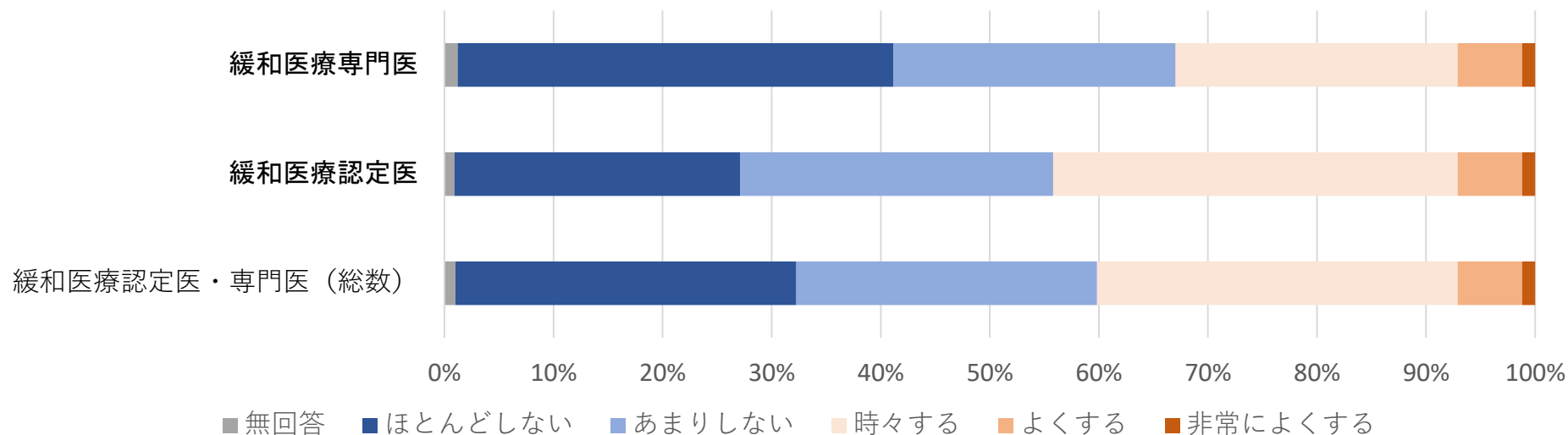
緩和医療専門医・認定医（総数）：

ほとんどしない114名（23.2%） あまりしない153名（31.1%）  
時々する178名（36.2%） よくする31名（6.3%） 非常によくする12名（2.4%） 無回答4名（0.8%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 4) せん妄や呼吸困難は伴わない患者で、治療抵抗性の痛みを緩和することを目的として鎮静薬を投与する



緩和医療専門医：  
ほとんどしない68名（40.0%） あまりしない44名（25.9%）  
時々する44名（25.9%） よくする10名（5.9%） 非常によくする2名（1.2%） 無回答2名（1.2%）

緩和医療認定医：  
ほとんどしない84名（26.2%） あまりしない92名（28.7%）  
時々する119名（37.1%） よくする19名（5.9%） 非常によくする4名（1.2%） 無回答3名（0.9%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
ほとんどしない153名（31.1%） あまりしない136名（27.6%）  
時々する163名（33.1%） よくする29名（5.9%） 非常によくする6名（1.2%） 無回答5名（1.0%）

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

2. 上記以外に、がんの痛みが十分に緩和されない時に、あなたが取る対応があれば下記にご記入ください。

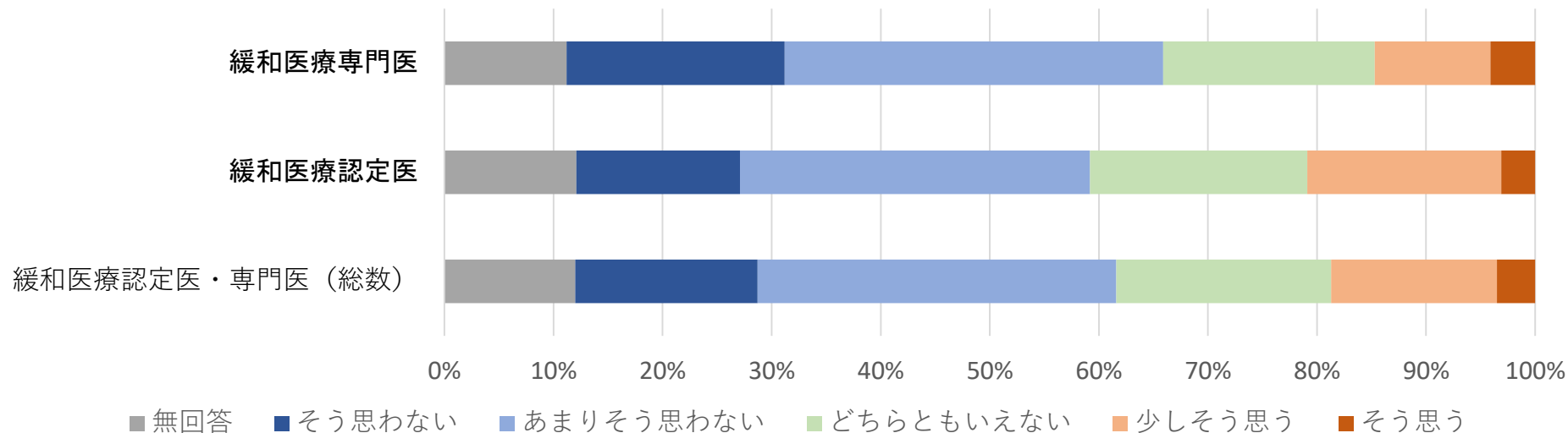
別記



### Ⅲ がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

1. がんの痛みの治療の現状について、当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

痛みについては現状で対応できており、これ以上の改善策は必要ない



緩和医療専門医：

そう思わない34名（20.0%） あまりそう思わない59名（34.7%） どちらともいえない33名（19.4%）  
少しそう思う18名（10.6%） そう思う7名（4.1%） 無回答19名（11.2%）

緩和医療認定医：

そう思わない48名（15.0%） あまりそう思わない103名（32.1%） どちらともいえない64名（19.9%）  
少しそう思う57名（17.8%） そう思う10名（3.1%） 無回答39名（12.1%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

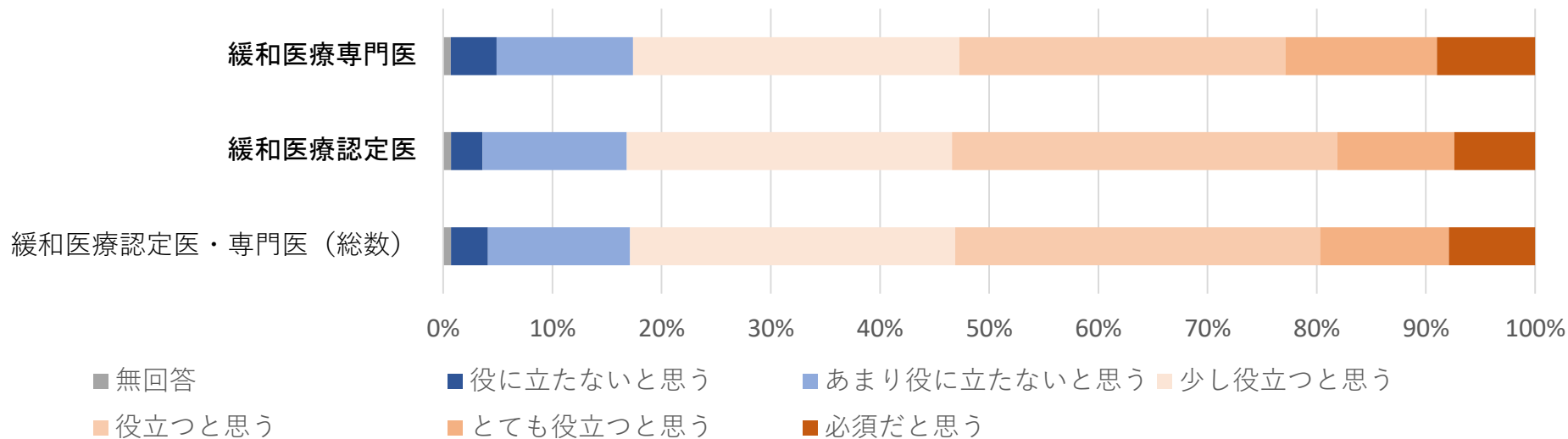
そう思わない82名（16.7%） あまりそう思わない162名（32.9%） どちらともいえない97名（19.7%）  
少しそう思う75名（15.2%） そう思う17名（3.5%） 無回答59名（12.0%）

「そう思う」と回答  
した方は、以降のⅢ  
の設問には回答せ  
ず、設問Ⅳに進む

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1) 医師の仕事（担当患者数や委員会業務など）を適正な量に減らす



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う6名（4.2%） あまり役に立たないと思う18名（12.5%）  
 少し役に立つと思う43名（29.9%） 役立つと思う43名（29.9%） とても役立つと思う20名（13.9%） 必須だと思う13名（9.0%） 無回答1名（0.7%）

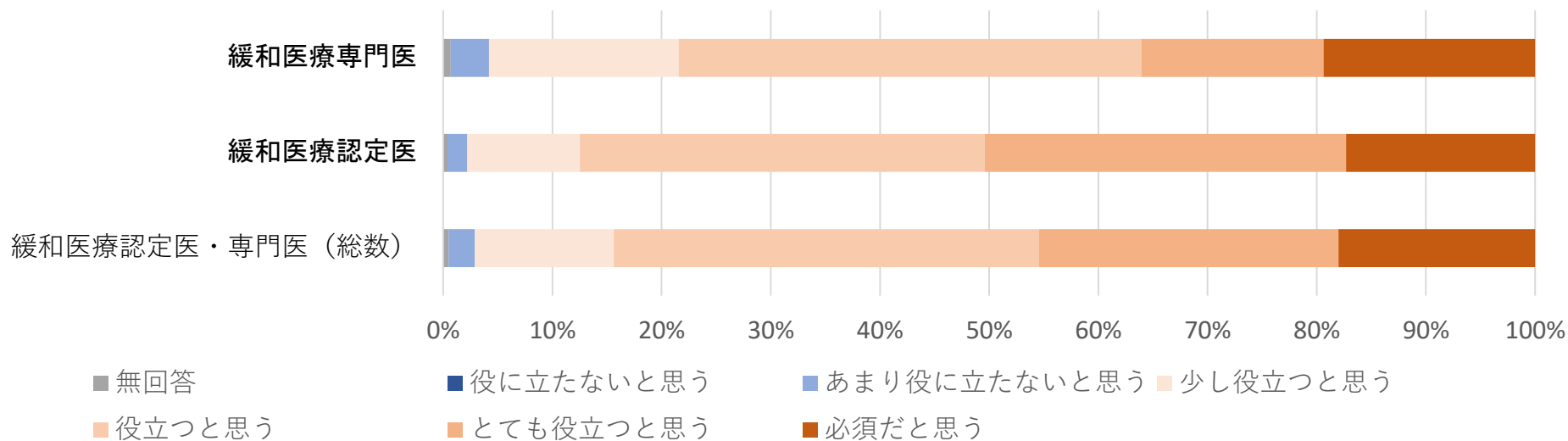
緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う8名（2.9%） あまり役に立たないと思う36名（13.2%）  
 少し役に立つと思う81名（29.8%） 役立つと思う96名（35.3%） とても役立つと思う29名（10.7%） 必須だと思う20名（7.4%） 無回答2名（0.7%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う14名（3.4%） あまり役に立たないと思う54名（13.0%）  
 少し役に立つと思う124名（29.8%） 役立つと思う139名（33.4%） とても役立つと思う49名（11.8%） 必須だと思う33名（7.9%） 無回答3名（0.7%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 2) 医師以外のスタッフ（看護師や薬剤師など）が、痛みのアセスメントやフォローアップを行う



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う5名（3.5%）  
 少し役に立つと思う25名（17.4%） 役立つと思う61名（42.4%） とても役立つと思う24名（16.7%） 必須だと思う28名（19.4%） 無回答1名（0.7%）

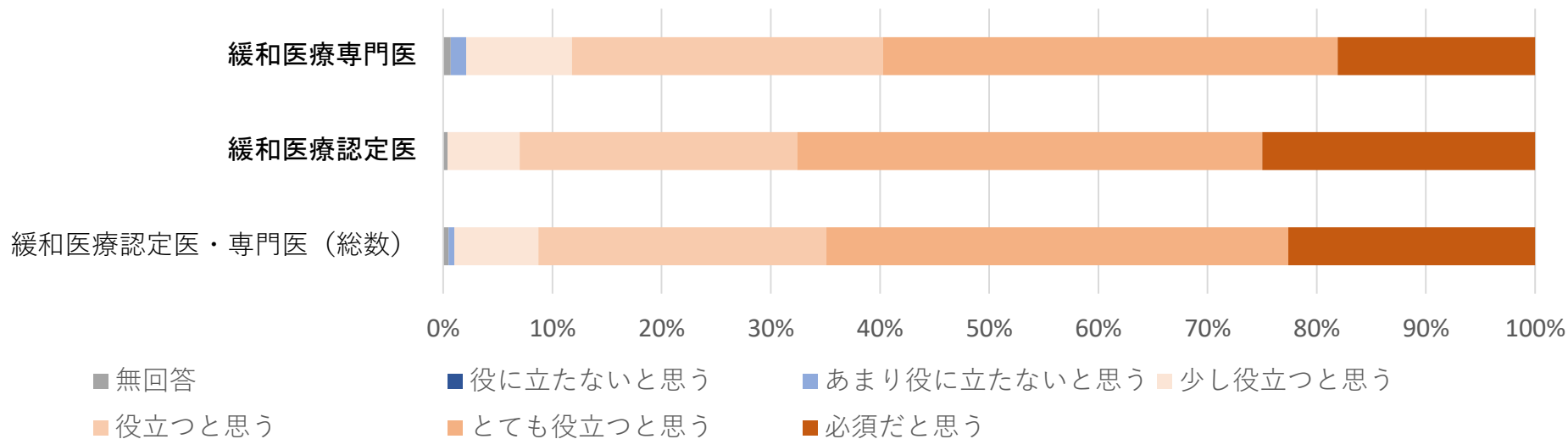
緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う5名（1.8%）  
 少し役に立つと思う28名（10.3%） 役立つと思う101名（37.1%） とても役立つと思う90名（33.1%） 必須だと思う47名（17.3%） 無回答1名（0.4%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う10名（2.4%）  
 少し役に立つと思う53名（12.7%） 役立つと思う162名（38.9%） とても役立つと思う114名（27.4%） 必須だと思う75名（18.0%） 無回答2名（0.5%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 3) 放射線治療や神経ブロックなど薬物療法以外の方法が確実に実施できる



#### 緩和医療専門医：

役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う2名 (1.4%)  
 少し役に立つと思う14名 (9.7%)    役立つと思う41名 (28.5%)    とても役立つと思う60名 (41.7%)    必須だと思う26名 (18.1%)    無回答1名 (0.7%)

#### 緩和医療認定医：

役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う0名 (0%)  
 少し役に立つと思う18名 (6.6%)    役立つと思う69名 (25.4%)    とても役立つと思う116名 (42.6%)    必須だと思う68名 (25.0%)    無回答1名 (0.4%)

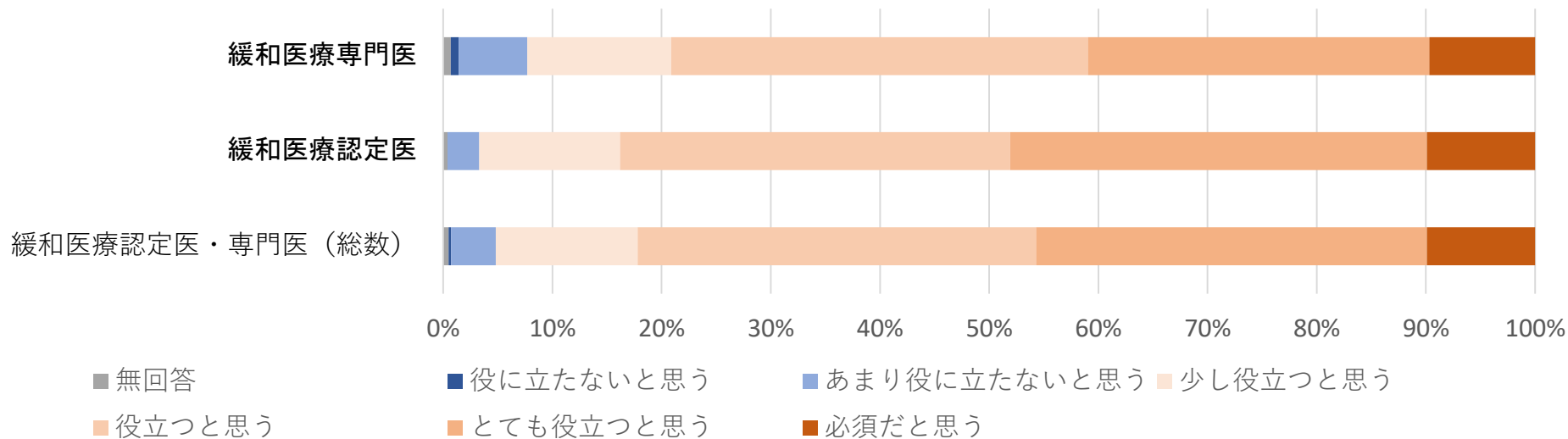
#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う2名 (0.5%)  
 少し役に立つと思う32名 (7.7%)    役立つと思う110名 (26.4%)    とても役立つと思う176名 (42.3%)    必須だと思う94名 (22.6%)    無回答2名 (0.5%)

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

4) 今より気楽に専門家に相談することができる（ICT〔情報通信技術〕を用いた他施設との相談など）



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う1名（0.7%） あまり役に立たないと思う9名（6.3%）  
 少し役に立つと思う19名（13.2%） 役立つと思う55名（38.2%） とても役立つと思う45名（31.3%） 必須だと思う14名（9.7%） 無回答1名（0.7%）

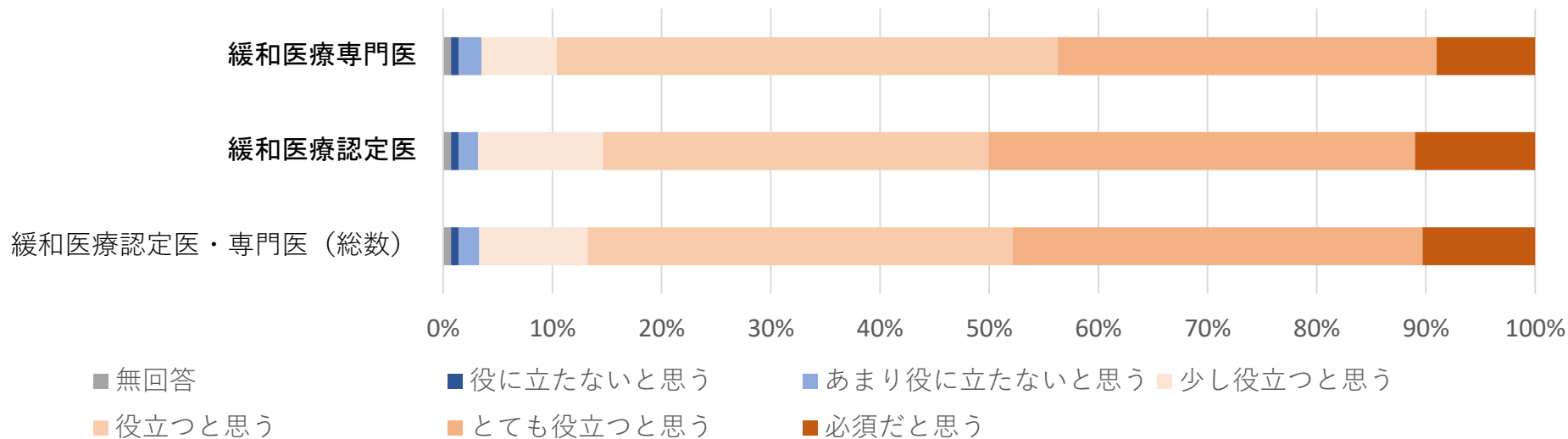
緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う8名（2.9%）  
 少し役に立つと思う35名（12.9%） 役立つと思う97名（35.7%） とても役立つと思う104名（38.2%） 必須だと思う27名（9.9%） 無回答1名（0.4%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う1名（0.2%） あまり役に立たないと思う17名（4.1%）  
 少し役に立つと思う54名（13.0%） 役立つと思う152名（36.5%） とても役立つと思う149名（35.8%） 必須だと思う41名（9.9%） 無回答2名（0.5%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 5) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、患者を直接診察する

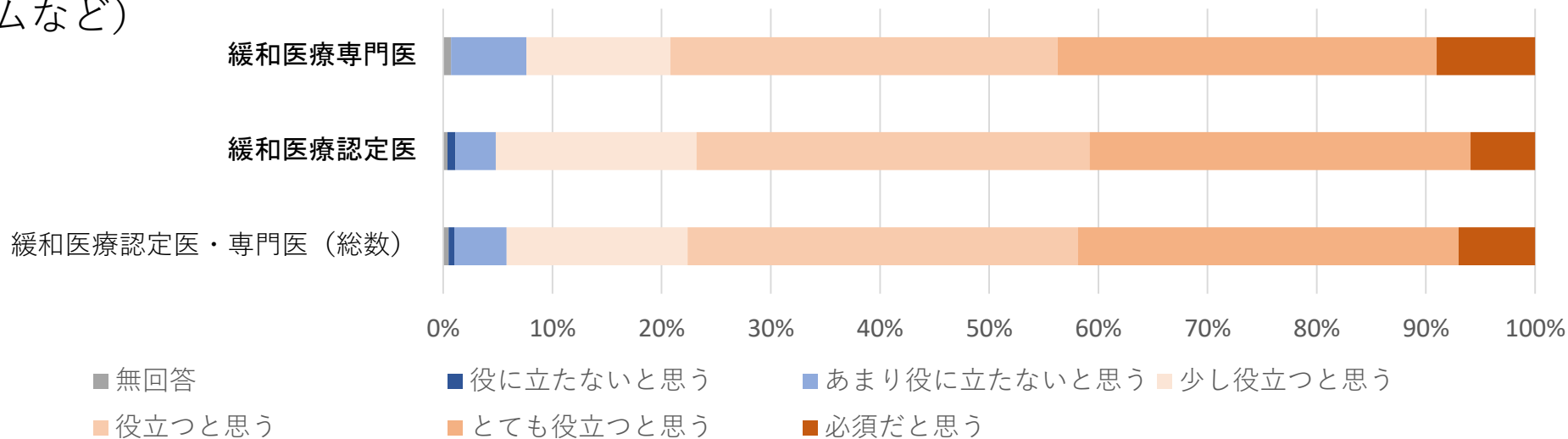


緩和医療専門医：	役に立たないと思う1名 (0.7%)	あまり役に立たないと思う3名 (2.1%)	役に立つと思う66名 (45.8%)	とても役立つと思う50名 (34.7%)	必須だと思う13名 (9.0%)	無回答1名 (0.7%)
緩和医療認定医：	役に立たないと思う2名 (0.7%)	あまり役に立たないと思う5名 (1.8%)	役に立つと思う96名 (35.3%)	とても役立つと思う106名 (39.0%)	必須だと思う30名 (11.0%)	無回答2名 (0.7%)
緩和医療専門医・認定医 (総数)：	役に立たないと思う3名 (0.7%)	あまり役に立たないと思う8名 (1.9%)	役に立つと思う162名 (38.9%)	とても役立つと思う156名 (37.5%)	必須だと思う43名 (10.3%)	無回答3名 (0.7%)

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

6) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、地域全体で診療できるようにする（複数の病院の掛け持ちや地域緩和ケアチームなど）



緩和医療専門医：  
役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う10名（6.9%）  
少し役に立つと思う19名（13.2%） 役立つと思う51名（35.4%） とても役立つと思う50名（34.7%） 必須だと思う13名（9.0%） 無回答1名（0.7%）

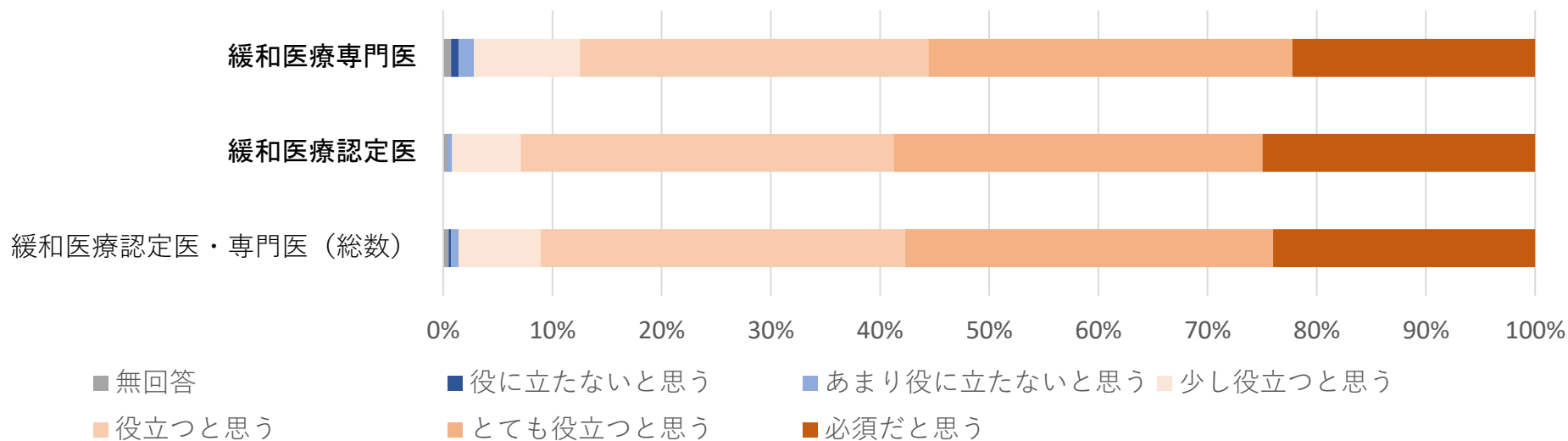
緩和医療認定医：  
役に立たないと思う2名（0.7%） あまり役に立たないと思う10名（3.7%）  
少し役に立つと思う50名（18.4%） 役立つと思う98名（36.0%） とても役立つと思う95名（34.9%） 必須だと思16名（5.9%） 無回答1名（0.4%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
役に立たないと思う2名（0.5%） あまり役に立たないと思う20名（4.8%）  
少し役に立つと思う69名（16.6%） 役立つと思う149名（35.8%） とても役立つと思う145名（34.9%） 必須だと思う29名（7.0%） 無回答2名（0.5%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 緩和ケアチームの医師や看護師が、難治性疼痛の治療に関する知識や技術をもっと身につける



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う1名（0.7%） あまり役に立たないと思う2名（1.4%）  
 少し役に立つと思う14名（9.7%） 役立つと思う46名（31.9%） とても役立つと思う48名（33.3%） 必須だと思う32名（22.2%） 無回答1名（0.7%）

緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う1名（0.4%）  
 少し役に立つと思う17名（6.3%） 役立つと思う93名（34.2%） とても役立つと思う92名（33.8%） 必須だと思う68名（25.0%） 無回答1名（0.4%）

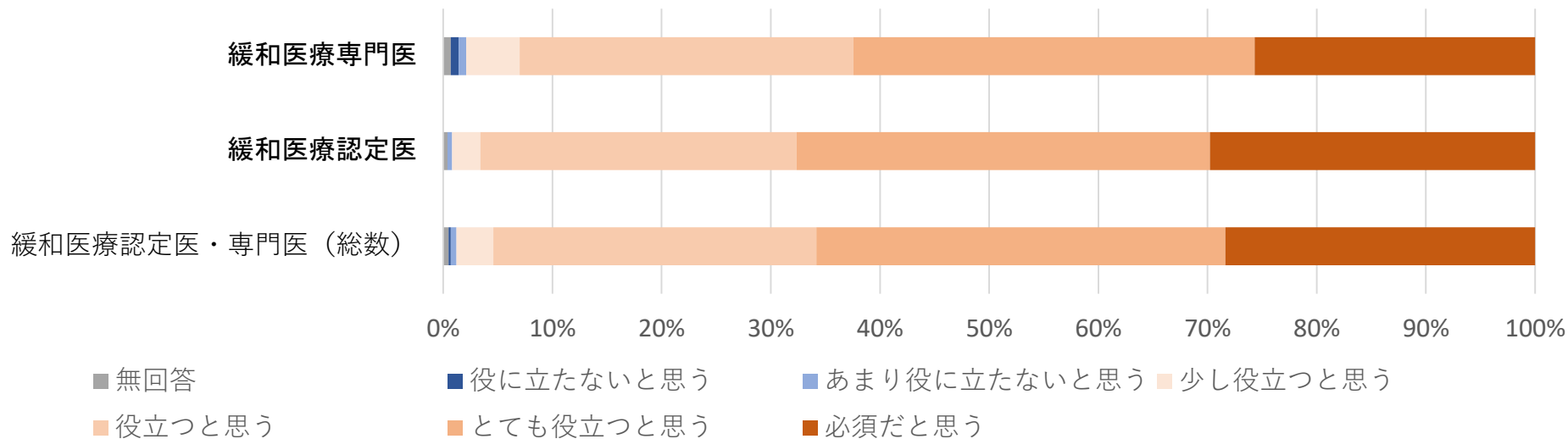
緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う1名（0.2%） あまり役に立たないと思う3名（0.7%）  
 少し役に立つと思う31名（7.5%） 役立つと思う139名（33.4%） とても役立つと思う140名（33.7%） 必須だと思う100名（24.0%） 無回答2名（0.5%）



### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

8) 施設内で、主治医と、緩和ケアチームや難治性のがん疼痛の診療経験が豊富な医師がよく連携する



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う1名 (0.7%)    あまり役に立たないと思う1名 (0.7%)  
 少し役に立つと思う7名 (4.9%)    役立つと思う44名 (30.6%)    とても役立つと思う53名 (36.8%)    必須だと思う37名 (25.7%)    無回答1名 (0.7%)

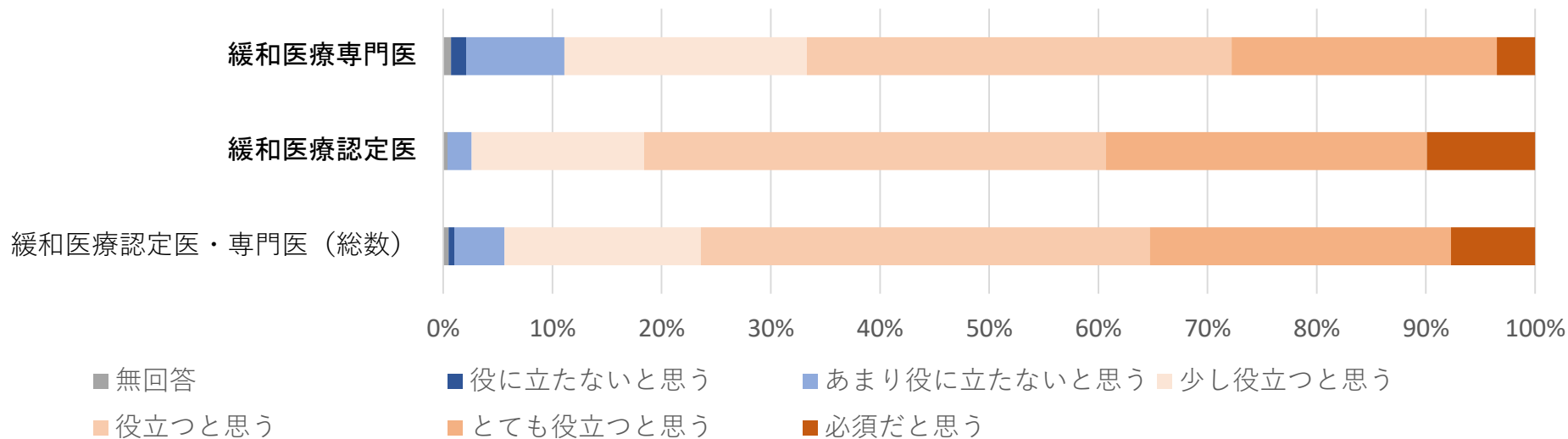
緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う1名 (0.4%)  
 少し役に立つと思う7名 (2.6%)    役立つと思う79名 (29.0%)    とても役立つと思う103名 (37.9%)    必須だと思う81名 (29.8%)    無回答1名 (0.4%)

緩和医療専門医・認定医 (総数)：  
 役に立たないと思う1名 (0.2%)    あまり役に立たないと思う2名 (0.5%)  
 少し役に立つと思う14名 (3.4%)    役立つと思う123名 (29.6%)    とても役立つと思う156名 (37.5%)    必須だと思う118名 (28.4%)    無回答2名 (0.5%)

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 9) 難治性のがん疼痛に関する手引きやアルゴリズムを整備する



#### 緩和医療専門医：

役に立たないと思う2名（1.4%） あまり役に立たないと思う13名（9.0%）  
 少し役に立つと思う32名（22.2%） 役立つと思う56名（38.9%） とても役立つと思う35名（24.3%） 必須だと思う5名（3.5%） 無回答1名（0.7%）

#### 緩和医療認定医：

役に立たないと思う0名（0%） あまり役に立たないと思う6名（2.2%）  
 少し役に立つと思う43名（15.8%） 役立つと思う115名（42.3%） とても役立つと思う80名（29.4%） 必須だと思う27名（9.9%） 無回答1名（0.4%）

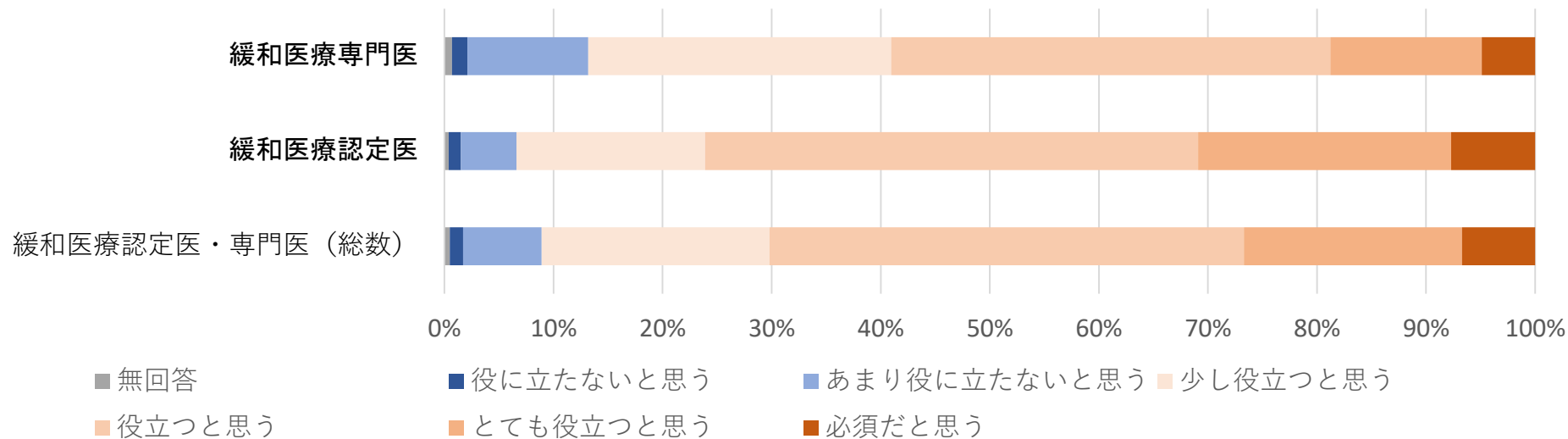
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

役に立たないと思う2名（0.5%） あまり役に立たないと思う19名（4.6%）  
 少し役に立つと思う75名（18.0%） 役立つと思う171名（41.1%） とても役立つと思う115名（27.6%） 必須だと思う32名（7.7%） 無回答2名（0.5%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 0) 対応が必要な痛みがある患者を見つけるスクリーニングの方法を確立する



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う2名（1.4%）  あまり役に立たないと思う16名（11.1%）  
 少し役に立つと思う40名（27.8%）  役立つと思う58名（40.3%）  とても役立つと思う20名（13.9%）  必須だと思う7名（4.9%）  無回答1名（0.7%）

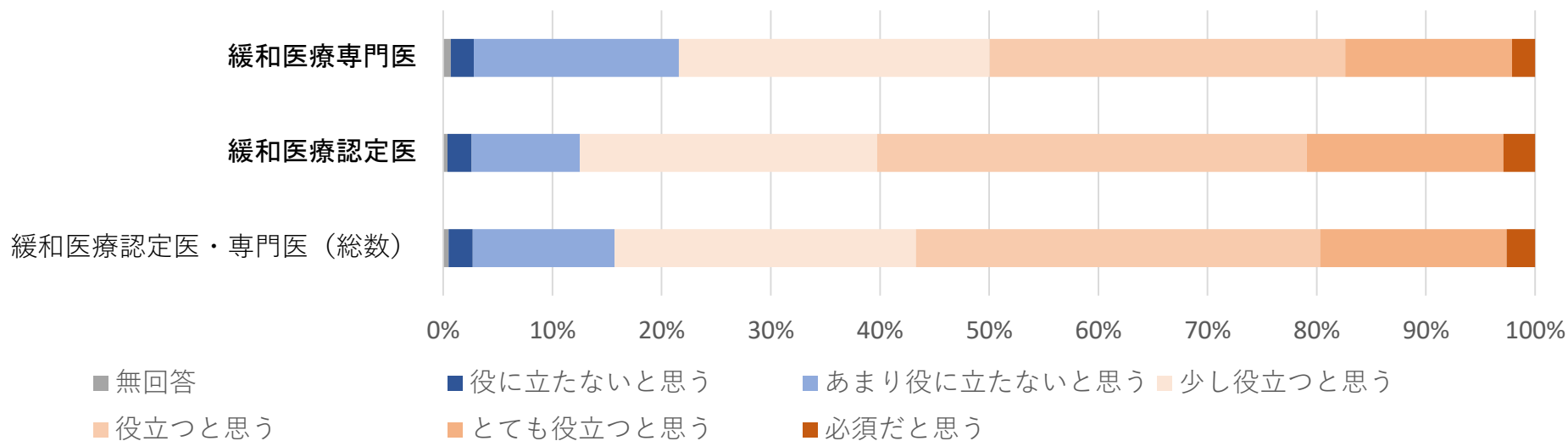
緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う3名（1.1%）  あまり役に立たないと思う14名（5.1%）  
 少し役に立つと思う47名（17.3%）  役立つと思う123名（45.2%）  とても役立つと思う63名（23.2%）  必須だと思う21名（7.7%）  無回答1名（0.4%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う5名（1.2%）  あまり役に立たないと思う30名（7.2%）  
 少し役に立つと思う87名（20.9%）  役立つと思う181名（43.5%）  とても役立つと思う83名（20.0%）  必須だと思う28名（6.7%）  無回答2名（0.5%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 1) 患者が、自宅などの病院外で、タブレットなどで痛みの評価を入力すると電子カルテに記録される



緩和医療専門医：  
 役に立たないと思う3名（2.1%） あまり役に立たないと思う27名（18.8%）  
 少し役に立つと思う41名（28.5%） 役立つと思う47名（32.6%） とても役立つと思う22名（15.3%） 必須だと思う3名（2.1%） 無回答1名（0.7%）

緩和医療認定医：  
 役に立たないと思う6名（2.2%） あまり役に立たないと思う27名（9.9%）  
 少し役に立つと思う74名（27.2%） 役立つと思う107名（39.3%） とても役立つと思う49名（18.0%） 必須だと思う8名（2.9%） 無回答1名（0.4%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 役に立たないと思う9名（2.2%） あまり役に立たないと思う54名（13.0%）  
 少し役に立つと思う115名（27.6%） 役立つと思う154名（37.0%） とても役立つと思う71名（17.1%） 必須だと思う11名（2.6%） 無回答2名（0.5%）

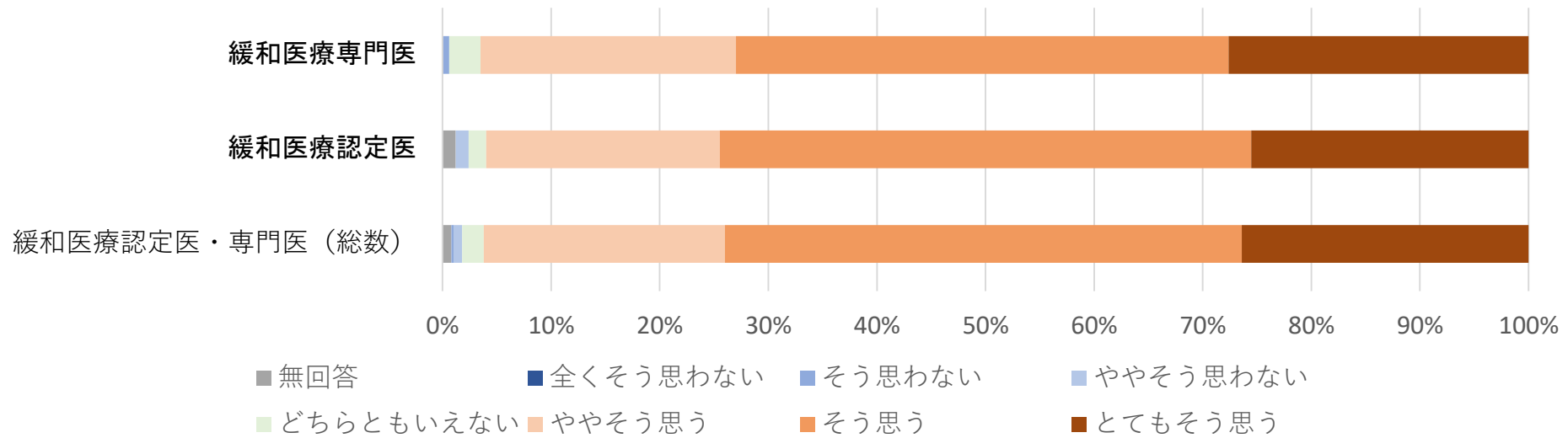
### Ⅲ がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

3. その他に、医療現場がこのようになったらよいということがありましたら、下記にご記入ください。

別記

# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1) 難治性がん疼痛を有する患者では、心理社会的な要因が痛みに影響していることもある



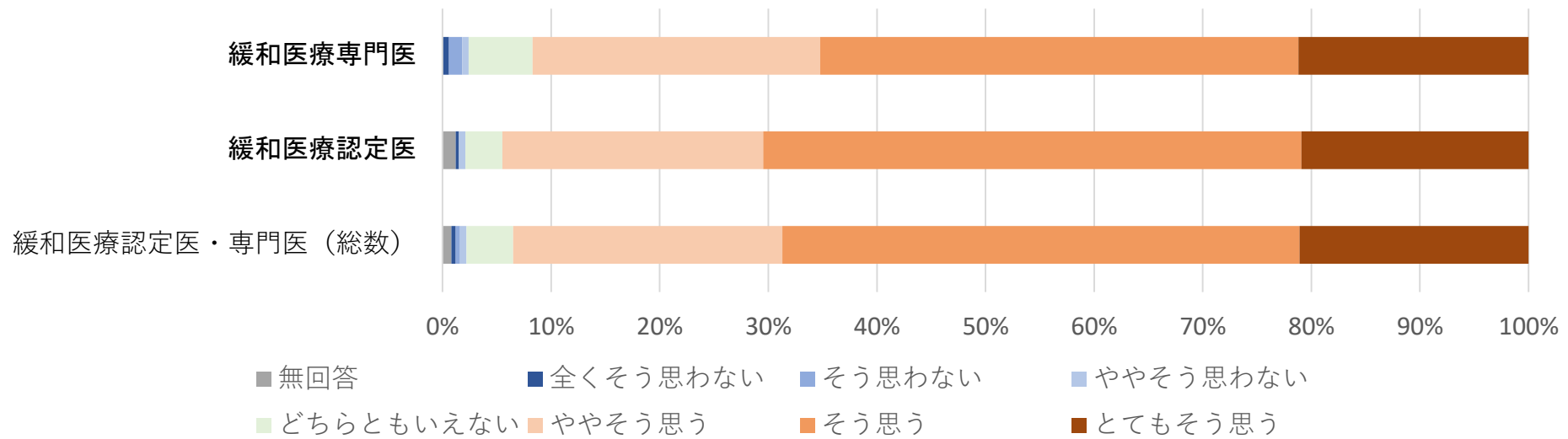
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない0名（0%） そう思わない1名（0.6%） ややそう思わない0名（0%） どちらともいえない5名（2.9%）  
 ややそう思う40名（23.5%） そう思う77名（45.3%） とてもそう思う47名（27.6%） 無回答0名（0%）

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない0名（0%） そう思わない0名（0%） ややそう思わない4名（1.2%） どちらともいえない5名（1.6%）  
 ややそう思う69名（21.5%） そう思う157名（48.9%） とてもそう思う82名（25.5%） 無回答4名（1.2%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない0名（0%） そう思わない1名（0.2%） ややそう思わない4名（0.8%） どちらともいえない10名（2.0%）  
 ややそう思う109名（22.2%） そう思う234名（47.6%） とてもそう思う130名（26.4%） 無回答4名（0.8%）

# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 2) 難治性がん疼痛を有する患者では、スピリチュアルな要因が痛みに影響していることもある



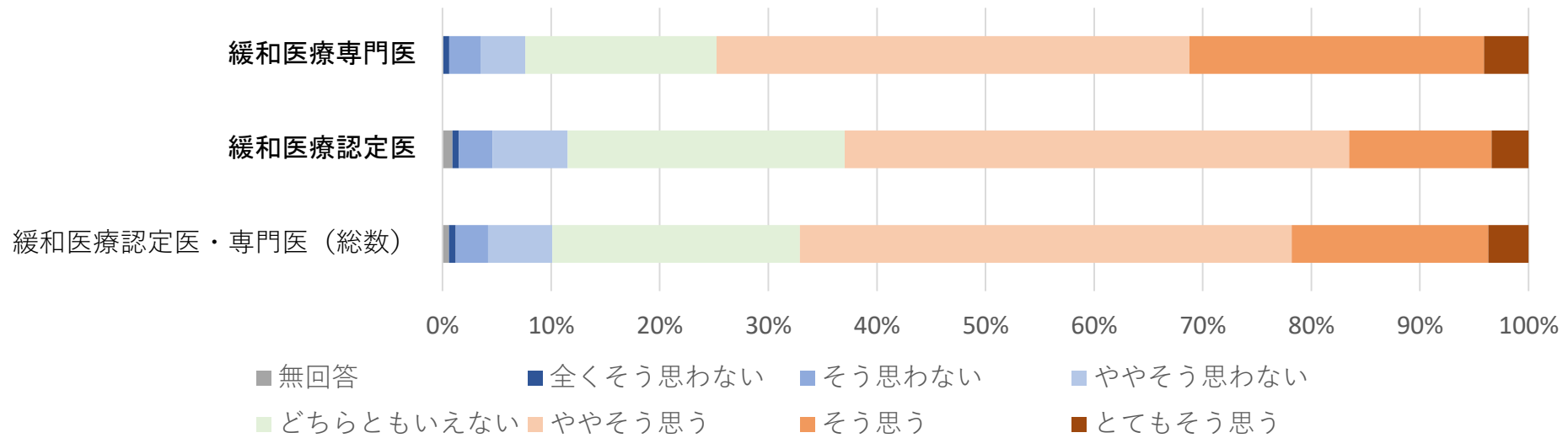
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない2名（1.2%） ややそう思わない1名（0.6%） どちらともいえない10名（5.9%）  
 ややそう思う45名（26.5%） そう思う75名（44.1%） とてもそう思う36名（21.2%） 無回答0名（0%）

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない1名（0.3%） そう思わない0名（0%） ややそう思わない2名（0.6%） どちらともいえない11名（3.4%）  
 ややそう思う77名（24.0%） そう思う159名（49.5%） とてもそう思う67名（20.9%） 無回答4名（1.2%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない2名（0.4%） そう思わない2名（0.4%） ややそう思わない3名（0.6%） どちらともいえない21名（4.3%）  
 ややそう思う122名（24.8%） そう思う234名（47.6%） とてもそう思う104名（21.1%） 無回答4名（0.8%）

# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 3) あなたは、難治性がん疼痛に關与する、患者の心理社会的な要因を評価できる



### 緩和医療専門医：

全くそう思わない1名 (0.6%)    そう思わない5名 (2.9%)    ややそう思わない7名 (4.1%)    どちらともいえない30名 (17.6%)  
 ややそう思う74名 (43.5%)    そう思う46名 (27.1%)    とてもそう思う7名 (4.1%)    無回答0名 (0%)

### 緩和医療認定医：

全くそう思わない2名 (0.6%)    そう思わない10名 (3.1%)    ややそう思わない22名 (6.9%)    どちらともいえない82名 (25.5%)  
 ややそう思う149名 (46.4%)    そう思う42名 (13.1%)    とてもそう思う11名 (3.4%)    無回答3名 (0.9%)

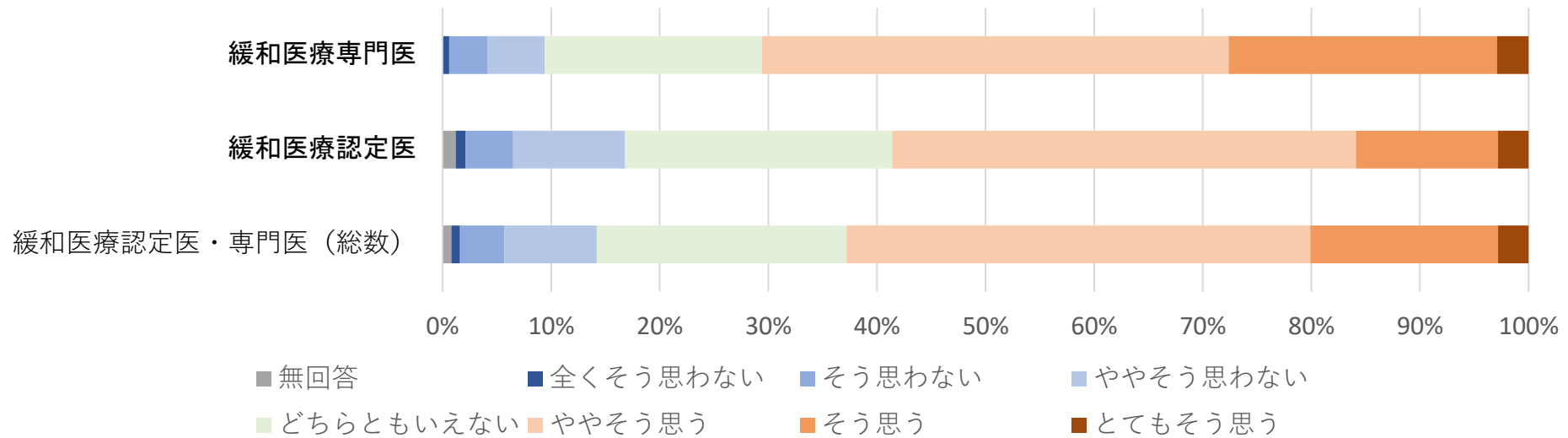
### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

全くそう思わない3名 (0.6%)    そう思わない15名 (3.0%)    ややそう思わない29名 (5.9%)    どちらともいえない112名 (22.8%)  
 ややそう思う223名 (45.3%)    そう思う89名 (18.1%)    とてもそう思う18名 (3.7%)    無回答3名 (0.6%)



# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 4) あなたは、難治性がん疼痛に関与する、患者のスピリチュアルな要因を評価できる



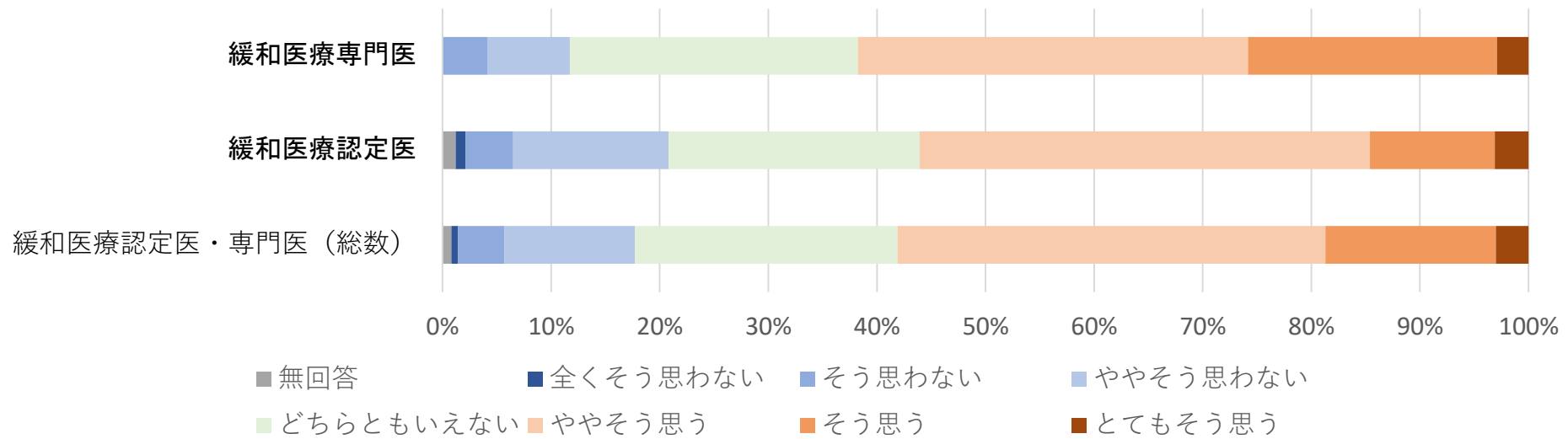
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない6名（3.5%） ややそう思わない9名（5.3%） どちらともいえない34名（20.0%）  
 ややそう思う73名（42.9%） そう思う42名（24.7%） とてもそう思う5名（2.9%） 無回答0名（0%）

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない3名（0.9%） そう思わない14名（4.4%） ややそう思わない33名（10.3%） どちらともいえない79名（24.6%）  
 ややそう思う137名（42.7%） そう思う42名（13.1%） とてもそう思う9名（2.8%） 無回答4名（1.2%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：  
 全くそう思わない4名（0.8%） そう思わない20名（4.1%） ややそう思わない42名（8.5%） どちらともいえない113名（23.0%）  
 ややそう思う210名（42.7%） そう思う85名（17.3%） とてもそう思う14名（2.8%） 無回答4名（0.8%）

# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている



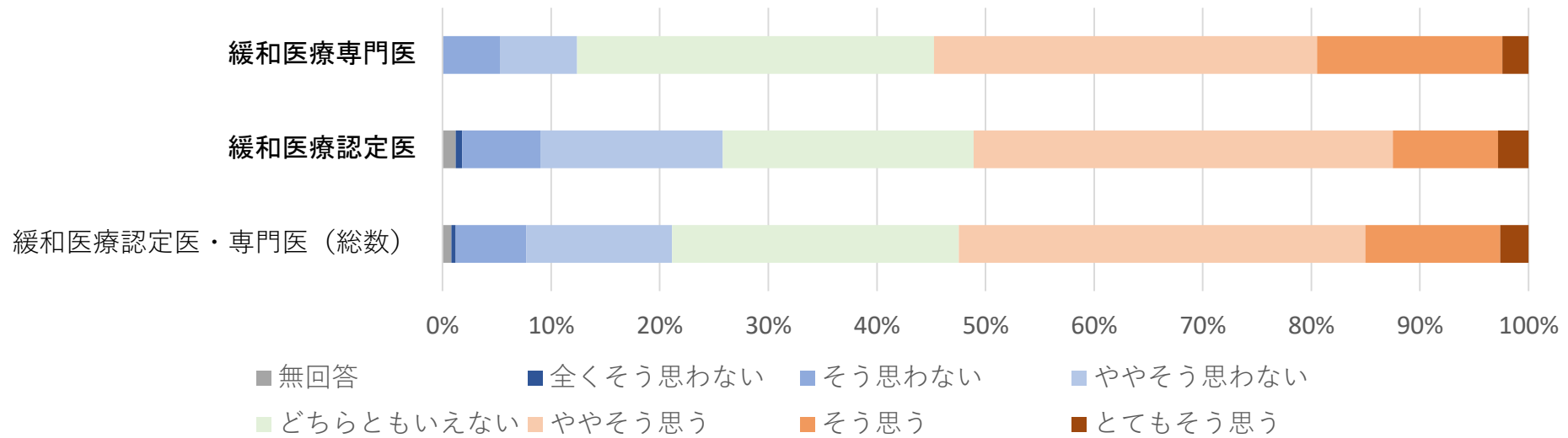
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない7名 (4.1%)    ややそう思わない13名 (7.6%)    どちらともいえない45名 (26.5%)  
 ややそう思う61名 (35.9%)    そう思う39名 (22.9%)    とてもそう思う5名 (2.9%)    無回答0名 (0%)

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない3名 (0.9%)    そう思わない14名 (4.4%)    ややそう思わない46名 (14.3%)    どちらともいえない74名 (23.1%)  
 ややそう思う133名 (41.4%)    そう思う37名 (11.5%)    とてもそう思う10名 (3.1%)    無回答4名 (1.2%)

緩和医療専門医・認定医 (総数)：  
 全くそう思わない3名 (0.6%)    そう思わない21名 (4.3%)    ややそう思わない59名 (12.0%)    どちらともいえない119名 (24.2%)  
 ややそう思う194名 (39.4%)    そう思う77名 (15.7%)    とてもそう思う15名 (3.0%)    無回答4名 (0.8%)

IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

6) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている



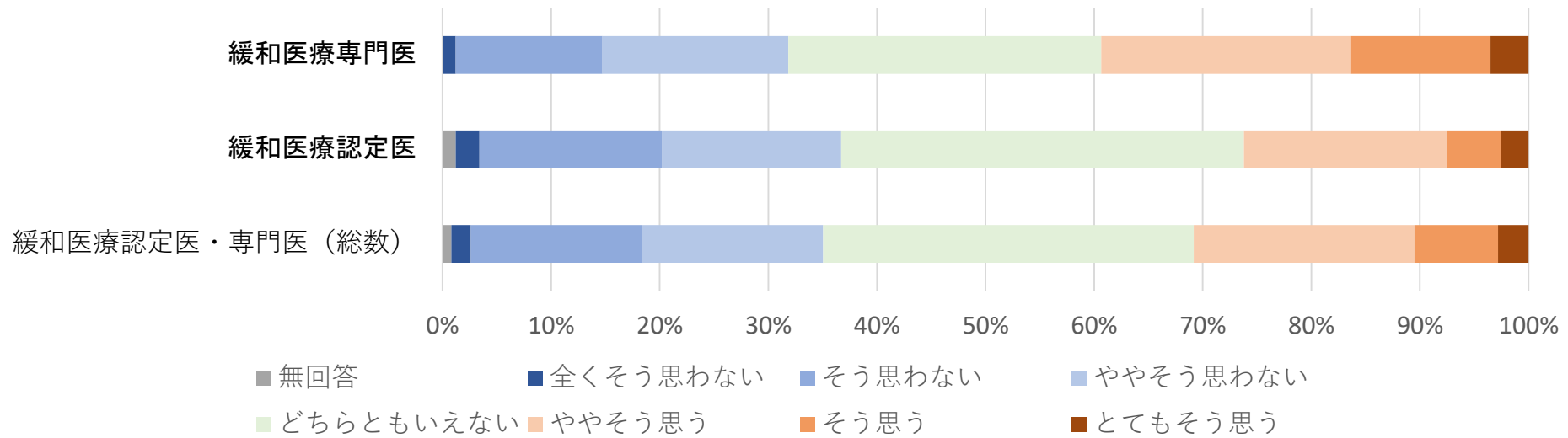
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない9名 (5.3%)    ややそう思わない12名 (7.1%)    どちらともいえない56名 (32.9%)  
 ややそう思う60名 (35.3%)    そう思う29名 (17.1%)    とてもそう思う4名 (2.4%)    無回答0名 (0%)

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない2名 (0.6%)    そう思わない23名 (7.2%)    ややそう思わない54名 (16.8%)    どちらともいえない74名 (23.1%)  
 ややそう思う124名 (38.6%)    そう思う31名 (9.7%)    とてもそう思う9名 (2.8%)    無回答4名 (1.2%)

緩和医療専門医・認定医 (総数)：  
 全くそう思わない2名 (0.4%)    そう思わない32名 (6.5%)    ややそう思わない66名 (13.4%)    どちらともいえない130名 (26.4%)  
 ややそう思う184名 (37.4%)    そう思う61名 (12.4%)    とてもそう思う13名 (2.6%)    無回答4名 (0.8%)

# IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある



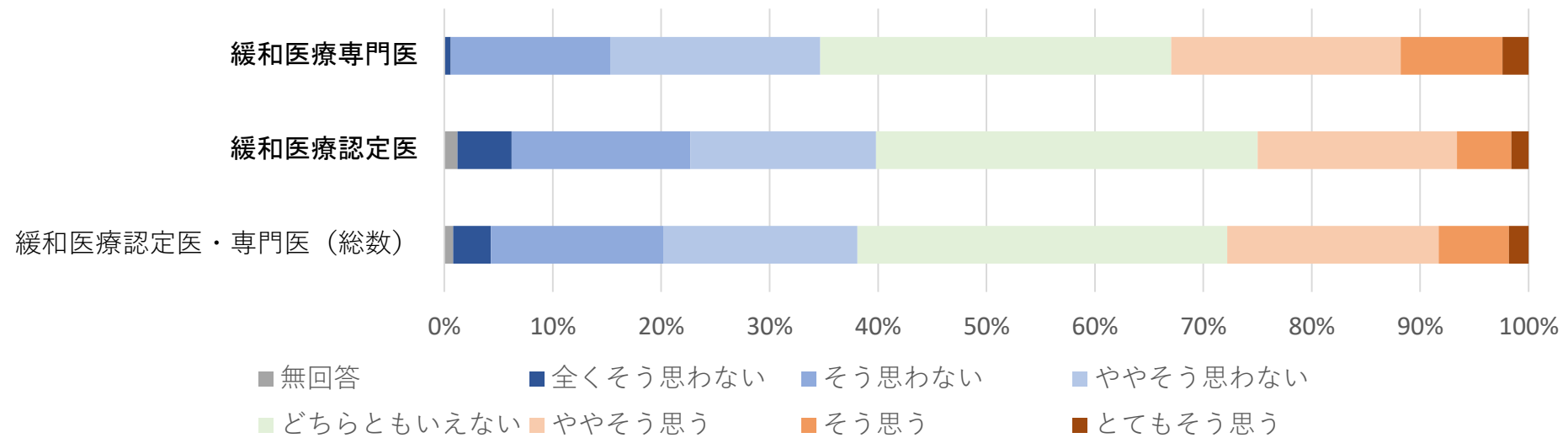
緩和医療専門医：  
 全くそう思わない2名 (1.2%)    そう思わない23名 (13.5%)    ややそう思わない29名 (17.1%)    どちらともいえない49名 (28.8%)  
 ややそう思う39名 (22.9%)    そう思う22名 (12.9%)    とてもそう思う6名 (3.5%)    無回答0名 (0%)

緩和医療認定医：  
 全くそう思わない7名 (2.2%)    そう思わない54名 (16.8%)    ややそう思わない53名 (16.5%)    どちらともいえない119名 (37.1%)  
 ややそう思う60名 (18.7%)    そう思う16名 (5.0%)    とてもそう思う8名 (2.5%)    無回答4名 (1.2%)

緩和医療専門医・認定医 (総数)：  
 全くそう思わない9名 (1.8%)    そう思わない77名 (15.7%)    ややそう思わない82名 (16.7%)    どちらともいえない168名 (34.1%)  
 ややそう思う100名 (20.3%)    そう思う38名 (7.7%)    とてもそう思う14名 (2.8%)    無回答4名 (0.8%)

## IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

8) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある



緩和医療専門医：

全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない25名（14.7%） ややそう思わない33名（19.4%） どちらともいえない55名（32.4%）  
 ややそう思う36名（21.2%） そう思う16名（9.4%） とてもそう思う4名（2.4%） 無回答0名（0%）

緩和医療認定医：

全くそう思わない16名（5.0%） そう思わない53名（16.5%） ややそう思わない55名（17.1%） どちらともいえない113名（35.2%）  
 ややそう思う59名（18.4%） そう思う16名（5.0%） とてもそう思う5名（1.6%） 無回答4名（1.2%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない17名（3.5%） そう思わない78名（15.9%） ややそう思わない88名（17.9%） どちらともいえない168名（34.1%）  
 ややそう思う96名（19.5%） そう思う32名（6.5%） とてもそう思う9名（1.8%） 無回答4名（0.8%）

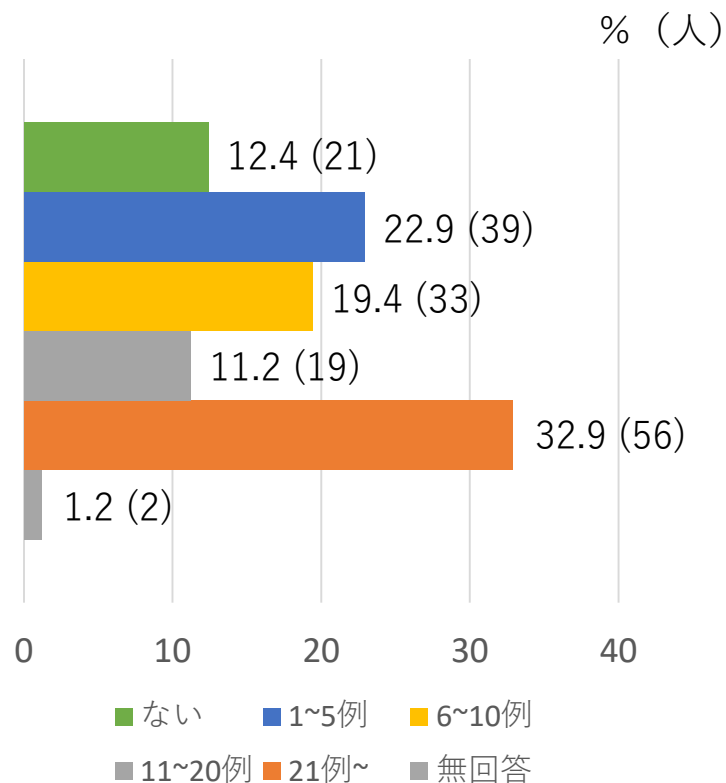
V 症状評価における「方言」の役割について伺います。あなたの勤務している地域の方言で、緩和ケアを行う上で医師が知っておかないと診療上困る（苦痛のアセスメントができない）ことに通じる方言と意味について、思いつくものがあれば3つまで教えてください。

別記

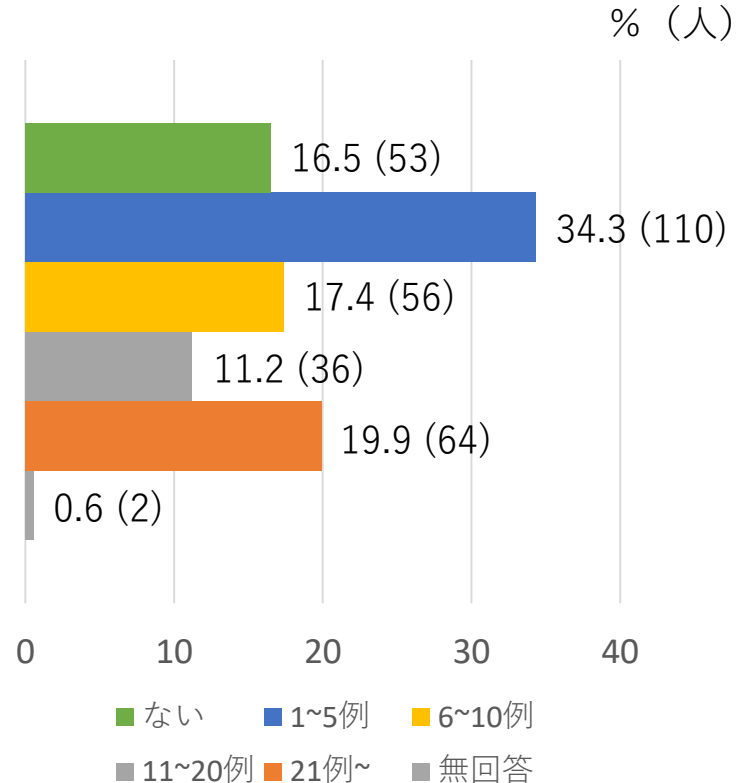
## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 1) ICI治療後の患者の診療をしたことがある

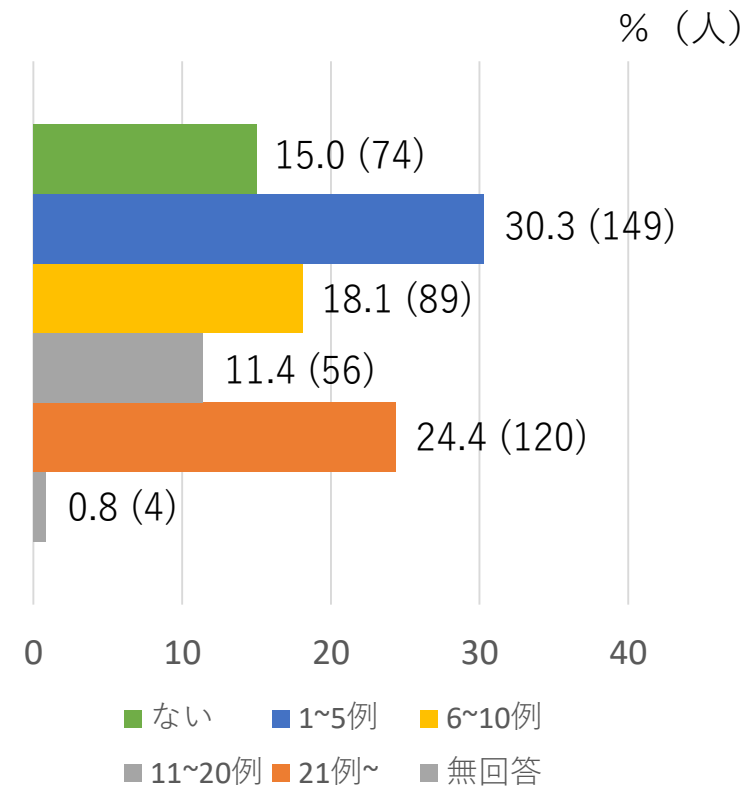
緩和医療専門医



緩和医療認定医



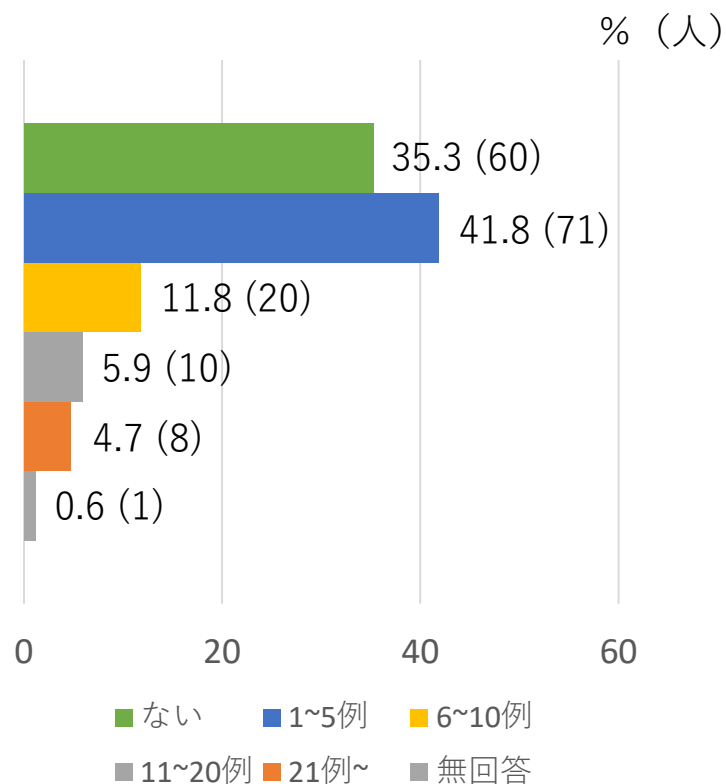
緩和医療専門医・認定医（総数）



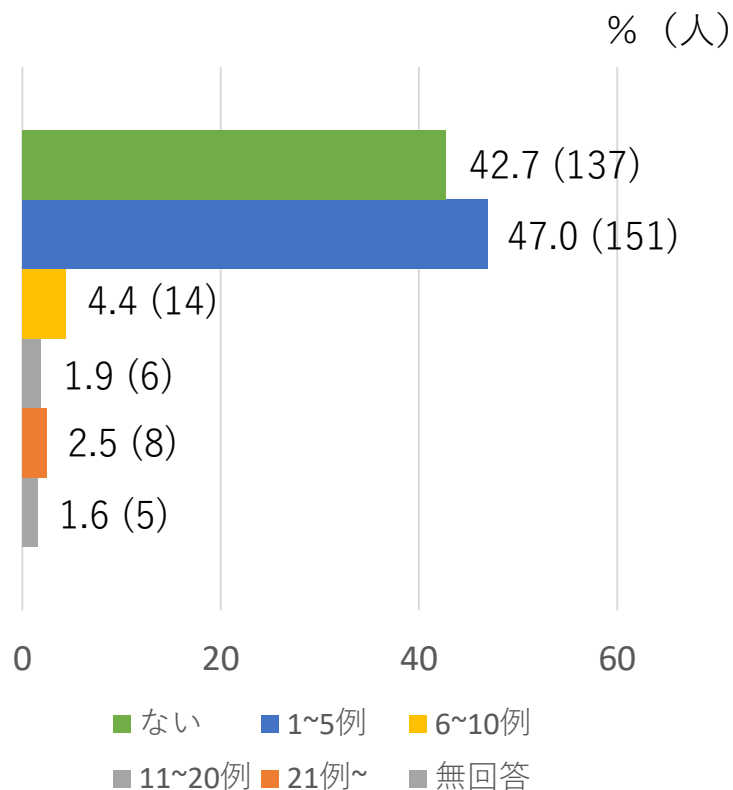
## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 2) ICI治療後の患者の診療中にirAEを疑ったことがある

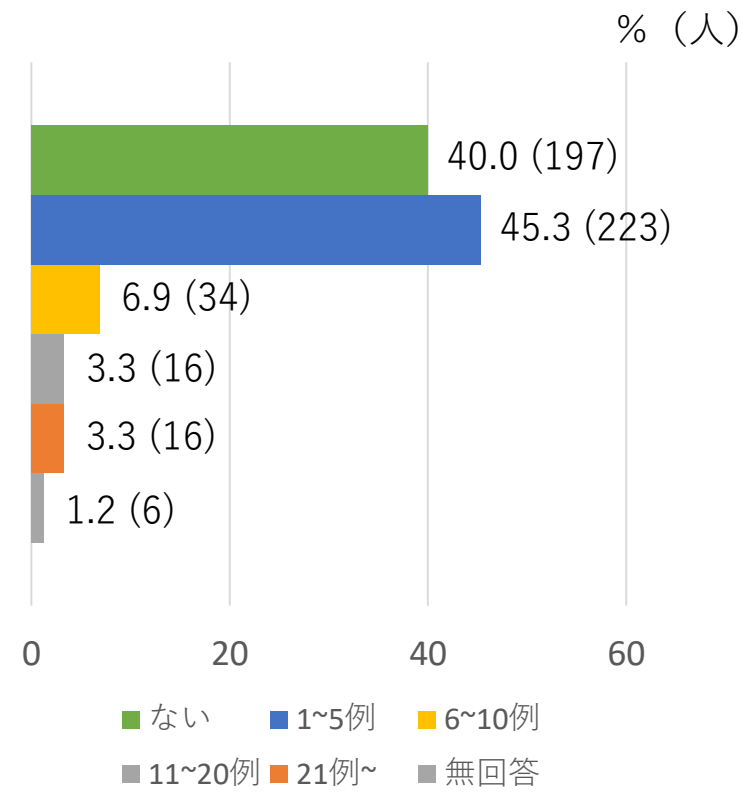
緩和医療専門医



緩和医療認定医



緩和医療専門医・認定医（総数）

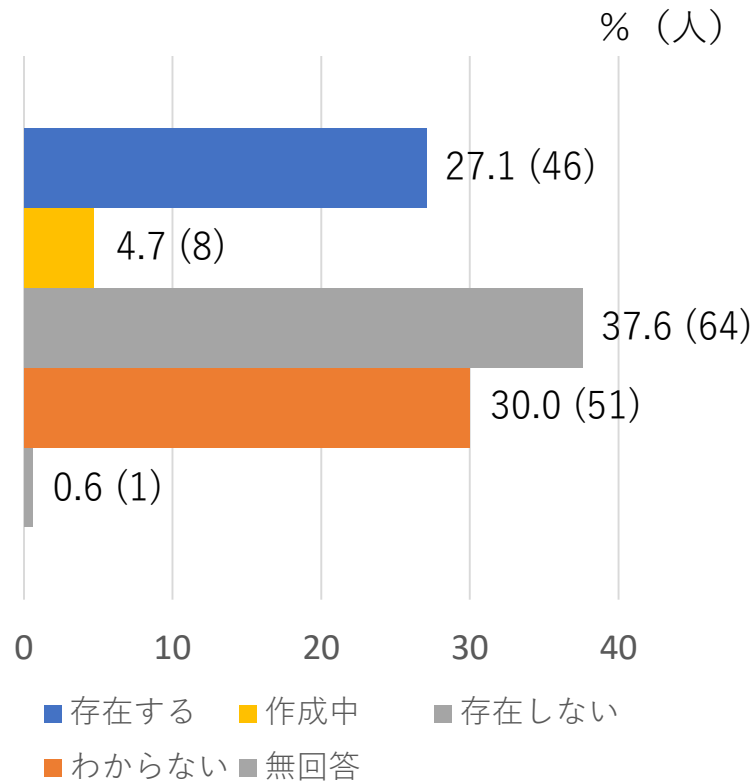




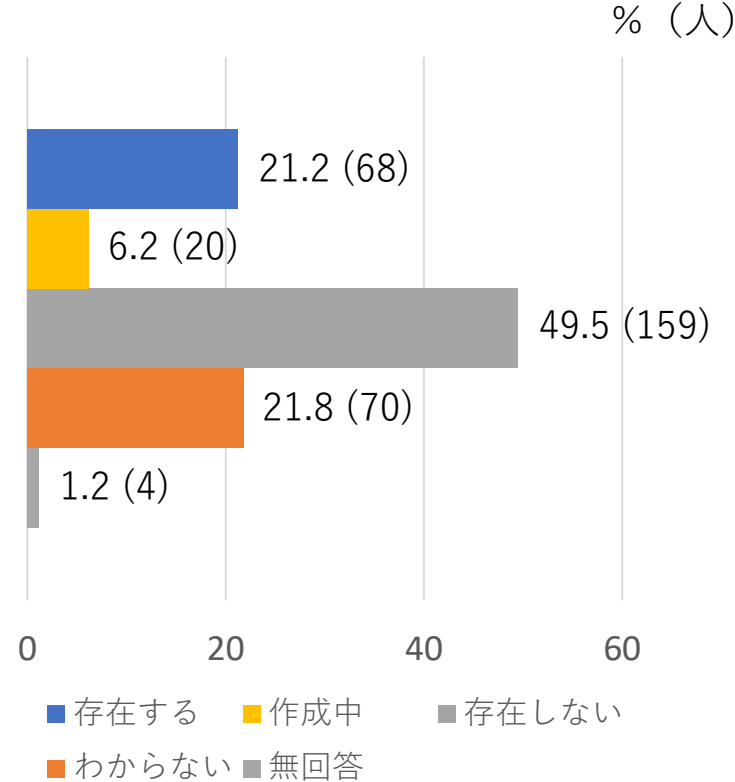
VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

3) 自施設にirAEの対応マニュアルが存在する

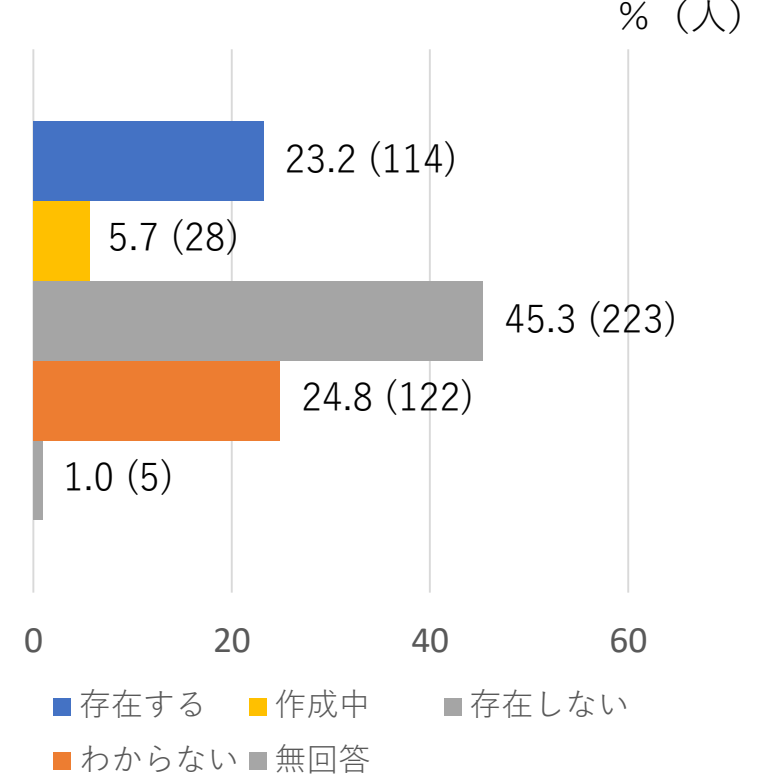
緩和医療専門医



緩和医療認定医

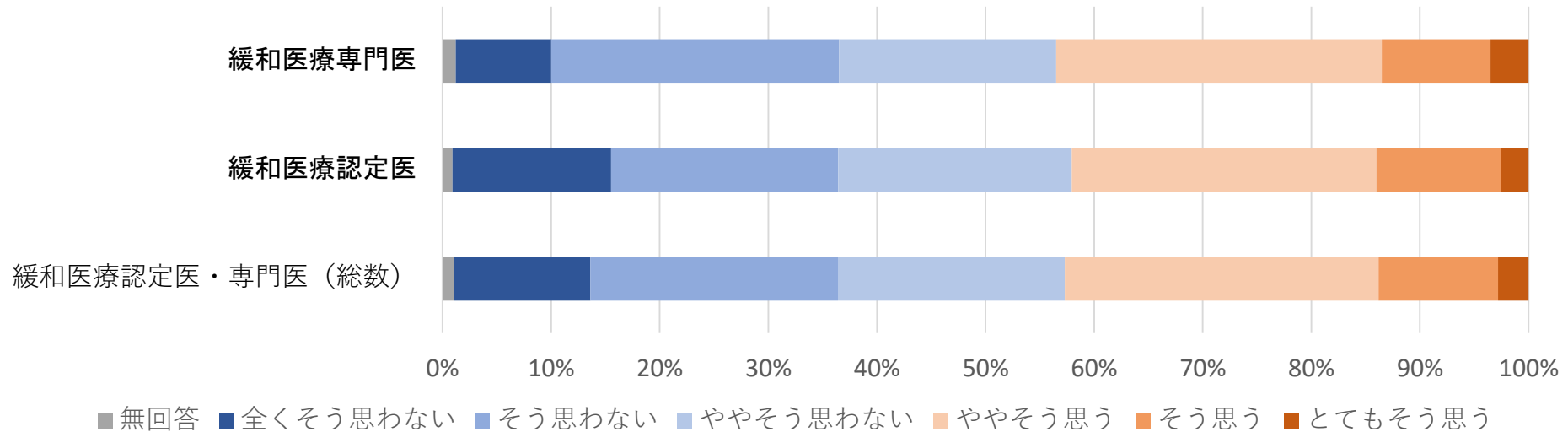


緩和医療専門医・認定医（総数）



## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 4) irAEの病態、発症時期、発現臓器、治療法を知っている



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない15名（8.8%） そう思わない45名（26.5%） ややそう思わない34名（20.0%）  
 ややそう思う51名（30.0%） そう思う17名（10.0%） とてもそう思う6名（3.5%） 無回答2名（1.2%）

#### 緩和医療認定医：

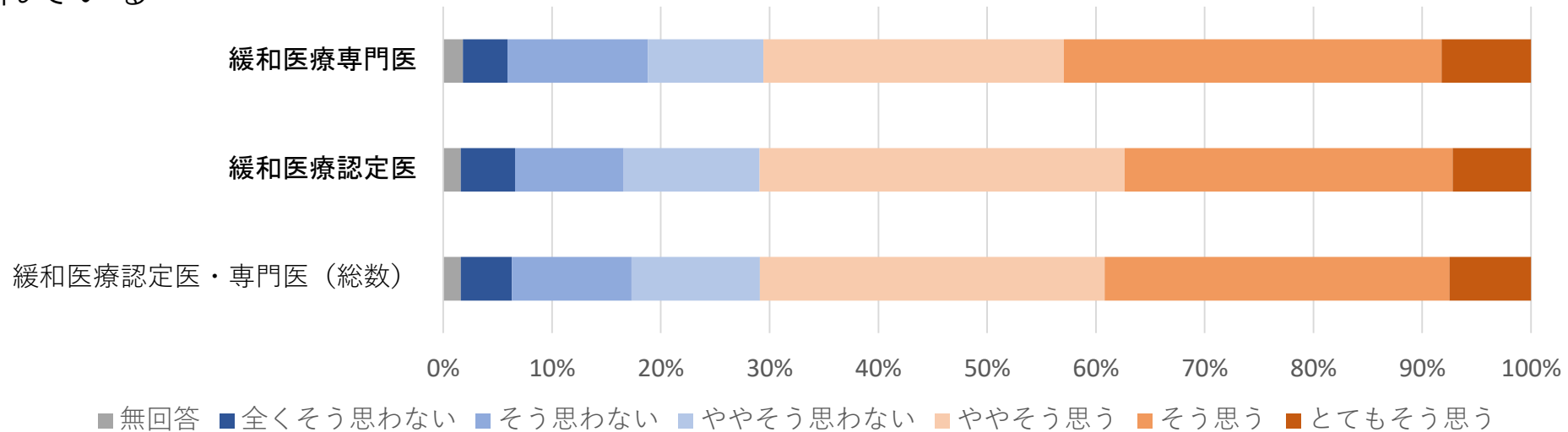
全くそう思わない47名（14.6%） そう思わない67名（20.9%） ややそう思わない69名（21.5%）  
 ややそう思う90名（28.0%） そう思う37名（11.5%） とてもそう思う8名（2.5%） 無回答3名（0.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない62名（12.6%） そう思わない112名（22.8%） ややそう思わない103名（20.9%）  
 ややそう思う142名（28.9%） そう思う54名（11.0%） とてもそう思う14名（2.8%） 無回答5名（1.0%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

5) がん治療医からICIの治療歴のある患者が紹介される時に、ICIでの治療歴が診療録や紹介状に記載されている



緩和医療専門医：

全くそう思わない7名（4.1%） そう思わない22名（12.9%） ややそう思わない18名（10.6%）  
 ややそう思う47名（27.6%） そう思う59名（34.7%） とてもそう思う14名（8.2%） 無回答3名（1.8%）

緩和医療認定医：

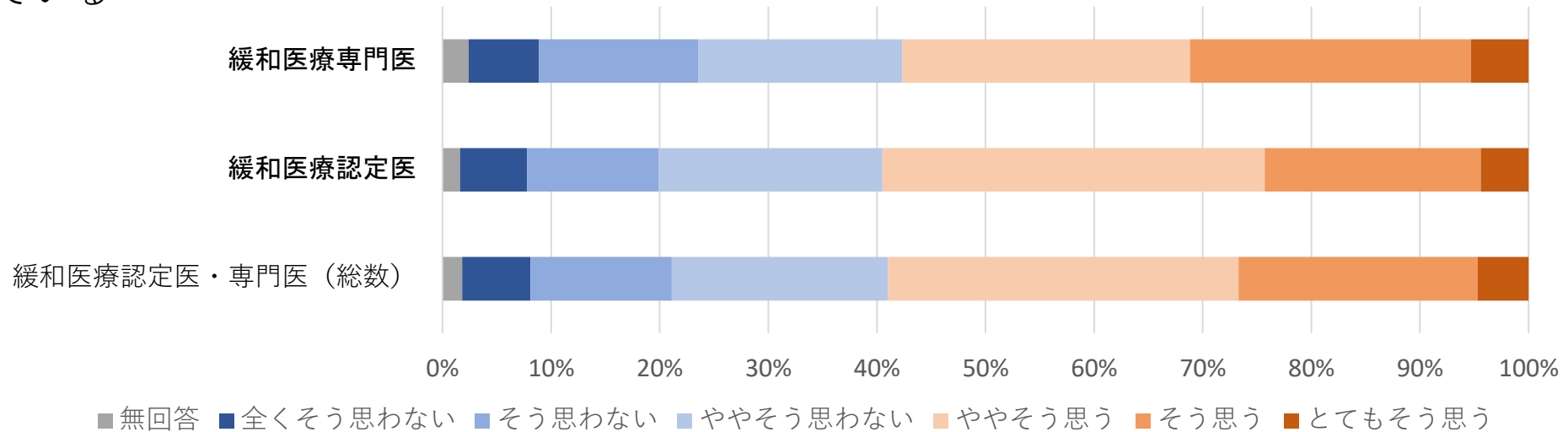
全くそう思わない16名（5.0%） そう思わない32名（10.0%） ややそう思わない40名（12.5%）  
 ややそう思う108名（33.6%） そう思う97名（30.2%） とてもそう思う23名（7.2%） 無回答5名（1.6%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない23名（4.7%） そう思わない54名（11.0%） ややそう思わない58名（11.8%）  
 ややそう思う156名（31.7%） そう思う156名（31.7%） とてもそう思う37名（7.5%） 無回答8名（1.6%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

6) がん治療医からICIの治療歴のある患者が紹介される時に、irAEの既往が診療録や紹介状に記載されている



緩和医療専門医：

全くそう思わない11名（6.5%） そう思わない25名（14.7%） ややそう思わない32名（18.8%）  
 ややそう思う45名（26.5%） そう思う44名（25.9%） とてもそう思う9名（5.3%） 無回答4名（2.4%）

緩和医療認定医：

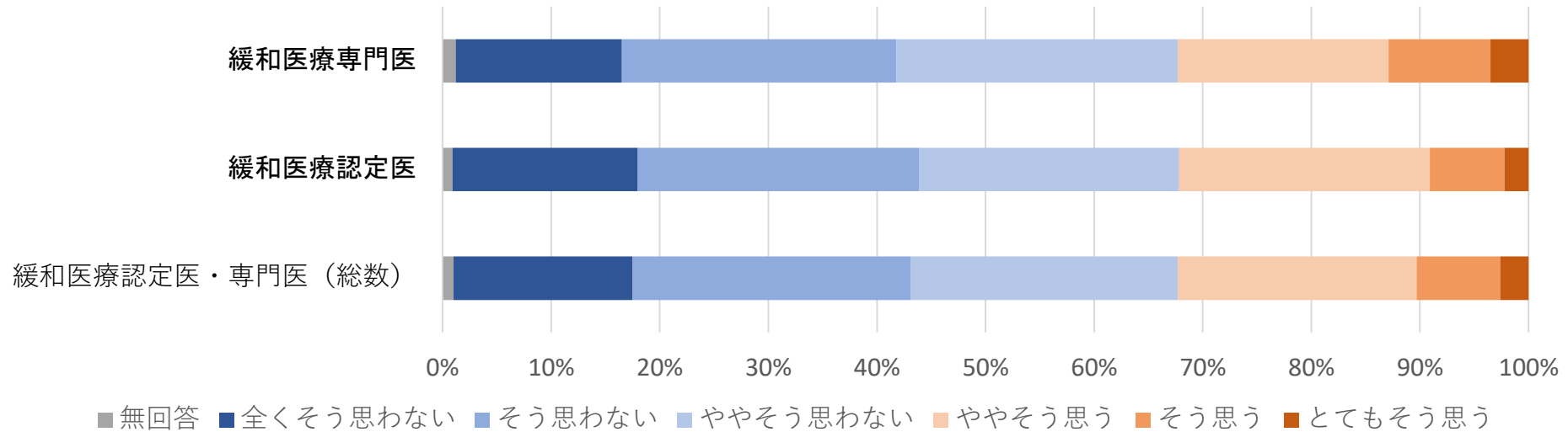
全くそう思わない20名（6.2%） そう思わない39名（12.1%） ややそう思わない66名（20.6%）  
 ややそう思う113名（35.2%） そう思う64名（19.9%） とてもそう思う14名（4.4%） 無回答5名（1.6%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない31名（6.3%） そう思わない64名（13.0%） ややそう思わない98名（19.9%）  
 ややそう思う159名（32.3%） そう思う108名（22.0%） とてもそう思う23名（4.7%） 無回答9名（1.8%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 7) irAEについて患者・家族へ自信をもって説明できる



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない26名（15.3%） そう思わない43名（25.3%） ややそう思わない44名（25.9%）  
 ややそう思う33名（19.4%） そう思う16名（9.4%） とてもそう思う6名（3.5%） 無回答2名（1.2%）

#### 緩和医療認定医：

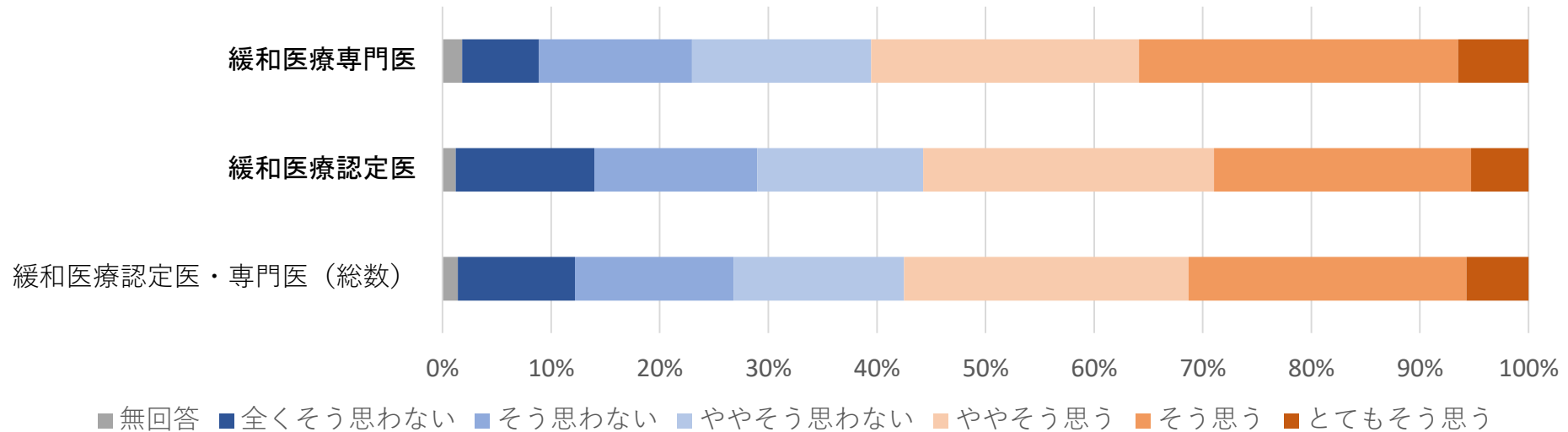
全くそう思わない55名（17.1%） そう思わない83名（25.9%） ややそう思わない77名（24.0%）  
 ややそう思う74名（23.1%） そう思う22名（6.9%） とてもそう思う7名（2.2%） 無回答3名（0.9%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない81名（16.5%） そう思わない126名（25.6%） ややそう思わない121名（24.6%）  
 ややそう思う108名（22.0%） そう思う38名（7.7%） とてもそう思う13名（2.6%） 無回答5名（1.0%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 8) irAEを疑う場合、速やかにがん治療医に相談できる



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない12名（7.1%） そう思わない24名（14.1%） ややそう思わない28名（16.5%）  
 ややそう思う42名（24.7%） そう思う50名（29.4%） とてもそう思う11名（6.5%） 無回答3名（1.8%）

#### 緩和医療認定医：

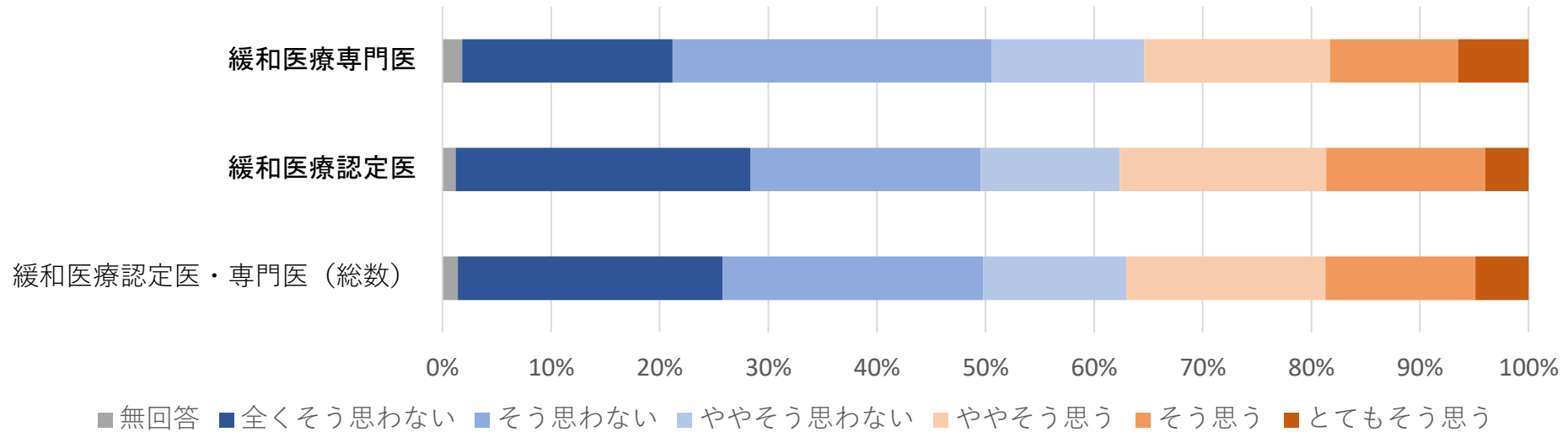
全くそう思わない41名（12.8%） そう思わない48名（15.0%） ややそう思わない49名（15.3%）  
 ややそう思う86名（26.8%） そう思う76名（23.7%） とてもそう思う17名（5.3%） 無回答4名（1.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない53名（10.8%） そう思わない72名（14.6%） ややそう思わない77名（15.7%）  
 ややそう思う129名（26.2%） そう思う126名（25.6%） とてもそう思う28名（5.7%） 無回答7名（1.4%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 9) 日本臨床腫瘍学会のがん免疫療法ガイドラインを知っている



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない33名 (19.4%)    そう思わない50名 (29.4%)    ややそう思わない24名 (14.1%)  
 ややそう思う29名 (17.1%)    そう思う20名 (11.8%)    とてもそう思う11名 (6.5%)    無回答3名 (1.8%)

#### 緩和医療認定医：

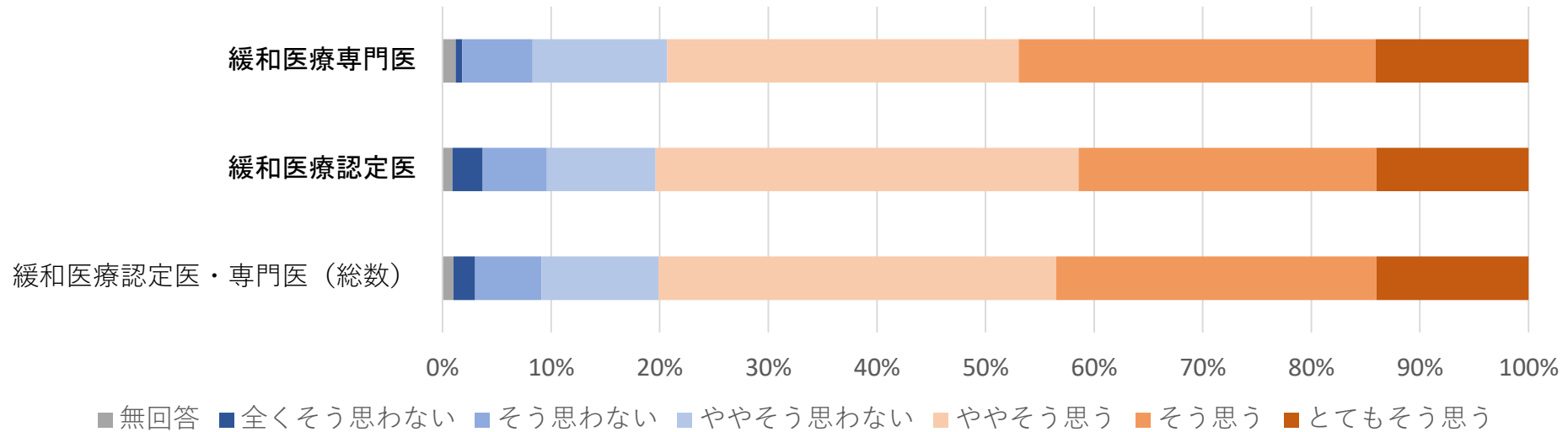
全くそう思わない87名 (27.1%)    そう思わない68名 (21.2%)    ややそう思わない41名 (12.8%)  
 ややそう思う61名 (19.0%)    そう思う47名 (14.6%)    とてもそう思う13名 (4.0%)    無回答4名 (1.2%)

#### 緩和医療専門医・認定医 (総数)：

全くそう思わない120名 (24.4%)    そう思わない118名 (24.0%)    ややそう思わない65名 (13.2%)  
 ややそう思う90名 (18.3%)    そう思う68名 (13.8%)    とてもそう思う24名 (4.9%)    無回答7名 (1.4%)

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 10) irAEの兆候や症状に気付くことができるか不安である



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない11名（6.5%） ややそう思わない21名（12.4%）  
 ややそう思う55名（32.4%） そう思う56名（32.9%） とてもそう思う24名（14.1%） 無回答2名（1.2%）

#### 緩和医療認定医：

全くそう思わない9名（2.8%） そう思わない19名（5.9%） ややそう思わない32名（10.0%）  
 ややそう思う125名（38.9%） そう思う88名（27.4%） とてもそう思う45名（14.0%） 無回答3名（0.9%）

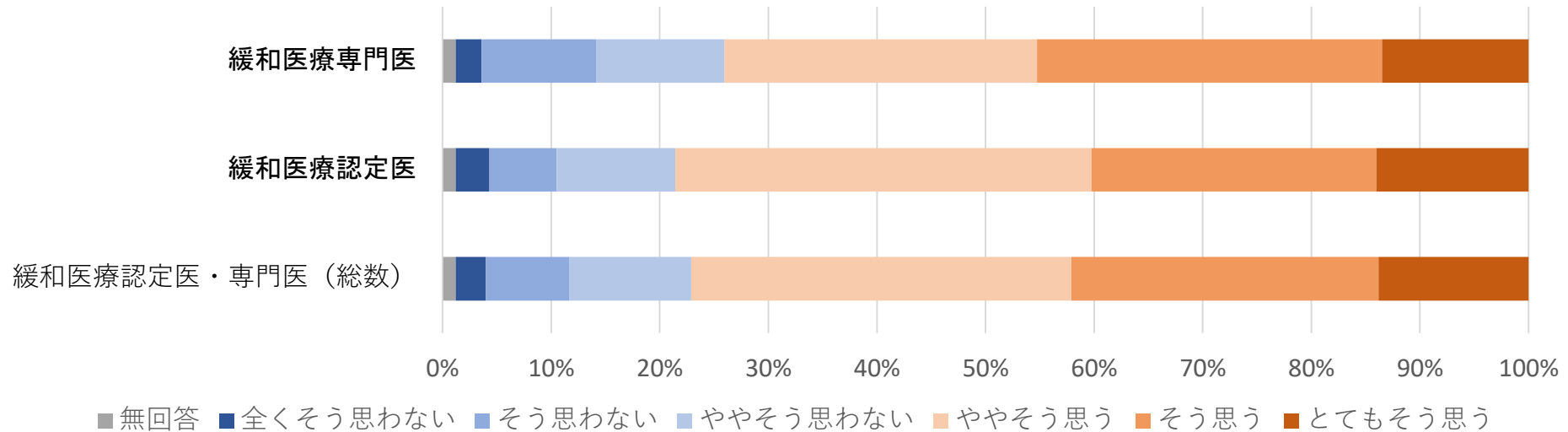
#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない10名（2.0%） そう思わない30名（6.1%） ややそう思わない53名（10.8%）  
 ややそう思う180名（36.6%） そう思う145名（29.5%） とてもそう思う69名（14.0%） 無回答5名（1.0%）



## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 1 1) irAEの治療をすることに不安を感じる



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない4名（2.4%） そう思わない18名（10.6%） ややそう思わない20名（11.8%）  
 ややそう思う49名（28.8%） そう思う54名（31.8%） とてもそう思う23名（13.5%） 無回答2名（1.2%）

#### 緩和医療認定医：

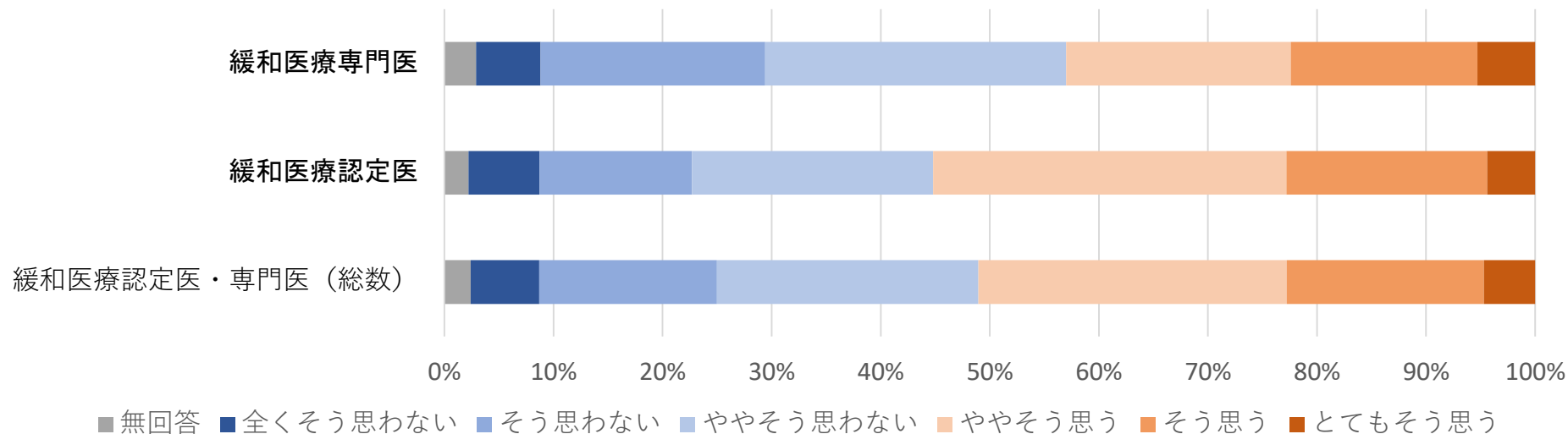
全くそう思わない10名（3.1%） そう思わない20名（6.2%） ややそう思わない35名（10.9%）  
 ややそう思う123名（38.3%） そう思う84名（26.2%） とてもそう思う45名（14.0%） 無回答4名（1.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない14名（2.8%） そう思わない38名（7.7%） ややそう思わない55名（11.2%）  
 ややそう思う172名（35.0%） そう思う139名（28.3%） とてもそう思う68名（13.8%） 無回答6名（1.2%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 12) irAEも病状悪化の症状の一つだと思う



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない10名（5.9%） そう思わない35名（20.6%） ややそう思わない47名（27.6%）  
 ややそう思う35名（20.6%） そう思う29名（17.1%） とてもそう思う9名（5.3%） 無回答5名（2.9%）

#### 緩和医療認定医：

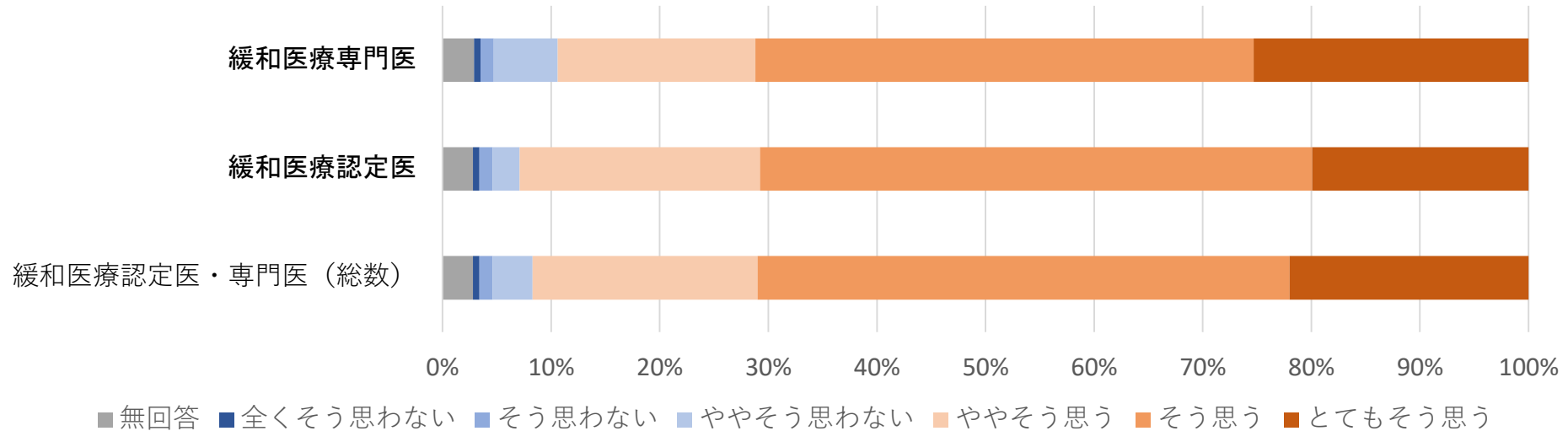
全くそう思わない21名（6.5%） そう思わない45名（14.0%） ややそう思わない71名（22.1%）  
 ややそう思う104名（32.4%） そう思う59名（18.4%） とてもそう思う14名（4.4%） 無回答7名（2.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない31名（6.3%） そう思わない80名（16.3%） ややそう思わない118名（24.0%）  
 ややそう思う139名（28.3%） そう思う89名（18.1%） とてもそう思う23名（4.7%） 無回答12名（2.4%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 1 3) 予後3か月以上の患者のirAEは治療する必要がある



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない1名（0.6%） そう思わない2名（1.2%） ややそう思わない10名（5.9%）  
 ややそう思う31名（18.2%） そう思う78名（45.9%） とてもそう思う43名（25.3%） 無回答5名（2.9%）

#### 緩和医療認定医：

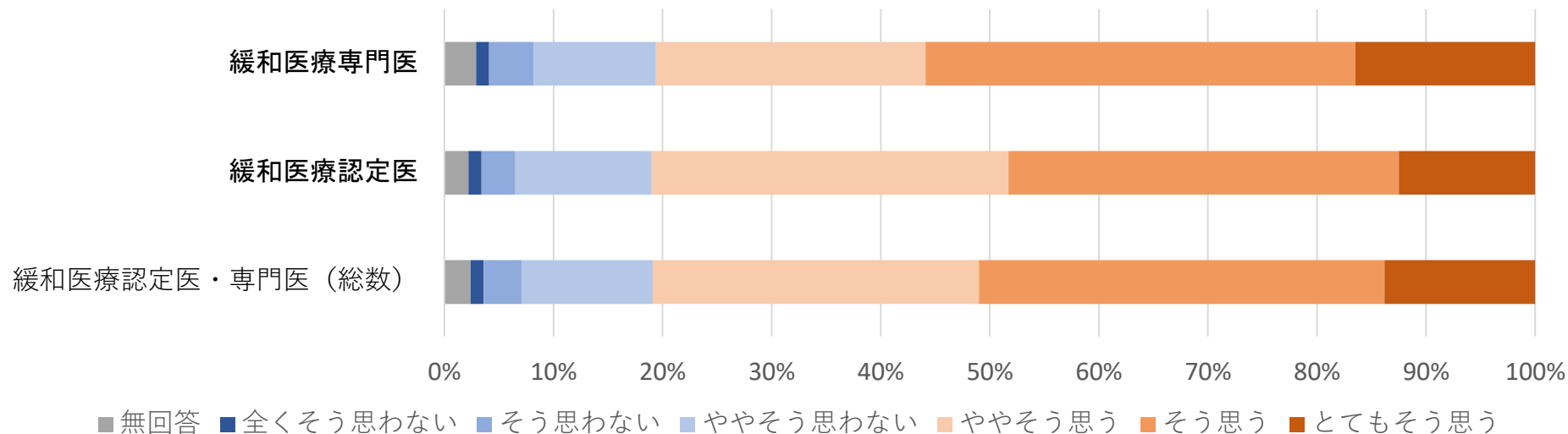
全くそう思わない2名（0.6%） そう思わない4名（1.2%） ややそう思わない8名（2.5%）  
 ややそう思う71名（22.1%） そう思う163名（50.8%） とてもそう思う64名（19.9%） 無回答9名（2.8%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない3名（0.6%） そう思わない6名（1.2%） ややそう思わない18名（3.7%）  
 ややそう思う102名（20.7%） そう思う241名（49.0%） とてもそう思う108名（22.0%） 無回答14名（2.8%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 14) 予後1か月以上～3か月未満の患者のirAEは治療する必要がある



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない2名（1.2%） そう思わない7名（4.1%） ややそう思わない19名（11.2%）  
 ややそう思う42名（24.7%） そう思う67名（39.4%） とてもそう思う28名（16.5%） 無回答5名（2.9%）

#### 緩和医療認定医：

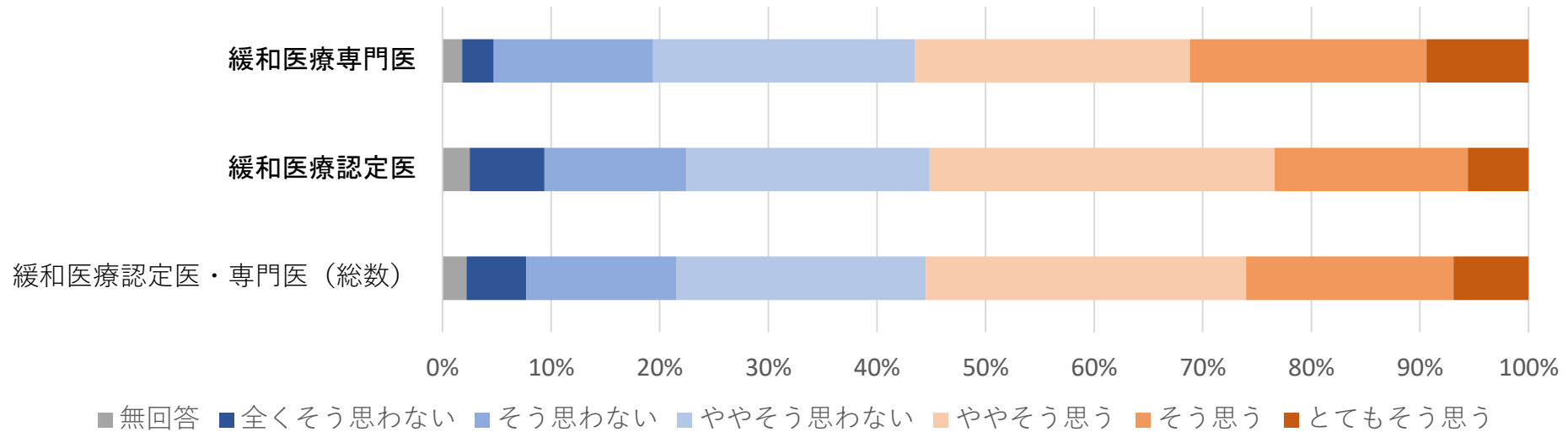
全くそう思わない4名（1.2%） そう思わない10名（3.1%） ややそう思わない40名（12.5%）  
 ややそう思う105名（32.7%） そう思う115名（35.8%） とてもそう思う40名（12.5%） 無回答7名（2.2%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない6名（1.2%） そう思わない17名（3.5%） ややそう思わない59名（12.0%）  
 ややそう思う147名（29.9%） そう思う183名（37.2%） とてもそう思う68名（13.8%） 無回答12名（2.4%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 15) 予後2週以上～1か月未満の患者のirAEは治療する必要がある



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない5名（2.9%） そう思わない25名（14.7%） ややそう思わない41名（24.1%）  
 ややそう思う43名（25.3%） そう思う37名（21.8%） とてもそう思う16名（9.4%） 無回答3名（1.8%）

#### 緩和医療認定医：

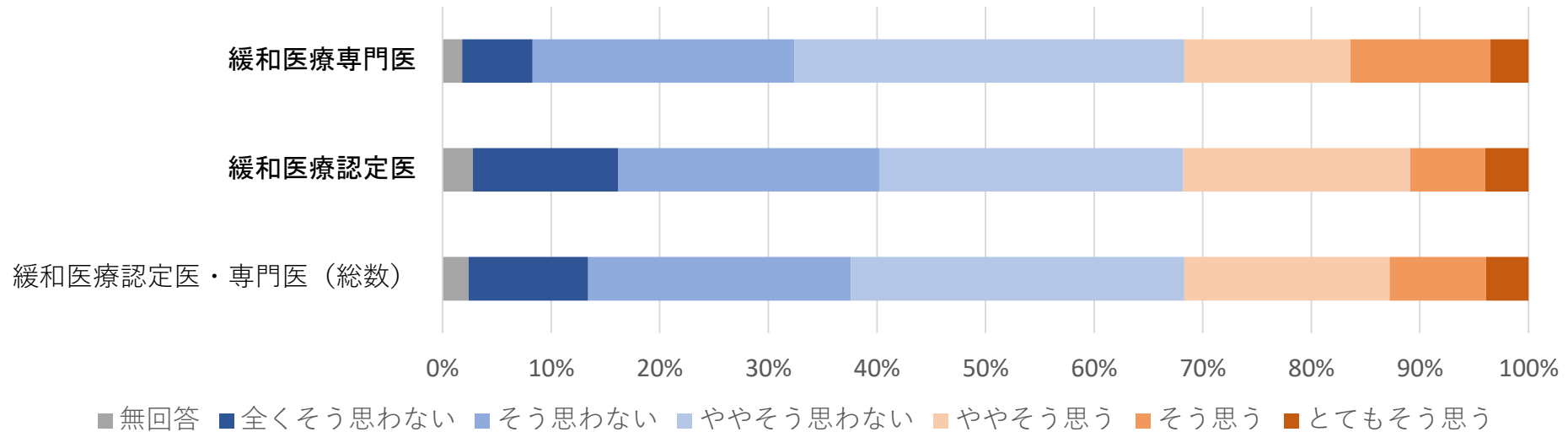
全くそう思わない22名（6.9%） そう思わない42名（13.1%） ややそう思わない72名（22.4%）  
 ややそう思う102名（31.8%） そう思う57名（17.8%） とてもそう思う18名（5.6%） 無回答8名（2.5%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない27名（5.5%） そう思わない69名（13.8%） ややそう思わない113名（23.0%）  
 ややそう思う145名（29.5%） そう思う94名（19.1%） とてもそう思う34名（6.9%） 無回答11名（2.2%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

### 16) 予後2週未満の患者のirAEは治療する必要がある



#### 緩和医療専門医：

全くそう思わない11名（6.5%） そう思わない41名（24.1%） ややそう思わない61名（35.9%）  
 ややそう思う26名（15.3%） そう思う22名（12.9%） とてもそう思う6名（3.5%） 無回答3名（1.8%）

#### 緩和医療認定医：

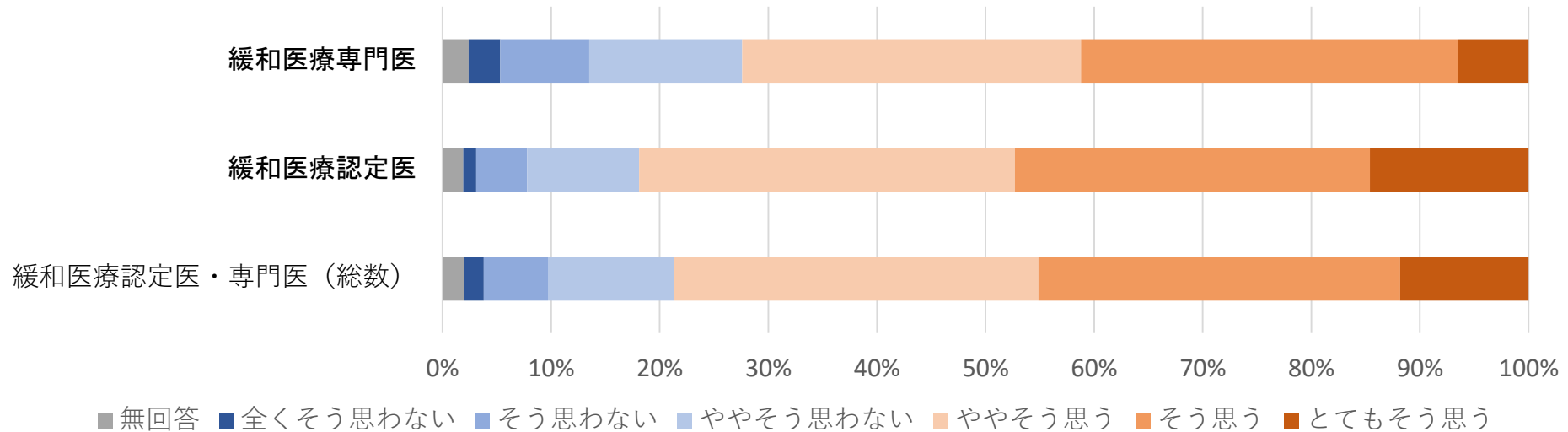
全くそう思わない43名（13.4%） そう思わない77名（24.0%） ややそう思わない90名（28.0%）  
 ややそう思う67名（20.9%） そう思う22名（6.9%） とてもそう思う13名（4.0%） 無回答9名（2.8%）

#### 緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない54名（11.0%） そう思わない119名（24.2%） ややそう思わない151名（30.7%）  
 ややそう思う93名（18.9%） そう思う44名（8.9%） とてもそう思う19名（3.9%） 無回答12名（2.4%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

17) がん治療医以外がICI治療後の患者を診療するためにはがん治療医のフォローアップも必要である



緩和医療専門医：

全くそう思わない5名（2.9%） そう思わない14名（8.2%） ややそう思わない24名（14.1%）  
 ややそう思う53名（31.2%） そう思う59名（34.7%） とてもそう思う11名（6.5%） 無回答4名（2.4%）

緩和医療認定医：

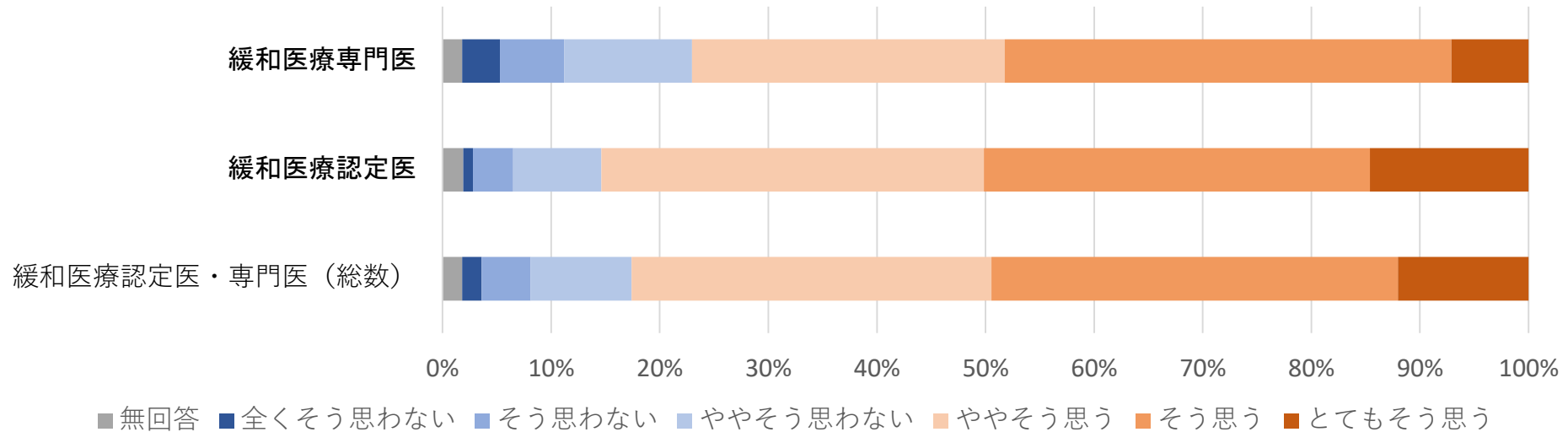
全くそう思わない4名（1.2%） そう思わない15名（4.7%） ややそう思わない33名（10.3%）  
 ややそう思う111名（34.6%） そう思う105名（32.7%） とてもそう思う47名（14.6%） 無回答6名（1.9%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

全くそう思わない9名（1.8%） そう思わない29名（5.9%） ややそう思わない57名（11.6%）  
 ややそう思う165名（33.5%） そう思う164名（33.3%） とてもそう思う58名（11.8%） 無回答10名（2.0%）

## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

18) がん治療医以外がirAE発症後の患者を診療するためにはがん治療医のフォローアップも必要である



緩和医療専門医：

全くそう思わない6名（3.5%） そう思わない10名（5.9%） ややそう思わない20名（11.8%）  
 ややそう思う49名（28.8%） そう思う70名（41.2%） とてもそう思う12名（7.1%） 無回答3名（1.8%）

緩和医療認定医：

全くそう思わない3名（0.9%） そう思わない12名（3.7%） ややそう思わない26名（8.1%）  
 ややそう思う113名（35.2%） そう思う114名（35.5%） とてもそう思う47名（14.6%） 無回答6名（1.9%）

緩和医療専門医・認定医（総数）：

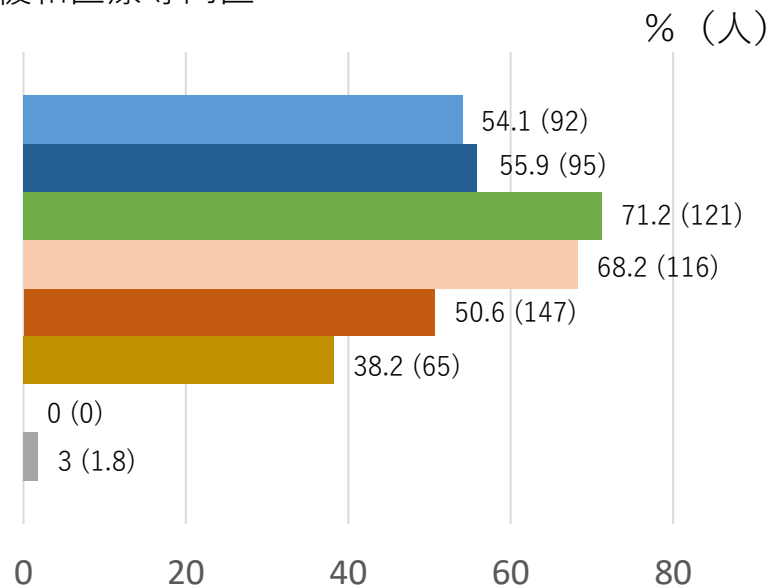
全くそう思わない9名（1.8%） そう思わない22名（4.5%） ややそう思わない46名（9.3%）  
 ややそう思う163名（33.1%） そう思う184名（37.4%） とてもそう思う59名（12.0%） 無回答9名（1.8%）



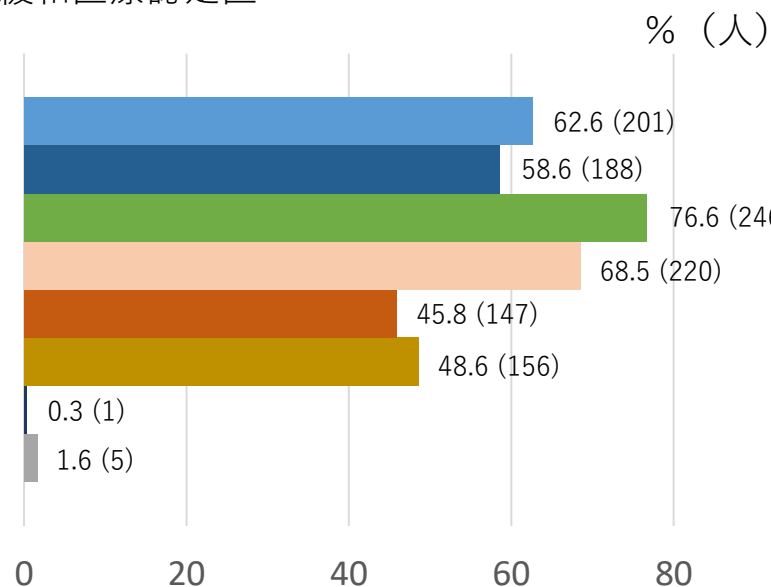
## VI 抗がん治療終了後の患者における、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や免疫関連有害事象（irAE）に関して、あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけて下さい。

19) ICI治療後やirAE発症後の患者を診療する上で、どのようなことがあれば安心して診療することができますか。あなたが当てはまると思うもの全てに○をつけて下さい。

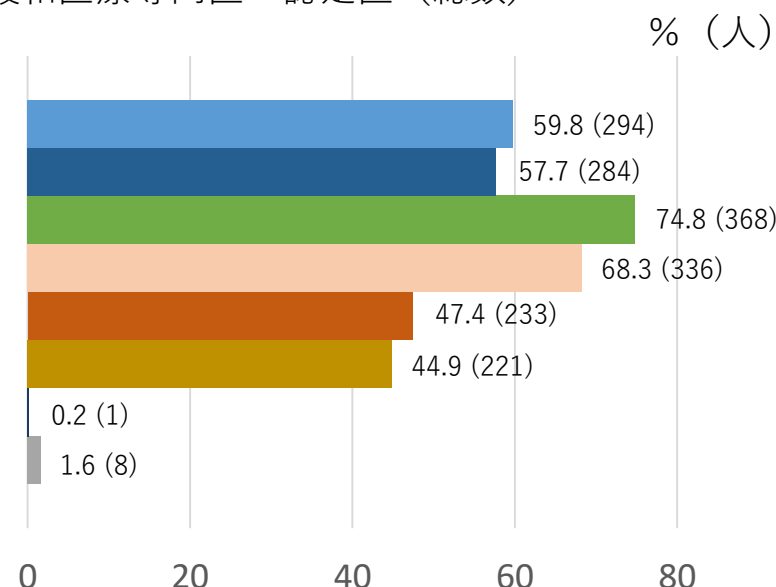
緩和医療専門医



緩和医療認定医



緩和医療専門医・認定医（総数）



- 講習会
- e-Learning
- ガイドライン
- がん治療医に相談できる体制
- がん治療医の併診
- 患者家族への説明マニュアル
- いずれがあっても診療できない
- 無回答

- 講習会
- e-Learning
- ガイドライン
- がん治療医に相談できる体制
- がん治療医の併診
- 患者家族への説明マニュアル
- いずれがあっても診療できない
- 無回答

- 講習会
- e-Learning
- ガイドライン
- がん治療医に相談できる体制
- がん治療医の併診
- 患者家族への説明マニュアル
- いずれがあっても診療できない
- 無回答

## VII あなたご自身についてお伺いします。

### 1. 年齢

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
平均年齢±標準偏差（歳）	47.8±6.9	50.3±8.4	49.4±8.0

無回答：0

### 2. 性別

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
男	121	255	346
女	49	95	145
無回答	0	1	0

### 3. 医師免許取得後の臨床経験年数

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
平均年数±標準偏差（年）	22.2±6.9 （無回答：1）	24.3±8.7 （無回答：0）	23.5±8.2 （無回答：1）

## VII あなたご自身についてお伺いします。

### 4. 年間に診療するがん患者数

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
平均患者数±標準偏差（人）	238.4±498.0 （無回答：1）	177.5±240.8 （無回答：7）	198.6±353.1 （無回答：8）

### 5. 年間に診療する痛みのあるがん患者数

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
平均患者数±標準偏差（人）	182.1±389.0 （無回答：1）	121.8±195.7 （無回答：9）	142.9±280.1 （無回答：10）

### 6. 年間に診療期間中に死亡するがん患者数

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
平均患者数±標準偏差（人）	105.8±95.0 （無回答：2）	78.2±76.2 （無回答：9）	87.8±84.1 （無回答：11）

## VII あなたご自身についてお伺いします。

7. 主に勤務している医療機関を選んでください。（該当が複数ある場合はすべてお選びください）

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
がん診療連携拠点病院	94（55.3%）	136（42.4%）	231（47.0%）
拠点病院以外の病院	45（26.5%）	134（41.7%）	179（36.4%）
大学病院	38（22.4%）	39（12.1%）	77（15.7%）
臨床研修指定病院	35（20.6%）	77（24.0%）	112（22.8%）
診療所	25（14.7%）	41（12.8%）	66（13.4%）
該当なし	4（2.4%）	9（2.8%）	13（2.6%）
無回答	0	0	0

8. 現在1週間で最も長い時間行っている診療形態を1つ選んでください。

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
緩和ケア病棟	60（35.3%）	101（31.5%）	162（32.9%）
緩和ケアチーム	63（37.1%）	91（28.3%）	154（31.3%）
訪問診療	20（11.8%）	31（9.7%）	51（10.4%）
外来	11（6.5%）	41（12.8%）	52（10.6%）
その他	12（7.1%）	51（15.9%）	63（12.8%）
無回答	4（2.4%）	6（1.9%）	10（2.0%）

## VII あなたご自身についてお伺いします。

9. 緩和医療に関する日本緩和医療学会認定の専門資格を1つ選んでください。

	(人)
緩和医療専門医	170
緩和医療認定医	321
無回答	1

## VII あなたご自身についてお伺いします。

10. 緩和ケア・緩和医療以外の専門があれば選択してください（複数選択可）。

	緩和医療専門医	緩和医療認定医	緩和医療専門医・認定医（総数）
内科	56（32.9%）	107（33.3%）	164（33.3%）
外科	30（17.6%）	83（25.9%）	113（23.0%）
総合診療科	9（5.3%）	24（7.5%）	33（6.7%）
精神科	1（0.6%）	8（2.5%）	9（1.8%）
脳神経外科	0（0%）	1（0.3%）	1（0.2%）
耳鼻いんこう科	0（0%）	3（0.9%）	3（0.6%）
泌尿器科	0（0%）	14（4.4%）	14（2.8%）
婦人科	1（0.6%）	8（2.5%）	9（1.8%）
整形外科	1（0.6%）	0（0%）	1（0.2%）
腫瘍内科・化学療法科	9（5.3%）	13（4.0%）	22（4.5%）
放射線科	0（0%）	6（1.9%）	6（1.2%）
リハビリテーション科	1（0.6%）	1（0.3%）	2（0.4%）
麻酔科	37（21.8%）	50（15.6%）	87（17.7%）
ペインクリニック科	36（21.2%）	33（10.3%）	69（14.0%）
循環器科	2（1.2%）	1（0.3%）	3（0.6%）
その他	11（6.5%）	26（8.1%）	37（7.5%）
無回答	28（16.5%）	27（8.4%）	55（11.2%）

結果

ペインクリニック専門医

# 【対象者フロー ペインクリニック専門医】

調査対象

ペインクリニック専門医 1525名

国外在住 2名  
連絡先・勤務先不明 5名  
教育・研究機関のみの勤務 5名  
老人介護施設勤務 3名  
産科のみの病院勤務 2名  
クリニック・診療所・医院 396名

ペインクリニック専門医 1112名

郵送

不達・未返送 525名

ペインクリニック専門医 587名

調査協力拒否 42名

解析対象

ペインクリニック専門医 545名



本調査にご協力いただけない場合には、下記にチェックをして返信用封筒でご返送ください。

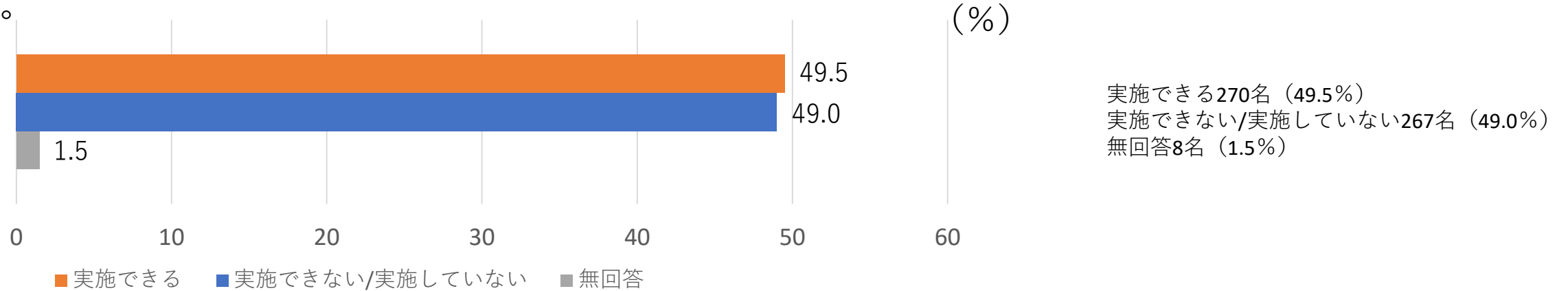
調査には協力しません 42名 (7.2%)

無回答 (以後に回答) 545名 (92.8%)

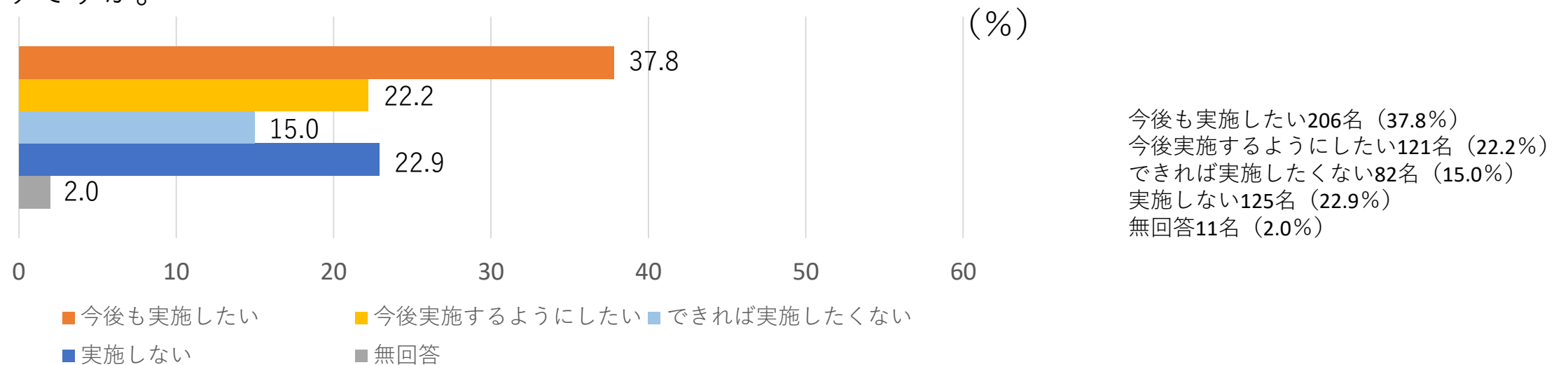
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

a. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、今後、実施するつもりですか。



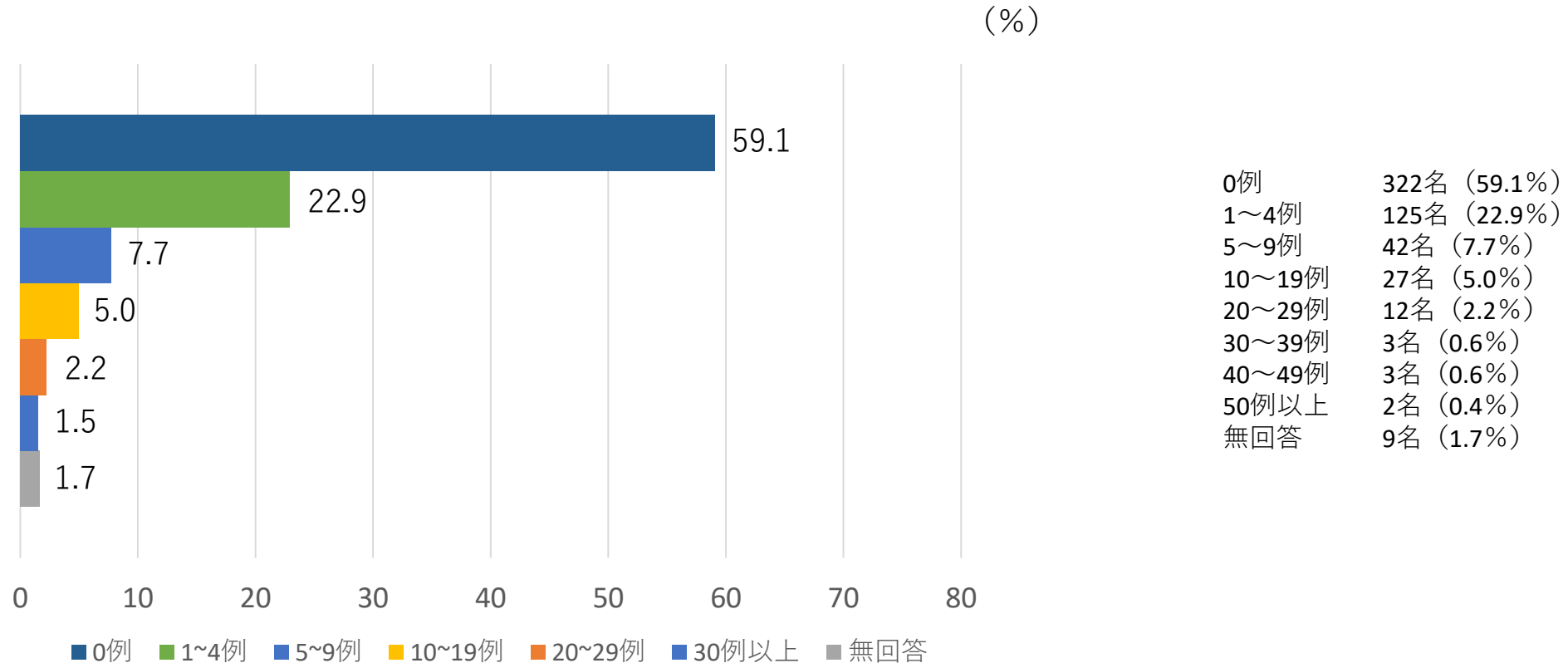
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：2.89±9.94

中央値（4分範囲）：0（0-3）

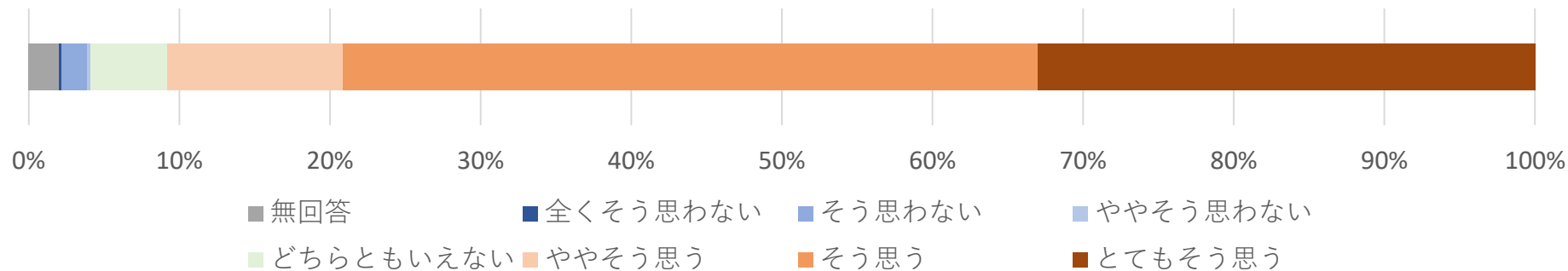


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

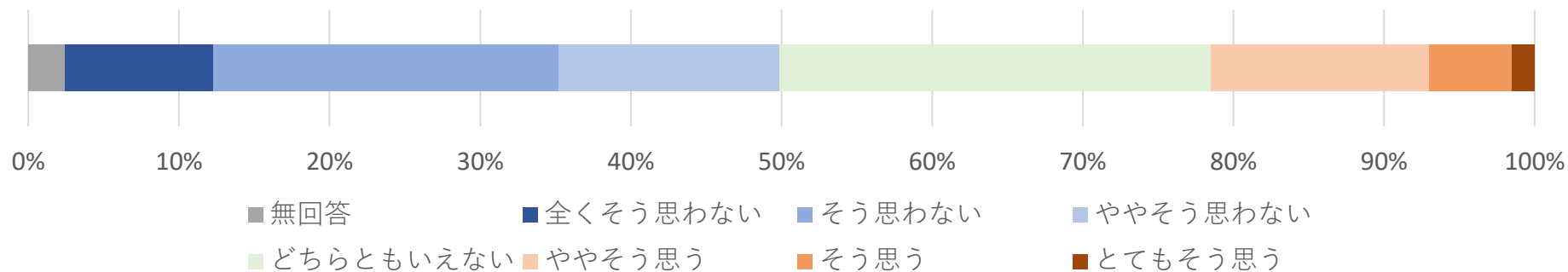
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



全くそう思わない1名 (0.2%)    そう思わない9名 (1.7%)    ややそう思わない1名 (0.2%)    どちらともいえない28名 (5.1%)  
ややそう思う64名 (11.7%)    そう思う251名 (46.1%)    とてもそう思う180名 (33.0%)    無回答11名 (2.0%)

### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている



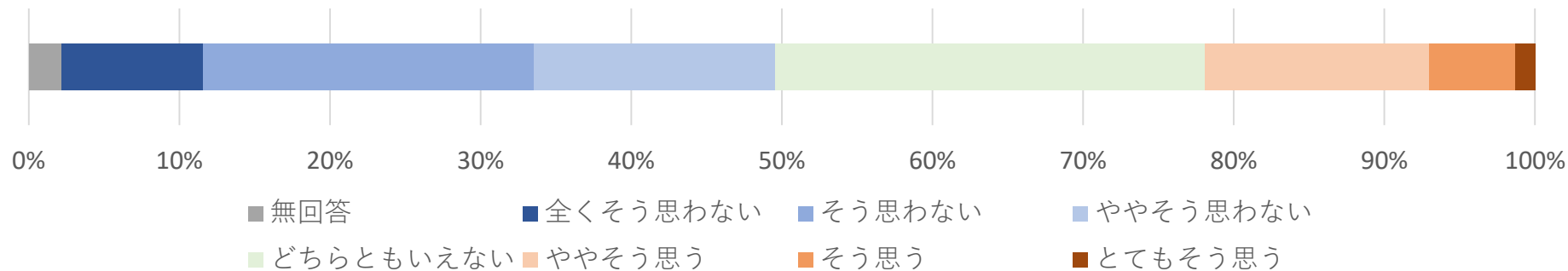
全くそう思わない54名 (9.9%)    そう思わない125名 (22.9%)    ややそう思わない80名 (14.7%)    どちらともいえない156名 (28.6%)  
ややそう思う79名 (14.5%)    そう思う30名 (5.5%)    とてもそう思う8名 (1.5%)    無回答13名 (2.4%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

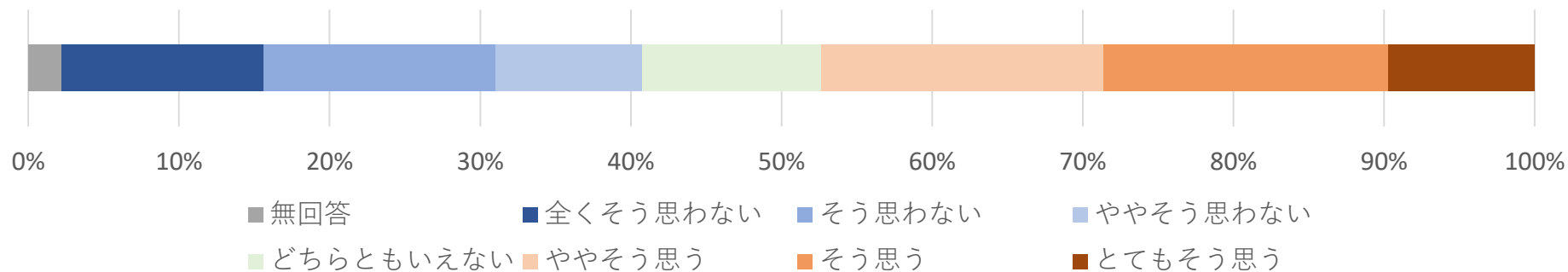
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない51名 (9.4%)    そう思わない120名 (22.0%)    ややそう思わない87名 (16.0%)    どちらともいえない156名 (28.6%)  
ややそう思う81名 (14.9%)    そう思う31名 (5.7%)    とてもそう思う7名 (1.3%)    無回答12名 (2.2%)

### 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



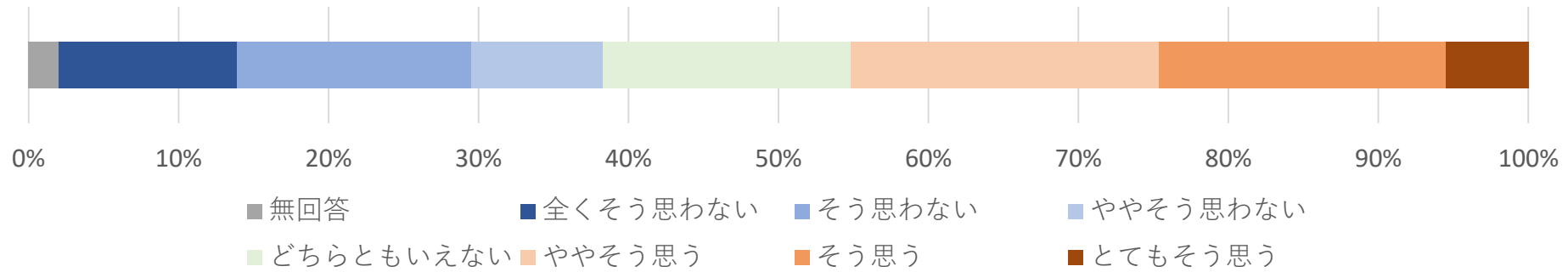
全くそう思わない73名 (13.4%)    そう思わない84名 (15.4%)    ややそう思わない53名 (9.7%)    どちらともいえない65名 (11.9%)  
ややそう思う102名 (18.7%)    そう思う103名 (18.9%)    とてもそう思う53名 (9.7%)    無回答12名 (2.2%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

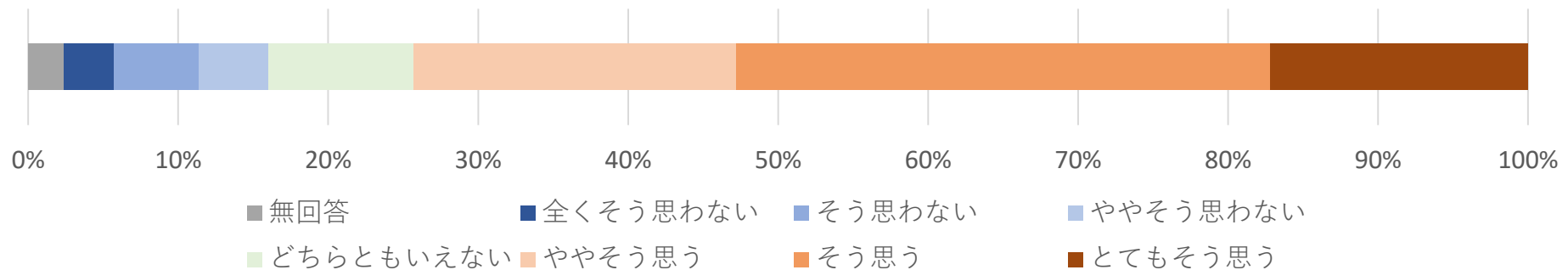
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない65名 (11.9%) そう思わない85名 (15.6%) ややそう思わない48名 (8.8%) どちらともいえない90名 (16.5%)  
ややそう思う112名 (20.6%) そう思う104名 (19.1%) とてもそう思う30名 (5.5%) 無回答11名 (2.0%)

### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



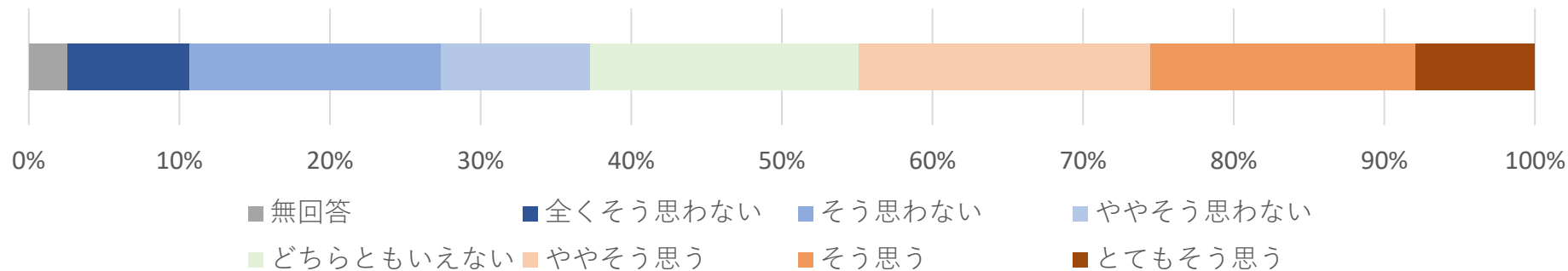
全くそう思わない18名 (3.3%) そう思わない31名 (5.7%) ややそう思わない25名 (4.6%) どちらともいえない53名 (9.7%)  
ややそう思う117名 (21.5%) そう思う194名 (35.6%) とてもそう思う94名 (17.2%) 無回答13名 (2.4%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

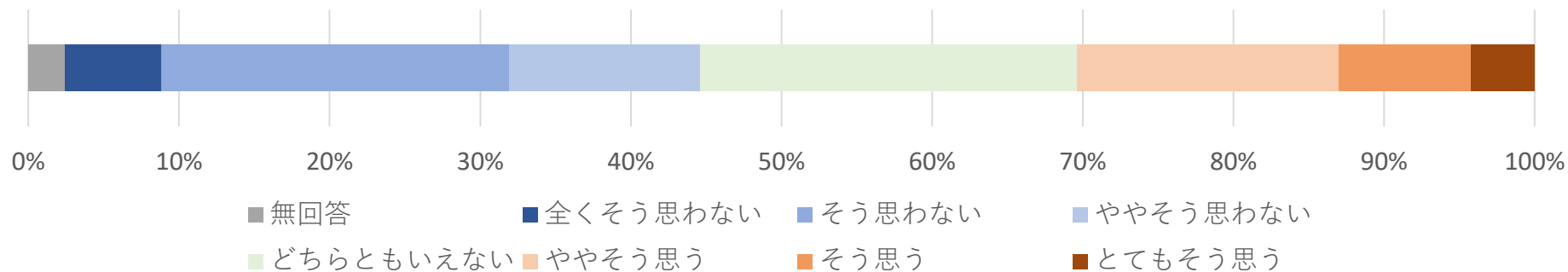
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない44名 (8.1%)    そう思わない91名 (16.7%)    ややそう思わない54名 (9.9%)    どちらともいえない97名 (17.8%)  
ややそう思う106名 (19.4%)    そう思う96名 (17.6%)    とてもそう思う43名 (7.9%)    無回答14名 (2.6%)

### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



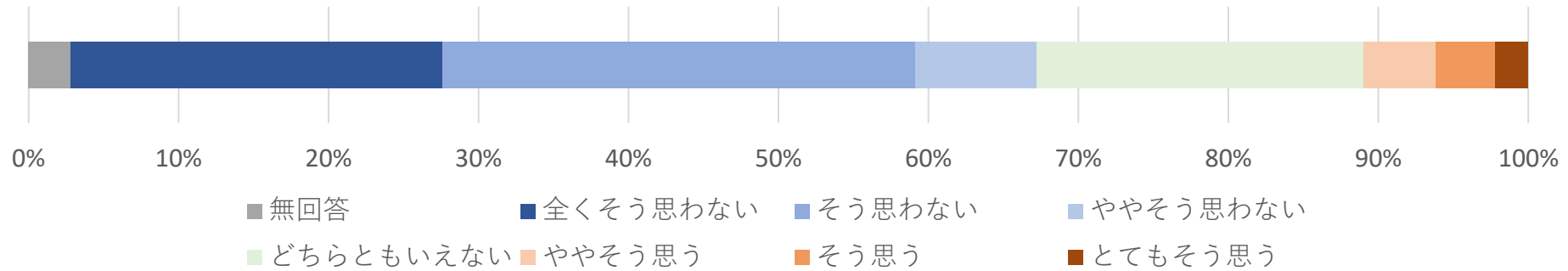
全くそう思わない35名 (6.4%)    そう思わない126名 (23.1%)    ややそう思わない69名 (12.7%)    どちらともいえない136名 (25.0%)  
ややそう思う95名 (17.4%)    そう思う48名 (8.8%)    とてもそう思う23名 (4.2%)    無回答13名 (2.4%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

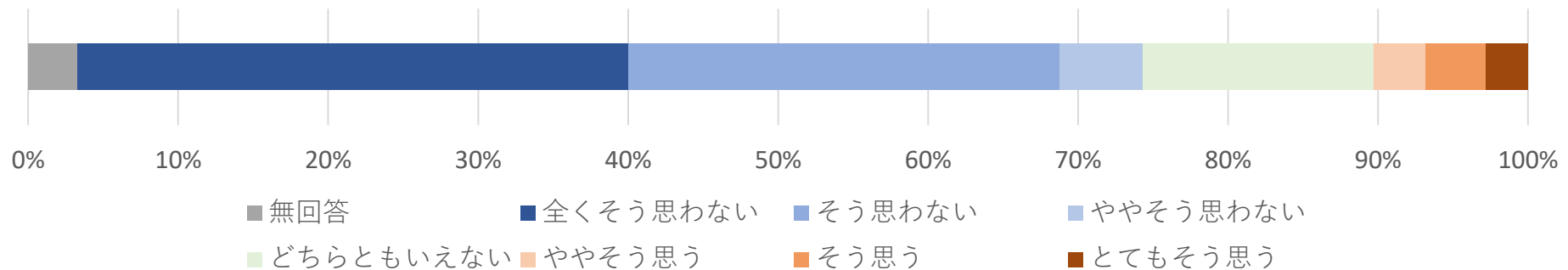
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない135名 (24.8%) そう思わない172名 (31.6%) ややそう思わない44名 (8.1%) どちらともいえない119名 (21.8%)  
ややそう思う26名 (4.8%) そう思う22名 (4.0%) とてもそう思う12名 (2.2%) 無回答15名 (2.8%)

### 10) 自施設での導入が容認されない



全くそう思わない200名 (36.7%) そう思わない157名 (28.8%) ややそう思わない30名 (5.5%) どちらともいえない84名 (15.4%)  
ややそう思う19名 (3.5%) そう思う22名 (4.0%) とてもそう思う15名 (2.8%) 無回答18名 (3.3%)

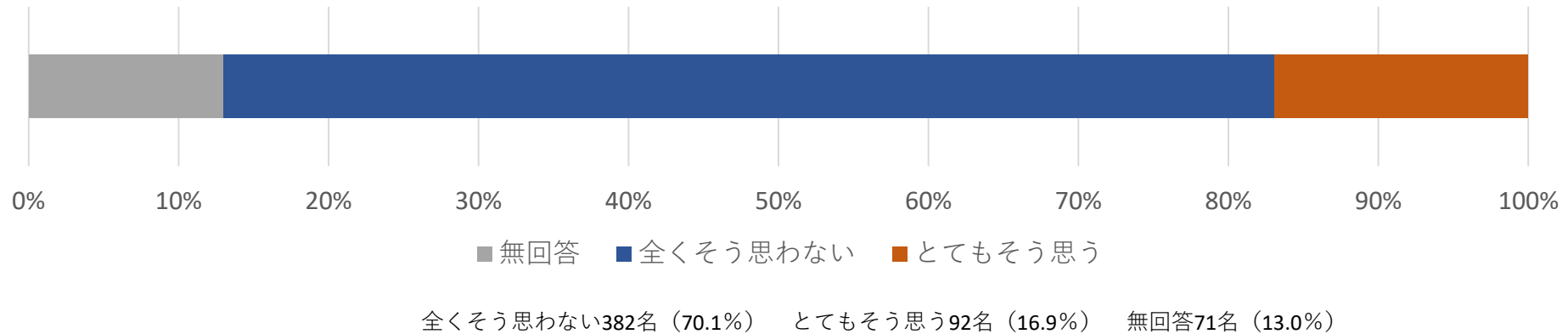


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

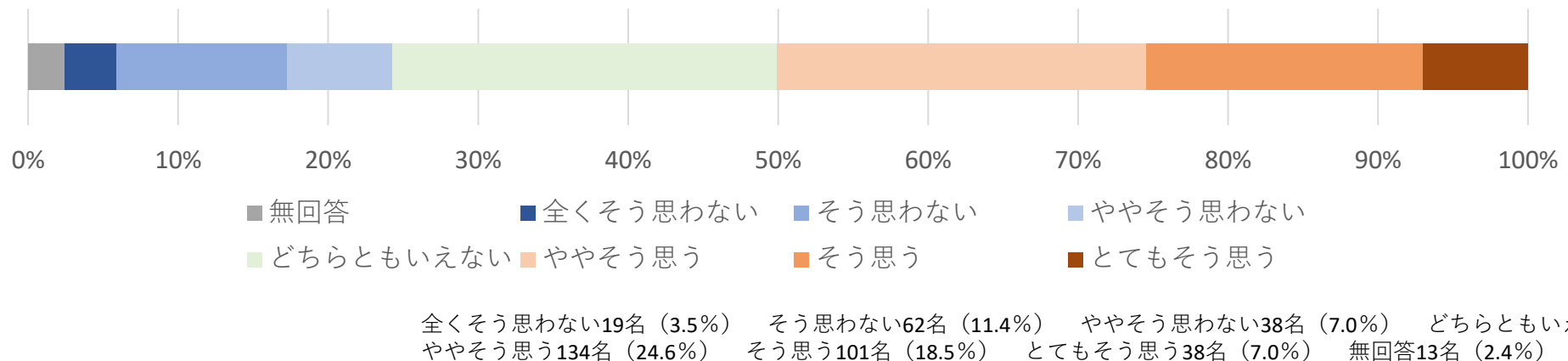
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

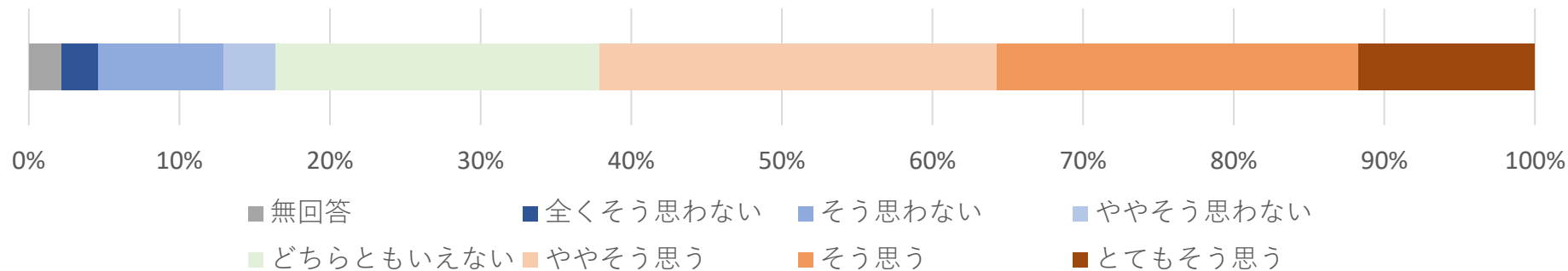


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである

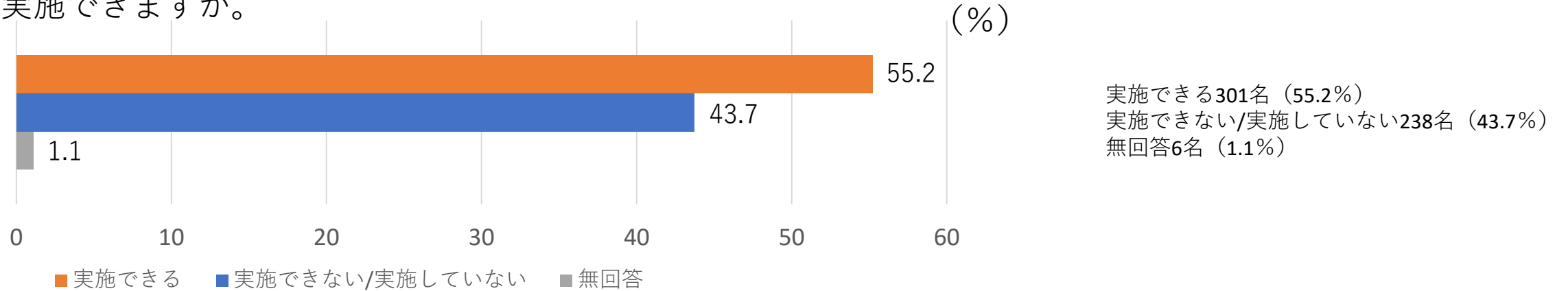


全くそう思わない13名 (2.4%)    そう思わない45名 (8.3%)    ややそう思わない19名 (3.5%)    どちらともいえない117名 (21.5%)  
ややそう思う144名 (26.4%)    そう思う131名 (24.0%)    とてもそう思う64名 (11.7%)    無回答12名 (2.2%)

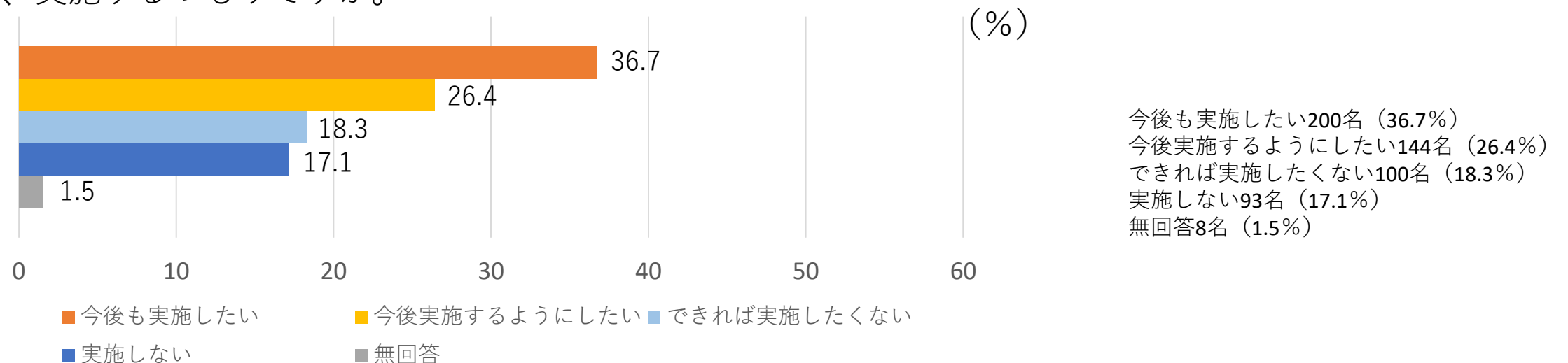
# 1. がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

a. あなた自身は、がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）を、今後、実施するつもりですか。



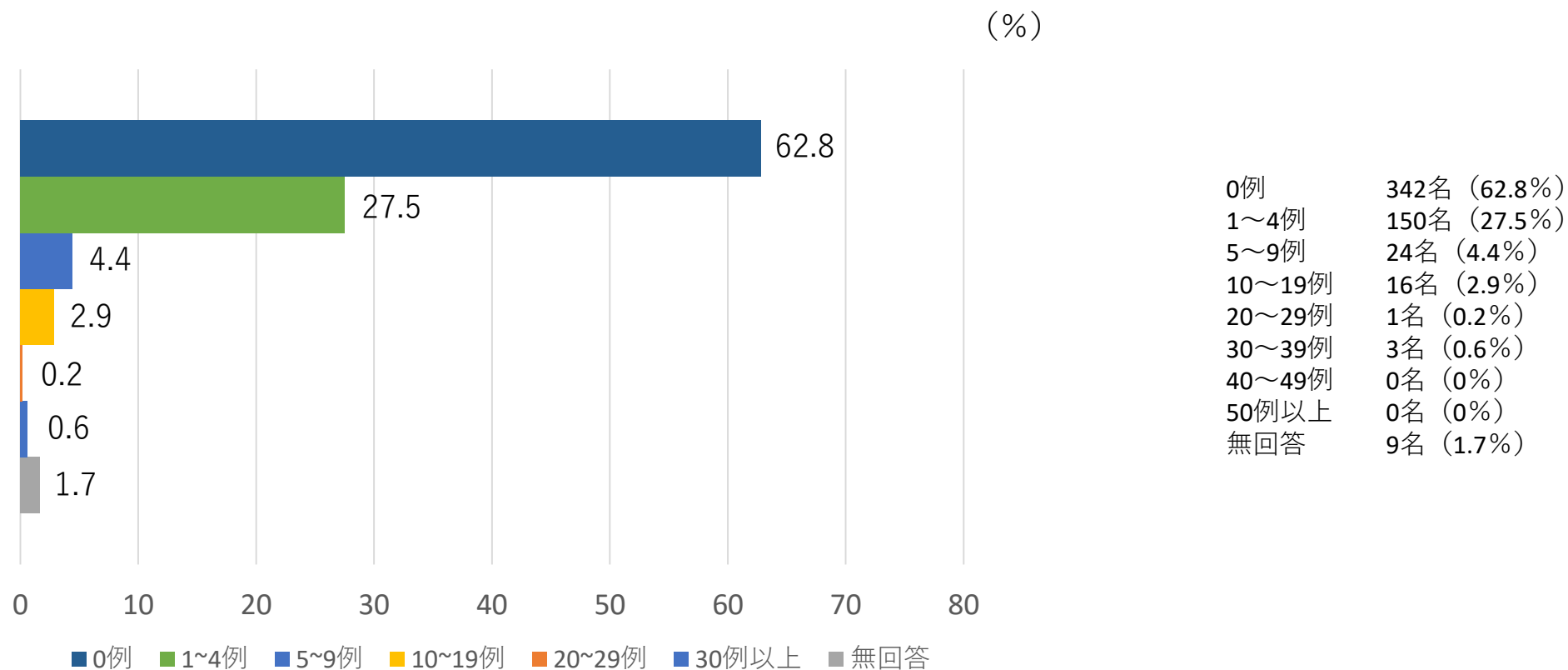
# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：1.32±3.22

中央値（4分範囲）：0（0-1）

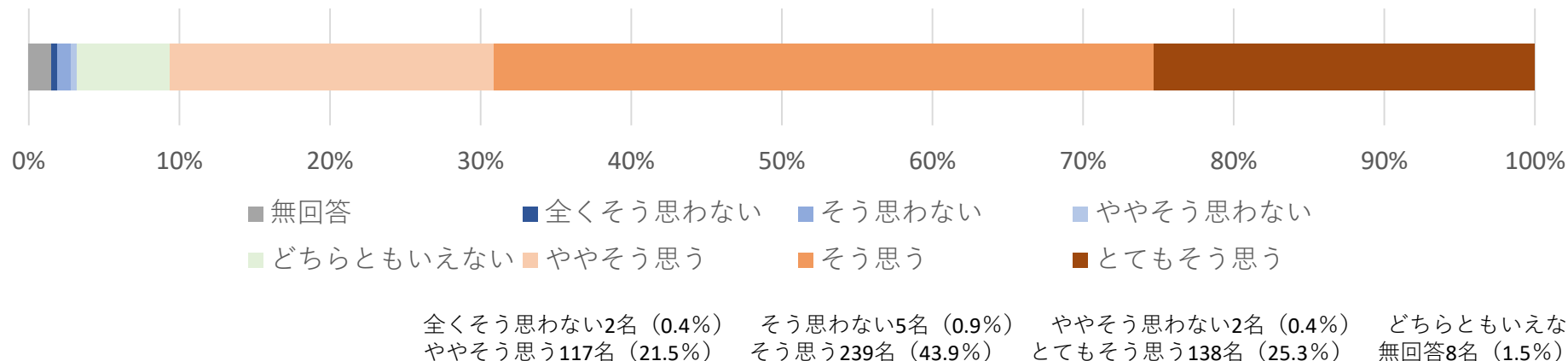


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

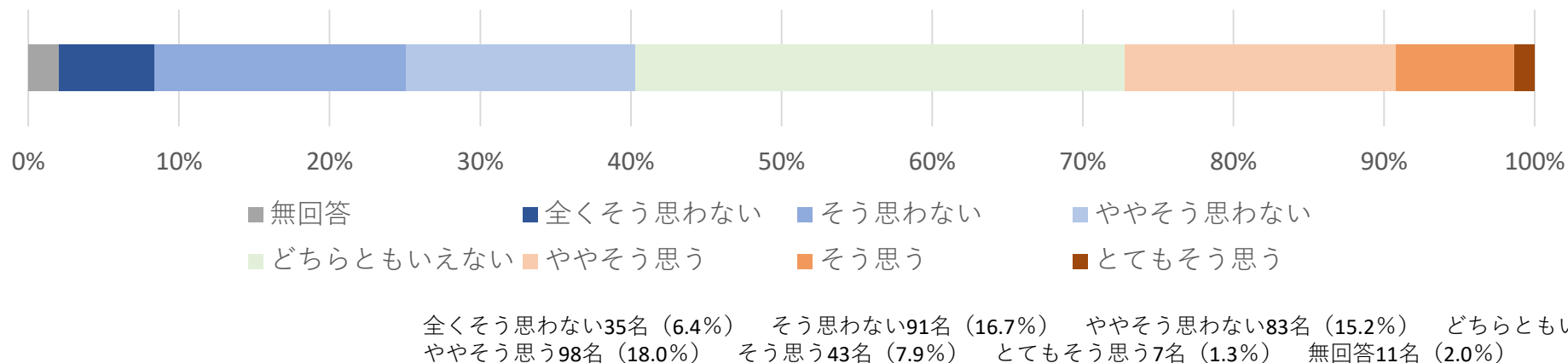
2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1) 有効な方法である



## 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

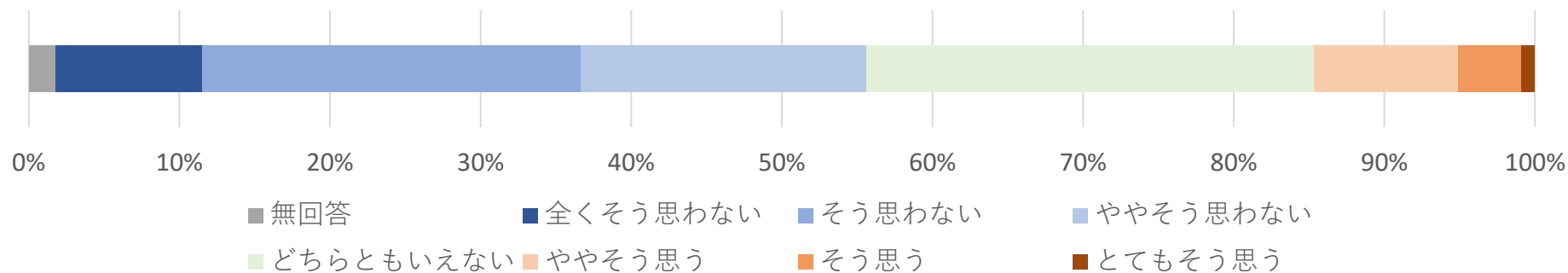


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

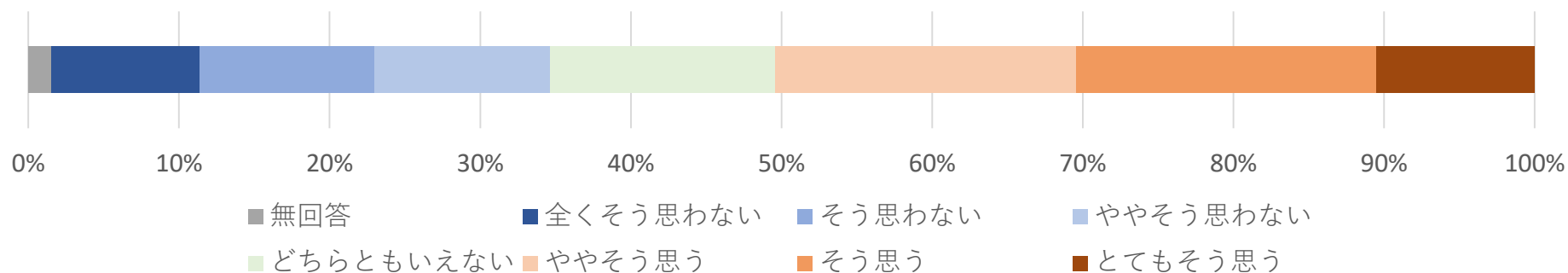
d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない53名 (9.7%) そう思わない137名 (25.1%) ややそう思わない103名 (18.9%) どちらともいえない162名 (29.7%)  
ややそう思う52名 (9.5%) そう思う23名 (4.2%) とてもそう思う5名 (0.9%) 無回答10名 (1.8%)

4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



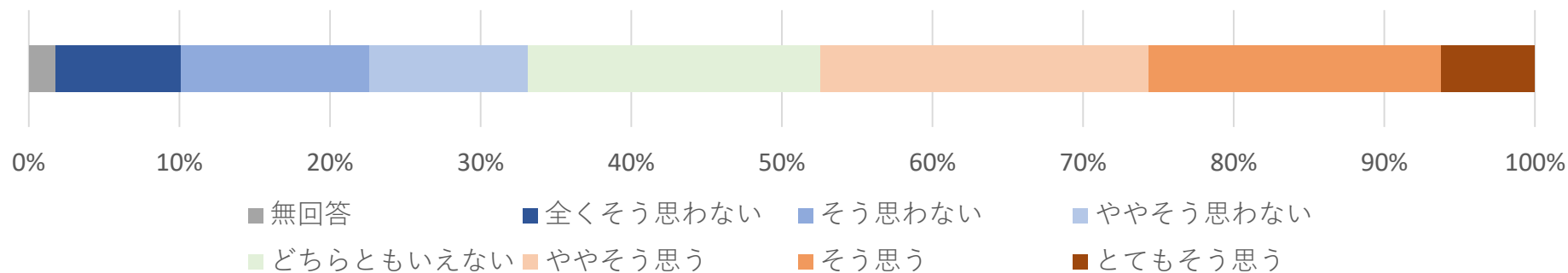
全くそう思わない54名 (9.9%) そう思わない63名 (11.6%) ややそう思わない64名 (11.7%) どちらともいえない81名 (14.9%)  
ややそう思う109名 (20.0%) そう思う109名 (20.0%) とてもそう思う57名 (10.5%) 無回答8名 (1.5%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

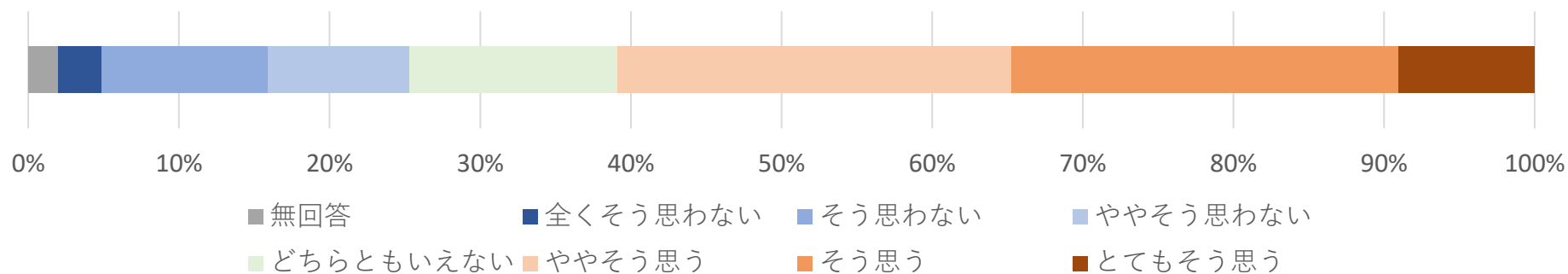
d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない45名 (8.3%)    そう思わない68名 (12.5%)    ややそう思わない57名 (10.5%)    どちらともいえない106名 (19.4%)  
ややそう思う119名 (21.8%)    そう思う106名 (19.4%)    とてもそう思う34名 (6.2%)    無回答10名 (1.8%)

6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



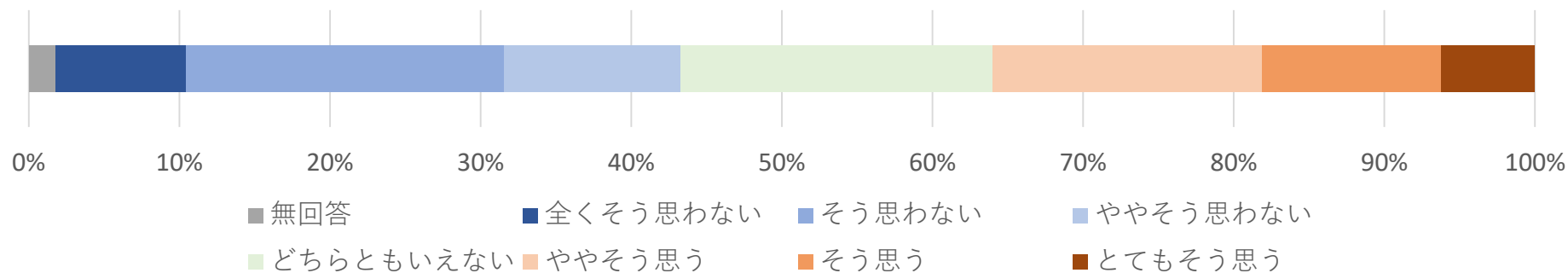
全くそう思わない16名 (2.9%)    そう思わない60名 (11.0%)    ややそう思わない51名 (9.4%)    どちらともいえない75名 (13.8%)  
ややそう思う143名 (26.2%)    そう思う140名 (25.7%)    とてもそう思う49名 (9.0%)    無回答11名 (2.0%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

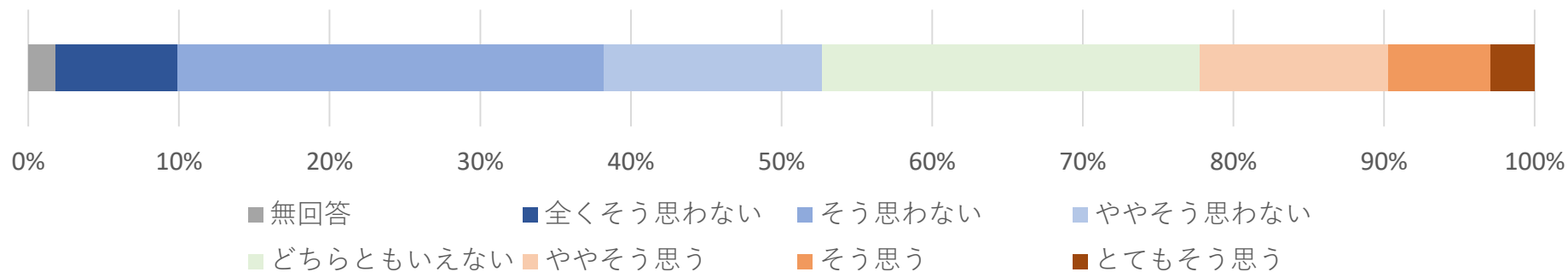
d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない47名 (8.6%) そう思わない115名 (21.1%) ややそう思わない64名 (11.7%) どちらともいえない113名 (20.7%)  
ややそう思う97名 (17.8%) そう思う65名 (11.9%) とてもそう思う34名 (6.2%) 無回答10名 (1.8%)

8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



全くそう思わない44名 (8.1%) そう思わない154名 (28.3%) ややそう思わない79名 (14.5%) どちらともいえない137名 (25.1%)  
ややそう思う68名 (12.5%) そう思う37名 (6.8%) とてもそう思う16名 (2.9%) 無回答10名 (1.8%)

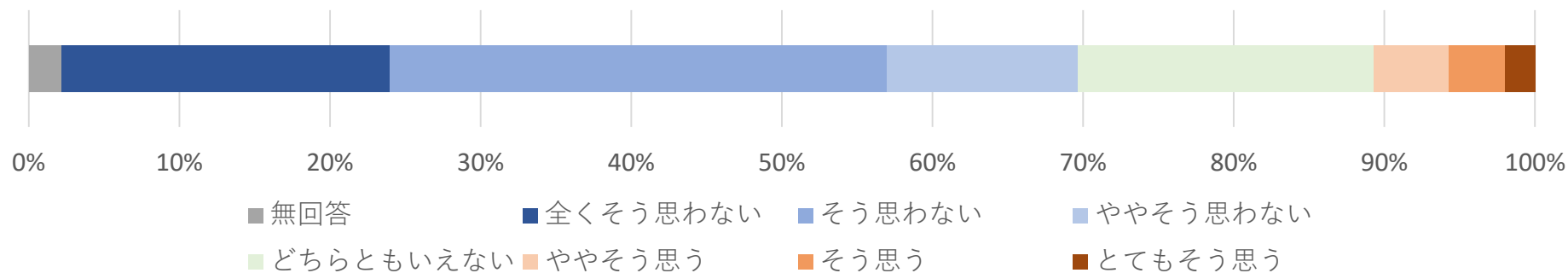


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

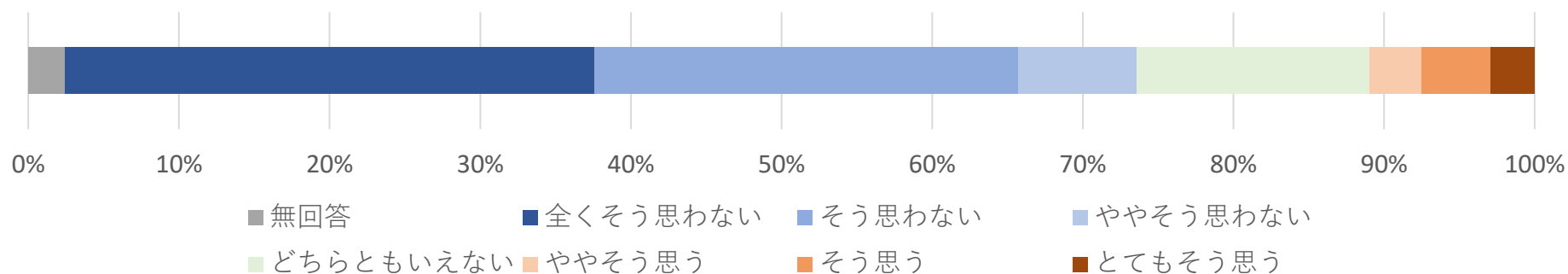
d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない119名 (21.8%) そう思わない180名 (33.0%) ややそう思わない69名 (12.7%) どちらともいえない107名 (19.6%)  
ややそう思う27名 (5.0%) そう思う20名 (3.7%) とてもそう思う11名 (2.0%) 無回答12名 (2.2%)

## 10) 自施設での導入が容認されない



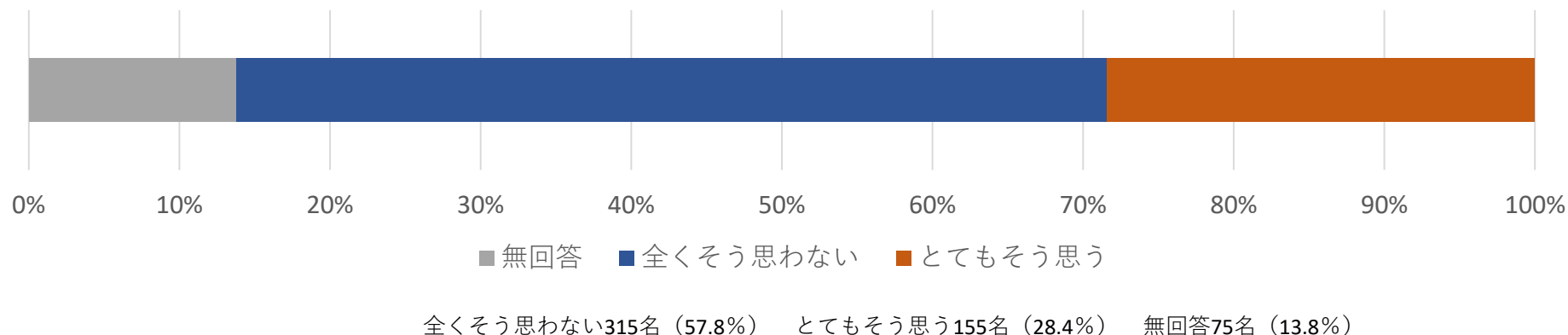
全くそう思わない192名 (35.2%) そう思わない153名 (28.1%) ややそう思わない43名 (7.9%) どちらともいえない84名 (15.4%)  
ややそう思う19名 (3.5%) そう思う25名 (4.6%) とてもそう思う16名 (2.9%) 無回答13名 (2.4%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

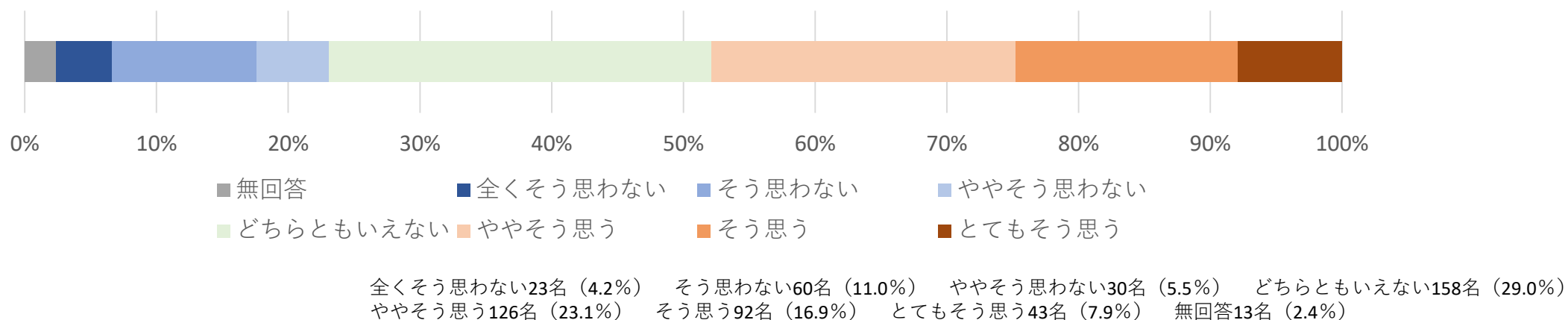
2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



## 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

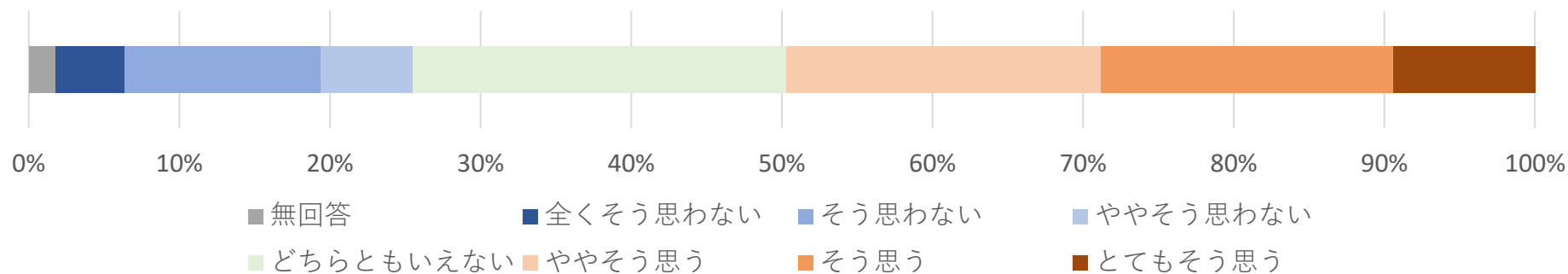


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

2. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について

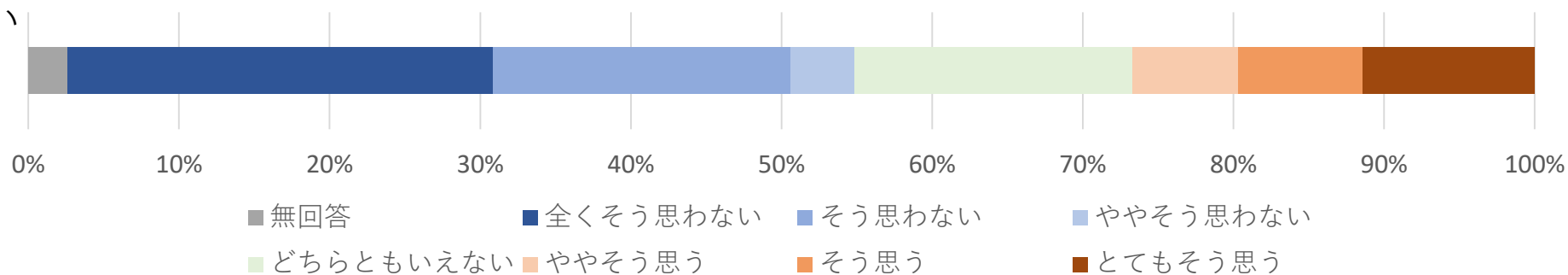
d. がんによる会陰部や肛門部の痛みに対するくも膜下フェノールブロック（サドルブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである



全くそう思わない25名 (4.6%) そう思わない71名 (13.0%) ややそう思わない33名 (6.1%) どちらともいえない135名 (24.8%)  
ややそう思う114名 (20.9%) そう思う106名 (19.4%) とてもそう思う51名 (9.4%) 無回答10名 (1.8%)

## 1 4) 院内調剤が必要であるフェノールグリセリンの調剤・使用が施設内の倫理委員会や薬事委員会などで許可されない

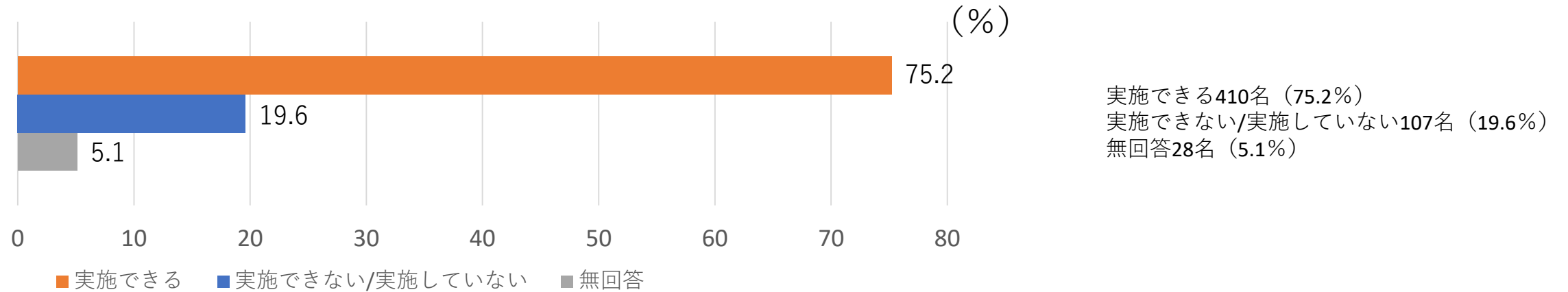


全くそう思わない154名 (28.3%) そう思わない108名 (19.8%) ややそう思わない23名 (4.2%) どちらともいえない101名 (18.5%)  
ややそう思う38名 (7.0%) そう思う45名 (8.3%) とてもそう思う62名 (11.4%) 無回答14名 (2.6%)

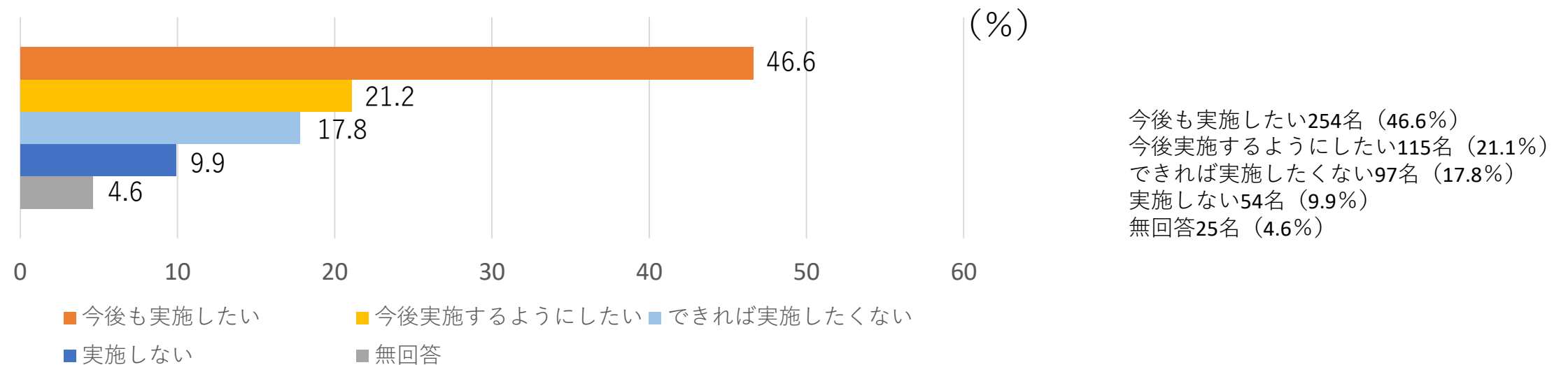
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

a. あなた自身は、がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックを、現在実施できますか。



b. あなた自身は、がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックを、今後、実施するつもりですか。



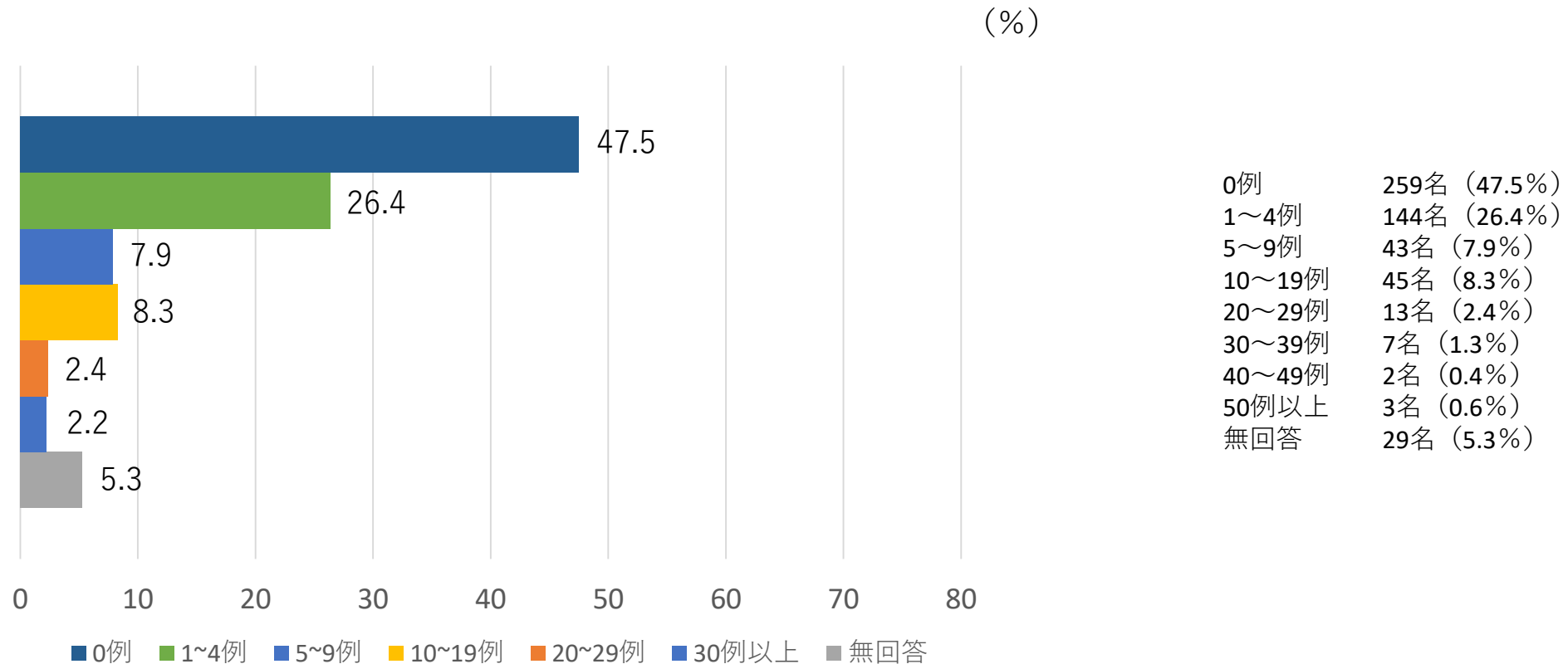
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：3.38±7.00

中央値（4分範囲）：0（0-3）

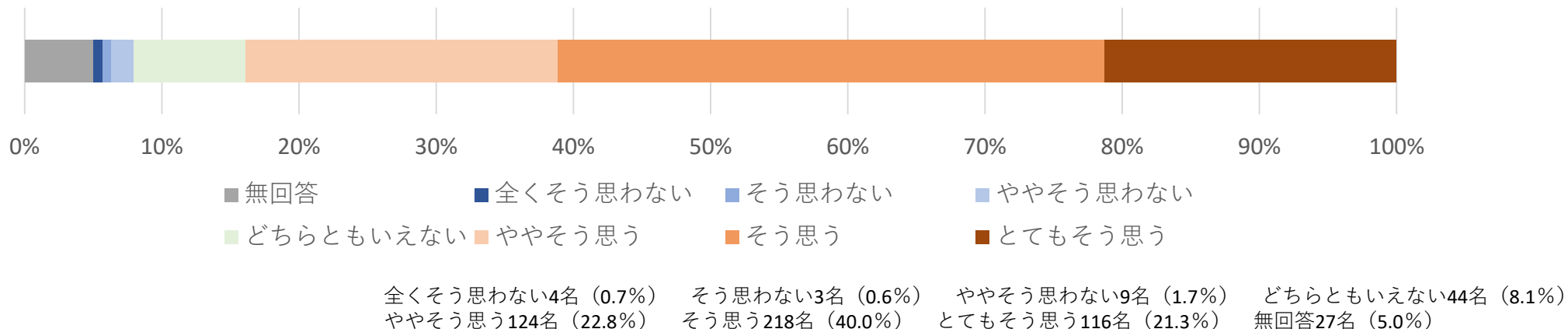


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

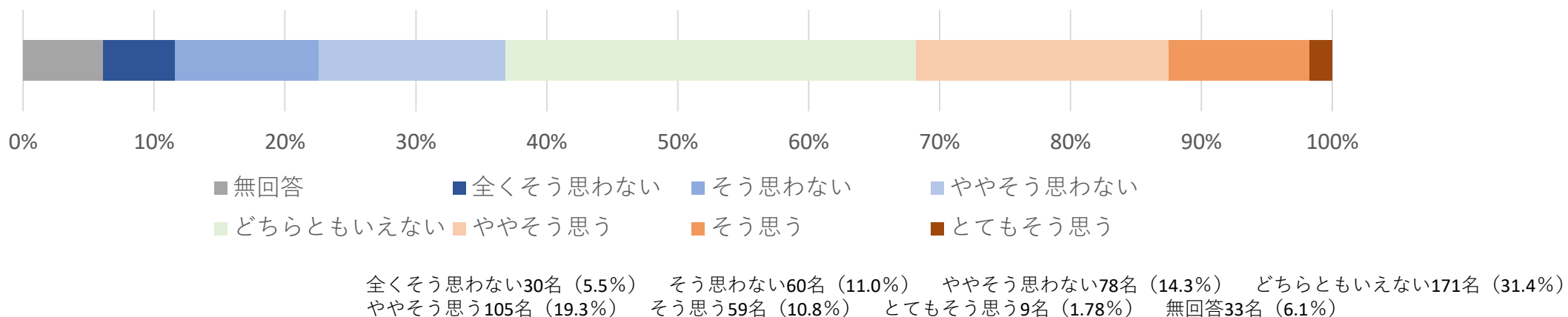
## 3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

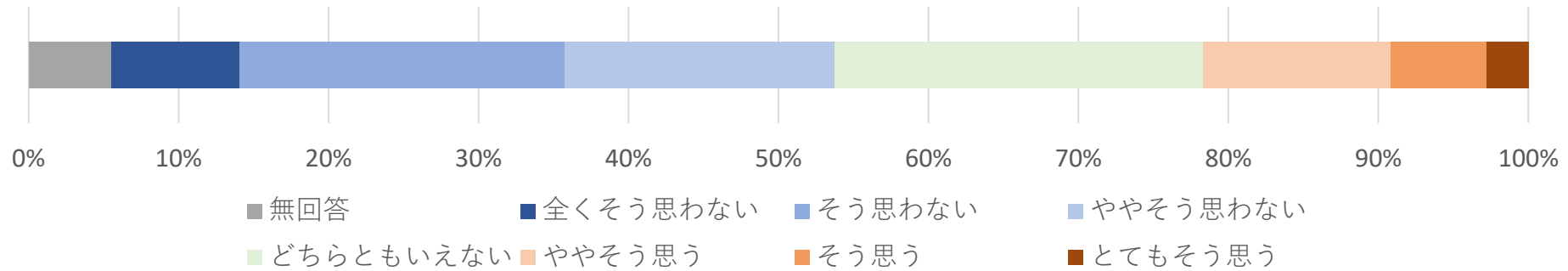


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

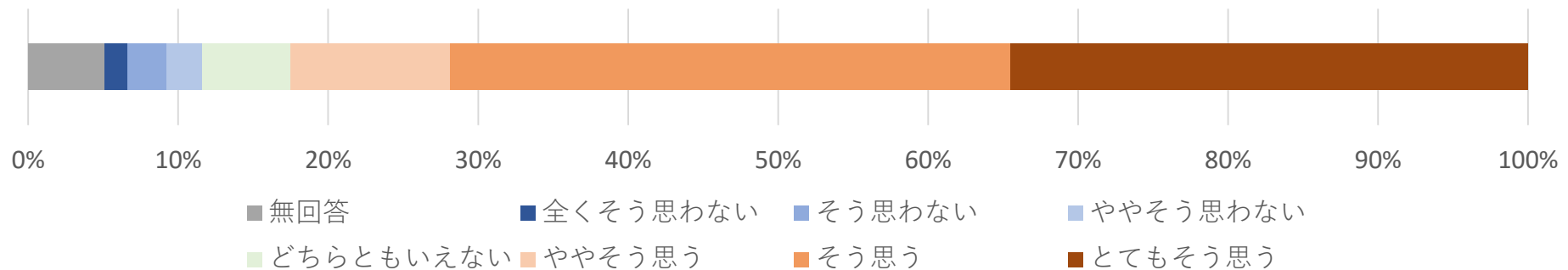
d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない47名 (8.6%) そう思わない118名 (21.7%) ややそう思わない98名 (19.0%) どちらともいえない134名 (24.6%)  
ややそう思う68名 (12.5%) そう思う35名 (6.4%) とてもそう思う15名 (2.8%) 無回答30名 (5.5%)

4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



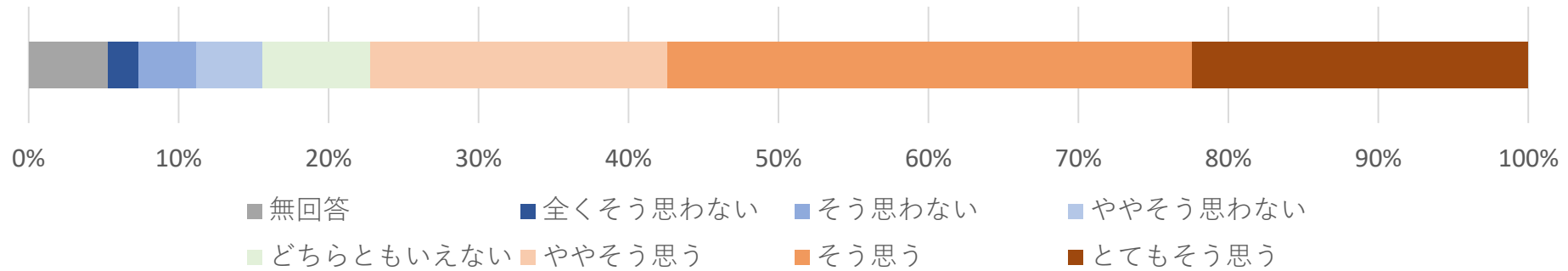
全くそう思わない8名 (1.5%) そう思わない14名 (2.6%) ややそう思わない13名 (2.4%) どちらともいえない32名 (5.9%)  
ややそう思う58名 (10.6%) そう思う204名 (37.4%) とてもそう思う188名 (34.5%) 無回答28名 (5.1%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

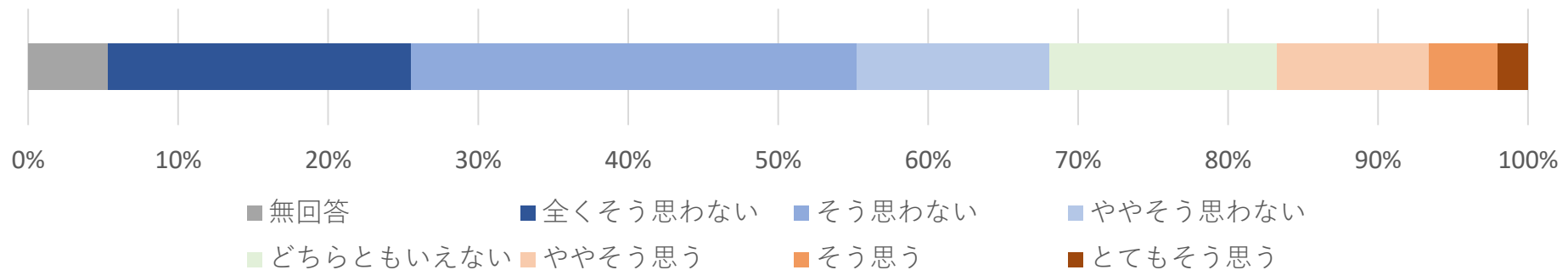
d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない11名 (2.0%)    そう思わない21名 (3.9%)    ややそう思わない24名 (4.4%)    どちらともいえない99名 (7.2%)  
ややそう思う108名 (19.8%)    そう思う191名 (35.0%)    とてもそう思う122名 (22.4%)    無回答29名 (5.3%)

6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



全くそう思わない110名 (20.2%)    そう思わない162名 (29.7%)    ややそう思わない70名 (12.8%)    どちらともいえない83名 (15.2%)  
ややそう思う55名 (10.1%)    そう思う25名 (4.6%)    とてもそう思う11名 (2.0%)    無回答29名 (5.3%)

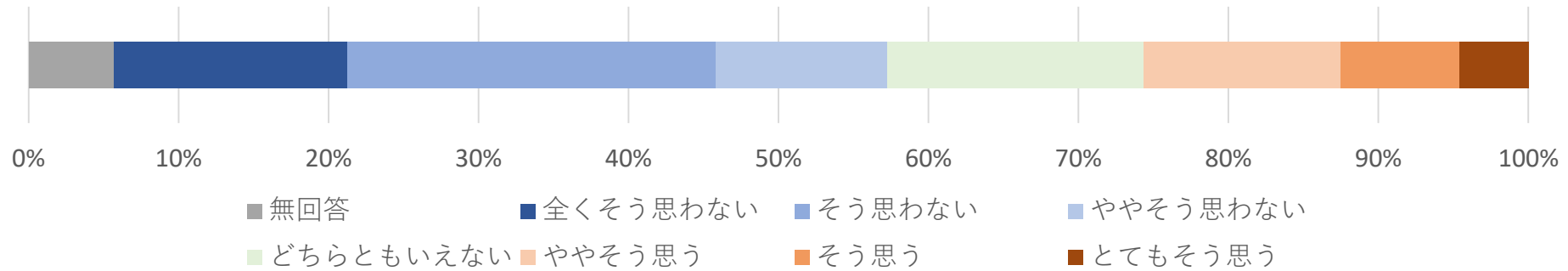


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

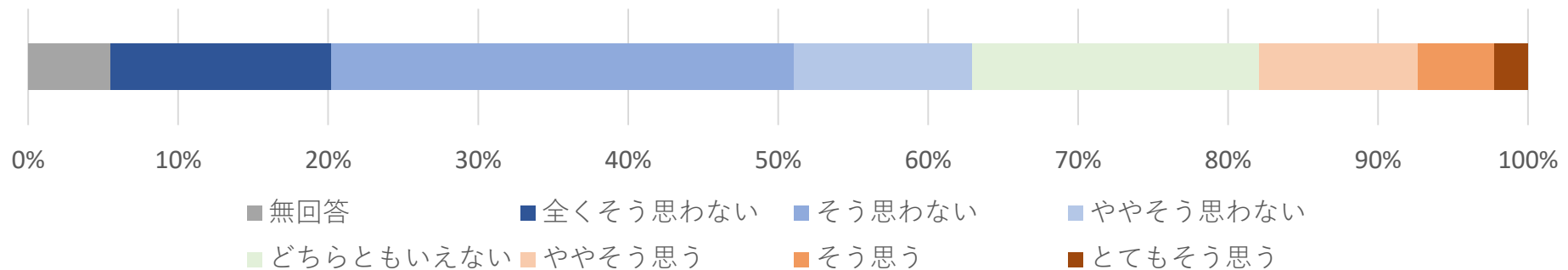
d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない85名 (15.6%) そう思わない134名 (24.6%) ややそう思わない62名 (11.4%) どちらともいえない93名 (17.1%)  
ややそう思う72名 (13.2%) そう思う43名 (7.9%) とてもそう思う25名 (4.6%) 無回答31名 (5.7%)

### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



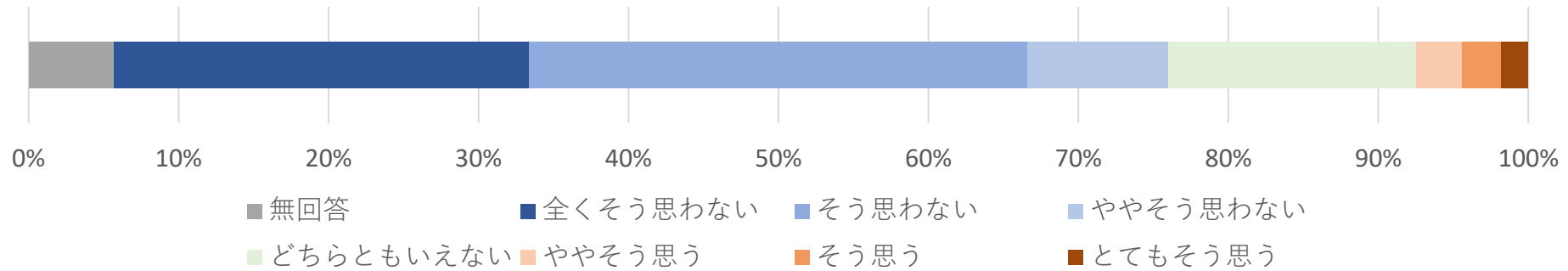
全くそう思わない80名 (14.7%) そう思わない168名 (30.8%) ややそう思わない65名 (11.9%) どちらともいえない104名 (19.1%)  
ややそう思う58名 (10.6%) そう思う28名 (5.1%) とてもそう思う12名 (2.2%) 無回答30名 (5.5%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

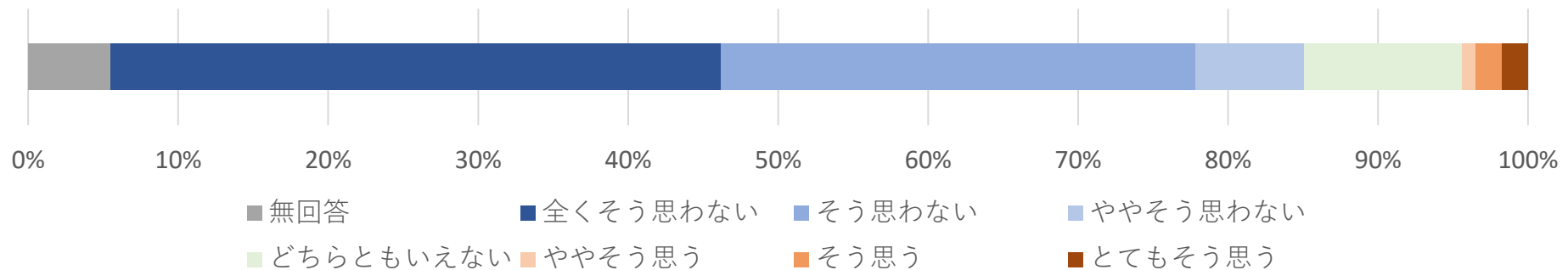
d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない151名 (27.7%) そう思わない181名 (33.2%) ややそう思わない51名 (9.4%) どちらともいえない90名 (16.5%)  
ややそう思う17名 (3.1%) そう思う14名 (2.6%) とてもそう思う10名 (1.8%) 無回答31名 (5.7%)

### 10) 自施設での導入が容認されない



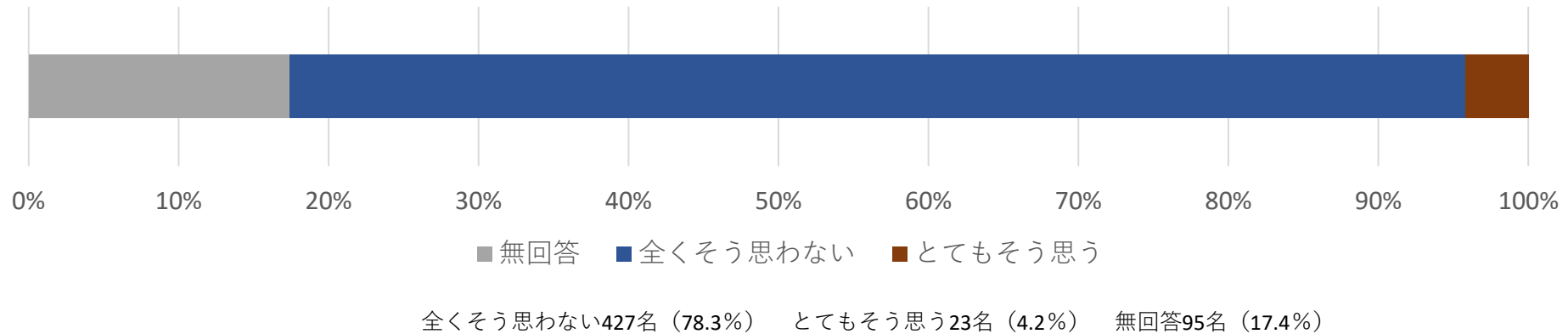
全くそう思わない222名 (40.7%) そう思わない172名 (31.6%) ややそう思わない40名 (7.3%) どちらともいえない57名 (10.5%)  
ややそう思う5名 (0.9%) そう思う10名 (1.8%) とてもそう思う9名 (1.7%) 無回答30名 (5.5%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

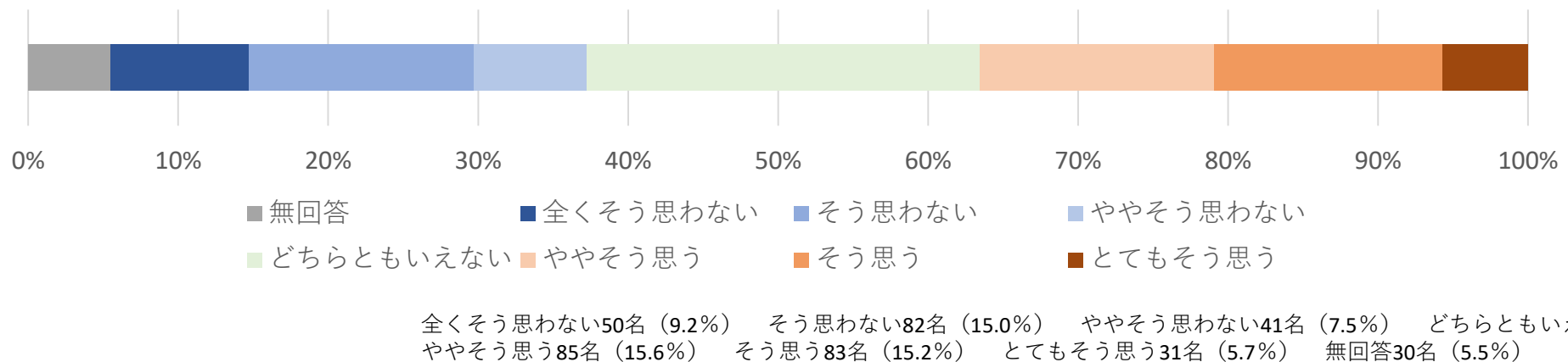
3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



## 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

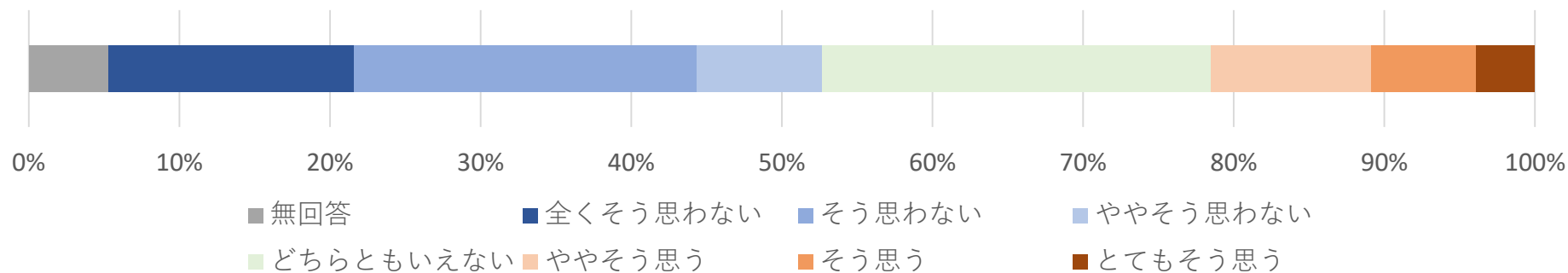


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

3. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて（周術期に使用するための硬膜外ブロックは除きます）

d. がん疼痛に対する持続硬膜外ブロックについて、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである

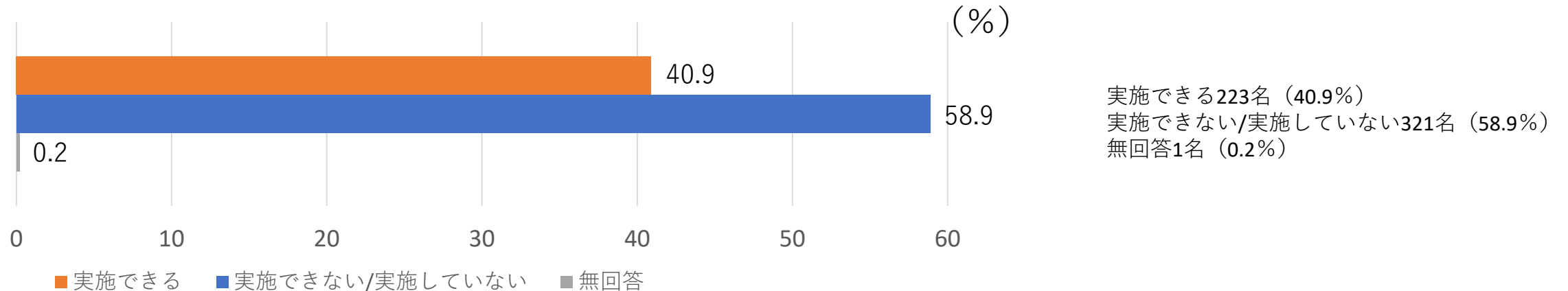


全くそう思わない89名 (16.3%)    そう思わない124名 (22.8%)    ややそう思わない45名 (8.3%)    どちらともいえない141名 (25.9%)  
ややそう思う58名 (10.6%)    そう思う38名 (7.0%)    とてもそう思う21名 (3.9%)    無回答29名 (5.3%)

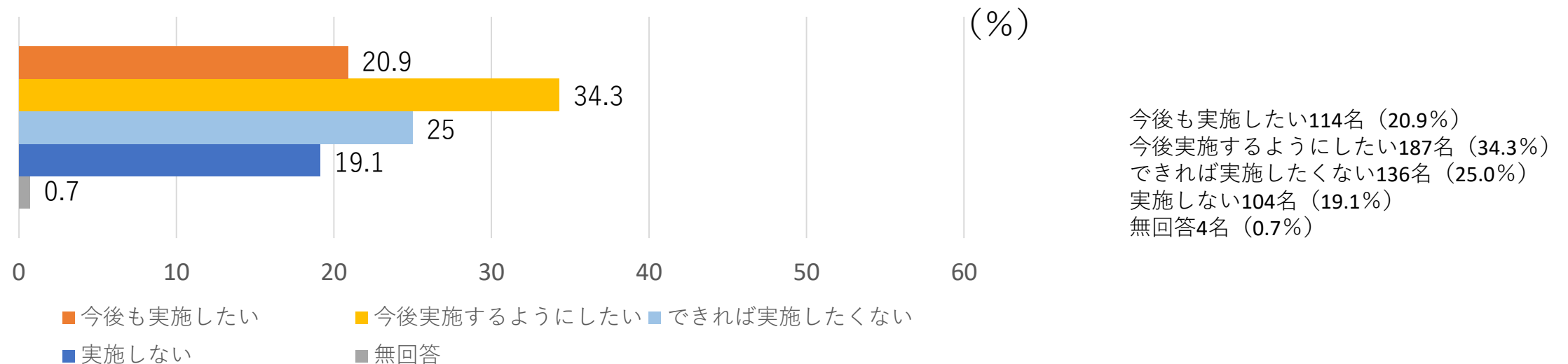
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

a. あなた自身は、がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法を、今後、実施するつもりですか。

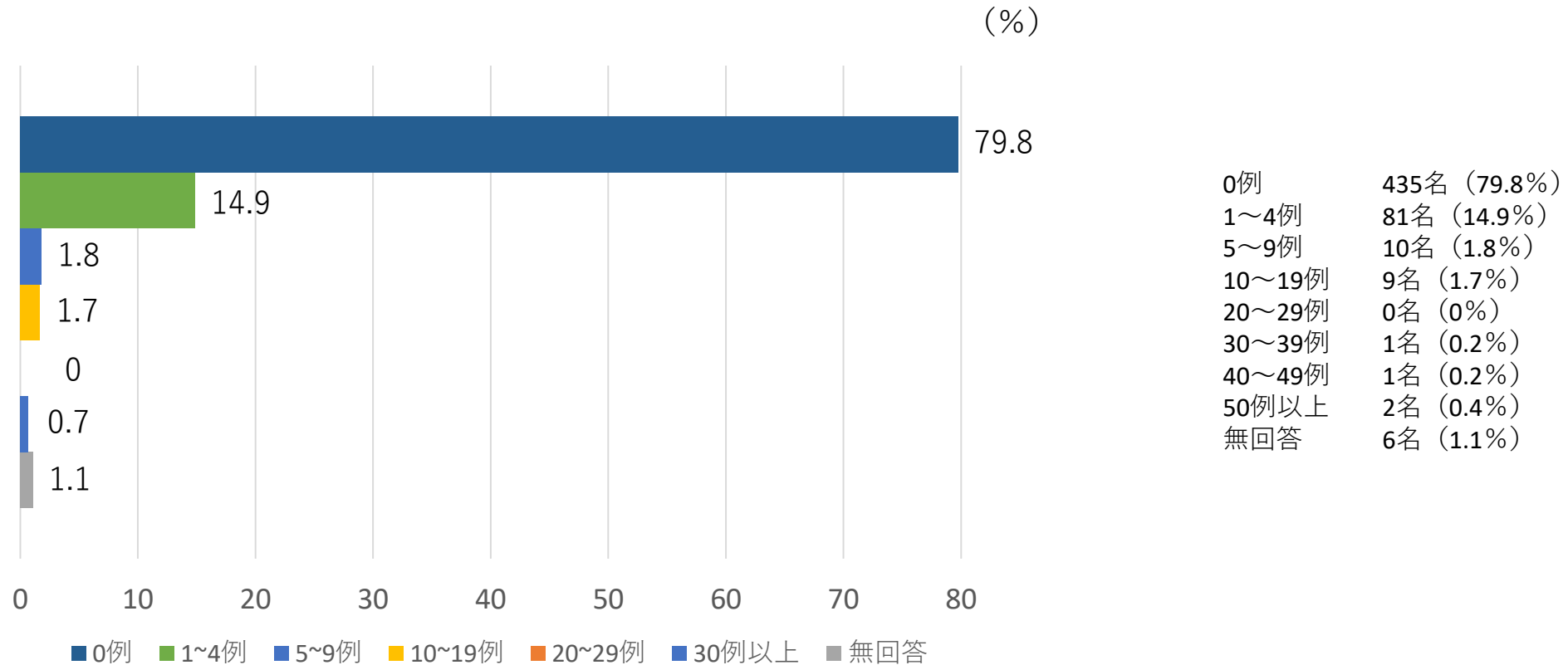


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：1.10±6.76  
中央値（4分範囲）：0（0-0）

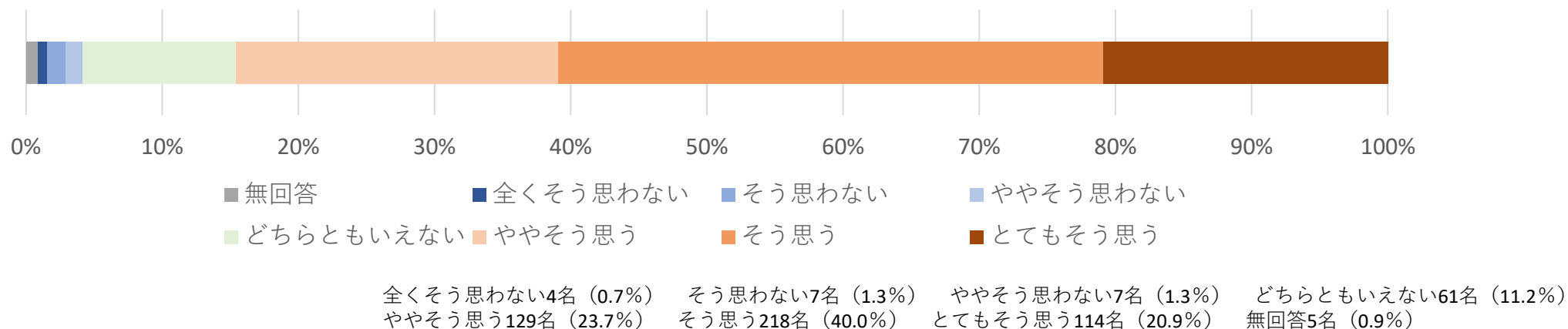


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

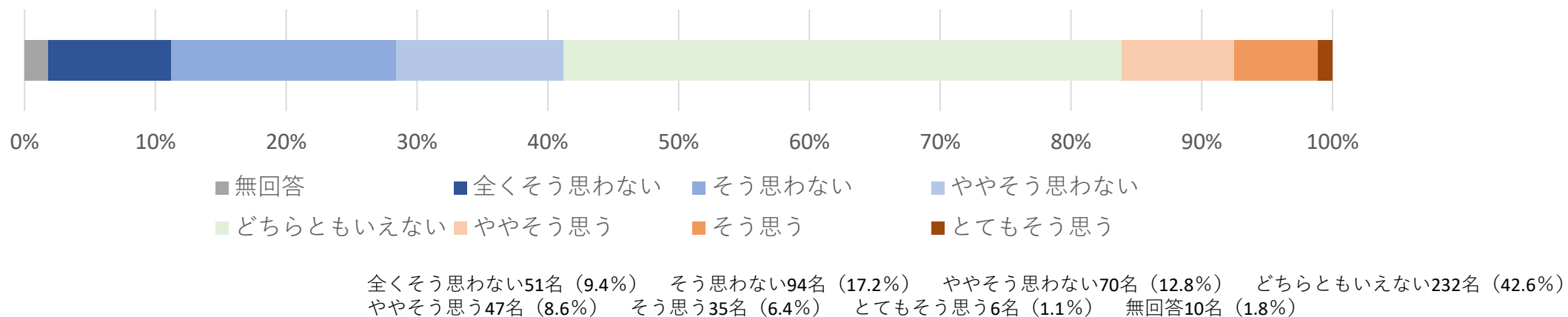
4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1) 有効な方法である



## 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

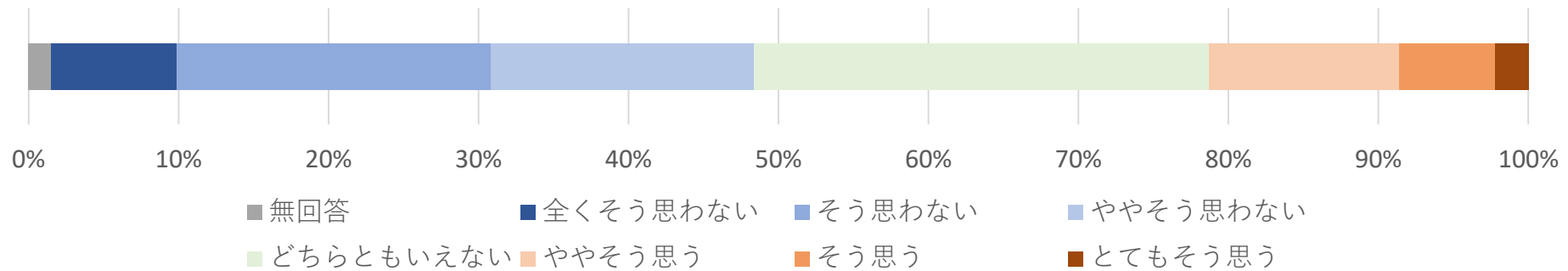


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

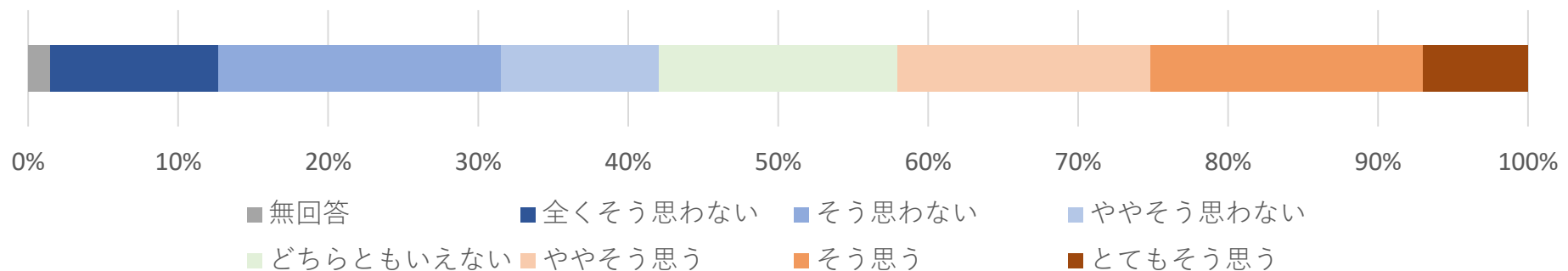
d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない46名 (8.4%)    そう思わない114名 (20.9%)    ややそう思わない96名 (17.6%)    どちらともいえない165名 (30.3%)  
ややそう思う69名 (12.7%)    そう思う35名 (6.4%)    とてもそう思う12名 (2.2%)    無回答8名 (1.5%)

## 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



全くそう思わない61名 (11.2%)    そう思わない103名 (18.9%)    ややそう思わない57名 (10.5%)    どちらともいえない87名 (16.0%)  
ややそう思う92名 (16.9%)    そう思う99名 (18.2%)    とてもそう思う38名 (7.0%)    無回答8名 (1.5%)

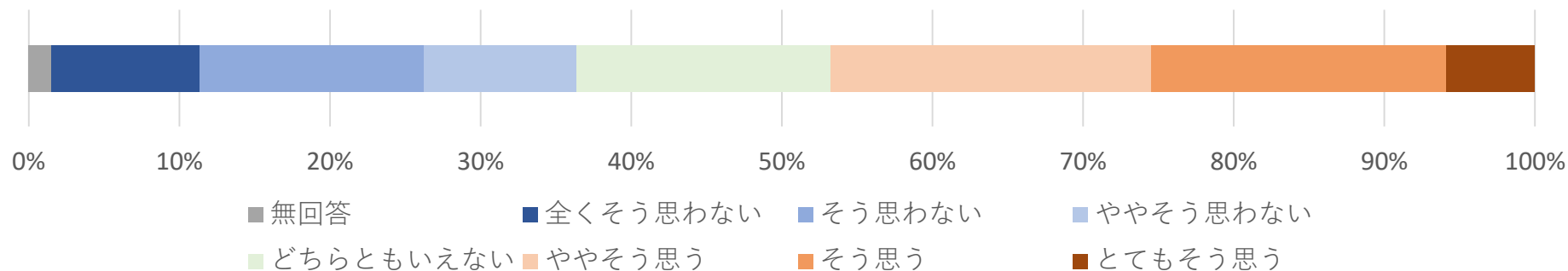


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

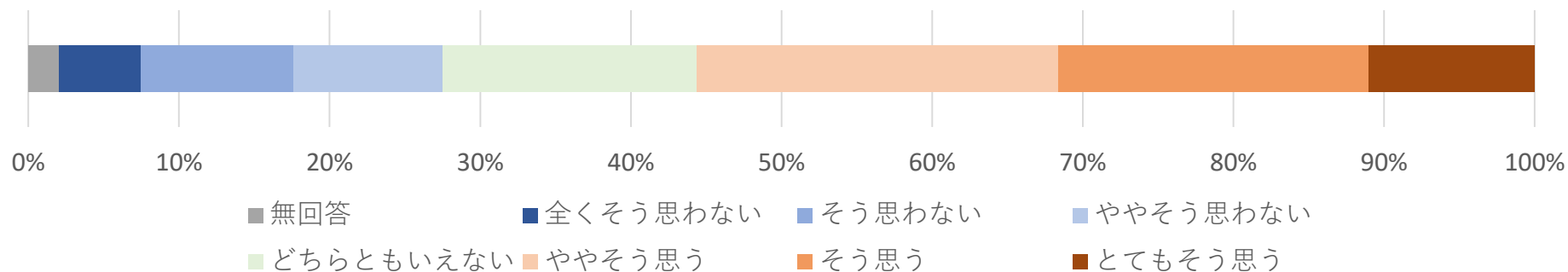
d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない54名 (9.9%)    そう思わない81名 (14.9%)    ややそう思わない55名 (10.1%)    どちらともいえない92名 (16.9%)  
ややそう思う116名 (21.3%)    そう思う107名 (19.6%)    とてもそう思う32名 (5.9%)    無回答8名 (1.5%)

## 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



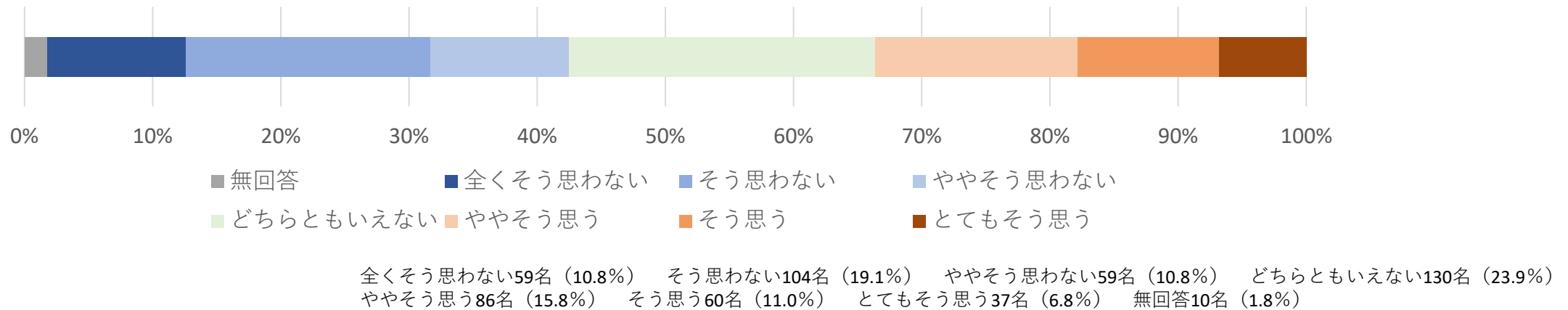
全くそう思わない30名 (5.5%)    そう思わない55名 (10.1%)    ややそう思わない54名 (9.9%)    どちらともいえない92名 (16.9%)  
ややそう思う131名 (24.0%)    そう思う112名 (20.6%)    とてもそう思う60名 (11.0%)    無回答11名 (2.0%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

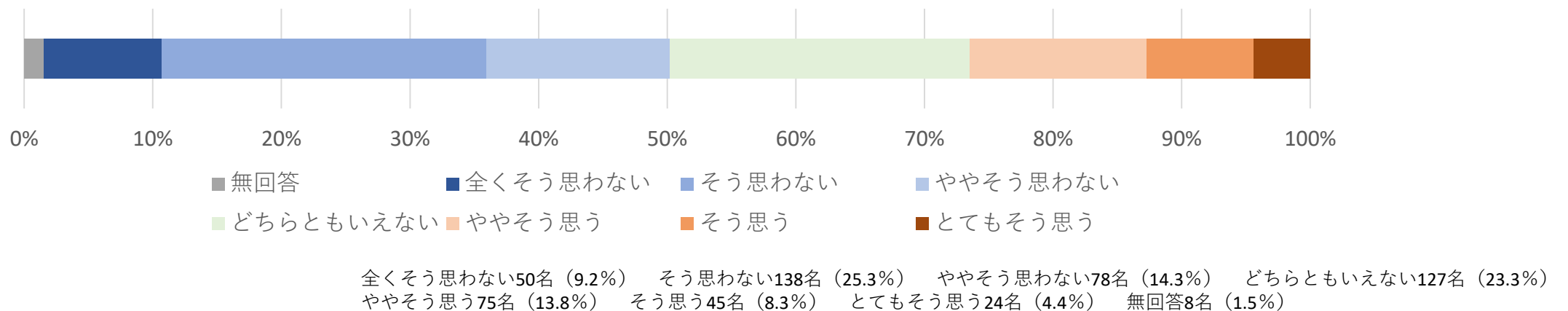
4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい

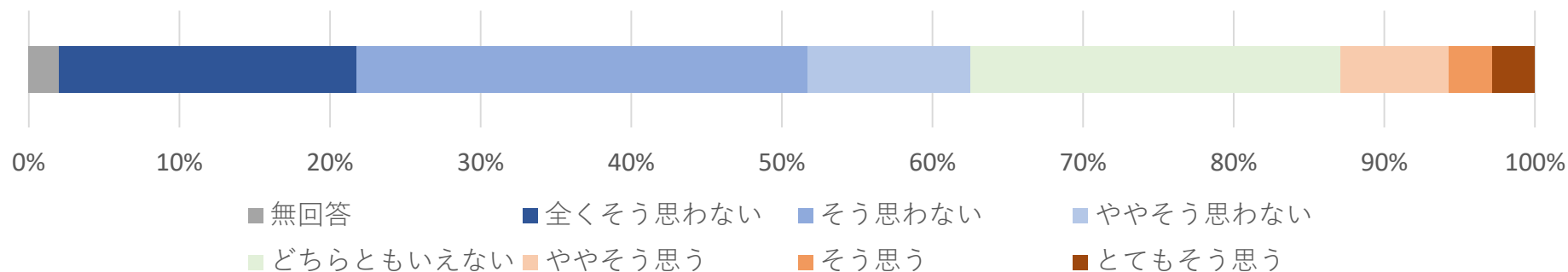


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

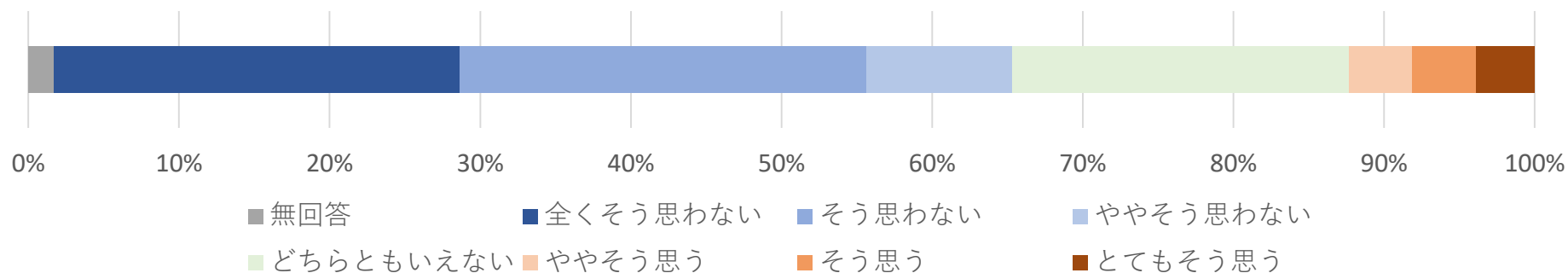
d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない108名 (19.8%) そう思わない163名 (29.9%) ややそう思わない59名 (10.8%) どちらともいえない134名 (24.6%)  
ややそう思う39名 (7.2%) そう思う16名 (2.9%) とてもそう思う15名 (2.8%) 無回答11名 (2.0%)

## 10) 自施設での導入が容認されない



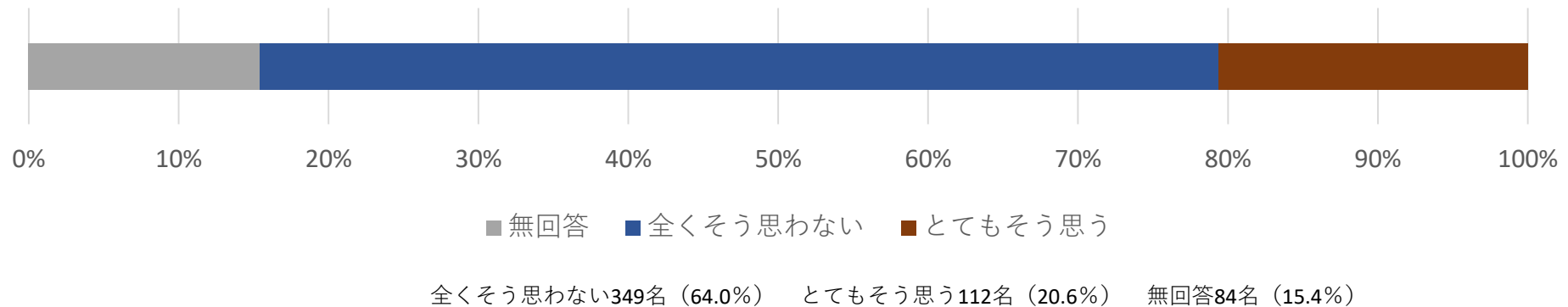
全くそう思わない147名 (27.0%) そう思わない147名 (27.0%) ややそう思わない53名 (9.7%) どちらともいえない122名 (22.4%)  
ややそう思う23名 (4.2%) そう思う23名 (4.2%) とてもそう思う21名 (3.9%) 無回答9名 (1.7%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

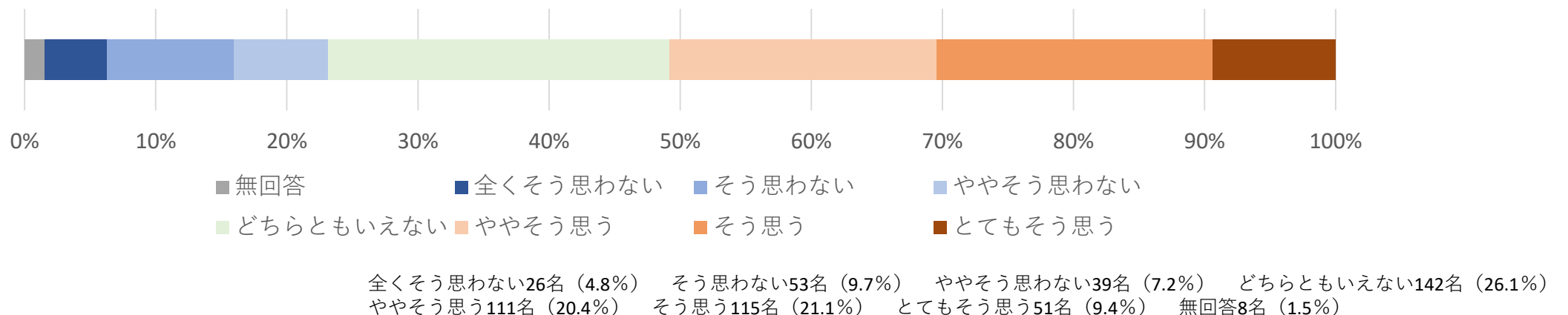
4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



## 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

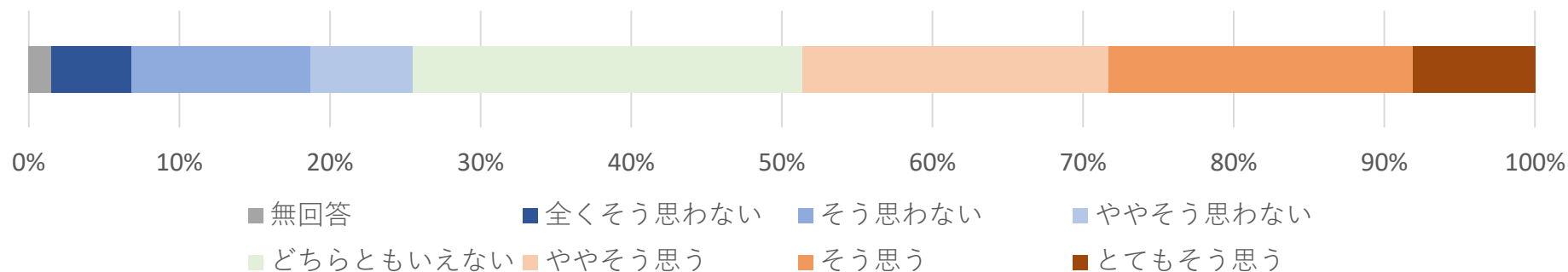


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

4. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法（オピオイドおよび局所麻酔薬使用）について（周術期に使用するためのくも膜下鎮痛法は除きます）

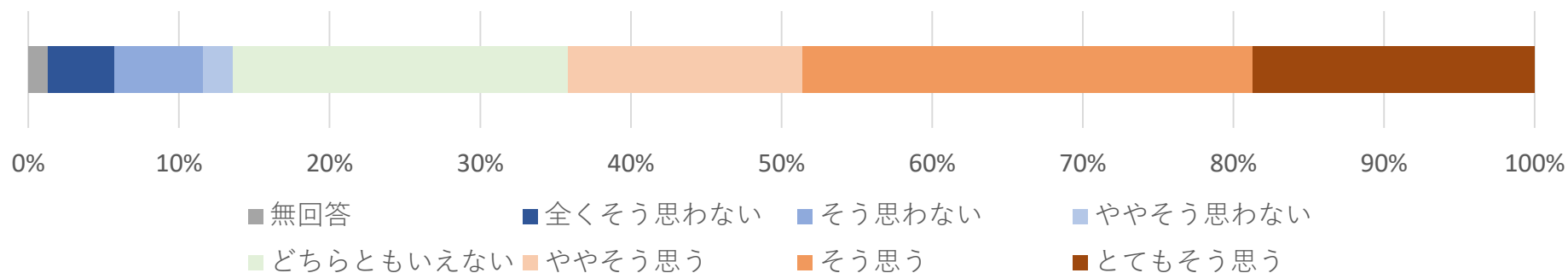
d. がん疼痛に対するくも膜下鎮痛法について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである



全くそう思わない29名 (5.3%) そう思わない65名 (11.9%) ややそう思わない37名 (6.8%) どちらともいえない141名 (25.9%)  
ややそう思う111名 (20.4%) そう思う110名 (20.2%) とてもそう思う44名 (8.1%) 無回答8名 (1.5%)

## 1 4) 実施した場合、患者を紹介する施設が限られる

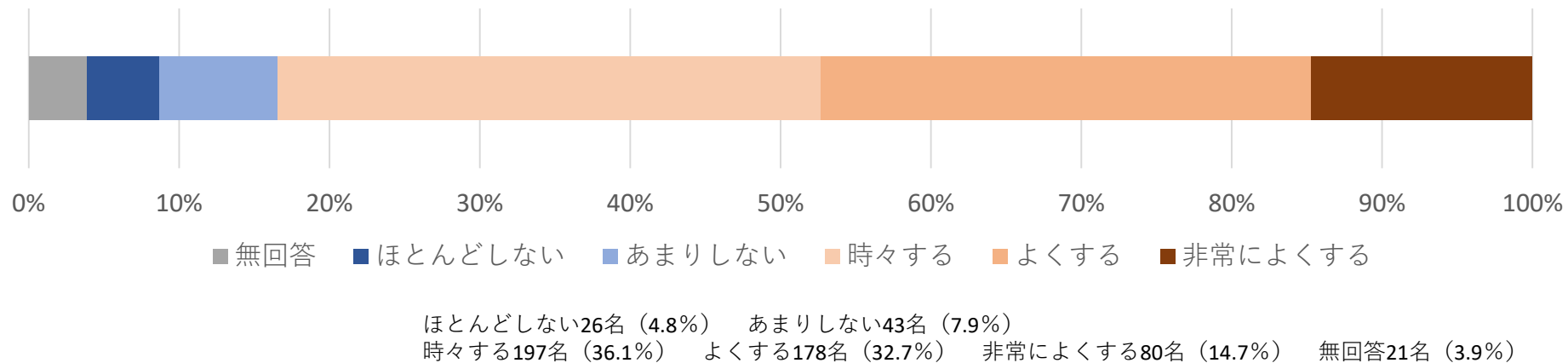


全くそう思わない24名 (4.4%) そう思わない32名 (5.9%) ややそう思わない11名 (2.0%) どちらともいえない121名 (22.2%)  
ややそう思う85名 (15.6%) そう思う163名 (29.9%) とてもそう思う102名 (18.7%) 無回答7名 (1.3%)

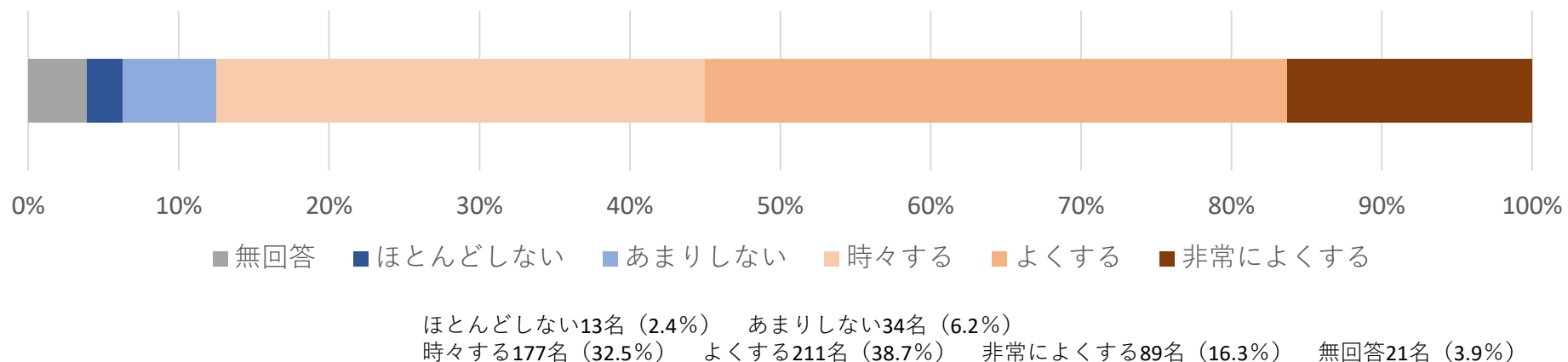
## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 自分で本やインターネットの情報を調べる



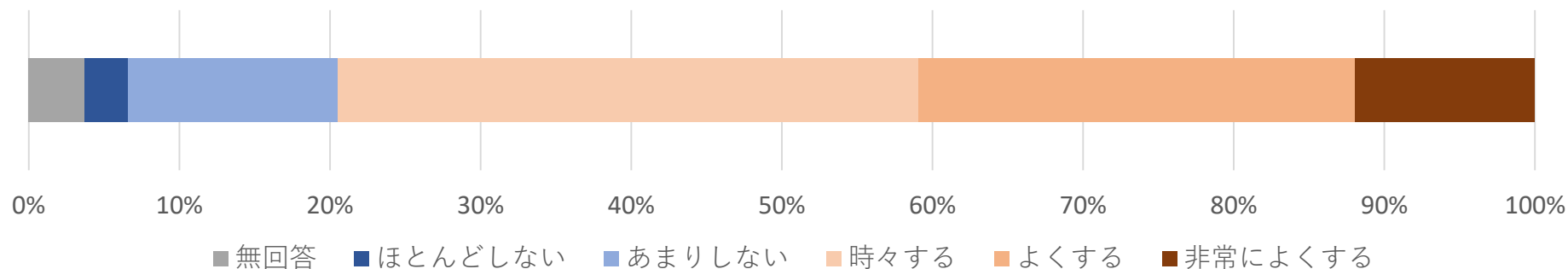
### 2) 自分でがんの痛みの治療に関するガイドラインを確認する



## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

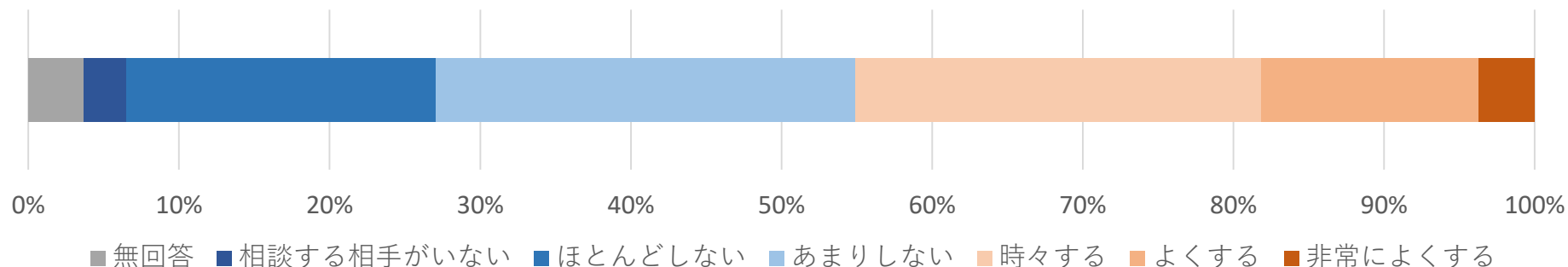
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) 自分で国内外の論文を調べる



ほとんどしない16名 (2.9%) あまりしない76名 (13.9%)  
時々する210名 (38.5%) よくする158名 (29.0%) 非常によくする65名 (11.9%) 無回答20名 (3.7%)

### 4) 看護師や薬剤師に他の方法をきく

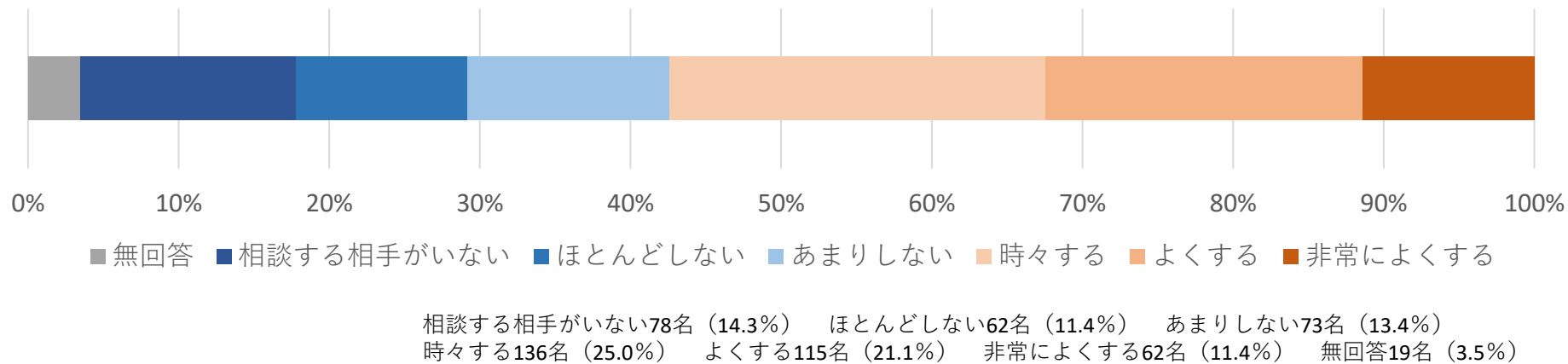


相談する相手がない15名 (2.8%) ほとんどしない112名 (20.6%) あまりしない152名 (27.9%)  
時々する147名 (27.0%) よくする79名 (14.5%) 非常によくする20名 (3.7%) 無回答20名 (3.7%)

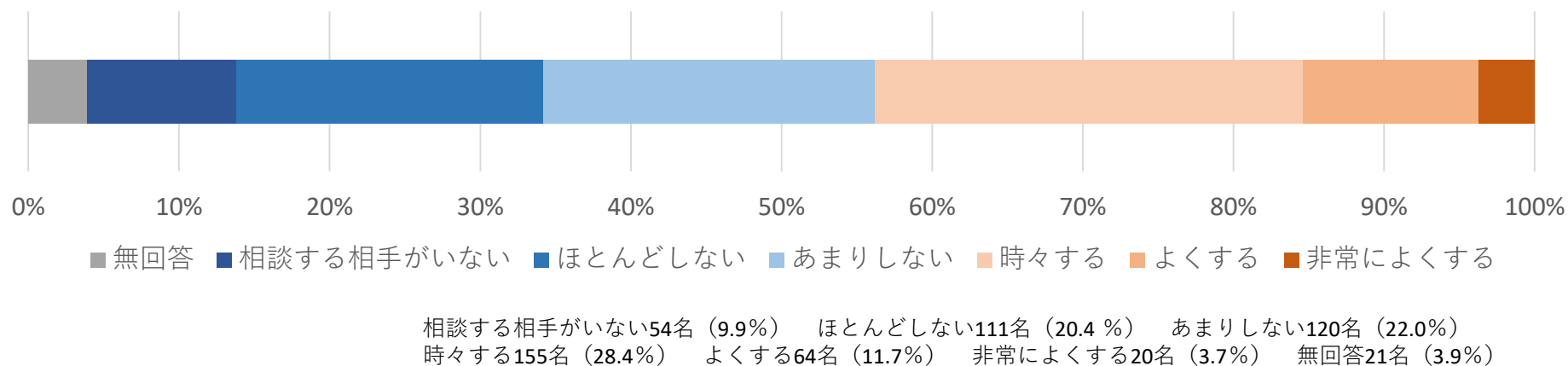
## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 院内の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



### 6) 院外の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する

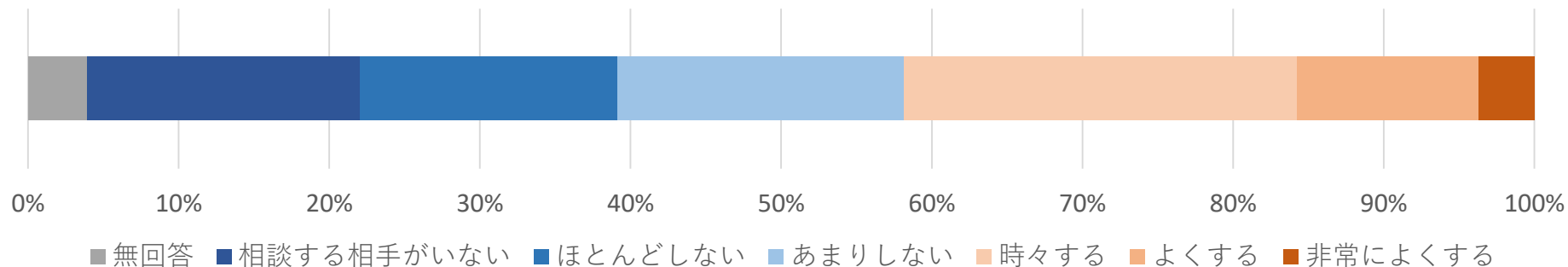




## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

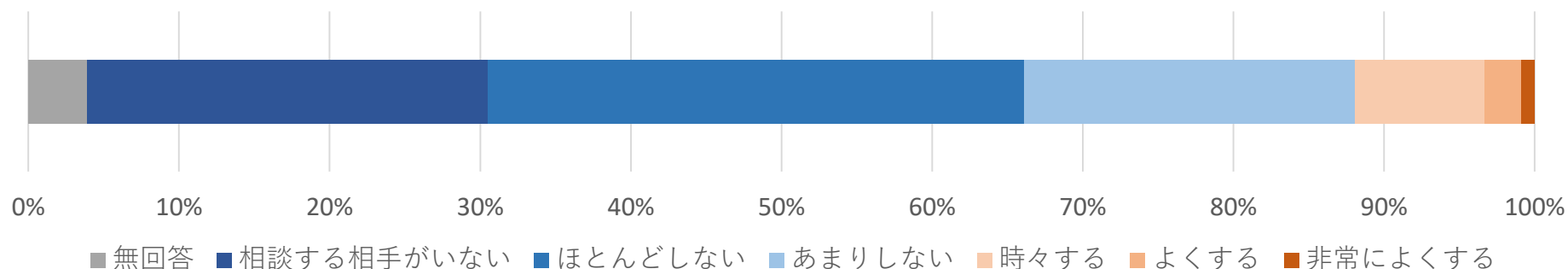
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 院内の放射線治療医に相談する



相談する相手がない99名 (18.2%) ほとんどしない93名 (17.1%) あまりしない104名 (19.1%)  
時々する142名 (26.1%) よくする66名 (12.1%) 非常によくする20名 (3.7%) 無回答21名 (3.9%)

### 8) 院外の放射線治療医に相談する

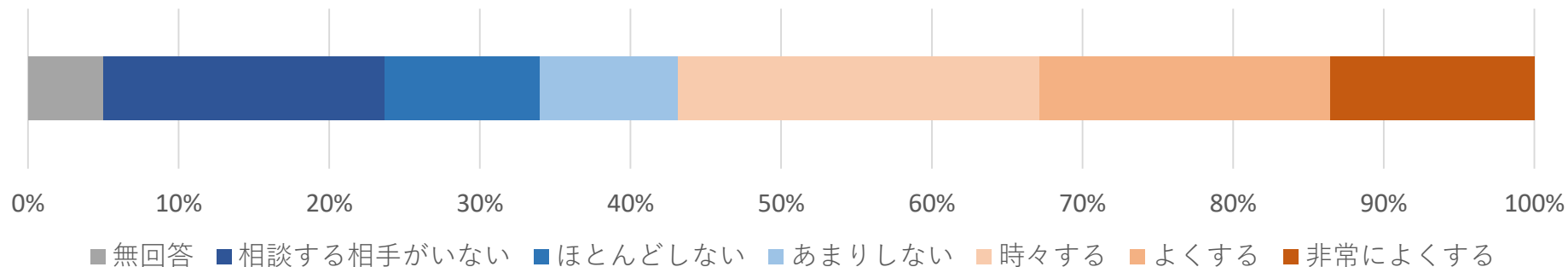


相談する相手がない145名 (26.6%) ほとんどしない194名 (35.6%) あまりしない120名 (22.0%)  
時々する47名 (8.6%) よくする13名 (2.4%) 非常によくする5名 (0.9%) 無回答21名 (3.9%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

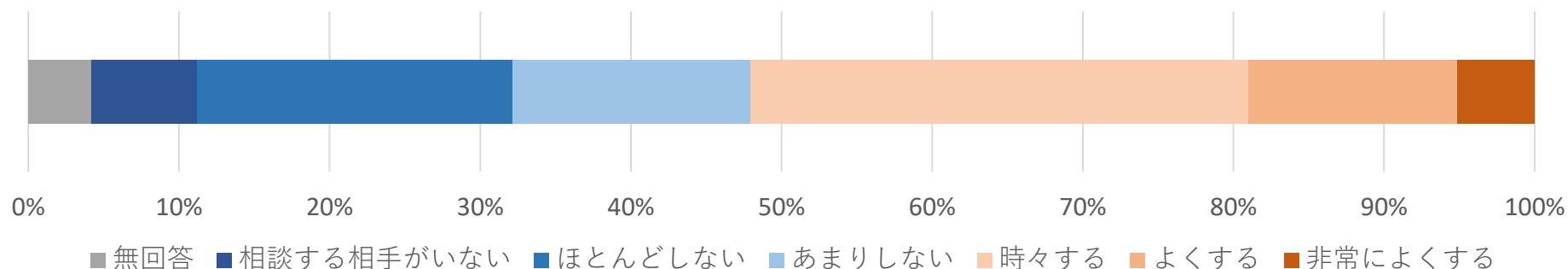
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 院内のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



相談する相手がない102名 (18.7%) ほとんどしない56名 (10.3%) あまりしない50名 (9.2%)  
時々する131名 (24.0%) よくする105名 (19.3%) 非常によくする74名 (13.6%) 無回答27名 (5.0%)

### 10) 院外のペインクリニック医・麻酔科医に相談する

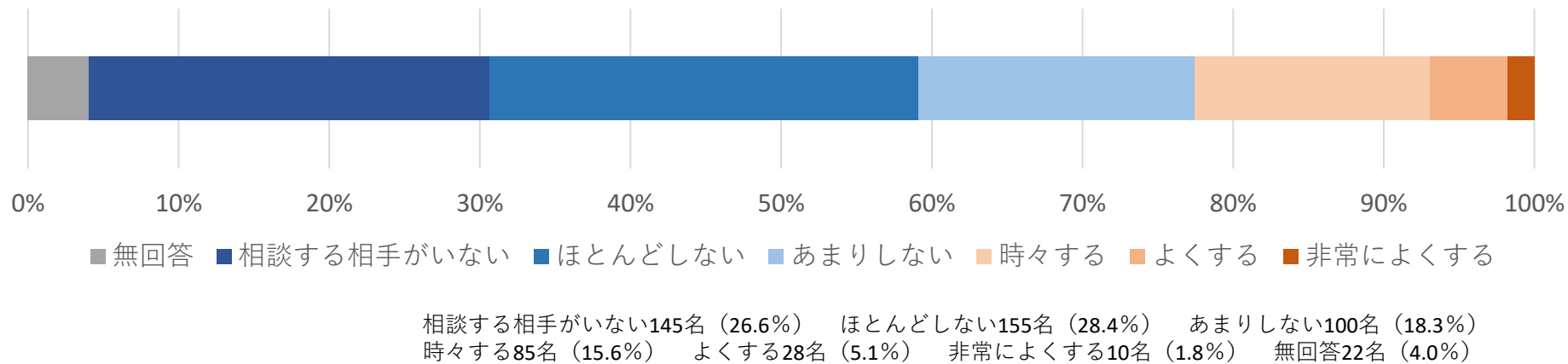


相談する相手がない38名 (7.0%) ほとんどしない114名 (20.9%) あまりしない86名 (15.8%)  
時々する180名 (33.0%) よくする76名 (13.9%) 非常によくする28名 (5.1%) 無回答23名 (4.2%)

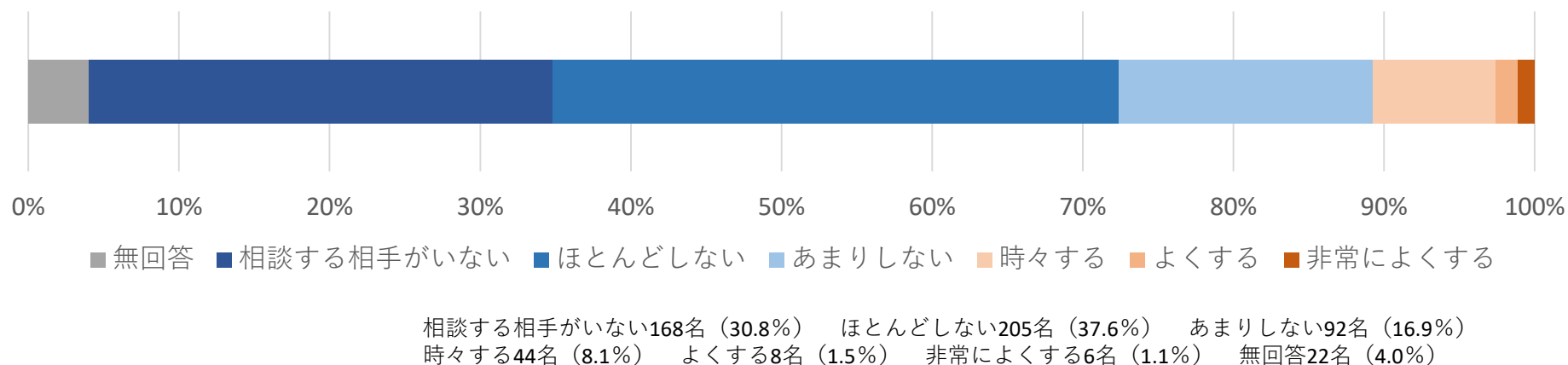
## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 院内の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



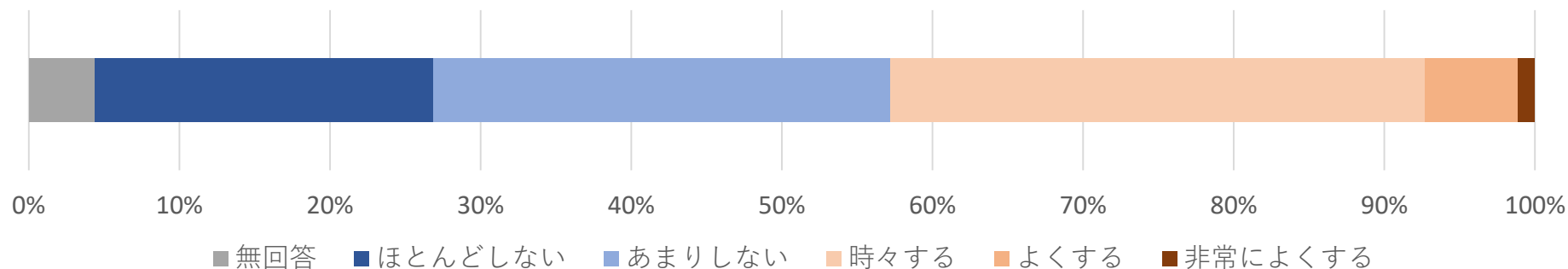
### 1 2) 院外の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

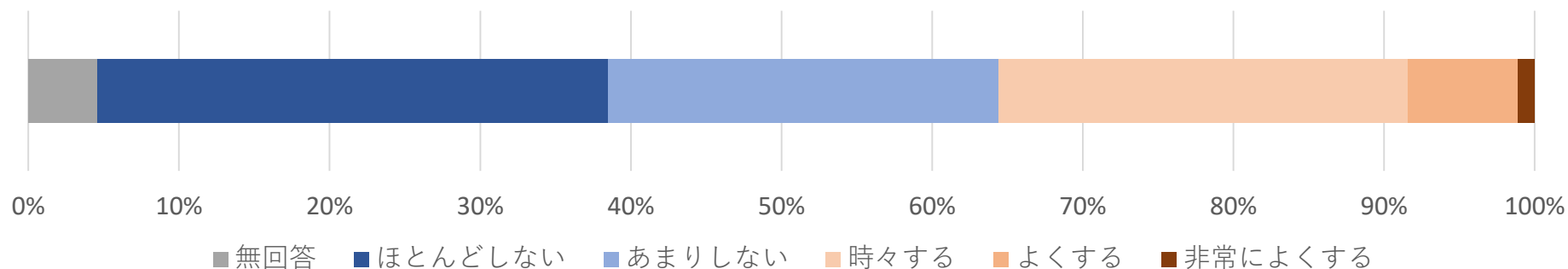
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 3) 痛みをこれ以上和らげることが難しいことを患者に説明する



ほとんどしない122名 (22.4%)    あまりしない165名 (30.3%)  
時々する193名 (35.4%)    よくする34名 (6.0%)    非常によくする7名 (1.3%)    無回答24名 (4.4%)

1 4) せん妄や呼吸困難は伴わない患者で、治療抵抗性の痛みを緩和することを目的として鎮静薬を投与する



ほとんどしない185名 (33.9%)    あまりしない141名 (25.9%)  
時々する148名 (27.2%)    よくする40名 (7.3%)    非常によくする6名 (1.1%)    無回答25名 (4.6%)

## II がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

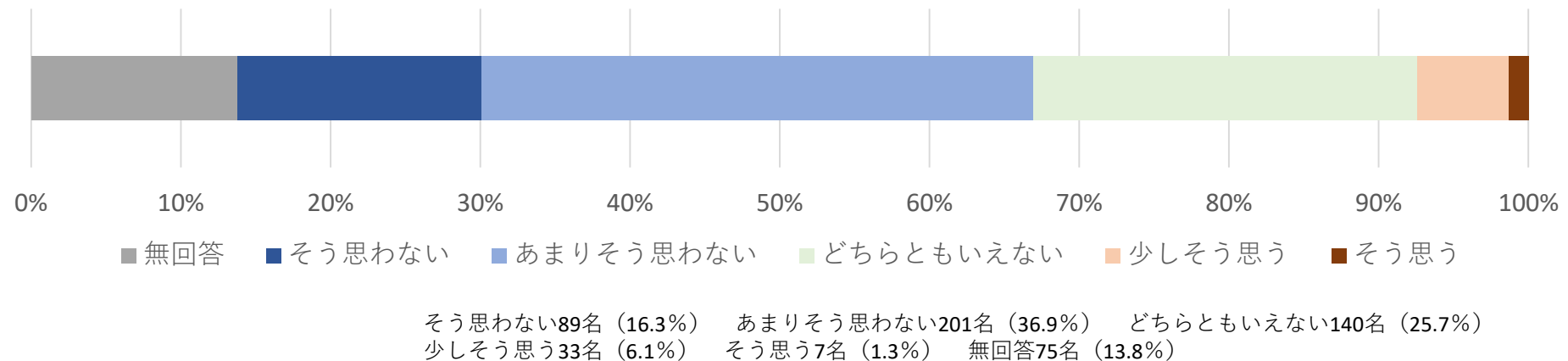
2. 上記以外に、がんの痛みが十分に緩和されない時に、あなたが取る対応があれば下記にご記入ください。

別記

### Ⅲ がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

1. がんの痛みの治療の現状について、当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

痛みについては現状で対応できており、これ以上の改善策は必要ない

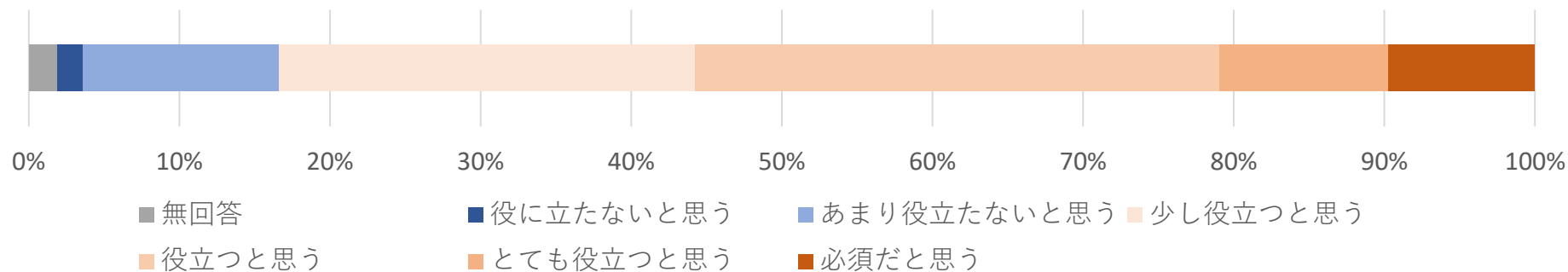


「そう思う」と回答した方は、以降のⅢの設問には回答せず、設問Ⅳに進む

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

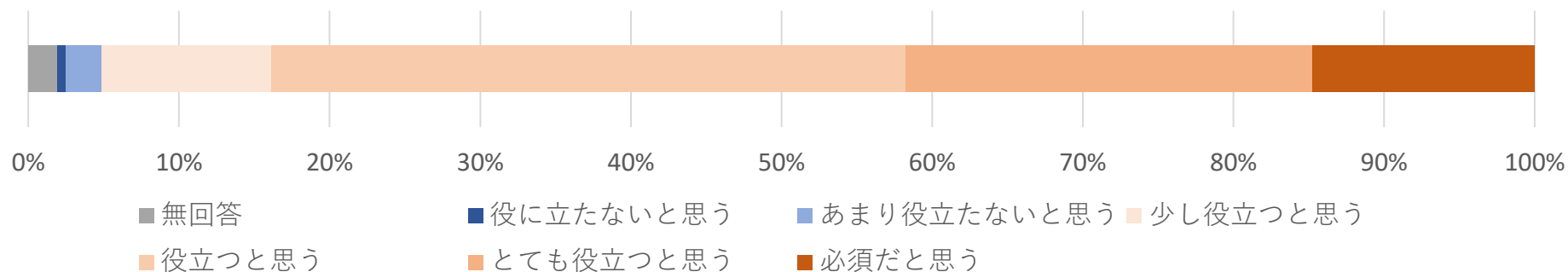
2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1) 医師の仕事（担当患者数や委員会業務など）を適正な量に減らす



役に立たないと思う8名（1.7%） あまり役に立たないと思う60名（13.0%）  
少し役に立つと思う128名（27.6%） 役立つと思う161名（34.8%） とても役立つと思う52名（11.2%） 必須だと思う45名（9.7%） 無回答9名（1.9%）

#### 2) 医師以外のスタッフ（看護師や薬剤師など）が、痛みのアセスメントやフォローアップを行う

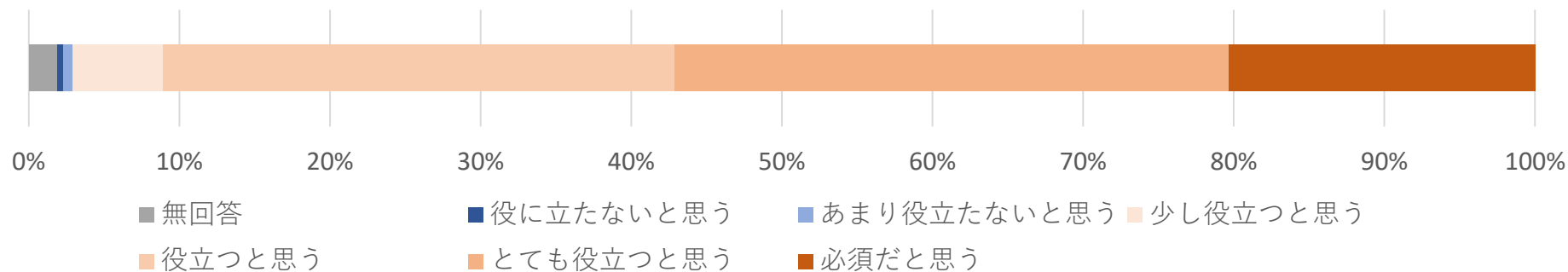


役に立たないと思う3名（0.6%） あまり役に立たないと思う11名（2.4%）  
少し役に立つと思う52名（11.2%） 役立つと思う195名（42.1%） とても役立つと思う125名（27.0%） 必須だと思う68名（14.7%） 無回答9名（1.9%）

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

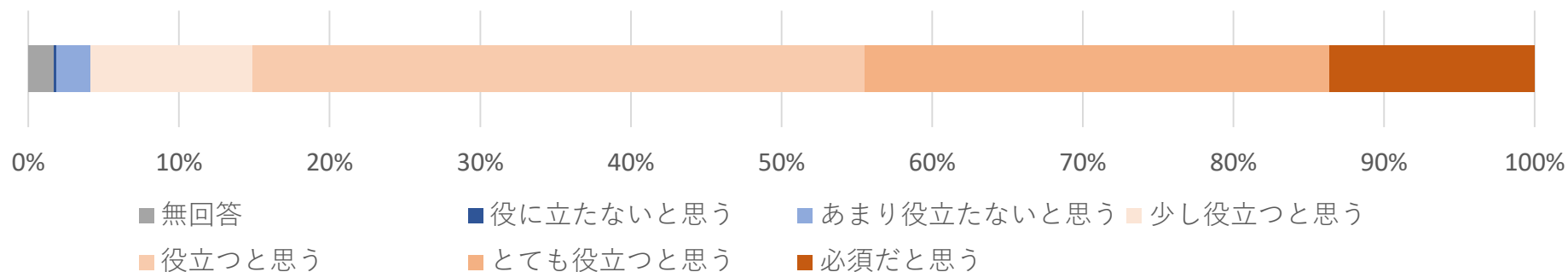
2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 3) 放射線治療や神経ブロックなど薬物療法以外の方法が確実に実施できる



役に立たないと思う2名 (0.4%)    あまり役に立たないと思う3名 (0.6%)  
少し役に立つと思う28名 (6.0%)    役立つと思う157名 (33.9%)    とても役立つと思う170名 (36.7%)    必須だと思う94名 (20.3%)    無回答9名 (1.9%)

#### 4) 今より気楽に専門家に相談することができる (ICT [情報通信技術] を用いた他施設との相談など)



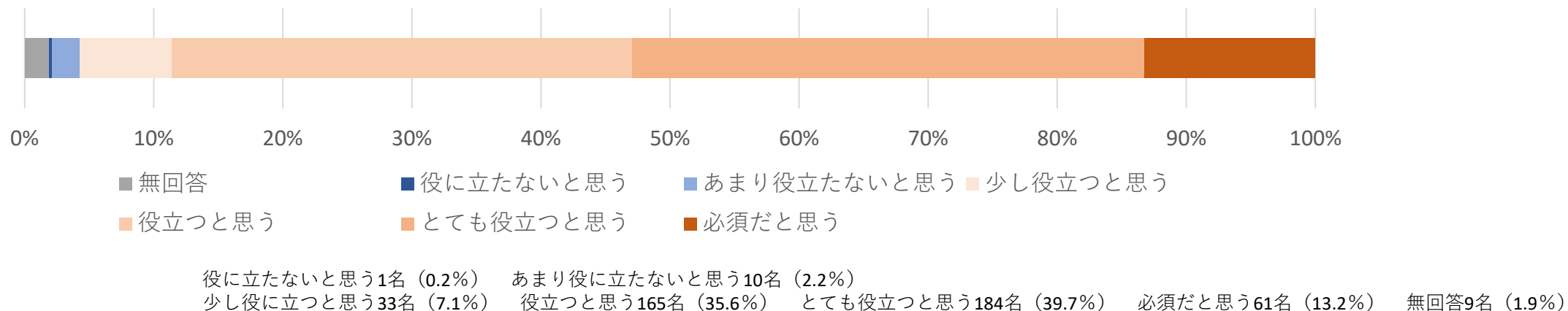
役に立たないと思う1名 (0.2%)    あまり役に立たないと思う10名 (2.2%)  
少し役に立つと思う50名 (10.8%)    役立つと思う188名 (40.6%)    とても役立つと思う143名 (30.9%)    必須だと思う63名 (13.6%)    無回答8名 (1.7%)



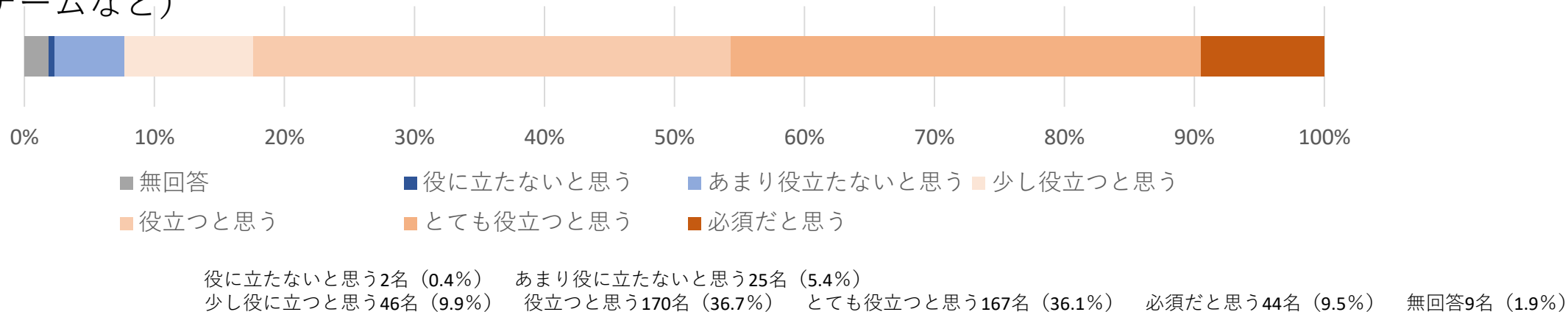
### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、患者を直接診察する



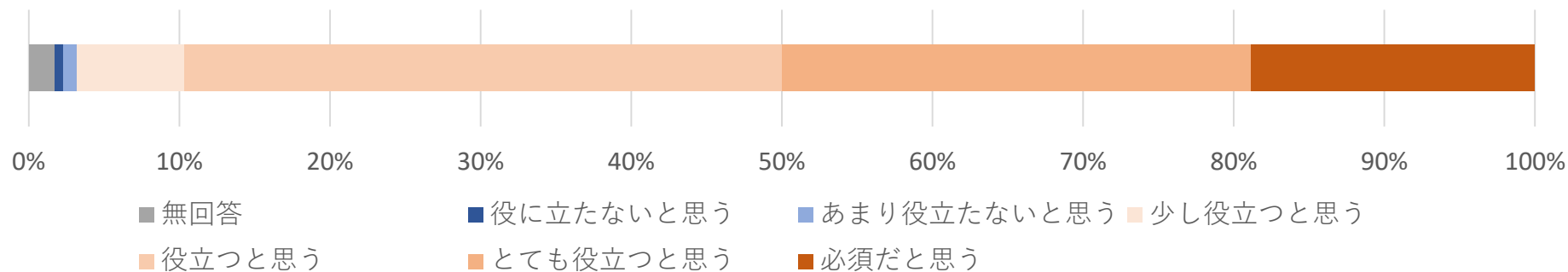
6) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、地域全体で診療できるようにする（複数の病院の掛け持ちや地域緩和ケアチームなど）



### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

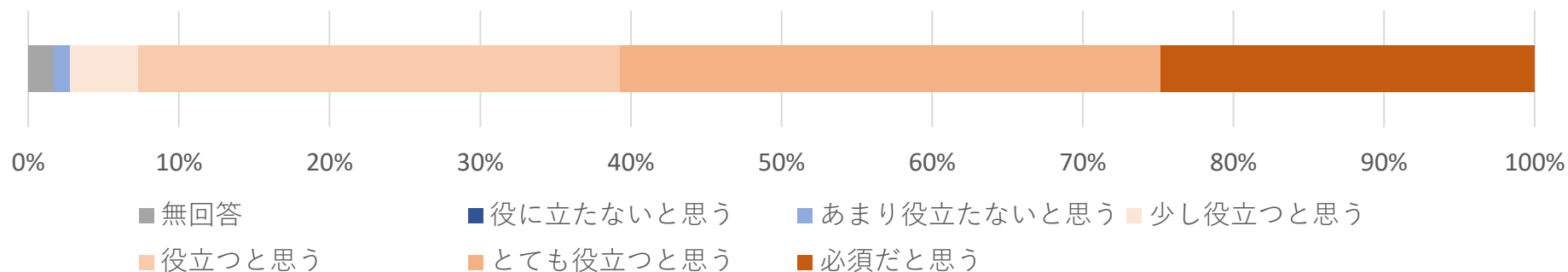
2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 緩和ケアチームの医師や看護師が、難治性疼痛の治療に関する知識や技術をもっと身につける



役に立たないと思う3名 (0.6%)    あまり役に立たないと思う4名 (0.9%)  
少し役に立つと思う33名 (7.1%)    役立つと思う184名 (39.7%)    とても役立つと思う144名 (31.1%)    必須だと思う87名 (18.8%)    無回答8名 (1.7%)

8) 施設内で、主治医と、緩和ケアチームや難治性のがん疼痛の診療経験が豊富な医師がよく連携する

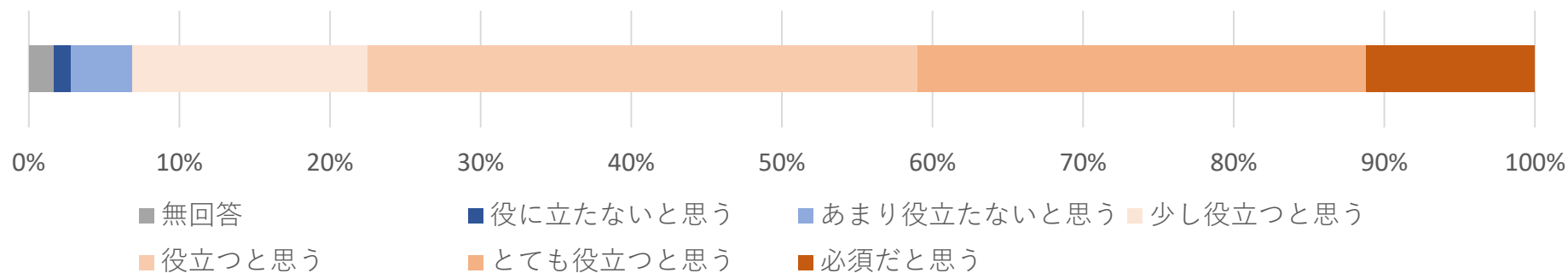


役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う5名 (1.1%)  
少し役に立つと思う21名 (4.5%)    役立つと思う148名 (32.0%)    とても役立つと思う166名 (35.9%)    必須だと思う115名 (24.8%)    無回答8名 (1.7%)

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

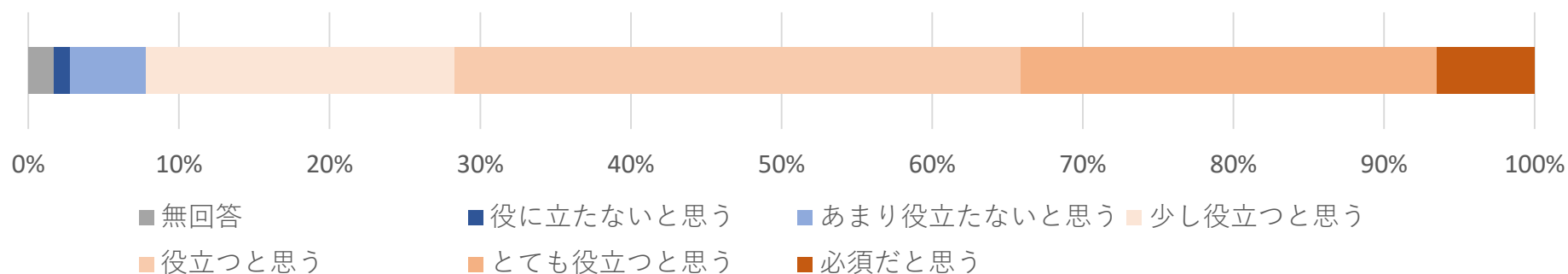
2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 9) 難治性のがん疼痛に関する手引きやアルゴリズムを整備する



役に立たないと思う5名 (1.1%)    あまり役に立たないと思う19名 (4.1%)  
少し役に立つと思う72名 (15.6%)    役立つと思う169名 (36.5%)    とても役立つと思う138名 (29.8%)    必須だと思う52名 (11.2%)    無回答8名 (1.7%)

#### 10) 対応が必要な痛みがある患者を見つけるスクリーニングの方法を確立する

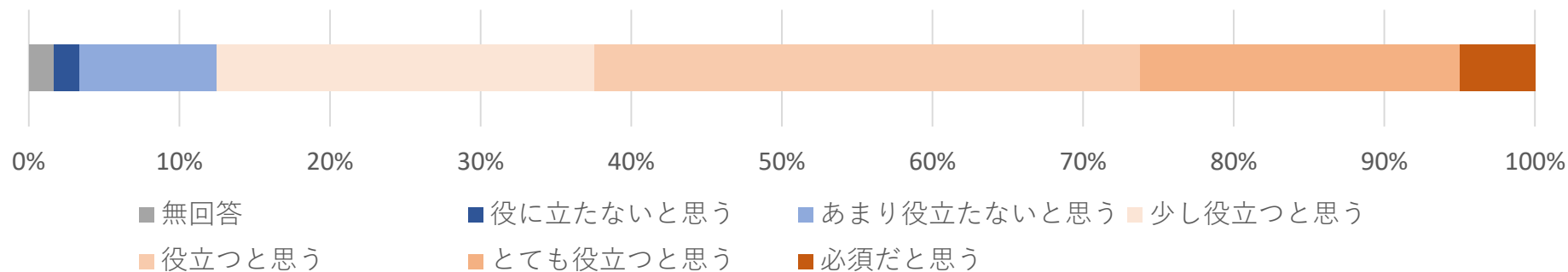


役に立たないと思う5名 (1.1%)    あまり役に立たないと思う23名 (5.0%)  
少し役に立つと思う95名 (20.5%)    役立つと思う174名 (37.6%)    とても役立つと思う128名 (27.6%)    必須だと思う30名 (6.5%)    無回答8名 (1.7%)

### III がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 1) 患者が、自宅などの病院外で、タブレットなどで痛みの評価を入力すると電子カルテに記録される



役に立たないと思う8名 (1.7%)    あまり役に立たないと思う42名 (9.1%)  
少し役に立つと思う116名 (25.1%)    役立つと思う168名 (36.3%)    とても役立つと思う98名 (21.2%)    必須だと思う23名 (5.0%)    無回答8名 (1.7%)

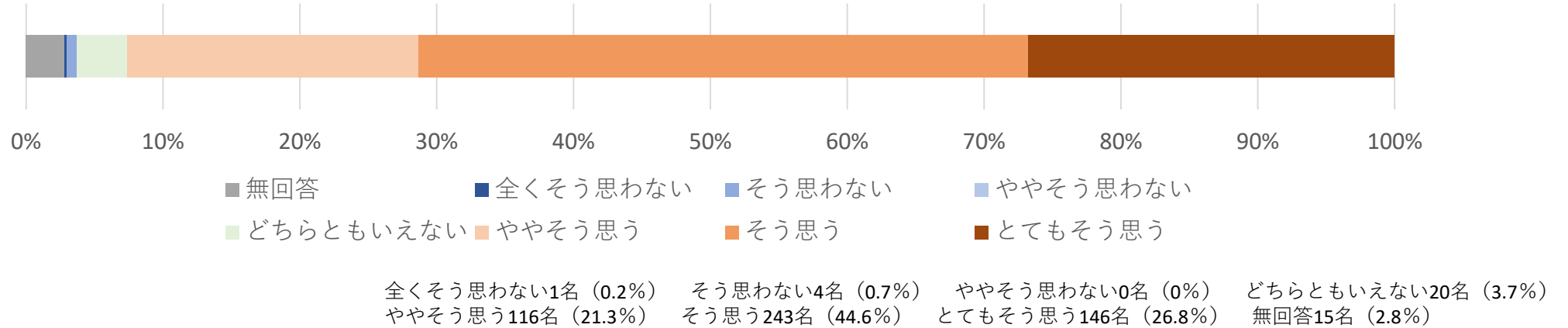
### Ⅲ がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

3. その他に、医療現場がこのようになったらよいということがありましたら、下記にご記入ください。

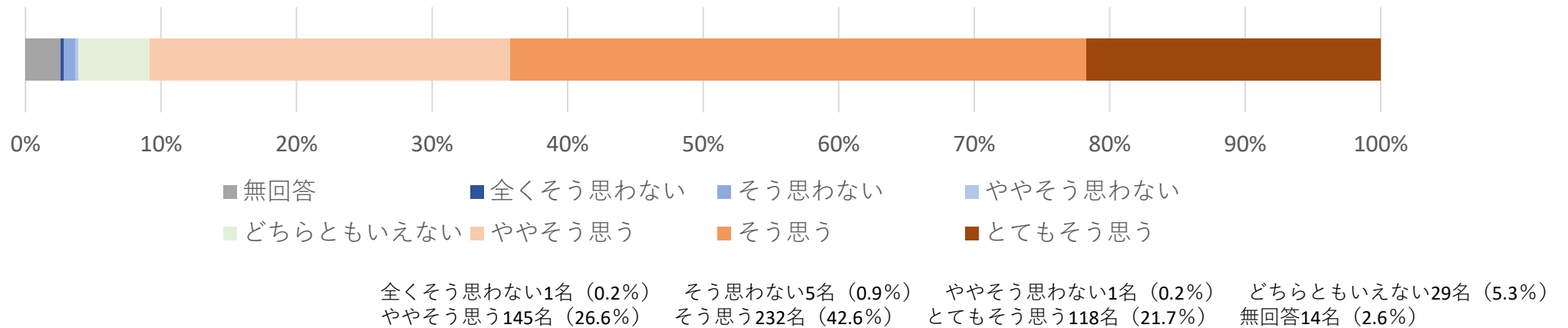
別記

#### IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1) 難治性がん疼痛を有する患者では、心理社会的な要因が痛みに影響していることもある

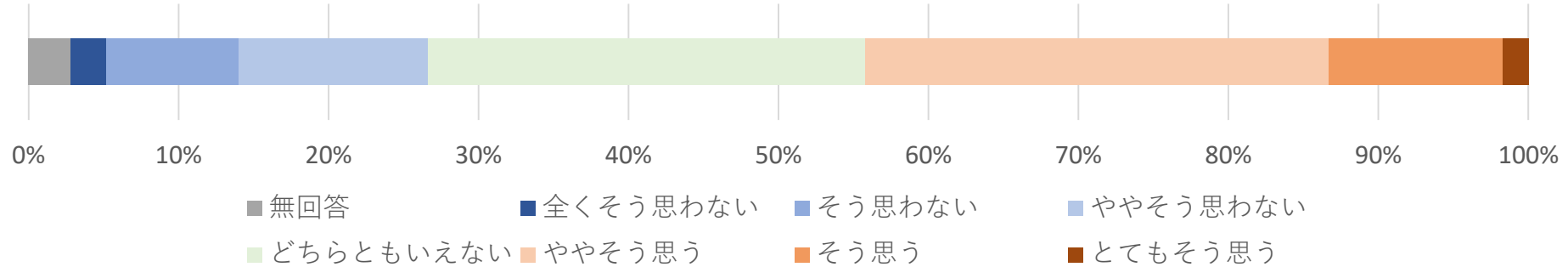


2) 難治性がん疼痛を有する患者では、スピリチュアルな要因が痛みに影響していることもある



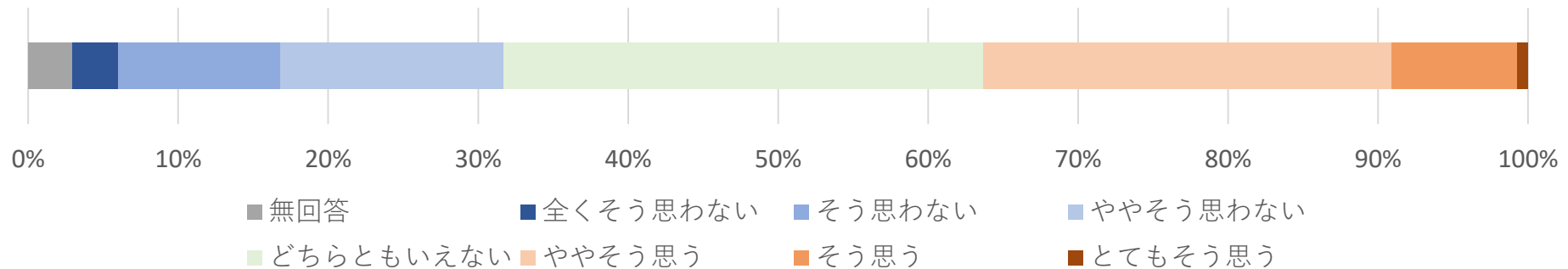
## IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) あなたは、難治性がん疼痛に關与する、患者の心理社会的な要因を評価できる



全くそう思わない13名 (2.4%)    そう思わない48名 (8.8%)    ややそう思わない69名 (12.7%)    どちらともいえない159名 (29.2%)  
 ややそう思う169名 (31.0%)    そう思う63名 (11.6%)    とてもそう思う9名 (1.7%)    無回答15名 (2.8%)

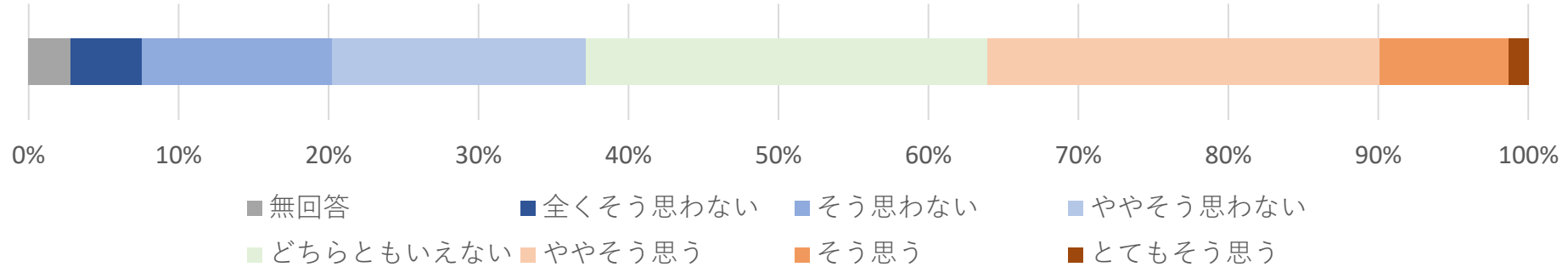
4) あなたは、難治性がん疼痛に關与する、患者のスピリチュアルな要因を評価できる



全くそう思わない17名 (3.1%)    そう思わない59名 (10.8%)    ややそう思わない81名 (14.9%)    どちらともいえない174名 (31.9%)  
 ややそう思う148名 (27.2%)    そう思う46名 (8.4%)    とてもそう思う4名 (0.7%)    無回答16名 (2.9%)

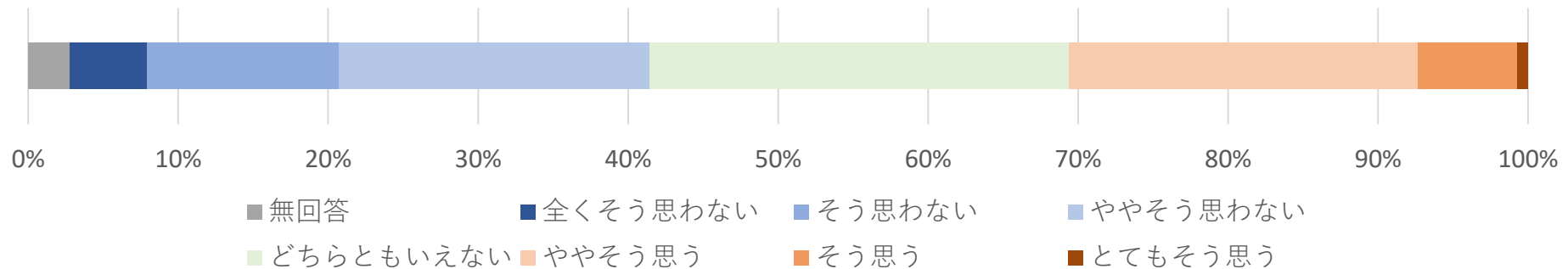
#### IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている



全くそう思わない26名 (4.6%)    そう思わない69名 (12.7%)    ややそう思わない92名 (16.9%)    どちらともいえない146名 (26.8%)  
ややそう思う143名 (26.2%)    そう思う47名 (8.6%)    とてもそう思う7名 (1.3%)    無回答15名 (2.8%)

6) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている

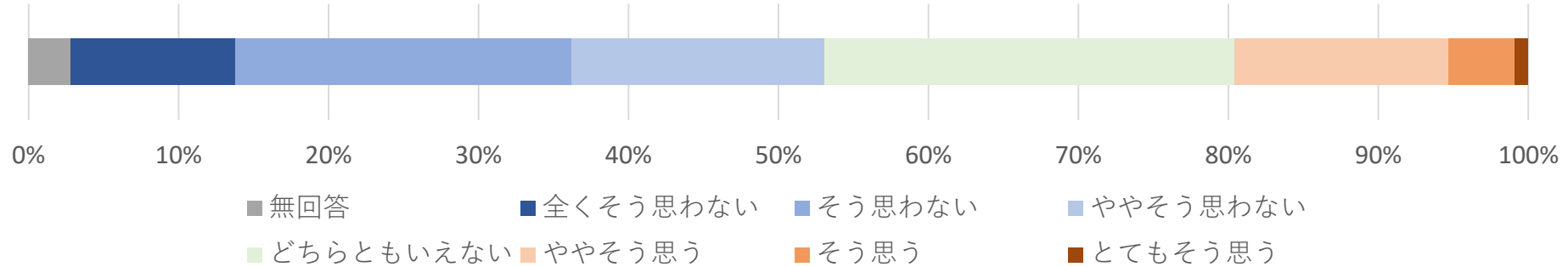


全くそう思わない28名 (5.1%)    そう思わない70名 (12.8%)    ややそう思わない113名 (20.7%)    どちらともいえない152名 (27.9%)  
ややそう思う127名 (23.3%)    そう思う36名 (6.6%)    とてもそう思う4名 (0.7%)    無回答15名 (2.8%)



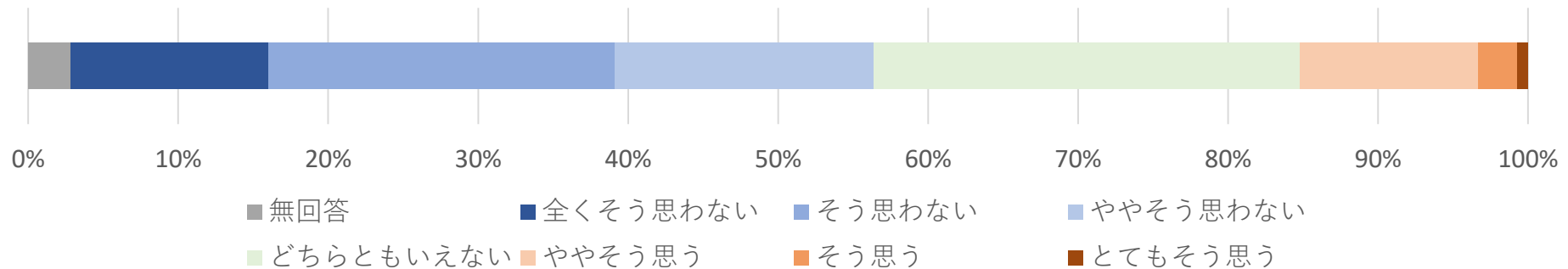
## IV 難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある



全くそう思わない60名 (11.0%) そう思わない122名 (22.4%) ややそう思わない92名 (16.9%) どちらともいえない149名 (27.3%)  
 ややそう思う78名 (14.3%) そう思う24名 (4.4%) とてもそう思う5名 (0.9%) 無回答15名 (2.8%)

8) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある



全くそう思わない72名 (13.2%) そう思わない126名 (23.1%) ややそう思わない94名 (17.2%) どちらともいえない155名 (28.4%)  
 ややそう思う65名 (11.9%) そう思う14名 (2.6%) とてもそう思う4名 (0.7%) 無回答15名 (2.8%)

## V あなたご自身についてお伺いします。

### 1. 年齢

平均年齢 ± 標準偏差 (歳)	53.1 ± 9.3
-----------------	------------

無回答：10 (1.8%)

### 2. 性別

男	372 (68.3%)
女	167 (30.6%)
無回答	6 (1.1%)

### 3. 医師免許取得後の臨床経験年数

平均年数 ± 標準偏差 (年)	27.3 ± 9.4
-----------------	------------

無回答：17 (3.1%)

## V あなたご自身についてお伺いします。

### 4. 年間に診療するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	71.2 ± 191.9
-------------------	--------------

無回答：25 (4.6%)

### 5. 年間に診療する痛みのあるがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	54.1 ± 112.1
-------------------	--------------

無回答：20 (3.7%)

### 6. 年間に診療期間中に死亡するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	24.5 ± 53.2
-------------------	-------------

無回答：45 (8.3%)

## V あなたご自身についてお伺いします。

7. 主に勤務している医療機関を選んでください。（該当が複数ある場合はすべてお選びください）

がん診療連携拠点病院	246 (45.1%)
拠点病院以外の病院	174 (31.9%)
大学病院	165 (30.3%)
臨床研修指定病院	161 (29.5%)
診療所	7 (1.3%)
該当なし	16 (2.9%)
無回答	9 (1.7%)

8. 現在1週間で最も長い時間行っている診療形態を1つ選んでください。

入院・外来業務	222 (40.7%)
訪問診療	1 (0.7%)
手術麻酔	294 (53.9%)
その他	11 (2.0%)
無回答	17 (3.1%)

## V あなたご自身についてお伺いします。

9. ペインクリニック以外の専門があれば選択してください（複数選択可）。

内科	12 (2.2%)
外科	2 (0.4%)
総合診療科	7 (1.3%)
精神科	3 (0.6%)
脳神経外科	1 (0.2%)
耳鼻いんこう科	1 (0.2%)
泌尿器科	1 (0.2%)
婦人科	1 (0.2%)
整形外科	6 (1.1%)
腫瘍内科・化学療法科	1 (0.2%)
放射線科	1 (0.2%)
リハビリテーション科	4 (0.7%)
緩和ケア・緩和医療科	112 (20.6%)
麻酔科	463 (85.0%)
循環器科	1 (0.2%)
その他	31 (5.7%)
無回答	43 (7.9%)

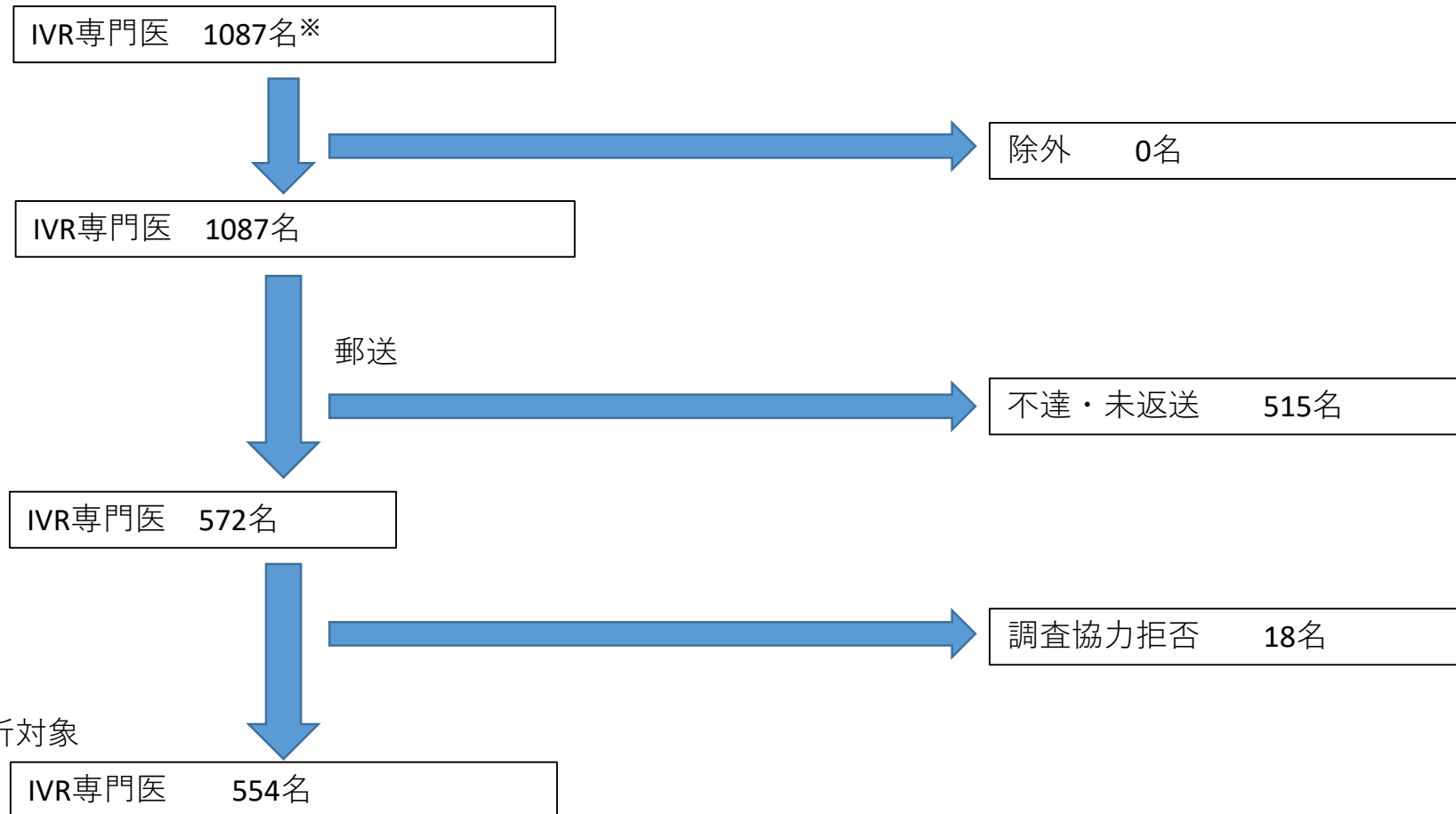
結果

IVR専門医

# 【対象者フロー IVR専門医】

※日本インターベンショナルラジオロジー 学会よりの宛名  
ラベル提供1087名  
(学会からは当初1088名と伺っていたがラベルは1087名分のみ)

調査対象



解析対象

本調査にご協力いただけない場合には、下記にチェックをして返信用封筒でご返送ください。

調査には協力しません 18名 (3.1%)

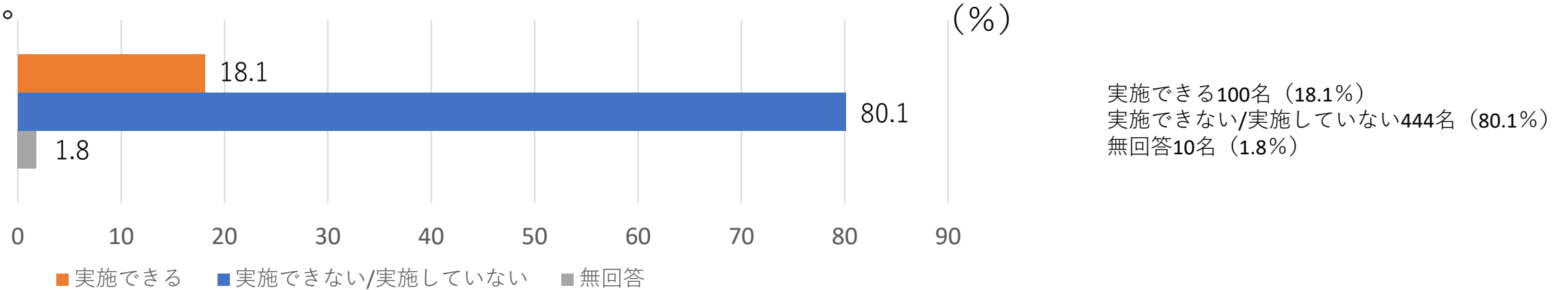
無回答 (以後に回答) 554名 (96.9%)



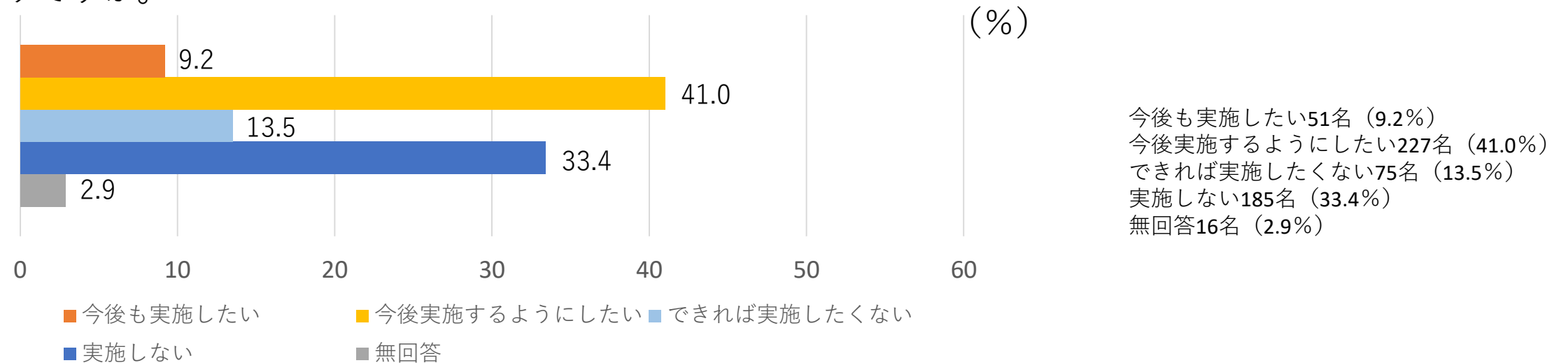
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

a. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、今後、実施するつもりですか。

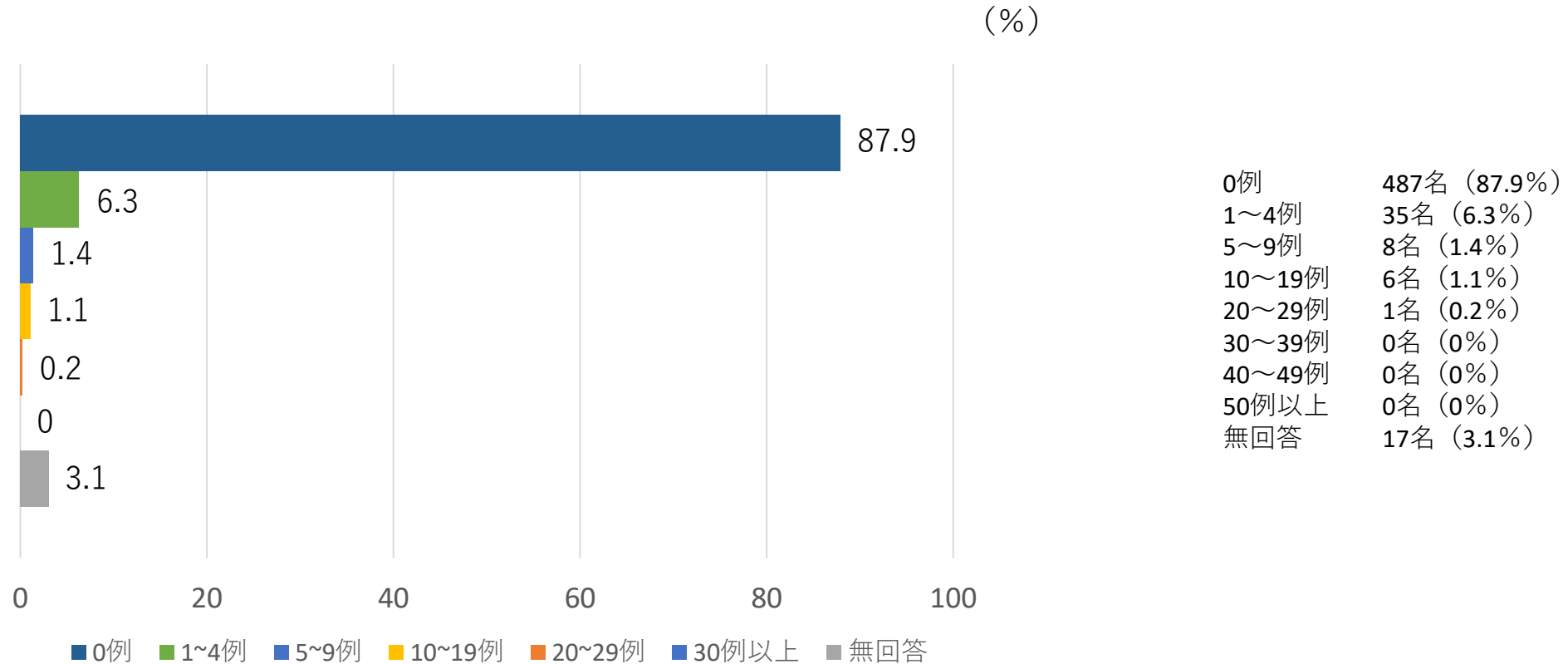


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：0.38±1.73  
中央値（4分範囲）：0（0-0）

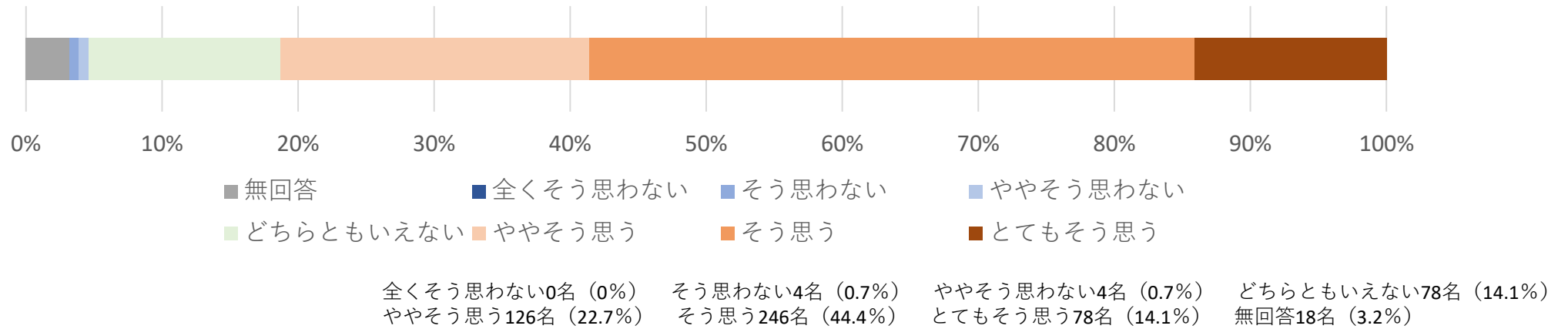


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

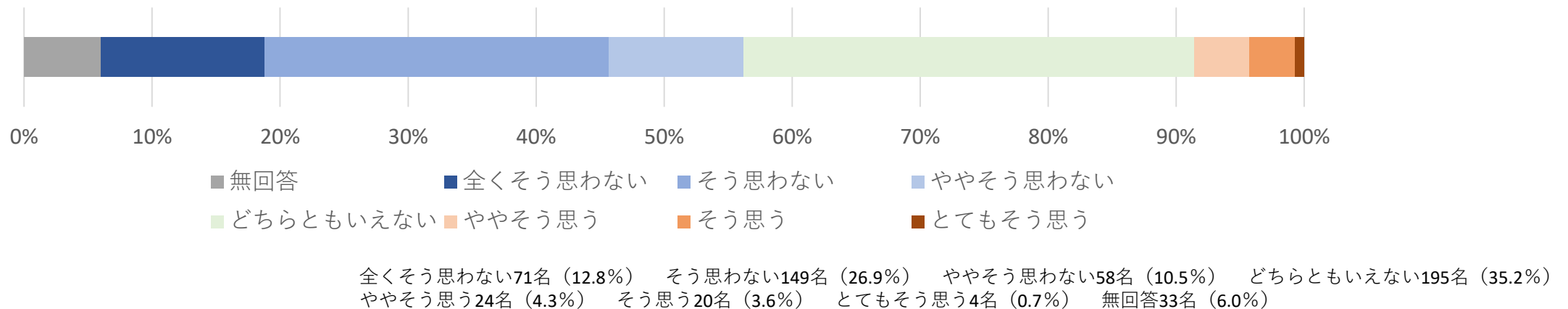
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

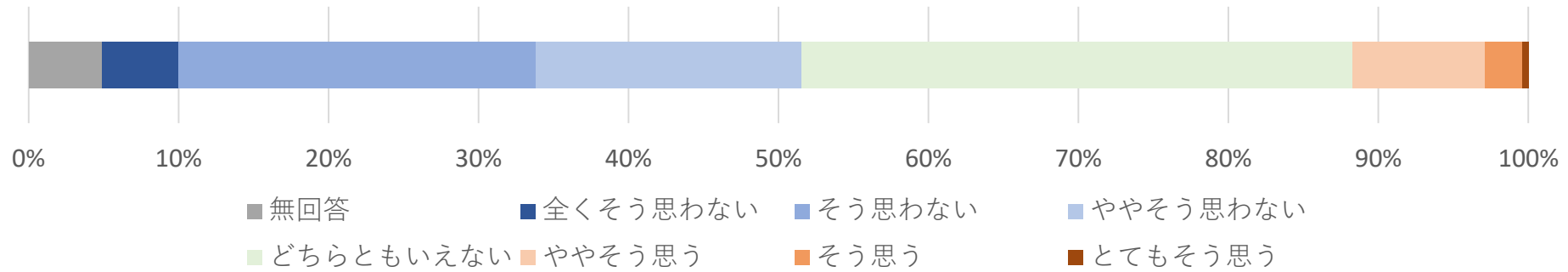


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

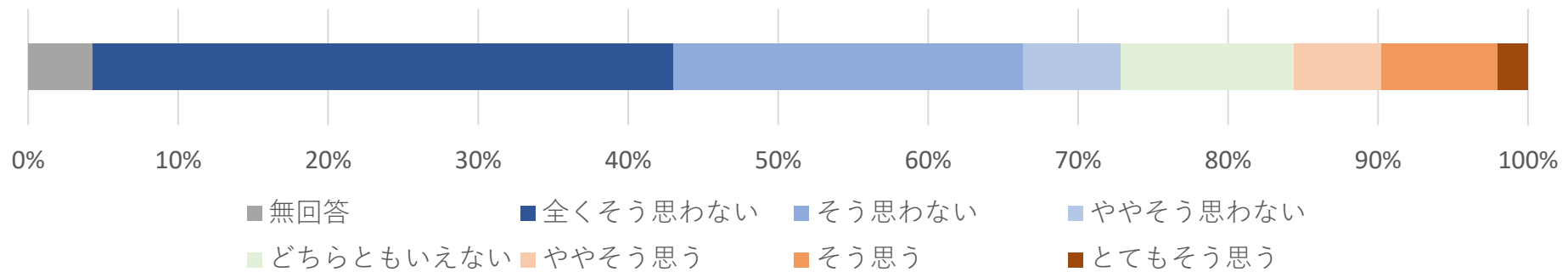
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない28名 (5.1%)    そう思わない132名 (23.8%)    ややそう思わない98名 (17.7%)    どちらともいえない204名 (36.8%)  
ややそう思う49名 (8.8%)    そう思う14名 (2.5%)    とてもそう思う2名 (0.4%)    無回答27名 (4.9%)

### 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



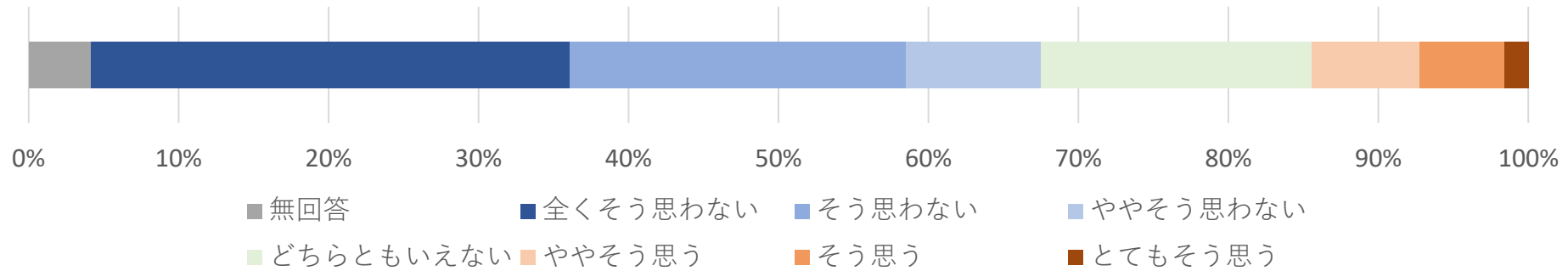
全くそう思わない215名 (38.8%)    そう思わない129名 (23.3%)    ややそう思わない36名 (6.5%)    どちらともいえない64名 (11.6%)  
ややそう思う32名 (5.8%)    そう思う43名 (7.8%)    とてもそう思う11名 (2.0%)    無回答24名 (4.3%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

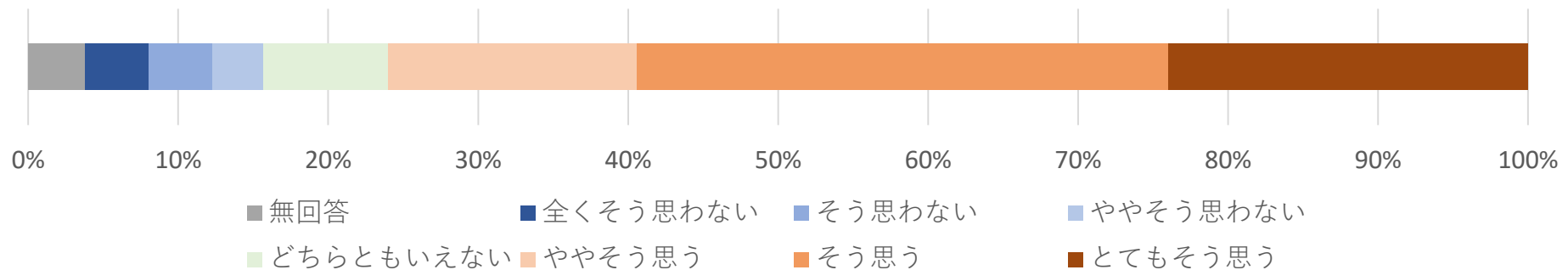
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない177名 (31.9%)    そう思わない124名 (22.4%)    ややそう思わない50名 (9.0%)    どちらともいえない100名 (18.1%)  
ややそう思う40名 (7.2%)    そう思う31名 (5.6%)    とてもそう思う9名 (1.6%)    無回答23名 (4.2%)

### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



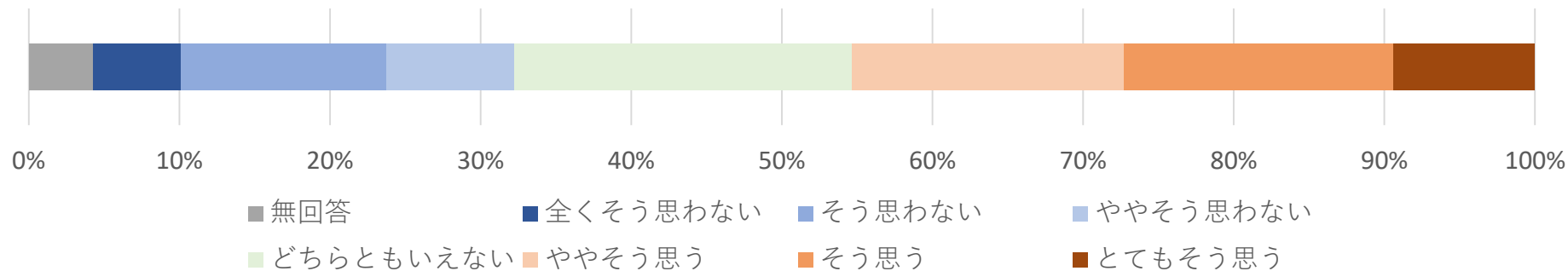
全くそう思わない23名 (4.2%)    そう思わない24名 (4.3%)    ややそう思わない19名 (3.4%)    どちらともいえない46名 (8.3%)  
ややそう思う92名 (16.6%)    そう思う196名 (35.4%)    とてもそう思う133名 (24.0%)    無回答21名 (3.8%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

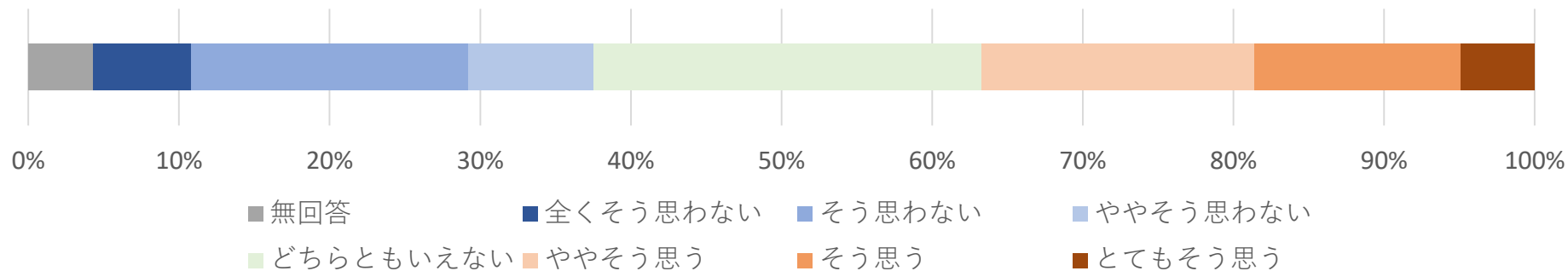
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない32名 (5.8%)    そう思わない76名 (13.7%)    ややそう思わない47名 (8.5%)    どちらともいえない124名 (22.4%)  
ややそう思う100名 (18.1%)    そう思う99名 (17.9%)    とてもそう思う52名 (9.4%)    無回答24名 (4.3%)

### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



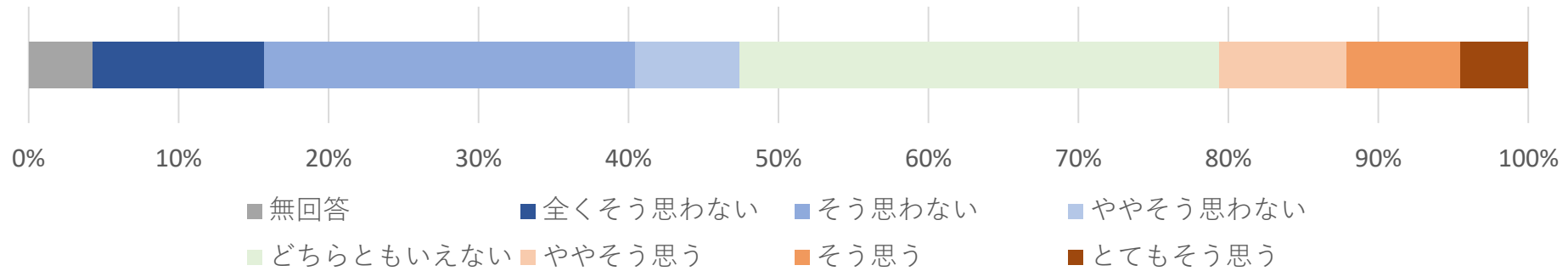
全くそう思わない36名 (6.5%)    そう思わない102名 (18.4%)    ややそう思わない46名 (8.3%)    どちらともいえない143名 (25.8%)  
ややそう思う100名 (18.1%)    そう思う76名 (13.7%)    とてもそう思う27名 (4.9%)    無回答24名 (4.3%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

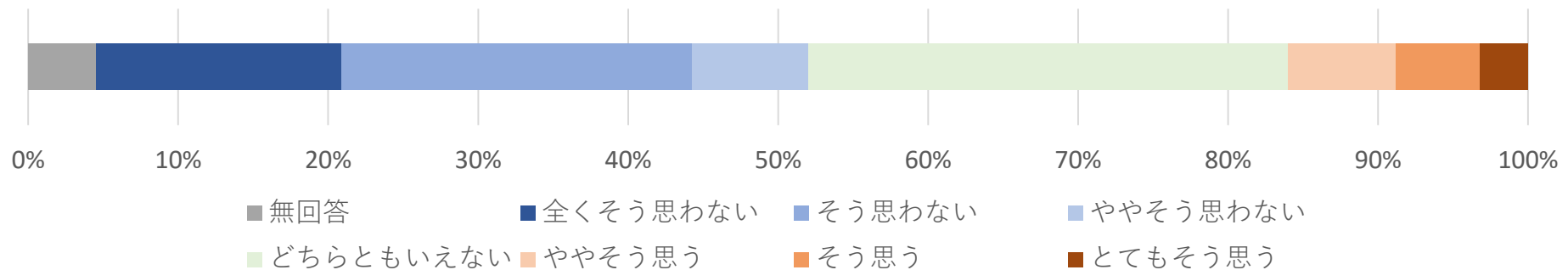
d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない63名 (11.4%) そう思わない137名 (24.7%) ややそう思わない39名 (7.0%) どちらともいえない177名 (31.9%)  
ややそう思う47名 (8.5%) そう思う42名 (7.6%) とてもそう思う25名 (4.5%) 無回答24名 (4.3%)

### 10) 自施設での導入が容認されない



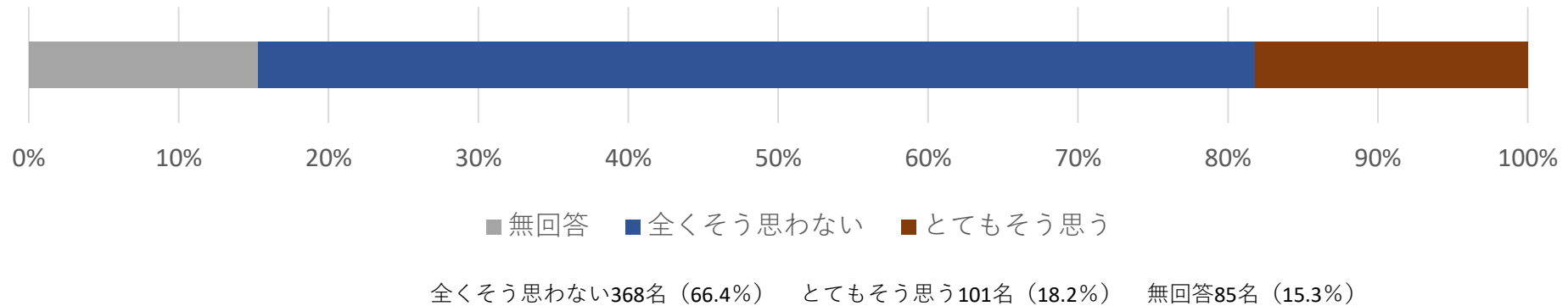
全くそう思わない91名 (16.4%) そう思わない129名 (23.3%) ややそう思わない43名 (7.8%) どちらともいえない177名 (31.9%)  
ややそう思う40名 (7.2%) そう思う31名 (5.6%) とてもそう思う18名 (3.2%) 無回答25名 (4.5%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

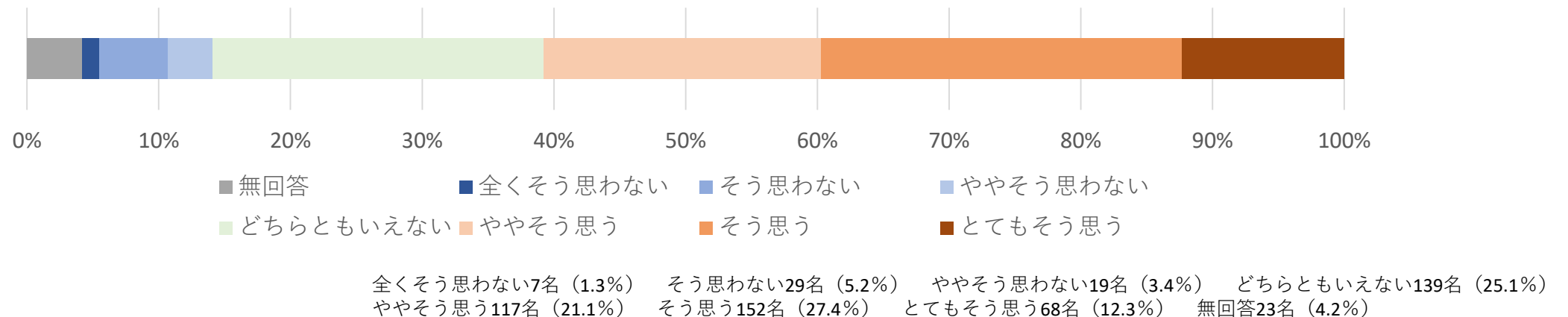
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である



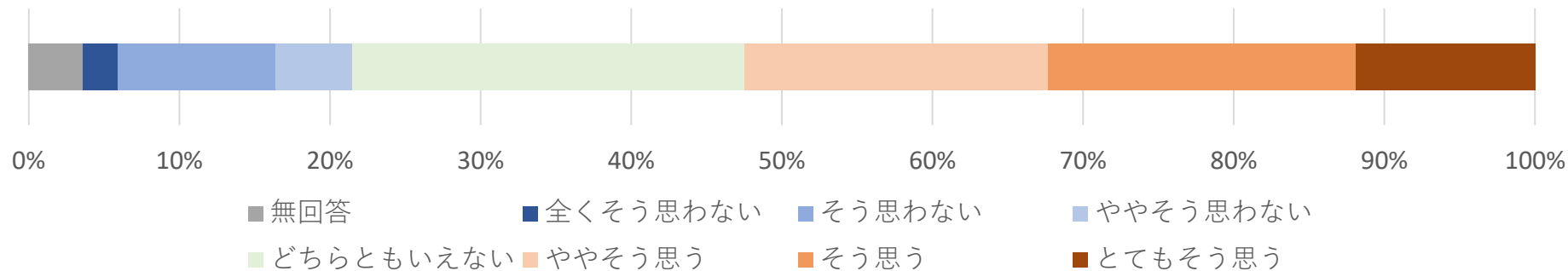


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである

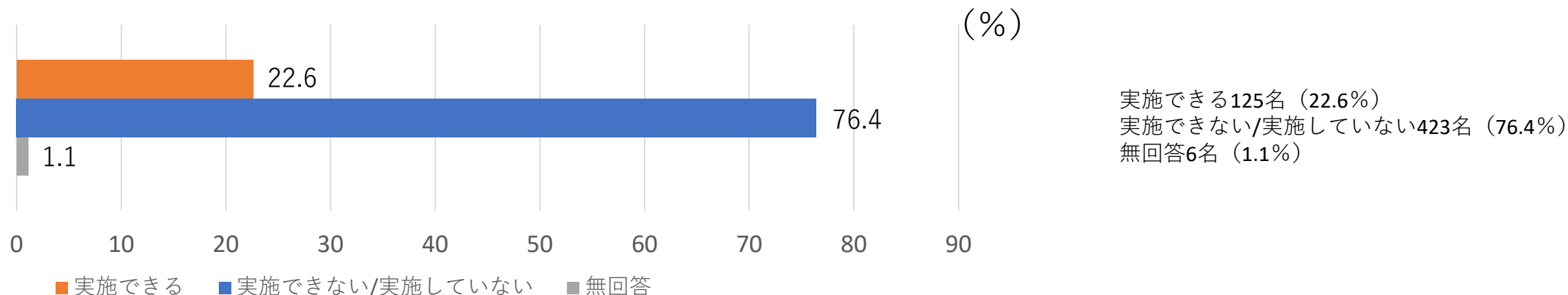


全くそう思わない13名 (2.3%)    そう思わない58名 (10.5%)    ややそう思わない28名 (5.1%)    どちらともいえない144名 (26.0%)  
ややそう思う112名 (26.0%)    そう思う113名 (20.4%)    とてもそう思う66名 (11.9%)    無回答20名 (3.6%)

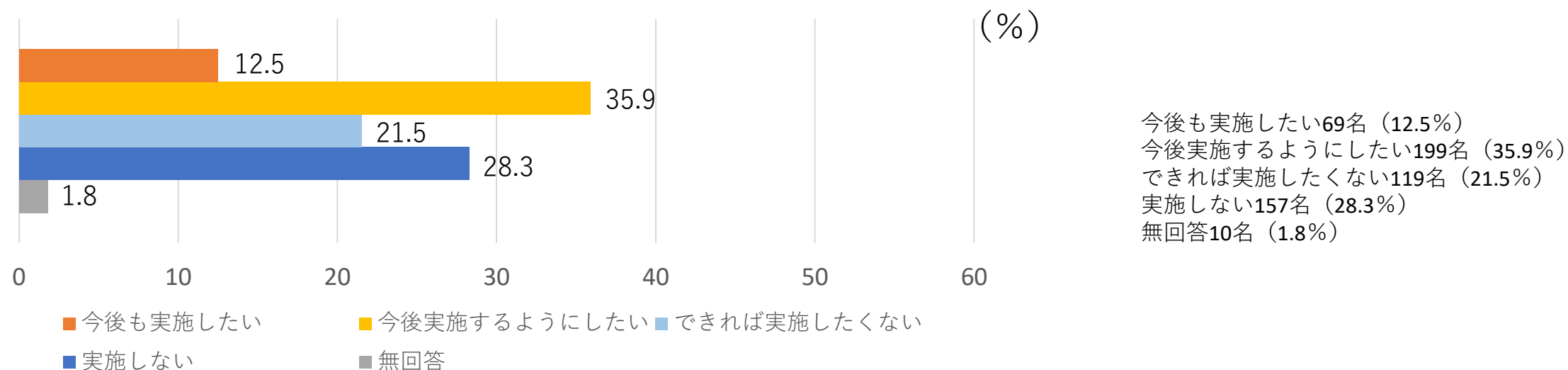
# 1. がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

a. あなた自身は、骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術を、今後、実施するつもりですか。

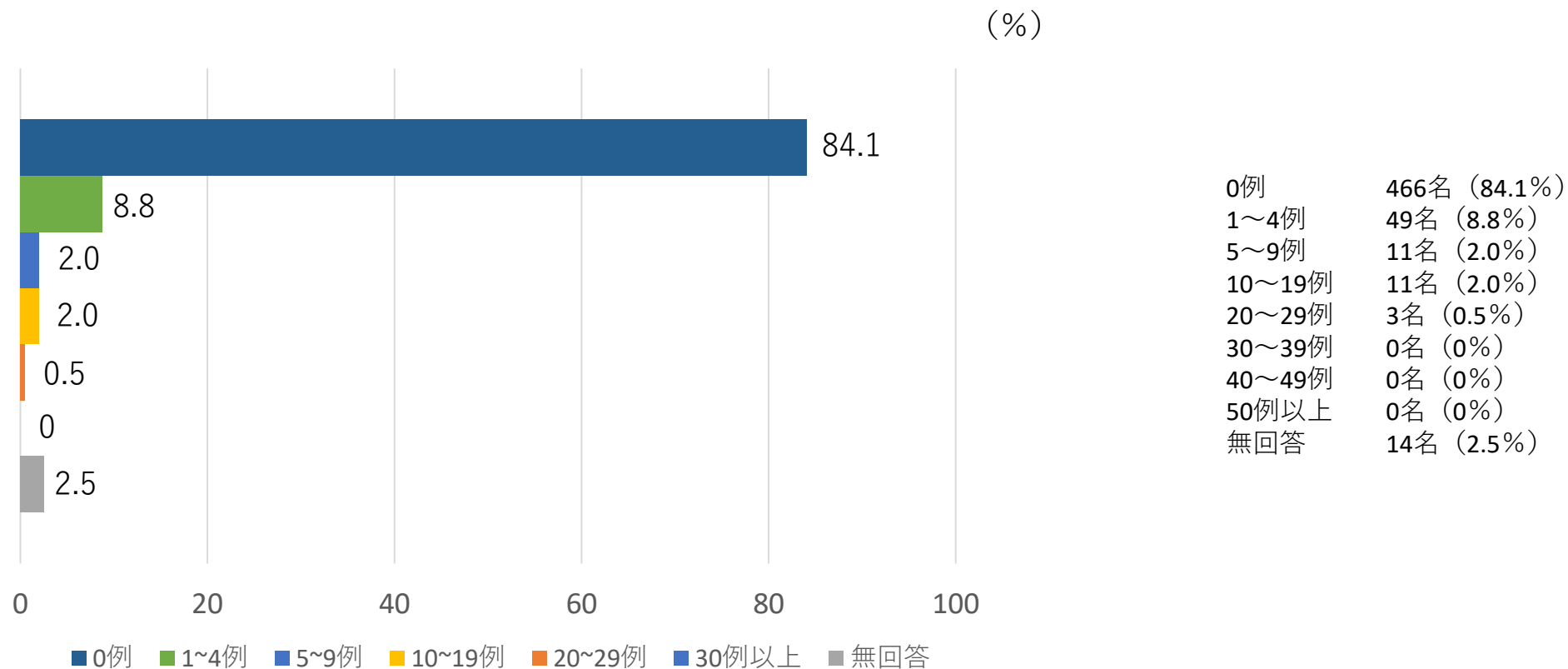


# 1. がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：0.64±2.34  
中央値（4分範囲）：0（0-0）

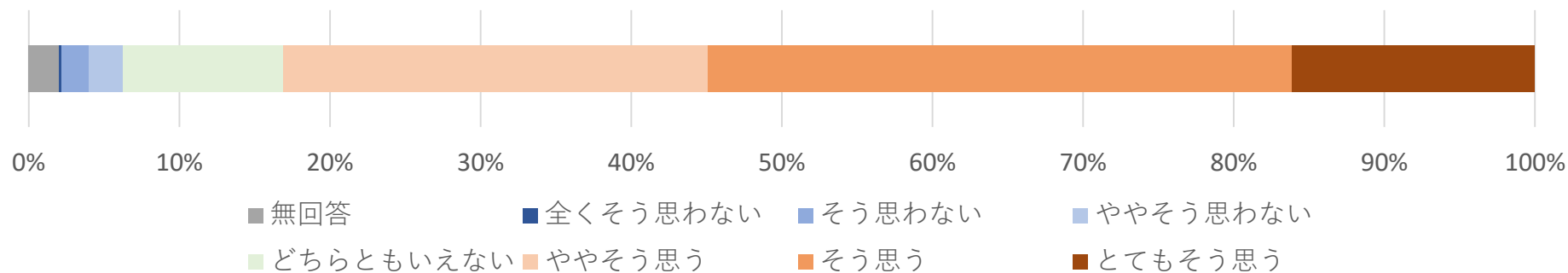


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

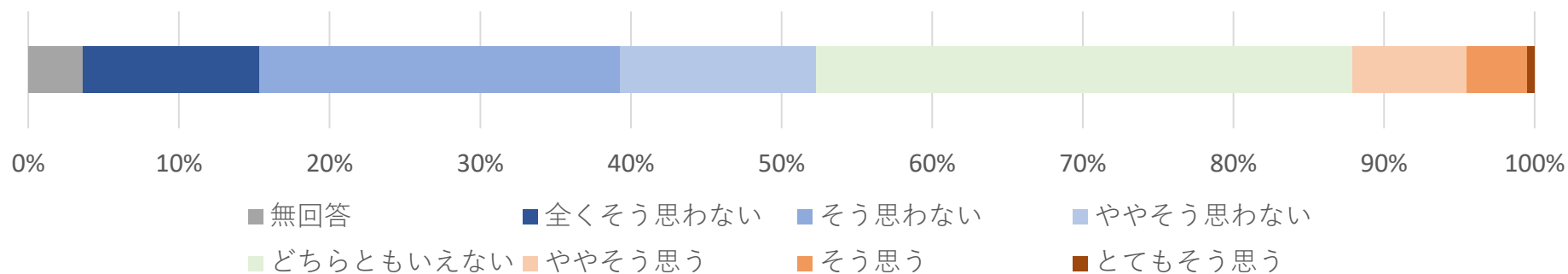
d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



全くそう思わない1名 (0.2%)    そう思わない10名 (1.8%)    ややそう思わない13名 (2.3%)    どちらともいえない59名 (10.6%)  
ややそう思う156名 (28.2%)    そう思う215名 (38.8%)    とてもそう思う89名 (16.1%)    無回答11名 (2.0%)

### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている



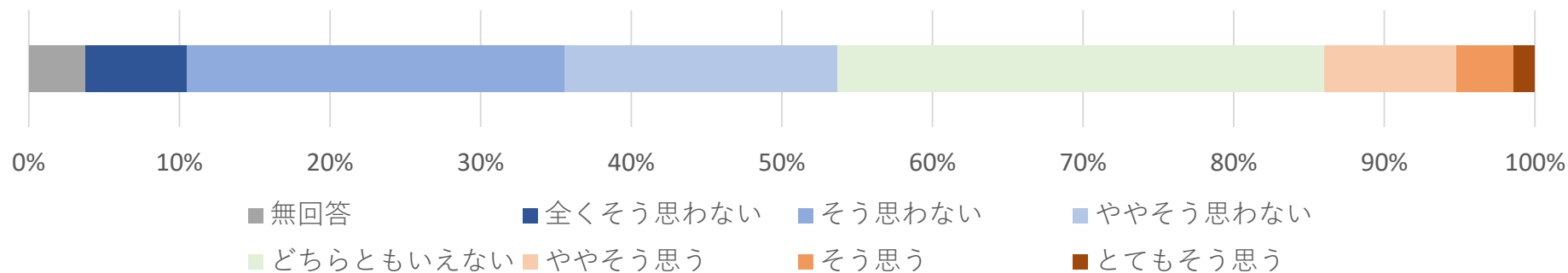
全くそう思わない65名 (11.7%)    そう思わない133名 (24.0%)    ややそう思わない72名 (13.0%)    どちらともいえない197名 (35.6%)  
ややそう思う42名 (7.6%)    そう思う22名 (4.0%)    とてもそう思う3名 (0.5%)    無回答20名 (3.6%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

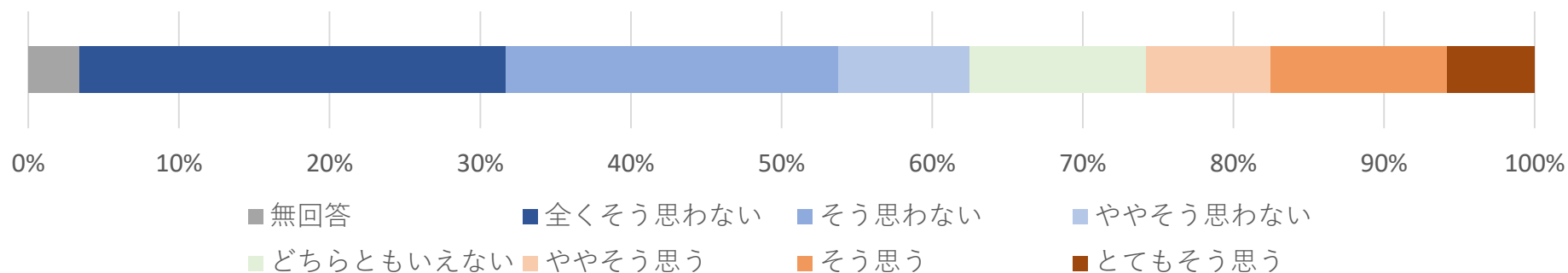
d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない37名 (6.7%)    そう思わない139名 (25.1%)    ややそう思わない100名 (18.1%)    どちらともいえない179名 (32.3%)  
ややそう思う49名 (8.8%)    そう思う21名 (3.8%)    とてもそう思う8名 (1.4%)    無回答21名 (3.8%)

### 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



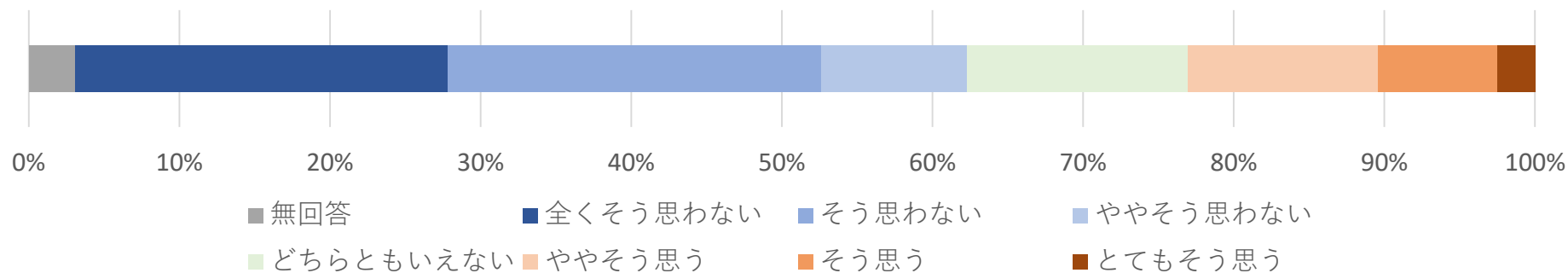
全くそう思わない157名 (28.3%)    そう思わない122名 (22.0%)    ややそう思わない48名 (8.7%)    どちらともいえない65名 (11.7%)  
ややそう思う46名 (8.3%)    そう思う65名 (11.7%)    とてもそう思う32名 (5.8%)    無回答19名 (3.4%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

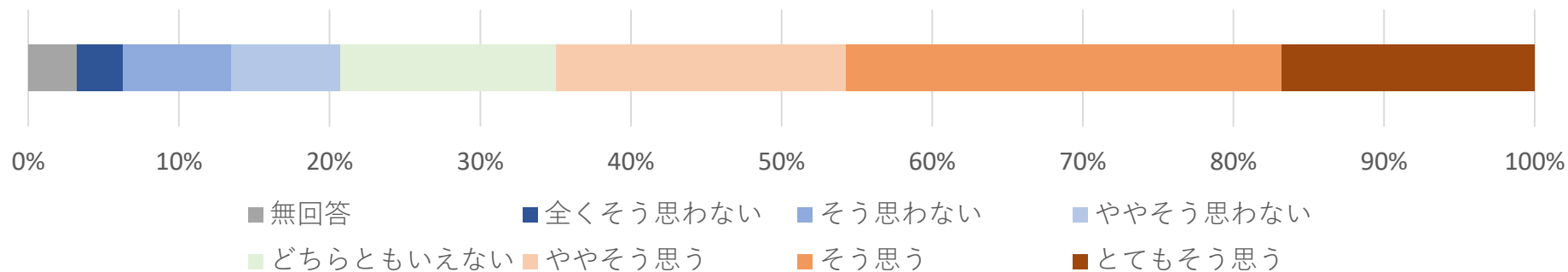
d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない137名 (24.7%) 　 そう思わない137名 (24.7%) 　 ややそう思わない54名 (9.7%) 　 どちらともいえない81名 (14.6%)  
ややそう思う70名 (12.6%) 　 そう思う44名 (7.9%) 　 とてもそう思う14名 (2.5%) 　 無回答17名 (3.1%)

### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



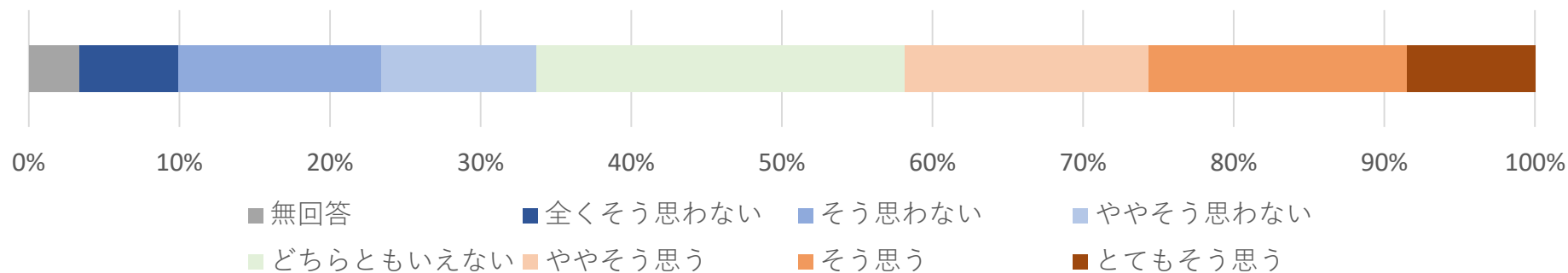
全くそう思わない17名 (3.1%) 　 そう思わない40名 (7.2%) 　 ややそう思わない40名 (7.2%) 　 どちらともいえない79名 (14.3%)  
ややそう思う107名 (19.3%) 　 そう思う160名 (28.9%) 　 とてもそう思う93名 (16.8%) 　 無回答18名 (3.2%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

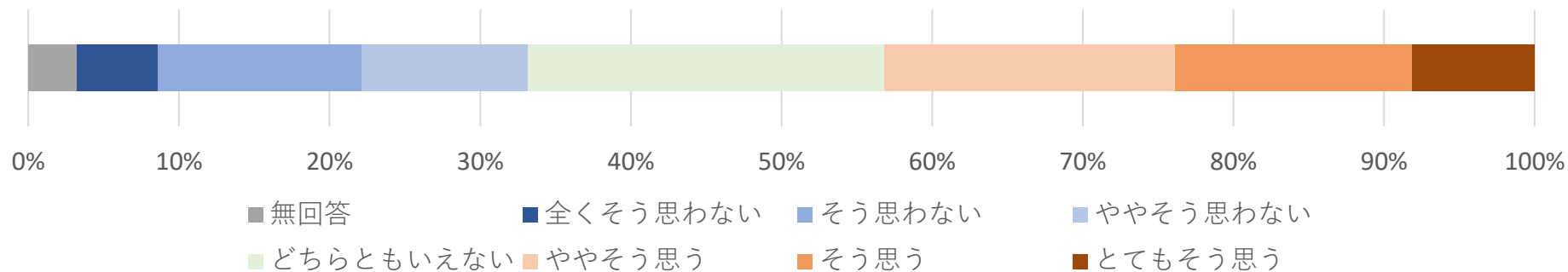
d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない36名 (6.5%)    そう思わない75名 (13.5%)    ややそう思わない57名 (10.3%)    どちらともいえない135名 (24.4%)  
ややそう思う90名 (16.2%)    そう思う95名 (17.1%)    とてもそう思う47名 (8.5%)    無回答19名 (3.4%)

### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



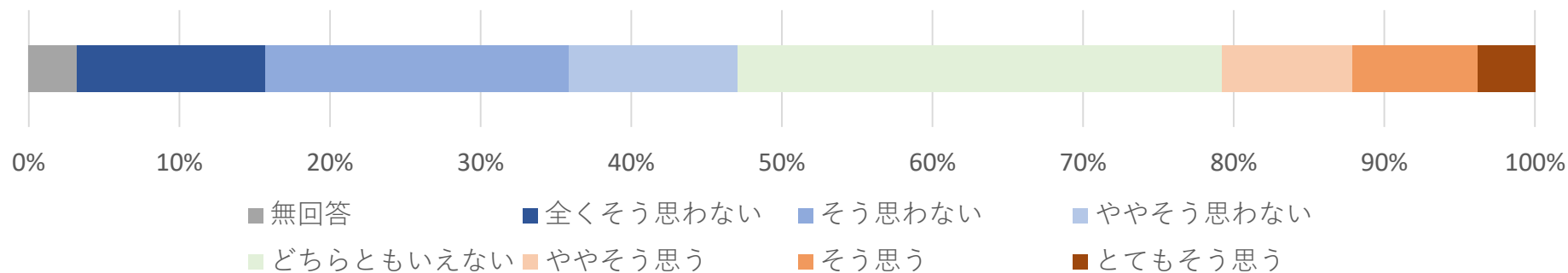
全くそう思わない30名 (5.4%)    そう思わない75名 (13.5%)    ややそう思わない61名 (11.0%)    どちらともいえない131名 (23.6%)  
ややそう思う107名 (19.3%)    そう思う87名 (15.7%)    とてもそう思う45名 (8.1%)    無回答18名 (3.2%)

# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

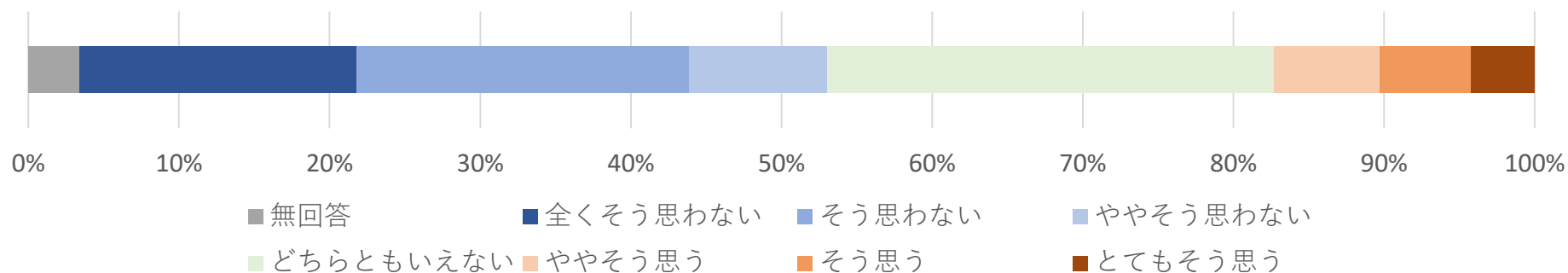
d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない69名 (12.5%) そう思わない112名 (20.2%) ややそう思わない62名 (11.2%) どちらともいえない178名 (32.1%)  
ややそう思う48名 (8.7%) そう思う46名 (8.3%) とてもそう思う21名 (3.8%) 無回答18名 (3.2%)

### 10) 自施設での導入が容認されない



全くそう思わない102名 (18.4%) そう思わない122名 (22.0%) ややそう思わない51名 (9.2%) どちらともいえない164名 (29.6%)  
ややそう思う39名 (7.0%) そう思う34名 (6.1%) とてもそう思う23名 (4.2%) 無回答19名 (3.4%)

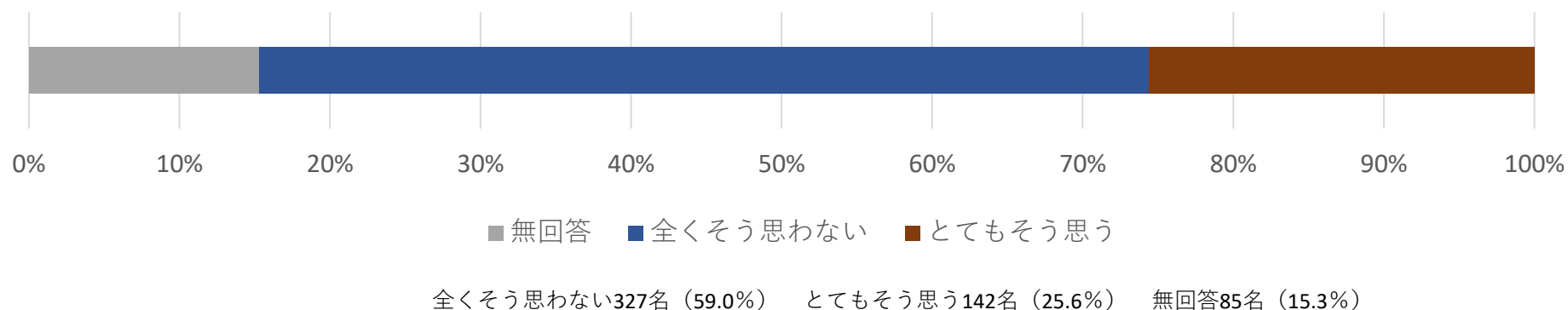


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

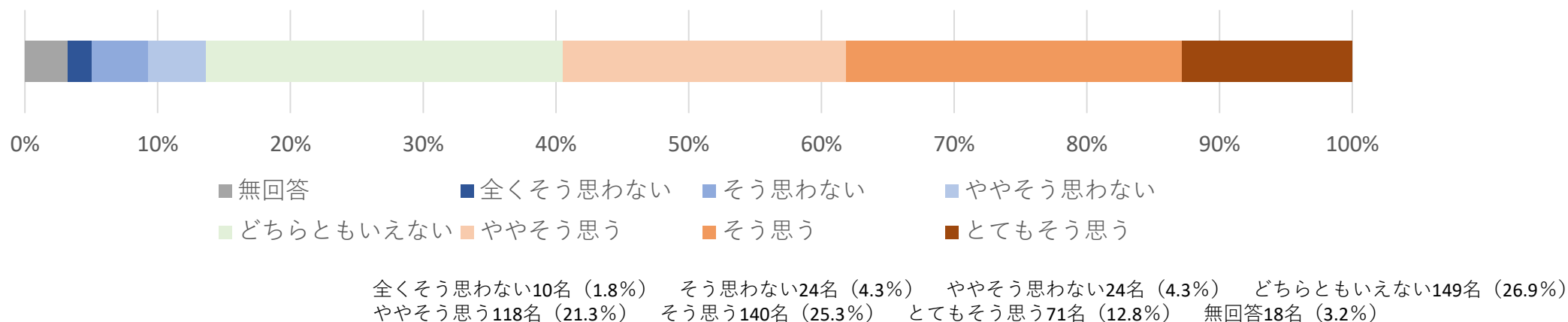
## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

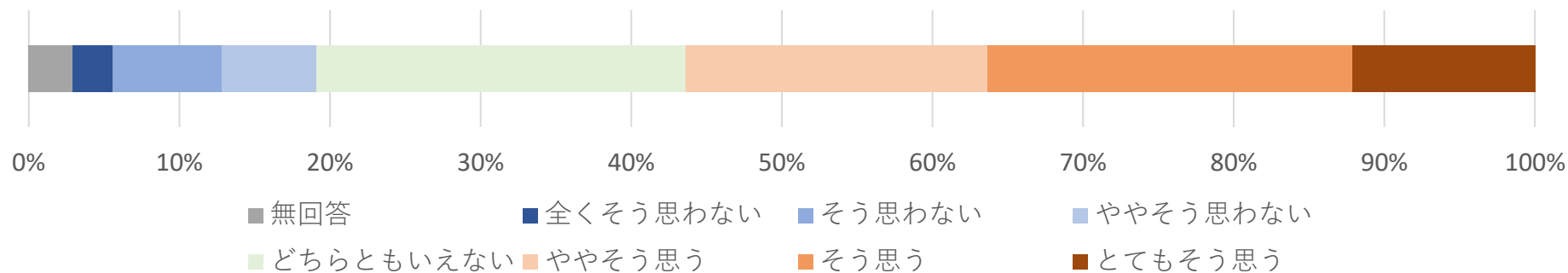


# 1 がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 2. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について

d. 骨転移の痛みに対する経皮的椎体形成術・骨形成術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである

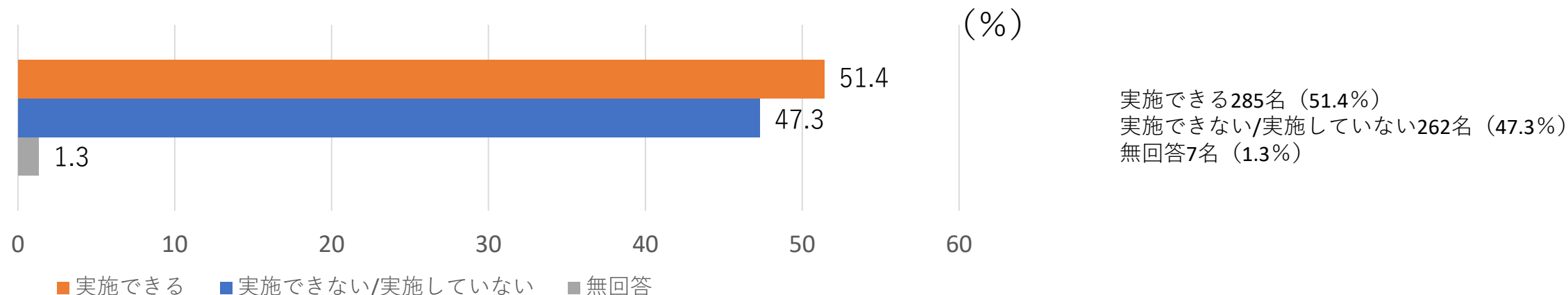


全くそう思わない15名 (2.7%)    そう思わない40名 (7.2%)    ややそう思わない35名 (6.3%)    どちらともいえない136名 (24.5%)  
ややそう思う111名 (20.0%)    そう思う134名 (24.2%)    とてもそう思う67名 (12.1%)    無回答16名 (2.9%)

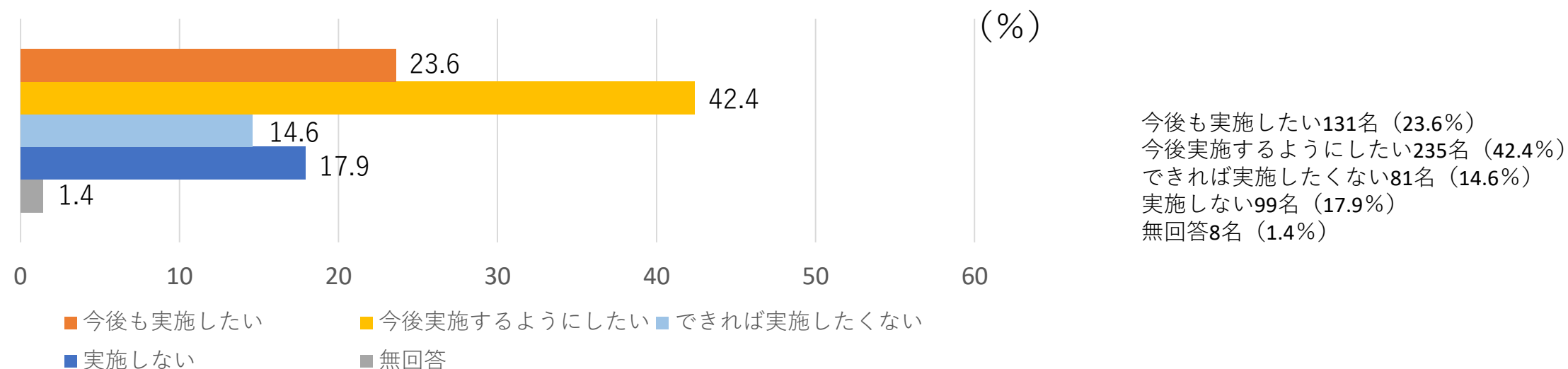
# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

a. あなた自身は、骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術を、今後、実施するつもりですか。

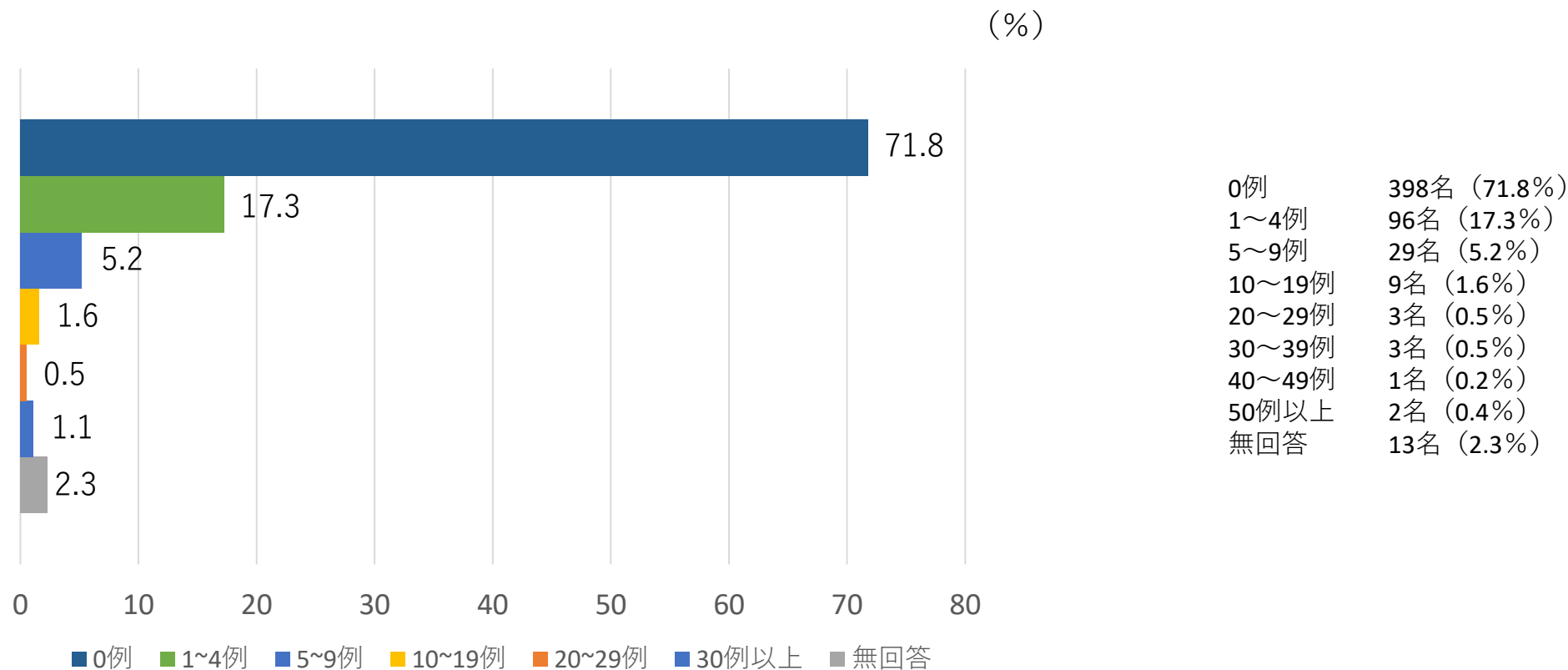


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：1.43±6.01  
中央値（4分範囲）：0（0-1）

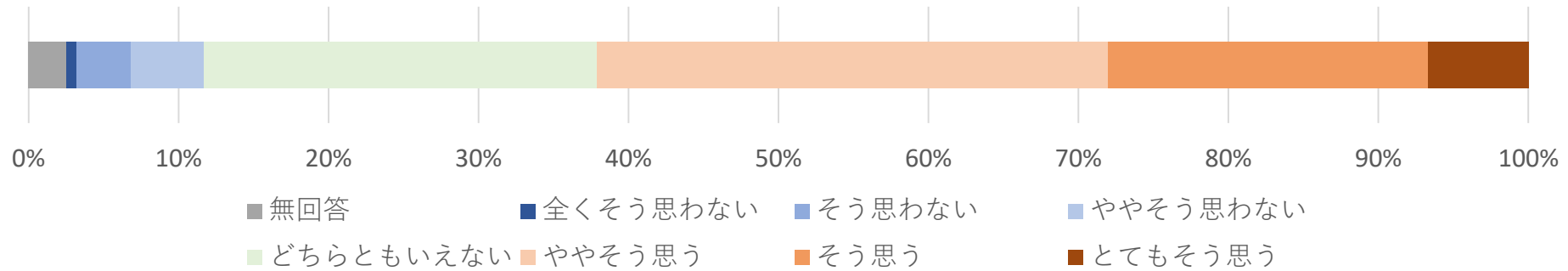


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

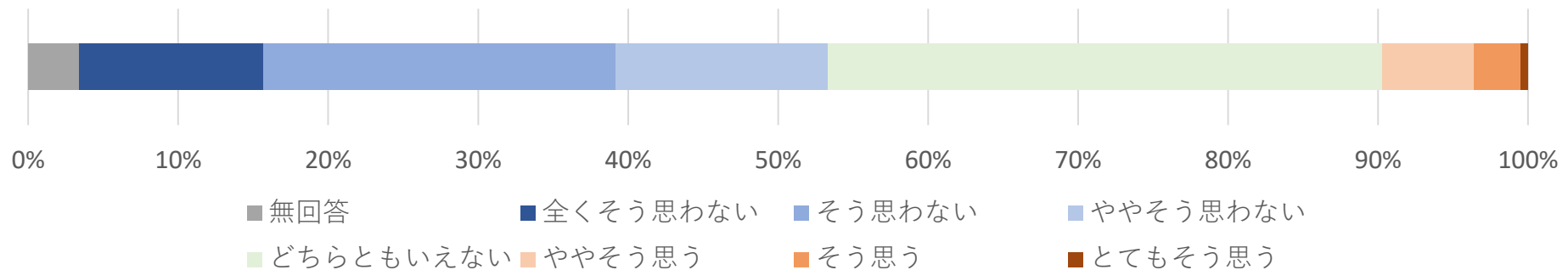
d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



全くそう思わない4名 (0.7%)    そう思わない20名 (3.6%)    ややそう思わない27名 (4.9%)    どちらともいえない145名 (26.2%)  
ややそう思う189名 (34.1%)    そう思う118名 (21.3%)    とてもそう思う37名 (6.7%)    無回答14名 (2.5%)

### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている



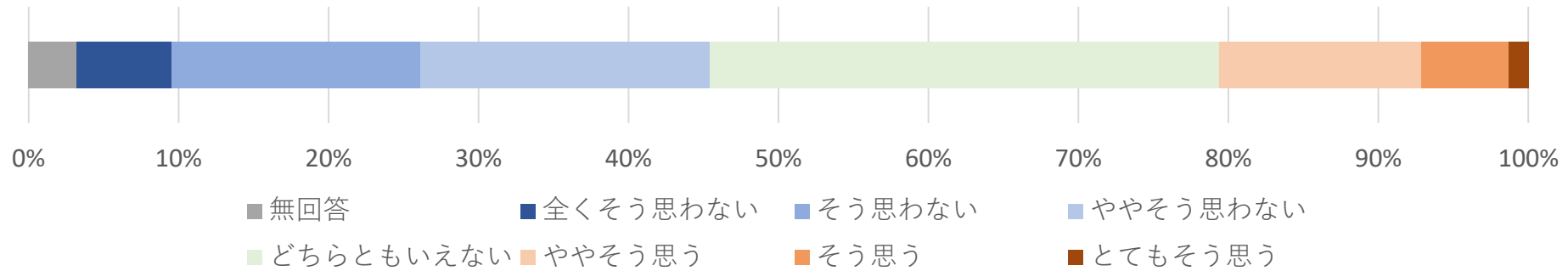
全くそう思わない68名 (12.3%)    そう思わない130名 (23.5%)    ややそう思わない78名 (14.1%)    どちらともいえない205名 (37.0%)  
ややそう思う34名 (6.1%)    そう思う17名 (3.1%)    とてもそう思う3名 (0.5%)    無回答19名 (3.4%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

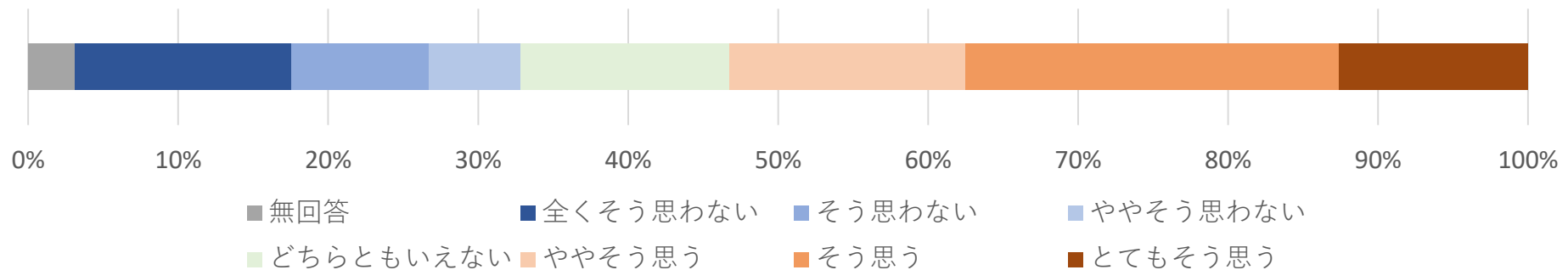
d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



全くそう思わない35名 (6.3%)    そう思わない92名 (16.6%)    ややそう思わない107名 (19.3%)    どちらともいえない188名 (33.9%)  
ややそう思う75名 (13.5%)    そう思う32名 (5.8%)    とてもそう思う7名 (1.3%)    無回答18名 (3.2%)

### 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている



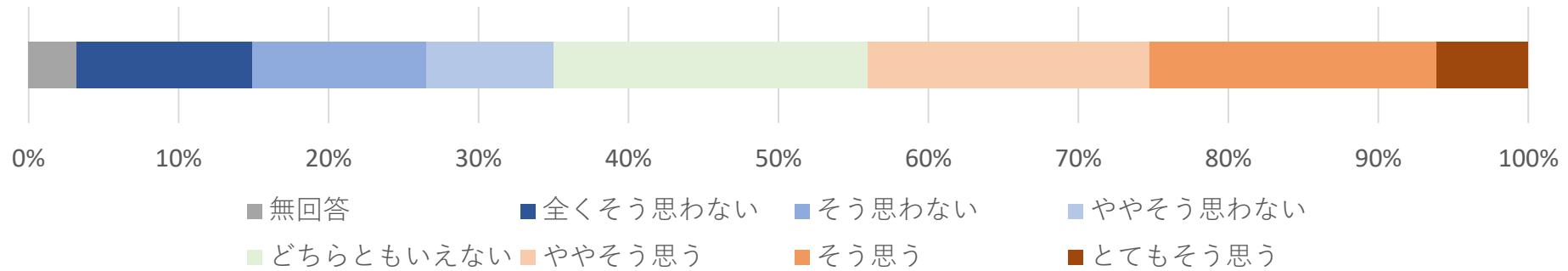
全くそう思わない80名 (14.4%)    そう思わない51名 (9.2%)    ややそう思わない34名 (6.1%)    どちらともいえない77名 (13.9%)  
ややそう思う87名 (15.7%)    そう思う138名 (24.9%)    とてもそう思う70名 (12.6%)    無回答17名 (3.1%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

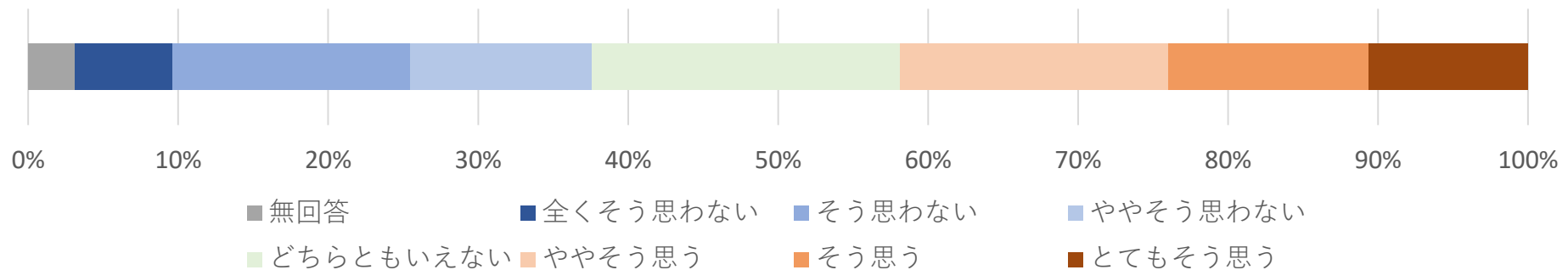
d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない65名 (11.7%) そう思わない64名 (11.6%) ややそう思わない47名 (8.5%) どちらともいえない116名 (20.9%)  
ややそう思う104名 (18.8%) そう思う106名 (19.1%) とてもそう思う34名 (6.1%) 無回答18名 (3.2%)

### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



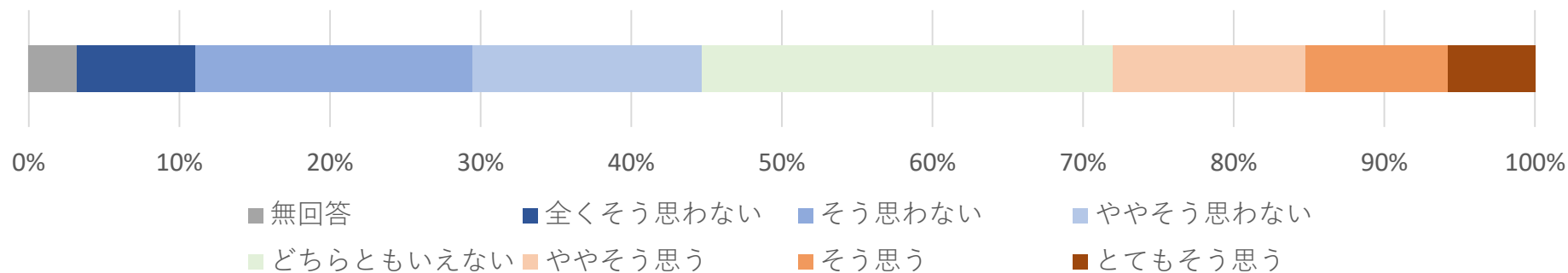
全くそう思わない36名 (6.5%) そう思わない88名 (15.9%) ややそう思わない67名 (12.1%) どちらともいえない114名 (20.6%)  
ややそう思う99名 (17.9%) そう思う74名 (13.4%) とてもそう思う59名 (10.6%) 無回答17名 (3.1%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

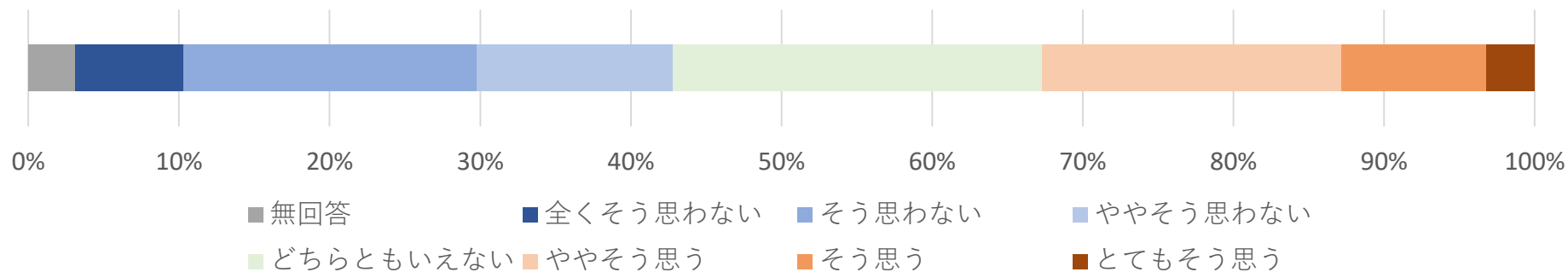
d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない44名 (7.9%) そう思わない102名 (18.4%) ややそう思わない84名 (15.2%) どちらともいえない151名 (27.3%)  
ややそう思う71名 (12.8%) そう思う52名 (9.4%) とてもそう思う32名 (5.8%) 無回答18名 (3.2%)

### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい



全くそう思わない40名 (7.2%) そう思わない108名 (19.5%) ややそう思わない72名 (13.0%) どちらともいえない136名 (24.5%)  
ややそう思う110名 (19.9%) そう思う53名 (9.6%) とてもそう思う18名 (3.2%) 無回答17名 (3.1%)

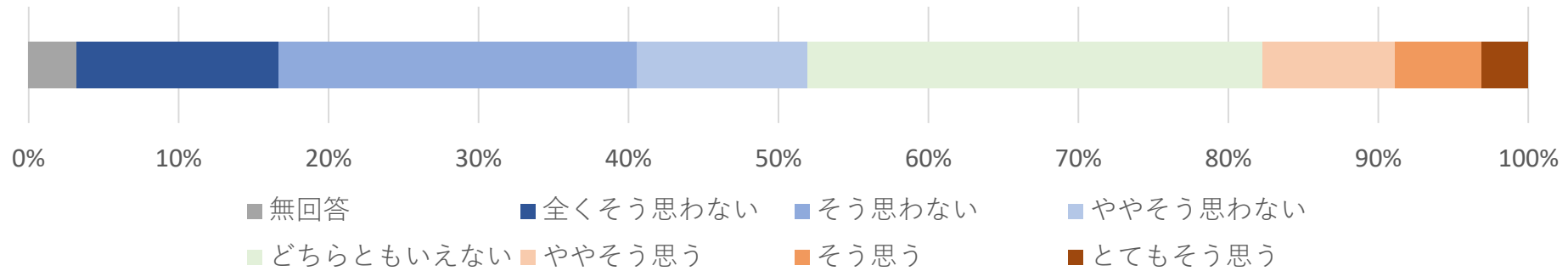


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

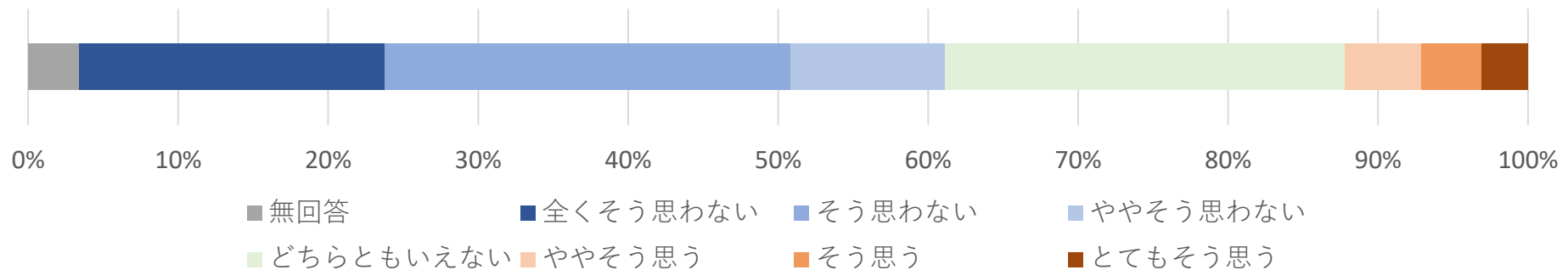
d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



全くそう思わない75名 (13.5%) そう思わない132名 (23.8%) ややそう思わない63名 (11.4%) どちらともいえない168名 (30.3%)  
ややそう思う49名 (8.8%) そう思う32名 (5.8%) とてもそう思う17名 (3.1%) 無回答18名 (3.2%)

### 10) 自施設での導入が容認されない



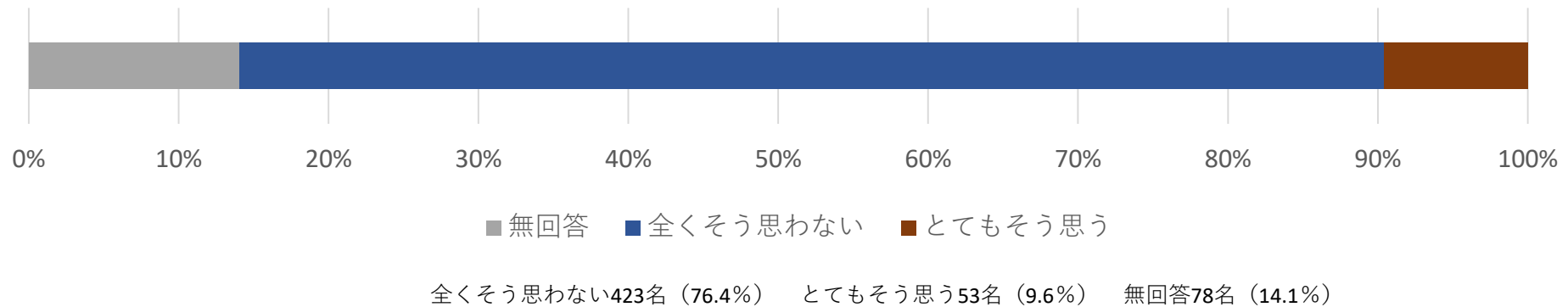
全くそう思わない113名 (20.4%) そう思わない150名 (27.1%) ややそう思わない57名 (10.3%) どちらともいえない148名 (26.7%)  
ややそう思う28名 (5.1%) そう思う22名 (4.0%) とてもそう思う17名 (3.1%) 無回答19名 (3.4%)

# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

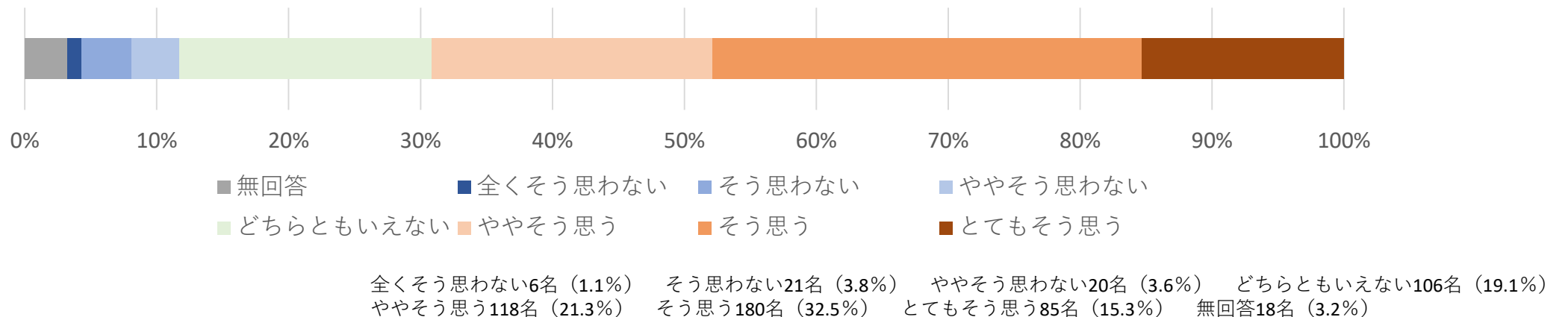
## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

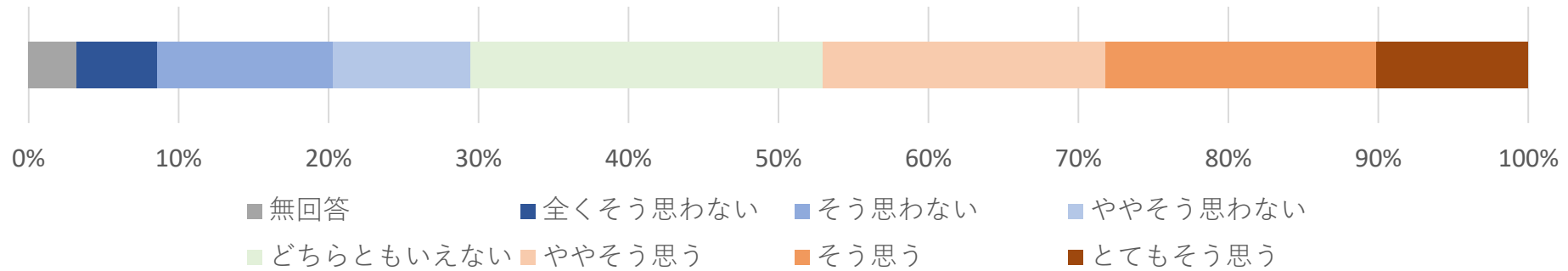


# I がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 3. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について

d. 骨転移の痛みに対する経皮的動脈塞栓術について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである



全くそう思わない30名 (5.4%)    そう思わない65名 (11.7%)    ややそう思わない51名 (9.2%)    どちらともいえない130名 (23.5%)  
ややそう思う104名 (18.8%)    そう思う100名 (18.1%)    とてもそう思う56名 (10.1%)    無回答18名 (3.2%)

## II あなたご自身についてお伺いします。

### 1. 年齢

平均年齢 ± 標準偏差 (歳)	48.2 ± 9.5
-----------------	------------

無回答 : 3 (0.5%)

### 2. 性別

男	510 (92.1%)
女	42 (7.6%)
無回答	2 (0.4%)

### 3. 医師免許取得後の臨床経験年数

平均年数 ± 標準偏差 (年)	22.7 ± 9.4
-----------------	------------

無回答 : 3 (0.5%)

## II あなたご自身についてお伺いします。

4. 年間に診療するがん患者数（I V R処置を実施するがん患者数でも可）

平均年患者数±標準偏差（人）	126.6±174.3
----------------	-------------

無回答：13（2.3%）

5. 年間に診療する痛みのあるがん患者数（I V R処置を実施する前に痛みのあるがん患者数でも可）

平均年患者数±標準偏差（人）	17.8±65.7
----------------	-----------

無回答：34（6.1%）

## II あなたご自身についてお伺いします。

6. 主に勤務している医療機関を選んでください。（該当が複数ある場合はすべてお選びください）

がん診療連携拠点病院	241 (43.5%)
拠点病院以外の病院	110 (19.9%)
大学病院	202 (36.5%)
臨床研修指定病院	164 (5.6%)
診療所	17 (3.1%)
該当なし	8 (1.4%)
無回答	5 (0.9%)

7. 現在の主な診療形態を1つ選んでください。

IVR	194 (35.0%)
放射線画像診断	291 (52.5%)
放射線治療	10 (1.8%)
その他	26 (4.7%)
無回答	33 (6.0%)

## II あなたご自身についてお伺いします。

8. 放射線科以外の専門があれば選択してください（複数選択可）。

内科	22 (4.0%)
外科	3 (0.5%)
総合診療科	3 (0.5%)
精神科	1 (0.2%)
脳神経外科	0 (0%)
耳鼻いんこう科	0 (0%)
泌尿器科	0 (0%)
婦人科	0 (0%)
整形外科	0 (0%)
腫瘍内科・化学療法科	0 (0%)
リハビリテーション科	1 (1.2%)
緩和ケア・緩和医療科	0 (0%)
麻酔科	1 (0.2%)
ペインクリニック科	0 (0%)
循環器科	4 (0.7%)
その他	25 (4.5%)
無回答	503 (90.8%)

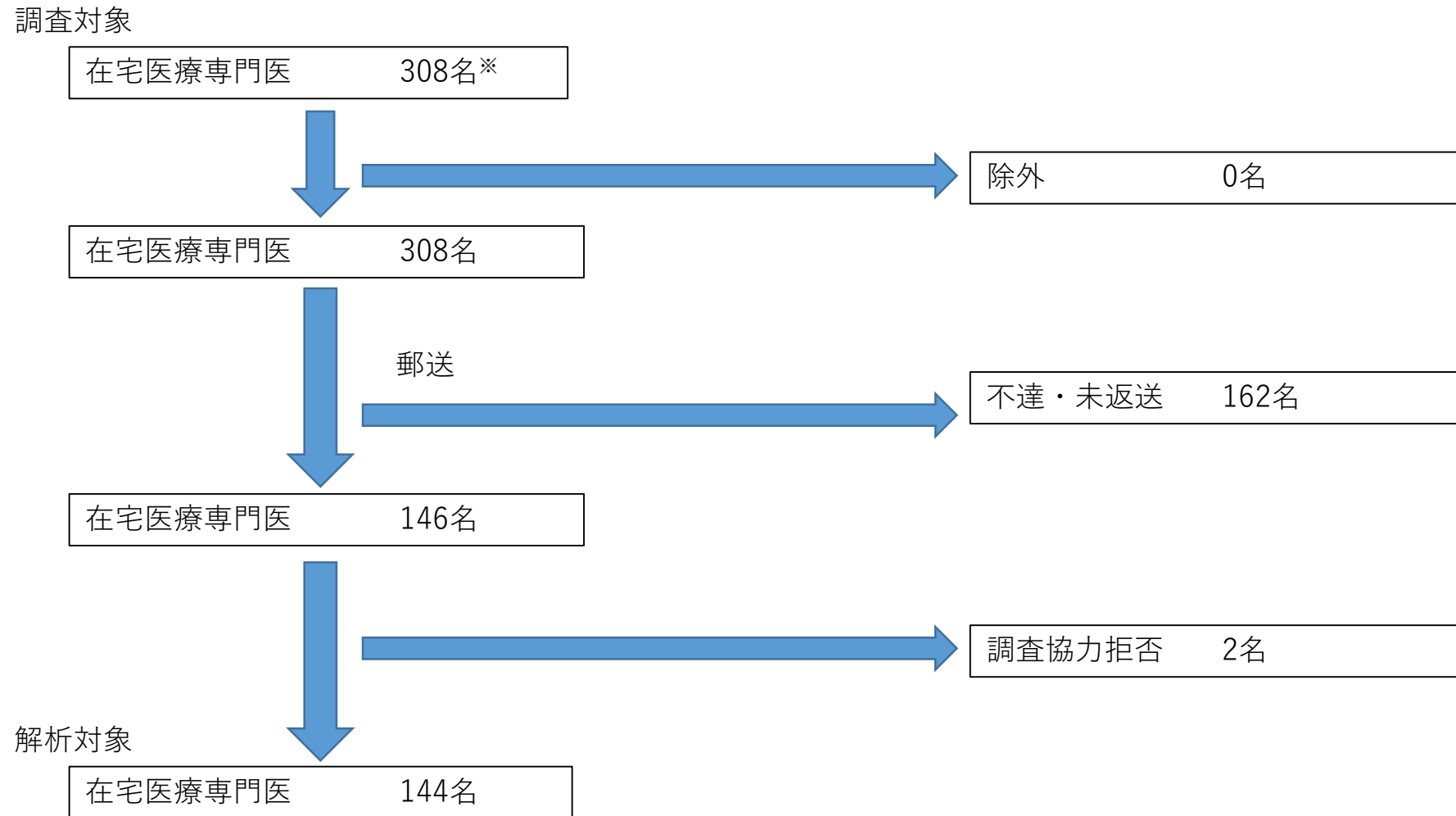
結果

在宅医療専門医



# 【対象者フロー 在宅医療専門医】

※日本在宅医療連合学会より宛名ラベル提供



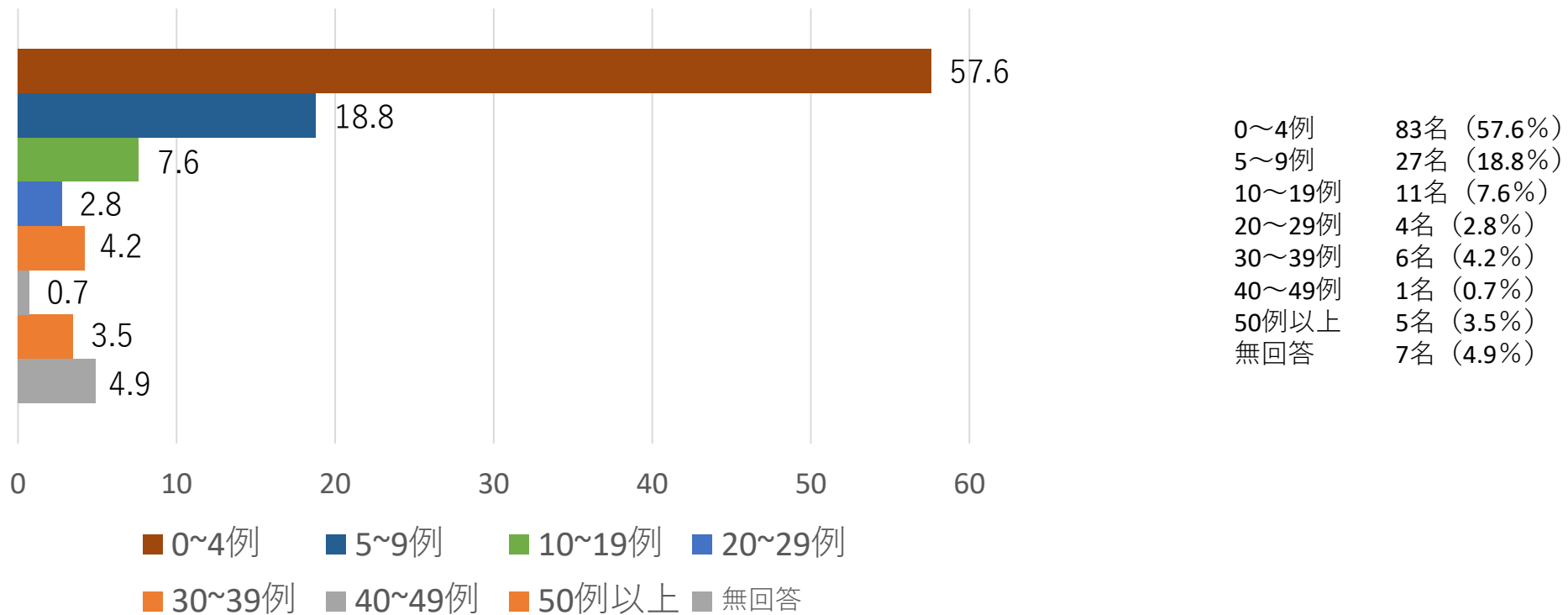
本調査にご協力いただけない場合には、下記にチェックをして返信用封筒でご返送ください。

調査には協力しません                      2名 (1.4%)

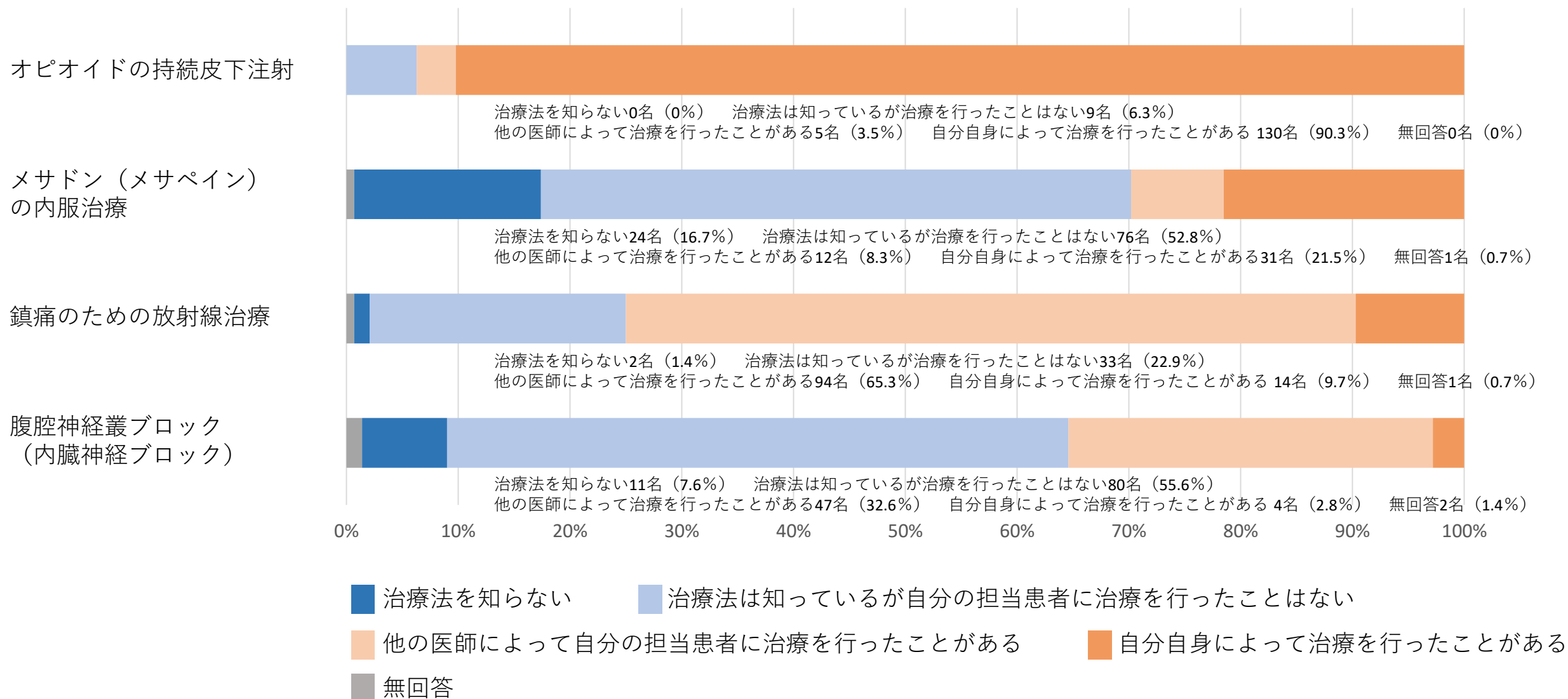
無回答 (以後に回答)                      144名 (98.6%)

# I あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない患者を年間どの程度経験しますか。

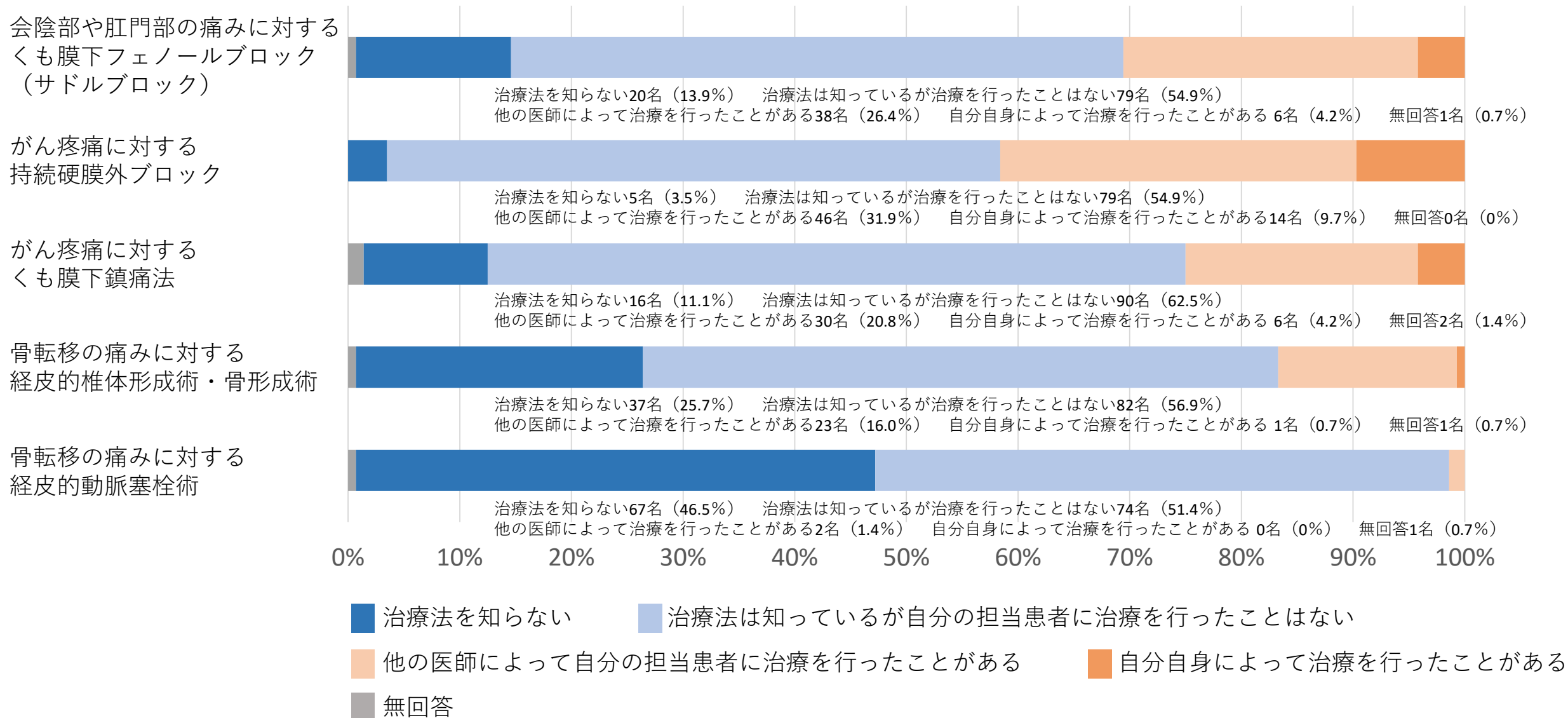
平均+標準偏差：9.35±28.03  
中央値（4分範囲）：3（2-5）



## II 以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。



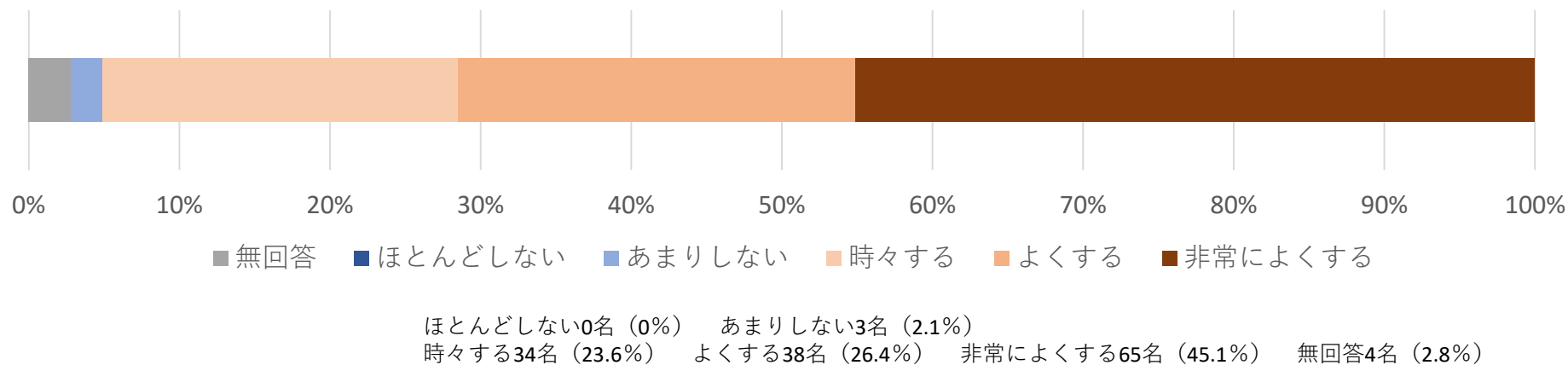
## II 以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。



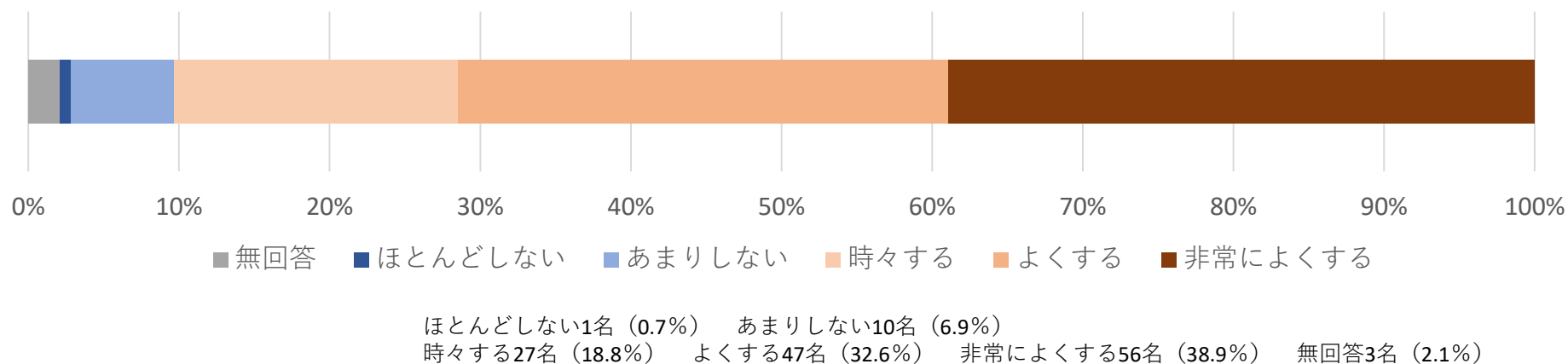
### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1) 自分で本やインターネットの情報を調べる



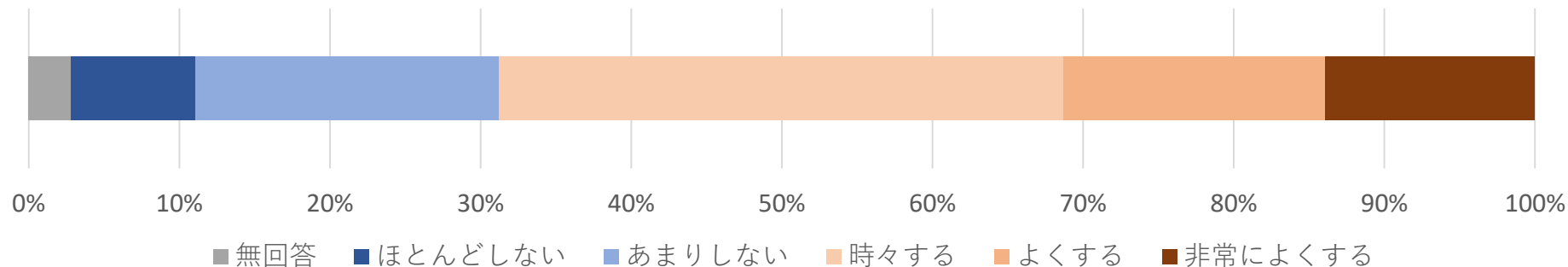
#### 2) 自分でがんの痛みの治療に関するガイドラインを確認する



### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

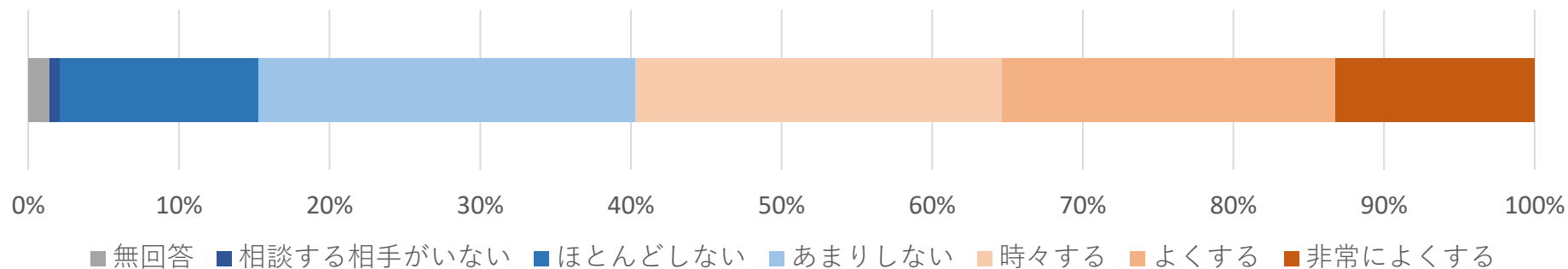
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 3) 自分で国内外の論文を調べる



ほとんどしない12名 (8.3%)    あまりしない29名 (20.1%)  
時々する54名 (37.5%)    よくする25名 (17.4%)    非常によくする20名 (13.9%)    無回答4名 (2.8%)

#### 4) 看護師や薬剤師に他の方法をきく

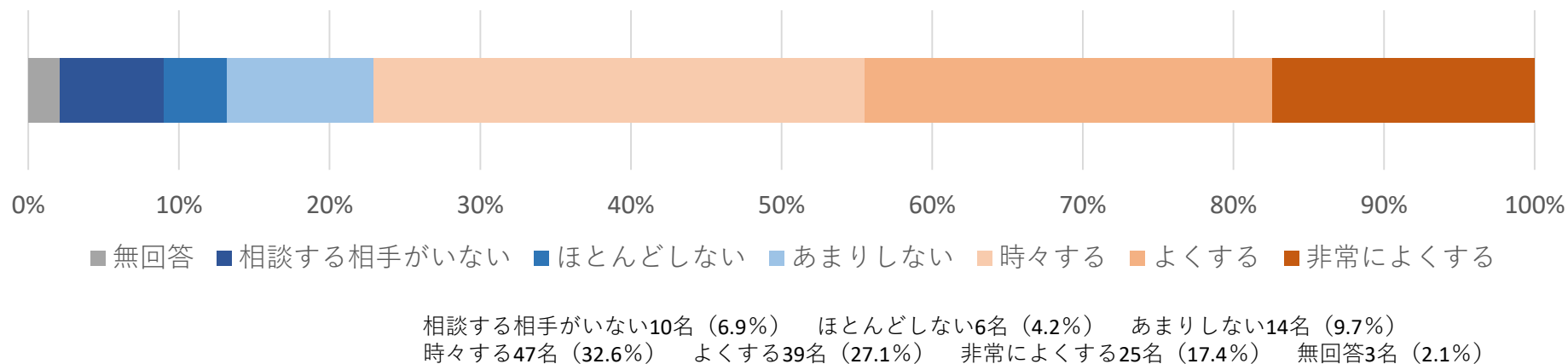


相談する相手がない1名 (0.7%)    ほとんどしない19名 (13.2%)    あまりしない36名 (25.0%)  
時々する35名 (24.3%)    よくする32名 (22.2%)    非常によくする19名 (13.2%)    無回答2名 (1.4%)

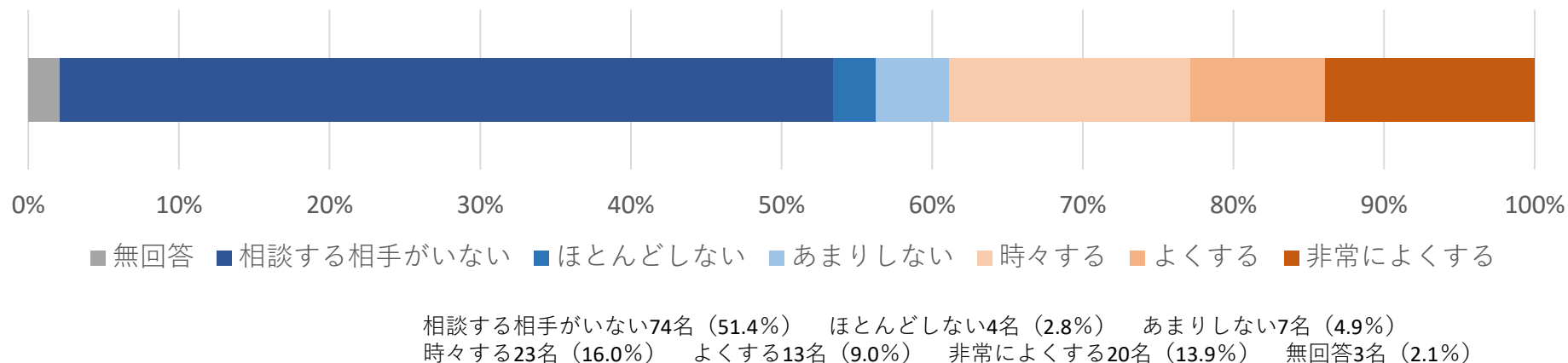
### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 自分の診療科の他の医師に他の方法をきく



6) 院内の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する

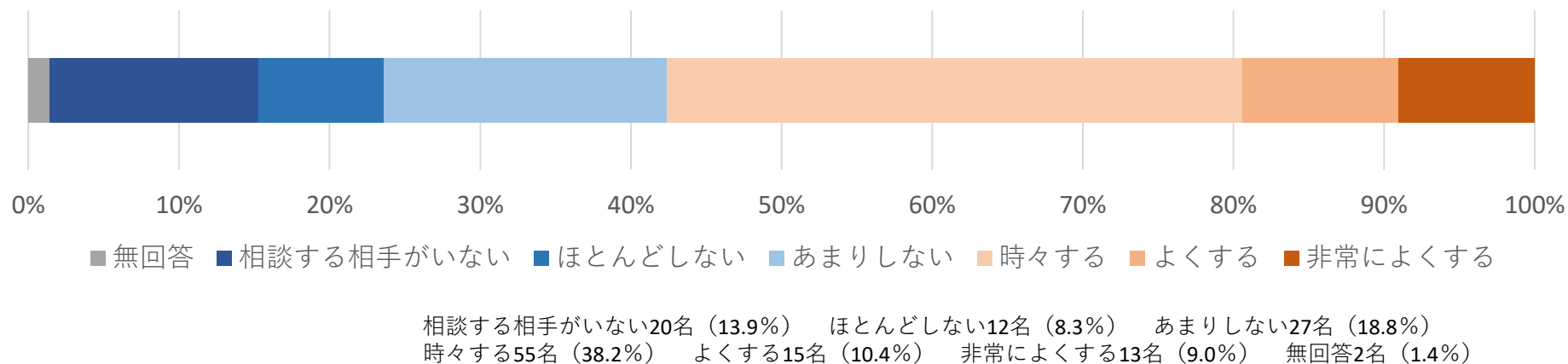




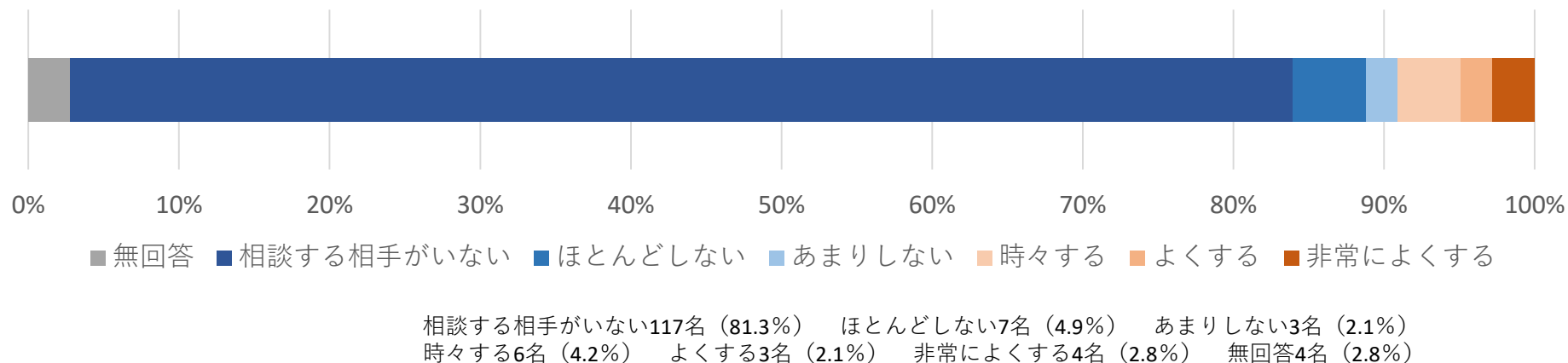
### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 7) 院外の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



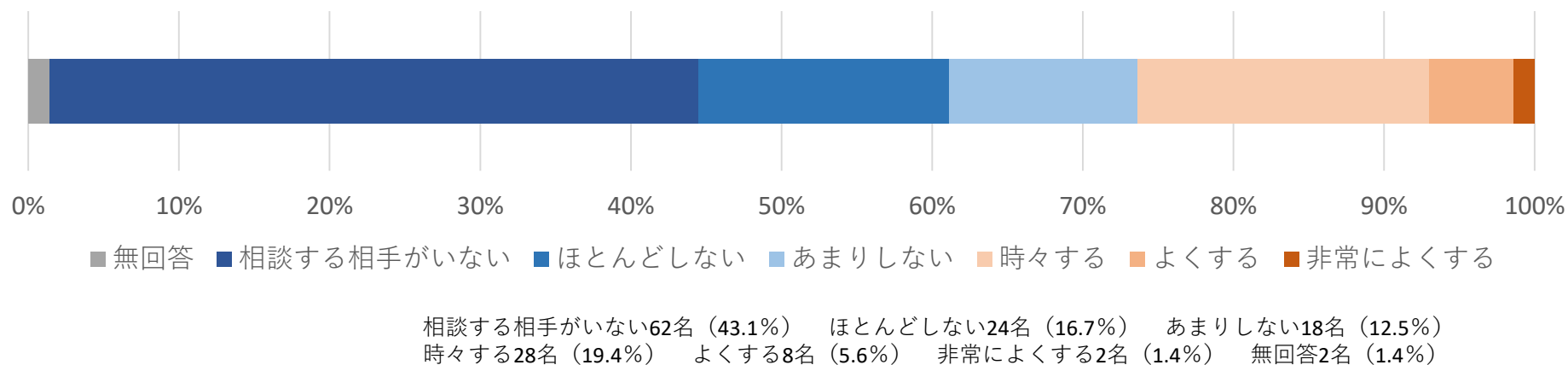
#### 8) 院内の放射線治療医に相談する



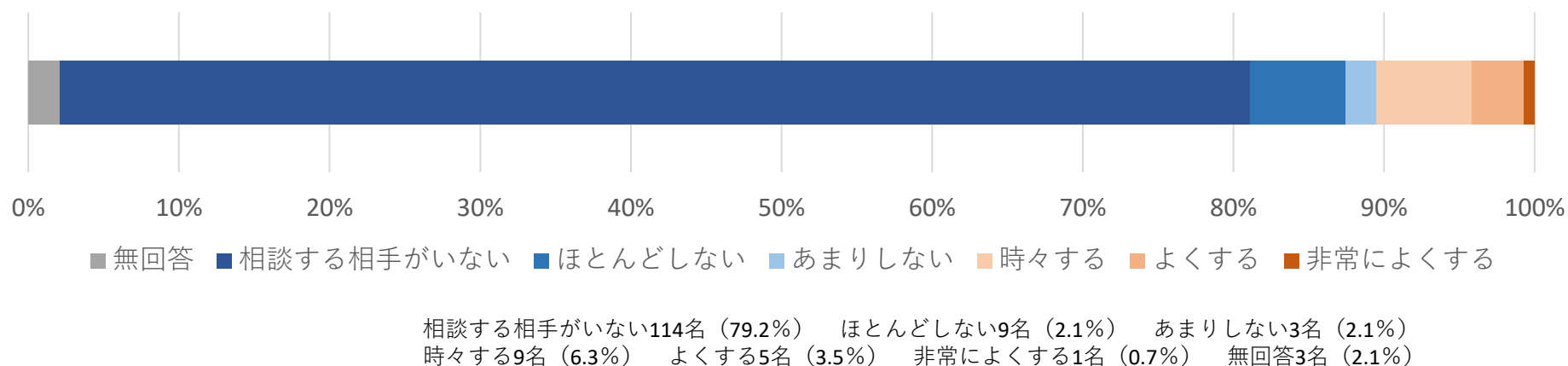
### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 9) 院外の放射線治療医に相談する



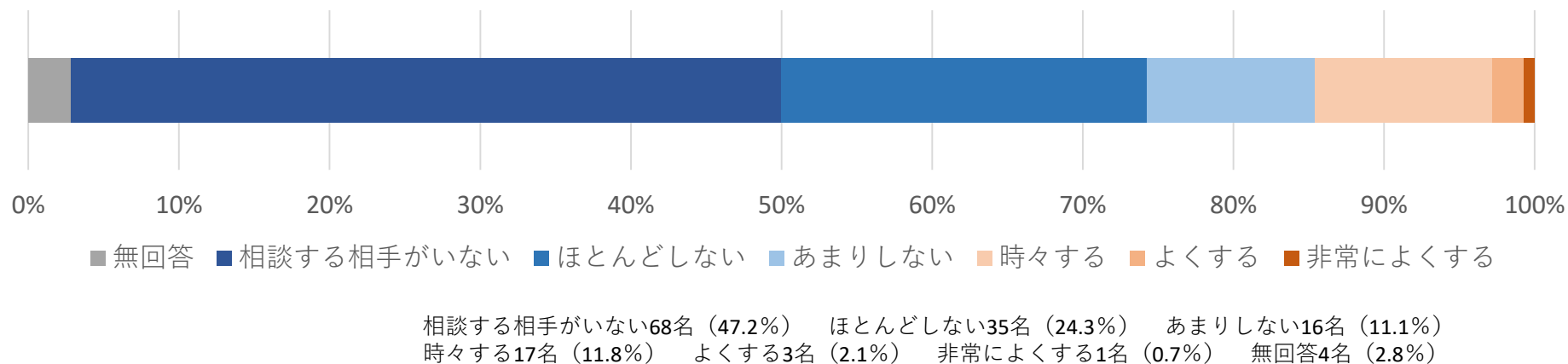
#### 10) 院内のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



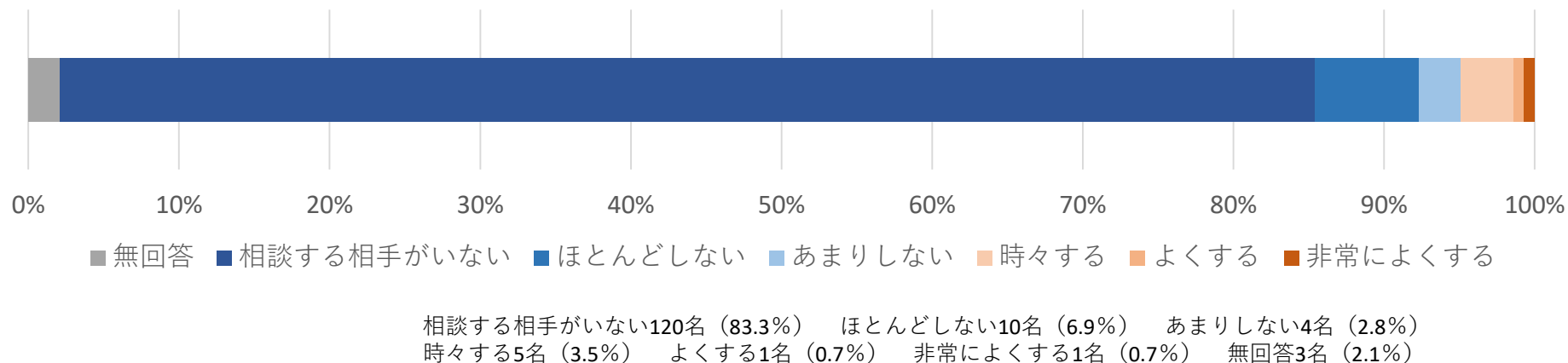
### Ⅲ がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 1) 院外のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



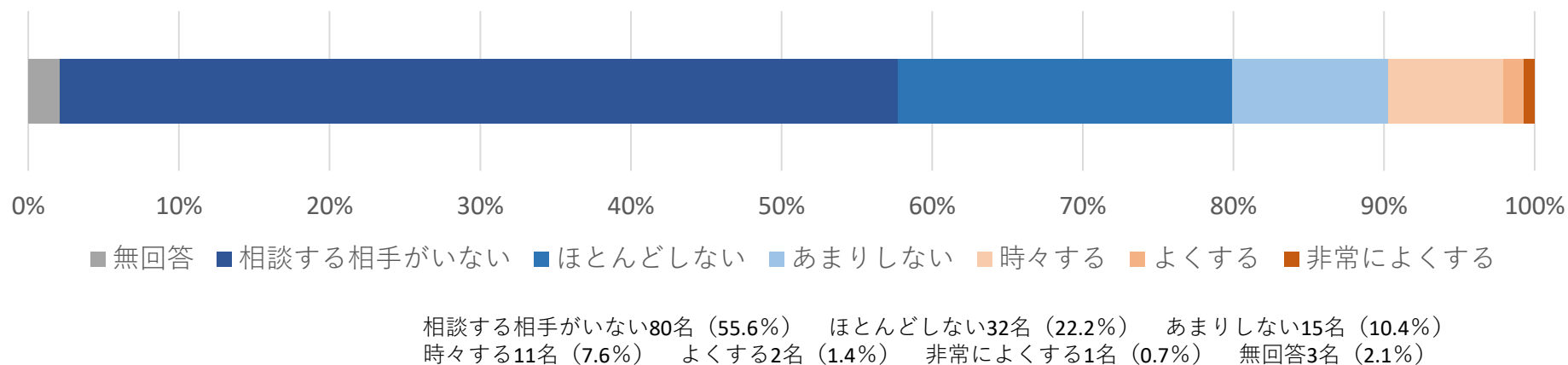
#### 1 2) 院内の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



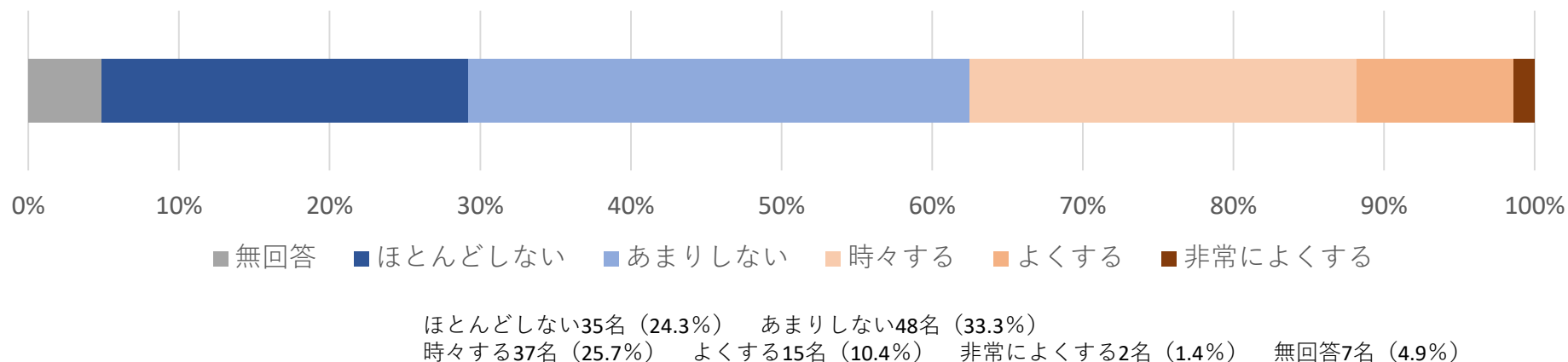
### Ⅲ がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 3) 院外の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



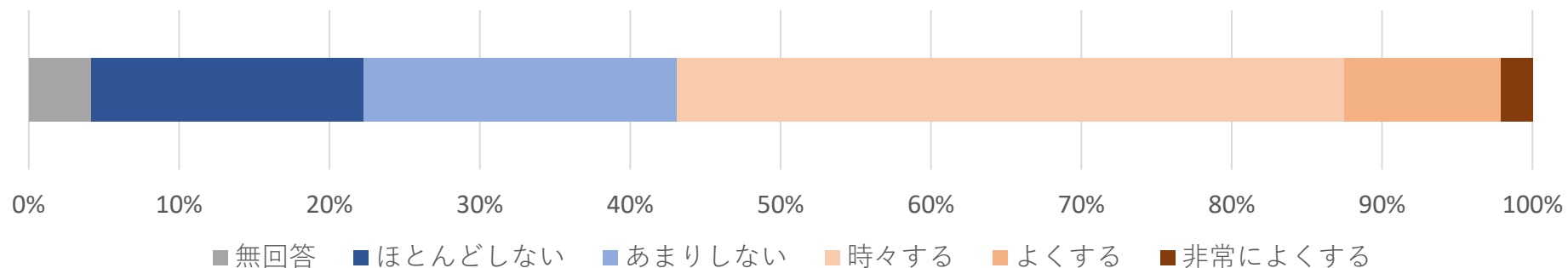
#### 1 4) 痛みをこれ以上和らげることが難しいことを患者に説明する



### III がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 5) せん妄や呼吸困難は伴わない患者で、治療抵抗性の痛みを緩和することを目的として鎮静薬を投与する



ほとんどしない26名 (18.1%)    あまりしない30名 (20.8%)  
時々する64名 (44.4%)    よくする15名 (10.4%)    非常によくする3名 (2.1%)    無回答6名 (4.2%)

### Ⅲ がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

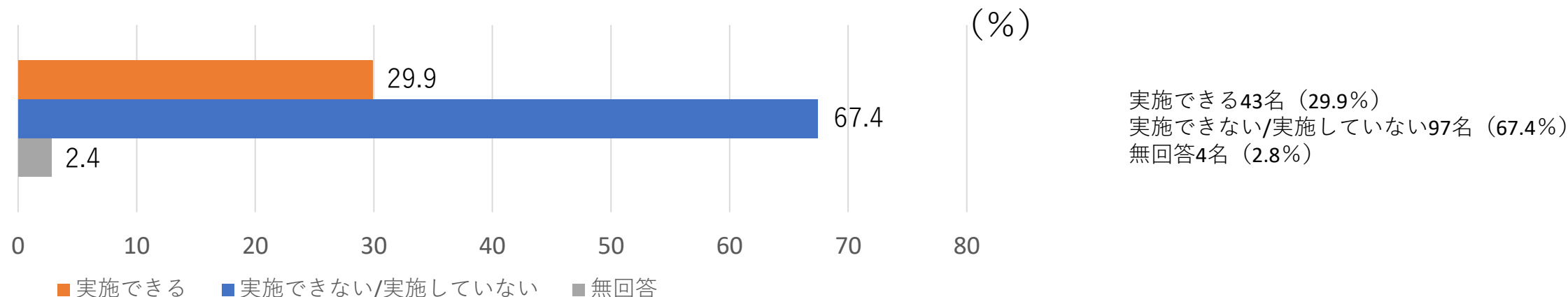
2. 上記以外に、がんの痛みが十分に緩和されない時に、あなたが取る対応があれば下記にご記入ください。

別記

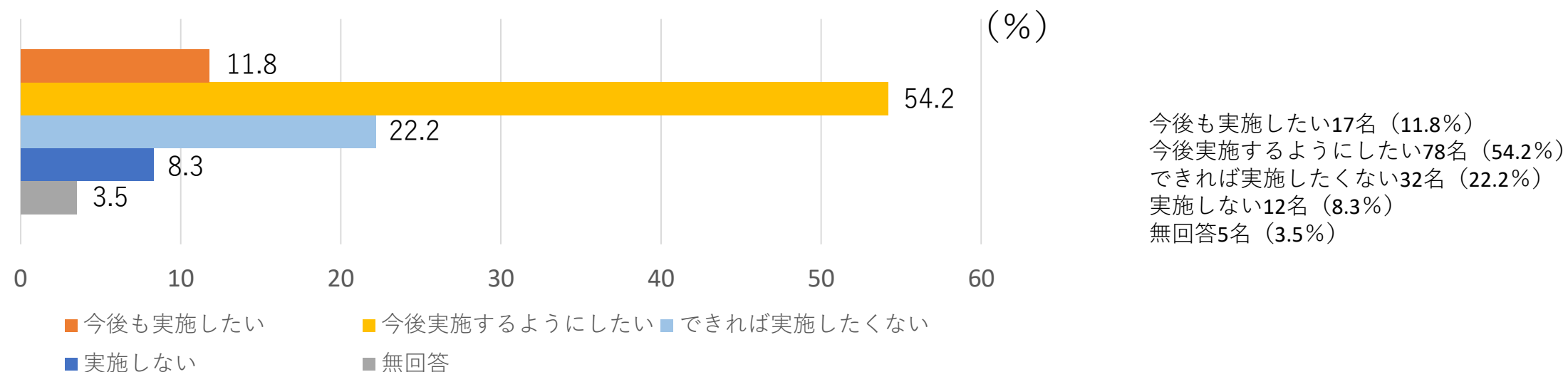
## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

a. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、現在実施できますか。



b. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、今後、実施するつもりですか。

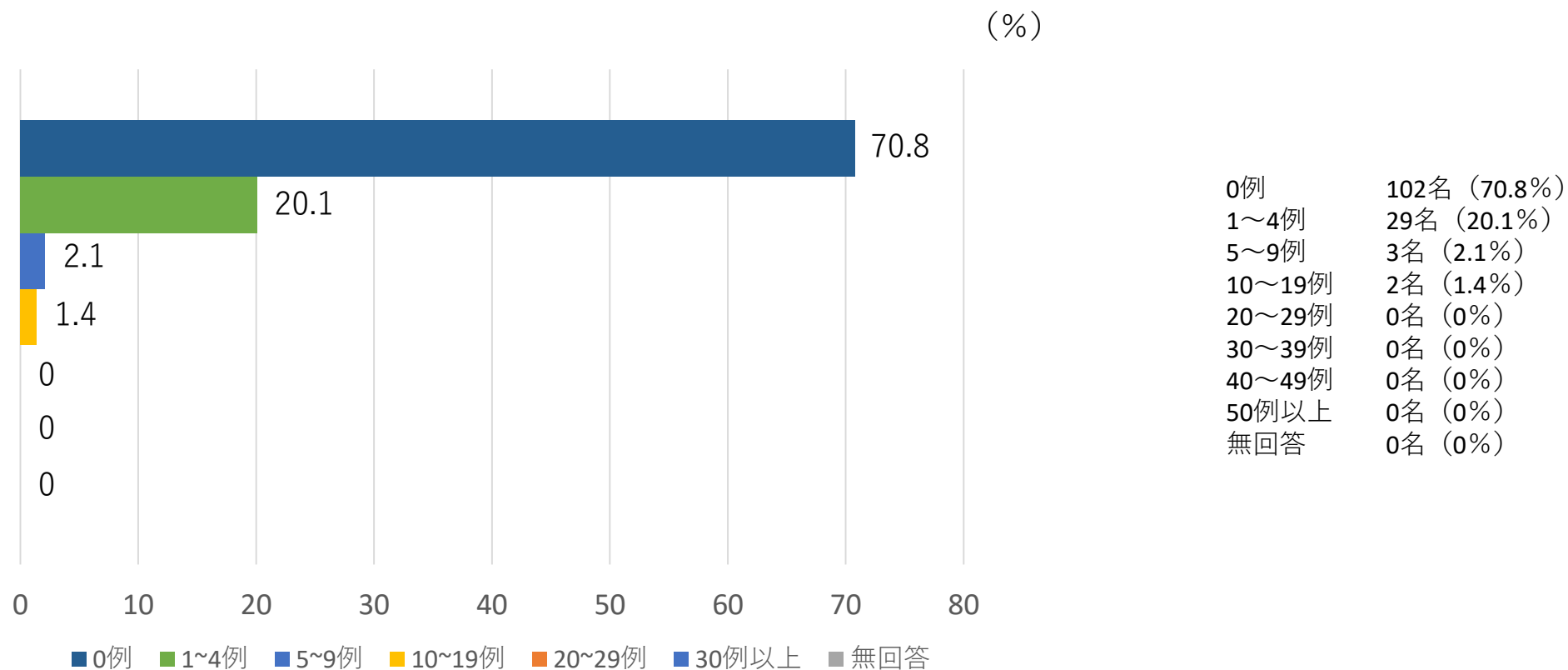


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

平均+標準偏差：0.65±1.61  
中央値（4分範囲）：0（0-0.75）



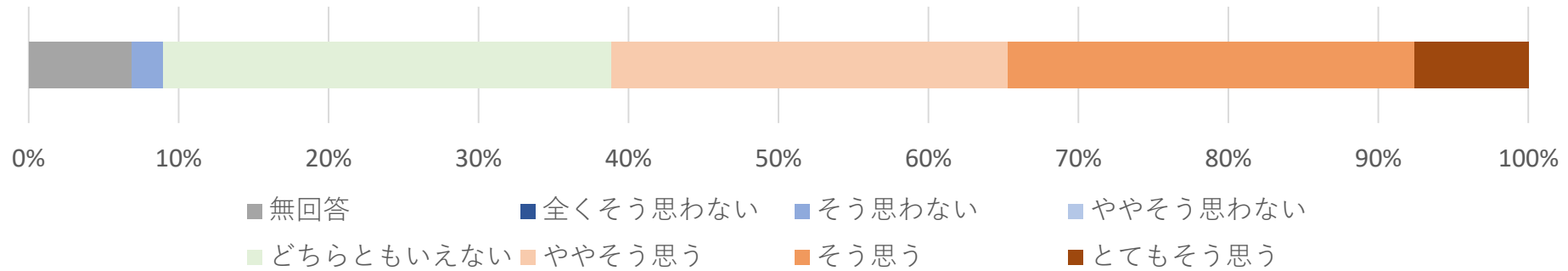


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

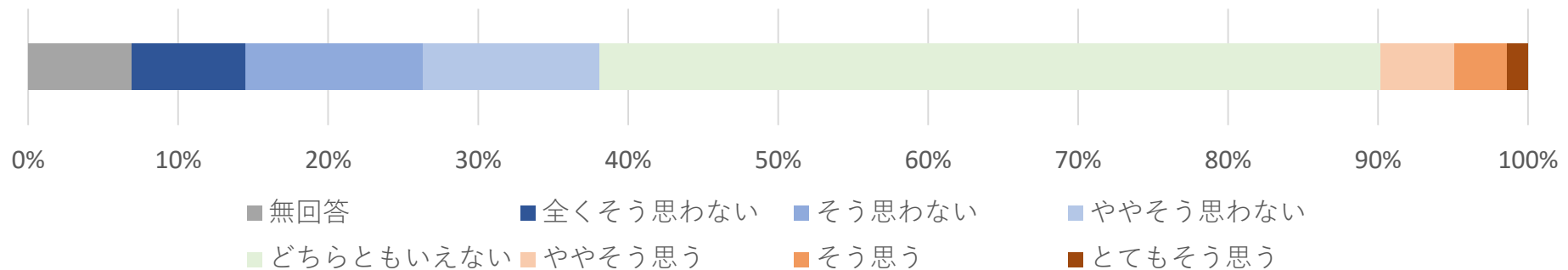
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1) 有効な方法である



全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない3名 (2.1%)    ややそう思わない0名 (0%)    どちらともいえない43名 (29.9%)  
ややそう思う38名 (26.4%)    そう思う39名 (27.1%)    とてもそう思う11名 (7.6%)    無回答10名 (6.9%)

#### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている



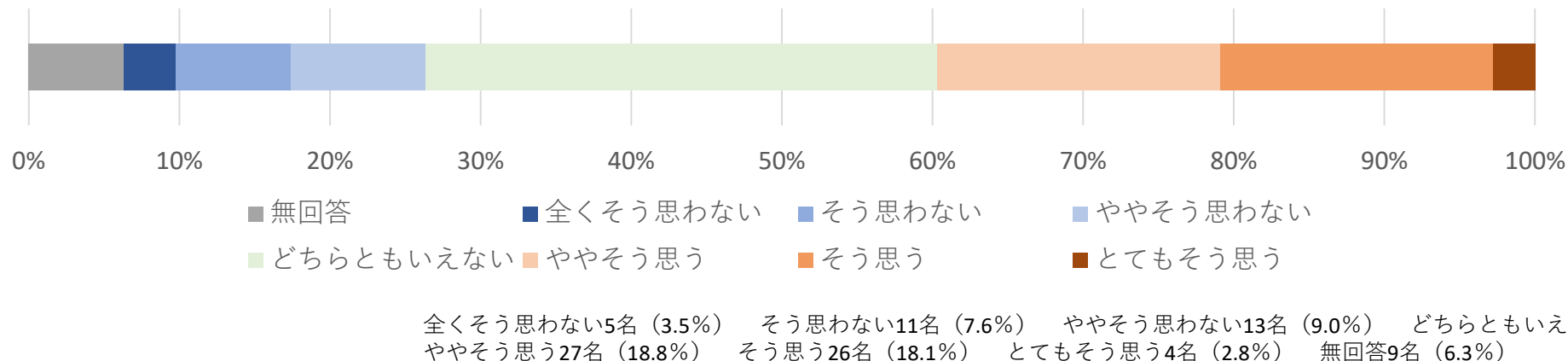
全くそう思わない11名 (7.6%)    そう思わない17名 (11.8%)    ややそう思わない17名 (11.8%)    どちらともいえない75名 (52.1%)  
ややそう思う7名 (4.9%)    そう思う5名 (3.5%)    とてもそう思う2名 (1.4%)    無回答10名 (6.9%)

## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

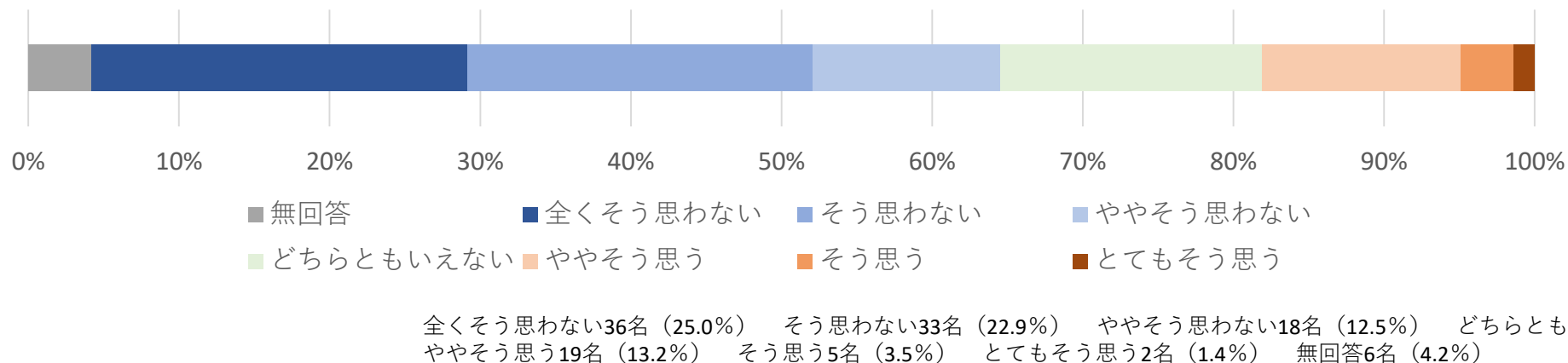
### 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため処方する必要がない



#### 4) 処方するために十分なトレーニングを受けている

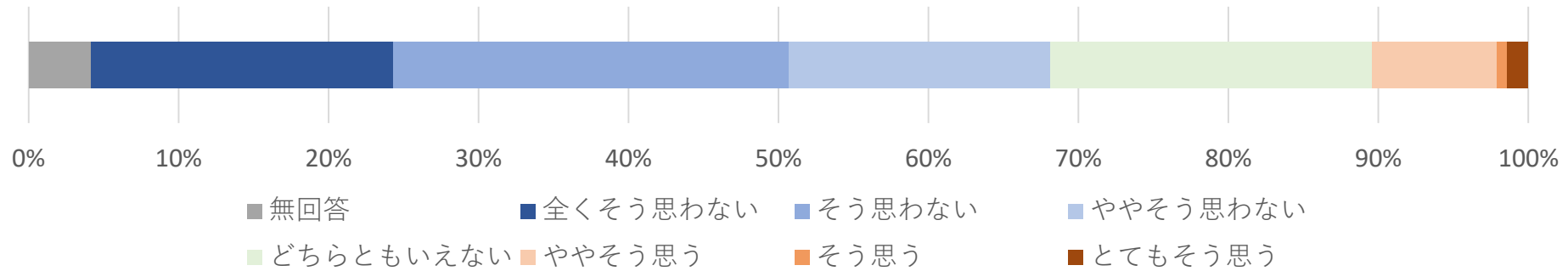


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

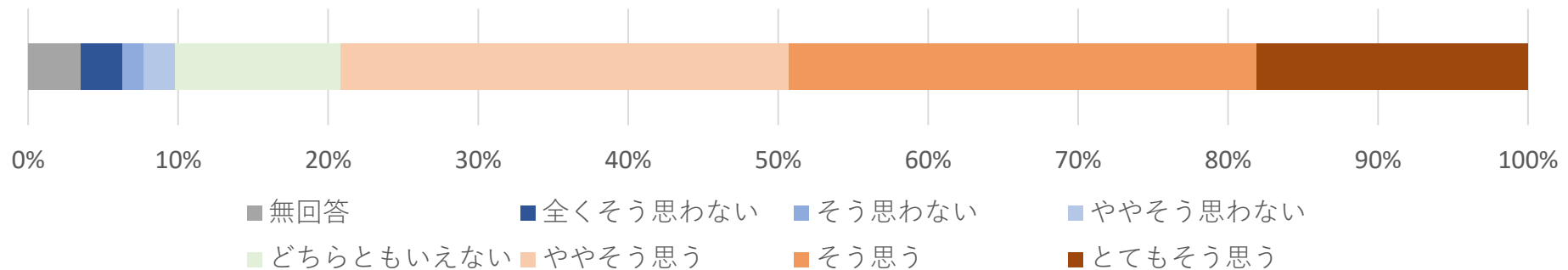
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



全くそう思わない29名 (20.1%) そう思わない38名 (26.4%) ややそう思わない25名 (17.4%) どちらともいえない31名 (21.5%)  
ややそう思う12名 (8.3%) そう思う1名 (0.7%) とてもそう思う2名 (1.4%) 無回答6名 (4.2%)

#### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい



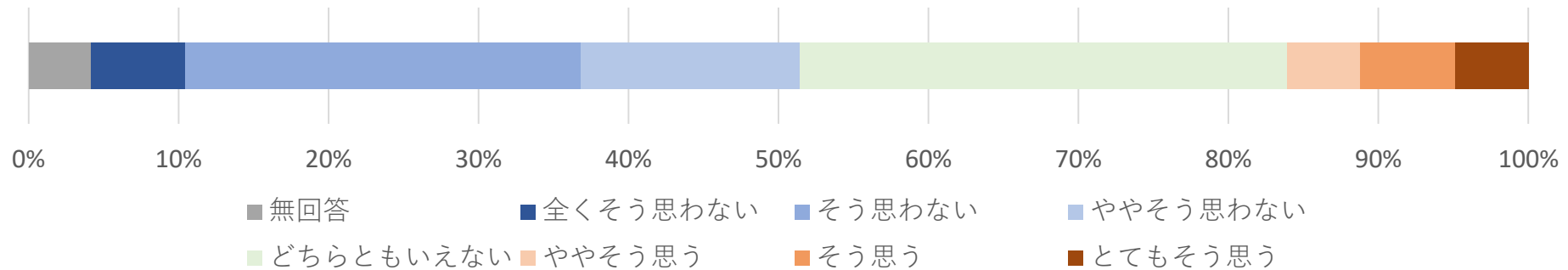
全くそう思わない4名 (2.8%) そう思わない2名 (1.4%) ややそう思わない3名 (2.1%) どちらともいえない16名 (11.1%)  
ややそう思う43名 (29.9%) そう思う45名 (31.3%) とてもそう思う26名 (18.1%) 無回答5名 (3.5%)

## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

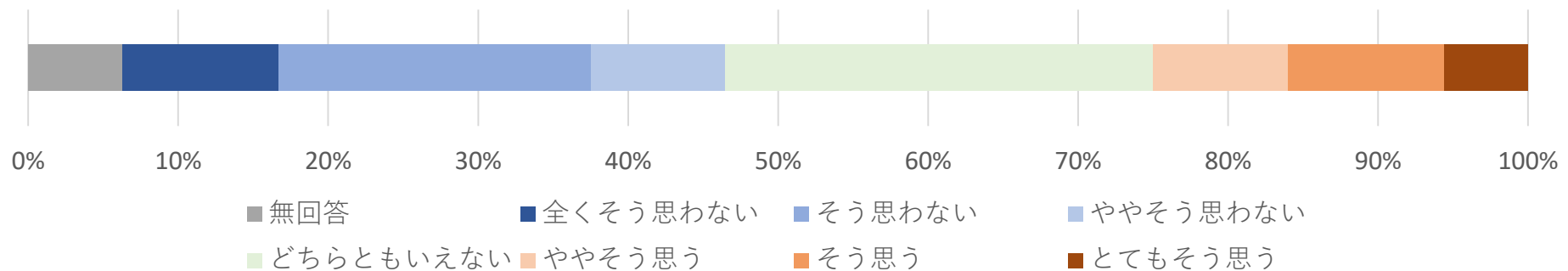
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 7) 時間がないため処方が必要な患者を診療することが難しい



全くそう思わない9名 (6.3%) そう思わない38名 (26.4%) ややそう思わない21名 (14.6%) どちらともいえない47名 (32.6%)  
ややそう思う7名 (4.9%) そう思う9名 (6.3%) とてもそう思う7名 (4.9%) 無回答6名 (4.2%)

#### 8) 処方にあたって他科とのやりとりが難しい



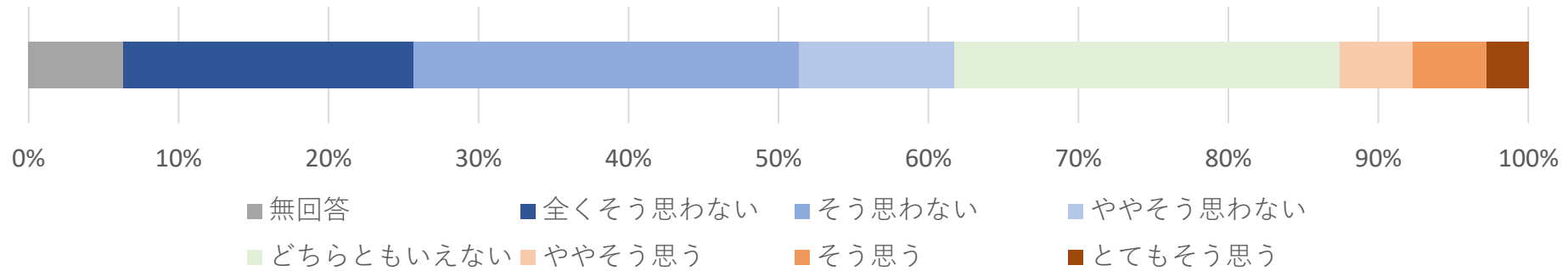
全くそう思わない15名 (10.4%) そう思わない30名 (20.8%) ややそう思わない13名 (9.0%) どちらともいえない41名 (28.5%)  
ややそう思う13名 (9.0%) そう思う15名 (10.4%) とてもそう思う8名 (5.8%) 無回答9名 (6.3%)

## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

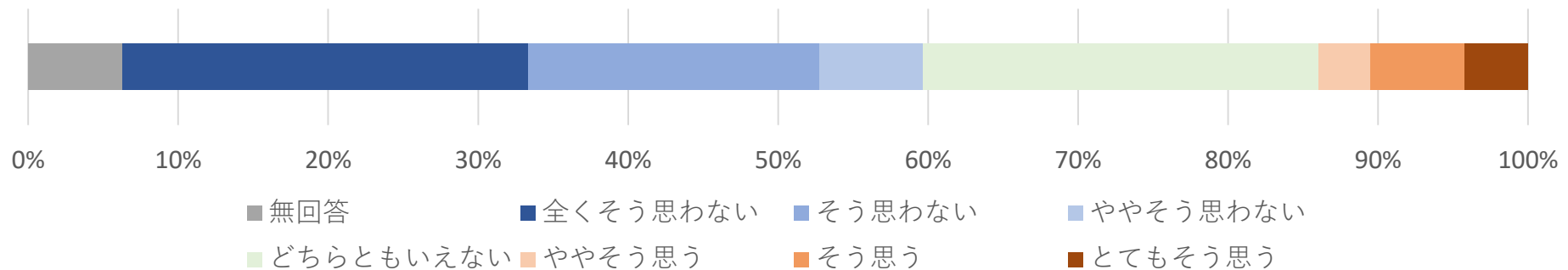
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 9) 自科の医療者間で処方への合意が得られない



全くそう思わない28名 (19.4%) そう思わない37名 (25.7%) ややそう思わない15名 (10.4%) どちらともいえない37名 (25.7%)  
ややそう思う7名 (4.9%) そう思う7名 (4.9%) とてもそう思う4名 (2.8%) 無回答9名 (6.3%)

#### 10) 自施設での導入が容認されない



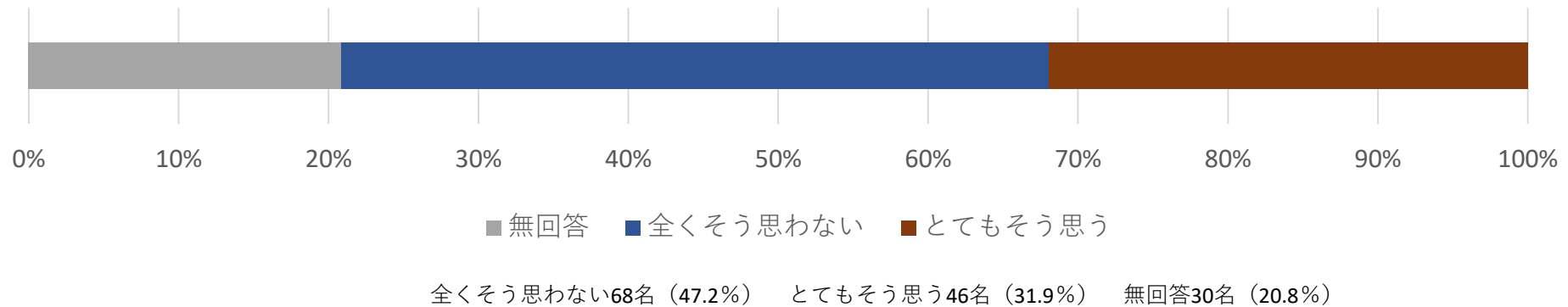
全くそう思わない39名 (27.1%) そう思わない28名 (19.4%) ややそう思わない10名 (6.9%) どちらともいえない38名 (26.4%)  
ややそう思う5名 (3.5%) そう思う9名 (6.3%) とてもそう思う6名 (4.2%) 無回答9名 (6.3%)

## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

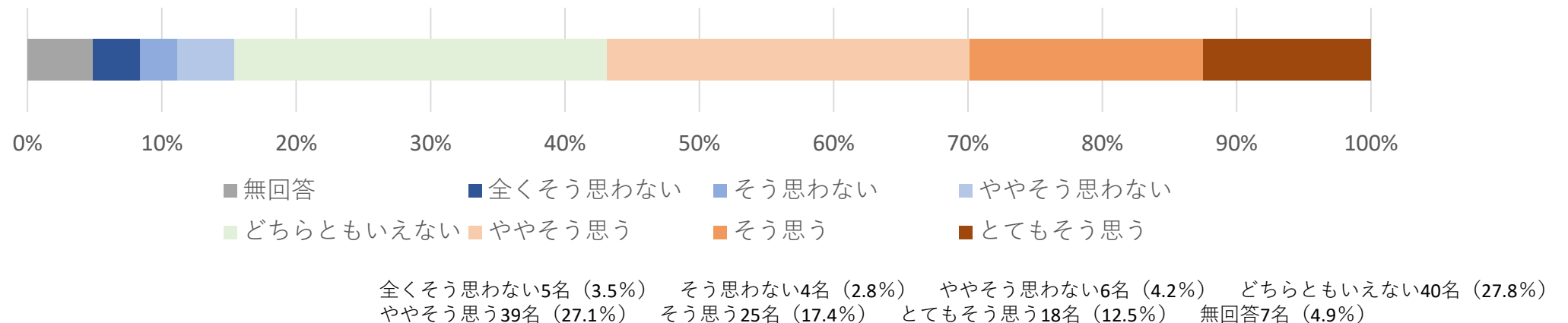
### 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



#### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

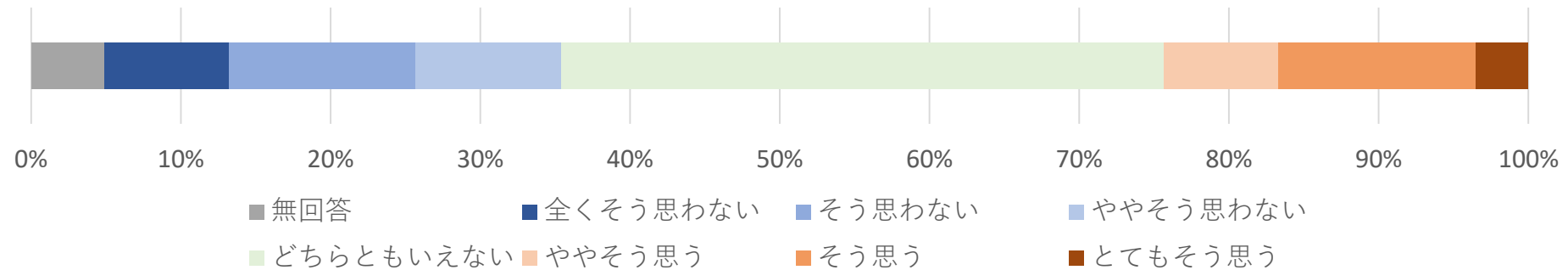


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

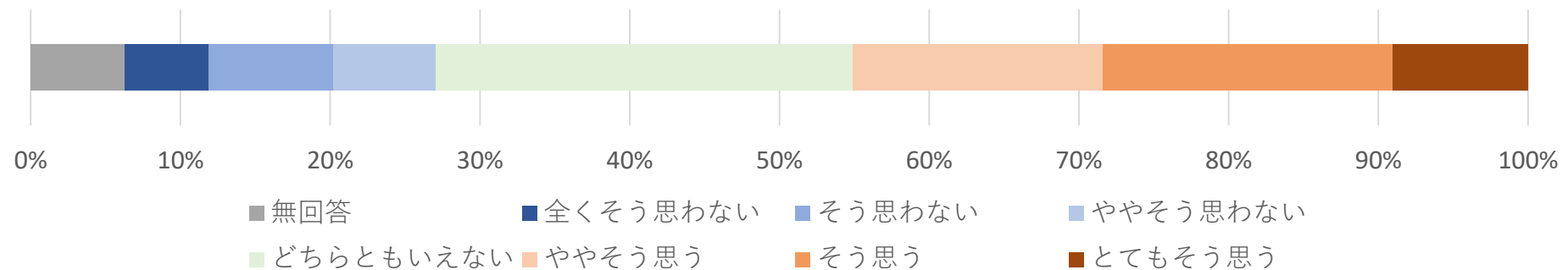
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 3) 処方する施設の集約化を地域ですすめるべきである



全くそう思わない12名 (8.3%) そう思わない18名 (12.5%) ややそう思わない14名 (9.7%) どちらともいえない58名 (40.3%)  
ややそう思う11名 (7.6%) そう思う19名 (13.2%) とてもそう思う5名 (3.5%) 無回答7名 (4.9%)

#### 1 4) 処方した場合、患者を紹介する施設が限られる



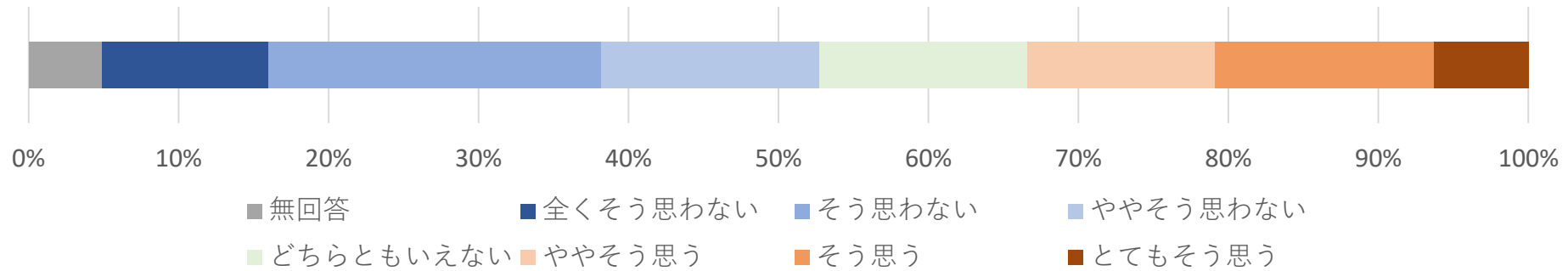
全くそう思わない8名 (5.6%) そう思わない12名 (8.3%) ややそう思わない10名 (6.9%) どちらともいえない40名 (27.8%)  
ややそう思う24名 (16.7%) そう思う28名 (16.7%) とてもそう思う13名 (9.0%) 無回答9名 (6.3%)

## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

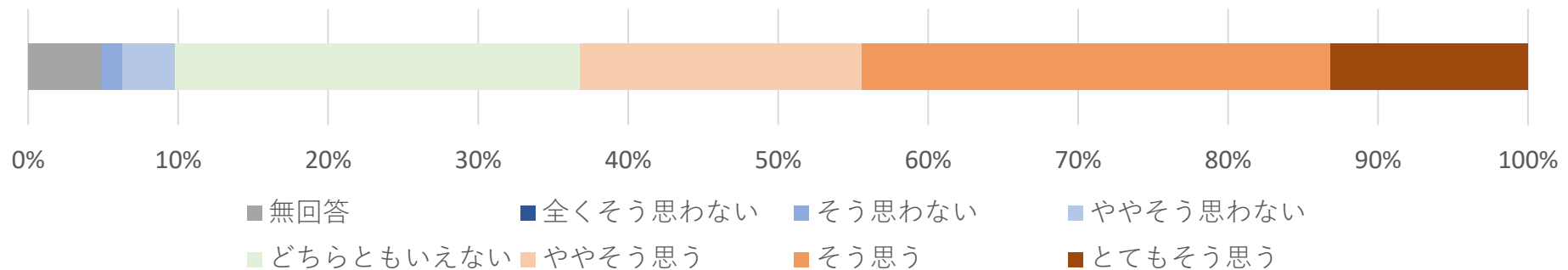
d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 5) Q T延長を確認するために定期的に心電図検査を行うことが難しい



全くそう思わない16名 (11.1%)    そう思わない32名 (22.2%)    ややそう思わない21名 (14.6%)    どちらともいえない20名 (13.9%)  
ややそう思う18名 (12.5%)    そう思う21名 (14.6%)    とてもそう思う9名 (6.3%)    無回答7名 (4.9%)

#### 1 6) 処方を行う前には鎮痛補助薬を積極的に処方すべきである



全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない2名 (1.4%)    ややそう思わない5名 (3.5%)    どちらともいえない39名 (27.1%)  
ややそう思う27名 (18.8%)    そう思う45名 (31.3%)    とてもそう思う19名 (13.2%)    無回答7名 (4.9%)

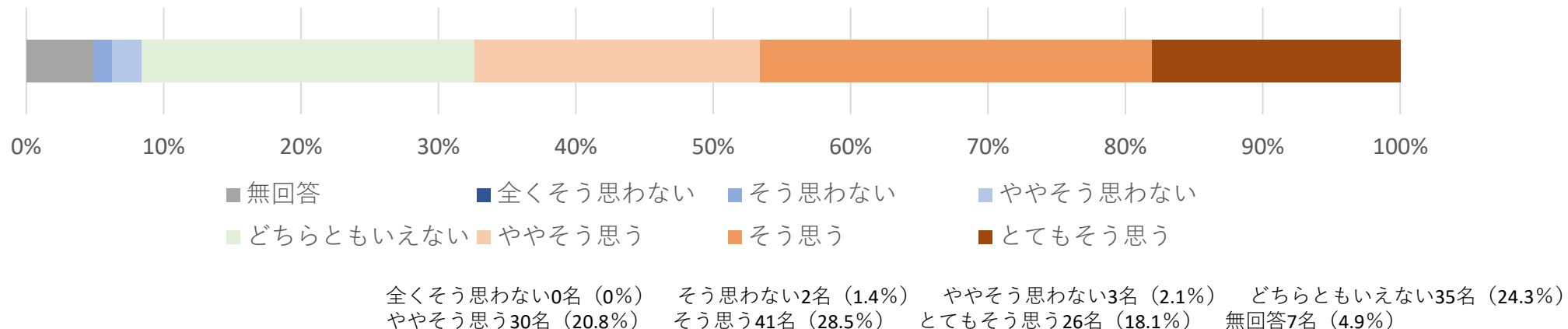


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

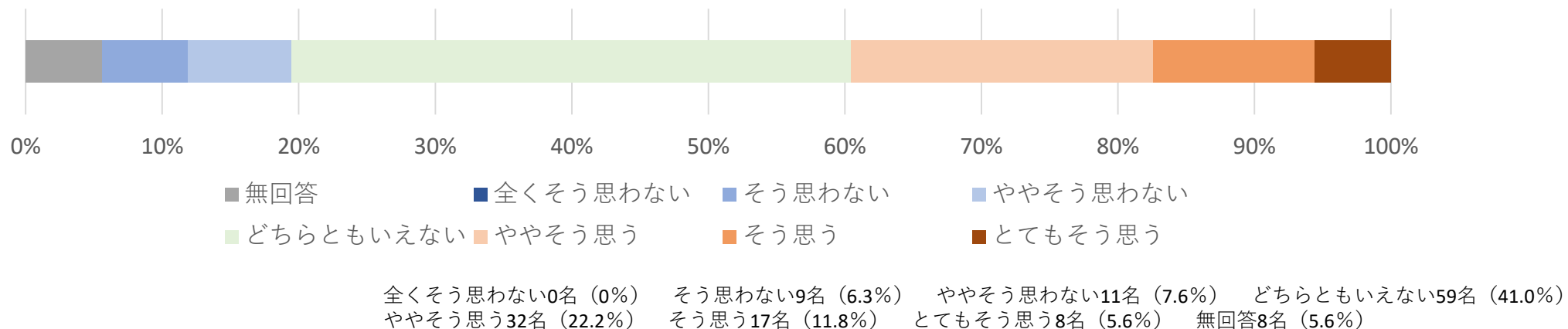
### 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 1 7) 処方を行う前にはメサドン以外でオピオイドスイッチングを行うべきである



#### 1 8) 個体差の大きい薬物動態を持つ薬物は避けるべきである

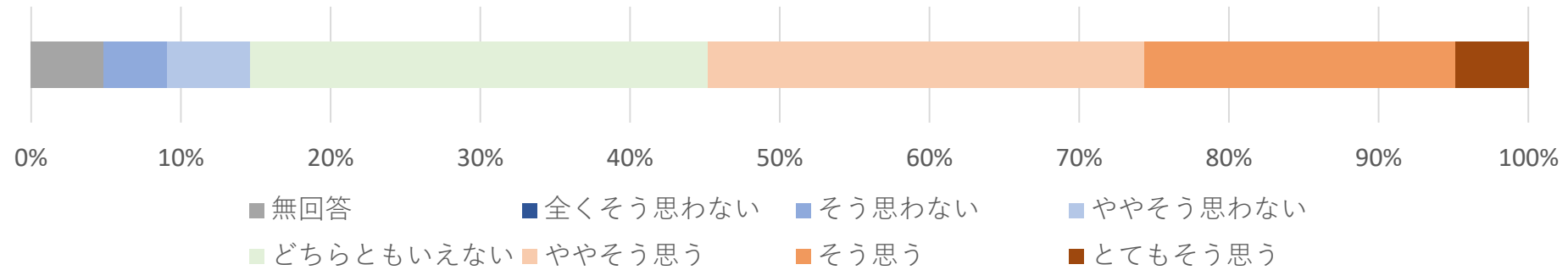


## IV がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

### 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

#### 19) 他の薬物との相互作用が多い薬物は避けるべきである

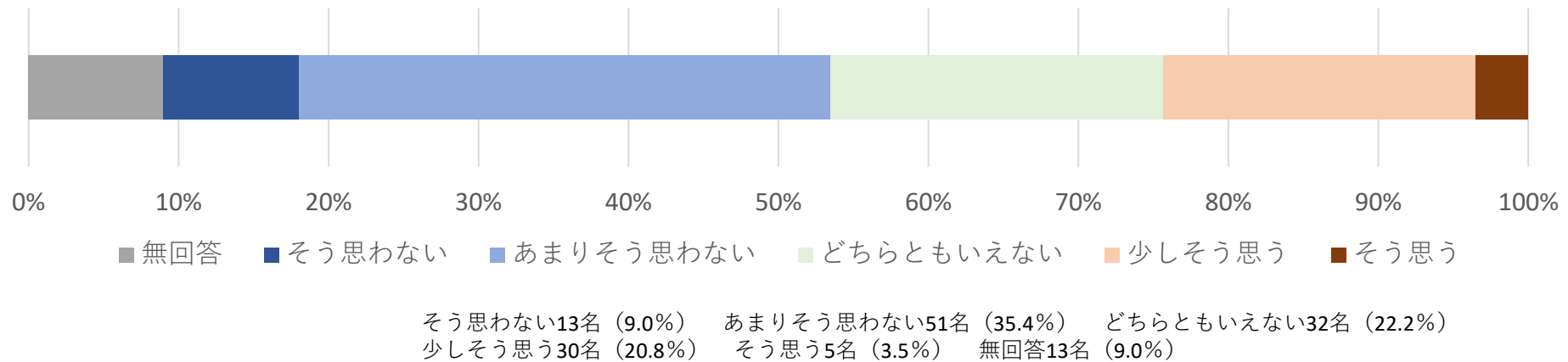


全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない6名 (4.2%)    ややそう思わない8名 (5.6%)    どちらともいえない44名 (30.6%)  
ややそう思う42名 (29.2%)    そう思う30名 (20.8%)    とてもそう思う7名 (4.9%)    無回答7名 (4.9%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

1. がんの痛みの治療の現状について、当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

痛みについては現状で対応できており、これ以上の改善策は必要ない

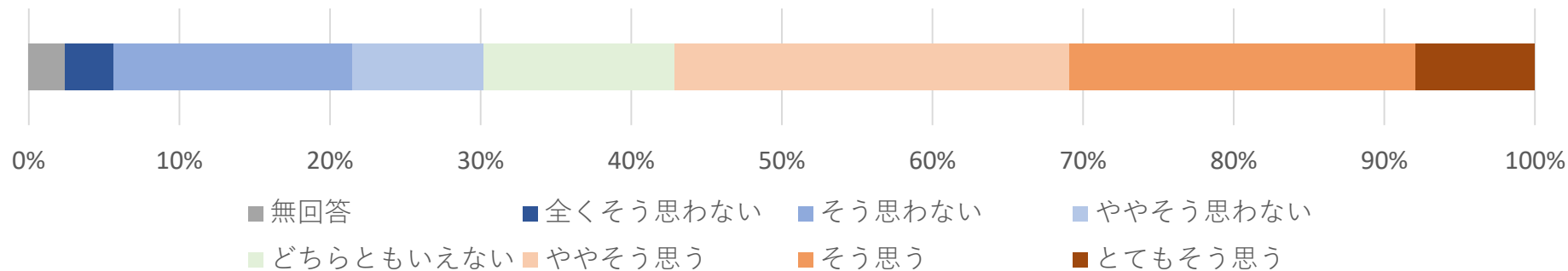


「そう思う」と回答した方は、以降のVの設問には回答せず、設問VIに進む

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

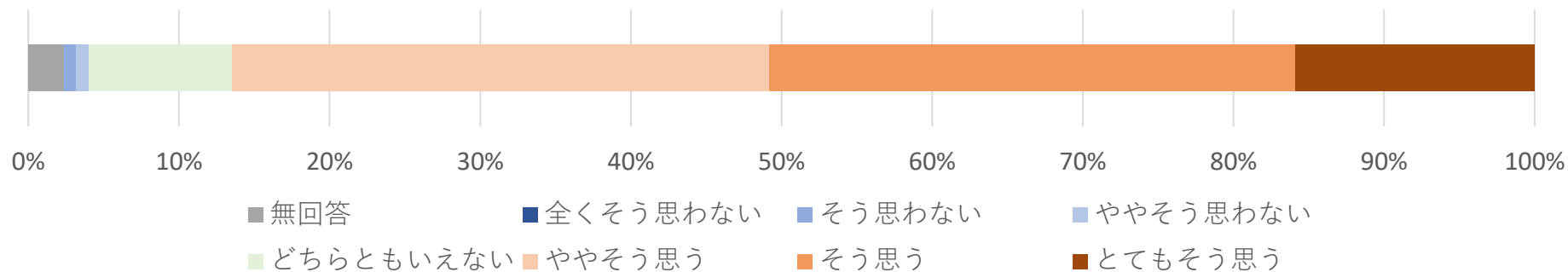
2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1) 痛みがとり切れない時に、専門的な疼痛治療について専門家にコンサルテーションを受けることができる



全くそう思わない4名 (3.2%)    そう思わない20名 (15.9%)    ややそう思わない11名 (8.7%)    どちらともいえない16名 (12.7%)  
ややそう思う33名 (26.2%)    そう思う29名 (23.0%)    とてもそう思う10名 (7.9%)    無回答3名 (2.4%)

2) 痛みがとり切れない時には、患者に専門的な疼痛治療をもっと実施できるようにする必要がある

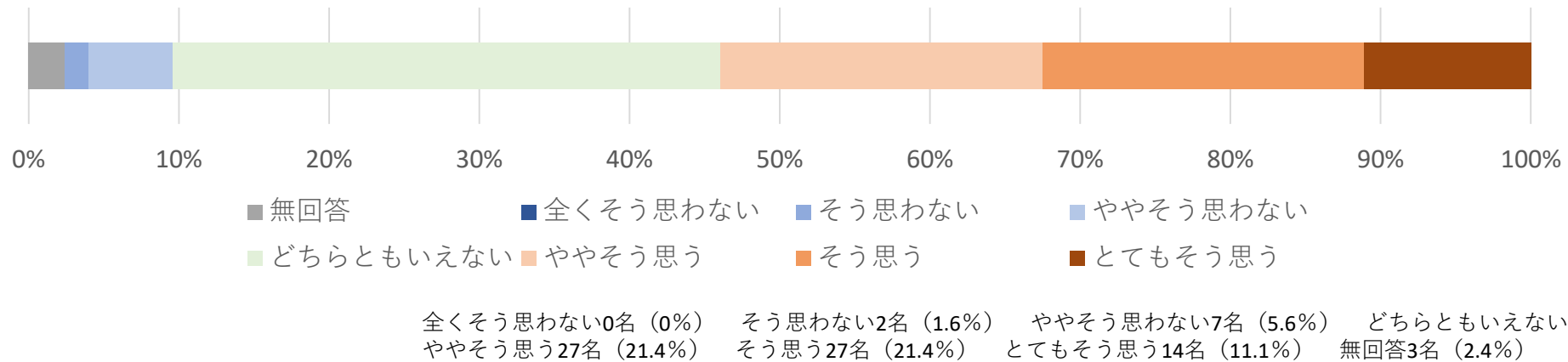


全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない1名 (0.8%)    ややそう思わない1名 (0.8%)    どちらともいえない12名 (9.5%)  
ややそう思う45名 (35.7%)    そう思う44名 (34.9%)    とてもそう思う20名 (15.9%)    無回答3名 (2.4%)

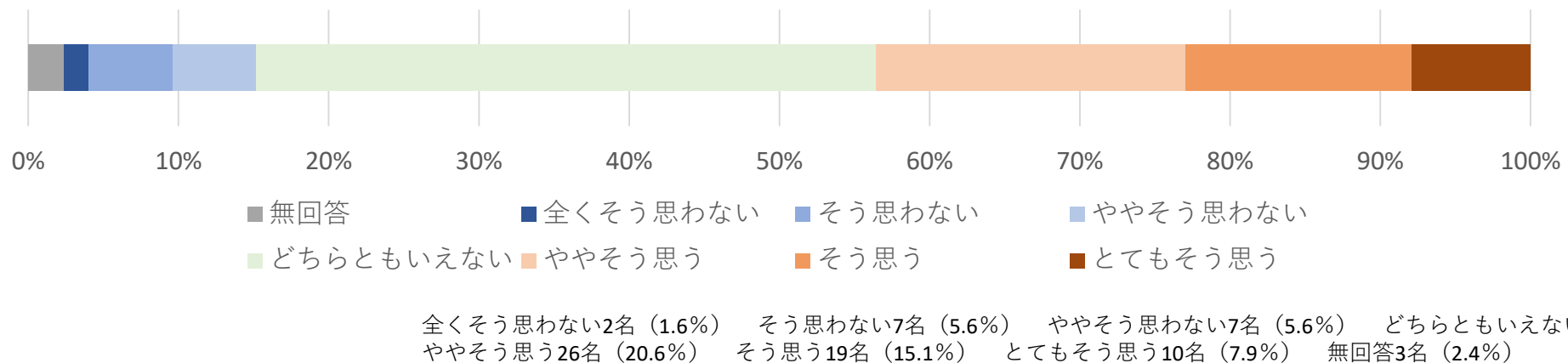
## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっと診療するべきである



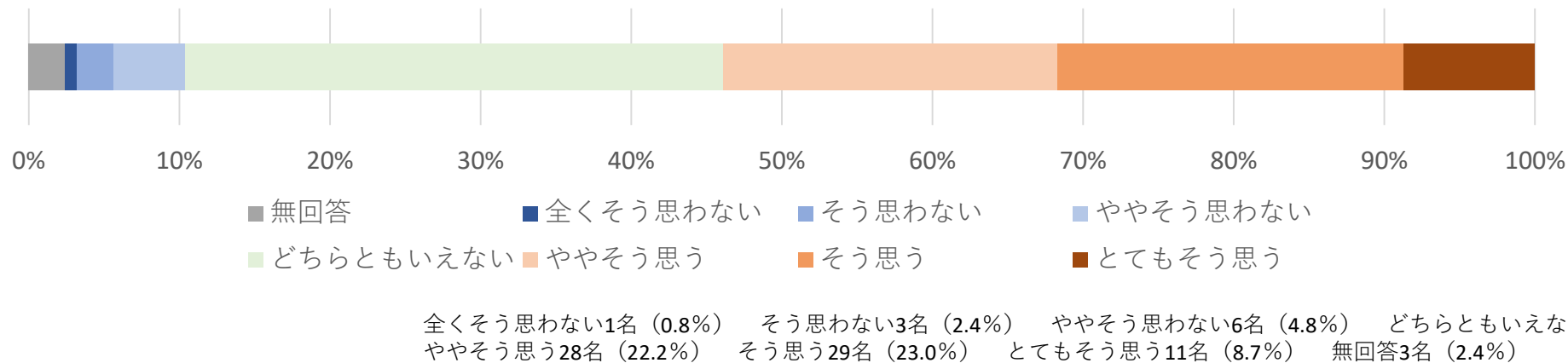
4) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっとトリアージするべきである



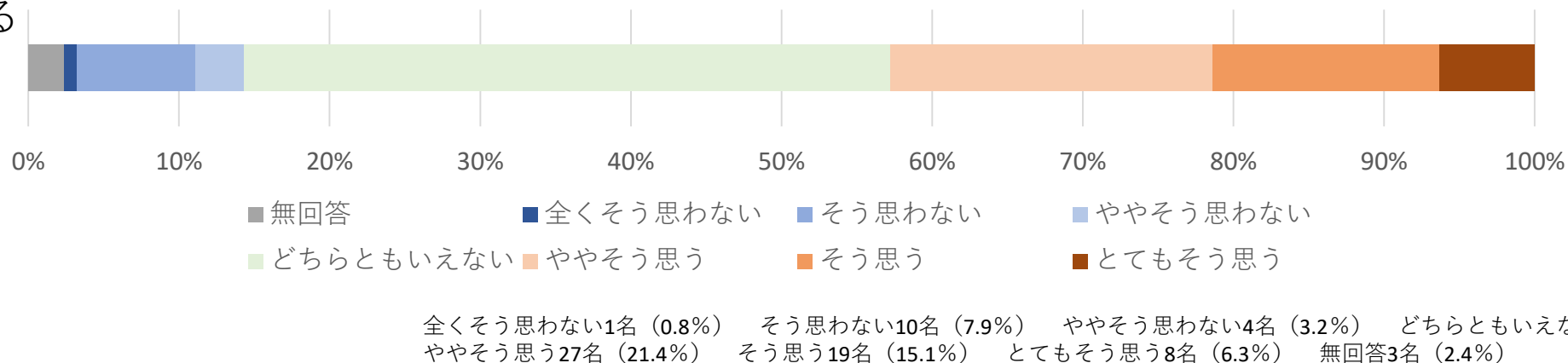
## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、専門的な知識や技術をもっと持つべきである



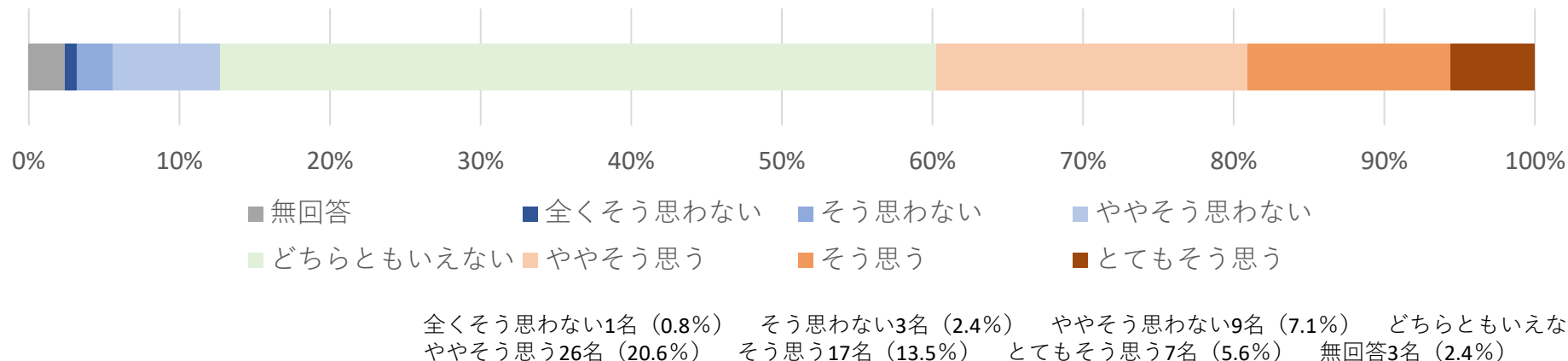
6) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、がん治療ががんの痛みにも有効であることをもっと知るべきである



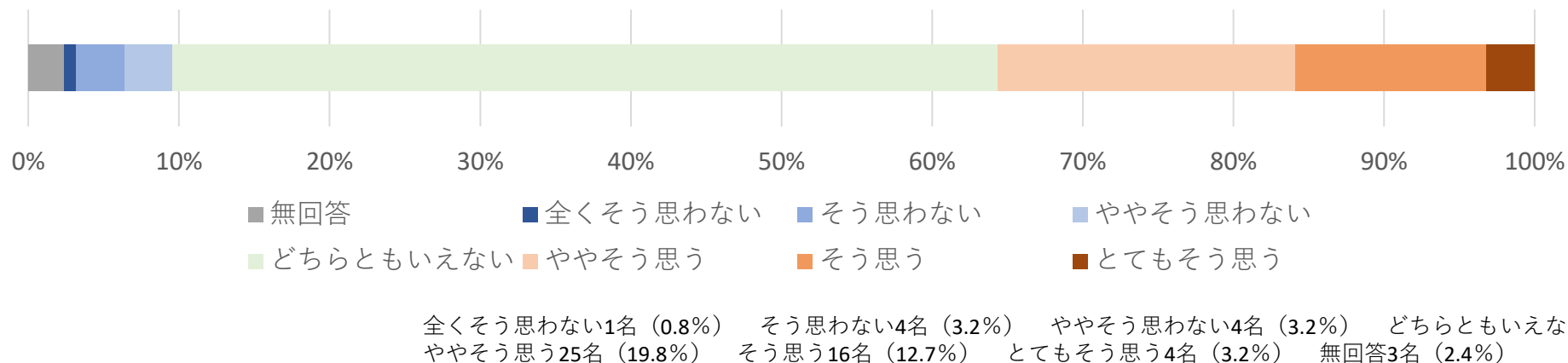
## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) ペインクリニック・麻酔科の医師は、神経ブロックやくも膜下鎮痛をもっと実施するべきである



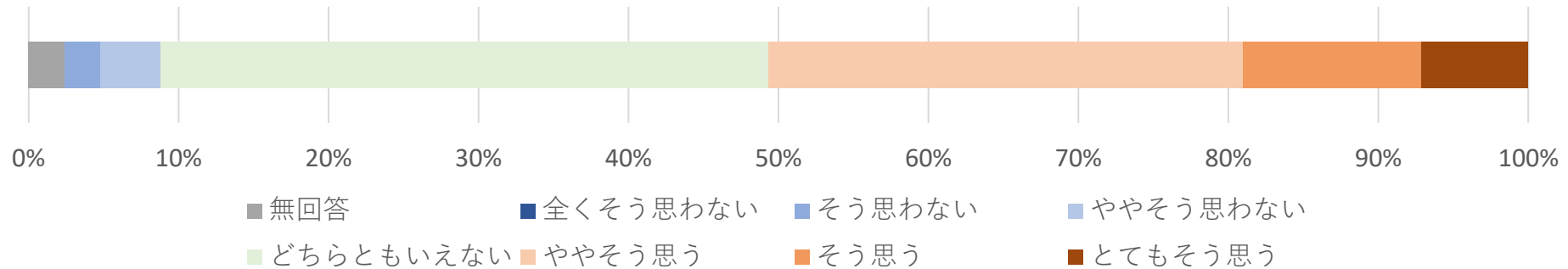
8) I V R 医は、鎮痛を目的とした I V R 処置をもっと実施するべきである



## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

9) 放射線治療医は、鎮痛を目的とした放射線治療をもっと実施するべきである



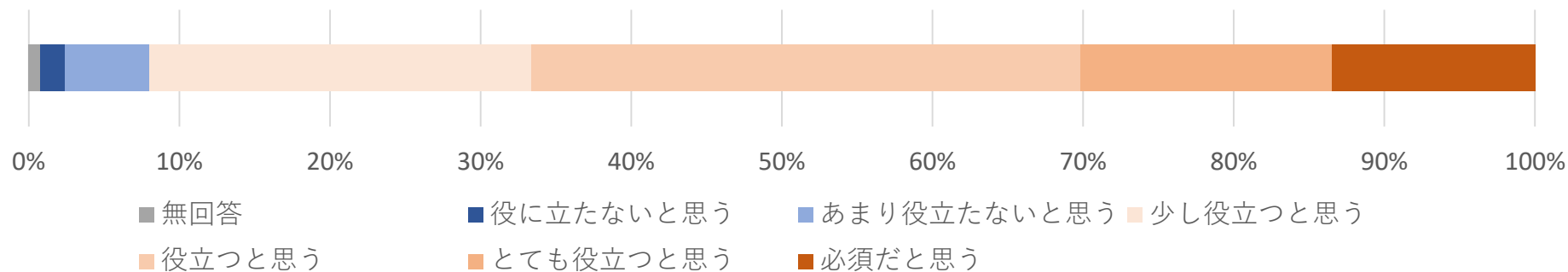
全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない3名 (2.4%)    ややそう思わない5名 (4.0%)    どちらともいえない51名 (40.5%)  
ややそう思う40名 (31.7%)    そう思う15名 (11.9%)    とてもそう思う9名 (7.1%)    無回答3名 (2.4%)



## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

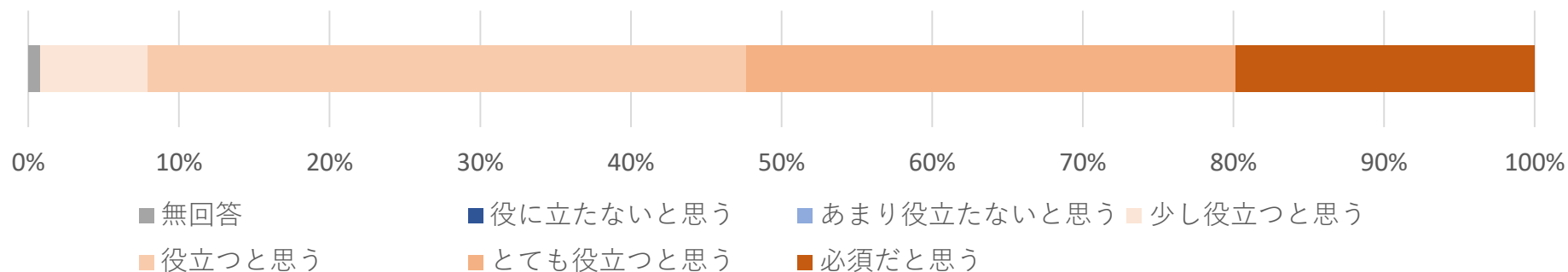
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 医師の仕事（担当患者数や委員会業務など）を適正な量に減らす



役に立たないと思う2名 (1.6%) あまり役に立たないと思う7名 (5.6%)  
少し役に立つと思う32名 (25.4%) 役立つと思う46名 (36.5%) とても役立つと思う21名 (16.7%) 必須だと思う17名 (13.5%) 無回答1名 (0.8%)

### 2) 医師以外のスタッフ（看護師や薬剤師など）が、痛みのアセスメントやフォローアップを行う

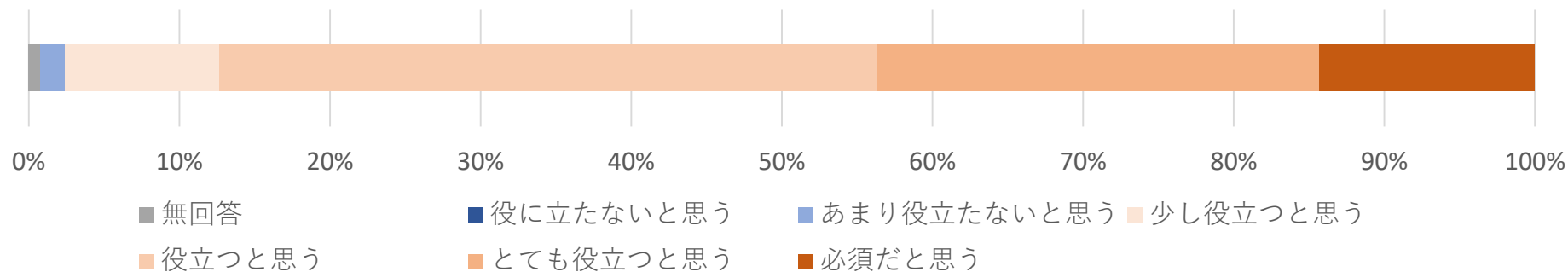


役に立たないと思う0名 (0%) あまり役に立たないと思う0名 (0%)  
少し役に立つと思う9名 (7.1%) 役立つと思う50名 (39.7%) とても役立つと思う41名 (32.5%) 必須だと思う25名 (19.8%) 無回答1名 (0.8%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

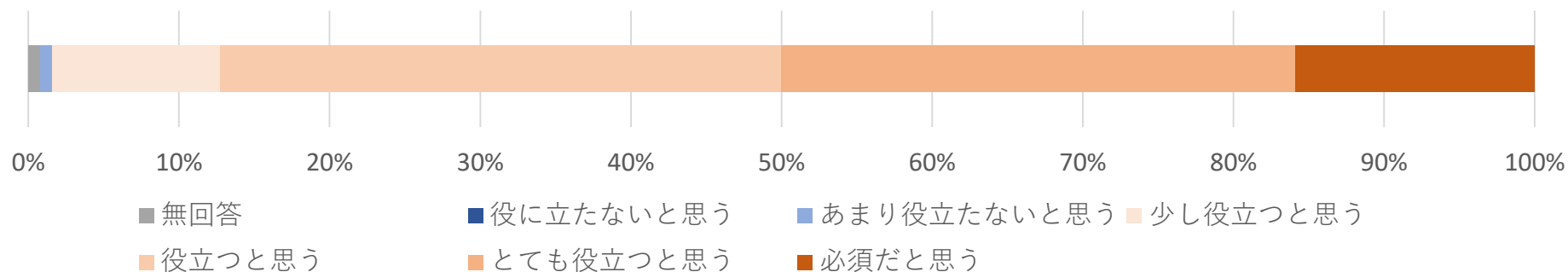
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) 放射線治療や神経ブロックなど薬物療法以外の方法が確実に実施できる



役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う2名 (1.6%)  
少し役に立つと思う13名 (10.3%)    役に立つと思う55名 (43.7%)    とても役に立つと思う37名 (29.4%)    必須だと思う18名 (14.3%)    無回答1名 (0.8%)

### 4) 今より気楽に専門家に相談することができる (ICT [情報通信技術] を用いた他施設との相談など)

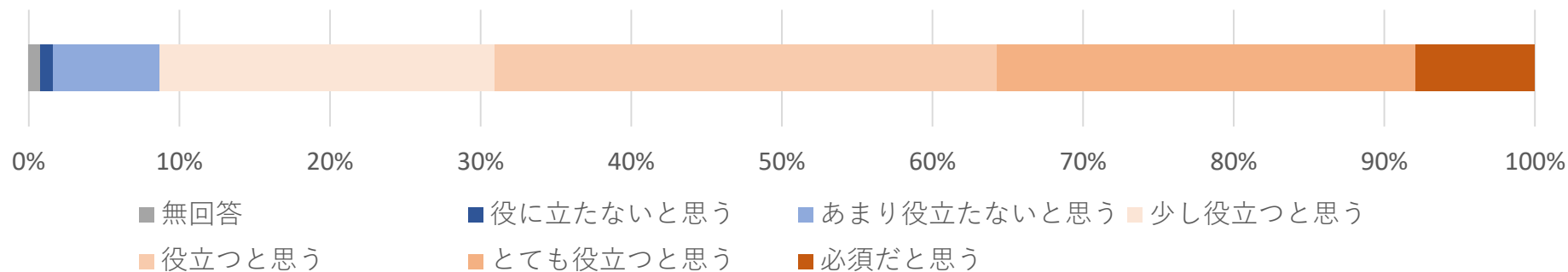


役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う1名 (0.8%)  
少し役に立つと思う14名 (11.1%)    役に立つと思う47名 (37.3%)    とても役に立つと思う43名 (34.1%)    必須だと思う20名 (15.9%)    無回答1名 (0.8%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

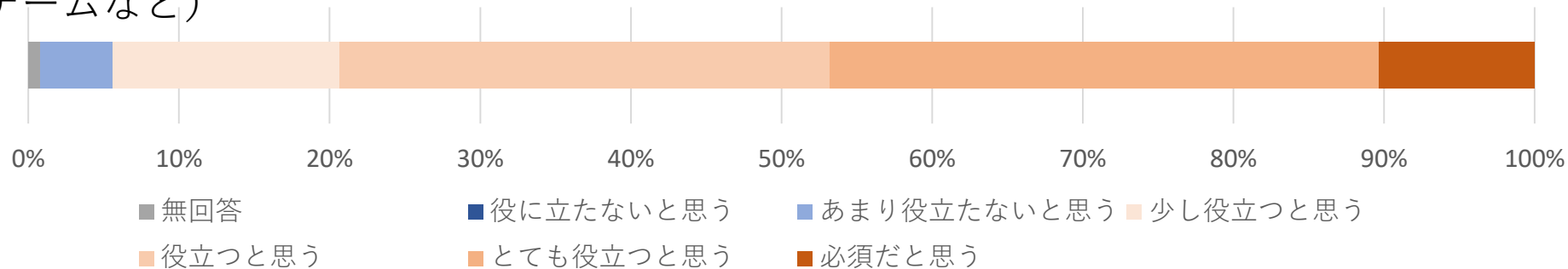
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、患者を直接診察する



役に立たないと思う1名 (0.8%)    あまり役に立たないと思う9名 (7.1%)  
少し役に立つと思う28名 (22.2%)    役立つと思う42名 (33.3%)    とても役立つと思う35名 (27.8%)    必須だと思う10名 (7.9%)    無回答1名 (0.8%)

6) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、地域全体で診療できるようにする（複数の病院の掛け持ちや地域緩和ケアチームなど）

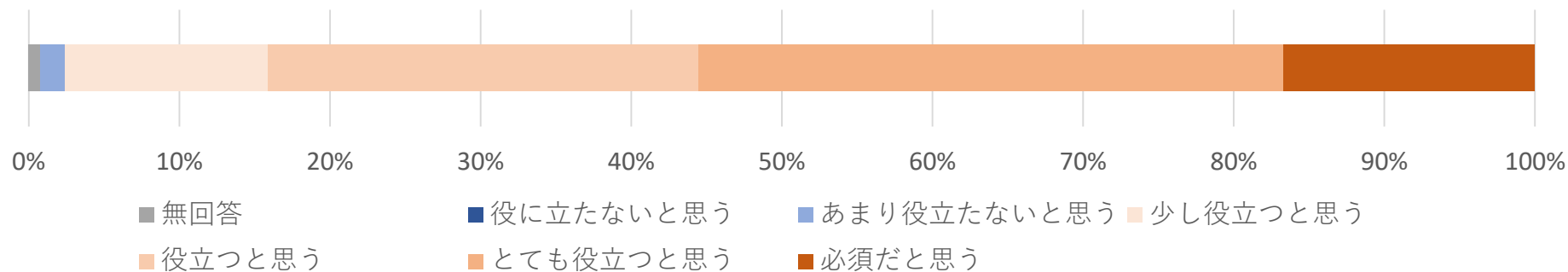


役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う6名 (4.8%)  
少し役に立つと思う19名 (15.1%)    役立つと思う41名 (32.5%)    とても役立つと思う46名 (36.5%)    必須だと思う13名 (10.3%)    無回答1名 (0.8%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

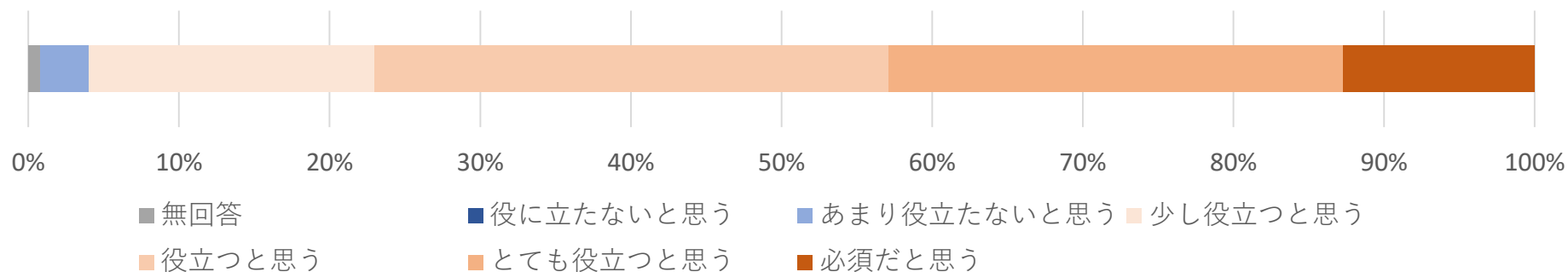
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 施設内で、主治医と、緩和ケアチームや難治性のがん疼痛の診療経験が豊富な医師がよく連携する



役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う2名 (1.6%)  
少し役に立つと思う17名 (13.5%)    役立つと思う36名 (28.6%)    とても役立つと思う49名 (38.9%)    必須だと思う21名 (16.7%)    無回答1名 (0.8%)

8) 難治性のがん疼痛に関する手引きやアルゴリズムを整備する

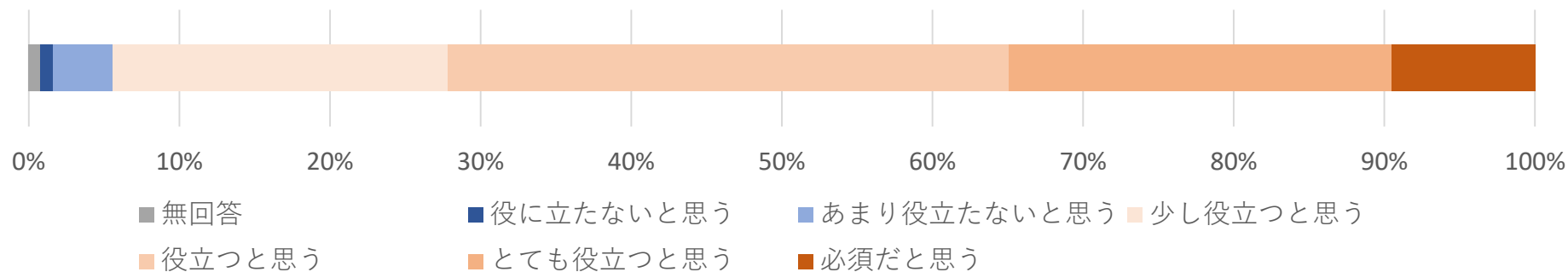


役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う4名 (3.2%)  
少し役に立つと思う24名 (19.0%)    役立つと思う43名 (34.1%)    とても役立つと思う38名 (30.2%)    必須だと思う16名 (12.7%)    無回答1名 (0.8%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

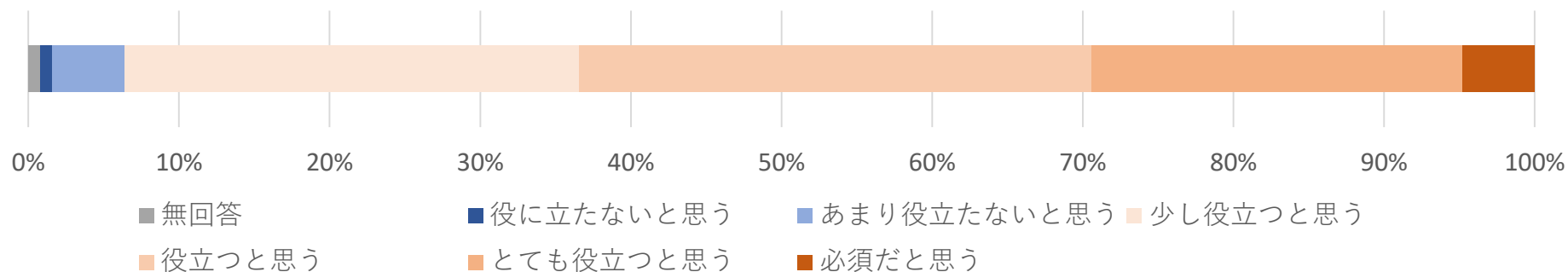
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 対応が必要な痛みがある患者を見つけるスクリーニングの方法を確立する



役に立たないと思う1名 (0.8%) あまり役に立たないと思う5名 (4.0%)  
少し役に立つと思う28名 (22.2%) 役立つと思う47名 (37.3%) とても役立つと思う32名 (25.4%) 必須だと思う12名 (9.5%) 無回答1名 (0.8%)

### 10) 患者が、自宅などの病院外で、タブレットなどで痛みの評価を入力すると電子カルテに記録される



役に立たないと思う1名 (0.8%) あまり役に立たないと思う6名 (4.8%)  
少し役に立つと思う38名 (30.2%) 役立つと思う43名 (34.1%) とても役立つと思う31名 (24.6%) 必須だと思う6名 (4.8%) 無回答1名 (0.8%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

4. その他に、医療現場がこのようになったらよいということがありましたら、下記にご記入ください。

別記

## VI あなたご自身についてお伺いします。

### 1. 年齢

平均年齢 ± 標準偏差 (歳)	47.2 ± 9.2
-----------------	------------

無回答：2 (1.4%)

### 2. 性別

男	104 (72.2%)
女	38 (26.4%)
無回答	2 (1.4%)

### 3. 医師免許取得後の臨床経験年数

平均年数 ± 標準偏差 (年)	21.1 ± 8.5
-----------------	------------

無回答：3 (2.1%)

## VI あなたご自身についてお伺いします。

### 4. 年間に診療するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	45.6 ± 62.5
-------------------	-------------

無回答：2 (1.4%)

### 5. 年間に診療する痛みのあるがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	34.9 ± 51.7
-------------------	-------------

無回答：4 (2.8%)

### 6. 年間に診療期間中に死亡するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	31.8 ± 52.0
-------------------	-------------

無回答：2 (1.4%)



## VI あなたご自身についてお伺いします。

7. 主に勤務している医療機関を選んでください。（該当が複数ある場合はすべてお選びください）

がん診療連携拠点病院	9 (6.3%)
拠点病院以外の病院	22 (15.3%)
大学病院	3 (2.1%)
臨床研修指定病院	8 (5.6%)
診療所	110 (76.4%)
該当なし	10 (6.9%)
無回答	1 (0.7%)

## VI あなたご自身についてお伺いします。

8. 在宅医療専門医以外の専門があれば選択してください（複数選択可）。

内科	65 (45.1%)
外科	11 (7.6%)
総合診療科	46 (31.9%)
精神科	1 (0.7%)
脳神経外科	0 (0%)
耳鼻いんこう科	0 (0%)
泌尿器科	4 (2.8%)
婦人科	1 (0.7%)
整形外科	1 (0.7%)
腫瘍内科・化学療法科	0 (0%)
放射線科	1 (0.7%)
リハビリテーション科	4 (2.8%)
緩和ケア・緩和医療科	17 (11.8%)
麻酔科	5 (3.5%)
ペインクリニック科	2 (1.4%)
循環器科	7 (4.9%)
その他	25 (17.4%)
無回答	19 (13.2%)

結果

がん治療認定医

# 【対象者フロー がん治療認定医】

※日本がん治療認定医機構ホームページ  
掲載の名簿により確認

調査対象

がん治療認定医※ 16,717名

抽出 (乱数表)

対象外 15,917名

がん治療認定医 800名

郵送

不達・未返送 375名

がん治療認定医 425名

調査協力拒否 13名

解析対象

がん治療認定医 412名

本調査にご協力いただけない場合には、下記にチェックをして返信用封筒でご返送ください。

調査には協力しません	13名 (3.1%)
無回答 (以後に回答)	412名 (96.9%)

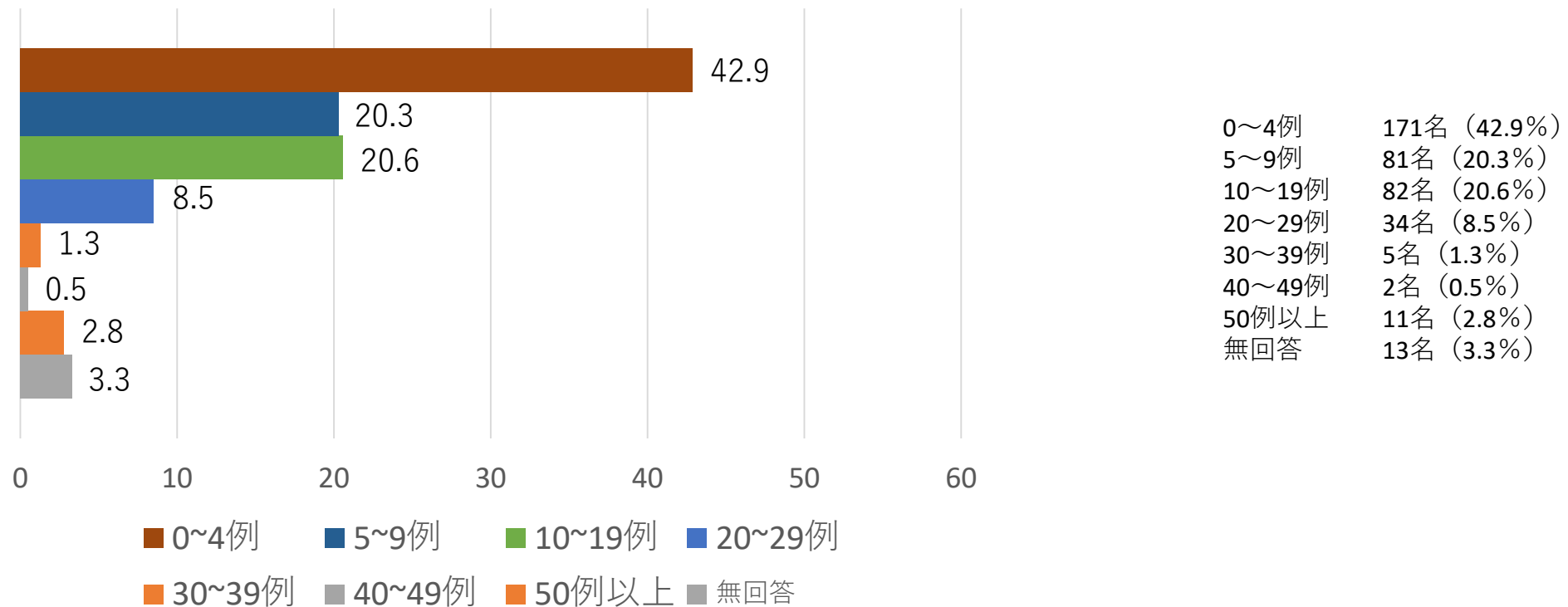
## I 専門医資格についてお伺いします。

もしあなたが、日本緩和医療学会認定の緩和医療専門医・緩和医療認定医・暫定指導医、日本ペインクリニック学会のペインクリニック専門医の資格を有している場合には、下記にチェックをして他の質問には回答されずにご返送ください。

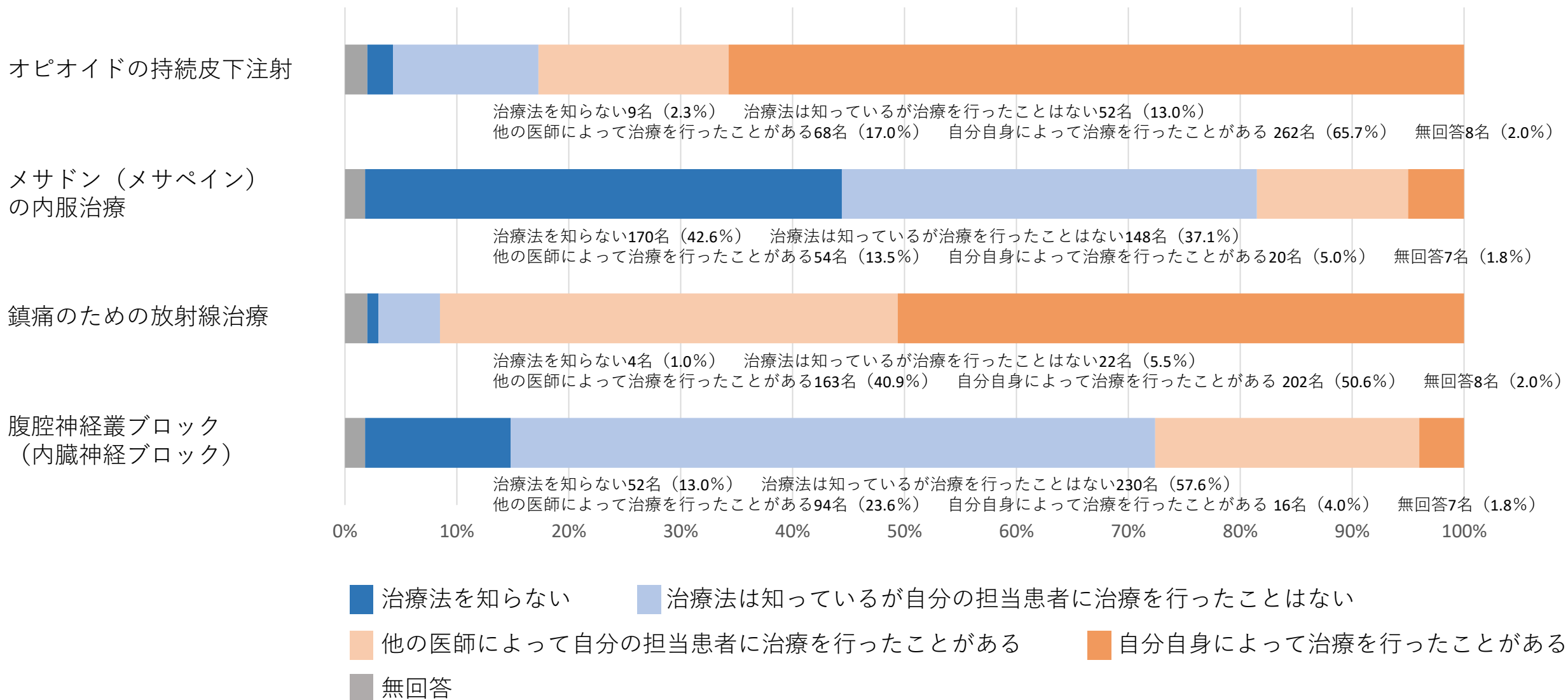
上記専門の資格を有しています	13名 (3.2%)
無回答	399名 (96.8%)

## II あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない患者を年間どの程度経験しますか。

平均+標準偏差：9.04±20.39  
中央値（4分範囲）：5（3-10）

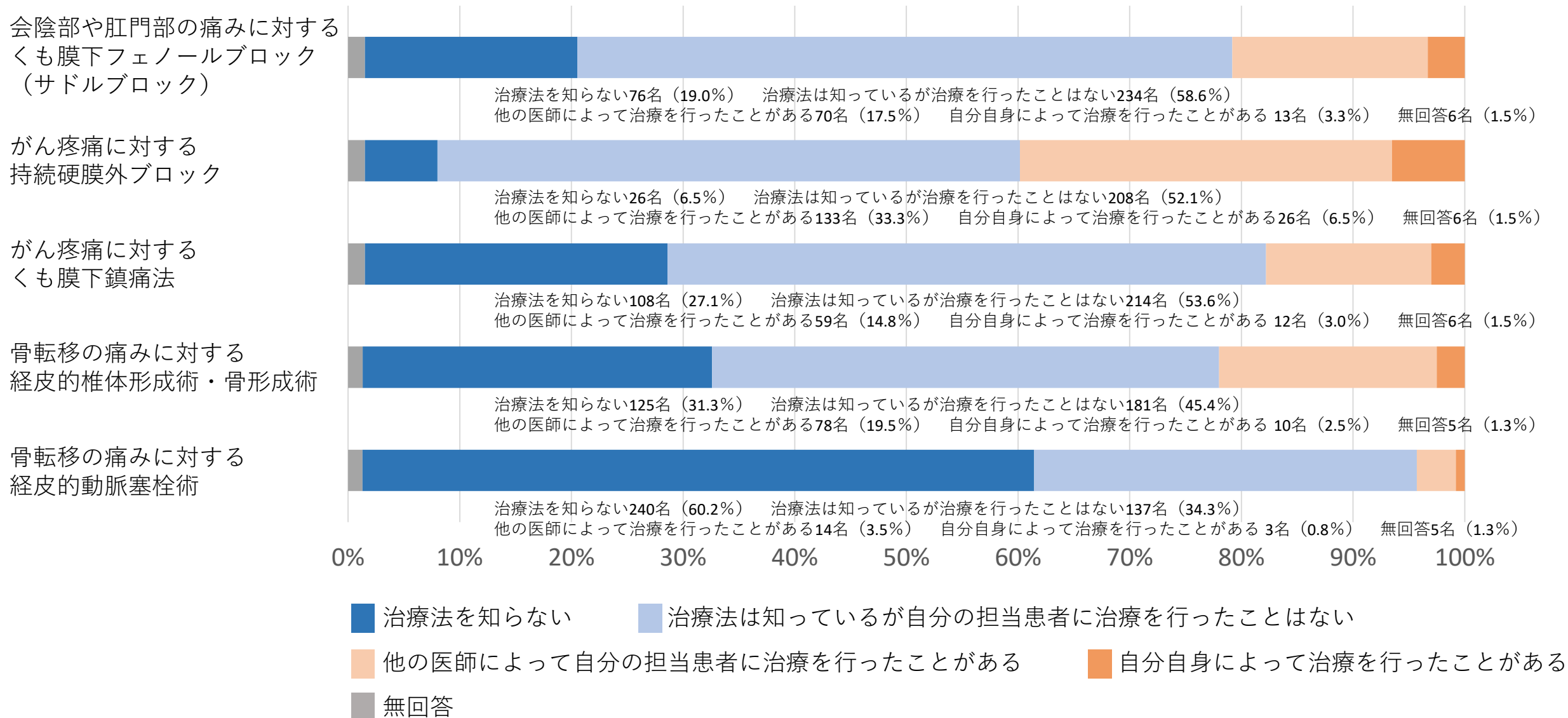


### Ⅲ 以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。





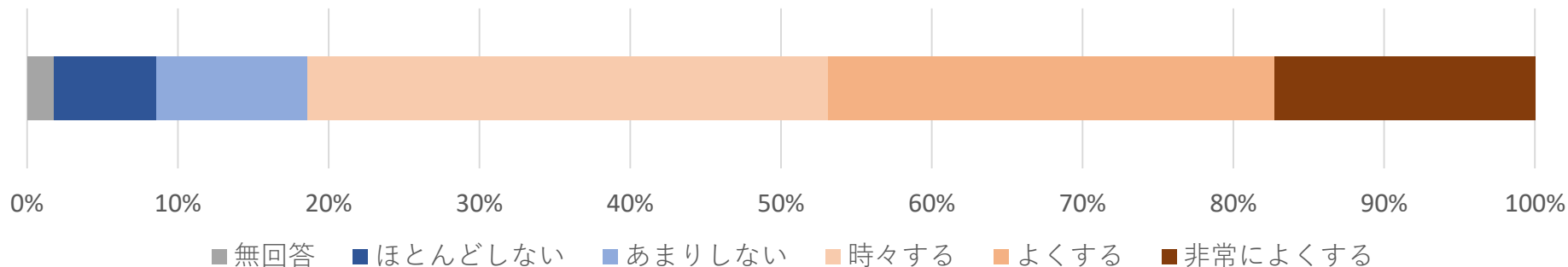
### Ⅲ 以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。



## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

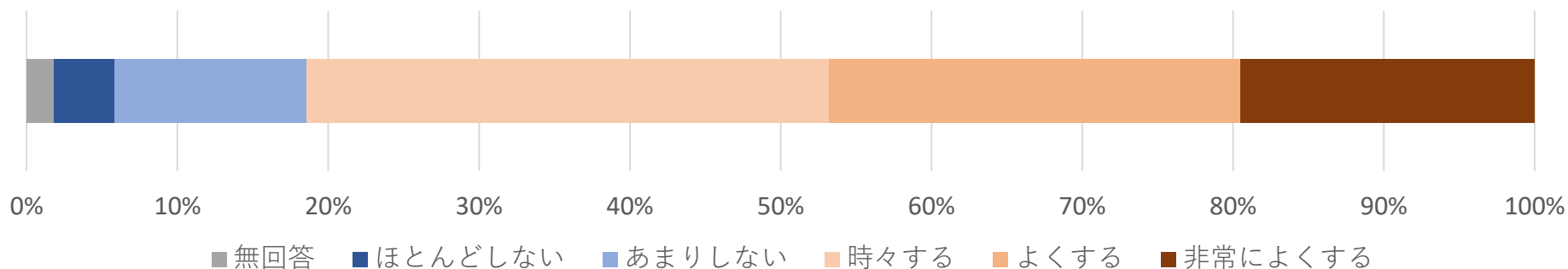
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 自分で本やインターネットの情報を調べる



ほとんどしない27名 (6.8%) あまりしない40名 (10.0%)  
時々する138名 (34.6%) よくする118名 (29.6%) 非常によくする69名 (17.3%) 無回答7名 (1.8%)

### 2) 自分でがんの痛みの治療に関するガイドラインを確認する

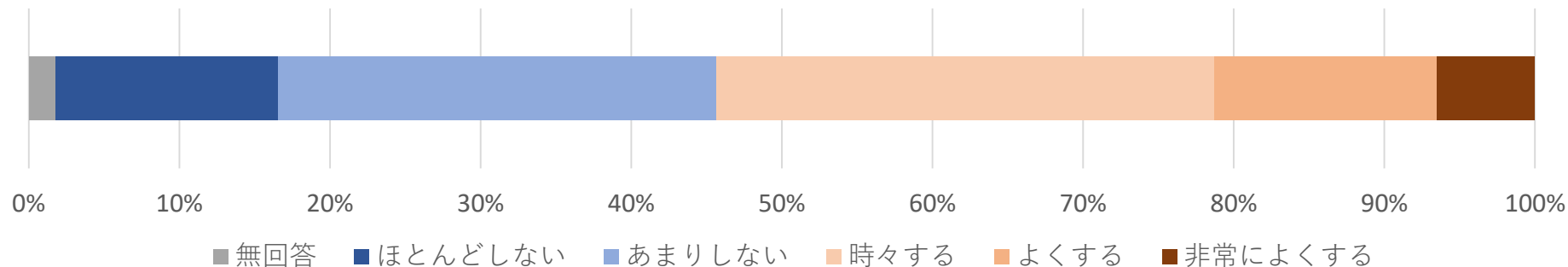


ほとんどしない16名 (4.0%) あまりしない51名 (12.8%)  
時々する138名 (34.6%) よくする109名 (27.3%) 非常によくする78名 (19.5%) 無回答7名 (1.8%)

## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

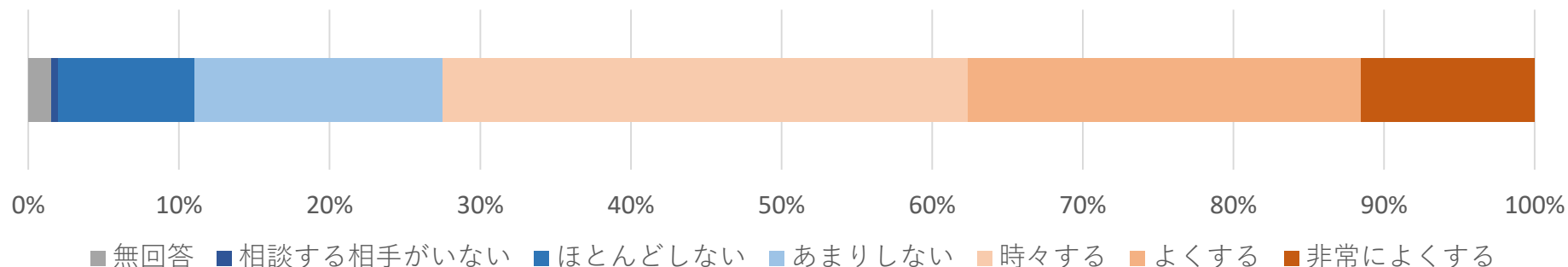
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) 自分で国内外の論文を調べる



ほとんどしない59名 (14.8%)    あまりしない116名 (29.1%)  
時々する132名 (33.1%)    よくする59名 (14.8%)    非常によくする26名 (6.5%)    無回答7名 (1.8%)

### 4) 看護師や薬剤師に他の方法をきく

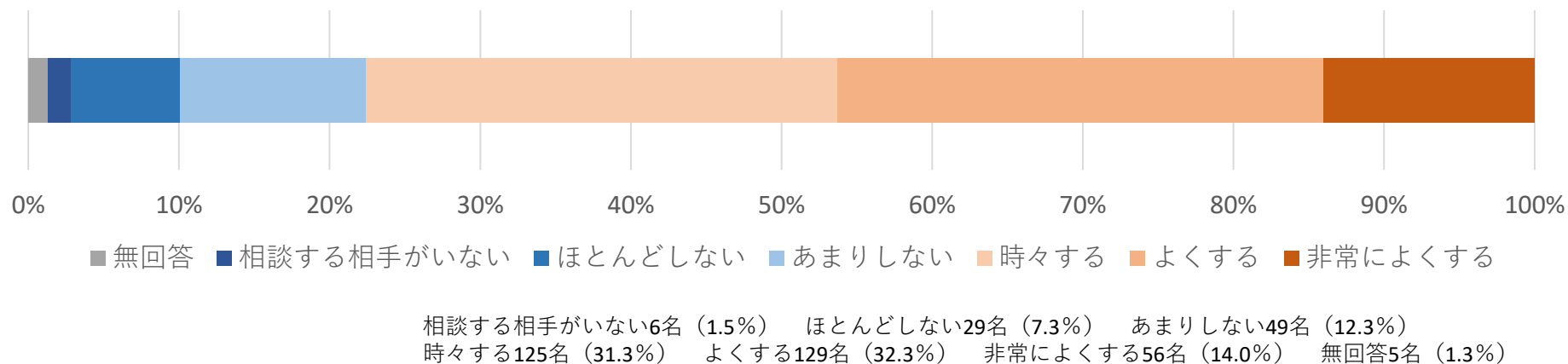


相談する相手がない2名 (0.5%)    ほとんどしない36名 (9.0%)    あまりしない66名 (16.5%)  
時々する139名 (34.8%)    よくする104名 (26.1%)    非常によくする46名 (11.5%)    無回答6名 (1.5%)

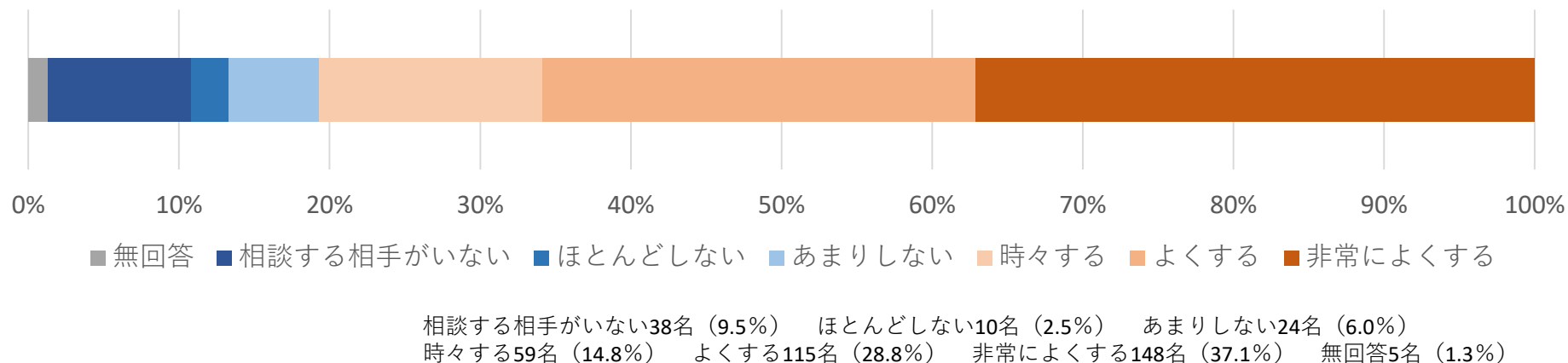
## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 自分の診療科の他の医師に他の方法をきく



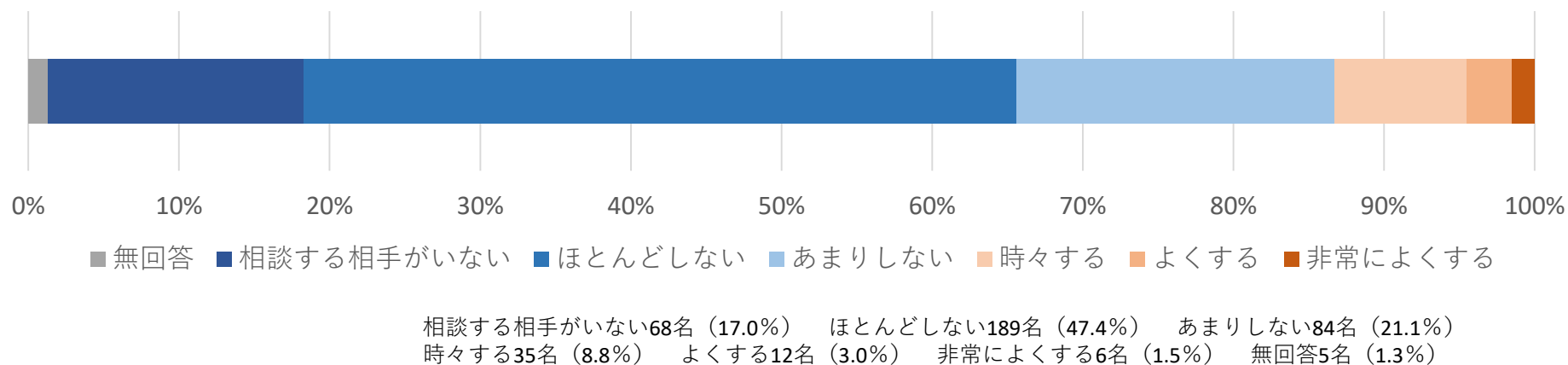
6) 院内の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



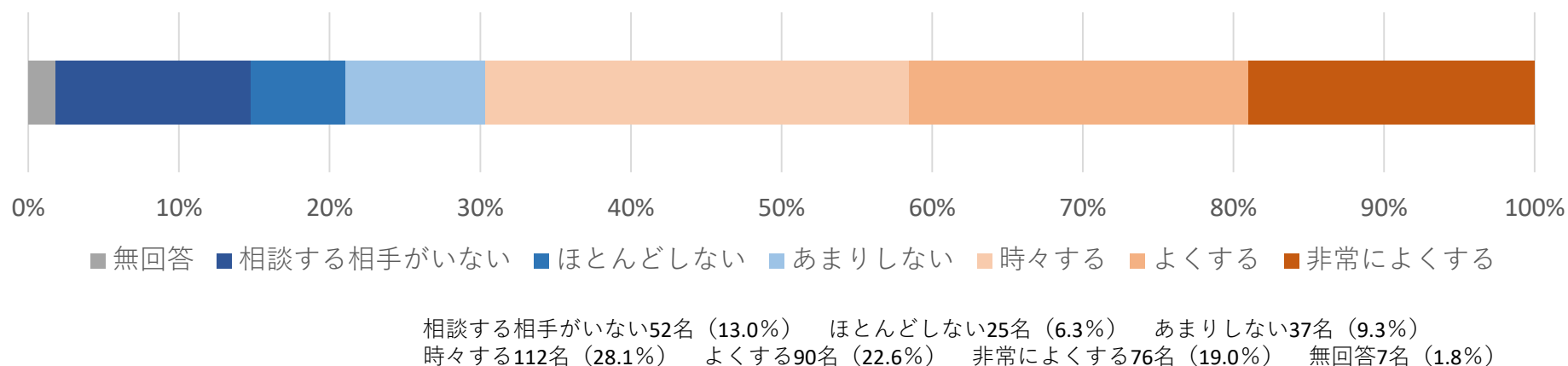
## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 院外の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



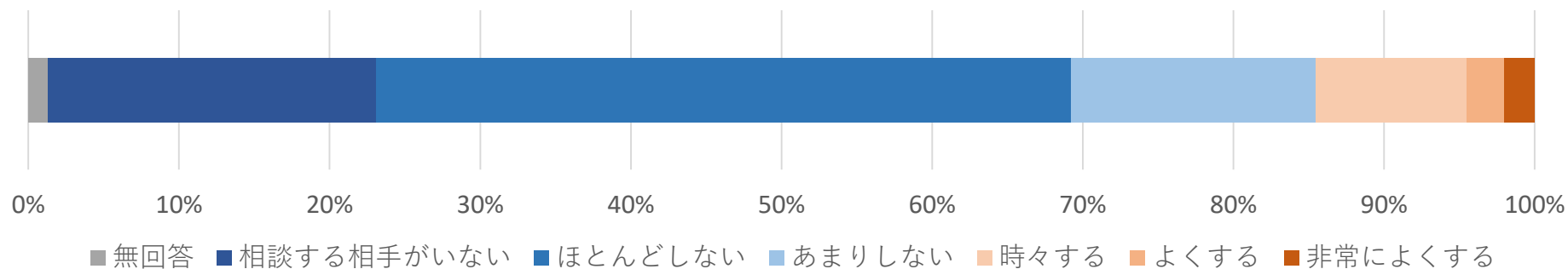
### 8) 院内の放射線治療医に相談する



## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

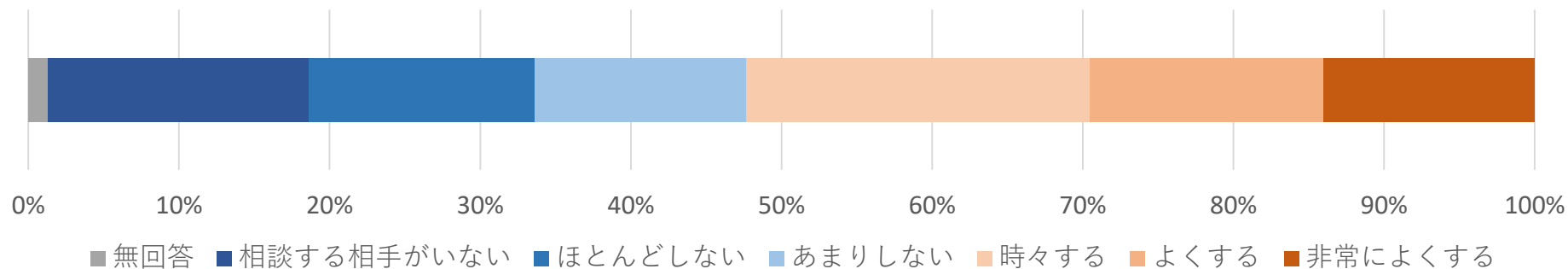
1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 院外の放射線治療医に相談する



相談する相手がない87名 (21.8%) ほとんどしない184名 (46.1%) あまりしない65名 (16.3%)  
時々する40名 (10.0%) よくする10名 (2.5%) 非常によくする8名 (2.0%) 無回答5名 (1.3%)

### 10) 院内のペインクリニック医・麻酔科医に相談する

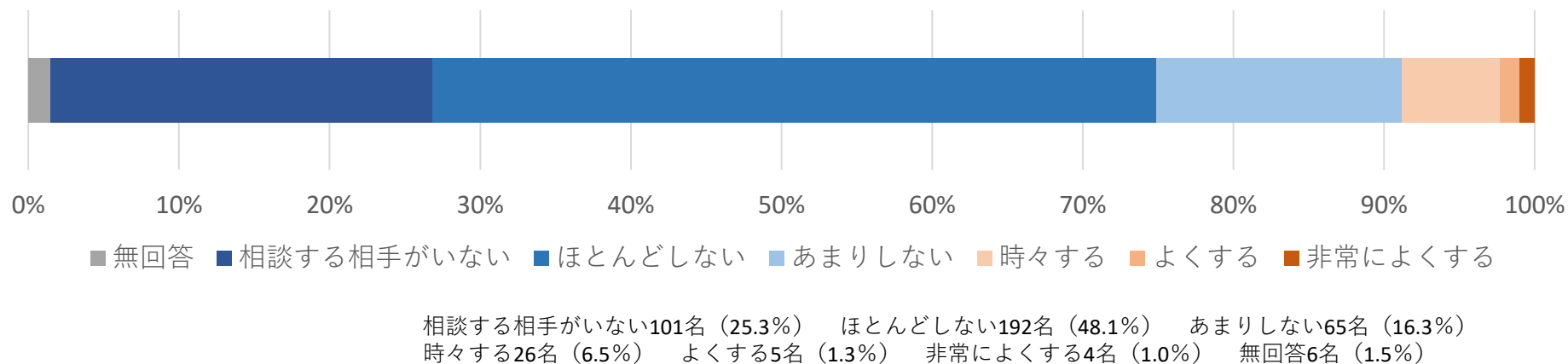


相談する相手がない69名 (17.3%) ほとんどしない60名 (15.0%) あまりしない56名 (14.0%)  
時々する91名 (22.8%) よくする62名 (15.5%) 非常によくする56名 (14.0%) 無回答5名 (1.3%)

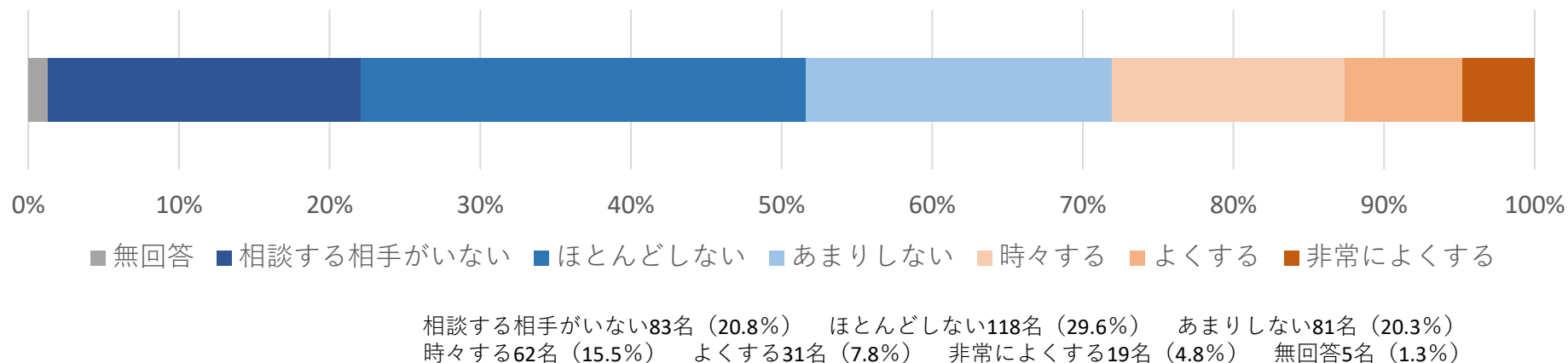
## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 院外のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



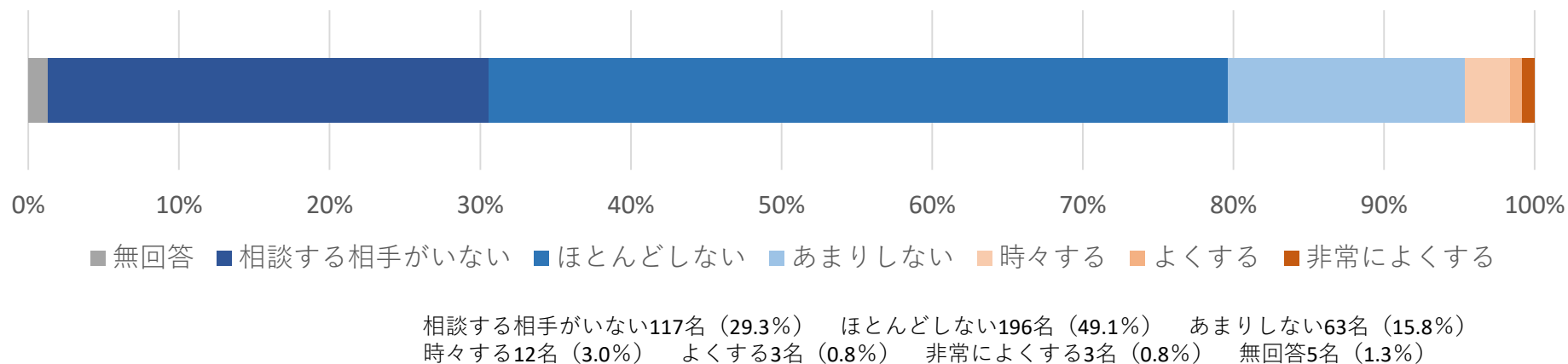
### 1 2) 院内の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



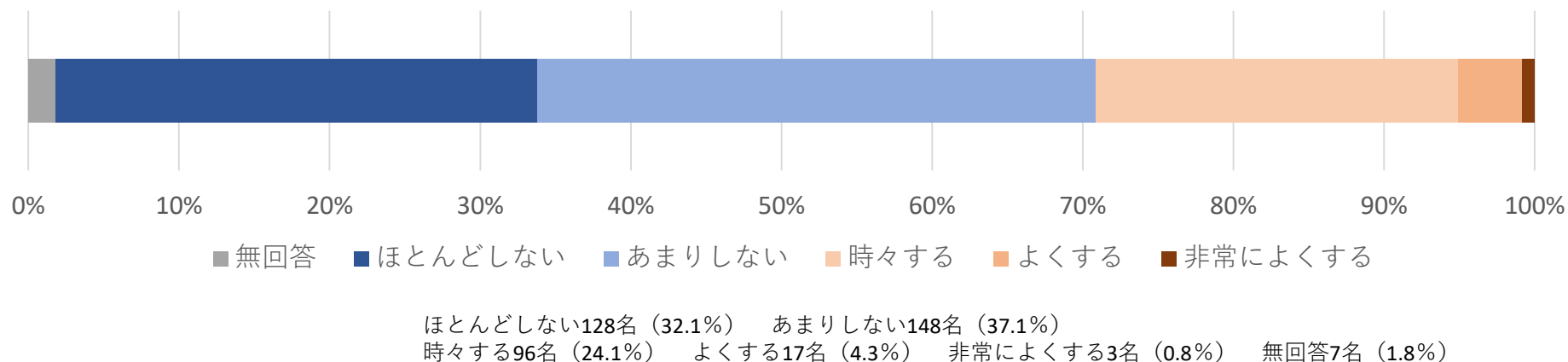
## IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 院外の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



### 1 4) 痛みをこれ以上和らげることが難しいことを患者に説明する

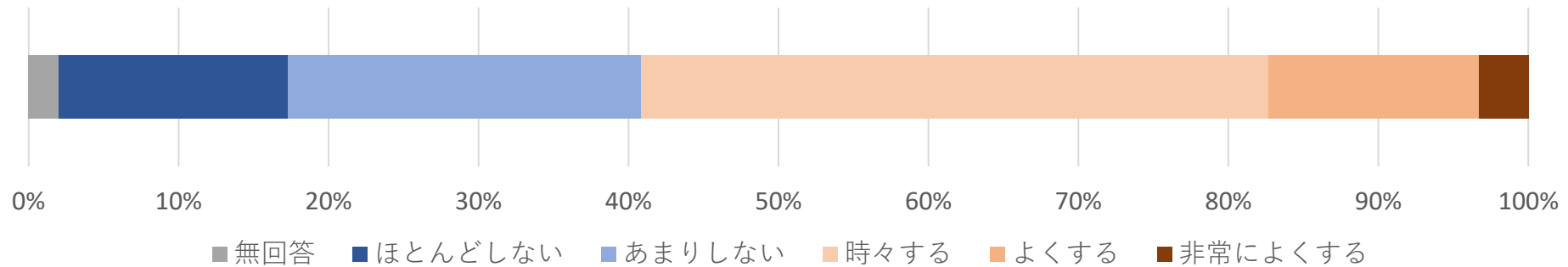




#### IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 5) せん妄や呼吸困難は伴わない患者で、治療抵抗性の痛みを緩和することを目的として鎮静薬を投与する



ほとんどしない61名 (15.3%)    あまりしない94名 (23.6%)  
時々する167名 (41.9%)    よくする56名 (14.0%)    非常によくする13名 (3.3%)    無回答8名 (2.0%)

#### IV がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

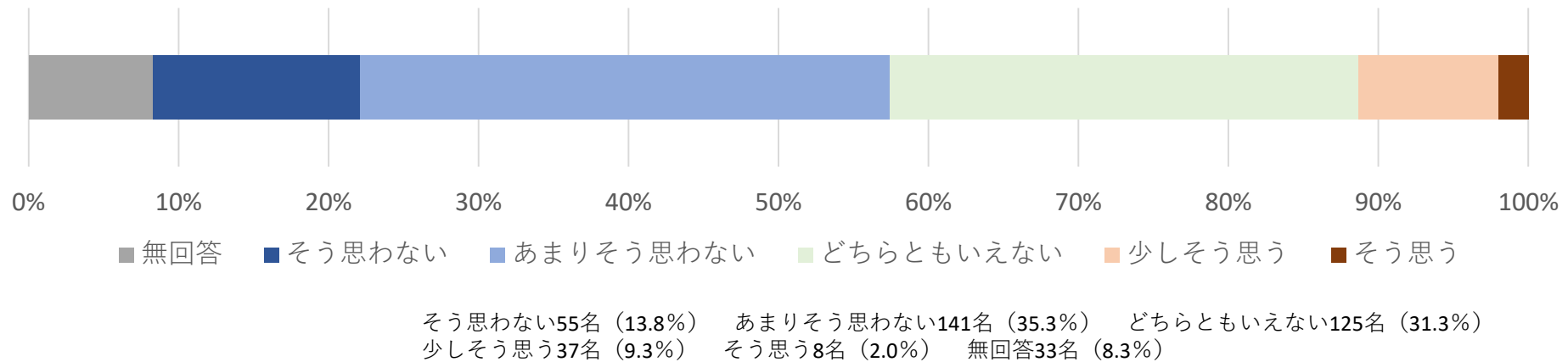
2. 上記以外に、がんの痛みが十分に緩和されない時に、あなたが取る対応があれば下記にご記入ください。

別記

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

1. がんの痛みの治療の現状について、当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

痛みについては現状で対応できており、これ以上の改善策は必要ない

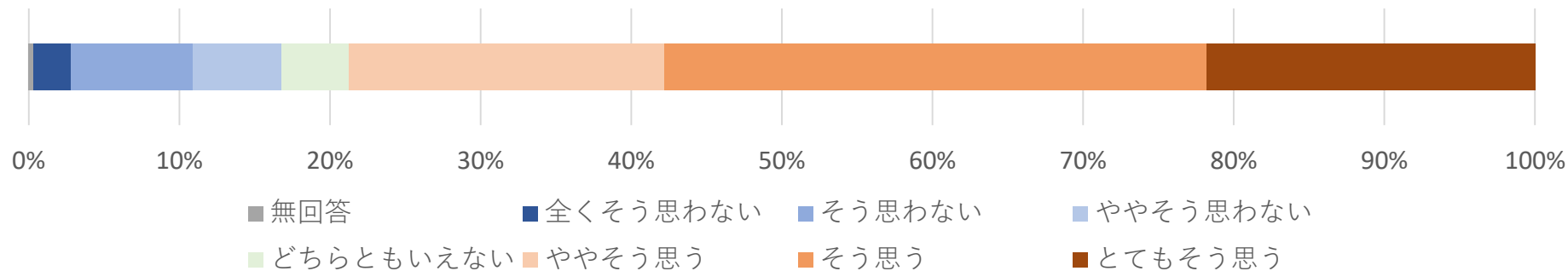


「そう思う」と回答した方は、以降のVの設問には回答せず、設問VIに進む

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

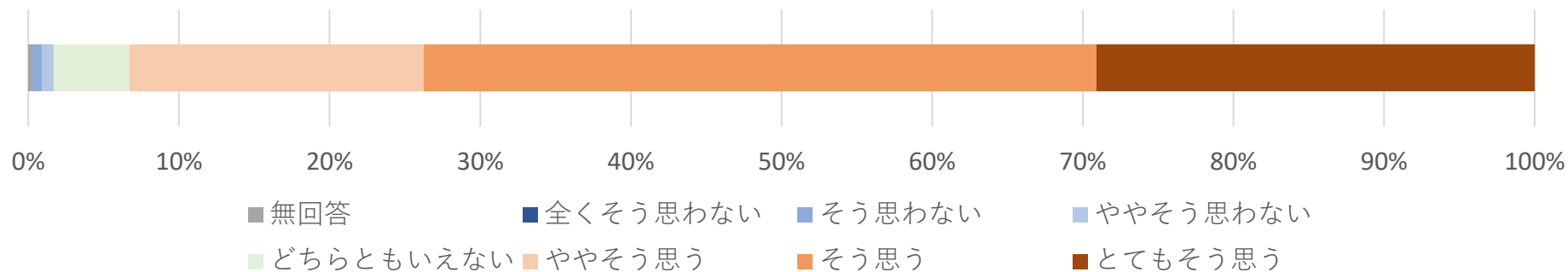
2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1) 痛みがとり切れない時に、専門的な疼痛治療について専門家にコンサルテーションを受けることができる



全くそう思わない9名 (2.5%)    そう思わない29名 (8.1%)    ややそう思わない21名 (5.9%)    どちらともいえない16名 (4.5%)  
ややそう思う75名 (20.9%)    そう思う129名 (36.0%)    とてもそう思う78名 (21.8%)    無回答1名 (0.3%)

2) 痛みがとり切れない時には、患者に専門的な疼痛治療をもっと実施できるようにする必要がある

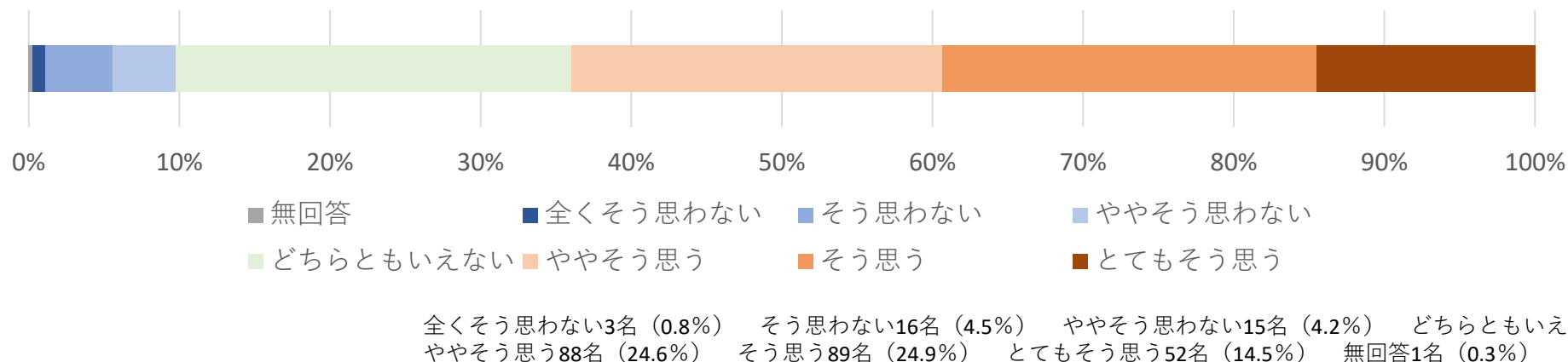


全くそう思わない0名 (0%)    そう思わない2名 (0.6%)    ややそう思わない3名 (0.8%)    どちらともいえない18名 (5.0%)  
ややそう思う70名 (19.6%)    そう思う160名 (44.7%)    とてもそう思う104名 (29.1%)    無回答1名 (0.3%)

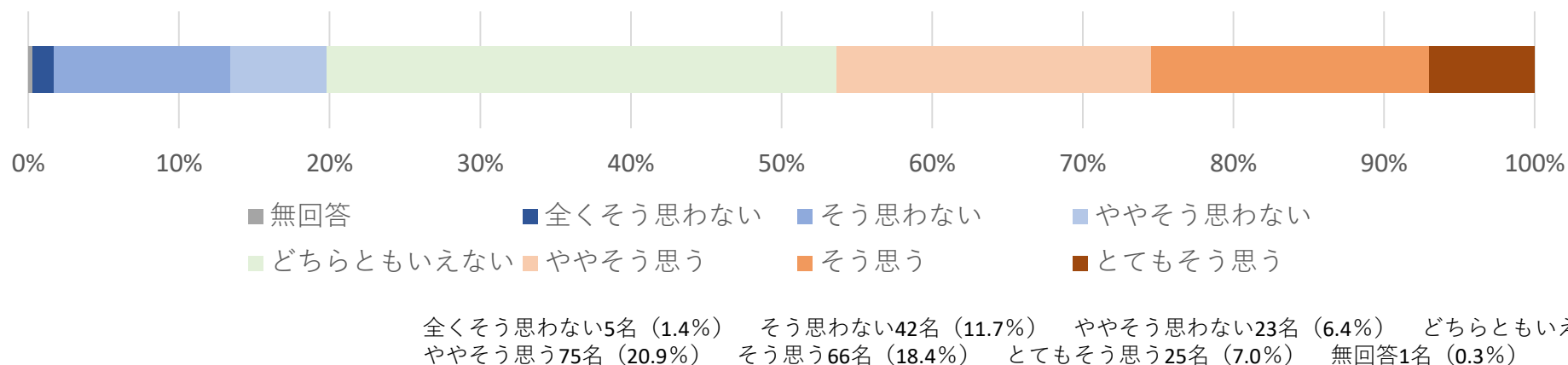
## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっと診療するべきである



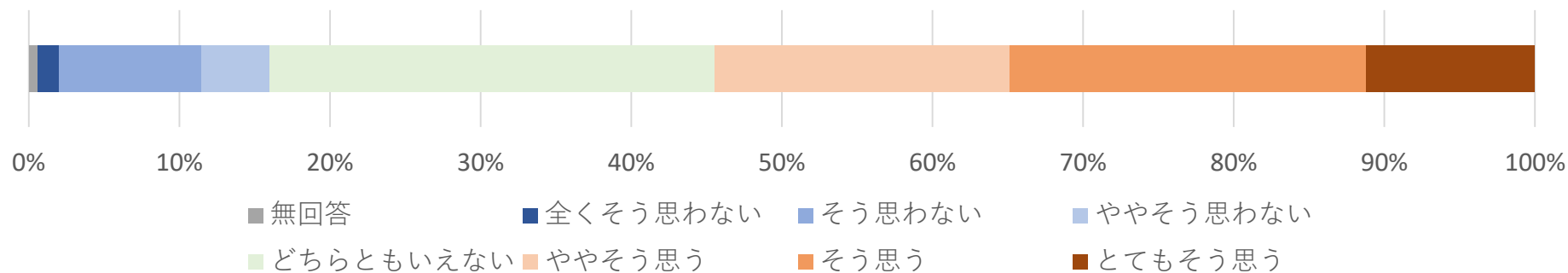
4) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっとトリアージするべきである



## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

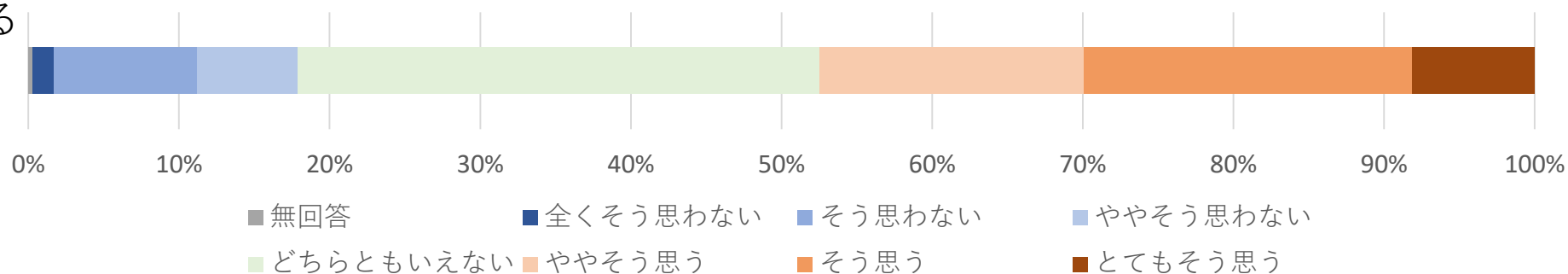
2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、専門的な知識や技術をもっと持つべきである



全くそう思わない5名 (1.4%) そう思わない34名 (9.5%) ややそう思わない16名 (4.5%) どちらともいえない106名 (29.6%)  
ややそう思う70名 (19.6%) そう思う85名 (23.7%) とてもそう思う40名 (11.2%) 無回答2名 (0.6%)

6) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、がん治療ががんの痛みにも有効であることをもっと知るべきである

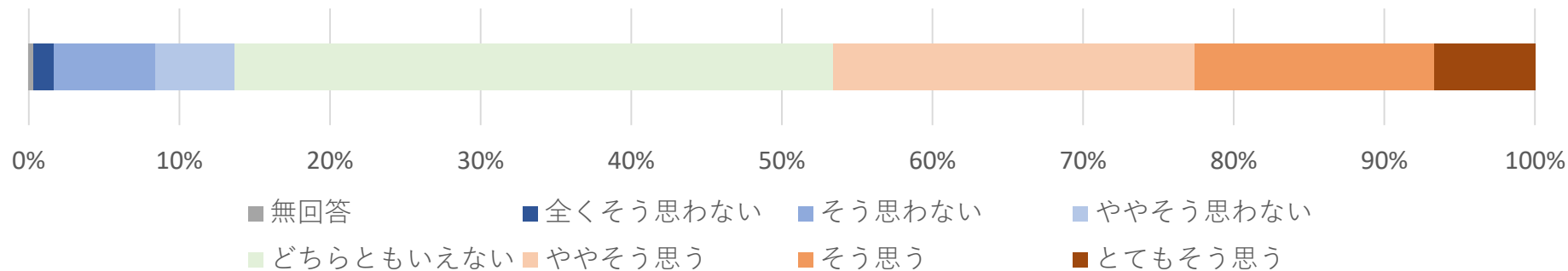


全くそう思わない5名 (1.4%) そう思わない34名 (9.5%) ややそう思わない24名 (6.7%) どちらともいえない124名 (34.6%)  
ややそう思う63名 (17.6%) そう思う78名 (21.8%) とてもそう思う29名 (8.1%) 無回答1名 (0.3%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

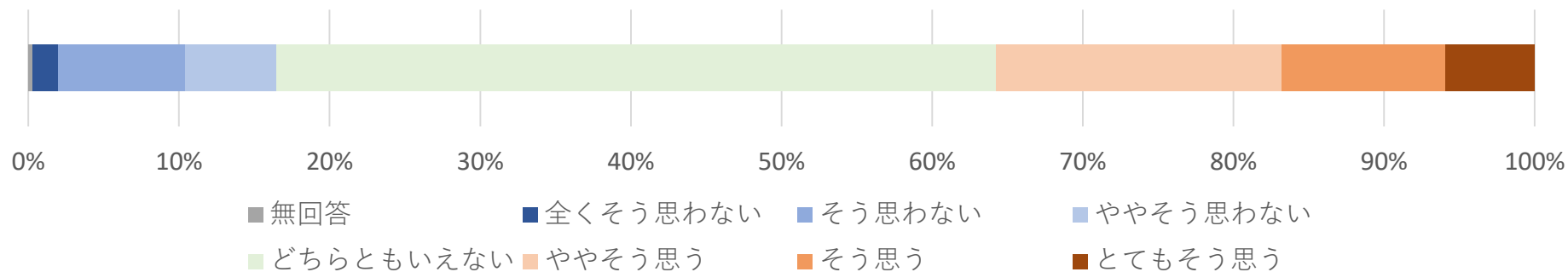
2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) ペインクリニック・麻酔科の医師は、神経ブロックやくも膜下鎮痛をもっと実施するべきである



全くそう思わない5名 (1.4%)    そう思わない24名 (6.7%)    ややそう思わない19名 (5.3%)    どちらともいえない142名 (39.7%)  
ややそう思う86名 (24.0%)    そう思う57名 (15.9%)    とてもそう思う24名 (6.7%)    無回答1名 (0.3%)

8) I V R 医は、鎮痛を目的とした I V R 処置をもっと実施するべきである

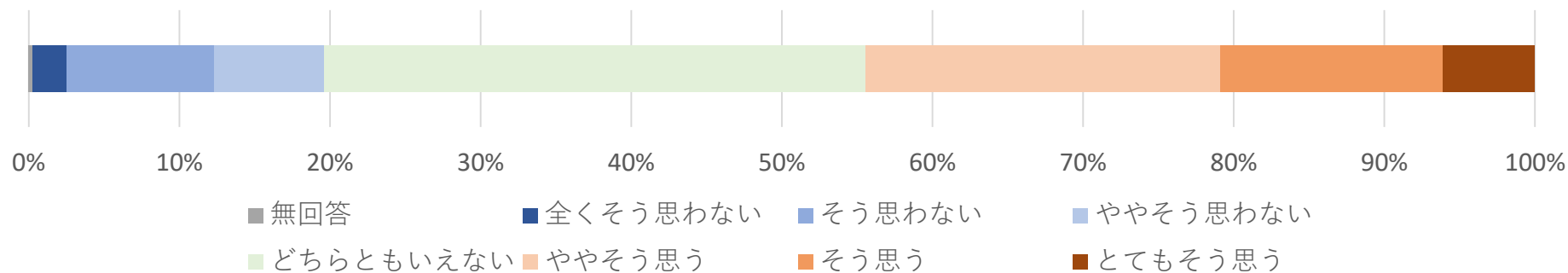


全くそう思わない6名 (1.7%)    そう思わない30名 (8.4%)    ややそう思わない22名 (6.1%)    どちらともいえない171名 (47.8%)  
ややそう思う68名 (19.0%)    そう思う39名 (10.9%)    とてもそう思う21名 (5.9%)    無回答1名 (0.3%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

9) 放射線治療医は、鎮痛を目的とした放射線治療をもっと実施するべきである



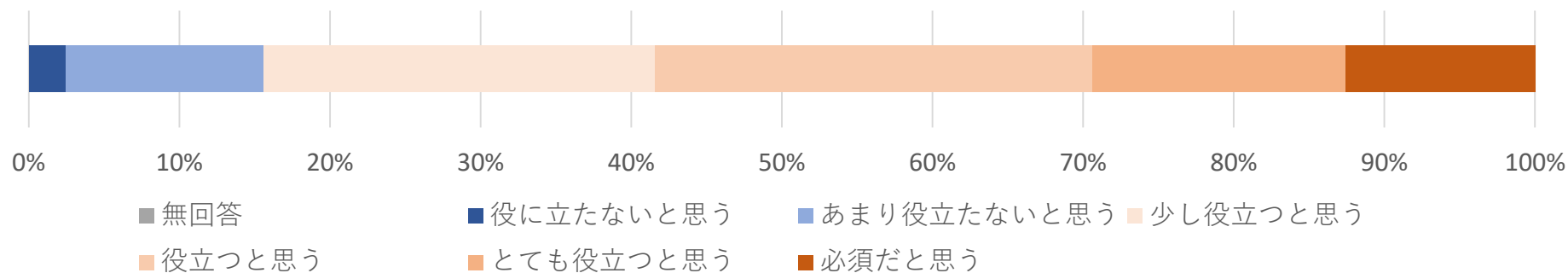
全くそう思わない8名 (2.2%)    そう思わない35名 (9.8%)    ややそう思わない26名 (7.3%)    どちらともいえない129名 (36.0%)  
ややそう思う84名 (23.5%)    そう思う53名 (14.8%)    とてもそう思う22名 (6.1%)    無回答1名 (0.3%)



## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

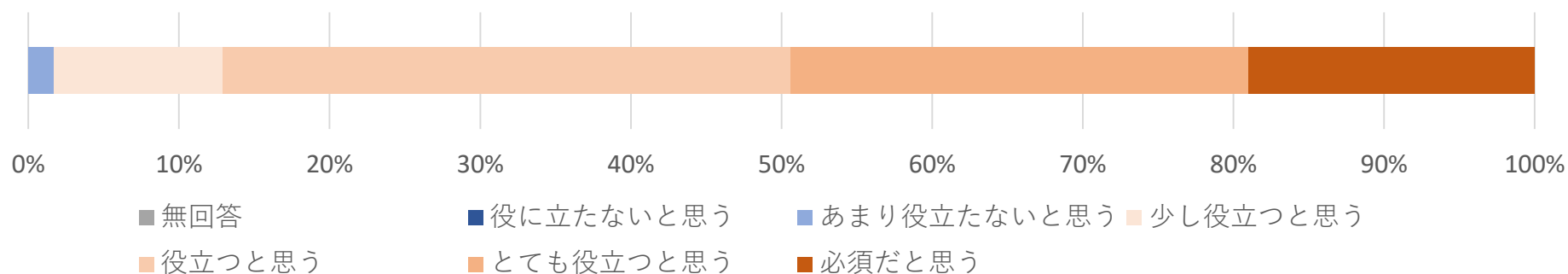
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 医師の仕事（担当患者数や委員会業務など）を適正な量に減らす



役に立たないと思う9名 (2.5%)    あまり役に立たないと思う47名 (13.1%)  
少し役に立つと思う93名 (26.0%)    役立つと思う104名 (29.1%)    とても役立つと思う60名 (16.8%)    必須だと思う45名 (12.6%)    無回答0名 (0%)

### 2) 医師以外のスタッフ（看護師や薬剤師など）が、痛みのアセスメントやフォローアップを行う

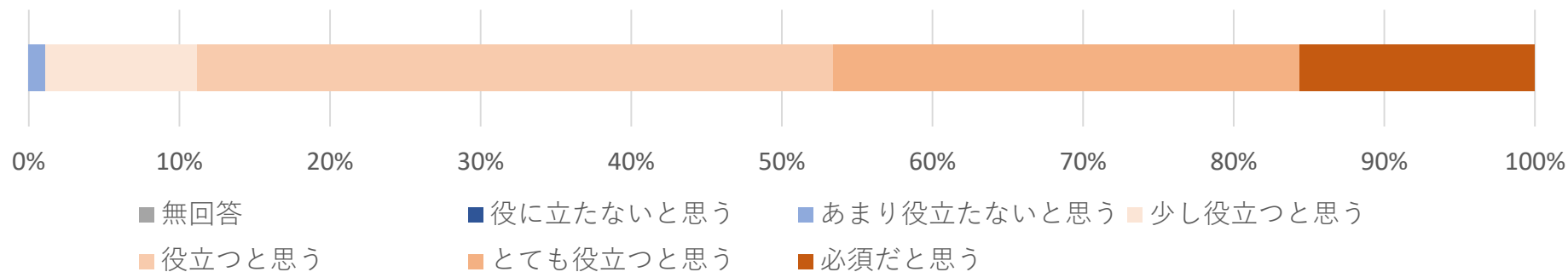


役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う6名 (1.7%)  
少し役に立つと思う40名 (11.2%)    役立つと思う135名 (37.7%)    とても役立つと思う109名 (30.4%)    必須だと思う68名 (19.0%)    無回答0名 (0%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

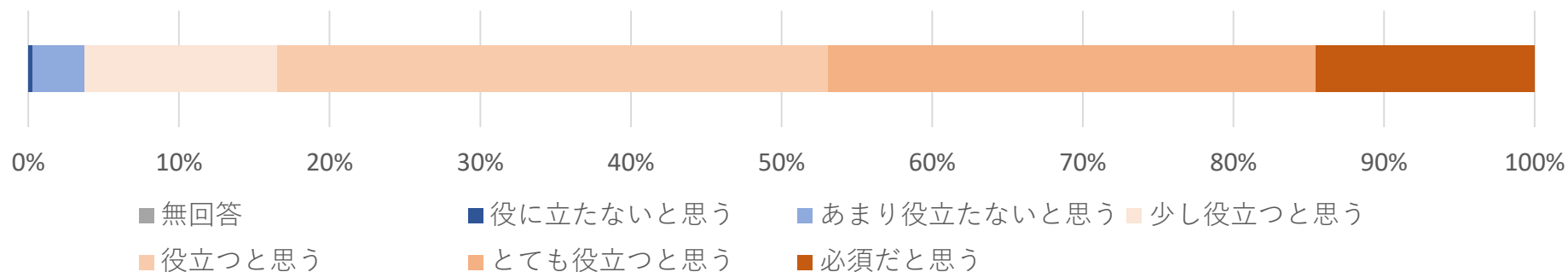
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) 放射線治療や神経ブロックなど薬物療法以外の方法が確実に実施できる



役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う4名 (1.1%)  
少し役に立つと思う36名 (10.1%)    役立つと思う151名 (42.2%)    とても役立つと思う111名 (31.0%)    必須だと思う56名 (15.6%)    無回答0名 (0%)

### 4) 今より気楽に専門家に相談することができる (ICT [情報通信技術] を用いた他施設との相談など)

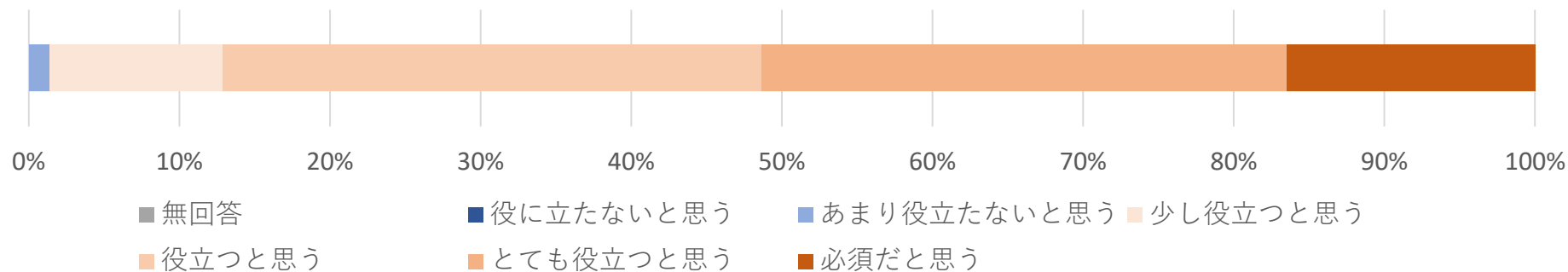


役に立たないと思う1名 (0.3%)    あまり役に立たないと思う12名 (3.4%)  
少し役に立つと思う46名 (12.8%)    役立つと思う131名 (36.6%)    とても役立つと思う116名 (32.4%)    必須だと思う52名 (14.5%)    無回答0名 (0%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

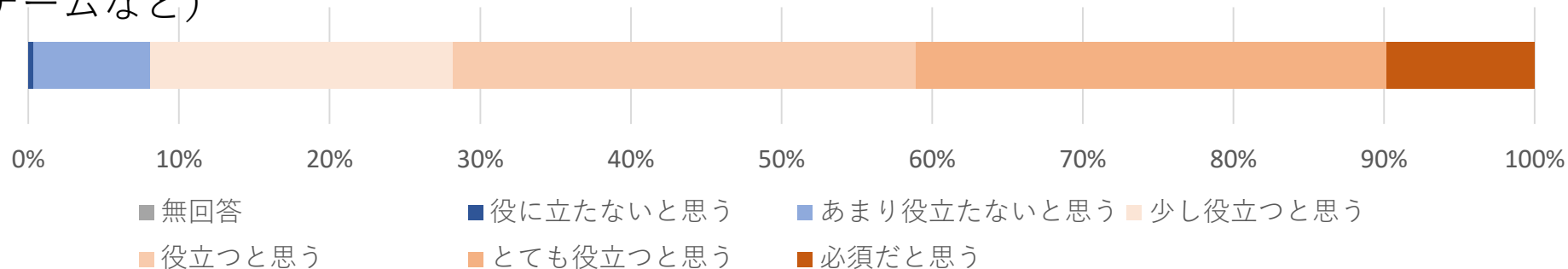
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、患者を直接診察する



役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う5名 (1.4%)  
少し役に立つと思う41名 (11.5%)    役立つと思う128名 (35.8%)    とても役立つと思う125名 (34.9%)    必須だと思う59名 (16.5%)    無回答0名 (0%)

6) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、地域全体で診療できるようにする (複数の病院の掛け持ちや地域緩和ケアチームなど)

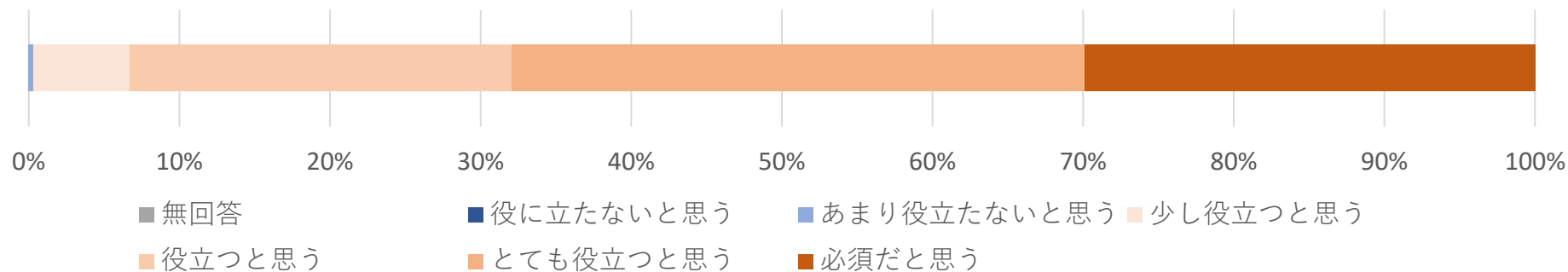


役に立たないと思う1名 (0.3%)    あまり役に立たないと思う28名 (7.8%)  
少し役に立つと思う72名 (20.1%)    役立つと思う110名 (30.7%)    とても役立つと思う112名 (31.3%)    必須だと思う35名 (9.8%)    無回答0名 (0%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

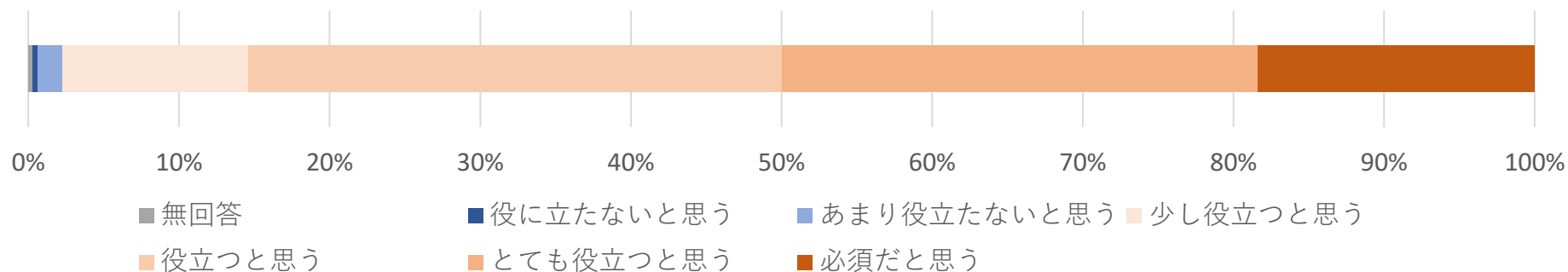
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 施設内で、主治医と、緩和ケアチームや難治性のがん疼痛の診療経験が豊富な医師がよく連携する



役に立たないと思う0名 (0%)    あまり役に立たないと思う1名 (0.3%)  
少し役に立つと思う23名 (6.4%)    役立つと思う91名 (25.4%)    とても役立つと思う136名 (38.0%)    必須だと思う107名 (29.9%)    無回答0名 (0%)

8) 難治性のがん疼痛に関する手引きやアルゴリズムを整備する

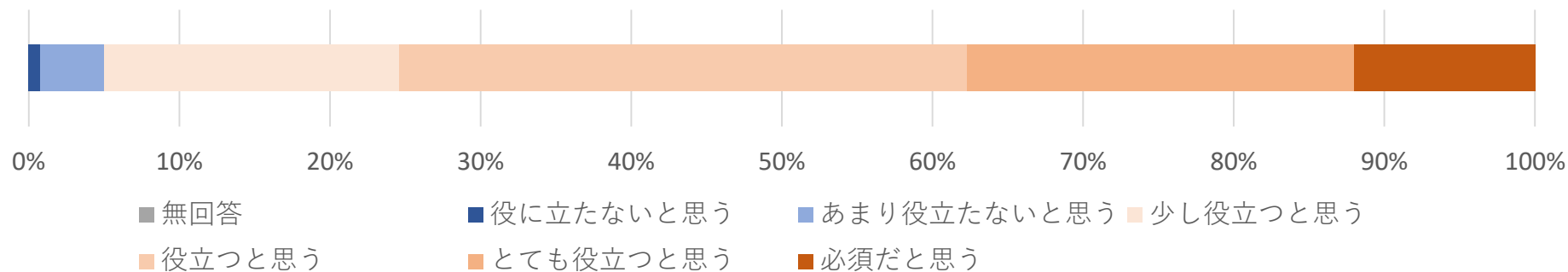


役に立たないと思う1名 (0.3%)    あまり役に立たないと思う6名 (1.7%)  
少し役に立つと思う44名 (12.3%)    役立つと思う127名 (35.5%)    とても役立つと思う113名 (31.6%)    必須だと思う66名 (18.4%)    無回答1名 (0.3%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

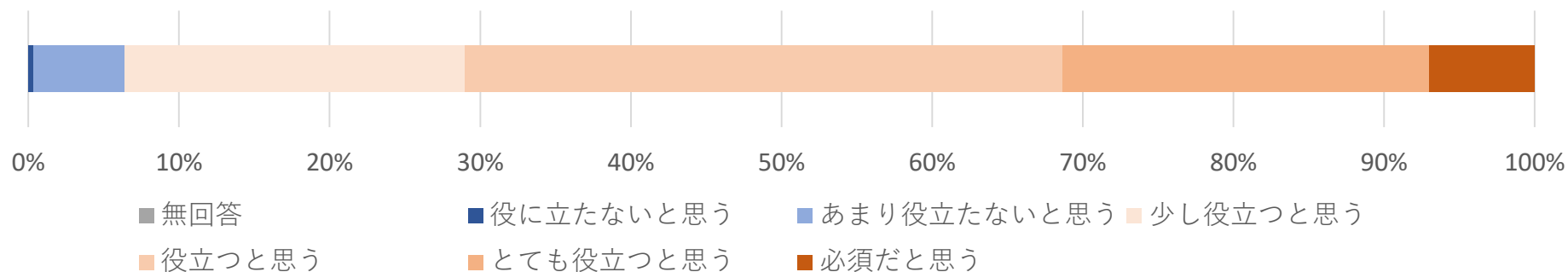
3. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 対応が必要な痛みがある患者を見つけるスクリーニングの方法を確立する



役に立たないと思う3名 (0.8%)    あまり役に立たないと思う15名 (4.2%)  
少し役に立つと思う70名 (19.6%)    役立つと思う135名 (37.7%)    とても役立つと思う92名 (25.7%)    必須だと思う43名 (12.0%)    無回答0名 (0%)

### 10) 患者が、自宅などの病院外で、タブレットなどで痛みの評価を入力すると電子カルテに記録される



役に立たないと思う1名 (0.3%)    あまり役に立たないと思う22名 (6.1%)  
少し役に立つと思う81名 (22.6%)    役立つと思う142名 (39.7%)    とても役立つと思う87名 (24.3%)    必須だと思う25名 (7.0%)    無回答0名 (0%)

## V がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

4. その他に、医療現場がこのようになったらよいということがありましたら、下記にご記入ください。

別記

## VI あなたご自身についてお伺いします。

### 1. 年齢

平均年齢 ± 標準偏差 (歳)	46.7 ± 7.7
-----------------	------------

無回答 : 7 (1.8%)

### 2. 性別

男	333 (83.5%)
女	59 (14.8%)
無回答	7 (1.8%)

### 3. 医師免許取得後の臨床経験年数

平均年数 ± 標準偏差 (年)	21.4 ± 7.5
-----------------	------------

無回答 : 9 (2.3%)

## VI あなたご自身についてお伺いします。

### 4. 年間に診療するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	151.6 ± 201.4
-------------------	---------------

無回答：7 (1.8%)

### 5. 年間に診療する痛みのあるがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	27.3 ± 57.1
-------------------	-------------

無回答：6 (1.5%)

### 6. 年間に診療期間中に死亡するがん患者数

平均年患者数 ± 標準偏差 (人)	12.9 ± 16.6
-------------------	-------------

無回答：13 (3.3%)



## VI あなたご自身についてお伺いします。

7. 主に勤務している医療機関を選んでください。（該当が複数ある場合はすべてお選びください）

がん診療連携拠点病院	153 (38.3%)
拠点病院以外の病院	126 (31.6%)
大学病院	124 (31.1%)
臨床研修指定病院	109 (27.3%)
診療所	5 (1.3%)
該当なし	11 (2.8%)
無回答	4 (1.0%)

## VI あなたご自身についてお伺いします。

8. 最も近い専門を1つ選択してください。

内科	85 (21.3%)
外科	149 (37.3%)
総合診療科	2 (0.5%)
精神科	0 (0%)
脳神経外科	11 (2.8%)
耳鼻いんこう科	14 (3.5%)
泌尿器科	40 (10.0%)
婦人科	33 (8.3%)
整形外科	5 (1.3%)
腫瘍内科・化学療法科	15 (3.8%)
放射線科	20 (5.0%)
リハビリテーション科	1 (0.3%)
緩和ケア・緩和医療科	5 (1.3%)
麻酔科	0 (0%)
ペインクリニック科	0 (0%)
循環器科	0 (0%)
その他	12 (3.0%)
無回答	7 (1.8%)

結果  
(専門医間共通項目まとめ)

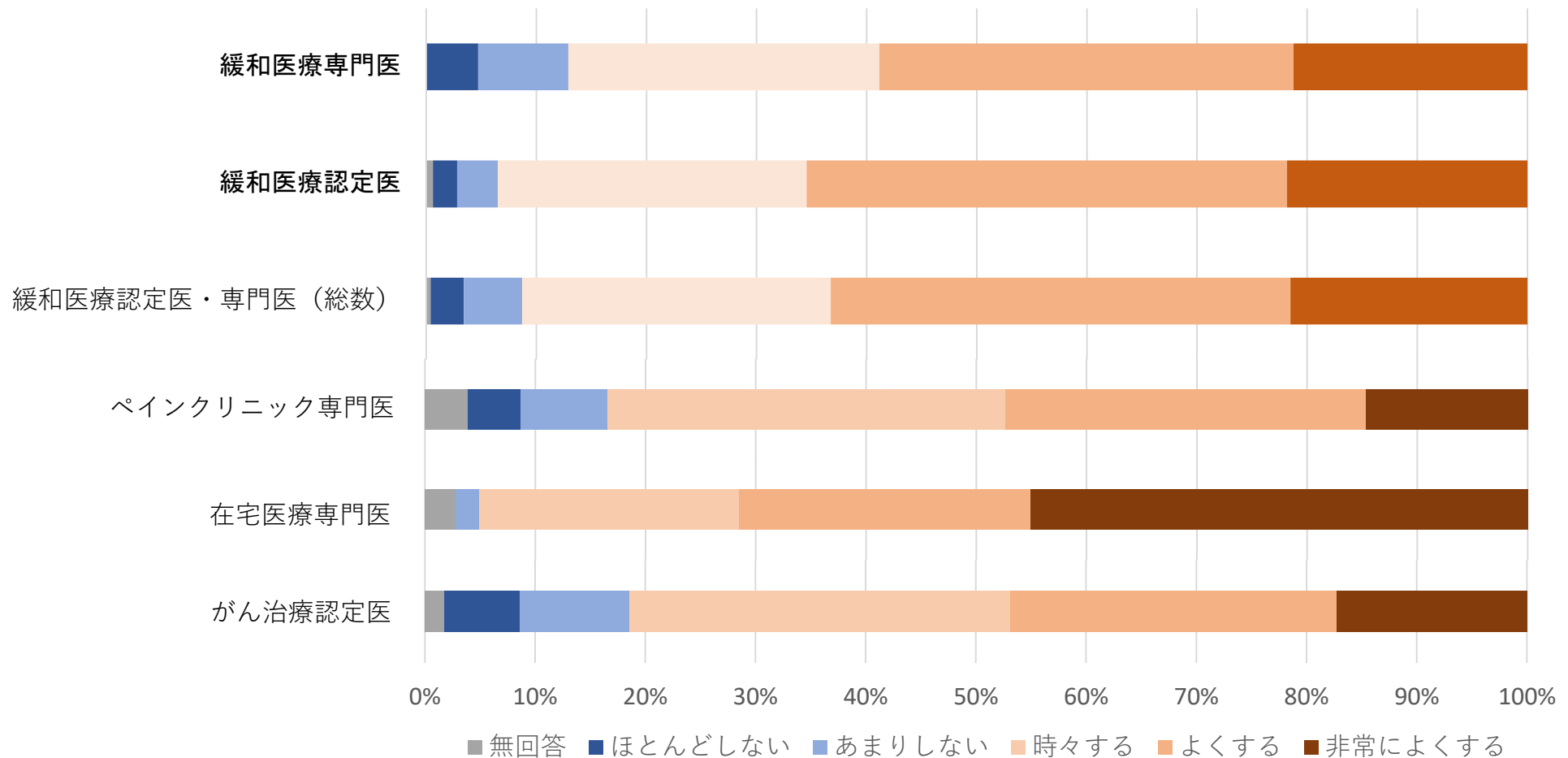
# がんの痛みが十分に緩和されない時に どのような対応をとるか

緩和医療専門医・認定医  
ペインクリニック専門医  
在宅医療専門医  
がん治療認定医

# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

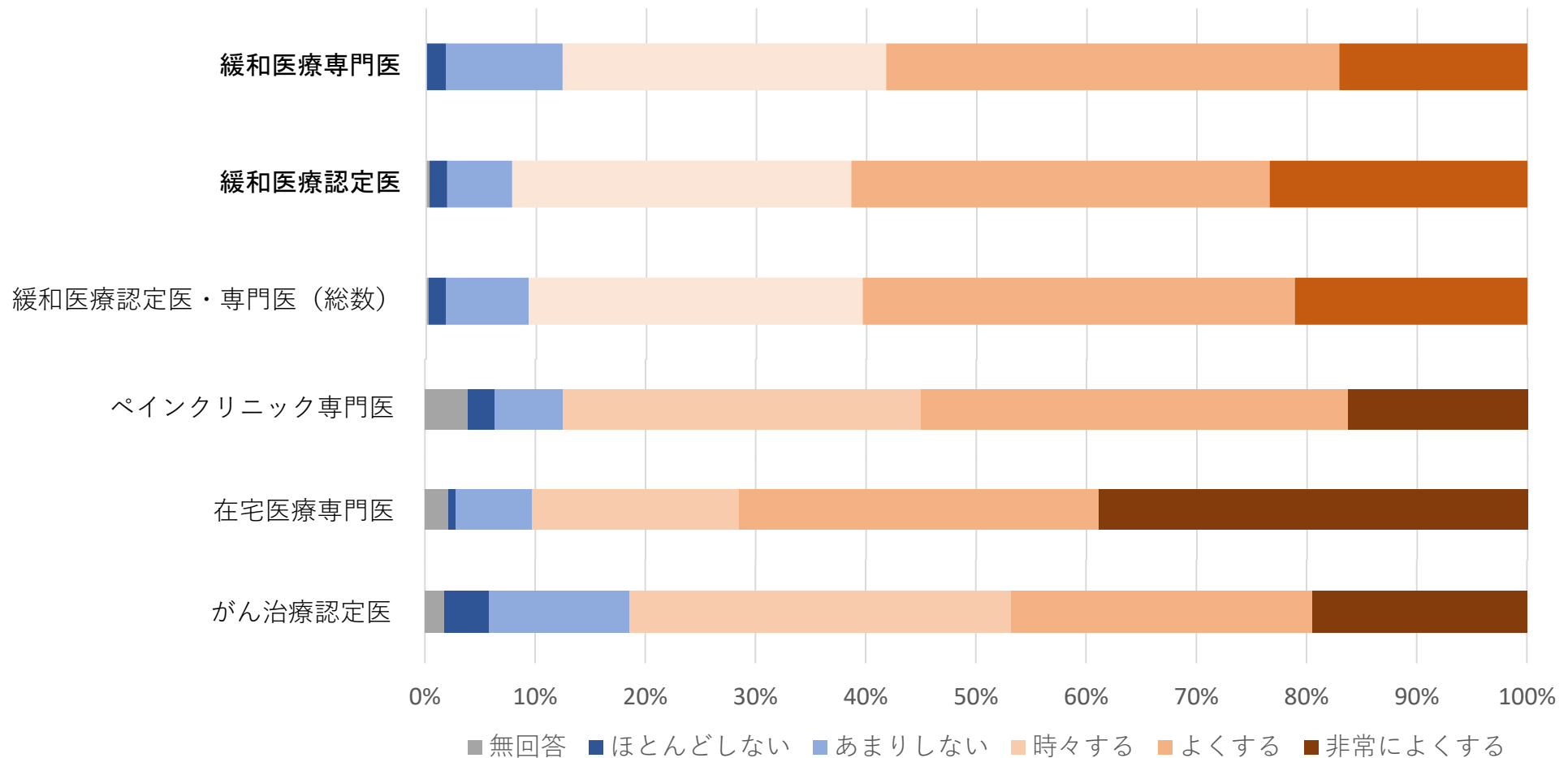
## 1) 自分で本やインターネットの情報を調べる



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

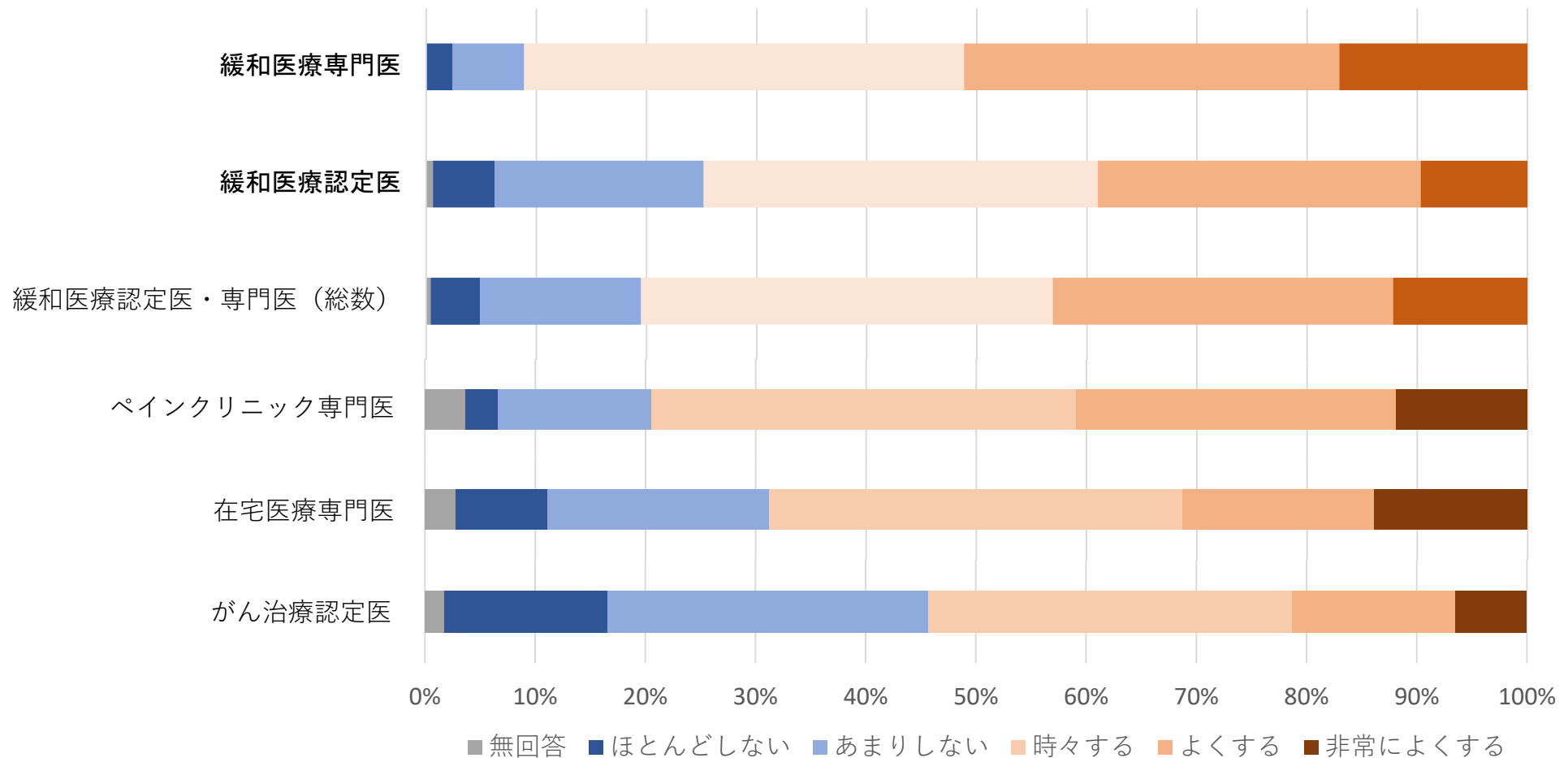
2) 自分でがんの痛みの治療に関するガイドラインを確認する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

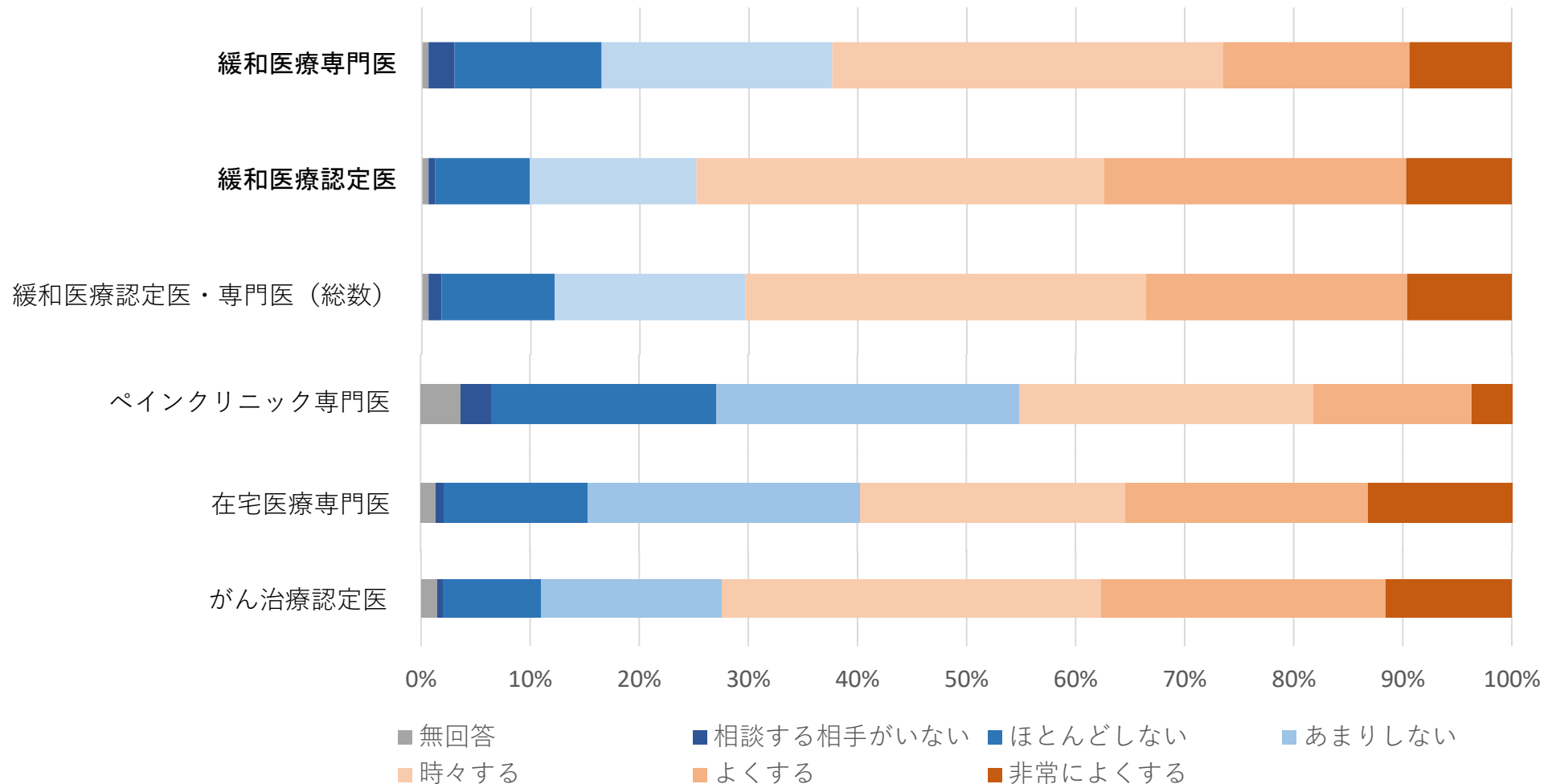
## 3) 自分で国内外の論文を調べる



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 4) 看護師や薬剤師に他の方法をきく

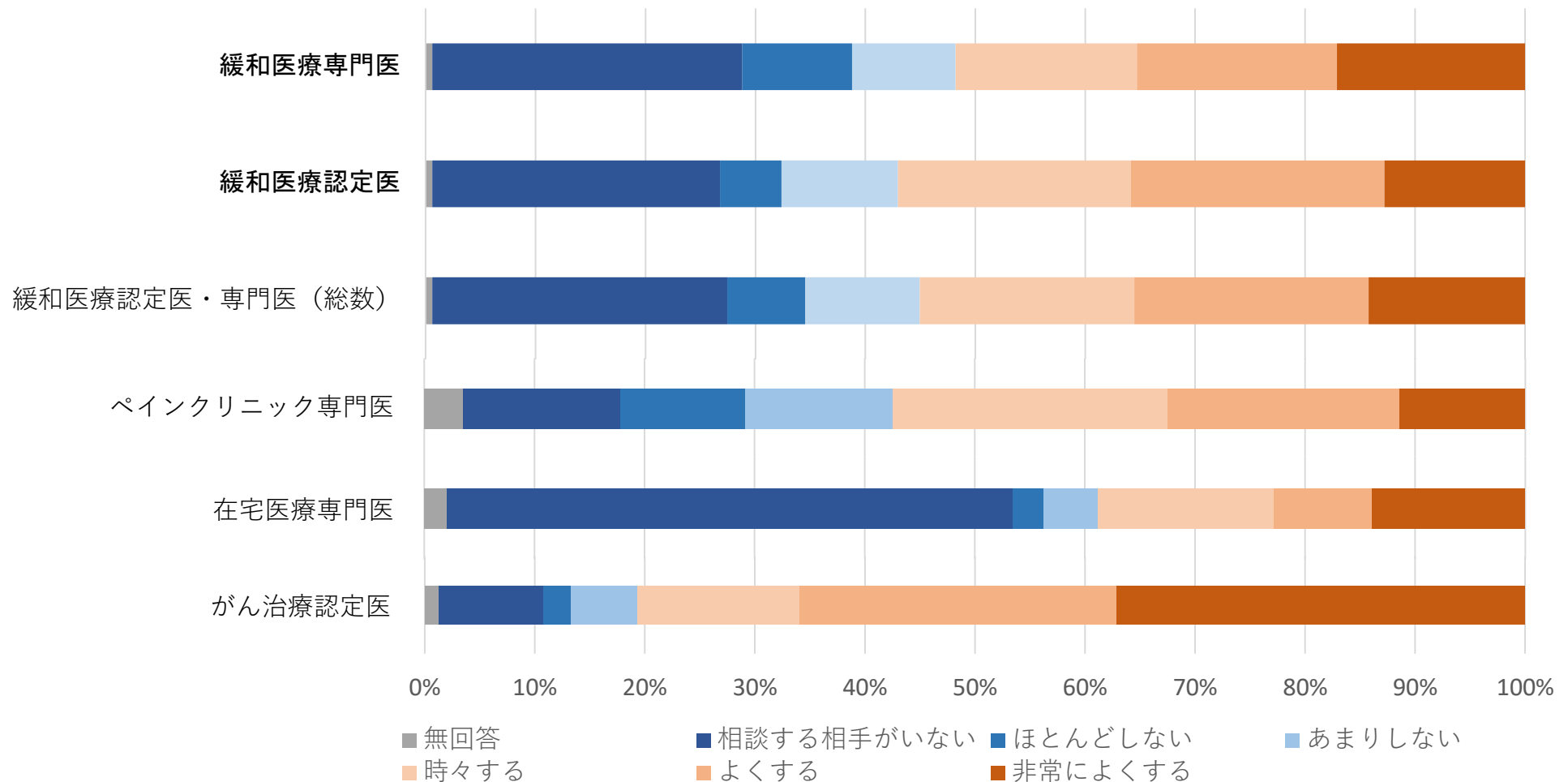




# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

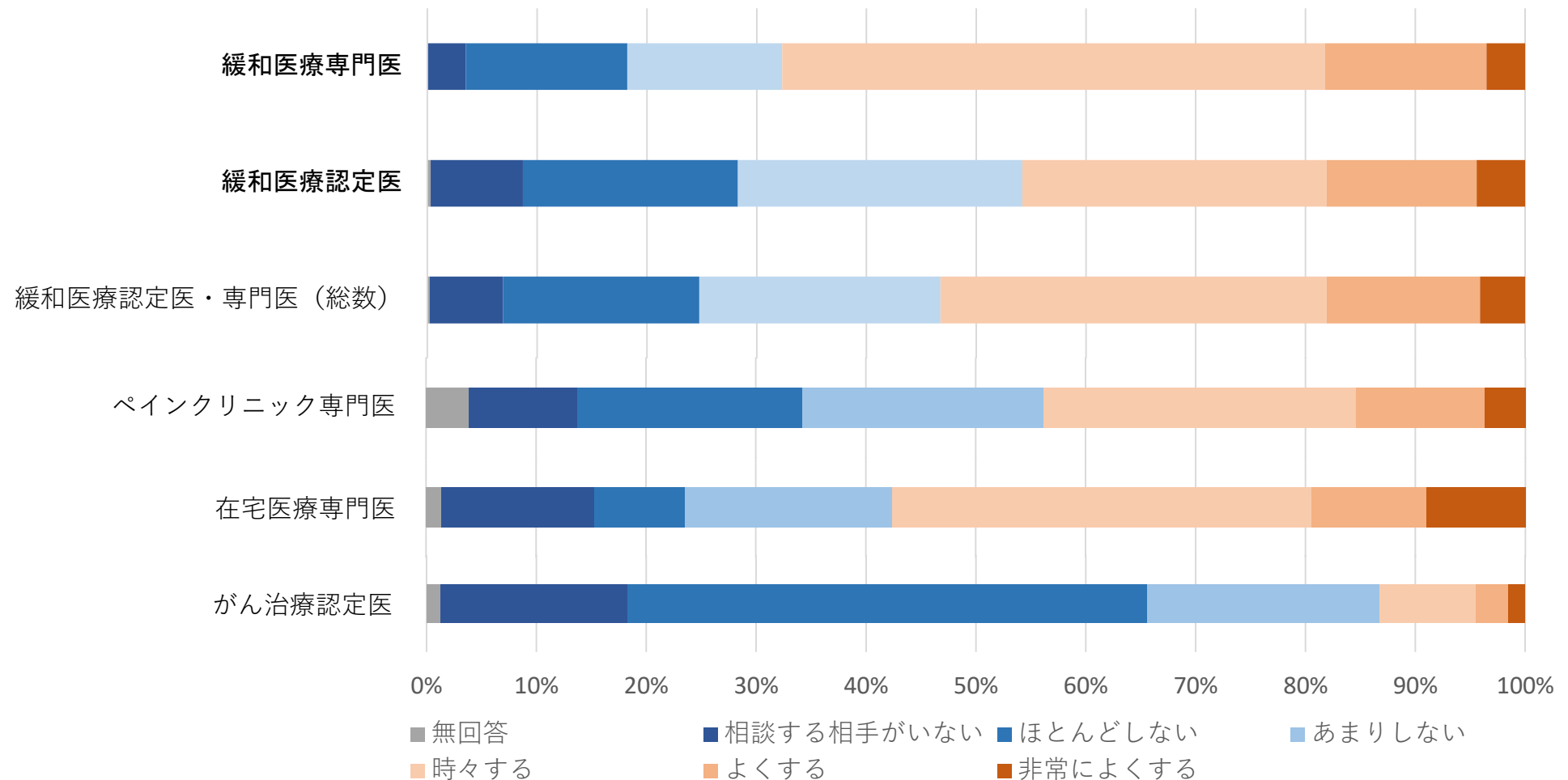
## 5) 院内の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

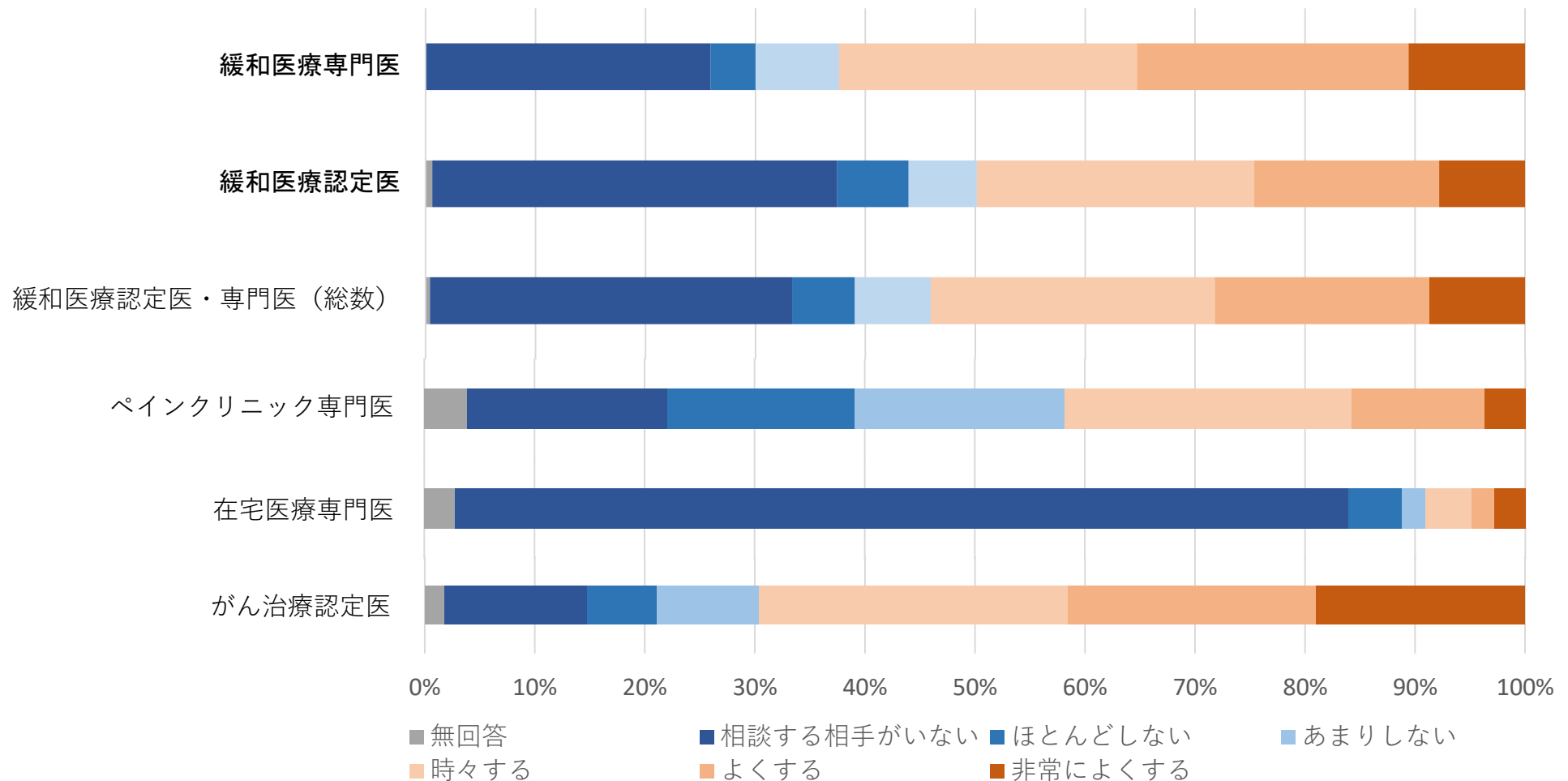
## 6) 院外の他の緩和ケアを専門としている医師に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

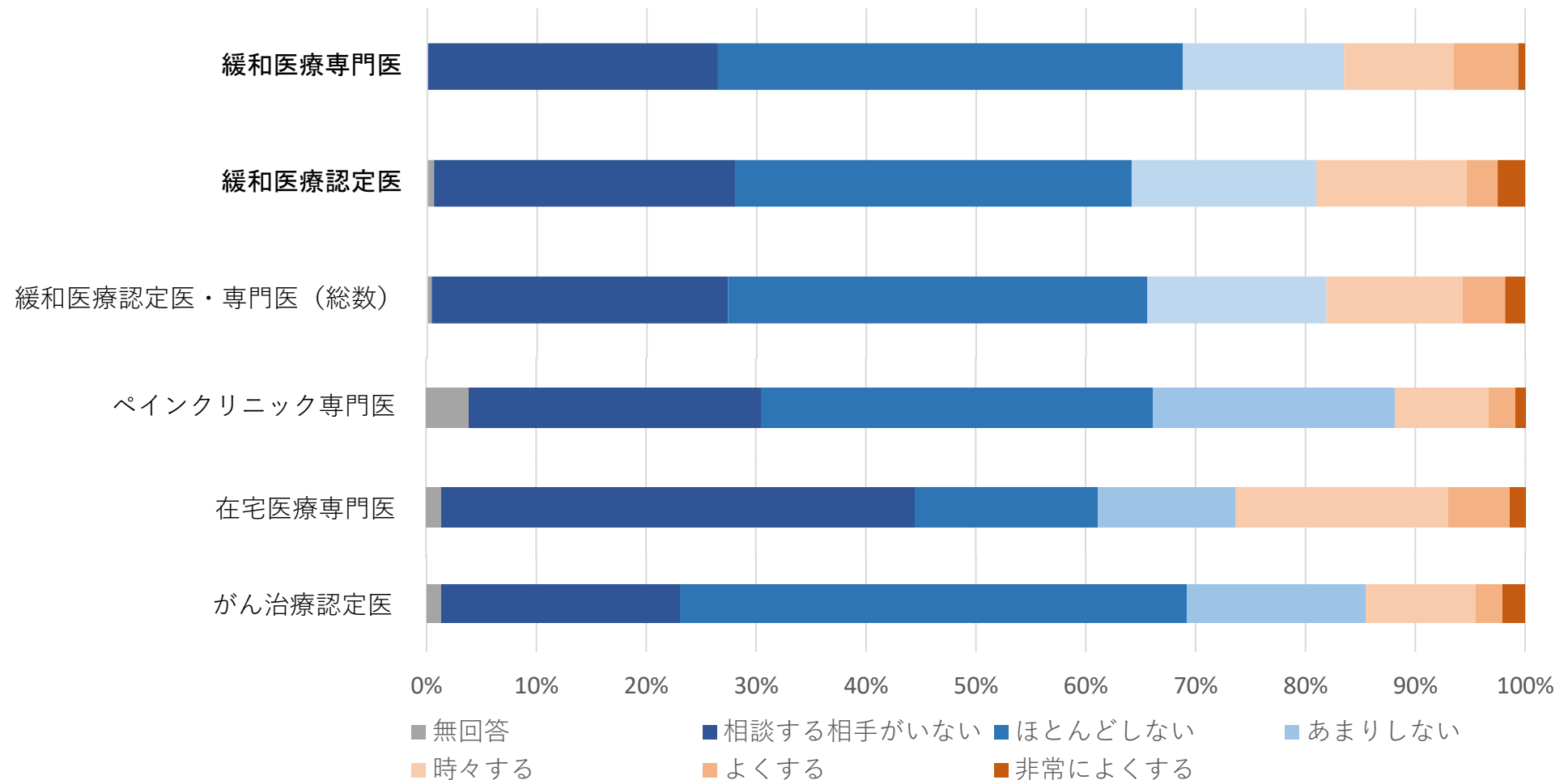
## 7) 院内の放射線治療医に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

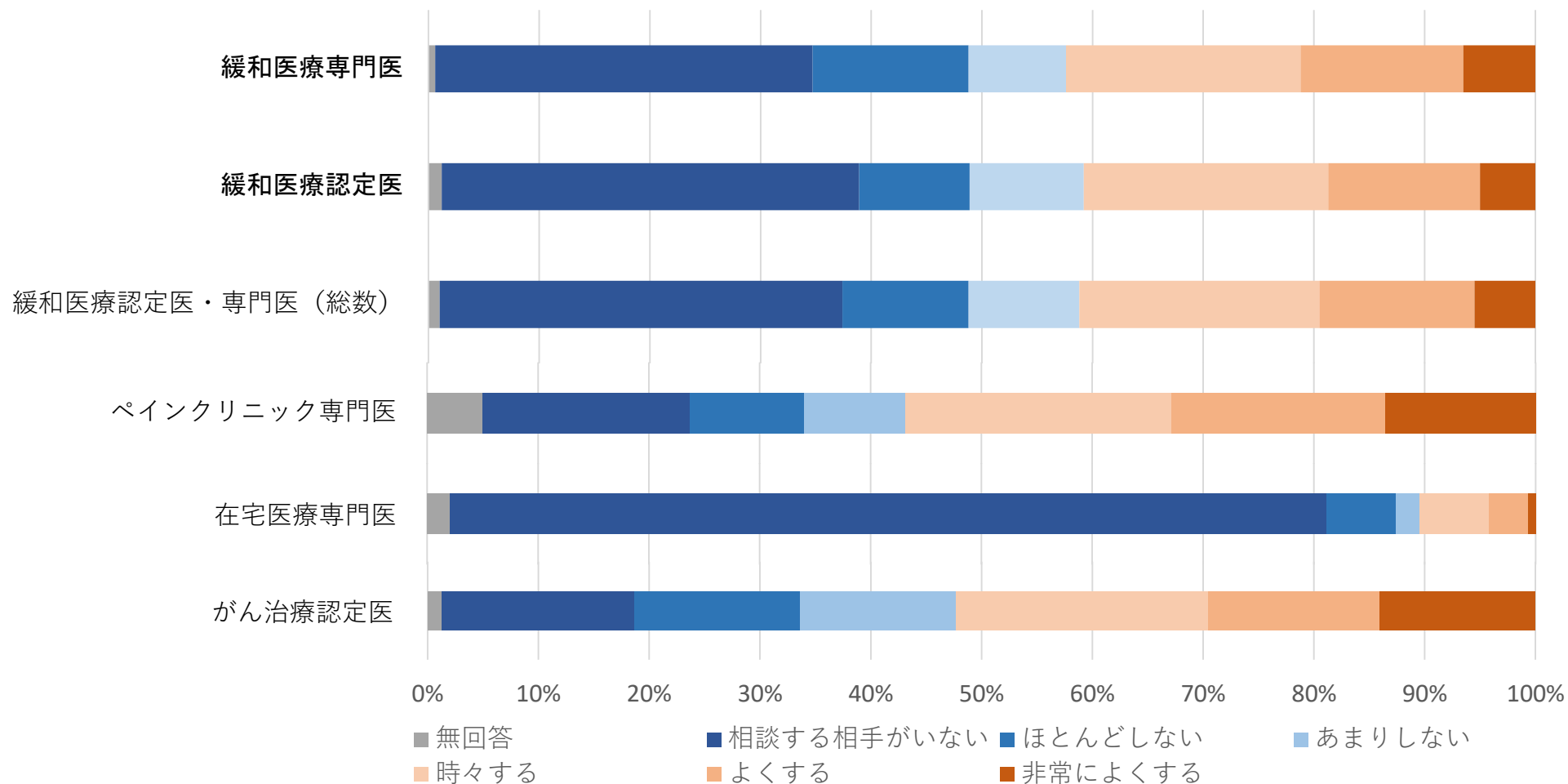
## 8) 院外の放射線治療医に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

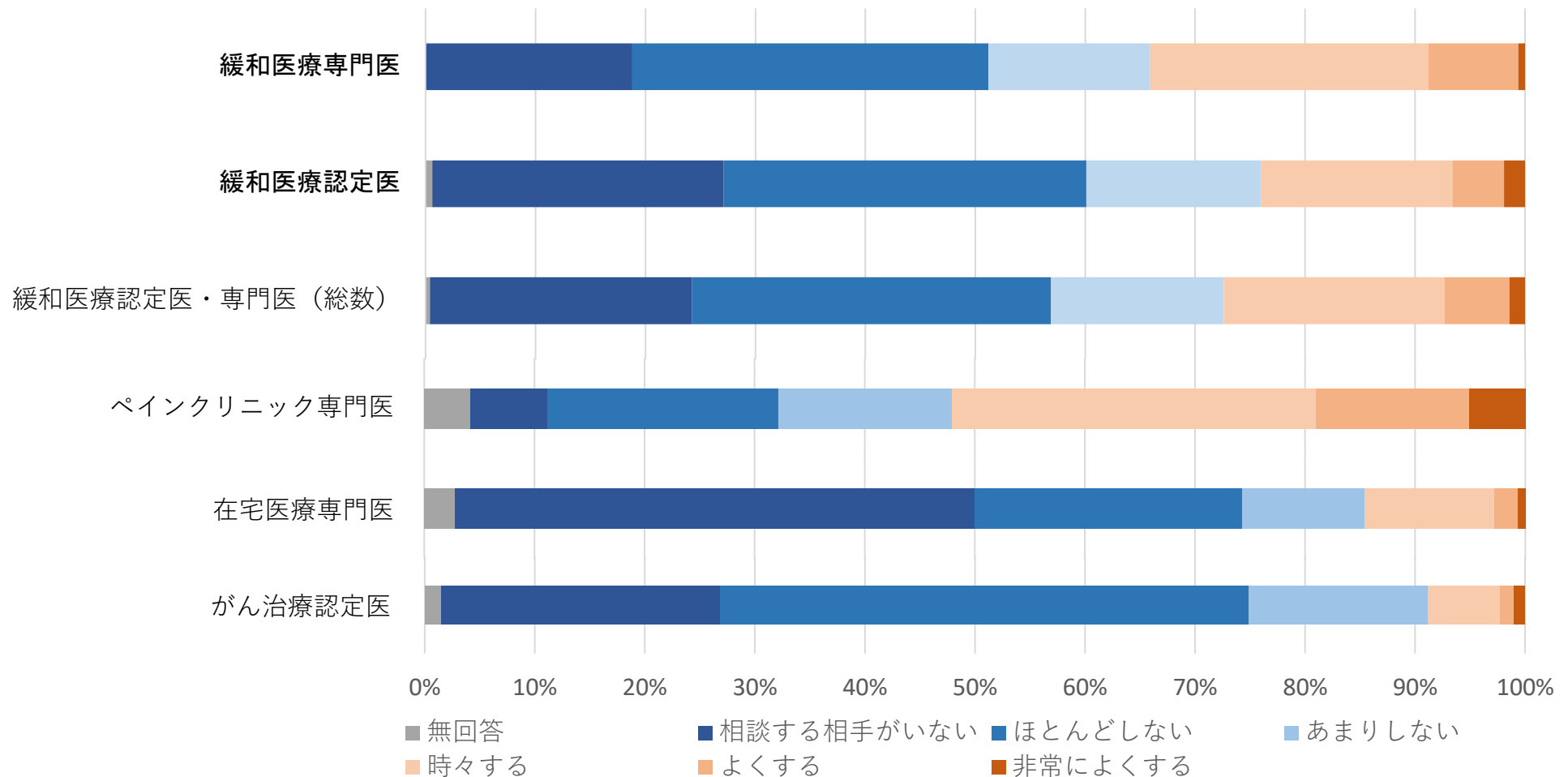
## 9) 院内のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

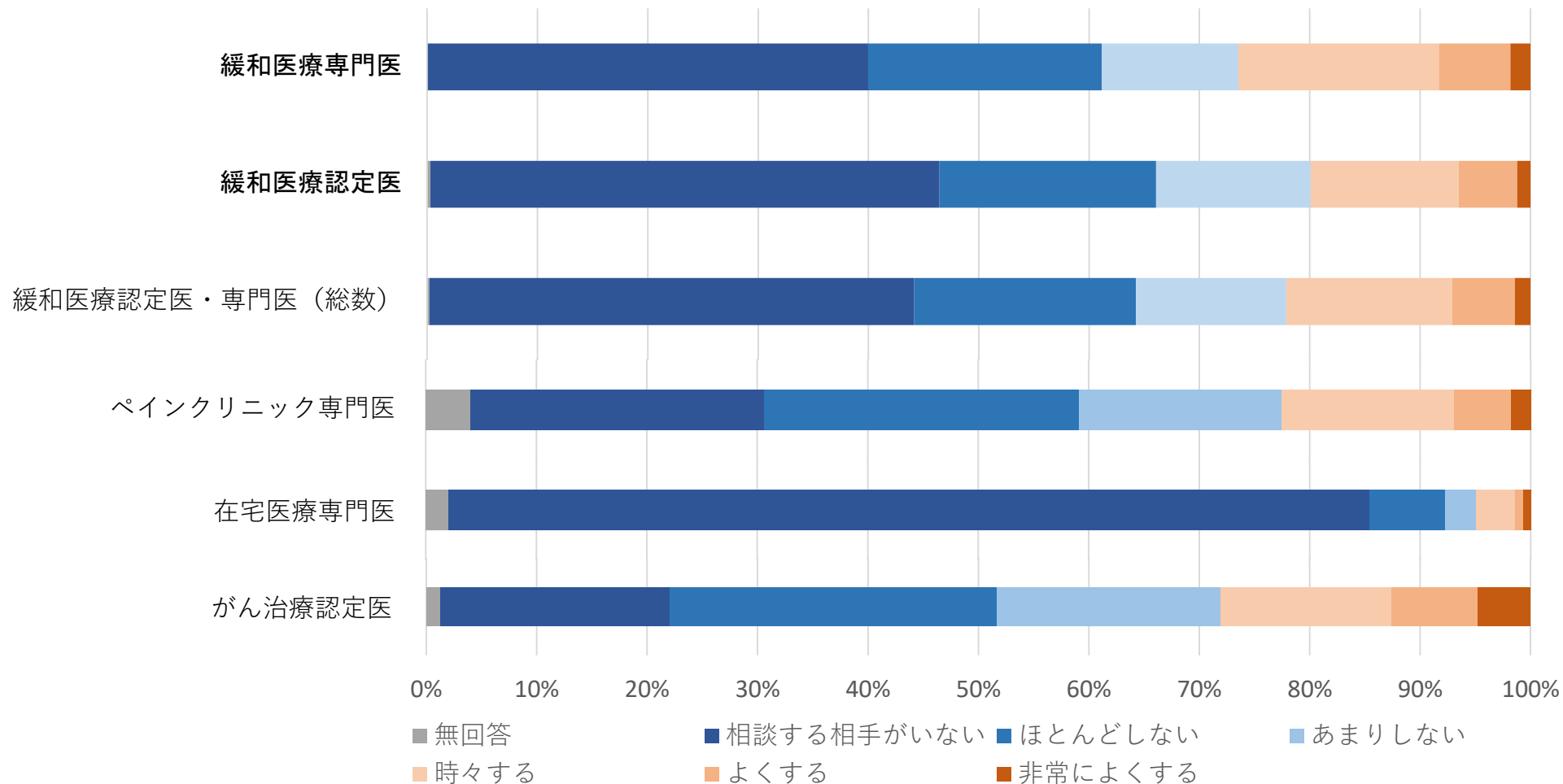
## 10) 院外のペインクリニック医・麻酔科医に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

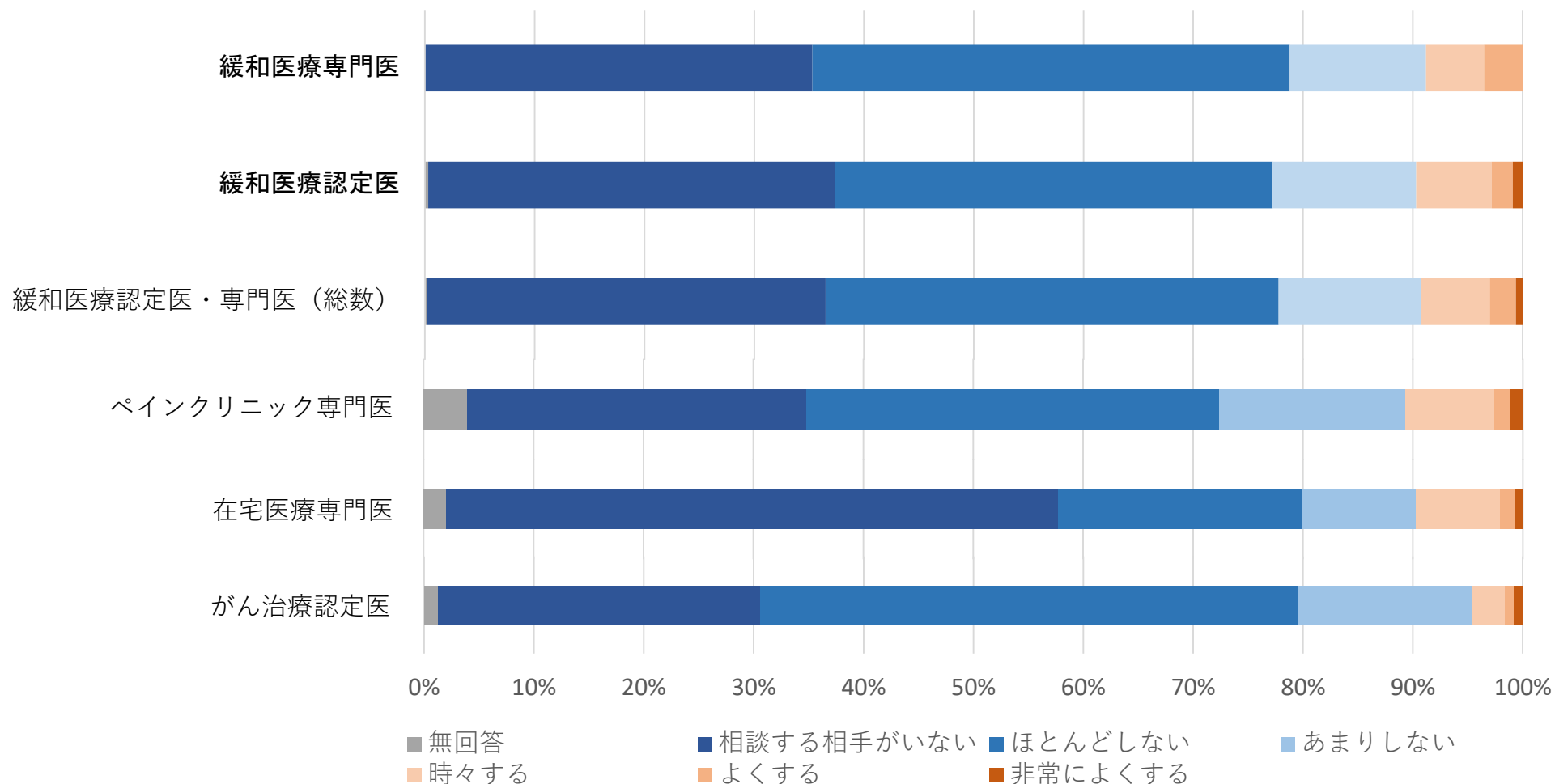
## 1 1) 院内の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する



# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 1 2) 院外の I V R (画像下治療) を行う放射線科医に相談する

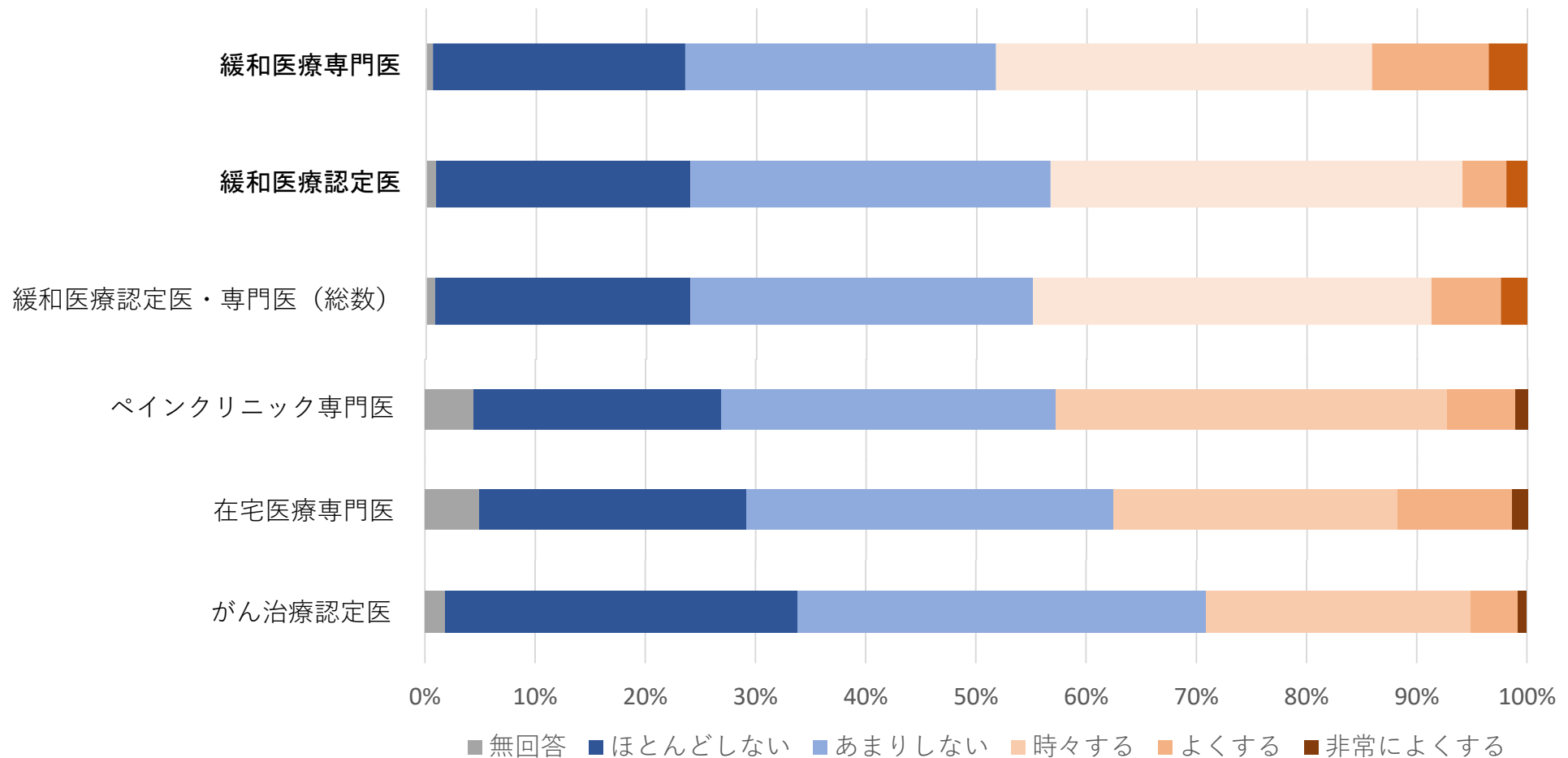




# がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

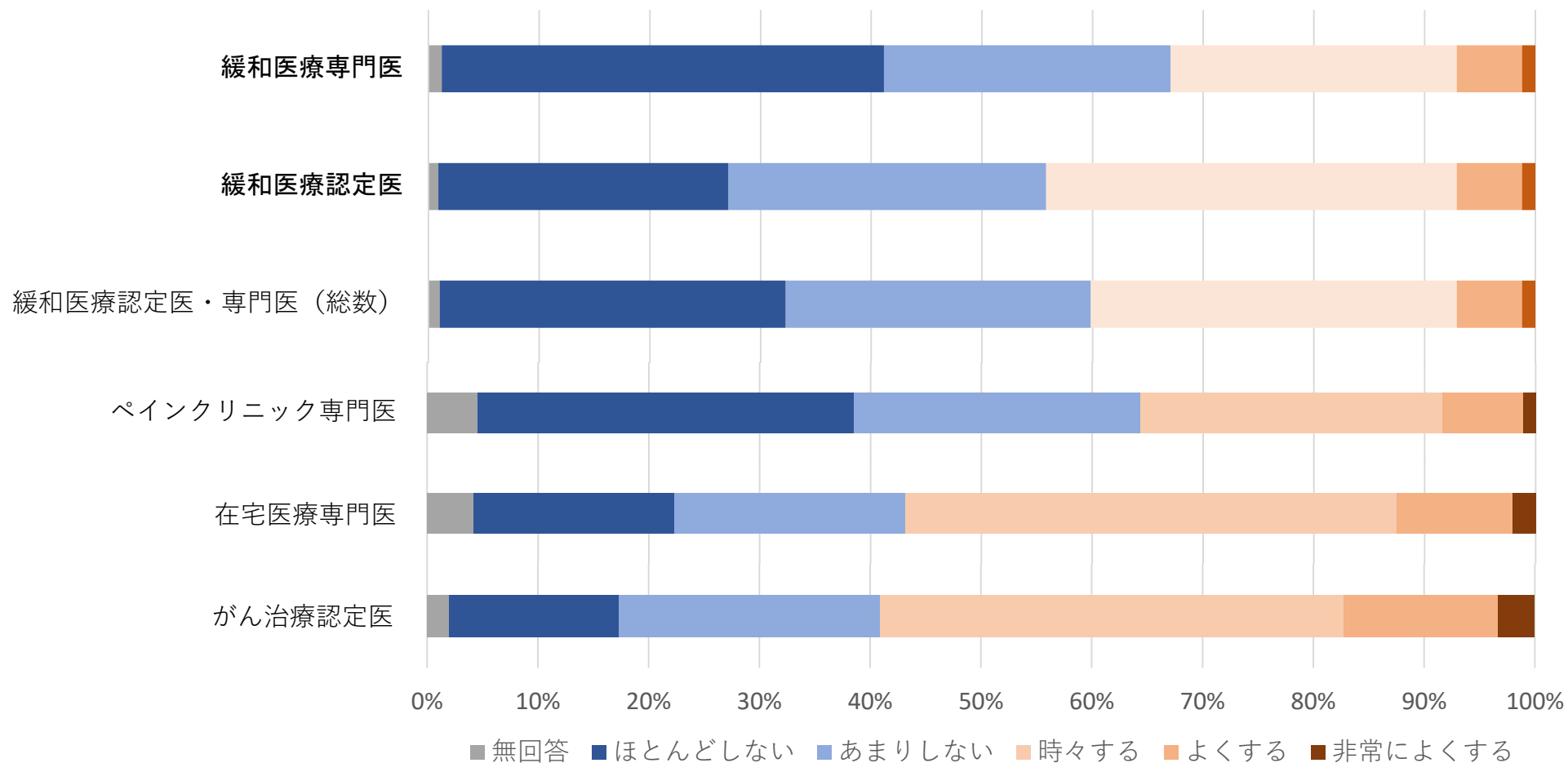
## 1 3) 痛みをこれ以上和らげることが難しいことを患者に説明する



## がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

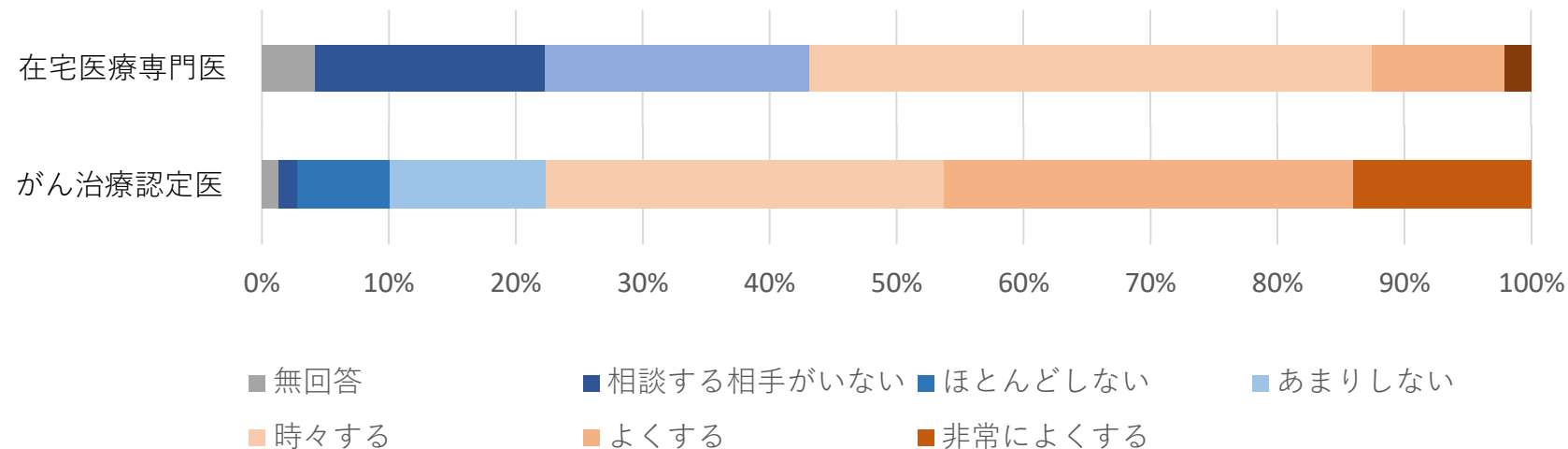
1 4) せん妄や呼吸困難は伴わない患者で、治療抵抗性の痛みを緩和することを目的として鎮静薬を投与する



## がんの痛みが十分に緩和されない時の対応についてお伺いします。

1. あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない時に、どのような対応を取られますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

15) 自分の診療科の他の医師に他の方法をきく（在宅医療専門医・がん治療認定医のみ）



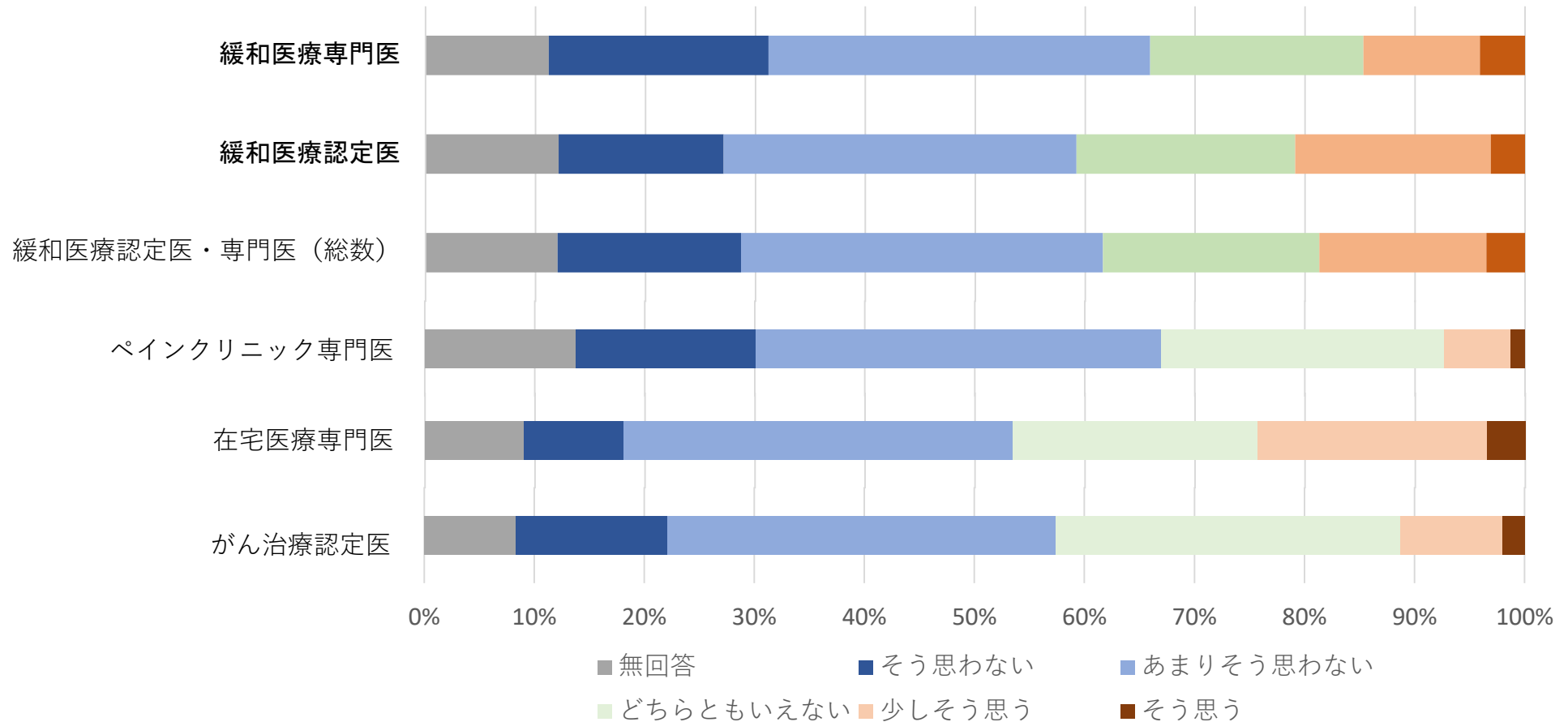
# がんの痛みの治療の現状と改善策 に関する考え

緩和医療専門医・認定医  
ペインクリニック専門医  
在宅医療専門医  
がん治療認定医

# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

1. がんの痛みの治療の現状について、当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

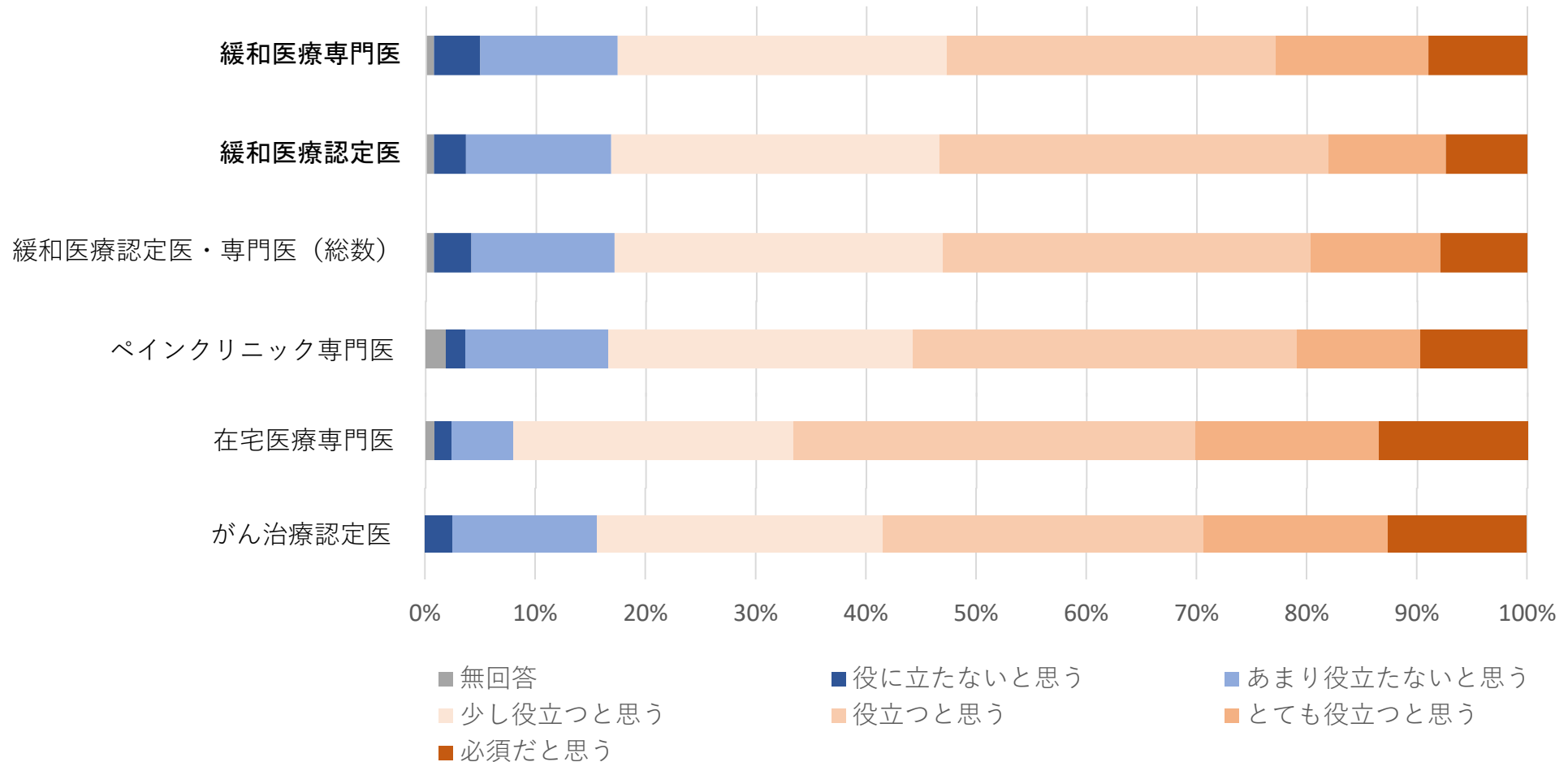
痛みについては現状で対応できており、これ以上の改善策は必要ない



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

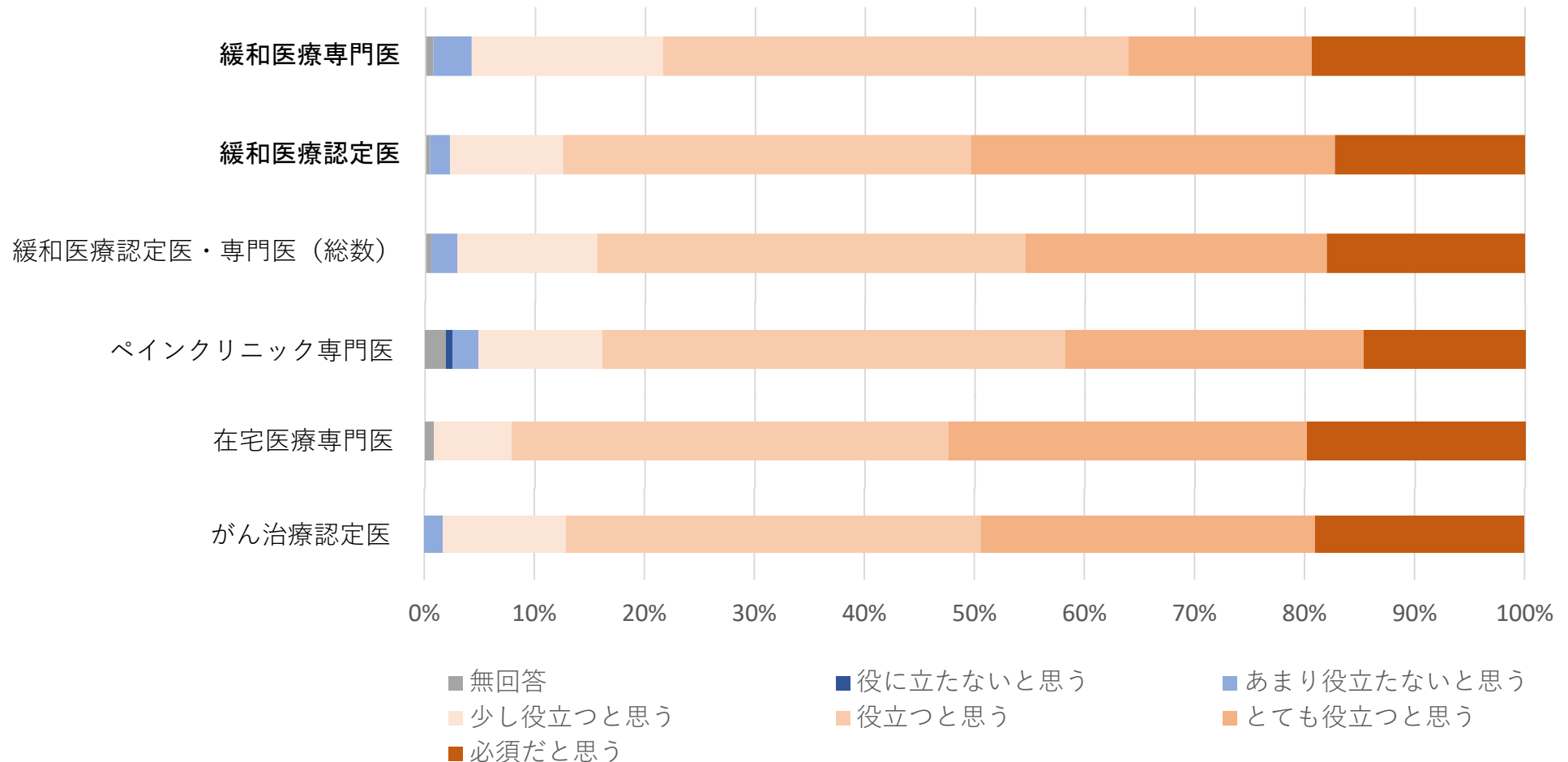
## 1) 医師の仕事（担当患者数や委員会業務など）を適正な量に減らす



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

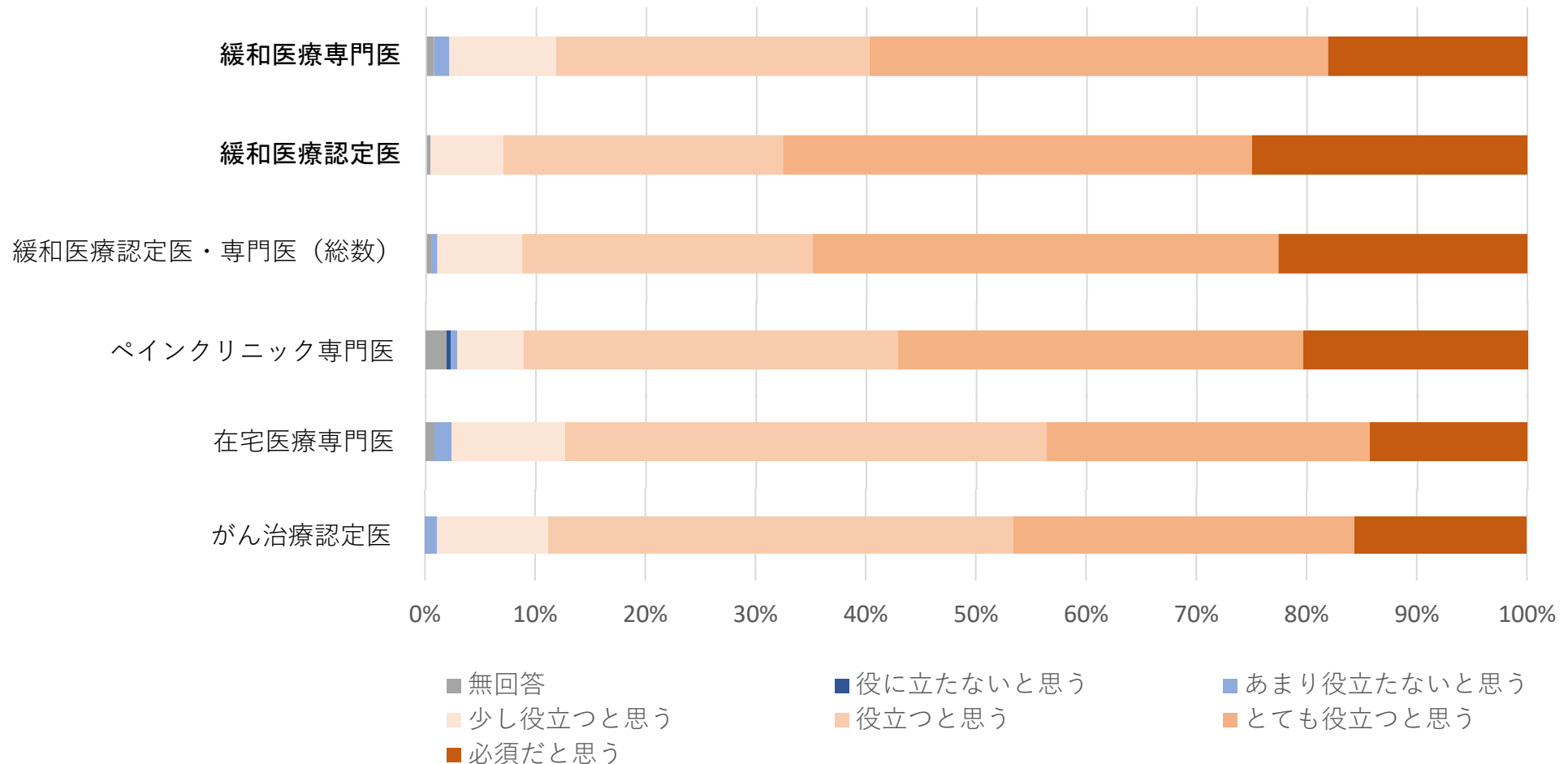
## 2) 医師以外のスタッフ（看護師や薬剤師など）が、痛みのアセスメントやフォローアップを行う



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

## 3) 放射線治療や神経ブロックなど薬物療法以外の方法が確実に実施できる

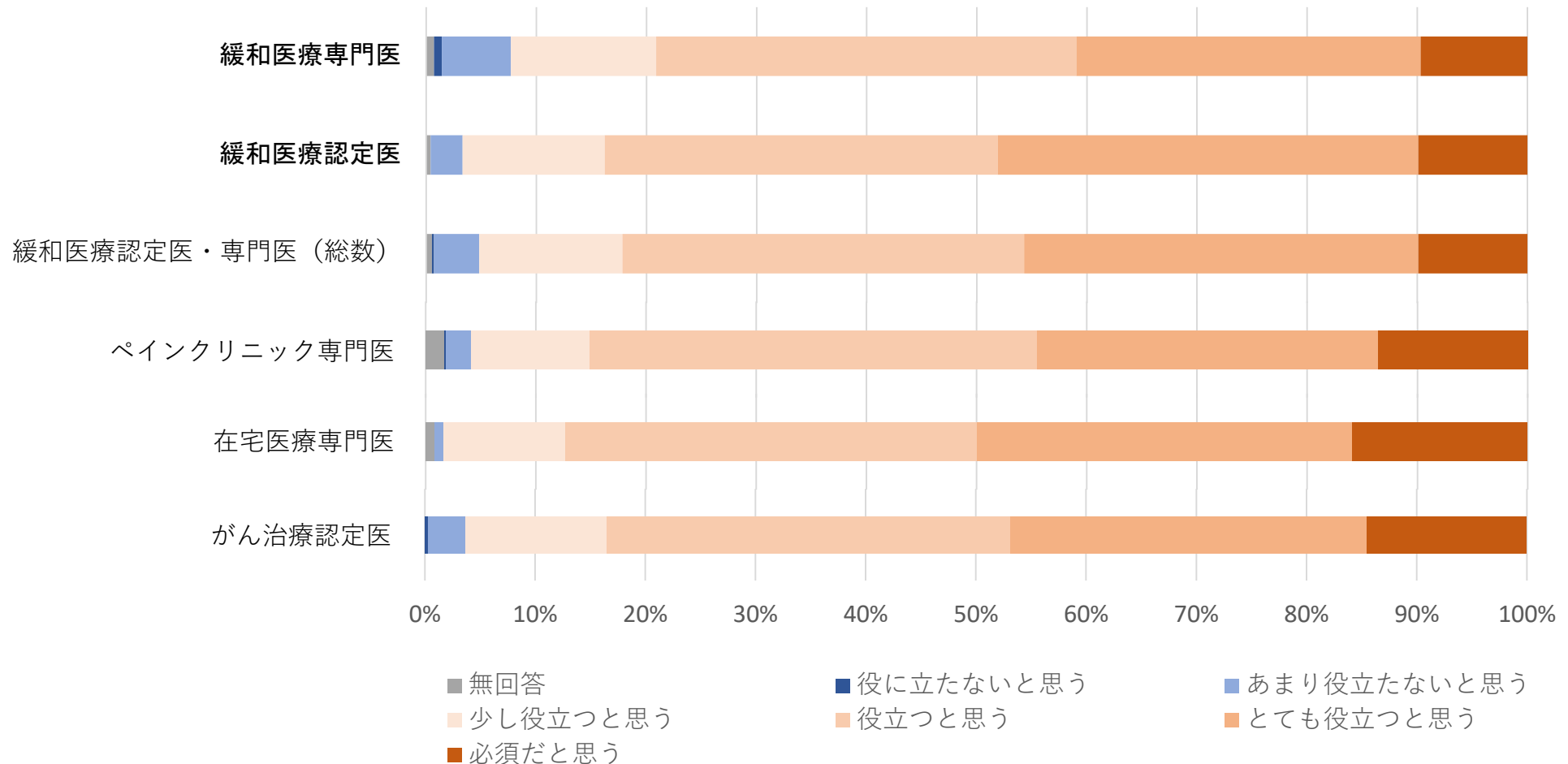




# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

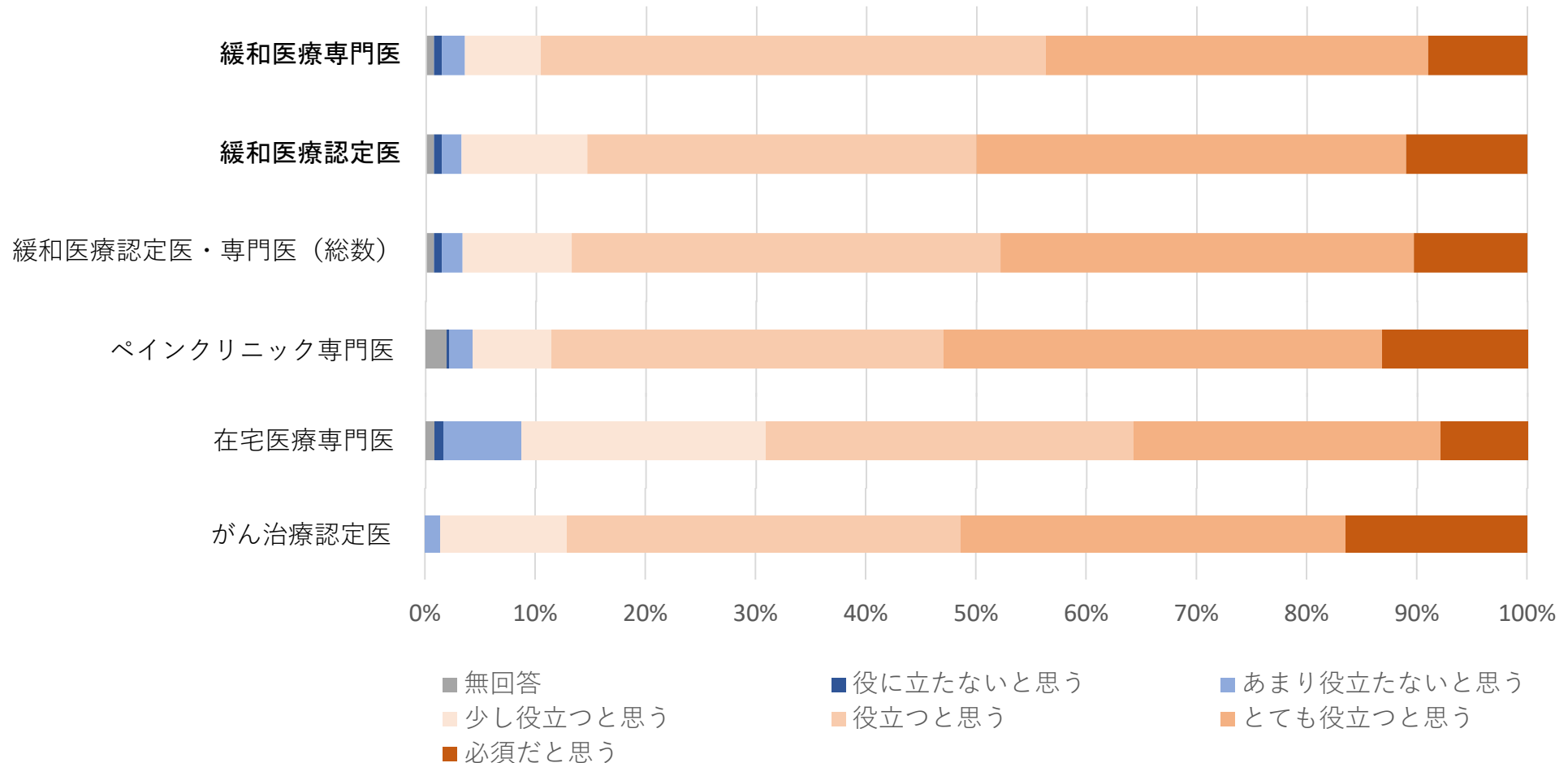
4) 今より気楽に専門家に相談することができる（ICT〔情報通信技術〕を用いた他施設との相談など）



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

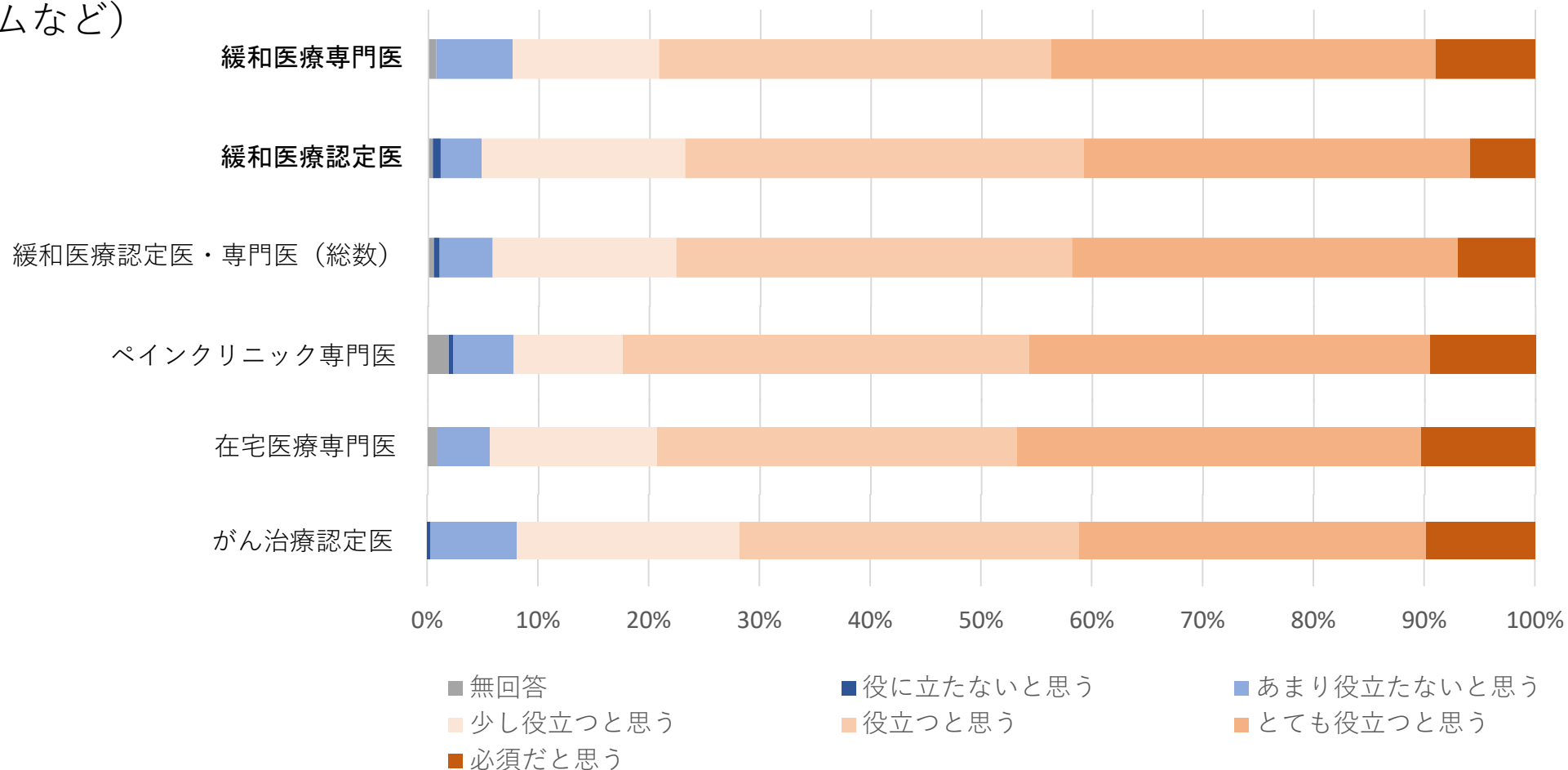
## 5) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、患者を直接診察する



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

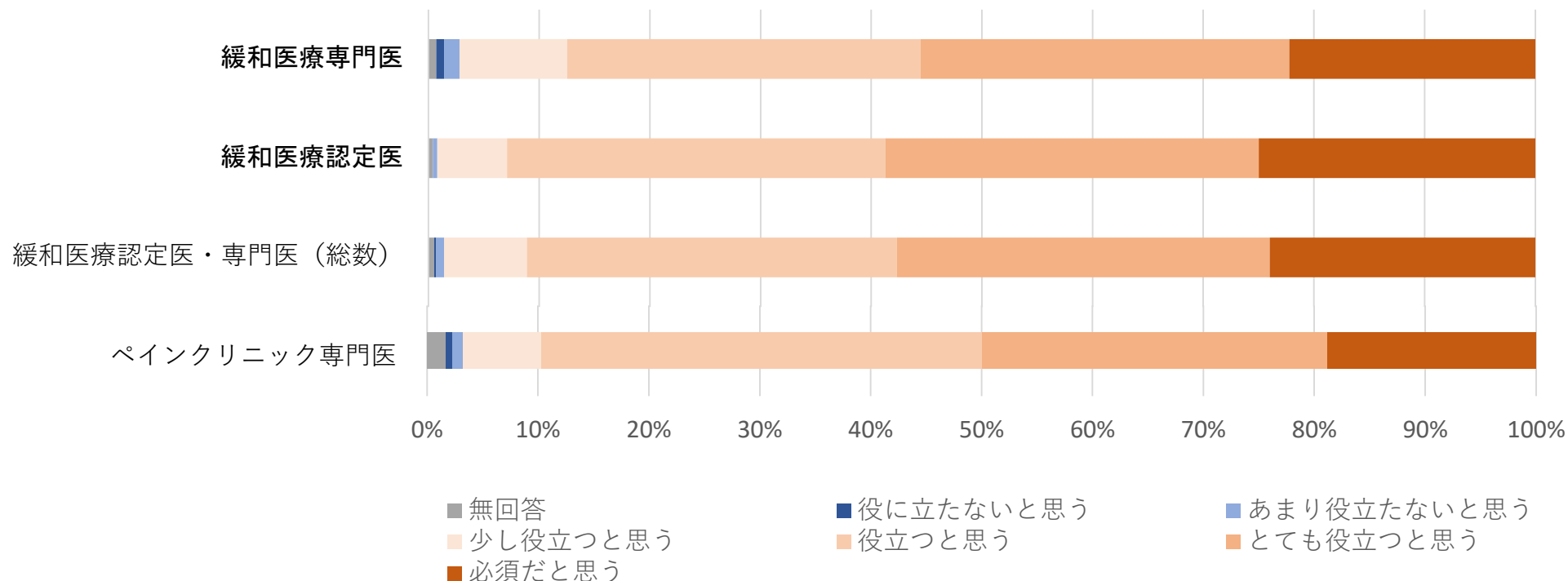
6) がん疼痛の診療経験が豊富な医師が、地域全体で診療できるようにする（複数の病院の掛け持ちや地域緩和ケアチームなど）



## がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) 緩和ケアチームの医師や看護師が、難治性疼痛の治療に関する知識や技術をもっと身につける

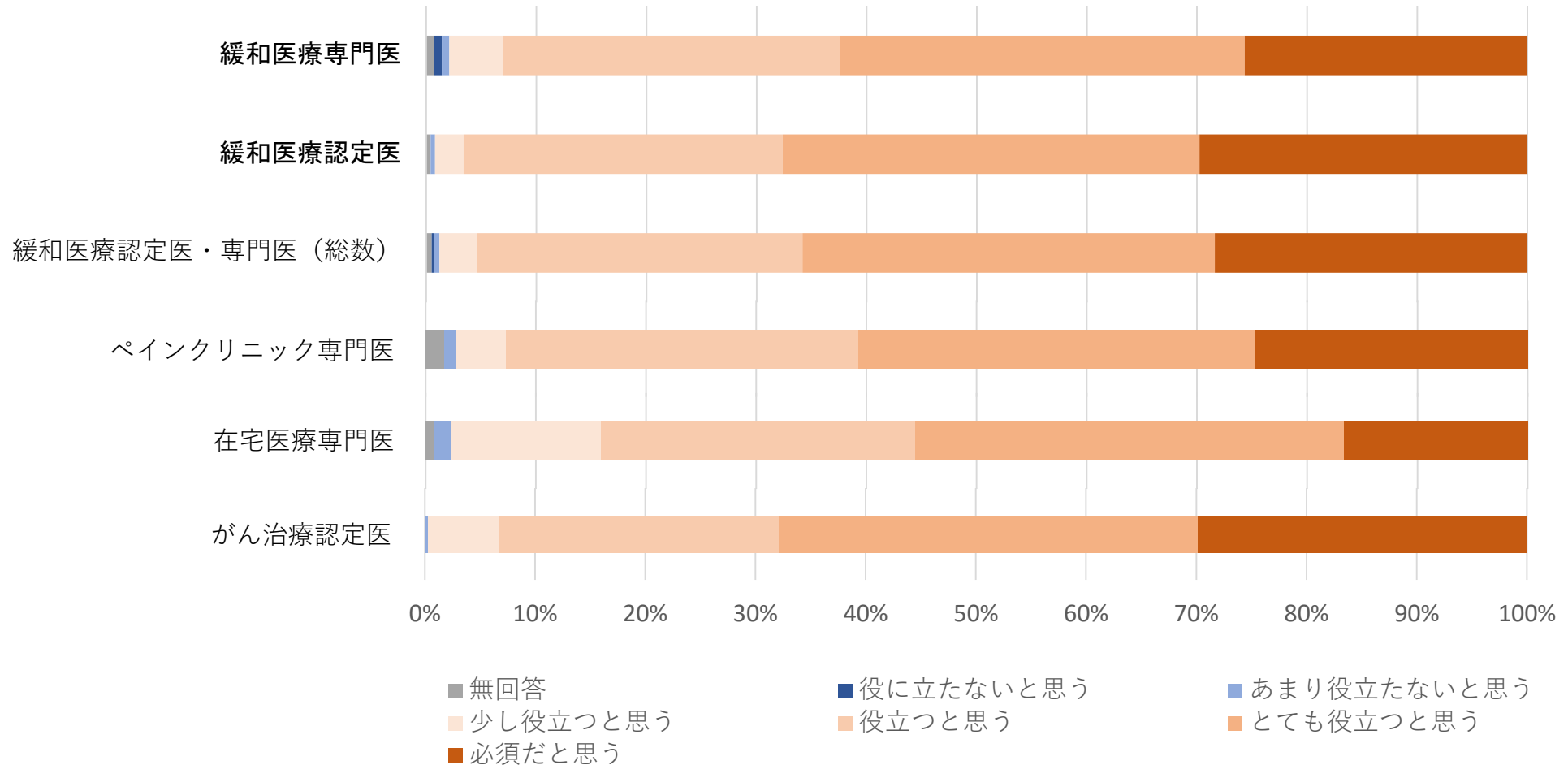


在宅医療専門医・がん治療認定医には尋ねず  
(別項目により詳細な設問あり)

# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

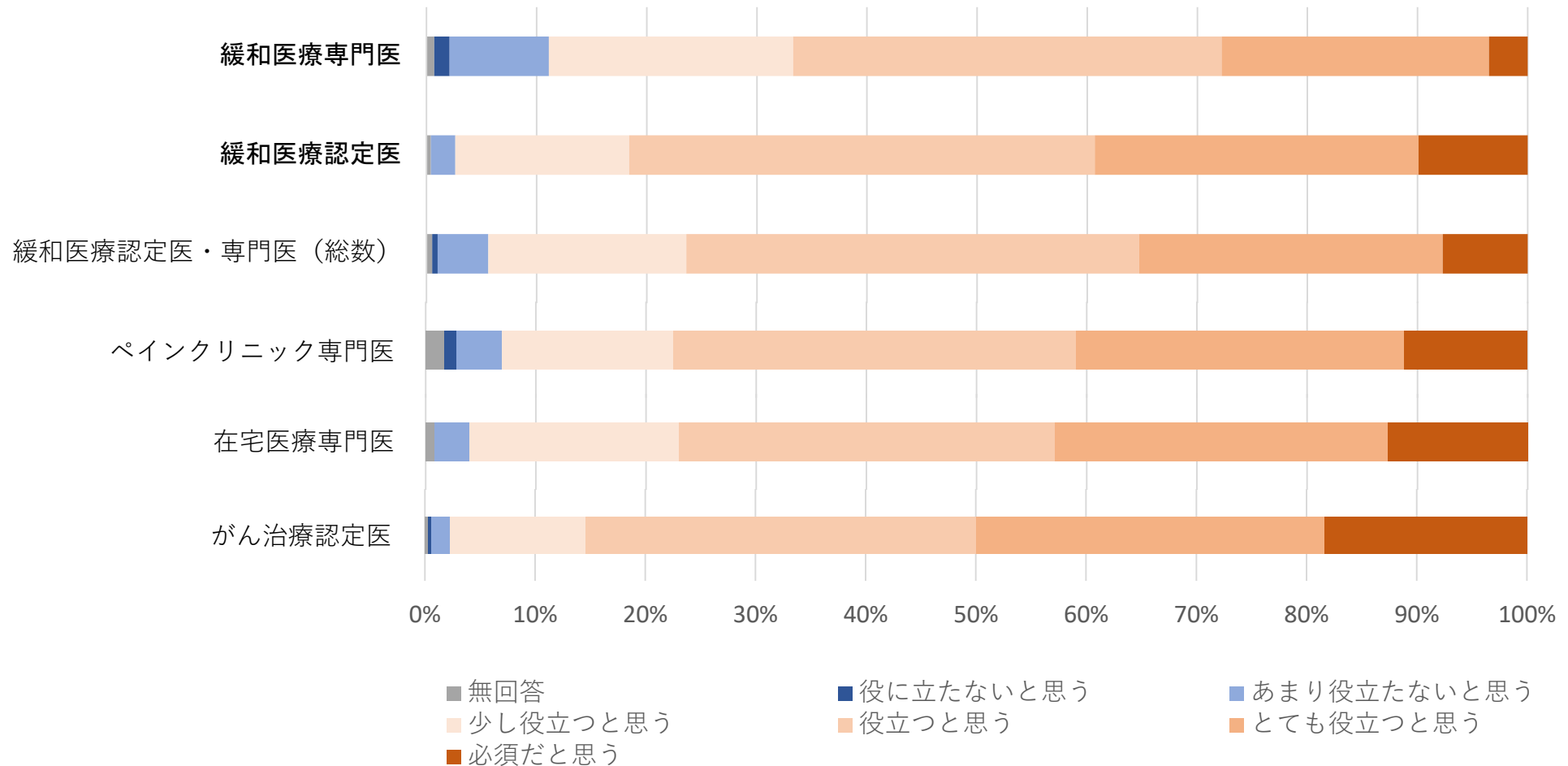
8) 施設内で、主治医と、緩和ケアチームや難治性のがん疼痛の診療経験が豊富な医師がよく連携する



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

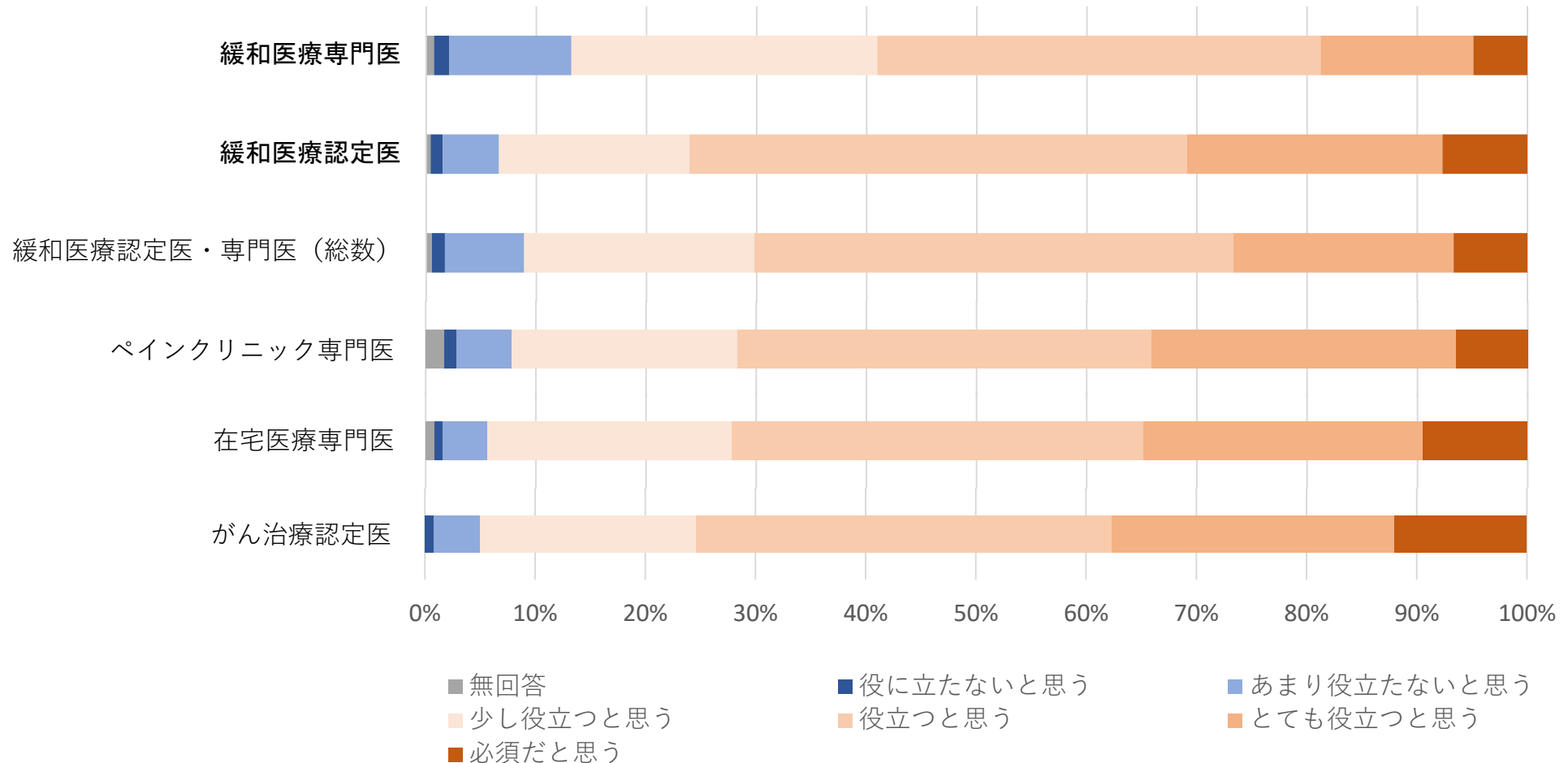
## 9) 難治性のがん疼痛に関する手引きやアルゴリズムを整備する



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

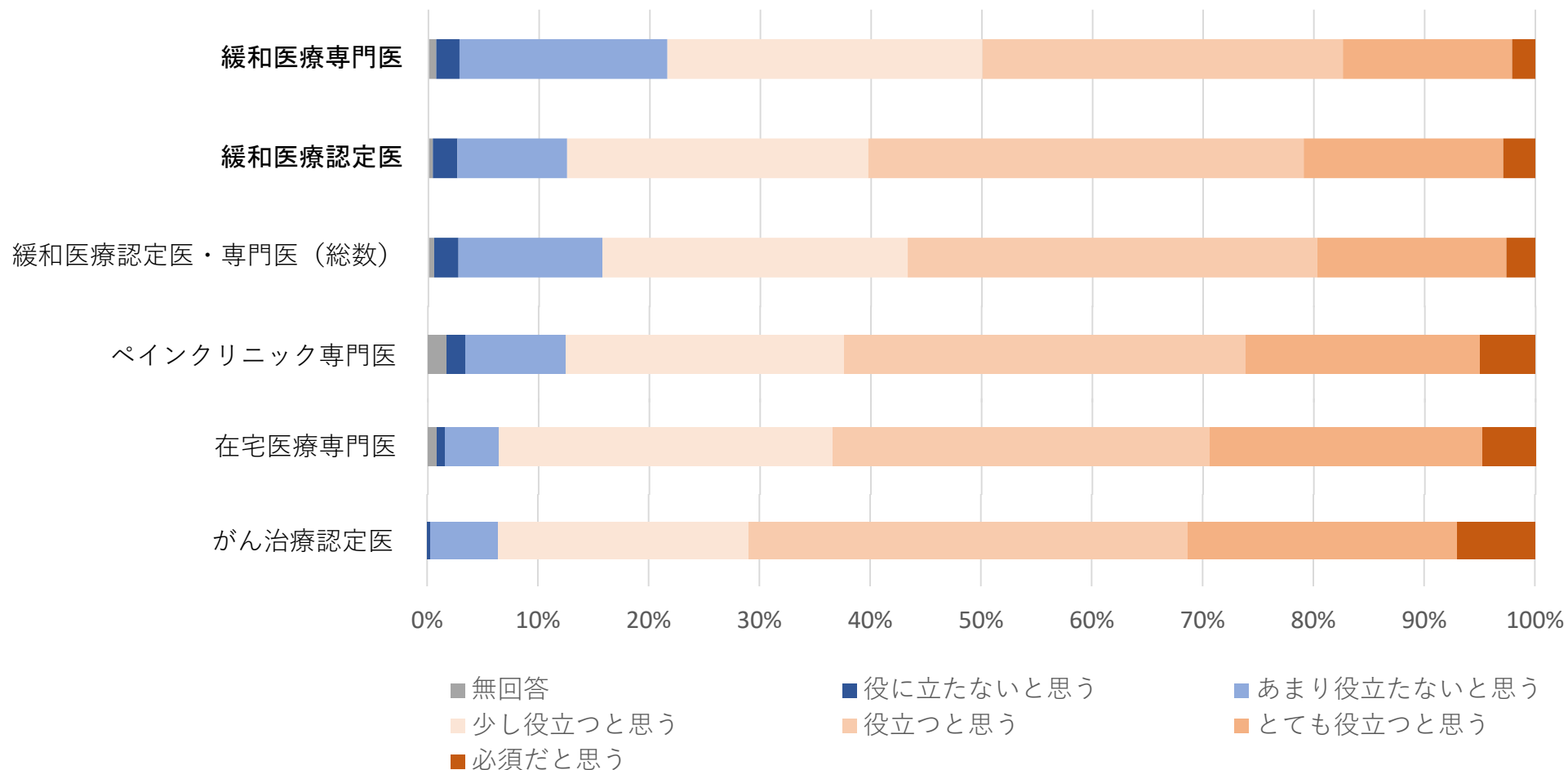
## 1 0) 対応が必要な痛みがある患者を見つけるスクリーニングの方法を確立する



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. すべてのがん患者の痛みが十分に緩和されるために、以下の医療現場での対策についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 1) 患者が、自宅などの病院外で、タブレットなどで痛みの評価を入力すると電子カルテに記録される





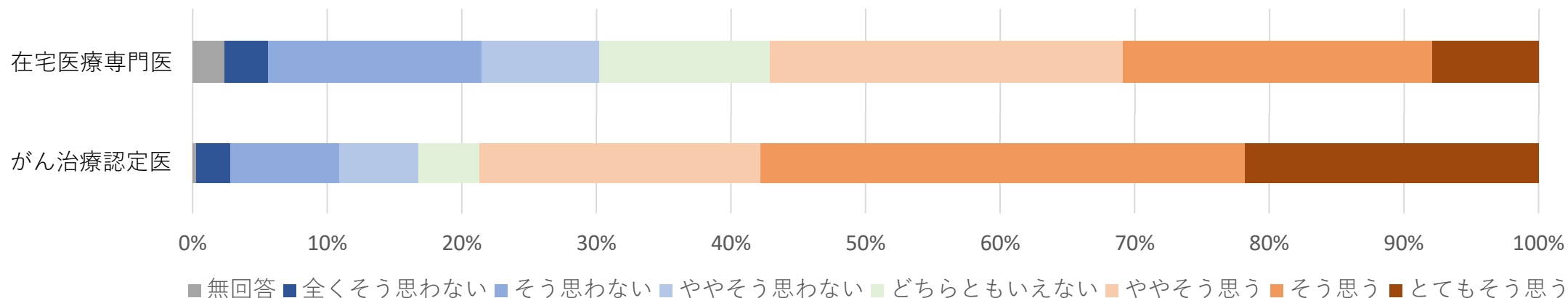
がんの痛みの治療の現状と改善策  
に関する考え  
～各専門医に望むこと～

在宅医療専門医  
がん治療認定医

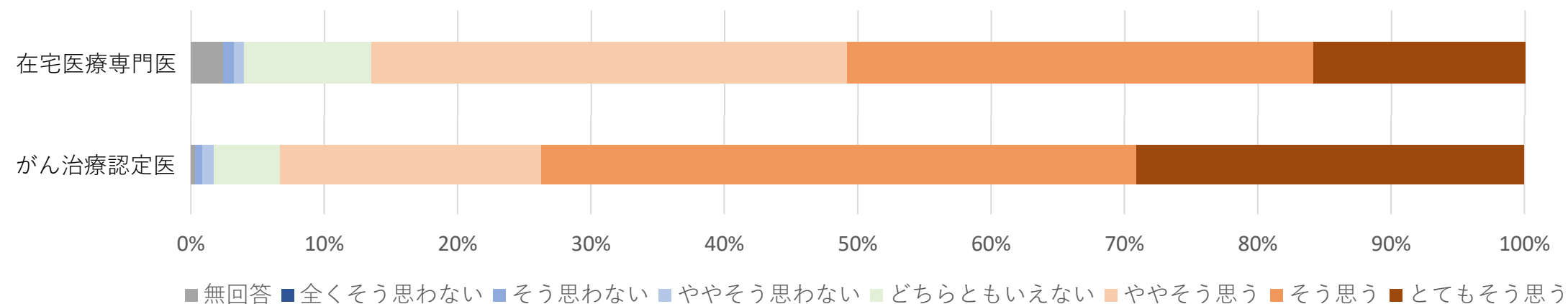
# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1) 痛みがとり切れない時に、専門的な疼痛治療について専門家にコンサルテーションを受けることができる



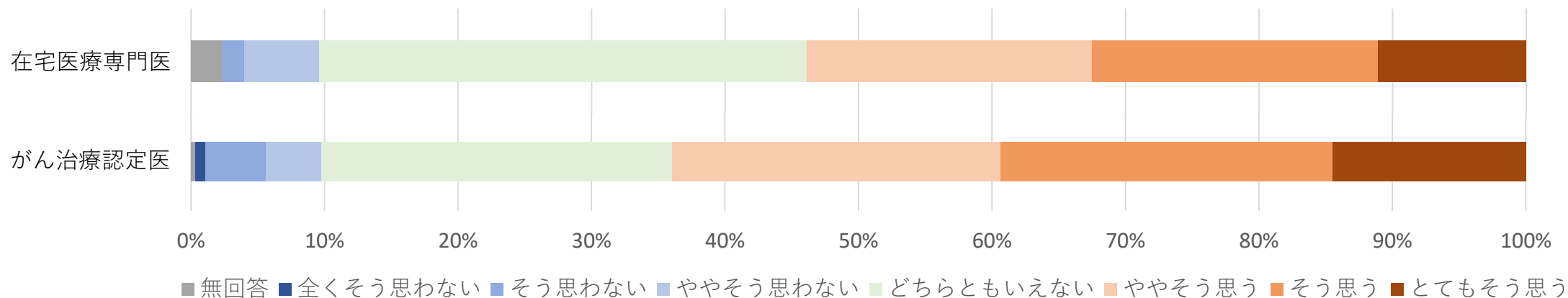
2) 痛みがとり切れない時には、患者に専門的な疼痛治療をもっと実施できるようにする必要がある



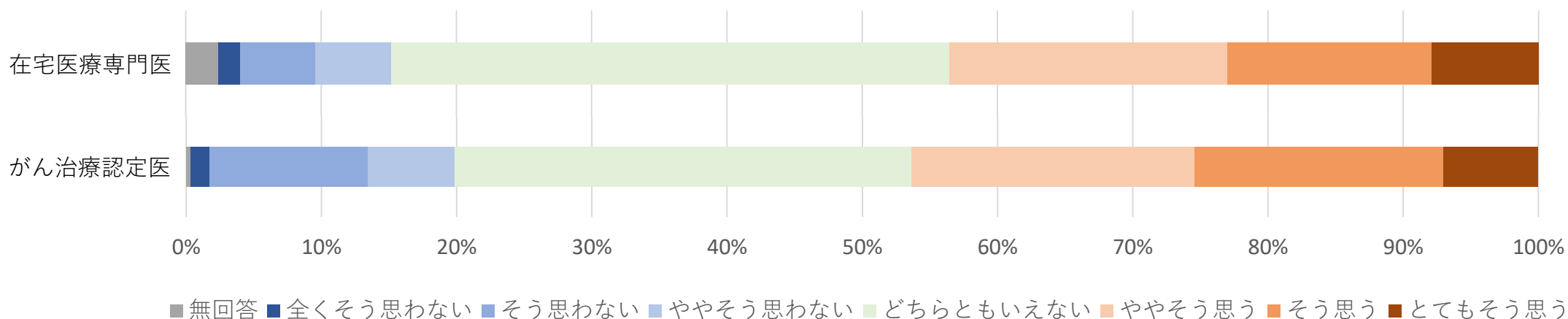
# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっと診療すべきである



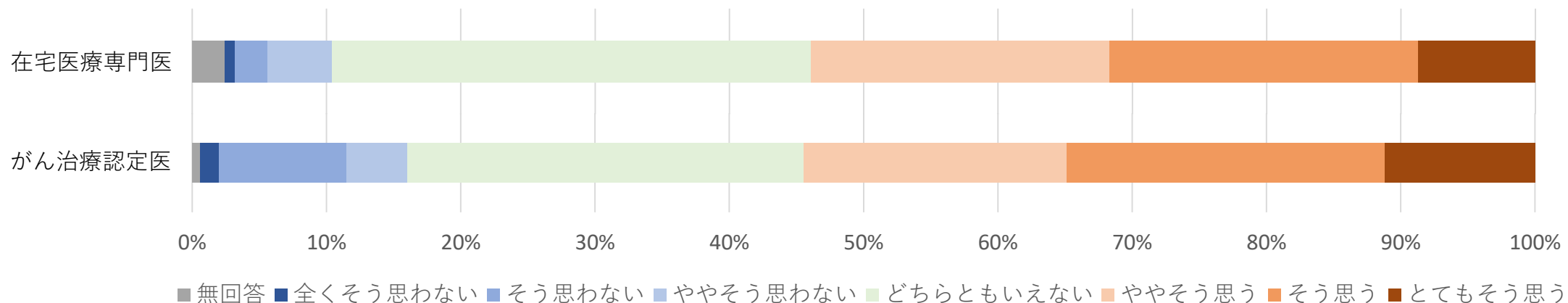
4) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、痛みのある患者をもっとトリアージすべきである



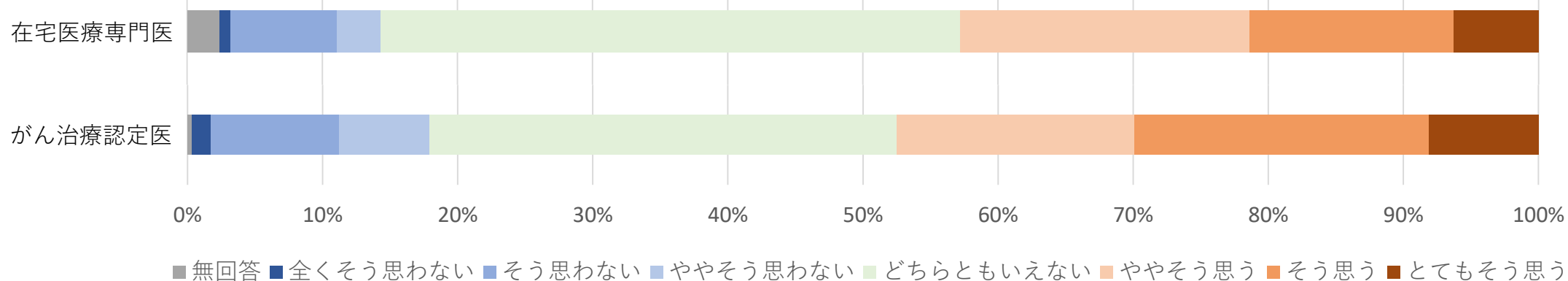
# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、専門的な知識や技術をもっと持つべきである



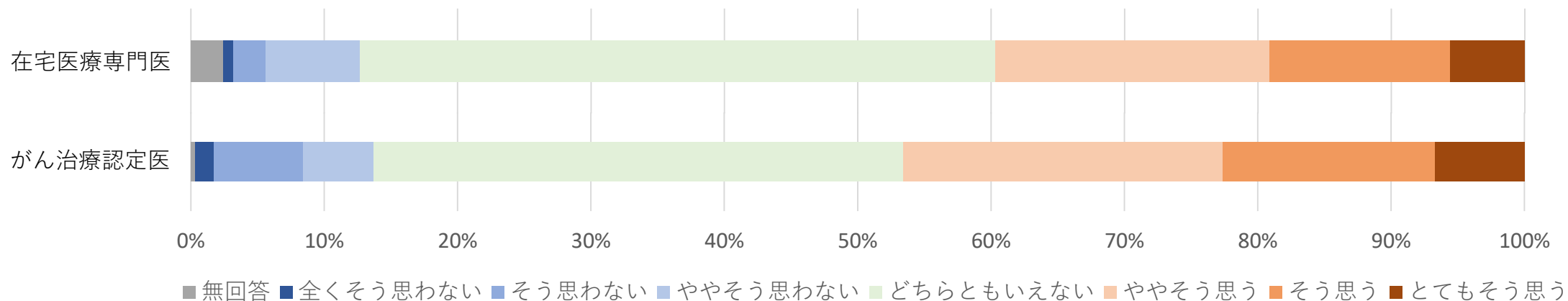
6) 緩和ケアチームや緩和ケアを専門としている医師は、がん治療ががんの痛みにも有効であることをもっと知るべきである



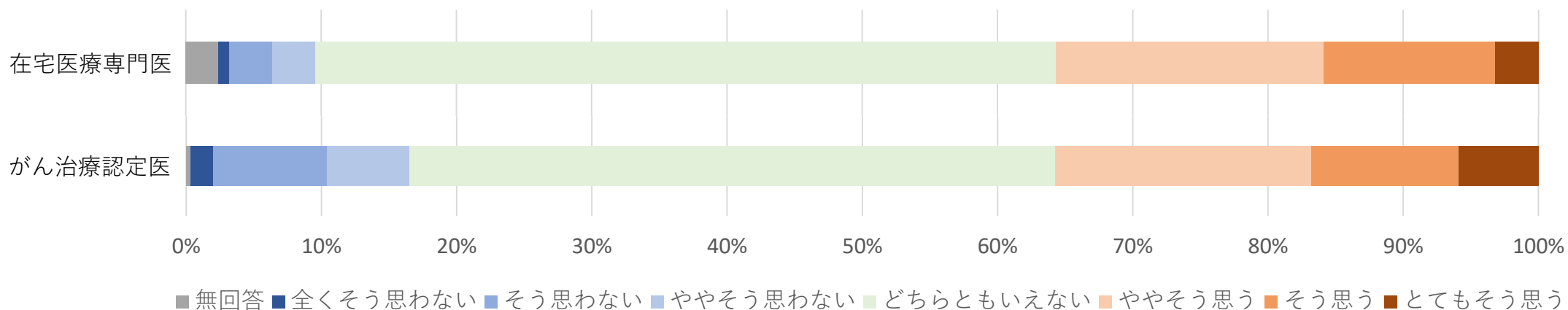
# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) ペインクリニック・麻酔科の医師は、神経ブロックやくも膜下鎮痛をもっと実施するべきである



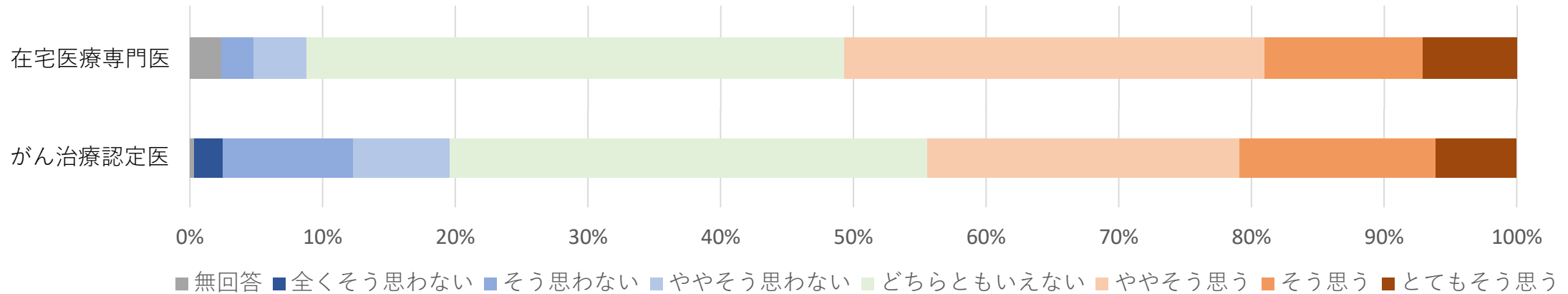
8) I V R 医は、鎮痛を目的とした I V R 処置をもっと実施するべきである



# がんの痛みの治療の現状と改善策に関するあなたの考えをお伺いします。

2. がんの痛みに対する対応の現状に関するあなたの考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

9) 放射線治療医は、鎮痛を目的とした放射線治療をもっと実施するべきである

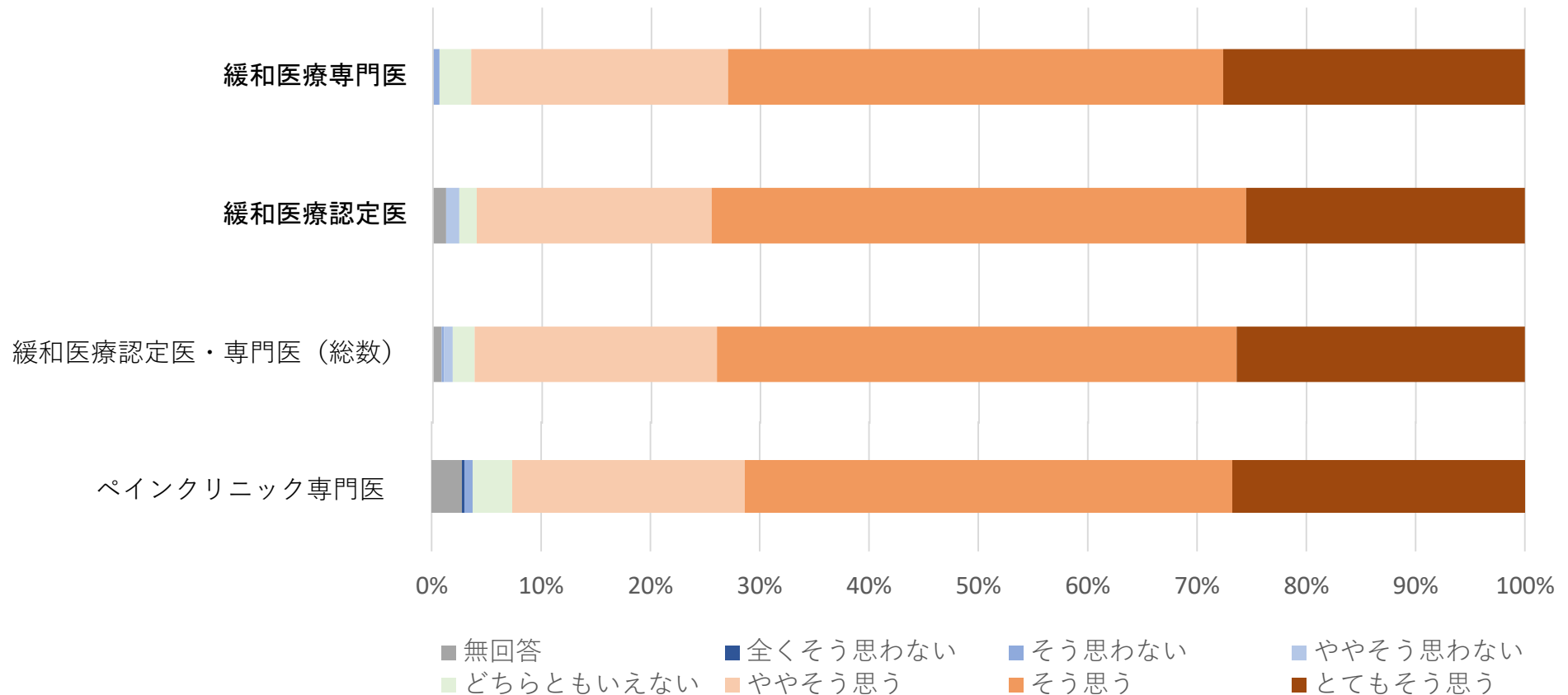


# 難治性のがん疼痛と心理社会的な要因や スピリチュアルな要因についての考え

緩和医療専門医・認定医  
ペインクリニック専門医

難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

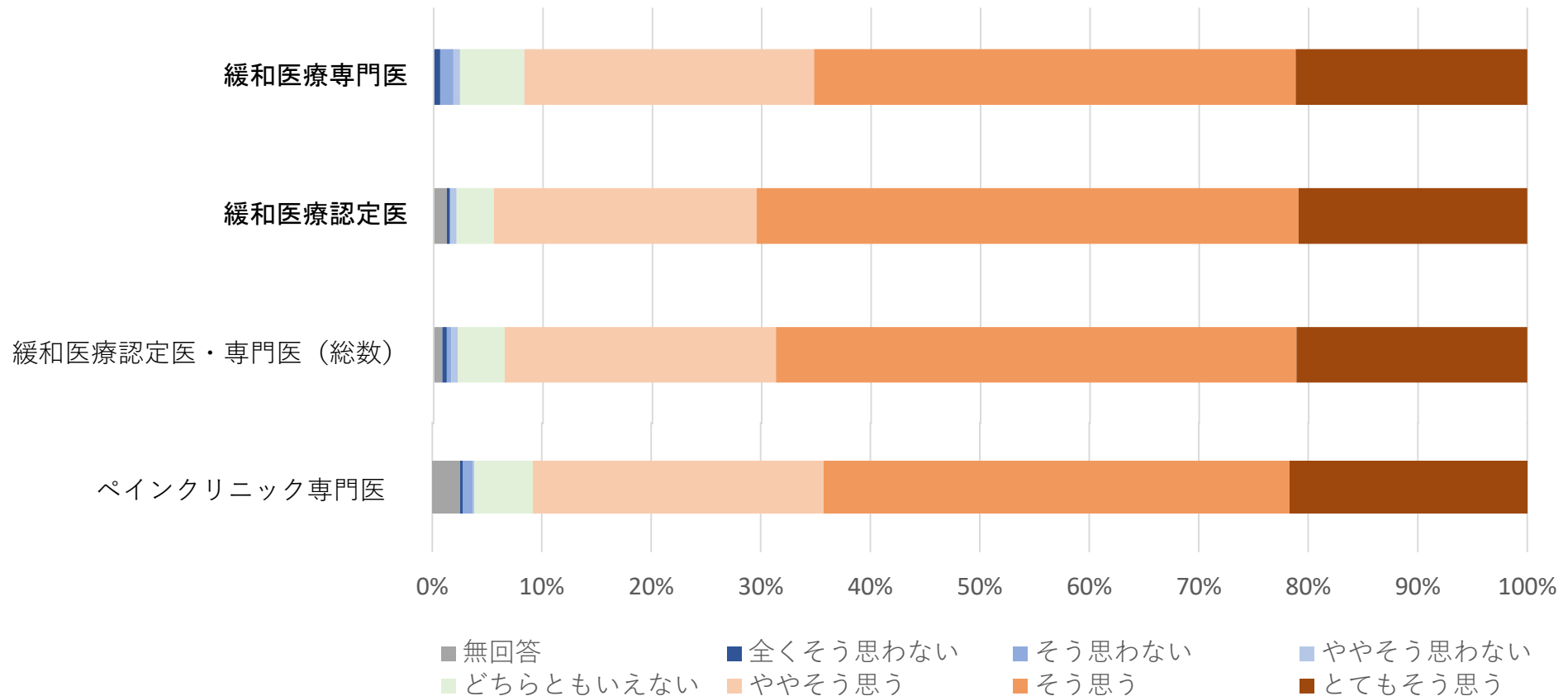
1) 難治性がん疼痛を有する患者では、心理社会的な要因が痛みに影響していることもある





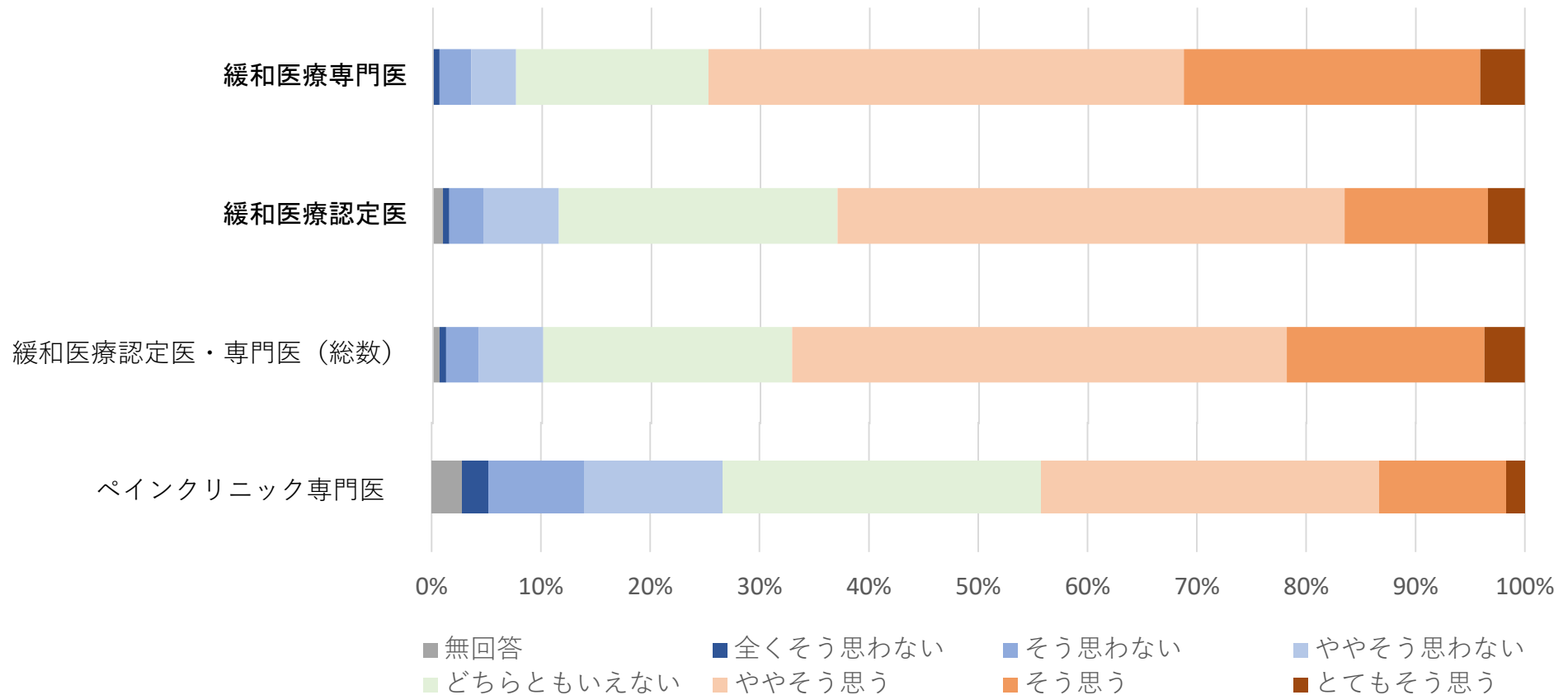
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

2) 難治性がん疼痛を有する患者では、スピリチュアルな要因が痛みに影響していることもある



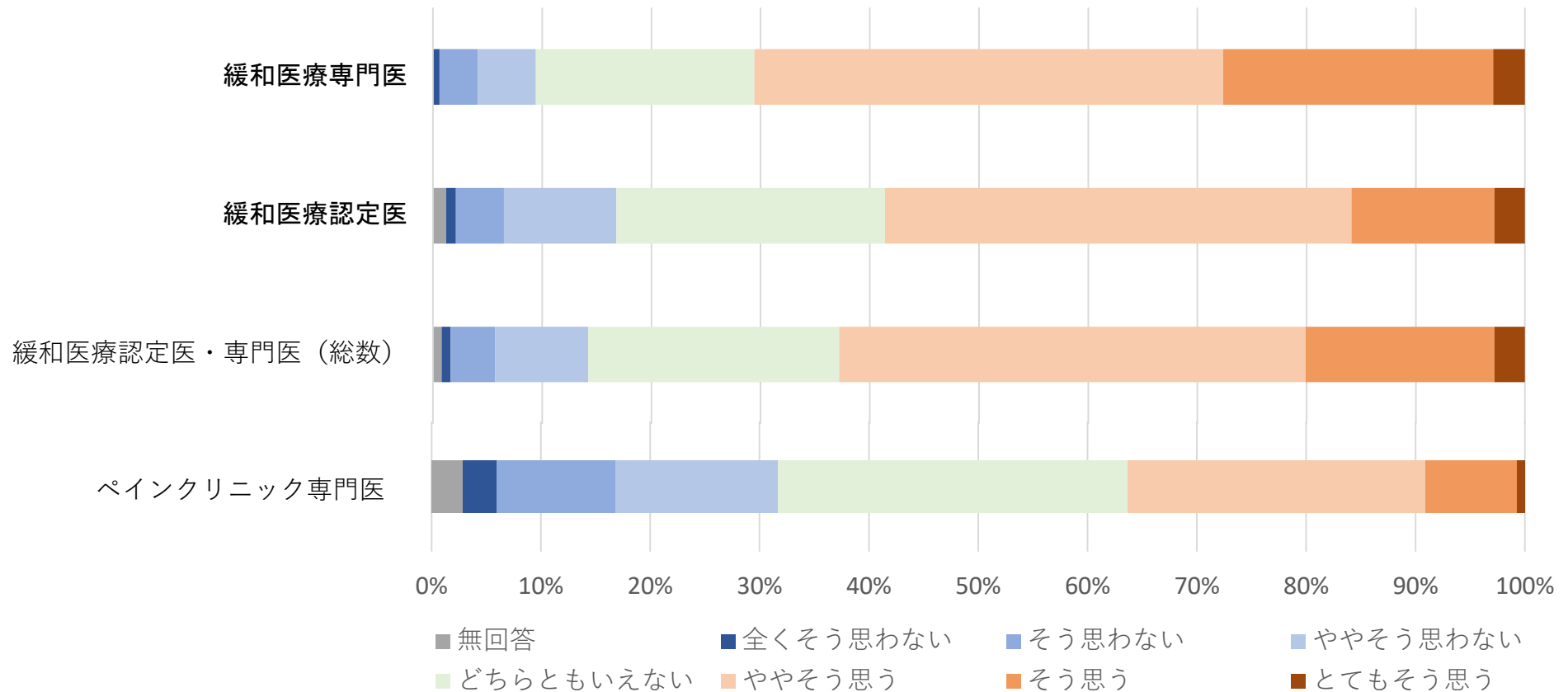
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

3) あなたは、難治性がん疼痛に關与する、患者の心理社会的な要因を評価できる



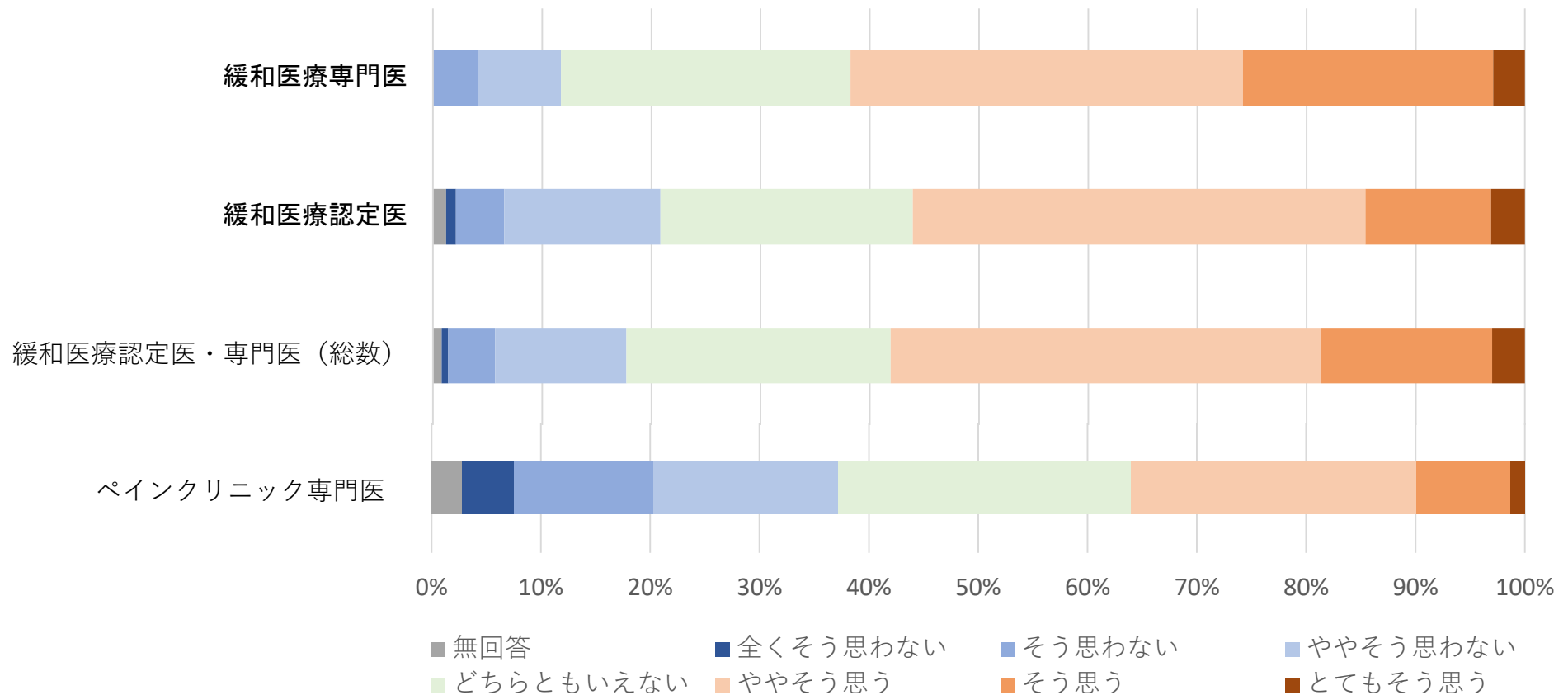
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

4) あなたは、難治性がん疼痛に関与する、患者のスピリチュアルな要因を評価できる



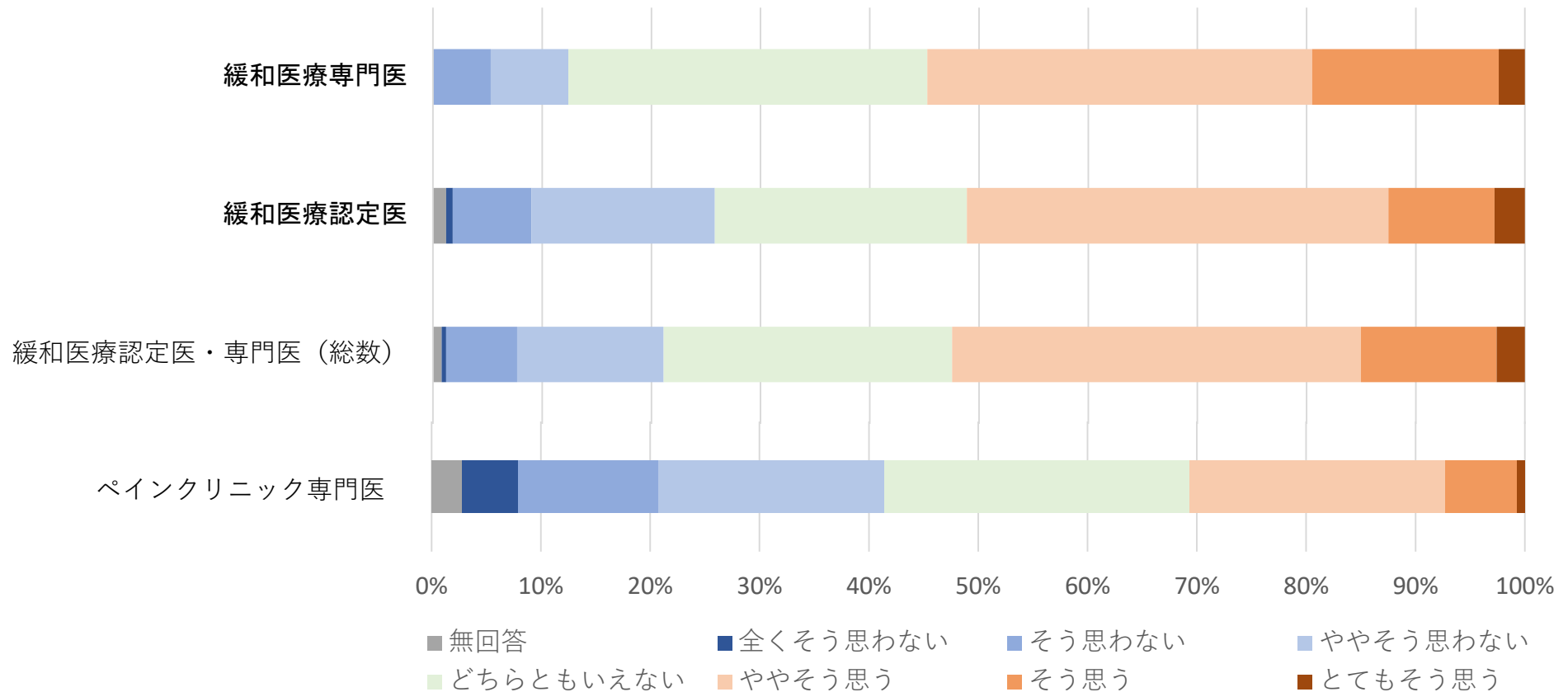
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

5) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている



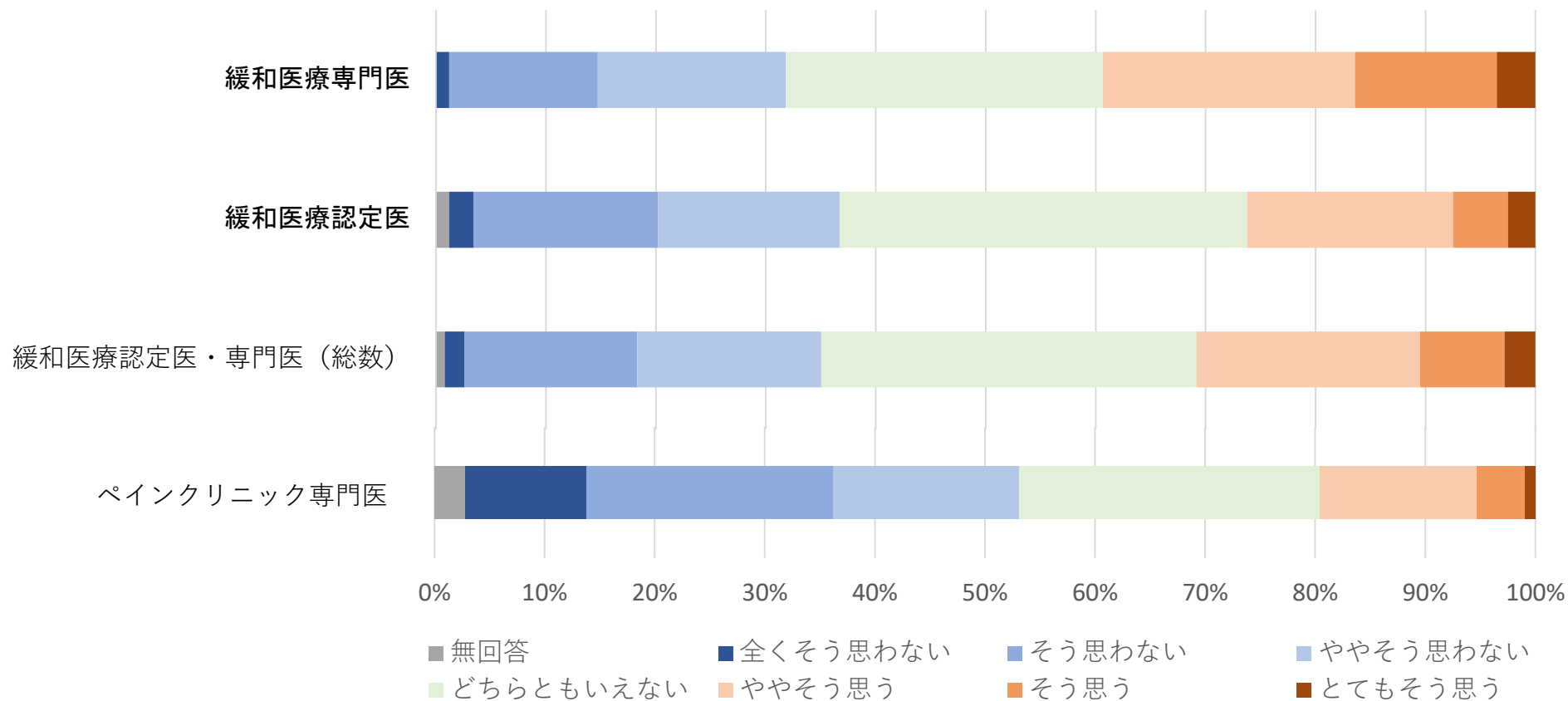
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

6) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対処法について知っている



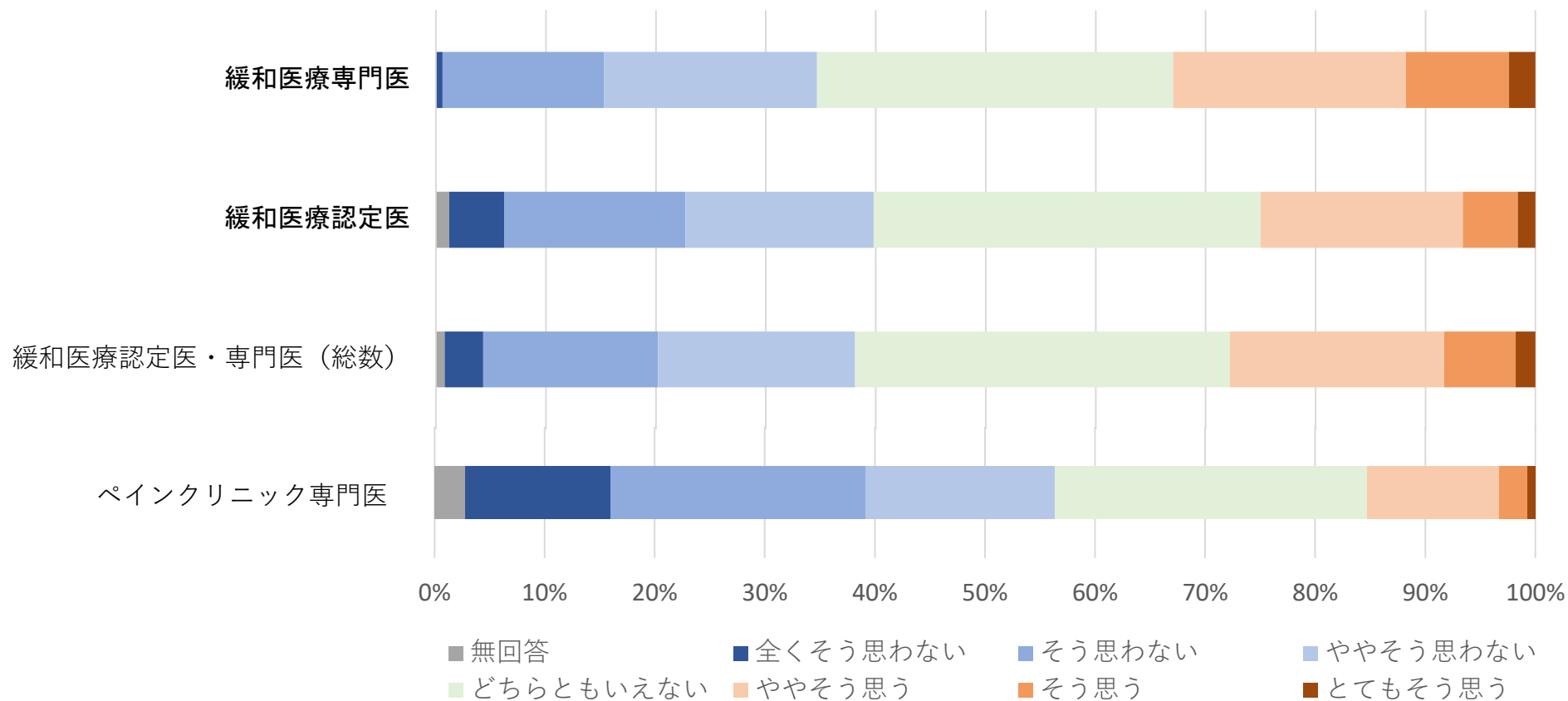
難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

7) あなたは、心理社会的な要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある



難治性のがん疼痛と、心理社会的な要因やスピリチュアルな要因について、あなたのお考えをお伺いします。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

8) あなたは、スピリチュアルな要因が関与する難治性がん疼痛への対応に自信がある

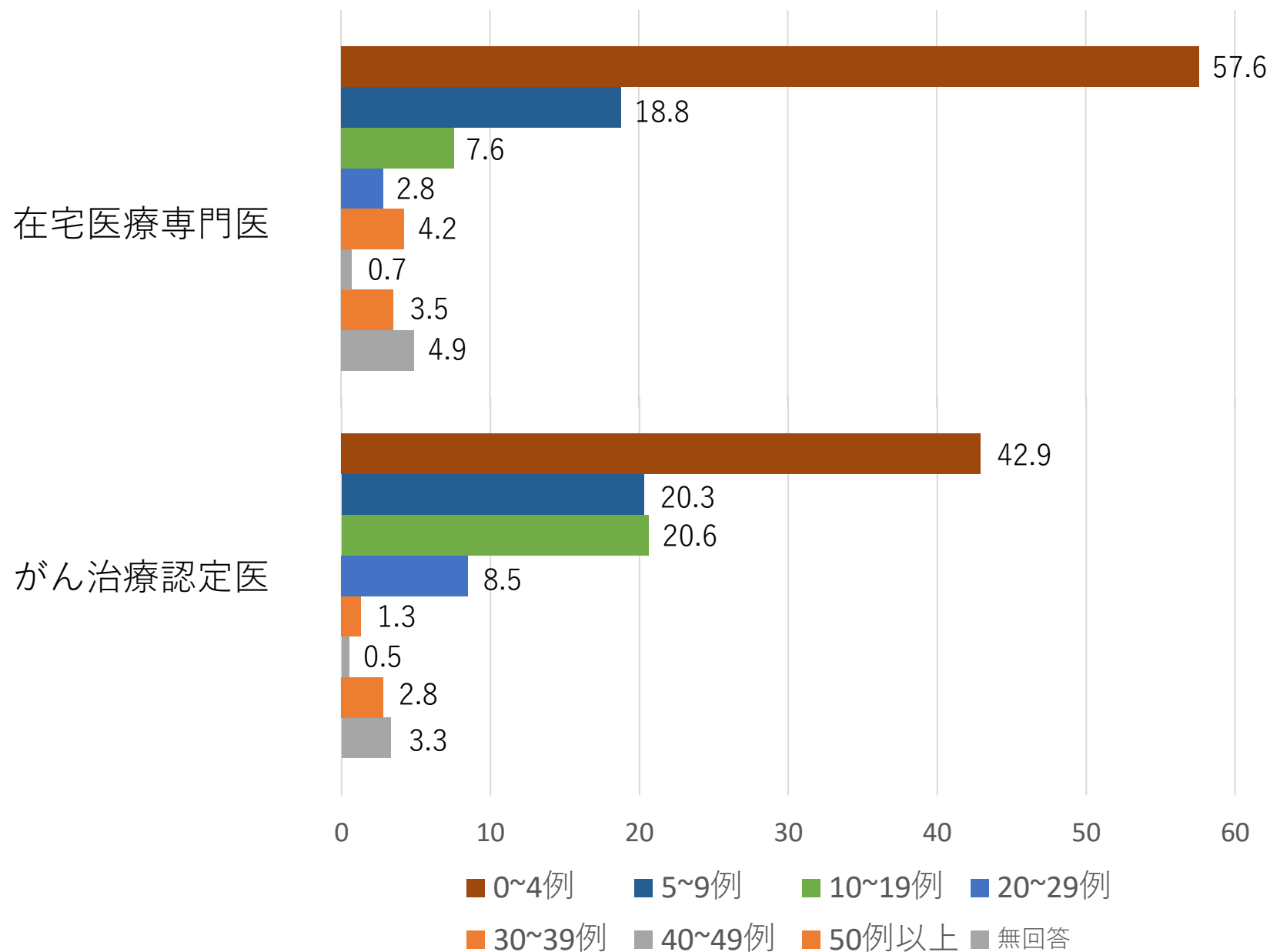


# 難治性疼痛患者の経験数

がん治療認定医  
在宅医療専門医



あなたは、がんの痛みが十分に緩和されない患者を年間どの程度経験しますか。



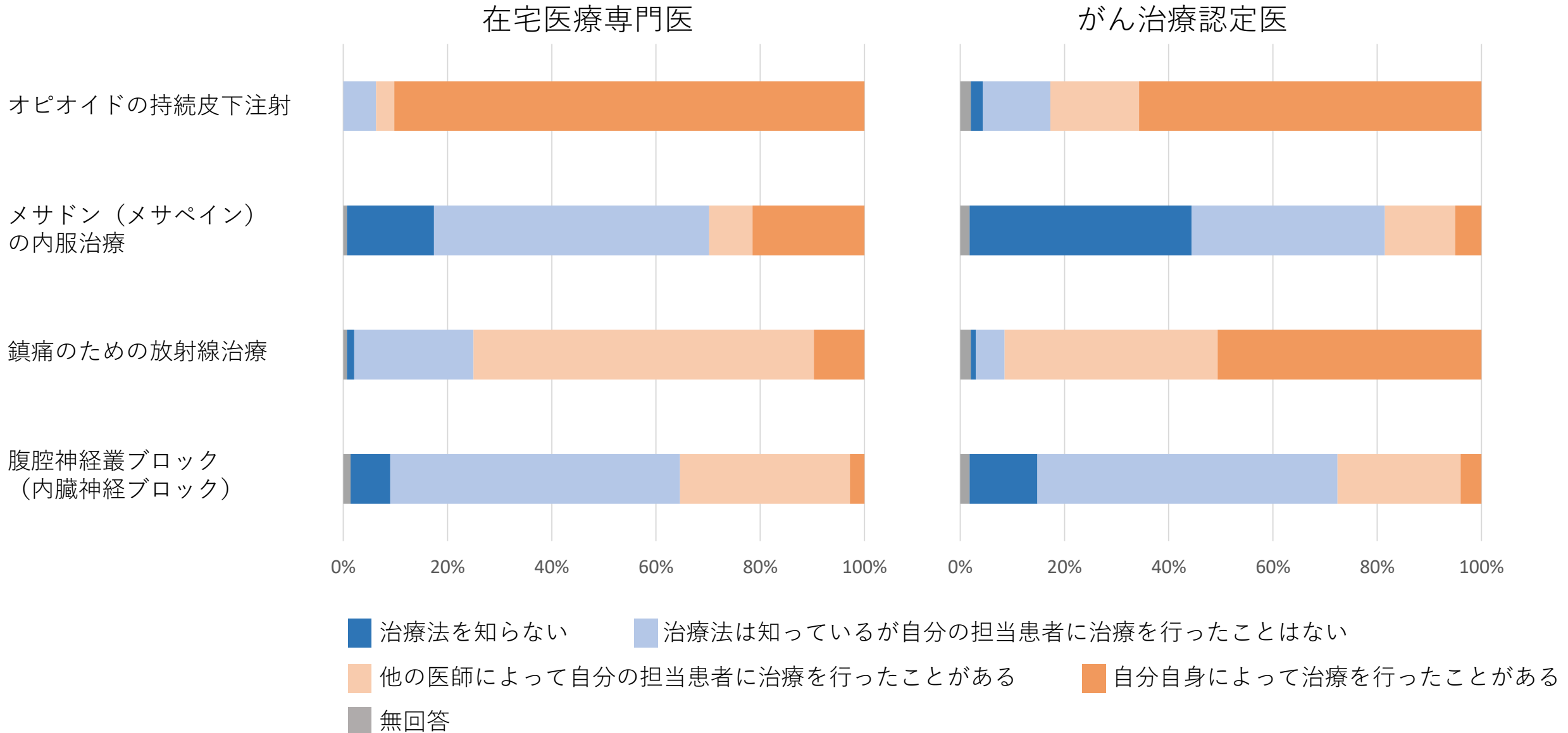
平均 + 標準偏差：9.35 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●● (●●-●●)

平均 + 標準偏差：9.04 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●● (●●-●●)

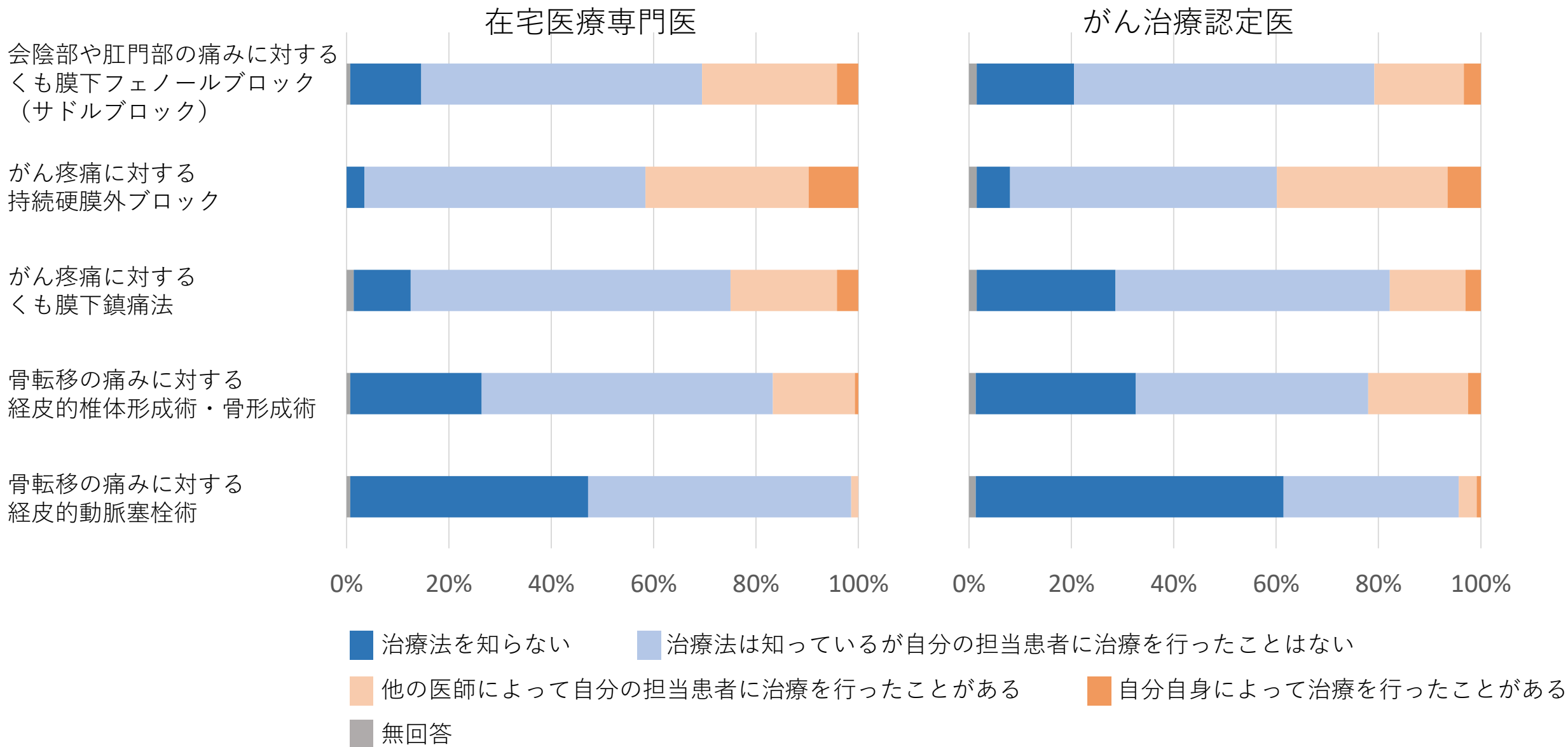
# これまでの専門的な鎮痛法の経験

がん治療認定医  
在宅医療専門医

以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。



以下の治療法について、あなたは、これまでに治療した患者を経験したことがありますか。以下について当てはまるものを1つ選んでください。



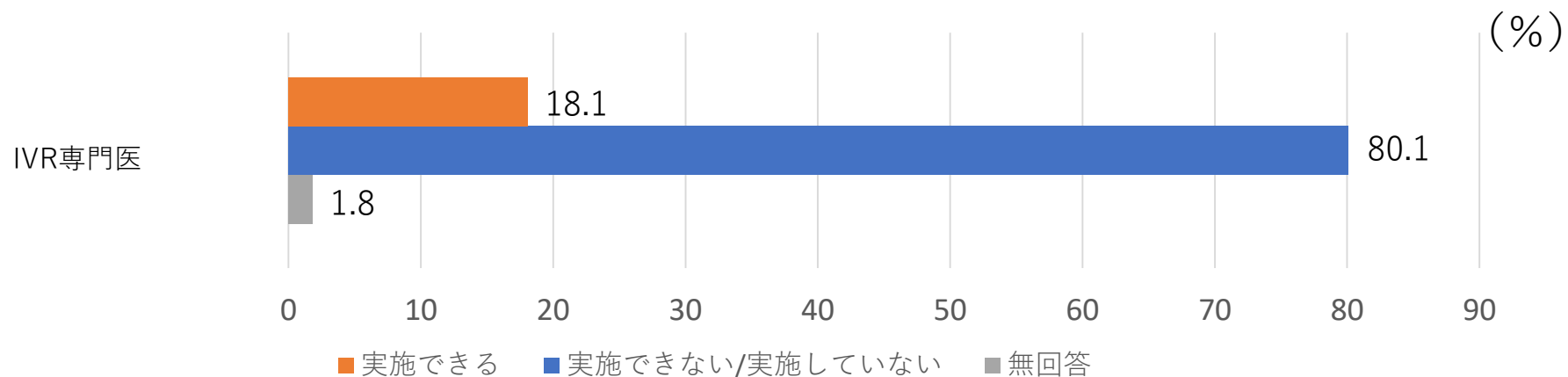
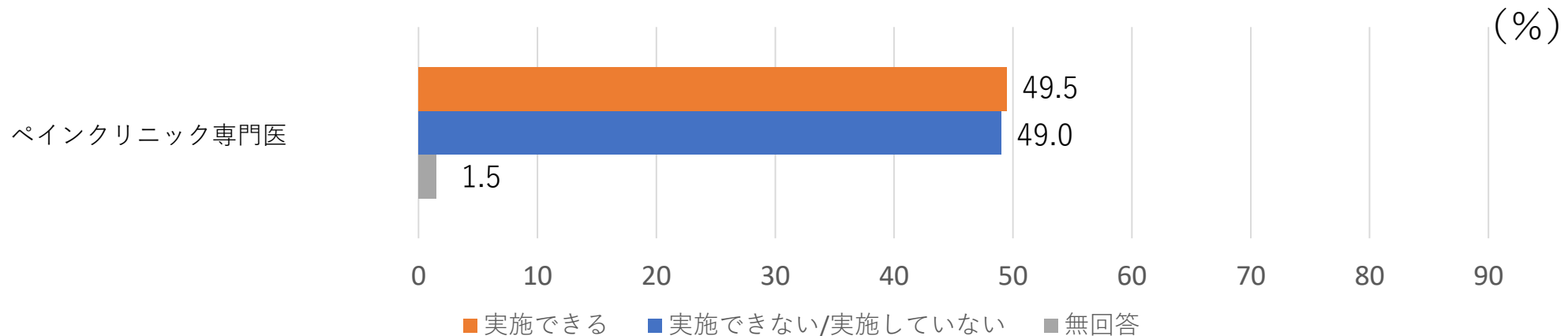
# 専門的な鎮痛法に関する現状と考え 【腹腔神経叢ブロック】

ペインクリニック専門医  
IVR専門医

# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

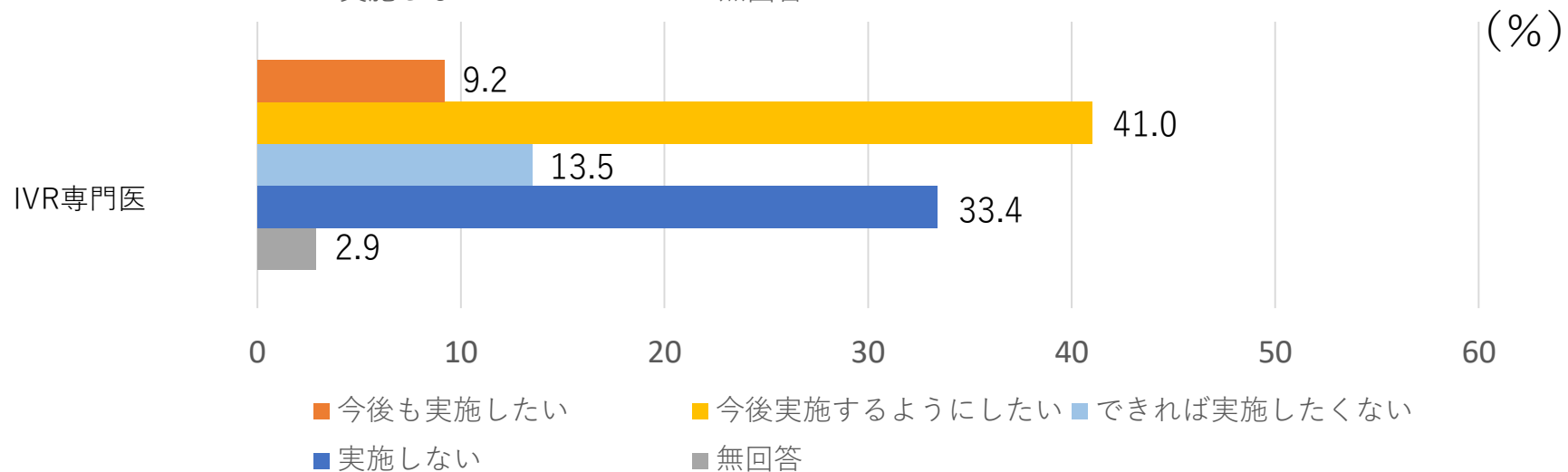
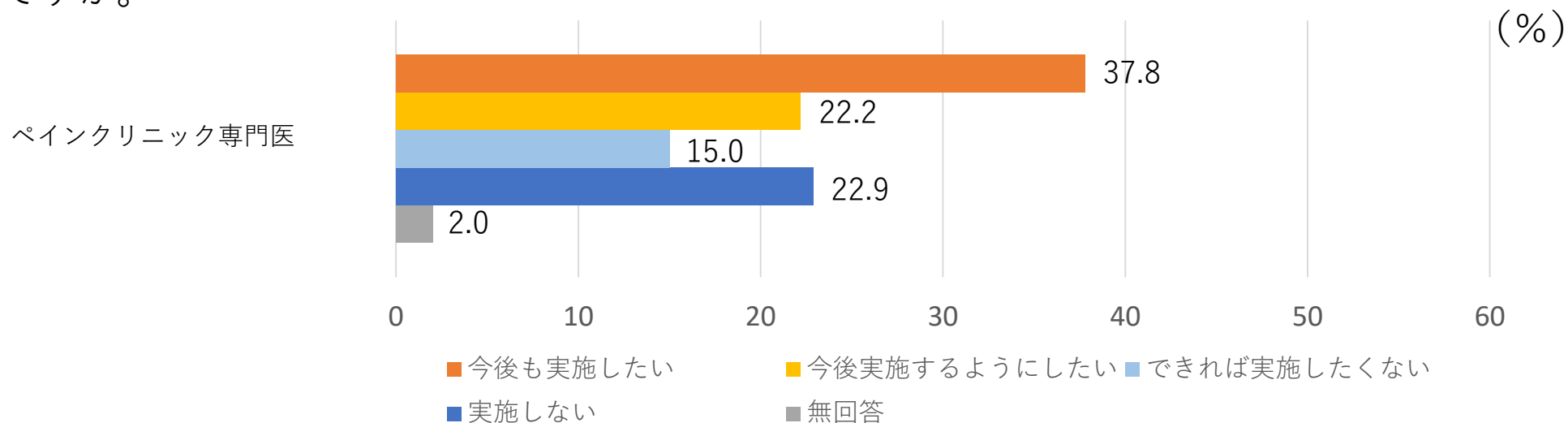
a. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、現在実施できますか。



# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

b. あなた自身は、膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）を、今後、実施するつもりですか。



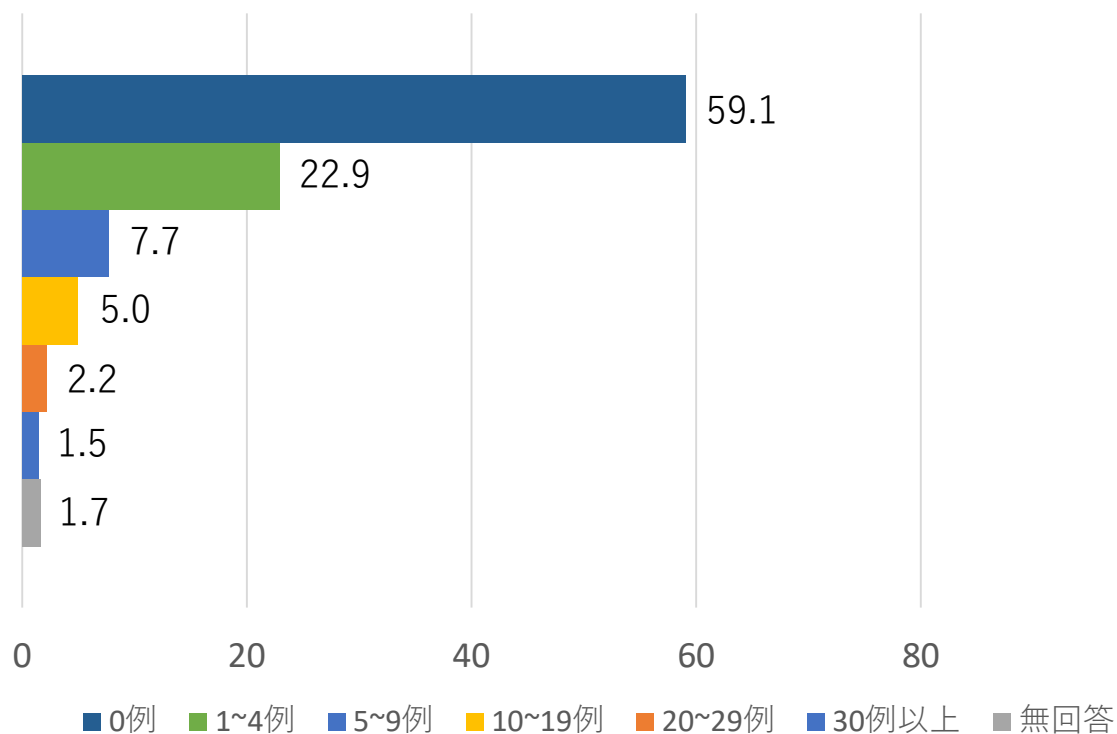
# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

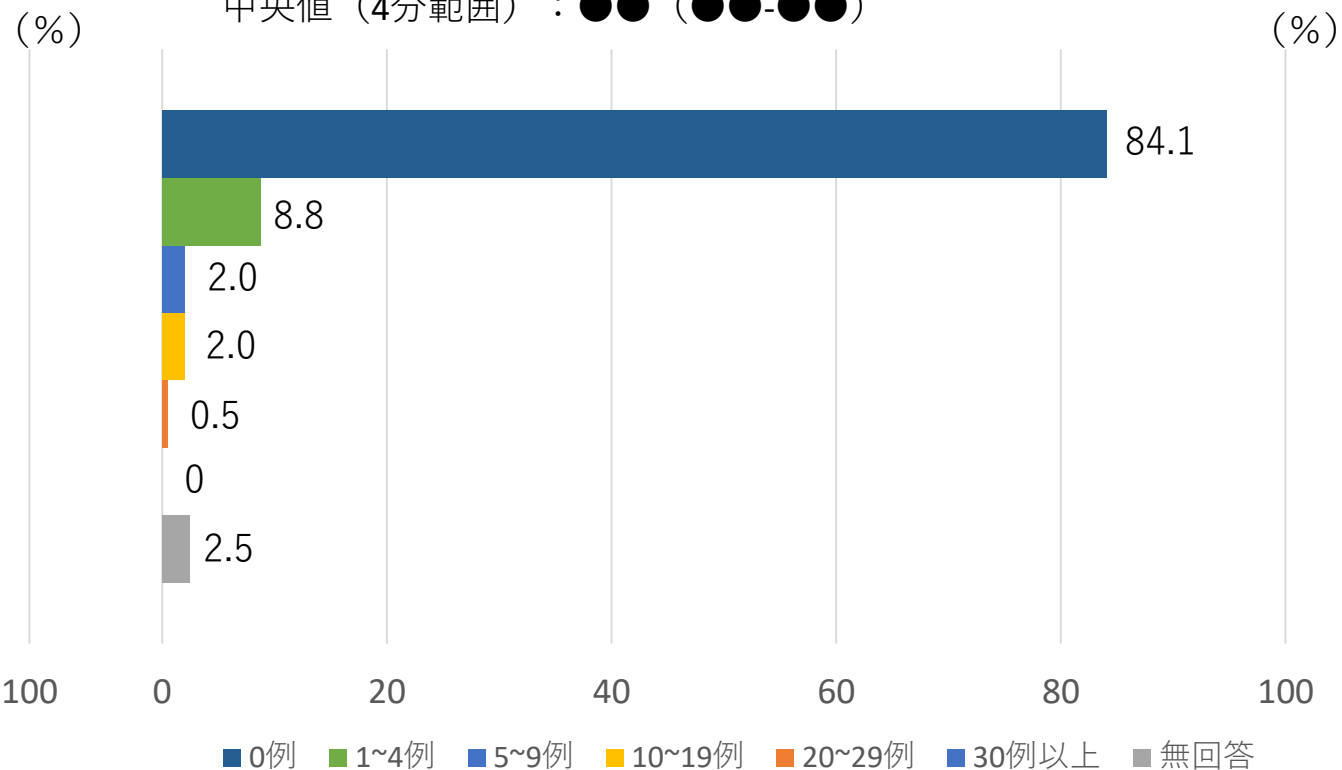
ペインクリニック専門医

平均+標準偏差：2.89 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）



IVR専門医

平均+標準偏差：0.64 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）



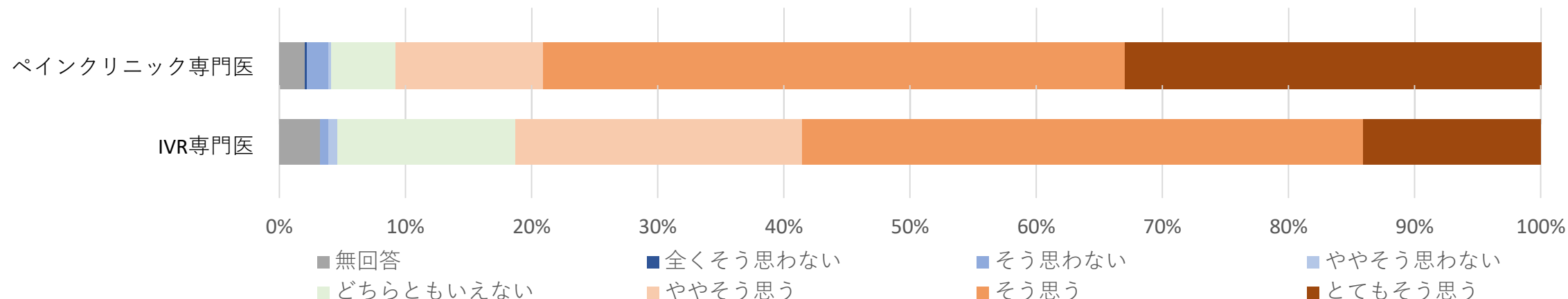


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

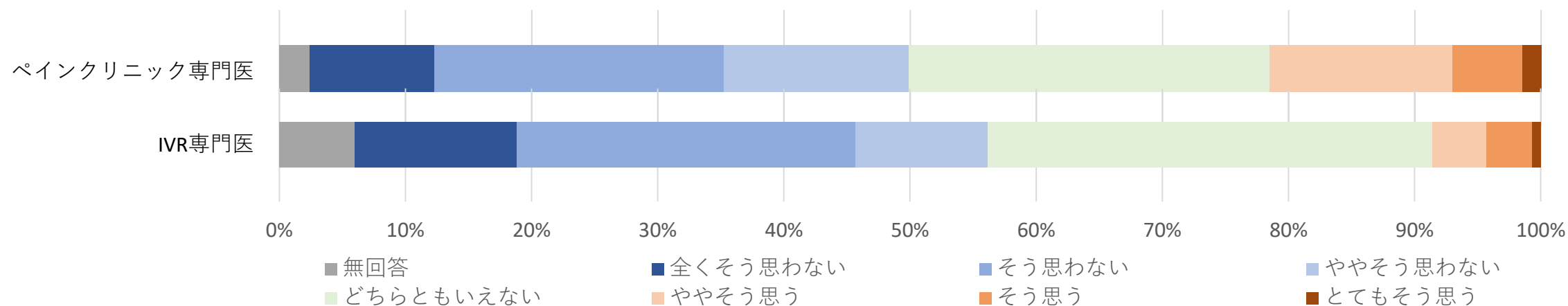
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である



### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

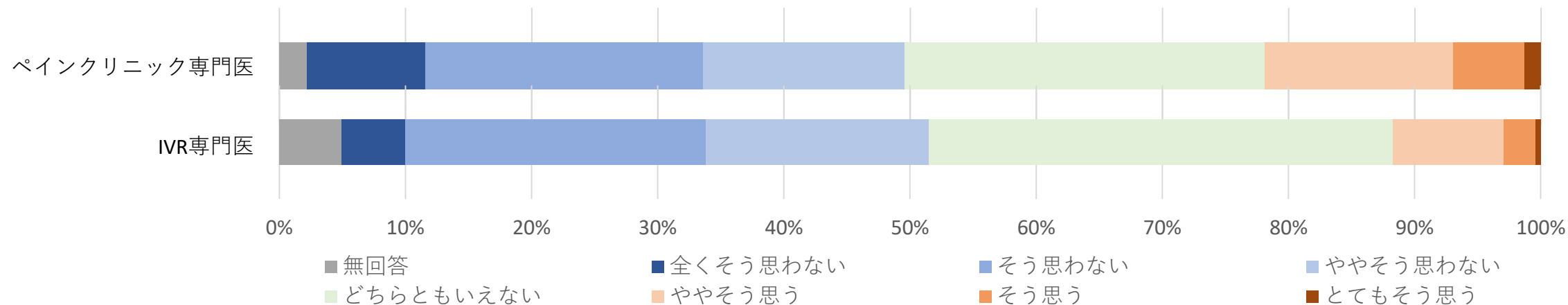


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

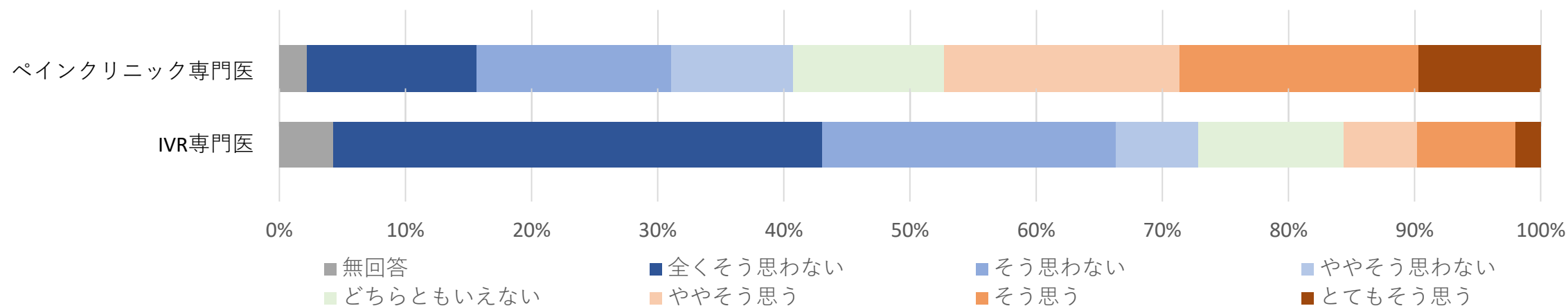
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため実施する必要がない



### 4) 実施するために十分なトレーニングを受けている

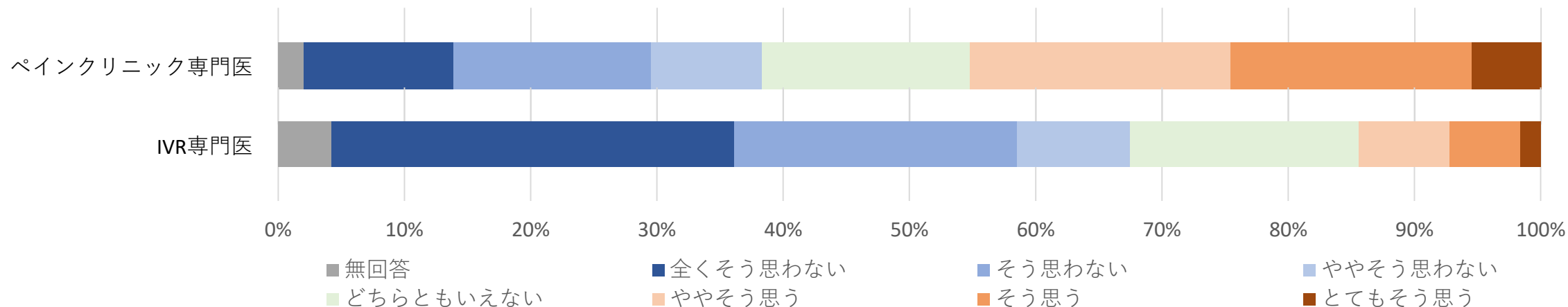


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

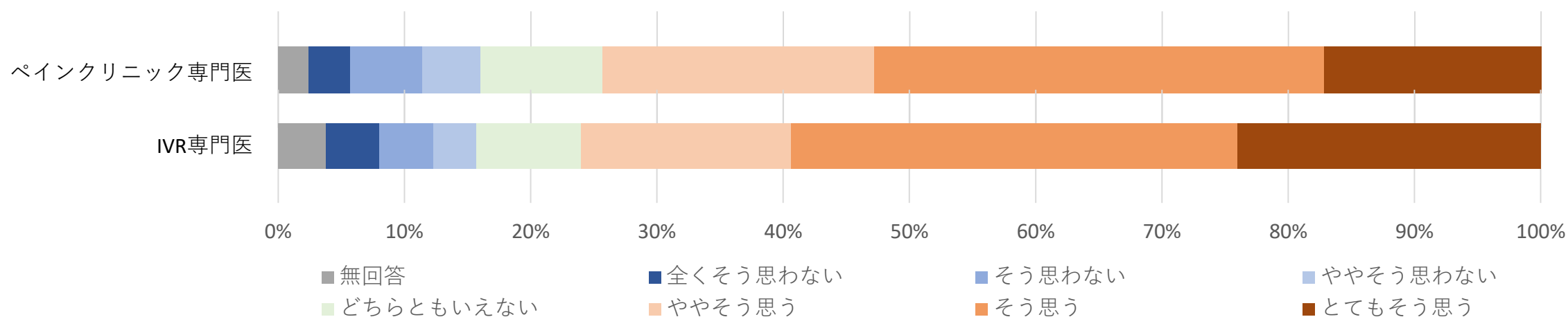
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



### 6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい

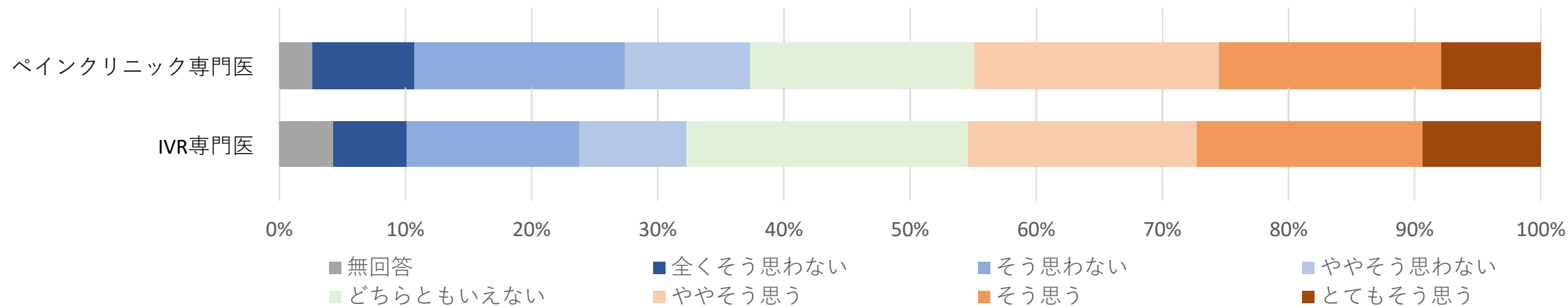


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

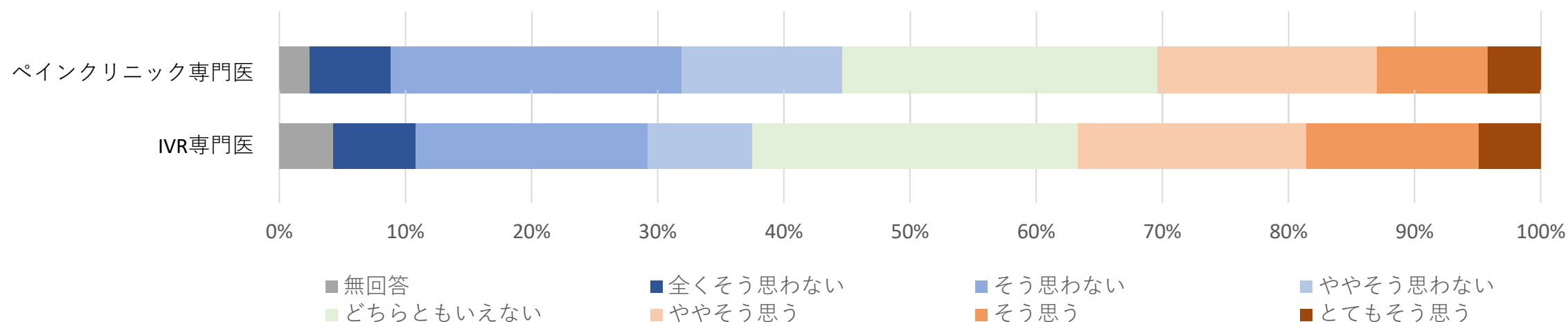
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため実施が必要な患者を診療することが難しい



### 8) 実施にあたって他科とのやりとりが難しい

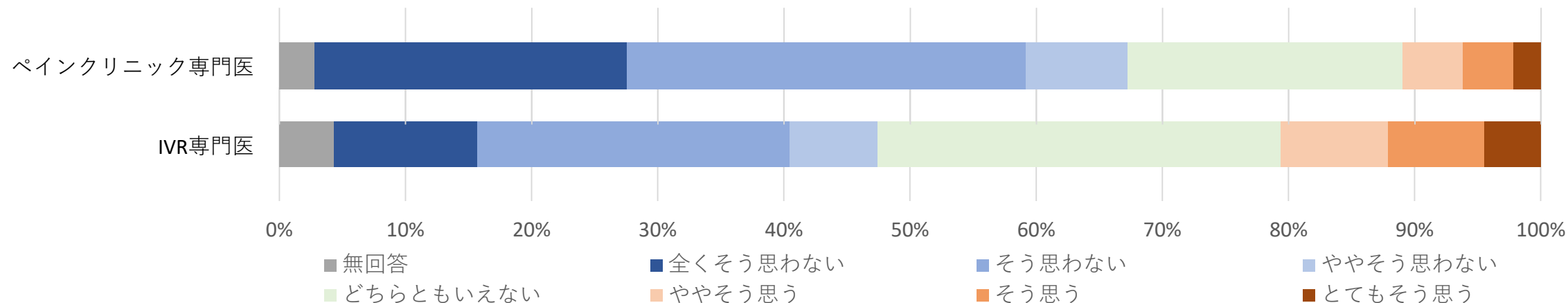


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

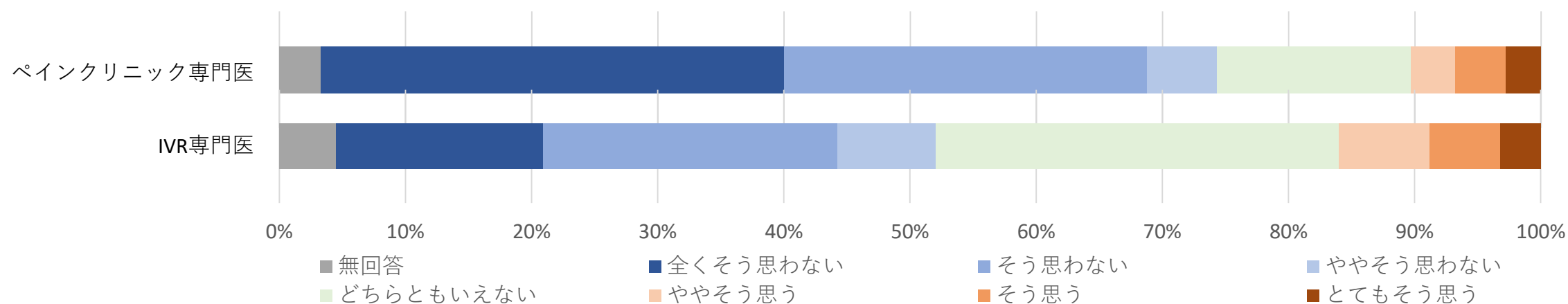
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で実施の合意が得られない



### 10) 自施設での導入が容認されない

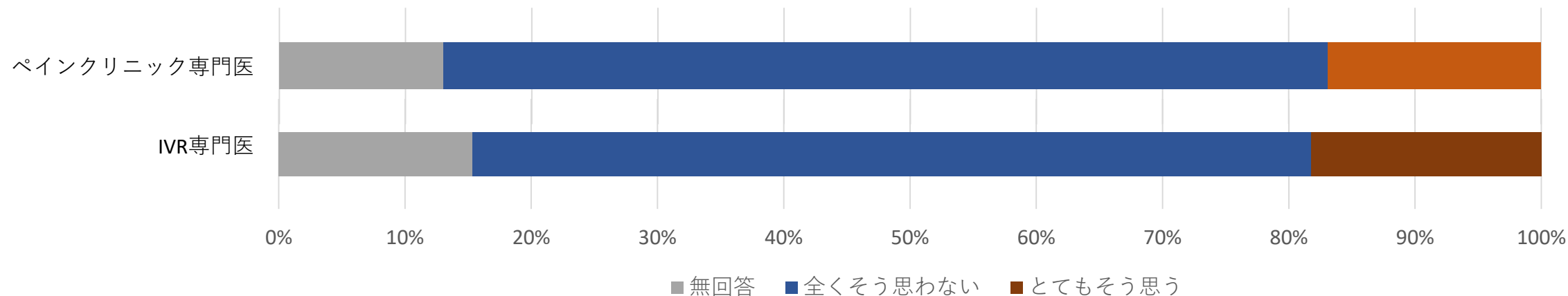


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

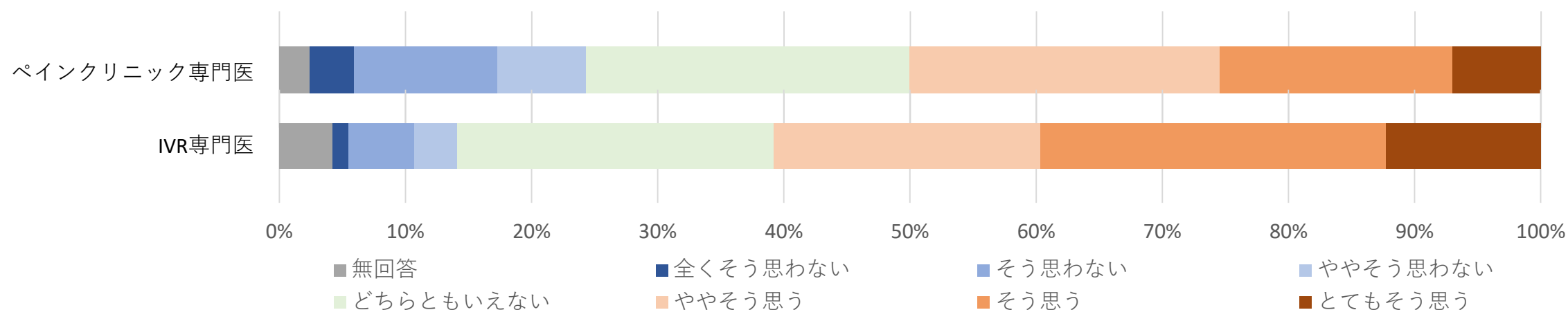
## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない



### 1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

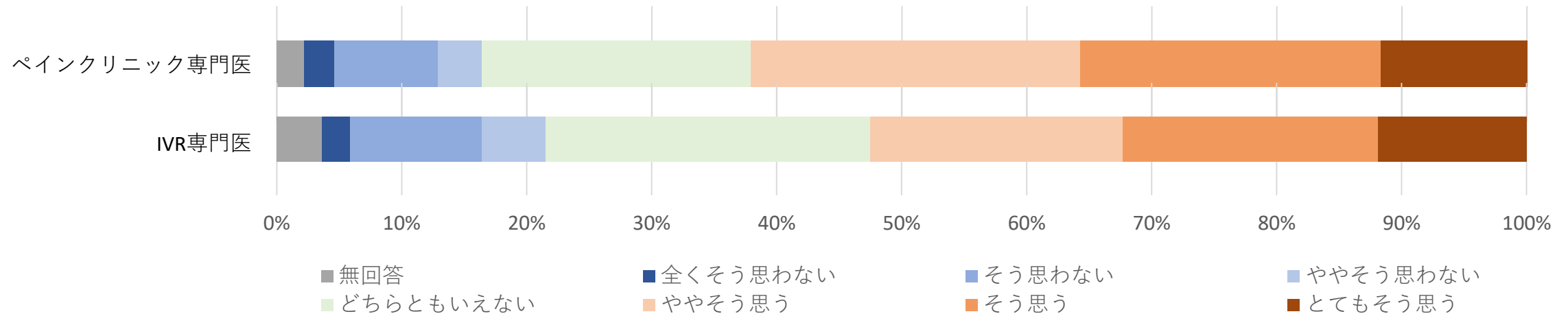


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について

d. 膵臓がんによる痛みに対する腹腔神経叢ブロック（内臓神経ブロック）について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 実施する施設の集約化を地域ですすめるべきである



# 専門的な鎮痛法に関する現状と考え 【メサドン】

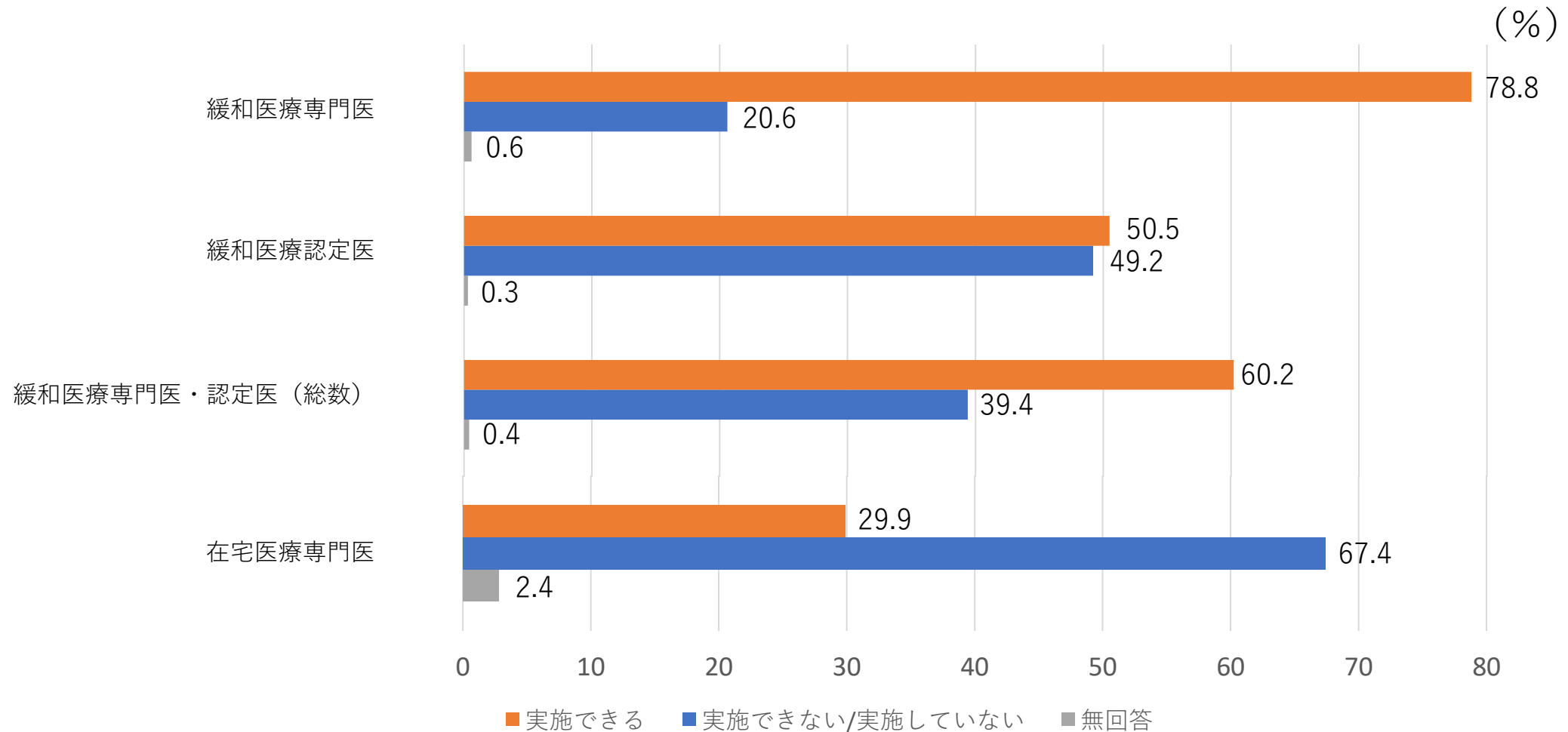
緩和医療専門医・認定医  
在宅医療専門医



# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

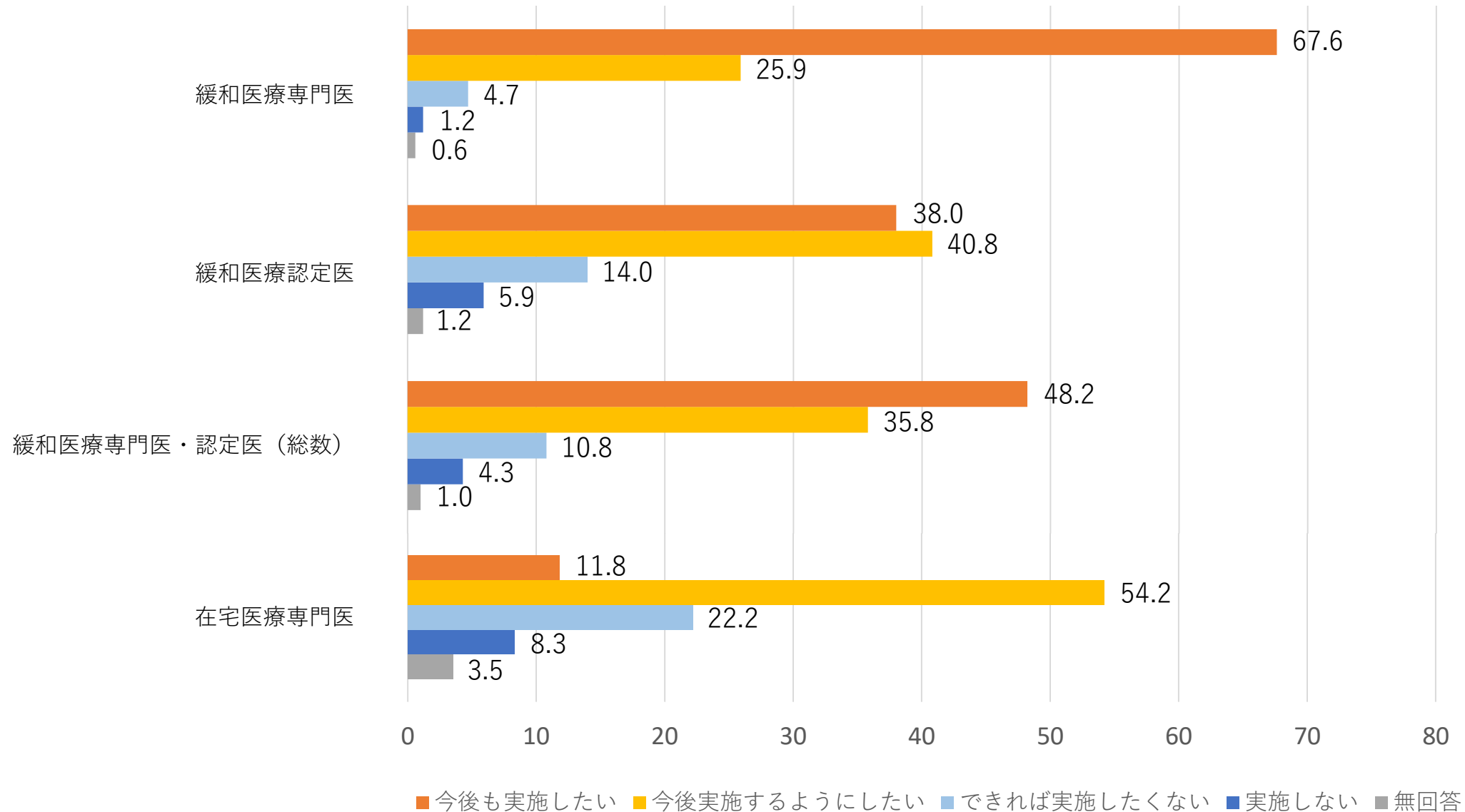
a. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、現在実施できますか。



# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

b. あなた自身は、がん疼痛に対して、メサドンの内服治療を、今後、実施するつもりですか。 (%)



# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

c. あなた自身は、過去3年間でおよそ何例くらいに実施しましたか。実施していない場合は（ 0 ）例とお答えください

緩和医療専門医

平均+標準偏差：7.75 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）

緩和医療認定医

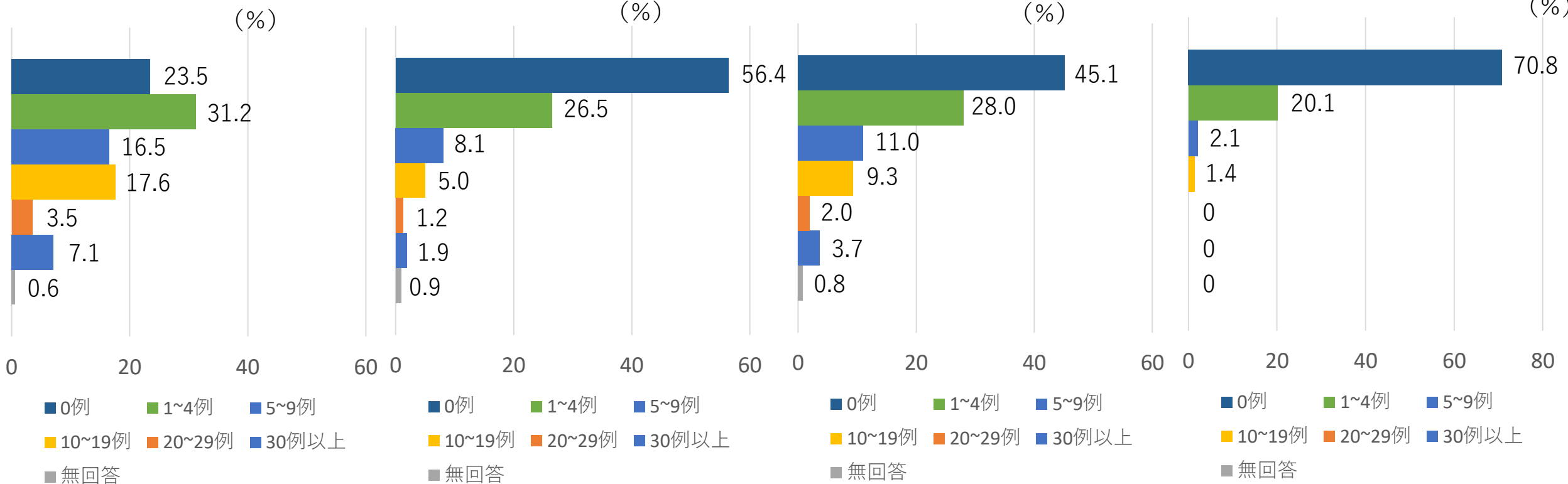
平均+標準偏差：2.56 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）

緩和医療専門医・認定医（総数）

平均+標準偏差：4.35 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）

在宅医療専門医

平均+標準偏差：0.65 ± ●●  
中央値（4分範囲）：●●（●●-●●）

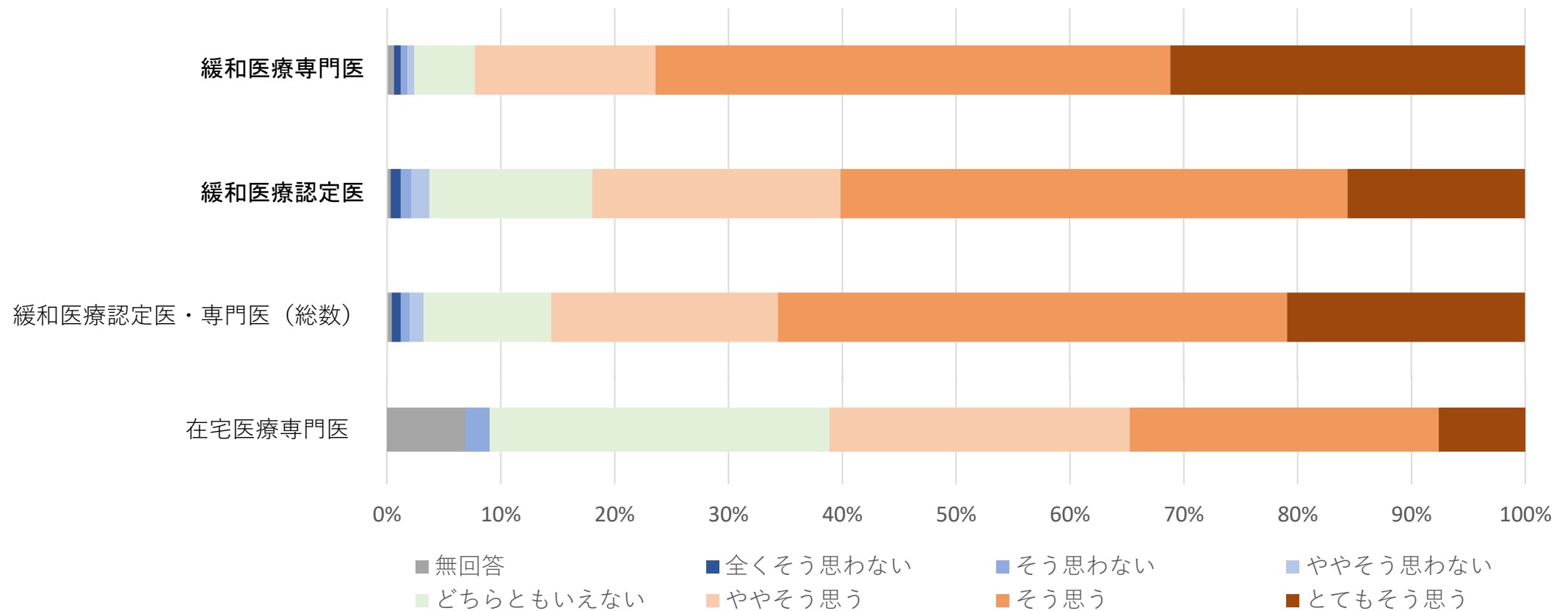


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1) 有効な方法である

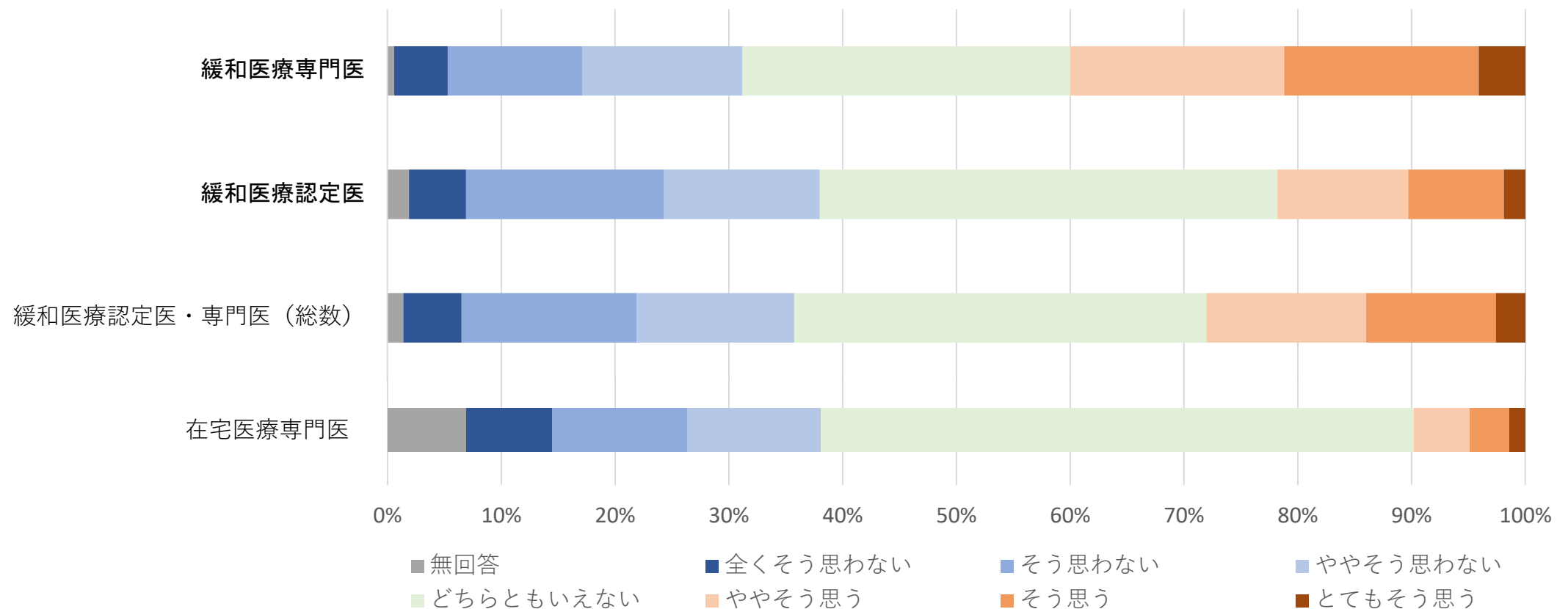


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 2) この治療の適応がある患者が、治療可能な時期に紹介されている

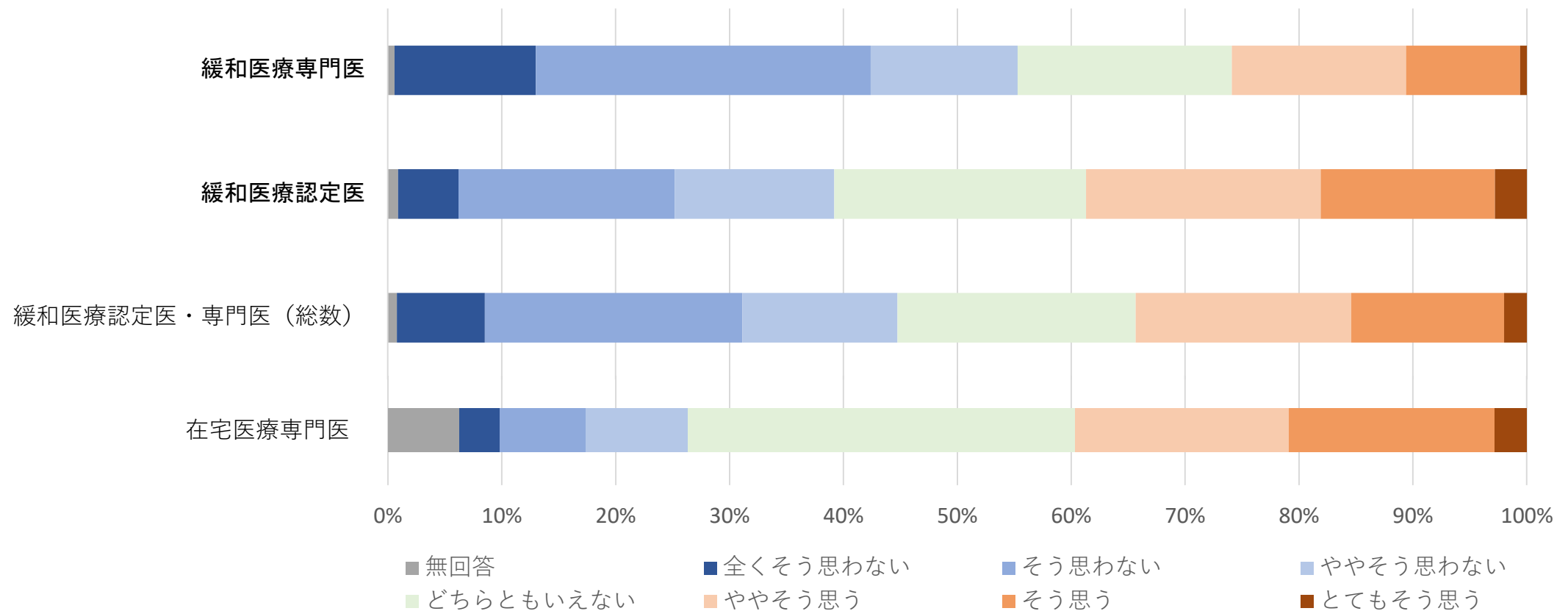


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 3) その他の治療法で十分な鎮痛が得られているため処方する必要がない

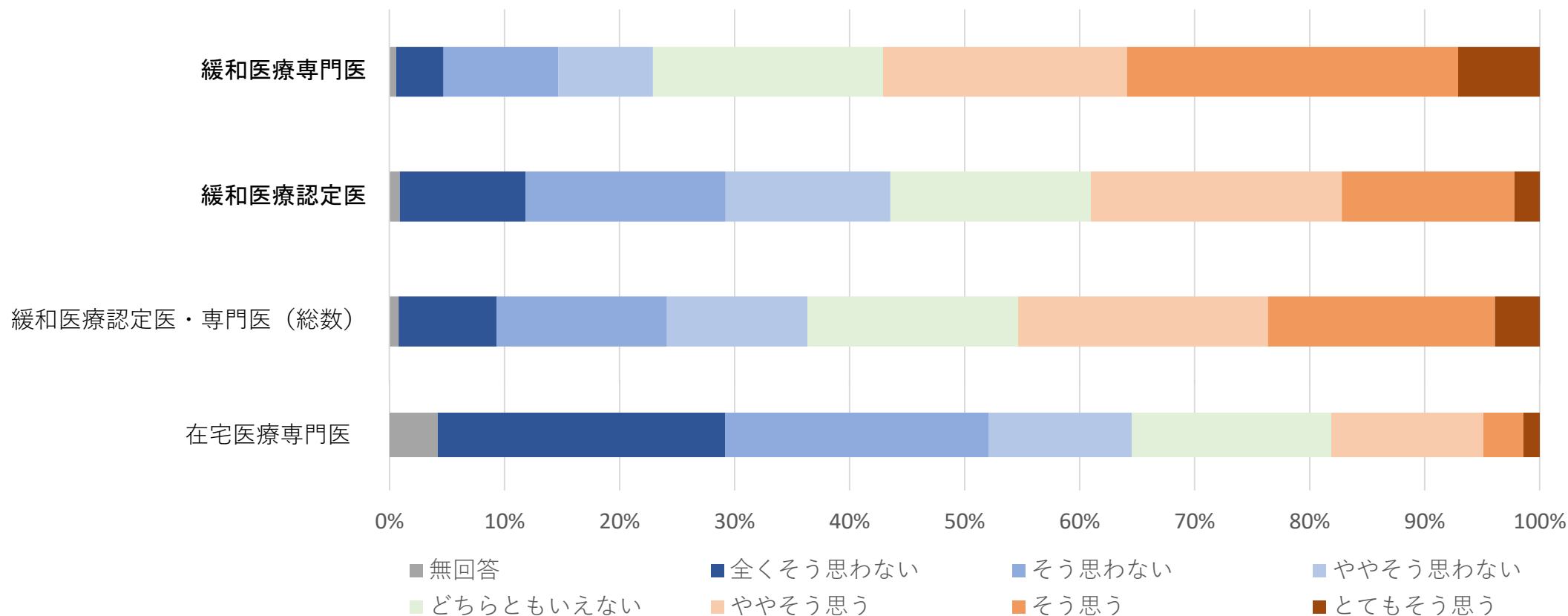


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 4) 処方するために十分なトレーニングを受けている

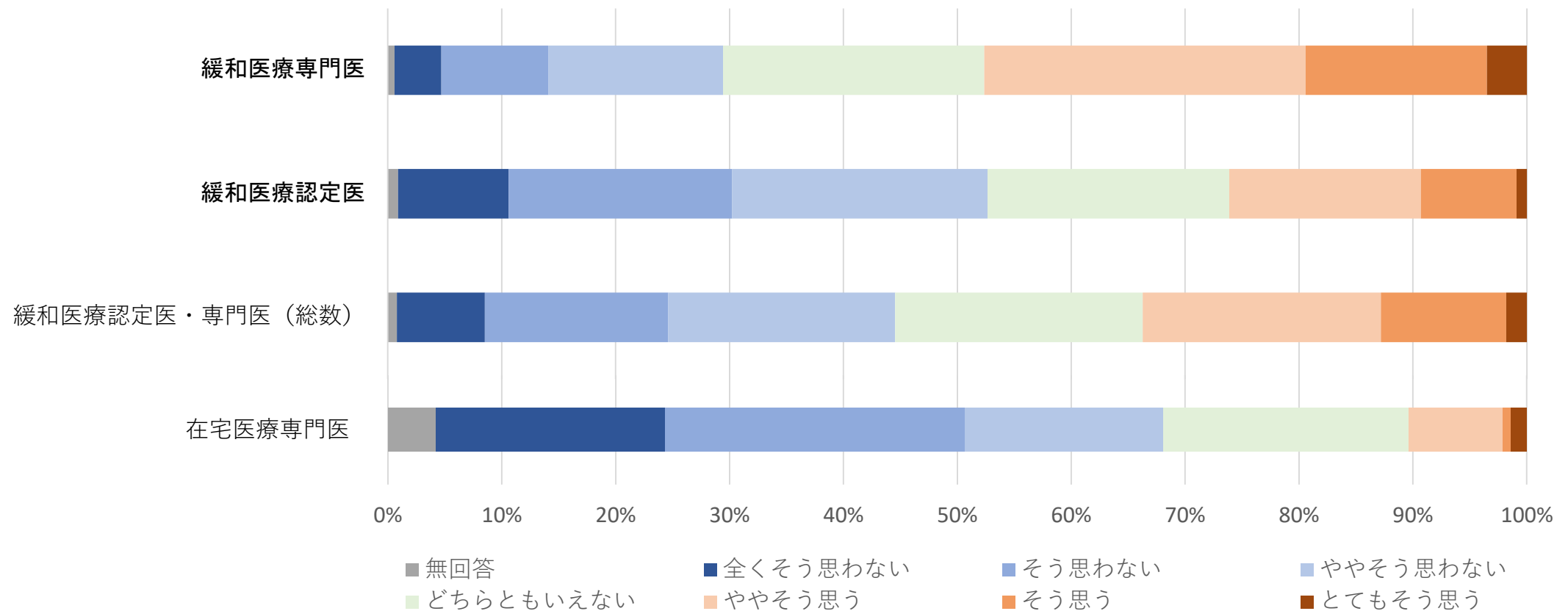


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 5) 有害事象や合併症が起きた場合の対応に自信がある



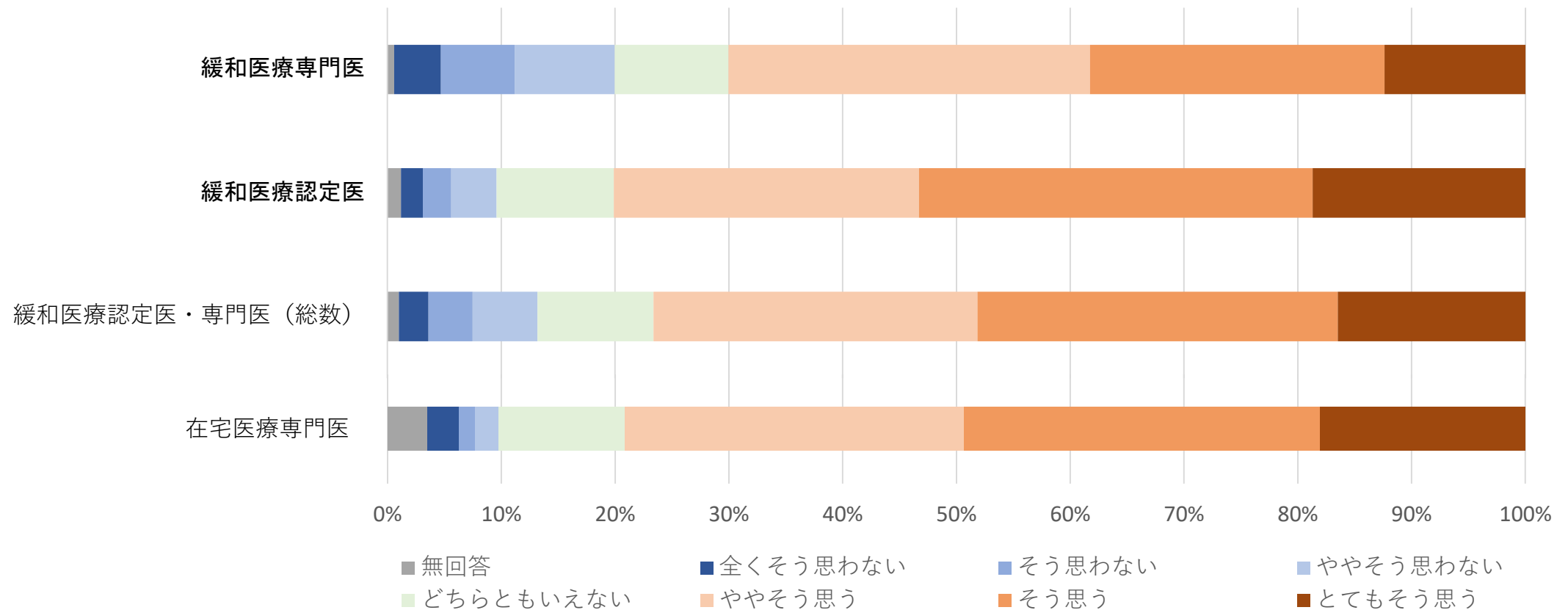


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

6) 症例数が少ないため、経験を積むことや技術の取得が難しい

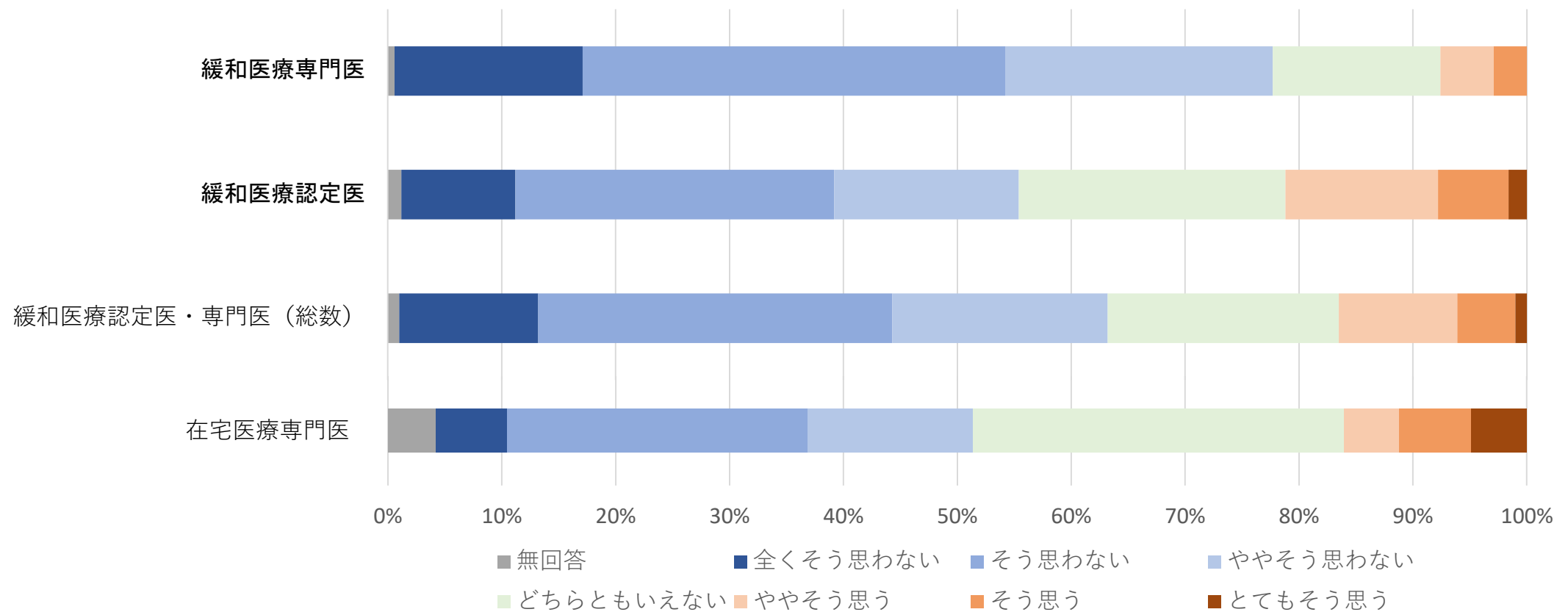


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 7) 時間がないため処方が必要な患者を診療することが難しい

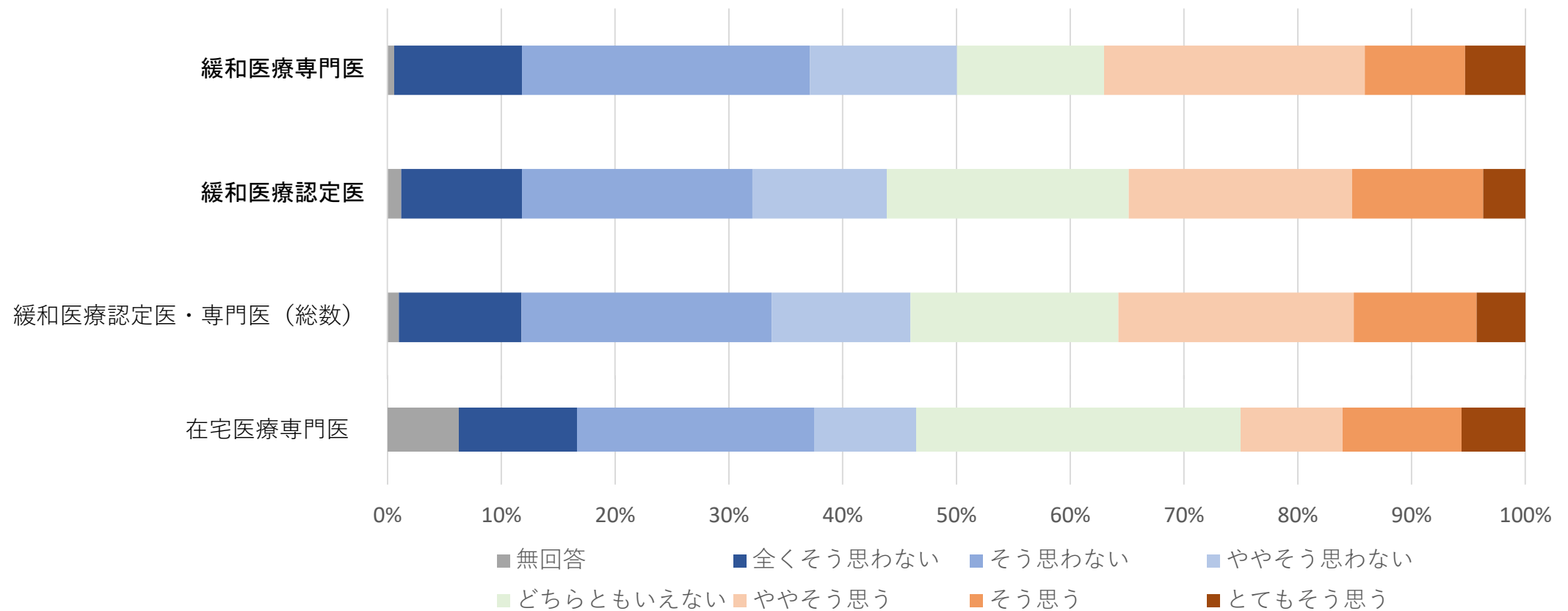


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 8) 処方にあたって他科とのやりとりが難しい

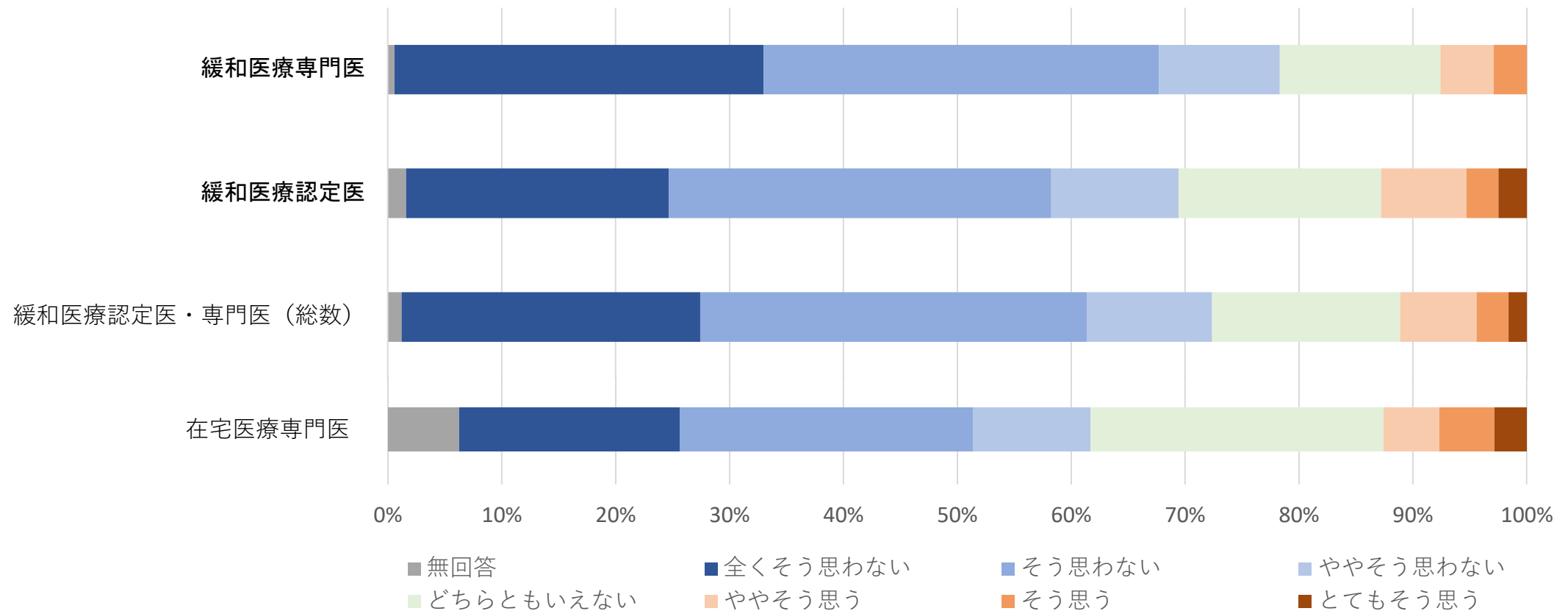


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 9) 自科の医療者間で処方への合意が得られない

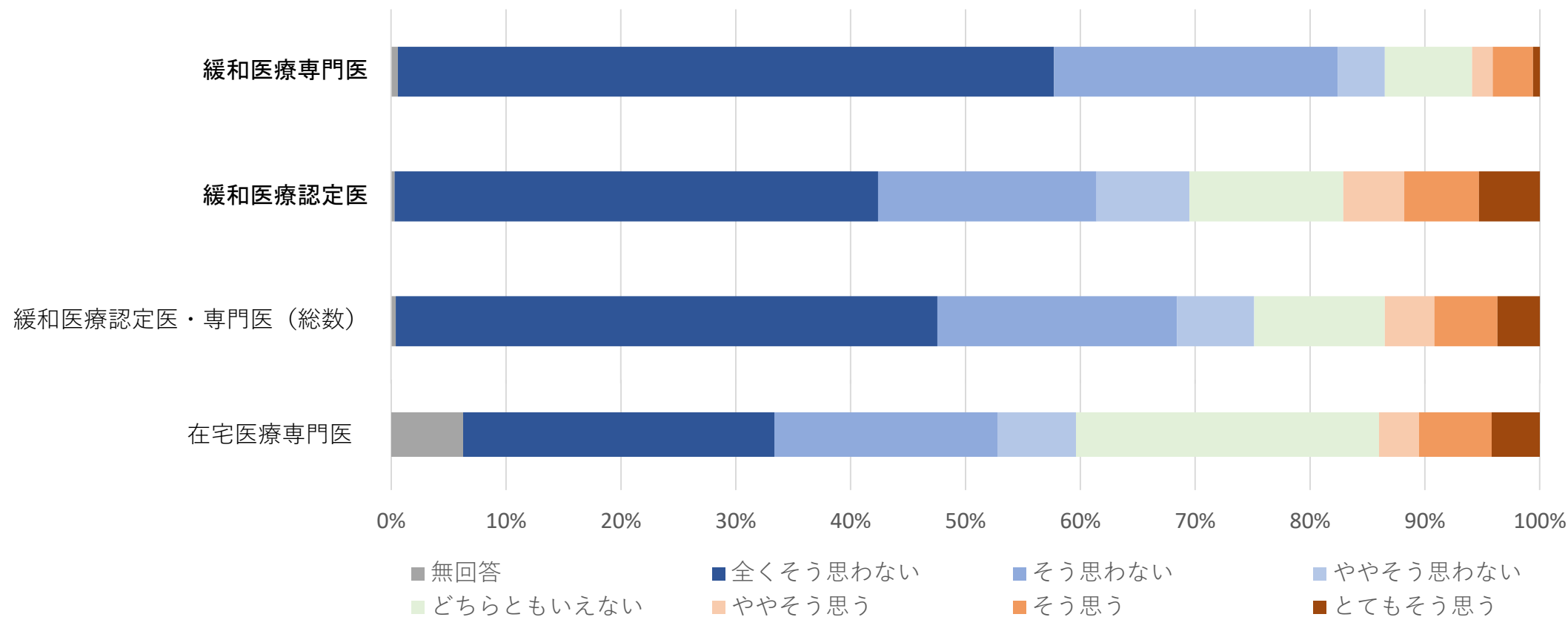


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 0) 自施設での導入が容認されない

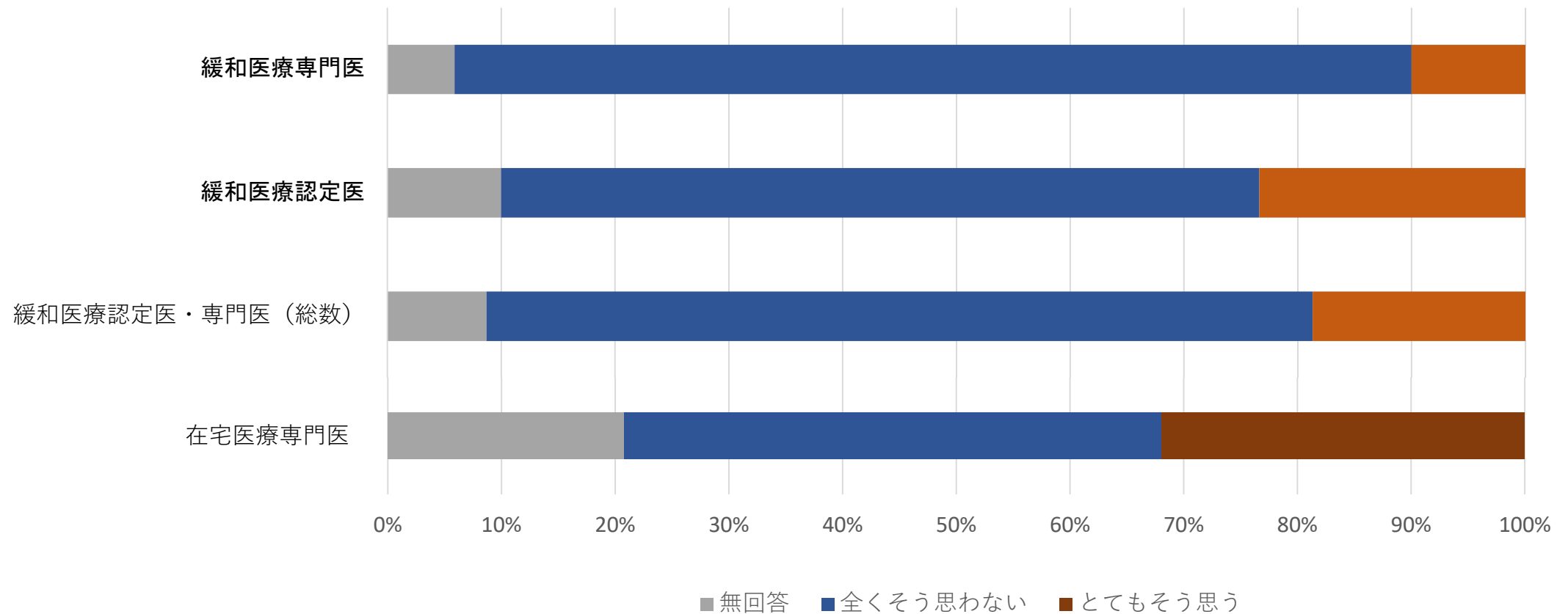


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 1) 自施設に必要な設備・器具・薬剤がない

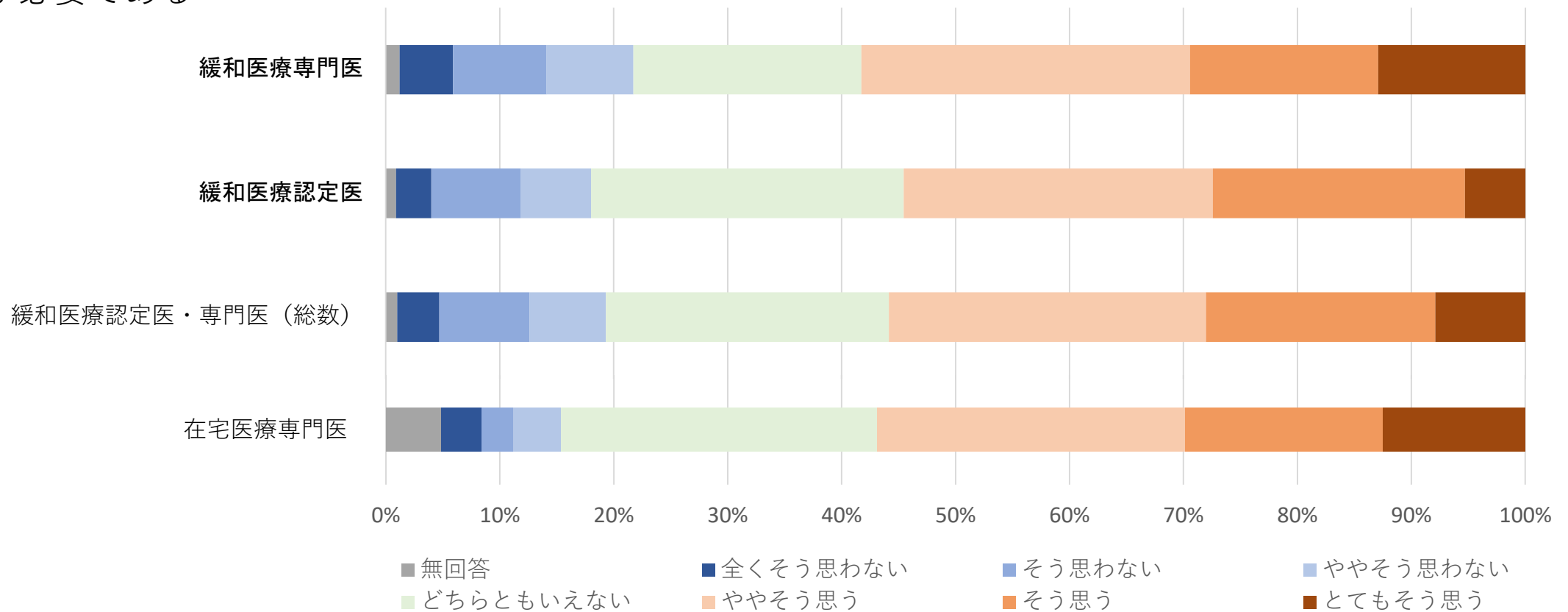


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 2) 効果と安全性を評価する国内の大規模研究が必要である

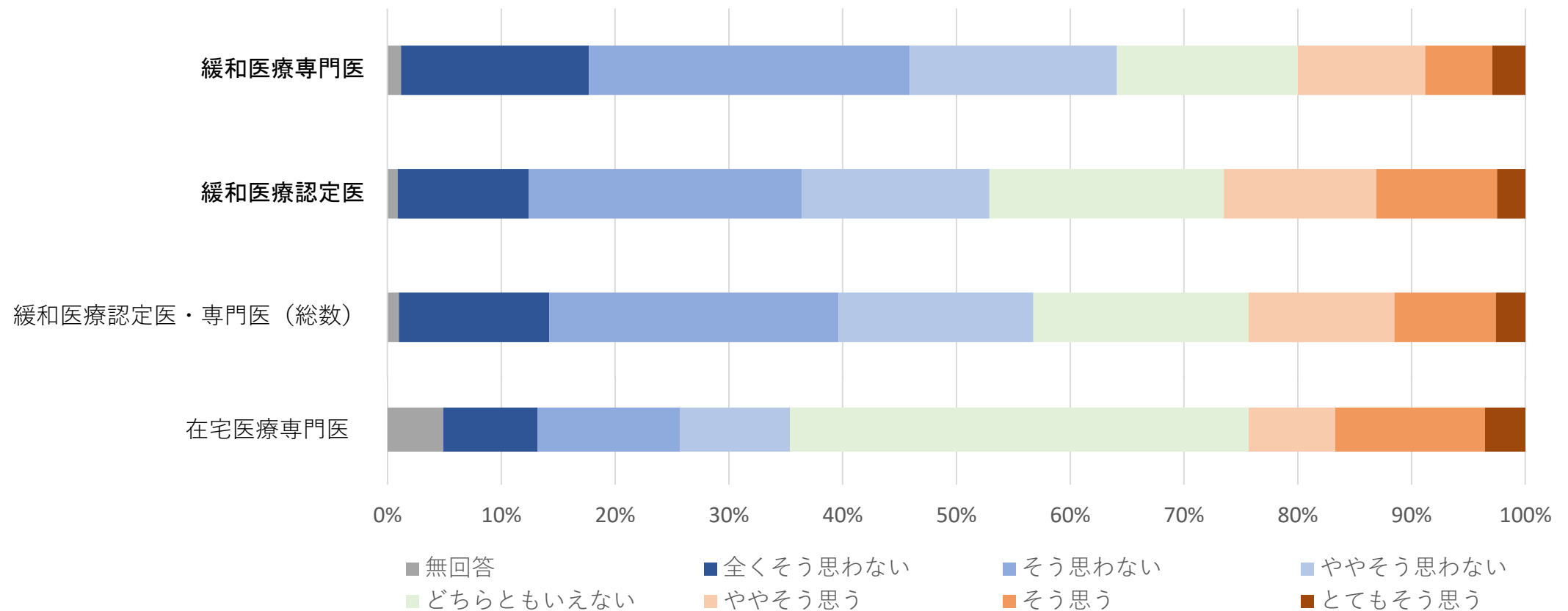


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 3) 処方する施設の集約化を地域ですすめるべきである



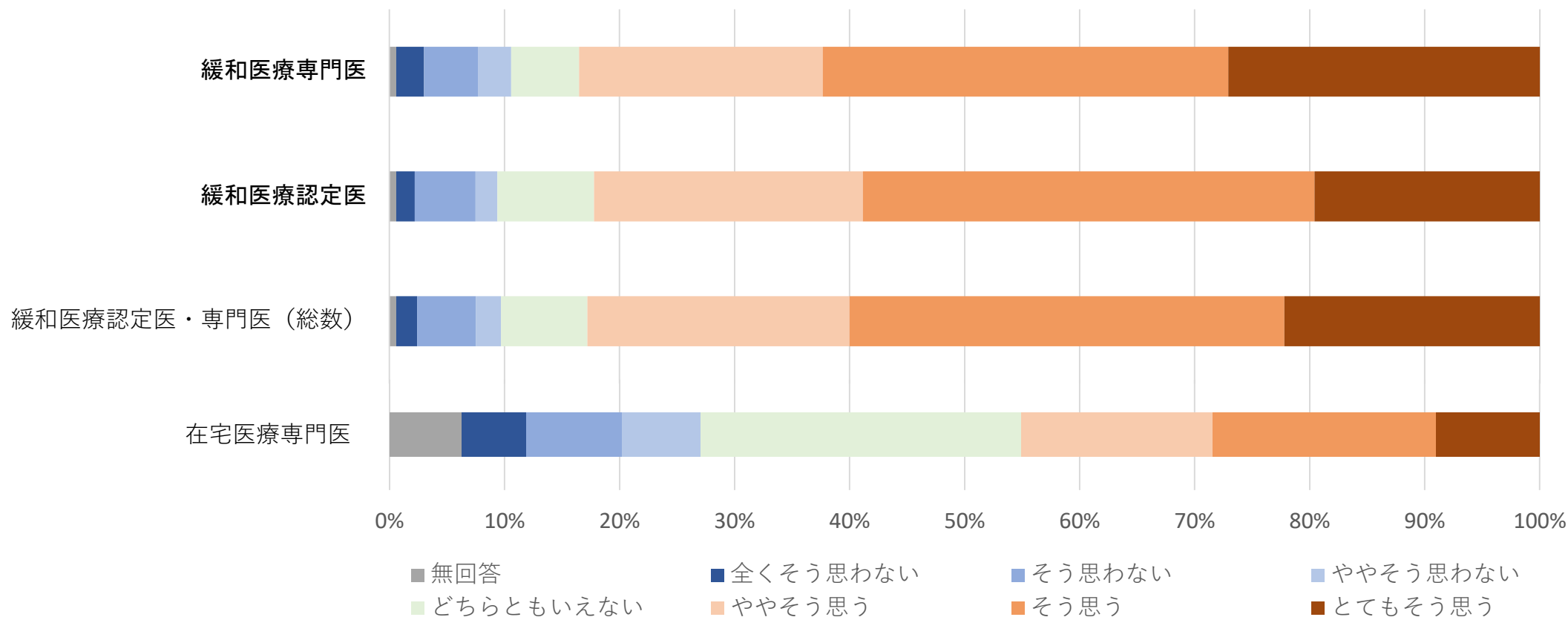


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 4) 処方した場合、患者を紹介する施設が限られる

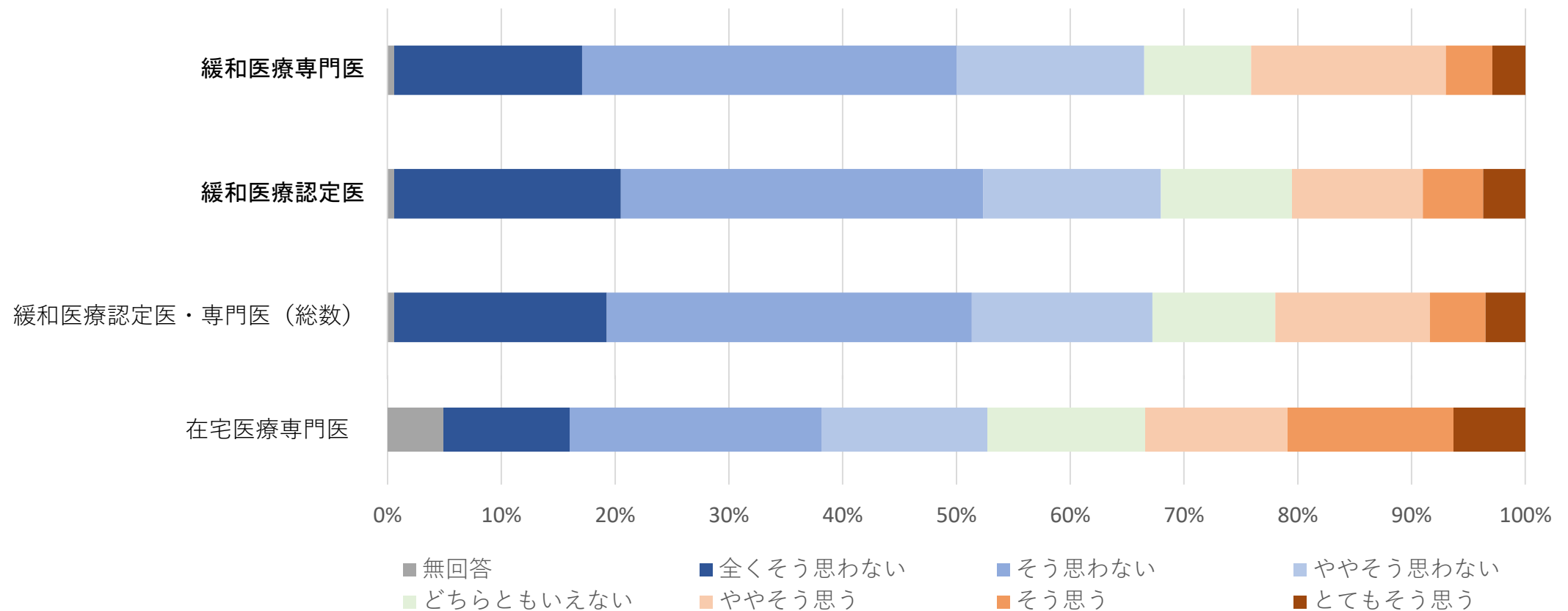


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 5) Q T延長を確認するために定期的に心電図検査を行うことが難しい

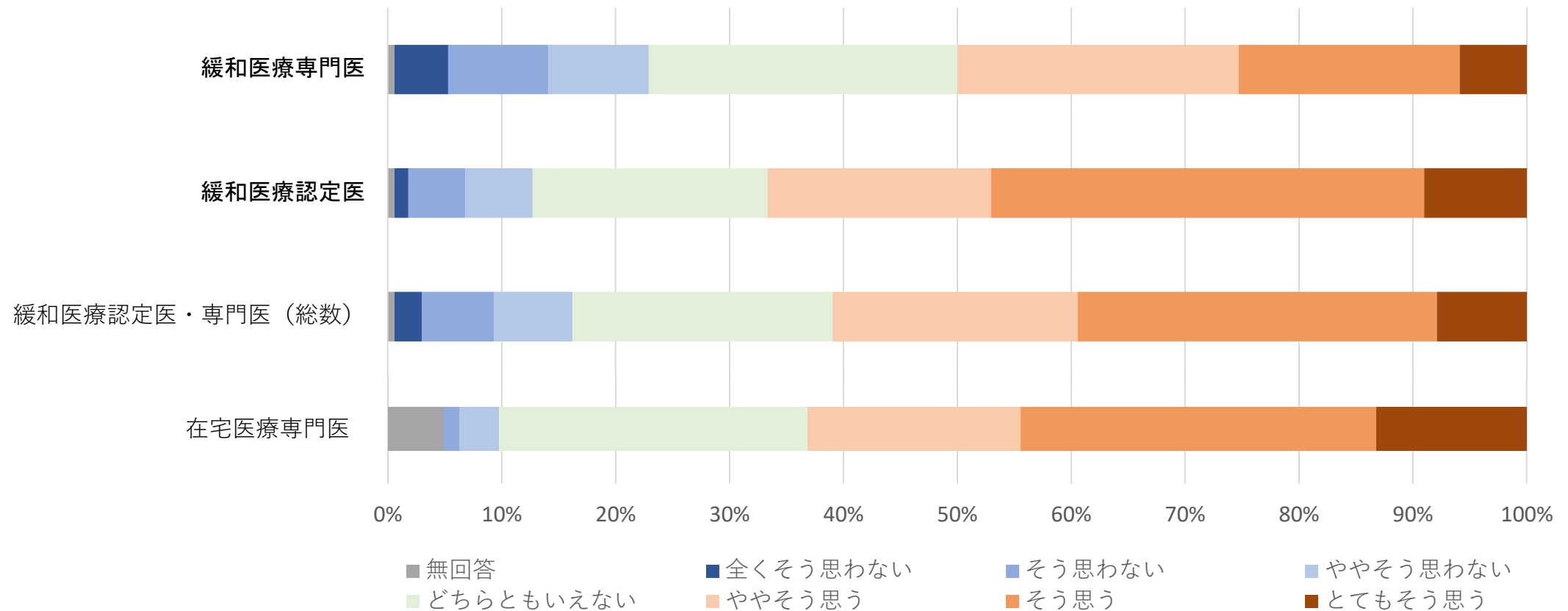


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 6) 処方を行う前には鎮痛補助薬を積極的に処方すべきである

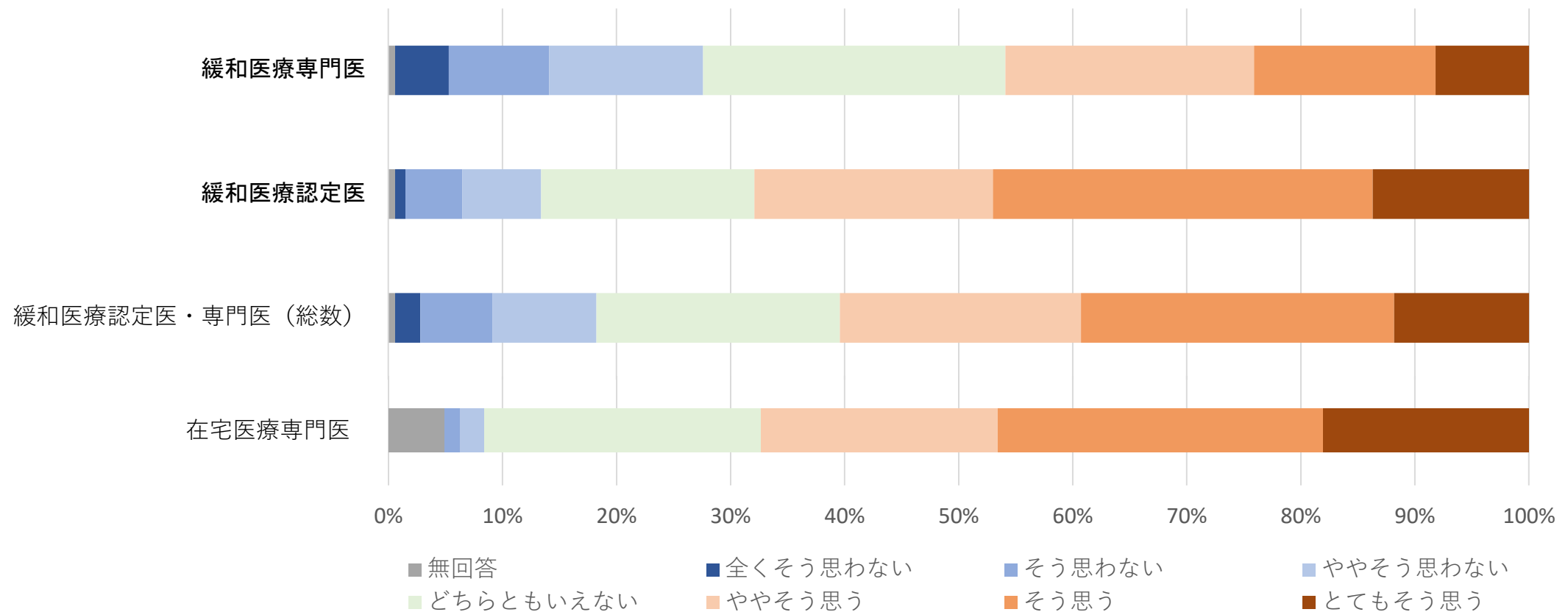


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

1 7) 処方を行う前にはメサドン以外でオピオイドスイッチングを行うべきである

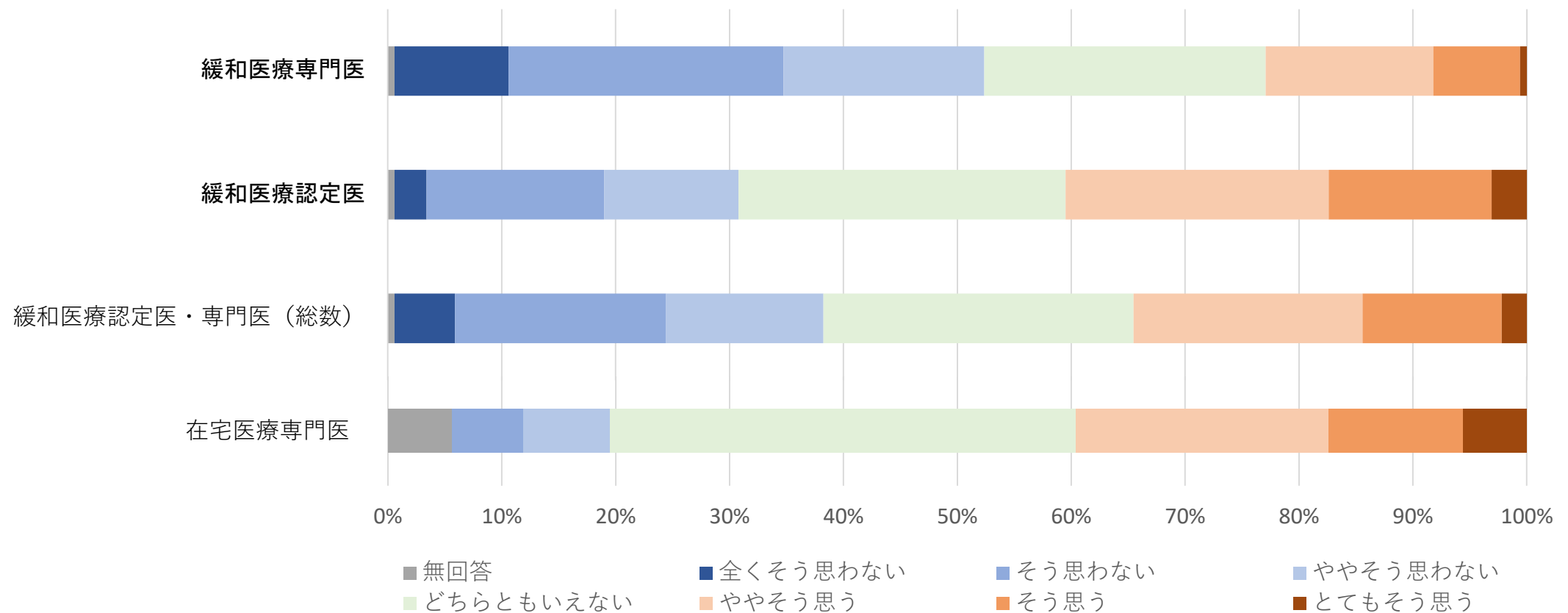


# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 1 8) 個体差の大きい薬物動態を持つ薬物は避けるべきである



# がん疼痛に対する専門的な鎮痛法に関するあなたの現状とお考えについてお伺いします。

## 1. メサドンの内服治療について

d. がん疼痛に対するメサドンの内服治療について、以下についてどのように思いますか。あなたが当てはまると思うもの1つに○をつけてください。

### 19) 他の薬物との相互作用が多い薬物は避けるべきである

